

JIN-AI UNIVERSITY 2024 SYLLABUS

令和6年度
人間学部
シラバス



目 次

I. 1年生

<学部共通科目>

仏教の人間観	田代 俊孝	1
生命の倫理	橋本 武志	3
人間の教育	高野 秀晴	5
芸術の世界	中野 研也	7
人間と環境A	鳴瀬 碧	10
人間と環境C	禿 寿	13
スポーツと健康	野田 政弘	16
スポーツA	青木 宏樹	18
スポーツB	青木 宏樹	20
英語 I a	矢橋 知枝・Mクズイフ・フッド晴美・水谷 善長	22
英語 I b	矢橋 知枝・Mクズイフ・フッド晴美・水谷 善長	25
フランス語 a	大竹口麻里	28
フランス語 b	大竹口麻里	30
ドイツ語 a	橋本 武志	32
ドイツ語 b	橋本 武志	34
中国語 a	ショウ ロ	36
中国語 b	ショウ ロ	38
ポルトガル語 a	坂東 照啓	40
ポルトガル語 b	坂東 照啓	42
情報基礎	安彦 智史・禿 寿・佐藤 宏隆	44
データサイエンス基礎	安彦 智史・禿 寿・佐藤 宏隆	46
基礎演習 (心理)	複数で担当	48
基礎演習 (コミュニケーション)	複数で担当	51
日本語文章表現	國久 繁雄	54
フィールドワーク演習 (ボランティア)	水田 敏郎・小川 慶	56
フィールドワーク演習 (国際交流)	M ハウカ	58

<心理学科専門科目>

心理学概論 I	大森 慈子	60
心理学概論 II	大森 慈子	63
心理学研究法 I	杉島 一郎	66
心理学研究法 II	杉島 一郎	69
心理学統計法 I	山岸 厚仁	72

心理学統計法Ⅱ	水田 敏郎・山岸 厚仁	75
感情・人格心理学	森 俊之	78
精神分析学	西村 則昭	81
学習・言語心理学	杉島 一郎	84

<コミュニケーション学科専門科目>

コミュニケーション概論	升田 法継	87
異文化理解 a	加藤 優子	90
人間関係論	橋本 武志	93
地域研究概論	井上 寛	95
日本語概論	平岡 正実	98
共生社会論	織田 暁子	100
デジタル・デザイン	吉村 正照	102
情報社会基礎演習	安彦 智史	104
コミュニケーションとホスピタリティ	種村 聡子	107
オーラル・コミュニケーション I a	M ハウカ	110
英文法	加藤 優子	113
プレゼンテーション技法	禿 寿	115
プロジェクト・デザイン入門	升田 法継	118
異文化理解 b	加藤 優子	121
社会学入門	井上 寛	124
オーラル・コミュニケーション I b	M ハウカ	127

Ⅱ. 2年生

<学部共通科目>

人間と宗教	門脇 健	130
仏教の思想	市野 智行	132
哲学の世界観	橋本 武志	134
文学の世界	平岡 正実	137
歴史と地域文化	久保 智康	140
日本国憲法	根田 恵多	143
人間と環境B (心理)	南保 勝	145
人間と環境B (コミュニケーション)	山崎 茂雄	147
ふくい総合学	石川昭義・杉島一郎・升田法継・細田耕平	149
英語Ⅱa	Mクズイフ・野本 尚美・フッド晴美	151
英語Ⅱb	Mクズイフ・野本尚美・フッド晴美・水谷善長	154
海外語学研修	M ハウカ	157

情報活用 a	竹村 順吾	159
情報活用 b	竹村 順吾	161
情報処理演習 a	竹村 順吾	163
情報処理演習 b	竹村 順吾	165
キャリア・デザインⅡ	升田 法継	167
フィールドワーク演習 (ボランティア)	水田 敏郎・小川 慶	170
フィールドワーク演習 (国際交流)	M ハウカ	172

<心理学科専門科目>

心理学実験	山本・森本・山岸・青井・田中	174
心理測定実習	大森 慈子・森本 文人・山岸 厚仁	177
心理的アセスメント	森 俊之	179
心理調査法	竹村 明子	181
臨床心理学概論Ⅰ	稲木康一郎	184
臨床心理学概論Ⅱ	稲木康一郎	186
健康・医療心理学	渡辺 克徳	189
発達心理学Ⅰ	竹村 明子	192
発達心理学Ⅱ	竹村 明子	195
知覚・認知心理学	杉島 一郎	198
神経・生理心理学	水田 敏郎	201
社会・集団・家族心理学Ⅰ	山本 雅代	203
社会・集団・家族心理学Ⅱ	山本 雅代	205
産業・組織心理学Ⅰ	重森 雅嘉	208
産業・組織心理学Ⅱ	山本 雅代	210
心理学特別講義	複数で担当	213
心理学キャリア演習Ⅰ	大森 慈子・水田 敏郎	215

<コミュニケーション学科専門科目>

情報社会論	安彦 智史	218
言語コミュニケーション論	矢橋 知枝	220
簿記演習 a	小川 慶	222
コミュニケーション学特別講義	複数で担当	225
地域経済論	山崎 茂雄	227
公共政策	竹内 直人	230
簿記演習 b	小川 慶	233
社会調査法	織田 暁子	236
情報システム論	安彦 智史	238

観光社会論	寺田 憲弘	240
多文化共生論	加藤 優子	242
検定英語入門	矢橋 知枝	245
プロジェクト・デザイン I	野尻 昌明	248
メディア・コミュニケーション論	升田 法継	251
ライティング技法	野尻 昌明	254
メディア・デザイン I a	吉村 正照	257
メディア・デザイン I b	吉村 正照	259
統計学 a	織田 暁子	261
統計学 b	禿 寿	263
フィールドワーク技法	井上 寛	265
社会と文化	織田 暁子	268
社会と思想	橋本 武志	270
英語音声学	矢橋 知枝	272
オーラル・コミュニケーション II a	M ハウカ	274
オーラル・コミュニケーション II b	M ハウカ	276
英文講読 a	紺渡 弘幸	278
英文講読 b	紺渡 弘幸	281
英語文章表現法 I	M ハウカ	284

Ⅲ. 3年生

<学部共通科目>

英語Ⅲa	Mクズイフ	286
英語Ⅲb	Mクズイフ	288
海外語学研修	M ハウカ	290
フィールドワーク演習 (インターンシップ)	升田 法継・森本 文人	292
フィールドワーク演習 (ボランティア)	水田 敏郎・小川 慶	294
フィールドワーク演習 (国際交流)	M ハウカ	296

<心理学科専門科目>

心理検査演習	吉水ちひろ・青井 利哉・中尾 繁史	298
心理面接演習	稲木康一郎・目黒 達哉	301
司法・犯罪心理学	廣井 亮一	304
教育・学校心理学	竹村 明子	306
交通心理学	森本 文人	309
スポーツ心理学	野田 政弘	311
心理学キャリア演習Ⅱ	森本 文人・山岸 厚仁	313

臨床心理学演習	渡辺 克徳・目黒 達哉	316
心理学的支援法	西村 則昭	319
精神疾患とその治療Ⅰ	三脇 康生	322
精神疾患とその治療Ⅱ	三脇 康生	325
深層心理学	西村 則昭	328
生理心理学実習	水田 敏郎・大森 慈子	331
行動解析実習	森本 文人・山岸 厚仁	334
人体の構造と機能及び疾病	岸 慎治	336
比較心理学	山岸 厚仁	339
障害者・障害児心理学	水田 敏郎	341
福祉心理学	目黒 達哉	343
社会心理学演習	山本 雅代・竹村 明子	346
多変量解析演習	杉島 一郎	350
消費者心理学	山本 雅代	353
産業カウンセリング	黒田 優希	356
関係行政論	白崎俊一郎・川崎 幸宏	358
心理学特別演習Ⅰ	複数で担当	360

<コミュニケーション学科専門科目>

企業と制度	小川 慶	362
プロジェクト・デザインⅡ	禿 寿	365
会計学 a	小川 慶	368
会計学 b	小川 慶	371
ビジネス能力論	野尻 昌明	374
ビジネス・コミュニケーション研究	升田 法継	377
組織と情報	升田 法継	380
消費者と行動	禿 寿	383
メディア・デザインⅡ	教 務 課	386
プログラミング	安彦 智史	389
データ解析法	織田 暁子	392
社会調査演習 a	織田 暁子・江南 健志	394
社会調査演習 b	織田 暁子・江南 健志	396
現代社会研究	寺田 憲弘	398
アプリケーション演習	安彦 智史	400
英語学研究	矢橋 知枝	402
英語文学研究	原口 治	404
英語コミュニケーション a	M ハウカ	407

英語コミュニケーション b	M	ハウカ	409
英語文章表現法 II		紺渡 弘幸	411
TOEIC英語 a		矢橋 知枝	413
TOEIC英語 b		矢橋 知枝	416
国際ビジネス英語 I		加藤 優子	419
コミュニケーション特別演習 I a		複数で担当	422
コミュニケーション特別演習 I b		複数で担当	425

IV. 4年生

<学部共通科目>

海外語学研修	M	ハウカ	427
フィールドワーク演習 (ボランティア)		水田 敏郎・小川 慶	429
フィールドワーク演習 (国際交流)	M	ハウカ	431

<心理学科専門科目>

学校臨床心理学		廣澤 愛子	433
社会福祉概論		下山 久之	435
心理学特別演習 II		複数で担当	437
卒業研究		複数で担当	439
公認心理師の職責		稲木・森・吉水・渡辺・目黒	441
心理演習		渡辺 克徳・稲木康一郎	444
心理実習		森 俊之・吉水ちひろ	447

<コミュニケーション学科専門科目>

情報メディア		安彦 智史	450
デザインマネジメント論		教 務 課	453
プロジェクト・デザイン研究		小川 慶	456
異文化コミュニケーション		加藤 義治	459
現代文化研究		井上 寛	462
コミュニケーション特別演習 II a		複数で担当	465
コミュニケーション特別演習 II b		複数で担当	468
卒業研究		複数で担当	470

V. 特設科目

教職論		高野 秀晴	472
教育原理		高野 秀晴	474
教育心理学		乙部 貴幸	476

教育経営論	小林 利幸	479
特別支援教育論	水田 敏郎	481
教育課程論	高野 秀晴	484
英語科教育法Ⅰ	フット晴美	486
英語科教育法Ⅱ	フット晴美	489
英語科教育法Ⅲ	紺渡 弘幸	492
英語科教育法Ⅳ	紺渡 弘幸	495
道徳教育の理論と方法	高野 秀晴	498
特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	山崎 智幸	500
教育の方法と技術（ICT活用を含む）	籠谷 隆弘	503
生徒・進路指導論	黒田 祐二	506
教育相談	佐々木雅代	509
事前・事後指導（中・高）	紺渡 弘幸	512
教育実習Ⅰ（高校）	紺渡 弘幸	515
教育実習Ⅱ（中学校）	紺渡 弘幸	517
教職実践演習（中・高）	紺渡 弘幸・小林 利幸・フット晴美	519

仏教の人間観 (Views on the Humanity of Buddhism)			担当教員	田代 俊孝
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分
HS-1110	2単位	1年前期	講義	必修
<科目区分> 人間学部学部共通科目 全学共通科目				
求める学習成果(教育目標)				
人生に対する思索を深め、考える能力と豊かな人間性を身につけ、幅広い視野から物事をとらえ、的確な判断を下すことができる力を養います。				
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)				
<input checked="" type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題解決能力				

授 業 の 内 容				
本授業の目的は、建学の精神「仁愛兼濟」のこころを育て、自分の人生をいきいきと生きていく力を身につけることである。そのため、釈尊・親鸞の生涯とその教えにおける人間観、さらに『歎異抄』を学ぶことを通して「本当の自分とは何か」を尋ねていく。				
授 業 の 到 達 目 標				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 釈尊・親鸞の生涯とその教えについて述べるができる。 ・ 『歎異抄』によって、仏教における人間観を学び、「本当の自分とは何か」を考察し、表現することができる。 ・ 「仁愛兼濟」を生きる人間像について、具体的に自分の考えを述べるができる。 				
アクティブ・ラーニング				
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習 (PBL) <input checked="" type="checkbox"/> 討議 (ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク (Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション (Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (コメントペーパーの記載・ノート提出)				
授業の計画及び授業外の学習方法				
第1回：建学の精神を学ぶ① 仁愛兼濟とは 事前学習：建学の精神についてテキストや大学ガイドブックなどで調べておく。(2時間) 事後学習：テキスト「和」の当該箇所を読んでノートに整理する。(2時間) 第2回：建学の精神を学ぶ② 学業とキャンパスモニュメント 理解を深めるために討議を入れる 事前学習：キャンパスの中にあるモニュメントを、実際に現場へ行って見てくる。(2時間) 事後学習：テキスト「和」の当該箇所を読んでノートに整理する。(2時間) 第3回：仏陀について① 仏陀という人 ただ独り尊し-人間の尊厳- 事前学習：釈尊の伝記を調べる。(2時間) 事後学習：配布資料を読んでノートに整理する。(2時間) 第4回：仏陀について② いのちを問う 四門出遊・無常・無我 事前学習：仏教に関する本で「仏教ではどのようにして苦悩を超えるか」を調べてくる。(2時間) 事後学習：配布の資料を読んでノートに整理する。(2時間) 第5回：現代社会と仏教 ビハーラ活動について ビデオ利用 理解を深めるために討議を入れる 事前学習：身近にある仏教の本やインターネットでビハーラ活動について調べる。(2時間) 事後学習：配布の資料を読んでノートに整理する。(2時間) 第6回：親鸞について 生涯とその教え ビデオ利用 理解を深めるために討議を入れる 事前学習：親鸞の伝記と思想の概要について調べる。(2時間) 事後学習：テキストと配布の資料を読んでノートに整理する。(2時間) 第7回：『歎異抄』に学ぶ① 歎異抄とは 事前学習：『『歎異抄』について調べてくる。(2時間) 事後学習：テキスト『歎異抄-心に刺さるメッセージ』の当該部分を読んでノートに整理する。(2時間) 第8回：『歎異抄』に学ぶ② 歎異精神-真理に異なる自己- 事前学習：有名な「歎異精神」とはどんな考え方か、参考書で調べてくる。(2時間) 事後学習：テキスト『歎異抄-心に刺さるメッセージ』の当該部分を読んでノートに整理する。(2時間) 第9回：『歎異抄』に学ぶ③ 弥陀の誓願不思議-大いなる願いの中に- 事前学習：有名な「本願に救われる」とはどんな考え方か、参考書で調べてくる。(2時間) 事後学習：テキスト『歎異抄-心に刺さるメッセージ』の当該部分を読んでノートに整理する。(2時間)				

第10回：『歎異抄』に学ぶ④ おのおの十余か国の境を越えて-道を求める心- 事前学習：「道を求める」とはどういうことか、仏教書やインターネットを参考に考える。(2時間) 事後学習：テキスト『歎異抄-心に刺さるメッセージ-』の当該部分を読んでノートにまとめる。(2時間)
第11回：『歎異抄』に学ぶ⑤ いわんや悪人をや-自己との出遇い-理解を深めるために討議を入れる 事前学習：『歎異抄』の中の「悪人正機」についてインターネット等で調べる。(2時間) 事後学習：テキスト『歎異抄-心に刺さるメッセージ-』の当該部分を読んでノートにまとめる。(2時間)
第12回：『歎異抄』に学ぶ⑥ 有縁を渡すべきなり-道徳を超える- 事前学習：道徳と宗教の違いを考える。(2時間) 事後学習：テキスト『歎異抄-心に刺さるメッセージ-』の当該部分を読んでノートにまとめる。(2時間)
第13回：『歎異抄』に学ぶ⑦ 親鸞は弟子一人も持たず—諸仏と仏弟子 事前学習：諸仏・仏弟子とは何かをテキスト等の資料を見て考える。(2時間) 事後学習：テキスト『歎異抄-心に刺さるメッセージ-』の当該部分を読んでノートにまとめる。
第14回：『歎異抄』に学ぶ⑧ 唯円房同じ心にてありけり-共感・共鳴・共学- 事前学習：共感・共鳴・共学するとはどういうことか、自身の経験をもとに考える。(2時間) 事後学習：テキスト『歎異抄-心に刺さるメッセージ-』の当該部分を読んでノートにまとめる。
第15回：『歎異抄』に学ぶ⑨ そらごとたわごと-火宅の危機-理解を深めるために討議を入れる 事前学習：宗教とは何かをインターネット等の資料を見て考える。(2時間) 事後学習：テキスト『歎異抄-心に刺さるメッセージ-』の当該部分を読んでノートにまとめる。

授業実施方法(面接授業・遠隔授業)

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

途中のコメントペーパー及び提出されたノートによる評価(80%)、平常点(20%)
(平常点は、授業への参加状況、eラーニングによる質問などの状況を総合的に判断して決める。)

成績評価基準

积尊と親鸞の生涯、『歎異抄』の基礎について、理解しているか。
仏教における人間観を学び、「本当の自分とは何か」を考察し、表現することができるか。
「仁愛兼濟」を生きる人間像について、具体的に自分の考えを述べることができるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) コメントペーパーに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 提出されたノートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他(ノートに記入して返却。質問はメールでも随時可。)

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

テキスト：田代俊孝著『歎異抄—心に刺さるメッセージ—』(京都・法蔵館 2023)
 福井仁愛学園編『和』(福井仁愛学園発行 2022)
 参考書：田代俊孝著『ビハラー往生のすすめ-悲しみからのメッセージ』(京都・法蔵館 2005)

その他(受講上の注意)

毎回、事前、事後の課題をすること。随時、授業の内容理解のコメントペーパーを提出してもらいます。また、第14回目の授業時にノートを提出してもらいます。出席確認は、出席カード、コメントペーパーでします。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

生命の倫理 (Bioethics)			担当教員	橋本 武志	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
HS-1121	2単位	1年前期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部学部共通科目 人間学関連科目					
求める学習成果(教育目標)					
豊かな人間性と倫理観を身につけ、幅広い視野から物事をとらえ、的確な判断を下すことができる力を養います。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input checked="" type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input checked="" type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
<p>技術の進歩によって、従来不可能であった治療ができるようになってきている。だが、それにともなって、われわれの従来の死生観・人間観を揺さぶるようなさまざまな倫理問題が発生している。本講義では、先端医療の現状を知ったうえで、こうした倫理問題に対する、日本を含む諸外国の考え方の違い、ガイドラインや政策の相違について知り、こうした問題についての現在までのさまざまな議論を紹介する。</p>	
授 業 の 到 達 目 標	
<ul style="list-style-type: none"> ・生命をめぐるさまざまな倫理問題について認識する。 ・QOLやインフォームド・コンセント、滑りやすい坂など、生命倫理学の基礎的な用語を習得する。 ・生命倫理問題について、国内外のさまざまな議論を知る。 	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習 (PBL) <input type="checkbox"/> 討議 (ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク (Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション (Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (ペアワーク)	
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法	
<p>第1回：オリエンテーション～生命倫理学という学問について 事前学習：「倫理」「規範」の語義について調べノートしておくこと(2時間) 事後学習：当日の講義内容について、自分なりに纏めておくこと(2時間)</p> <p>第2回：生命倫理学(バイオエシックス)の成立 事前学習：「バイオエシックス」の語義について調べノートしておくこと(2時間) 事後学習：当日の講義内容について、自分なりに纏めておくこと(2時間)</p> <p>第3回：患者の自己決定権とインフォームド・コンセント 事前学習：「優生思想」について調べノートしておくこと(2時間) 事後学習：当日の講義内容について、自分なりに纏めておくこと(2時間)</p> <p>第4回：現在の各種倫理問題～映像資料で生命倫理問題について知る 事前学習：「ES細胞」について調べノートしておくこと(2時間) 事後学習：当日の講義内容について、自分なりに纏めておくこと(2時間)</p> <p>第5回：生命の始まりに関する倫理問題(パーソン論)(ペアワーク10分) 事前学習：「パーソン論」について調べノートしておくこと(2時間) 事後学習：当日の講義内容について、自分なりに纏めておくこと(2時間)</p> <p>第6回：生命の始まりに関する倫理問題2(パーソン論以外) 事前学習：「アメリカの中絶論争」について調べノートしておくこと(2時間) 事後学習：当日の講義内容について、自分なりに纏めておくこと(2時間)</p> <p>第7回：移植医療の問題1～映像資料で世界の現状を知る 事前学習：日本の現行の「臓器移植法案」について調べノートしておくこと(2時間) 事後学習：当日の講義内容について、自分なりに纏めておくこと(2時間)</p> <p>第8回：移植医療の問題2～移植医療の歴史 事前学習：「脳死」と「心臓死」の違いについて調べノートしておくこと(2時間) 事後学習：当日の講義内容について、自分なりに纏めておくこと(2時間)</p> <p>第9回：移植医療の問題3～日本の移植停滞のさまざまな要因 事前学習：「生体肝移植」について調べノートしておくこと(2時間) 事後学習：当日の講義内容について、自分なりに纏めておくこと(2時間)</p>	

第10回：移植医療の問題 4～映像資料でUNOSについて知る 事前学習：UNOSについて調べノートしておくこと（2時間） 事後学習：当日の講義内容について、自分なりに纏めておくこと（2時間）
第11回：生命の終わりに関する倫理問題 1～治療停止・安楽死の世界事情 事前学習：オランダの安楽死事情について調べノートしておくこと（2時間） 事後学習：当日の講義内容について、自分なりに纏めておくこと（2時間）
第12回：生命の終わりに関する倫理問題 2（治療停止）～日本での治療停止の法制化 事前学習：札幌医科大学「和田事件」について調べノートしておくこと（2時間） 事後学習：当日の講義内容について、自分なりに纏めておくこと（2時間）
第13回：生命の終わりに関する倫理問題 3～安楽死についての諸議論～ 事前学習：「安楽死」と「尊厳死」の違いについて調べノートしておくこと（2時間） 事後学習：当日の講義内容について、自分なりに纏めておくこと（2時間）
第14回：生命倫理と社会 事前学習：デュルケム（人名）について調べておくこと（2時間） 事後学習：当日の講義内容について、自分なりに纏めておくこと（2時間）
第15回：種差別と動物解放論 事前学習：「種差別」について調べ、またこれまでのプリント・ノートを見直して、わからない箇所の質問を考えておくこと（2時間） 事後学習：当日の講義の内容について、プリント・ノートをもとに自分なりに纏めておくこと（2時間）
第16回：定期試験

授業実施方法（面接授業・遠隔授業）

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

定期試験（80%）、平常点（20%）
（平常点は、授業への参加状況を総合して判断する）

成績評価基準

- ・生命をめぐるさまざまな倫理問題、およびその歴史的経緯について認識しているか。
- ・QOLやインフォームド・コンセント、滑りやすい坂など、生命倫理学の基礎的な用語を習得しているか。
- ・生命倫理問題について、国内外のさまざまな議論を習得しているか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書

テキストはとくに使用しない。毎回資料を配布する。
参考図書・参考映像については2回目の授業で参考文献を示すほか、授業内でも適宜紹介する。

その他（受講上の注意）

- ・毎回の講義を受けた後で講義資料やノートを見直して復習をし、次の授業に臨んでください。そのうえで第2回の授業で配布する参考文献一覧から該当部分を読むなどして、より理解を深めてください。
- ・毎回復習テストを行い、その回答をもって出欠を取ります。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

人間の教育 (Human Education)			担当教員	高野 秀晴	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
HS-1122	2単位	1年後期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部学部共通科目 人間学関連科目					
求める学習成果(教育目標)					
豊かな人間性と倫理観を身につけ、幅広い視野から物事をとらえ、的確な判断を下すことができる力を養います。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input checked="" type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input checked="" type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
<p>ヒトが人になるためには教育が必要だと言われる。こうして私たちが教育を受けてきたわけだが、私たちがこれまで学んできたことは、そもそも一体何だったのだろうか？ そして、今、大学で学んでいることには一体何の意味があるのか？ これからの人生にいかにかに寄与するのか？ しないのか？ この授業では、有史以来の人間の教育の様々なあり方を通観することを通じて、上記の問いを考察していく。</p>	
授 業 の 到 達 目 標	
<p>「教育によって形成されてきた／されつつある自己」の成り立ちとゆくえについて理解を深め、自ら考察する力を身につけること。これがこの授業の到達目標である。したがって、この授業では下記の成果が求められる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自らがこれまで受けてきた教育の意味について説明することができる。 ・現代における教育の社会的役割を分析することができる。 ・自らの今後のあり方を、教育の観点から展望することができる。 	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習 (PBL) <input type="checkbox"/> 討議 (ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク (Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション (Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授業の計画及び授業外の学習方法	
<p>第1回：オリエンテーション 事前学習：シラバスをよく読み、授業内容に関連する図書を検索したうえで、学修計画を立てる。(2時間) 事後学習：検索した図書の概要を吟味したうえで、読書計画を立てる。(2時間)</p> <p>第2回：子どもとは誰のことか——子ども観の歴史の変遷—— 事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。(2時間) 事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。(2時間)</p> <p>第3回：子どもの面倒は誰が見るのか——子育て環境の現在—— 事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。(2時間) 事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。(2時間)</p> <p>第4回：学校とはどのような空間なのか 事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。(2時間) 事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。(2時間)</p> <p>第5回：「学校知」の解剖学 事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。(2時間) 事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。(2時間)</p> <p>第6回：学校化社会について 事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。(2時間) 事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。(2時間)</p> <p>第7回：大学とは何か——その歴史の変遷—— 事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。(2時間) 事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。(2時間)</p> <p>第8回：激動のなかの大学 事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。(2時間) 事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。(2時間)</p>	

- 第9回：職能はどこで形成するか（1）——その歴史の変遷——
 事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
 事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
- 第10回：職能はどこで形成するか（2）——日本型企业中心社会の場合——
 事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
 事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
- 第11回：日本型企业中心社会の変容とキャリア教育の導入
 事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
 事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
- 第12回：意欲の競争社会化？——教育の平等と格差と——
 事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
 事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
- 第13回：能力主義とは何か——これまでのまとめ——
 事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
 事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
- 第14回：老い衰えることと教育
 事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
 事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
- 第15回：看取ることと教育
 事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
 事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
- 第16回：定期試験

授業実施方法（面接授業・遠隔授業）

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

定期試験（70%） 授業時の課題（30%）

成績評価基準

現代における教育の社会的役割を分析的に記述することができるか。
 教育に関する諸問題を自己と関連付けながら記述することができるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書

テキスト：必要に応じて、プリントを配布する。
 参考図書：授業時に紹介する。

その他（受講上の注意）

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

芸術の世界 (The World of Art)			担当教員	中野 研也	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
HS-1120	2単位	1年前期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部学部共通科目 人間学関連科目					
求める学習成果(教育目標)					
豊かな人間性と倫理観を身につけ、幅広い視野から物事をとらえ、的確な判断を下すことができる力を養います。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input checked="" type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input checked="" type="checkbox"/> 選択能力 <input type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
さまざまな音楽および美術作品の魅力や特徴を探り、生み出された背景を知る。	
授 業 の 到 達 目 標	
音楽と美術について、通論的な知識と通史的な知識を身に付け、作品に対する自分の考えを持つことができる。	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習 (PBL) <input checked="" type="checkbox"/> 討議 (ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク (Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション (Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授業の計画及び授業外の学習方法	
第1回：音楽とは何か ～なぜ学校で音楽を学ぶのか 事前学習：音楽とは何か、自分なりに調べて考えをまとめておくこと。(2時間) 事後学習：授業で配布された資料を読み、音の性質についてまとめておくこと。(2時間)	
第2回：音楽の誕生 ～いつ・なぜ・どのようにして生まれたのか (ディスカッション) 事前学習：音楽が①いつ、②なぜ、③どのようにして生まれたのか、①～③の項目を全て含んだ上で自分なりの考えをまとめておくこと。(2時間) 事後学習：授業で配布された資料をもとに、音楽と人間との関係について自分の考えも交えてまとめておくこと。(2時間)	
第3回：音楽の3要素— 1 ～旋律を中心として 事前学習：自身にとって旋律(メロディー)が印象的であった曲を複数書き出しておくこと(ジャンルは問わない)。(2時間) 事後学習：授業で配布された資料をもとに、旋律とゲシュタルトの原理との関係についてまとめておくこと。(2時間)	
第4回：音楽の3要素— 2 ～拍子やリズムを中心として 事前学習：自身にとってリズムや拍子が印象的であった曲を複数書き出しておくこと(ジャンルは問わない)。(2時間) 事後学習：授業で話した内容と配布された資料をもとに、①リズムの形成についてまとめるとともに、②2拍子、3拍子、4拍子、6拍子で書かれた曲を少なくとも1曲ずつ挙げること。(2時間)	
第5回：音楽の3要素— 3 ～和声を中心として 事前学習：和声とは何か、辞書やWeb等で調べ、書き出しておくこと。(2時間) 事後学習：授業で話した内容と配布された資料をもとに、和声がもつ役割についてまとめておくこと。(2時間)	
第6回：西洋の音楽史— 1 クラシック音楽の誕生と発展 事前学習：西洋クラシック音楽で、知っている作曲家を複数名書き出しておくこと。(2時間) 事後学習：授業で話した内容や視聴した音楽と配布された資料をもとに、①西洋音楽を発展させた要素、②それが果たした役割について、①と②の項目を共に含んだ上でまとめておくこと。(2時間)	
第7回：西洋の音楽史— 2 クラシック音楽の落日とその後 (ディスカッション) 事前学習：小学校、中学校、および高校の音楽の授業で聴いたことのある曲を書き出しておくこと。(2時間) 事後学習：授業で話した内容や視聴した音楽と配布された資料をもとに、西洋クラシック音楽が他の音楽に与えた影響あるいは役割についてまとめておくこと。(2時間)	

- 第8回：音楽鑑賞・視聴 1 ～器楽作品（予定） 鑑賞レポート提出
 事前学習：音楽鑑賞・視聴の題材として予告された作品について、Web等の情報を参考に下調べを行い、それがどのような作品であるのか簡単にまとめておくこと。（2時間）
 事後学習：授業で鑑賞・視聴した作品のレポートを作成し、次回授業時に提出すること。（2時間）
- 第9回：世界の民族音楽
 事前学習：民族音楽とは何か、Web等で調べておくこと。（2時間）
 事後学習：授業で話した内容や視聴した音楽と配布された資料をもとに、①民族音楽とは何か、②民族音楽と西洋音楽との違いについて、それぞれまとめておくこと。（2時間）
- 第10回：音楽と美術 — 1 ～美術作品の見どころ
 事前学習：音楽と美術との違いは何か、自分の考えを書き出しておくこと。（2時間）
 事後学習：時代とともに変化する美的感覚は何に基づいているか、自分の考えをまとめておくこと（2時間）
- 第11回：音楽と美術 — 2 ～音楽と美術の関係
 事前学習：音楽と美術との関係についてWeb等の情報を参考に下調べを行い、書き出しておくこと。（2時間）
 事後学習：授業で話した内容や紹介した作品と配布された資料をもとに、①ロマン主義と印象派との違い、②ポスト印象派以降の20世紀美術について、それぞれ自分の考えをまとめておくこと。（2時間）
- 第12回：ジャズ — 1 ～誕生の背景と音楽的特徴（グループワーク）
 事前学習：ジャズとはどのような音楽であるか、Web等の情報を参考に下調べを行い、書き出しておくこと。（2時間）
 事後学習：授業で話した内容や配布された資料をもとに、ジャズが生まれた背景と音楽的特徴についてまとめておくこと。（2時間）
- 第13回：ジャズ — 2 ～モダン・ジャズの世界
 事前学習：モダン・ジャズとは何か、Web等の情報を参考に下調べを行い、書き出しておくこと。（2時間）
 事後学習：授業で話した内容や視聴した音楽と配布された資料をもとに、ジャズが他のジャンルの音楽に与えた影響についてまとめておくこと。（2時間）
- 第14回：音楽を記録するという事
 事前学習：録音・再生を行う道具（機材）にはどのようなものがあるのか、Web等の情報を参考に下調べを行い、複数書き出しておくこと。（2時間）
 事後学習：音楽を記録できるようになったことが音楽の世界にもたらした影響あるいは変化について、まとめておくこと。（2時間）
- 第15回：音楽鑑賞・視聴 2 ～ミュージカル作品（予定） 鑑賞レポート提出
 事前学習：音楽鑑賞・視聴の題材として予告された作品について、Web等の情報を参考に下調べを行い、簡単にまとめておくこと。（2時間）
 事後学習：授業で鑑賞・視聴した作品のレポートを作成し、指定の日時まで提出すること。（2時間）
- 第16回：定期試験

授業で配布された資料と宿題プリント、授業で話した内容のメモを見返して下さい。

授業実施方法（面接授業・遠隔授業）

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

2度のレポート（20%）、定期試験（50%）、授業への参加状況※（30%）で評価する。
 ※授業への参加状況は、出席だけでなくFormsによるコール&レスポンスへの応答の有無を含みます。

成績評価基準

音楽に関する通論および通史的な知識が身につく、音楽あるいは芸術に対する自分なりの考えを持つことができたか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)
テキスト、参考図書
特定のテキストは使用しない。授業ごとに資料(プリント)を配布する。
その他(受講上の注意)
試験問題は、配布資料(プリント)と授業で話した内容とを合わせて出題する。配布物と自分でメモをとったものは試験までは紛失しないように所持しておくこと。 下記の理由から、授業には必ずスマートフォンを持参してください。 ・出欠は授業時間にe-ラーニング出欠調査のページで行う。 ・授業中、Formsを使ったコール&レスポンスを行う。フォームにはスクリーンに映し出すQRコードからアクセスする。ここでの応答の有無は、成績に反映される。 質問は授業中も適宜受け付けるので、私語は厳禁です。
オフィスアワー
UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

人間と環境 A (Human Beings and the Environment A)			担当教員	鳴瀬 碧	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
HS-2130	2単位	1年前期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部学部共通科目 環境・健康科目					
求める学習成果(教育目標)					
大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実地的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input checked="" type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input checked="" type="checkbox"/> 選択能力 <input type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
<p>ヒトの健康の保持・増進における食・栄養の重要性を理解し、私たちを取り巻く生活環境や様々な情報、そして食生活の変化が、人体の持つ特性(恒常性)を妨げ、私たちの健康維持にどのような影響を与えているかについて学習する。</p> <p>これらのことを通して、食品、サプリメント、薬等、普段私たちの身近にあるものに関して、その必要性や効果を正しく理解し、情報に惑わされることなく自らの判断で必要な情報や商品を選択・活用し、個々の健康な生活に役立てることができる。</p>	
授 業 の 到 達 目 標	
<ul style="list-style-type: none"> ・健康についての基本的な概念や制度、健康の維持・増進のために重要な事項、問題点等について説明できる。 ・世界と日本の食文化や現在の食糧事情について説明ができる。 ・食生活について栄養の重要性や食品の安全性、運動との関わり等について理解し、説明ができる。 	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法	
<p>第1回：健康とは何か？ 事前学習：授業前にテキストの第1章を読み、質問項目をまとめておくこと(2時間) 事後学習：授業で学習した内容を復習し、フードマイレージ・仮想水についてまとめておくこと(2時間)</p> <p>第2回：世界の食糧事情と未来の地球について考えてみよう(講義・動画視聴) 事前学習：第1回授業で学んだことを復習し、世界の食に関する問題についてニュース・情報を収集しておくこと(2時間) 事後学習：第1回、第2回の授業内容を基に、日本や世界の食生活が抱える問題点とその改善策などについてレポートを作成し、提出すること(2時間)</p> <p>第3回：食の歴史 事前学習：授業前にテキストの第2章を読み、質問項目をまとめておくこと(2時間) 事後学習：授業で学習した内容を復習しておくこと(2時間)</p> <p>第4回：健康に関する社会制度 事前学習：授業前にテキストの第3章を読み、質問項目をまとめておくこと(2時間) 事後学習：授業で学習した内容を復習し、健康に関する社会制度についてまとめておくこと(2時間)</p> <p>第5回：世界の食(講義・DVD視聴) 事前学習：授業前にテキストの第4章を読み、世界の食文化に対する興味を深めておくこと(2時間) 事後学習：課題レポートの作成(2時間)</p> <p>第6回：日本の食①(日本の食文化)(講義・DVD視聴) 事前学習：授業前にテキストの第4章を読み、日本の食文化に対する興味を深めておくこと(2時間) 事後学習：日本の行事食の持つ意味について、レポートを作成し提出すること(2時間)</p> <p>第7回：日本の食②(日本各地の食文化)(講義・DVD視聴) 事前学習：授業前に自身の出身地の食文化について調べておくこと(2時間) 事後学習：福井県の郷土料理について、レポートを作成し提出すること(2時間)</p>	

- 第8回：栄養と健康①（自分の食生活を見つめてみよう）（講義・実習：BDHQによる自身の食事摂取状況の把握）
事前学習：授業前に自身の食生活・生活習慣の振り返りを行うこと（2時間）
事後学習：授業で学習した内容を復習し、食生活・生活習慣がなぜ大切かをノートにまとめておくこと（2時間）
- 第9回：栄養と健康②（栄養学の基礎と疾病予防のための食生活）
事前学習：授業前にテキストの第5章p.59-73を読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
事後学習：授業で学習した内容を復習し、栄養学の基礎項目をノートにまとめておくこと（2時間）
- 第10回：栄養と健康③（栄養と運動）
事前学習：授業前に栄養と運動に関する気になるニュース・情報を収集しておくこと（2時間）
事後学習：授業で学習した内容を復習し、健康保持・増進のために必要な栄養と運動についてノートにまとめておくこと（2時間）
- 第11回：食品の安全と健康①（食品の安全と健康被害）
事前学習：授業前にテキストの第6章p.98-112を読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
事後学習：授業で学習した内容を復習し、食品の安全と健康被害についてノートにまとめておくこと（2時間）
- 第12回：食品の安全と健康②（食と健康をめぐる情報）（フィールドワーク）
事前学習：授業前に食品表示に関するニュース・情報を収集しておくこと（2時間）
事後学習：授業で学んだ食品表示方法を、スーパーマーケット等で実際に確認し、レポートにまとめて提出すること（2時間）
- 第13回：食品の安全と健康③（サプリメント～情報に惑わされないために～）
事前学習：授業前にサプリメントに関するニュース・情報を収集しておくこと（2時間）
事後学習：授業で学習した内容を復習し、サプリメントについてノートにまとめておくこと（2時間）
- 第14回：医薬品とは？
事前学習：授業前に医薬品の種類・医薬品とサプリメントの違いについて調べておくこと（2時間）
事後学習：授業で学習した内容を復習し、医薬品の種類・医薬品とサプリメントの違いについてノートにまとめておくこと（2時間）
- 第15回：大麻・麻薬・覚せい剤の基礎知識と乱用防止（福井県警との連携授業）
事前学習：授業前に薬物乱用に関する社会問題について調べておくこと（2時間）
事後学習：薬物乱用の危険性について課題レポートの作成（2時間）
- 第16回：定期試験

授業実施方法（面接授業・遠隔授業）

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

定期試験（70%）、課題レポート（20%）、平常点（10%）
（平常点は、授業への参加状況・受講態度等を総合して判断する）

成績評価基準

- ・健康の概念、健康の維持・増進について理解できているか。
- ・食の歴史や文化、日本の食糧事情や食を取り巻く環境について理解できているか。
- ・栄養素の機能、食品の安全性、栄養と運動の関わりについて理解できているか。
- ・食品、サプリメント、医薬品、麻薬・覚せい剤について正しく理解できているか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他 (Teams)
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他（質問に対するフィードバックについて）
授業時 仁大eラーニング メール その他 (Teams)

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 経歴 (薬剤師・健康運動指導士・ピラティストレーナー)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 実務経験と授業内容との関連性 (薬剤師としての医療提供施設での実務経験と健康運動指導士・ピラティストレーナーとしてのスポーツ・健康増進関連施設での実務経験を活かし、国が展開する健康づくりに関する施策、医療保険をはじめとする社会保障の仕組み、生活習慣病予防・改善のための運動と栄養、サプリメントや健康食品、医薬品の分類やその違い、麻薬・覚醒剤・デザイナーズドラッグに関する基本的知識や危険性などについて解説する。)
--

テキスト、参考図書

吉田勉監修 『私たちの食と健康(第2版)－食生活の諸相－』 三共出版 2017年 必要に応じて、講義用資料を出席者に配布する。
--

その他(受講上の注意)

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 新聞・ニュース等で報じられる食糧事情、食を取り巻く環境、健康の維持・増進に関する項目について日頃から興味を持つように努めること。 ・ 各回の講義内容についてよく復習し、各自が書籍や新聞などから積極的に情報を収集し、自己学習すること。 ・ 授業中の不明な点は、授業の前後に教員に質問するなどして理解を深めること。 ・ 「自身の健康とは何か」「心身ともに健康に生きていくために重要なこと」等についてよく考えてください。 ・ 授業中の私語や携帯電話など、他の学習の妨げとなる場合には退室させるので留意すること。 ・ 課題レポートなどは、提出期限を必ず守ること。提出遅延は減点の対象となる。また、提出期限後は受領しない場合があるので注意すること。 |
|--|

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

人間と環境C (Human Beings and the Environment C)			担当教員	禿 寿	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
HS-2131	2単位	1年前期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部学部共通科目 環境・健康科目					
求める学習成果(教育目標)					
大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実地的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input checked="" type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input checked="" type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
本講義では、2030年までの国際目標である「持続可能な開発目標 (SDGs)」を軸にしながら、日々おきているニュースの流れを追う。日本社会だけでなく国際社会の諸課題をふれるとともに、グローバルな視点に基づいた考え方の特徴を明らかにする。	
授 業 の 到 達 目 標	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 歴史的な観点で考えることによって、国際関係についての理解を深める。 ・ 社説・論説など、新聞によって異なる見方や主張をしているケースは多い。読み比べ、ニュースを多角的に読むことができるようになる。 ・ 客観的なものの見方ができる。一方で、さまざまな情報を入手し自分の考え方を確立する。 	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習 (PBL) <input type="checkbox"/> 討議 (ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク (Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション (Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法	
第1回：オリエンテーション 事前学習：授業計画でそれぞれの回のテーマを確認し、それに関連することを調べておくこと。(2時間) 事後学習：授業の内容および配布された資料についての見直しや、分からないことがあったら、図書館で調べたり、担当教員に質問すること。(2時間)	
第2回：持続可能な開発目標について(1) 事前学習：授業計画で今回のテーマを確認し、それに関連することを調べておくこと。(2時間) 事後学習：授業の内容および配布された資料についての見直しや、分からないことがあったら、図書館で調べたり、担当教員に質問すること。(2時間)	
第3回：持続可能な開発目標について(2) 事前学習：授業計画で今回のテーマを確認し、それに関連することを調べておくこと。(2時間) 事後学習：授業の内容および配布された資料についての見直しや、分からないことがあったら、図書館で調べたり、担当教員に質問すること。(2時間)	
第4回：SDGs 5つの原則 事前学習：授業計画で今回のテーマを確認し、それに関連することを調べておくこと。(2時間) 事後学習：授業の内容および配布された資料についての見直しや、分からないことがあったら、図書館で調べたり、担当教員に質問すること。(2時間)	
第5回：貧困問題について(1) 事前学習：授業計画で今回のテーマを確認し、それに関連することを調べておくこと。(2時間) 事後学習：授業の内容および配布された資料についての見直しや、分からないことがあったら、図書館で調べたり、担当教員に質問すること。(2時間)	
第6回：貧困問題について(2) 事前学習：授業計画で今回のテーマを確認し、それに関連することを調べておくこと。(2時間) 事後学習：授業の内容および配布された資料についての見直しや、分からないことがあったら、図書館で調べたり、担当教員に質問すること。(2時間)	
第7回：飢餓問題について(1) 事前学習：授業計画で今回のテーマを確認し、それに関連することを調べておくこと。(2時間) 事後学習：授業の内容および配布された資料についての見直しや、分からないことがあったら、図書館で調べたり、担当教員に質問すること。(2時間)	

- 第8回：飢餓問題について（2）
 事前学習：授業計画で今回のテーマを確認し、それに関連することを調べておくこと。（2時間）
 事後学習：授業の内容および配布された資料についての見直しや、分からないことがあったら、図書館で調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）
- 第9回：健康問題について
 事前学習：授業計画で今回のテーマを確認し、それに関連することを調べておくこと。（2時間）
 事後学習：授業の内容および配布された資料についての見直しや、分からないことがあったら、図書館で調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）
- 第10回：教育問題について（1）
 事前学習：授業計画で今回のテーマを確認し、それに関連することを調べておくこと。（2時間）
 事後学習：授業の内容および配布された資料についての見直しや、分からないことがあったら、図書館で調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）
- 第11回：教育問題について（2）
 事前学習：授業計画で今回のテーマを確認し、それに関連することを調べておくこと。（2時間）
 事後学習：授業の内容および配布された資料についての見直しや、分からないことがあったら、図書館で調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）
- 第12回：公平性問題について
 事前学習：授業計画で今回のテーマを確認し、それに関連することを調べておくこと。（2時間）
 事後学習：授業の内容および配布された資料についての見直しや、分からないことがあったら、図書館で調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）
- 第13回：まちづくりについて
 事前学習：授業計画で今回のテーマを確認し、それに関連することを調べておくこと。（2時間）
 事後学習：授業の内容および配布された資料についての見直しや、分からないことがあったら、図書館で調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）
- 第14回：環境問題について
 事前学習：授業計画で今回のテーマを確認し、それに関連することを調べておくこと。（2時間）
 事後学習：授業の内容および配布された資料についての見直しや、分からないことがあったら、図書館で調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）
- 第15回：講義のまとめ
 事前学習：授業計画で今回のテーマを確認し、それに関連することを調べておくこと。（2時間）
 事後学習：授業の内容および配布された資料についての見直しや、分からないことがあったら、図書館で調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）

授業実施方法（面接授業・遠隔授業）

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

平常点（40%）、課題・レポート（60%）
 （平常点は、授業への参加状況、受講態度、質問用紙等の状況を総合的に判断します。）

成績評価基準

1. 国際関係の諸課題についての見解を述べることができるか。
2. 様々なニュースを多角的に読み取ることができるか。
3. 学術的な情報にアクセスしながら各自の問題意識を深め、自身の考察を論理的に記述できるようになっているか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書

特に指定しません。

その他(受講上の注意)

日常生活の中で新聞を読み、テレビやラジオ、ネットなどメディアに接し、ニュースに敏感になるよう努力する。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

スポーツと健康 (Sports and Health)			担当教員	野田 政弘	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
HS-2132	2単位	1年後期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部学部共通科目 環境・健康科目					
求める学習成果(教育目標)					
大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実地的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input checked="" type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
現代社会においてスポーツや運動など日常生活におけるさまざまな身体活動は、人々が健康な生活を送るうえで重要な役割を果たしている。スポーツや運動にみられる身体現象を運動生理学やスポーツ心理学、スポーツ社会学などの観点から科学的に探求し理解を深める。	
授 業 の 到 達 目 標	
健康、生活習慣病、体力、運動のしくみなどに関する理論について理解できる。スポーツや運動などの身体活動が人の心身に及ぼす影響について理解できる。	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input checked="" type="checkbox"/> その他(授業の最後に今回の内容について意見を交換する)	
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法	
第1回：健康の捉え方と獲得するためのポイント(意見交換) 事前学習：テキストの第1章を読み、それに関連することを調べておくこと。(2時間) 事後学習：テキストの見直しや、わからないところは図書館等で調べておくこと。(2時間)	
第2回：生活習慣病と関連する要因(意見交換) 事前学習：テキストの第2章を読み、それに関連することを調べておくこと。(2時間) 事後学習：テキストの見直しや、わからないところは図書館等で調べておくこと。(2時間)	
第3回：体力とは何か(意見交換) 事前学習：テキストの第3章を読み、それに関連することを調べておくこと。(2時間) 事後学習：テキストの見直しや、わからないところは図書館等で調べておくこと。(2時間)	
第4回：体力とは何か(意見交換) 事前学習：テキストの第3章を読み、それに関連することを調べておくこと。(2時間) 事後学習：テキストの見直しや、わからないところは図書館等で調べておくこと。(2時間)	
第5回：運動のしくみ(意見交換) 事前学習：テキストの第4章を読み、それに関連することを調べておくこと。(2時間) 事後学習：テキストの見直しや、わからないところは図書館等で調べておくこと。(2時間)	
第6回：運動のしくみ(意見交換) 事前学習：テキストの第4章を読み、それに関連することを調べておくこと。(2時間) 事後学習：テキストの見直しや、わからないところは図書館等で調べておくこと。(2時間)	
第7回：トレーニング理論、トレーニング方法(意見交換) 事前学習：テキストの第5,6章を読み、それに関連することを調べておくこと。(2時間) 事後学習：テキストの見直しや、わからないところは図書館等で調べておくこと。(2時間)	
第8回：健康を維持・増進するための運動、ダイエット計画(意見交換) 事前学習：テキストの第7,8章を読み、それに関連することを調べておくこと。(2時間) 事後学習：テキストの見直しや、わからないところは図書館等で調べておくこと。(2時間)	
第9回：運動と水分補給、熱中症(意見交換) 事前学習：テキストの第9章を読み、それに関連することを調べておくこと。(2時間) 事後学習：テキストの見直しや、わからないところは図書館等で調べておくこと。(2時間)	

- 第10回：ウォーミングアップとクーリングダウン、応急手当（意見交換）
 事前学習：テキストの第10,11章を読み、それに関連することを調べておくこと。（2時間）
 事後学習：テキストの見直しや、わからないところは図書館等で調べておくこと。（2時間）
- 第11回：スポーツと心理のかかわり（意見交換）
 事前学習：テキストの第12章を読み、それに関連することを調べておくこと。（2時間）
 事後学習：テキストの見直しや、わからないところは図書館等で調べておくこと。（2時間）
- 第12回：今日の学校保健の問題（意見交換）
 事前学習：テキストの第13章を読み、それに関連することを調べておくこと。（2時間）
 事後学習：テキストの見直しや、わからないところは図書館等で調べておくこと。（2時間）
- 第13回：欲求、ストレスと疲労への対処法（意見交換）
 事前学習：テキストの第14章を読み、それに関連することを調べておくこと。（2時間）
 事後学習：テキストの見直しや、わからないところは図書館等で調べておくこと。（2時間）
- 第14回：地域とスポーツのかかわり、社会におけるスポーツの役割（意見交換）
 事前学習：テキストの第15,16章を読み、それに関連することを調べておくこと。（2時間）
 事後学習：テキストの見直しや、わからないところは図書館等で調べておくこと。（2時間）
- 第15回：まとめ
 事後学習：定期試験に向けテキスト等の見直しや関連項目について図書館等で調べておくこと。（4時間）
- 第16回：定期試験

各回の講義の前にテキストを読んで概要を把握し、疑問点を整理しておく。
 講義の後は、ノートや配布資料を見直して復習しておく。

授業実施方法（面接授業・遠隔授業）

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

定期試験（70%）、レポート（30%）。

成績評価基準

健康、生活習慣病、体力、運動のしくみなどに関する理論について理解できている。スポーツや運動などの身体活動が人の心身に及ぼす影響について理解できている。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書

出村慎一編著、「健康・スポーツ科学講義 第2版」、杏林書院 2022

その他（受講上の注意）

講義で学んだ知識を日常の生活や身体運動に活用できるように。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

スポーツ A (Sports A)			担当教員	青木 宏樹	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
HS-2133	1 単位	1 年前期	実技	選択	
<科目区分> 人間学部学部共通科目 環境・健康科目					
求める学習成果(教育目標)					
大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実地的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
■自他の理解能力		■コミュニケーション能力		□情報収集・探索能力	
□役割把握・認識能力		■計画実行能力		□社会・職業理解能力	
		□選択能力		■課題解決能力	

授 業 の 内 容	
生涯スポーツ、テニスを楽しむことを目指し、健康維持増進、体力の向上をねらいとする。	
授 業 の 到 達 目 標	
硬式テニスと軟式テニスとの違いを知り、ラケットの扱いやボールコントロール・サーブが出来るようになり、シングルス・ダブルスのゲームが出来ることを目標とする。 自他理解能力、コミュニケーション能力、計画をたて実行出来る能力を養成する。	
アクティブ・ラーニング	
□課題解決型学習 (PBL) □討議 (ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) □グループワーク (Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) □発表・プレゼンテーション (Teams、Zoom等) □実習、フィールドワーク ■実験、実技 □その他	
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法	
第1回：硬式テニスの歴史・変遷のまとめ 事前学習：公式テニスの歴史・変遷をまとめる (0.5時間) 事後学習：授業内容を整理し、質問事項をノートにまとめておくこと。 (0.5時間)	
第2回：コート、ラケット、ボールの大きさを知る 事前学習：コート、ボールの大きさをノートに作成する。 (0.5時間) 事後学習：授業内容を整理し、質問事項をノートにまとめておくこと。 (0.5時間)	
第3回：個人技の習得 (ラケットの握り方、ラケットになれる) 事前学習：個人技能を整理し理解を深めておくこと。 (0.5時間) 事後学習：授業の内容を整理し個人技を習得しておくこと。 (0.5時間)	
第4回：個人技の習得 (ラケット、ボールになれる、ボールコントロールの練習) 事前学習：個人技能を整理し理解を深めておくこと。 (0.5時間) 事後学習：授業の内容を整理し個人技を習得しておくこと。 (0.5時間)	
第5回：グランドストロークの実技 事前学習：実技のための個人技の習得 (0.5時間) 事後学習：グランドストロークの向上、個人技を習得しておくこと。 (0.5時間)	
第6回：フォアハンドストロークの実技 事前学習：実技のための個人技の習得 (0.5時間) 事後学習：フォアハンドストロークの向上、個人技を習得しておくこと。 (0.5時間)	
第7回：サービスサーブのルール、サービスの打ち方予習 事前学習：サービスについて調べておくこと。 (0.5時間) 事後学習：授業内容を整理し、質問事項をノートにまとめておくこと。 (0.5時間)	
第8回：サービス実技 事前学習：実技のための個人技の習得 (0.5時間) 事後学習：サービスの向上、個人技を習得しておくこと。 (0.5時間)	
第9回：ネットプレー、スマッシュ、ボレー実技 事前学習：実技のための個人技の習得 (0.5時間) 事後学習：ネットプレー、スマッシュ、ボレーの向上、個人技を習得しておくこと。 (0.5時間)	
第10回：ラリーが何回出来るか (実技) 事前学習：実技のための個人技の習得 (0.5時間) 事後学習：ラリーの向上、個人技を習得しておくこと。 (0.5時間)	

<p>第11回：基本的な攻防の戦略、審判法について学習する 事前学習：基本的な攻防の戦略、審判について調べておくこと。(0.5時間) 事後学習：ゲームの内容を振り返り課題を整理しておくこと。(0.5時間)</p> <p>第12回：ゲームの進め方を調べ、学習する 事前学習：ゲームの進め方を調べておくこと。(0.5時間) 事後学習：ゲームの内容を振り返り課題を整理しておくこと。(0.5時間)</p> <p>第13回：ポイントの呼び方を学習する 事前学習：ポイントのコールを調べておくこと。(0.5時間) 事後学習：ゲーム内でコールが出来たか確認すること。(0.5時間)</p> <p>第14回：基本技ダブルスゲーム、作戦、戦略、審判法について学習する 事前学習：基本的な攻防、戦略、審判法について調べておくこと。(0.5時間) 事後学習：ゲームの内容を振り返り課題を整理しておくこと。(0.5時間)</p> <p>第15回：ゲームまとめ 事前学習：基本的な攻防、戦略、審判法について調べておくこと。(0.5時間) 事後学習：授業の内容を振り返り課題を整理してまとめておくこと。(0.5時間)</p>
授業実施方法(面接授業・遠隔授業)
原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。
成績評価方法
技術の習得(70%)、平常点(30%)。平常点は、授業への参加状況、受講態度等を総合して判断します。
成績評価基準
軟式テニスと硬式テニスの違いを理解できているか。 ラケットの扱いやボールコントロール・サーブができるか。 シングル・ダブルスのゲームができるか。
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック
<p>1) 授業時の課題に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>3) 小レポートに対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて <input type="checkbox"/>定期試験時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>5) その他 <input type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p>
実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)
テキスト、参考図書
必要に応じて授業内で配付する。
その他(受講上の注意)
<p>原則として全出席を求め、遅刻、早退は認めない。 トレーニングウェア着用のこと。原則として見学の場合もトレーニングウェア着用のこと。 春先、外気温が上がるため、水分補給に注意する。 新聞、テレビのメディアでよく取り上げられている、世界大会(日本の選手)、県内高校、一般(インターハイ、国体)の大会に関心を持って情報を得るようにする。</p>
オフィスアワー
UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

スポーツ B (Sports B)			担当教員	青木 宏樹	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
HS-2134	1 単位	1 年後期	実技	選択	
<科目区分> 人間学部学部共通科目 環境・健康科目					
求める学習成果(教育目標)					
大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実地的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input checked="" type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力		<input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 計画実行能力		<input type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題解決能力	
<input type="checkbox"/> 社会・職業理解能力					

授 業 の 内 容	
バスケットボールを楽しむことができるボール操作技術、コンビネーションプレー等を学ぶ。	
授 業 の 到 達 目 標	
正確なシュート、パス、ドリブルに加え、コンビネーションプレー等が行えるようになる。	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習 (PBL) <input type="checkbox"/> 討議 (ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク (Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション (Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input checked="" type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法	
第1回：バスケットボールの起源・歴史 事前学習：バスケットの起源や歴史を調べる。(0.5時間) 事後学習：授業内容をノートにまとめて復習する。(0.5時間)	
第2回：バスケットボールのルール 事前学習：バスケットボールの主なルールを調べる。(0.5時間) 事後学習：授業内容をノートにまとめて復習する。(0.5時間)	
第3回：パス (クイックパス、リードパス) 事前学習：パスの種類を調べる (0.5時間) 事後学習：パスの技術課題に取り組む。(0.5時間)	
第4回：ドリブル (ジグザグドリブル) 事前学習：ドリブルの種類を調べる。(0.5時間) 事後学習：ドリブルの技術課題に取り組む。(0.5時間)	
第5回：シュート① (セットシュート、ジャンプシュート) 事前学習：シュートの種類を調べる (0.5時間) 事後学習：シュートの技術課題に取り組む。(0.5時間)	
第6回：シュート② (レイアップシュート、レイバックシュート) 事前学習：シュートの種類を調べる。(0.5時間) 事後学習：シュートの技術課題に取り組む。(0.5時間)	
第7回：技能評価 事前学習：パス、ドリブル、及びシュートの技術課題に取り組む。(0.5時間) 事後学習：授業内容をノートにまとめて復習する。(0.5時間)	
第8回：コンビネーション① (3×3) 事前学習：コンビネーション (3×3) を調べる。(0.5時間) 事後学習：授業内容をノートにまとめて復習する。(0.5時間)	
第9回：3×3のゲーム① 事前学習：3×3のゲームの基本的なルール及び戦術を調べる。(0.5時間) 事後学習：ゲームの課題を整理し、ノートにまとめる。(0.5時間)	
第10回：3×3のゲーム② 事前学習：3×3のゲームの基本的なルール及び戦術を調べる。(0.5時間) 事後学習：ゲームの課題を整理し、ノートにまとめる。(0.5時間)	
第11回：コンビネーション② (5×5) 事前学習：コンビネーション (5×5) を調べる。(0.5時間) 事後学習：授業内容をノートにまとめて復習する。(0.5時間)	

<p>第12回：審判実施方法 事前学習：主な審判の実施方法について調べる。(0.5時間) 事後学習：授業内容をノートにまとめて復習する。(0.5時間)</p> <p>第13回：5×5のゲーム① 事前学習：5×5のゲームの戦術について調べる。(0.5時間) 事後学習：ゲームの課題を整理し、ノートにまとめる。(0.5時間)</p> <p>第14回：5×5のゲーム② 事前学習：5×5のゲームの戦術について調べる。(0.5時間) 事後学習：ゲームの課題を整理し、ノートにまとめる。(0.5時間)</p> <p>第15回：5×5のゲーム③ 事前学習：5×5のゲームの戦術について調べる。(0.5時間) 事後学習：ゲームの課題を整理し、ノートにまとめる。(0.5時間)</p>
授業実施方法(面接授業・遠隔授業)
原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。
成績評価方法
技能評価点(70%)、取り組み点(30%)により評価する。取り組み点は、授業参加の積極性、態度等を総合的に評価する。
成績評価基準
パス、ドリブル、シュートの基本技術を習得できているか。
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック
<p>1) 授業時の課題に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>3) 小レポートに対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて <input type="checkbox"/>定期試験時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>5) その他 <input type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p>
実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)
テキスト、参考図書
教員が適宜資料を配布する。
その他(受講上の注意)
<p>実技授業のため、全出席を求める。遅刻、早退は取り組み点に反映する。 スポーツウェア(ジャージ)着用必須。見学者もスポーツウェア(ジャージ)着用必須。 授業中は、積極的に水分補給をすること。</p>
オフィスアワー
UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

英語 I a (English I a)		担当教員	矢橋 知枝、Mクズヅ、フッド晴美、 水谷 善長	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分
HS-2140	1 単位	1 年前期	演習	必修
<科目区分> 人間学部学部共通科目 外国語科目				
求める学習成果(教育目標)				
大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実地的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。				
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)				
<input checked="" type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input type="checkbox"/> 課題解決能力				

授 業 の 内 容	
Following a 'Warm-up' activity to introduce the theme of the unit, students will be introduced to the relevant grammar and vocabulary through a series of listening and speaking exercises. Reading, writing, and presentation exercises will follow to reinforce their knowledge of the material.	
授 業 の 到 達 目 標	
Upon finishing the course, students will be able to express themselves freely in general conversation through exchanging personal information and talking about their daily lives. Additionally, students will be able to listen for key words and specific information in a variety of situations. The ability to scan for general information and read for specific information will be enhanced as well as the ability to write short letters, descriptions, and articles on a variety of subjects.	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習 (PBL) <input checked="" type="checkbox"/> 討議 (ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク (Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション (Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法	
第 1 回：Class Introduction (ディスカッション) 事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと (30分) 事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)	
第 2 回：Unit 1 - Jobs ① (ディスカッション) 事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと (30分) 事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)	
第 3 回：Unit 1 - Jobs ② (ディスカッション) 事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと (30分) 事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)	
第 4 回：Unit 2 - Daily activities ① (ディスカッション) 事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと (30分) 事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)	
第 5 回：Unit 2 - Daily activities ② (ディスカッション) 事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと (30分) 事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)	
第 6 回：Unit 3 - At the moment ① (ディスカッション) 事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと (30分) 事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)	
第 7 回：Unit 3 - At the moment ② (ディスカッション) 事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと (30分) 事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)	
第 8 回：Review (ディスカッション) 事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと (30分) 事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)	
第 9 回：Unit 4 - Feelings ① (ディスカッション) 事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと (30分) 事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)	

- 第10回：Unit 4 - Feelings ② (ディスカッション)
 事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと (30分)
 事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)
- 第11回：Unit 5 - On the weekend ① (ディスカッション)
 事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと (30分)
 事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)
- 第12回：Unit 5 - On the weekend ② (ディスカッション)
 事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと (30分)
 事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)
- 第13回：Unit 6 - Downtown ① (ディスカッション)
 事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと (30分)
 事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)
- 第14回：Unit 6 - Downtown ② (ディスカッション)
 事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと (30分)
 事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)
- 第15回：Cumulative Review (ディスカッション)
 事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと (30分)
 事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)
- 第16回：Examination

Before starting each unit, students are to familiarize themselves with the class material by reviewing the 'Grammar Talk' pages for each unit and completing the exercises on those pages. Students must also complete homework assignments as instructed by their teacher, such as the writing assignments suggested in the textbook as well as other relevant assignments.

Furthermore, students will be tasked with self-study activities in preparation for the TOEIC through the use of NetAcademy NEXT software.

授業実施方法 (面接授業・遠隔授業)

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

Outside-class Activities (i.e., 'Grammar Talk' pages & other homework assignments, NetAcademy NEXT usage, etc.) - 20% 【授業外課題 20% (【例】文法参照ページ & 宿題・NetAcademy NEXT (オンライン学習)・他)】
 Proactive In-class Participation - 20% 【積極的な授業参加度 20%】
 Examination - 60% 【試験 60%】

成績評価基準

Students' ability to understand and participate in general conversation on everyday topics will be evaluated, as well the ability to read and comprehend short, written passages.

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

Stempleski, Susan. Stretch 1 (First Edition). 2014. Oxford University Press ISBN 978-0-19-460312-6.
 TEX加藤 『TOEIC L&R TEST 出る単特急 金のフレーズ』 朝日新聞出版 2017年

その他(受講上の注意)

Prior to the beginning of the semester, a mandatory general English pre-evaluation test will be administered. 【入学時にプレースメントテストを実施する】 Also, during the semester, a number of classes will be held in the Computer Assisted Language Learning laboratory (E-303) for the purpose of familiarizing students with the use of NetAcademy NEXT software.

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

英語 I b (English I b)		担当教員	矢橋 知枝、Mクズヰフ、フッド晴美、 水谷 善長	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分
HS-2141	1 単位	1 年後期	演習	必修
<科目区分> 人間学部学部共通科目 外国語科目				
求める学習成果(教育目標)				
大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実地的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。				
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)				
<input checked="" type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input type="checkbox"/> 課題解決能力				

授 業 の 内 容	
Following a 'Warm-up' activity to introduce the theme of the unit, students will be introduced to the relevant grammar and vocabulary through a series of listening and speaking exercises. Reading, writing, and presentation exercises will follow to reinforce their knowledge of the material.	
授 業 の 到 達 目 標	
Upon finishing the course, students will be able to express themselves freely in general conversation through exchanging personal information and talking about their daily lives. Additionally, students will be able to listen for key words and specific information in a variety of situations. The ability to scan for general information and read for specific information will be enhanced as well as the ability to write short letters, descriptions, and articles on a variety of subjects.	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習 (PBL) <input checked="" type="checkbox"/> 討議 (ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク (Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション (Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法	
第 1 回：Class Introduction (ディスカッション) 事前学習：前期の学習を振り返っておくこと (30分) 事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)	
第 2 回：Unit 7 - People we admire ① (ディスカッション) 事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと (30分) 事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)	
第 3 回：Unit 7 - People we admire ② (ディスカッション) 事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと (30分) 事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)	
第 4 回：Unit 8 - At a supermarket ① (ディスカッション) 事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと (30分) 事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)	
第 5 回：Unit 8 - At a supermarket ② (ディスカッション) 事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと (30分) 事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)	
第 6 回：Unit 9 - Health problems ① (ディスカッション) 事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと (30分) 事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)	
第 7 回：Unit 9 - Health problems ② (ディスカッション) 事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと (30分) 事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)	
第 8 回：Review (ディスカッション) 事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと (30分) 事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)	
第 9 回：Unit 10 - Cities ① (ディスカッション) 事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと (30分) 事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)	

- 第10回：Unit 10 - Cities ② (ディスカッション)
 事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと (30分)
 事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)
- 第11回：Unit 11 - Music ① (ディスカッション)
 事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと (30分)
 事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)
- 第12回：Unit 11 - Music ② (ディスカッション)
 事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと (30分)
 事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)
- 第13回：Unit 12 - Travel plans ① (ディスカッション)
 事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと (30分)
 事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)
- 第14回：Unit 12 - Travel plans ② (ディスカッション)
 事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと (30分)
 事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)
- 第15回：Cumulative Review (ディスカッション)
 事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと (30分)
 事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)
- 第16回：Examination

Before each unit, students are to familiarize themselves with the class material by reviewing the 'Grammar Talk' pages for each unit and completing the exercises on those pages. Students must also complete homework assignments as instructed by their teacher, such as the writing assignments suggested in the textbook as well as other relevant assignments.

Furthermore, students will be tasked with self-study activities in preparation for the TOEIC through the use of NetAcademy NEXT software.

授業実施方法 (面接授業・遠隔授業)

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

Outside-class Activities (i.e., 'Grammar Talk' pages & other homework assignments, NetAcademy NEXT usage, etc.) - 20% 【授業外課題 20% ([例] 文法参照ページ & 宿題・NetAcademy NEXT (オンライン学習)・他)
 Proactive In-class Participation - 20% 【積極的な授業参加度 20%】
 Examination - 60% 【試験 60%】

成績評価基準

Students' ability to understand and participate in general conversation on everyday topics will be evaluated, as well the ability to read and comprehend short, written passages.

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

Stempleski, Susan. Stretch 1 (First Edition). 2014. Oxford University Press ISBN 978-0-19-460312-6.
 TEX加藤 『TOEIC L&R TEST 出る単特急 金のフレーズ』 朝日新聞出版 2017年

その他(受講上の注意)

During the semester, a number of classes will be held in the Computer Assisted Language Learning laboratory (E-303) for the purpose of familiarizing students with the use of NetAcademy NEXT software.
An additional mandatory general English post-evaluation test to monitor achievement will be given at the end of the semester. 【TOEIC IPテスト(アチーブメントテスト)受験が単位取得条件である】

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

フランス語 a (French a)			担当教員	大竹口 麻里	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
HS-2142	1 単位	1 年前期	演習	選択	
<科目区分> 人間学部学部共通科目 外国語科目					
求める学習成果(教育目標)					
大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実地的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input checked="" type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
「フランス語技能検定試験(仏検)」の4級程度の、フランス語の発音と単語及び文の構造を学ぶ。	
授 業 の 到 達 目 標	
1) 綴り字と発音の関係を学び、早い段階で臆することなくフランス語を発音できる。 2) 初級文法を学び簡単な会話文が読み書くことができる。	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input checked="" type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法	
第1回：フランス語について、ABCの発音、あいさつ 事前学習：CDでアルファベを聞いておくこと。(0.5時間) 事後学習：自分の名前をノートに書いて発音しすらすら言えるようにしておく。(0.5時間)	
第2回：第1課 綴り字の読み方・自己紹介する 事前学習：テキスト1課の単語調べをする。(0.5時間) 事後学習：綴字の短母音字についてまとめる。(0.5時間)	
第3回：第1課 自己紹介する 事前学習：Dialogueとlectureを訳す。(0.5時間) 事後学習：テキストp12の練習問題を解く。(0.5時間)	
第4回：第2課 物を指し示す① 事前学習：テキスト2課の単語調べをする。(0.5時間) 事後学習：テキストp16の練習問題を解く。(0.5時間)	
第5回：第2課 物を指し示す② 事前学習：DialogueとLectureを訳す。(0.5時間) 事後学習：授業で配布したプリントの練習問題を解く。(0.5時間)	
第6回：第3課 尋ねる① 事前学習：テキスト第3課の単語を調べておく。(0.5時間) 事後学習：-er動詞parler aimer活用させ、まとめておき覚える。(0.5時間)	
第7回：第3課 尋ねる② 事前学習：DialogueとLectureを訳す。(0.5時間) 事後学習：授業で配布したプリントの練習問題を解く。テキストp22仏検5級をめざして1を解いておく。(0.5時間)	
第8回：第4課 買い物をする① 事前学習：テキスト第4課の単語調べをする。(0.5時間) 事後学習：テキストp26の練習問題を解いておく。(0.5時間)	
第9回：第4課 買い物をする② 事前学習：DialogueとLectureを訳す。(0.5時間) 事後学習：授業で配布したプリントの練習問題を解く。(0.5時間)	
第10回：第5課 物事や人について尋ねる 事前学習：テキスト第5課の単語調べをする。(0.5時間) 事後学習：テキストp30の練習問題を解く。(0.5時間)	

- 第11回：第5課 物事や人についてたずねる
 事前学習：DialogueとLectureを訳す。(0.5時間)
 事後学習：授業で配布したプリントの練習問題を解く。(0.5時間)
- 第12回：第6課 場所を尋ねる
 事前学習：テキスト6課の単語調べをしておく。(0.5時間)
 事後学習：テキストp34の練習問題を解く。(0.5時間)
- 第13回：第6課 場所を尋ねる
 事前学習：Dialogueとlectureを訳す。(0.5時間)
 事後学習：授業で配布したプリントの練習問題を解く。(0.5時間)
- 第14回：第7課 ～したいと言う
 事前学習：テキスト第7課の単語を調べておく。(0.5時間)
 事後学習：テキスト p 38の練習問題を解いておく。(0.5時間)
- 第15回：第7課～したいと言う
 事前学習：DialogueとLectureを訳す。(0.5時間)
 事後学習：授業で配布したプリントの練習問題を解く。(0.5時間)
- 第16回：定期試験

授業実施方法(面接授業・遠隔授業)

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

定期試験70%、平常点30% (平常点は、授業への参加状況・受講態度、質問用紙等の提出状況等を総合して判断します。)

成績評価基準

- 綴り字と発音の関係を理解し、早い段階で臆することなくフランス語を発音できるか。
- 初級文法及び簡単な会話文が読み書きができるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他(後期第1回目の授業時)
- その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

藤田裕二著『パリーボルドー』朝日出版社 2016
 『ベーシッククラウン仏和和仏辞典』三省堂

その他(受講上の注意)

仏和辞書を毎回持ってくる。辞書については初回の授業で説明します。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

フランス語 b (French b)			担当教員	大竹口 麻里	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
HS-2143	1 単位	1 年後期	演習	選択	
<科目区分> 人間学部学部共通科目 外国語科目					
求める学習成果(教育目標)					
大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実地的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input checked="" type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
「フランス語技能検定試験(仏検)」の4級程度の、フランス語の発音と単語及び文の構造を学ぶ。	
授 業 の 到 達 目 標	
1) テキストの内容について滑らかにフランス語を発音できるようになること。 2) テキストの内容や自分自身について質問されたことについてフランス語で書くことができるようになること。	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input checked="" type="checkbox"/> その他(毎回授業の最初にペアワークでDialogueを役に分かれて発音する。)	
授業の計画及び授業外の学習方法	
第1回：第8課 興味を述べる 事前学習：テキスト第8課の単語調べをする。(0.5時間) 事後学習：テキスト p 44の練習問題を解く。(0.5時間)	
第2回：第8課 興味を述べる 事前学習：DialogueとLectureを訳す。(0.5時間) 事後学習：授業で配布したプリントの練習問題を解く。(0.5時間)	
第3回：第9課 誘う 事前学習：テキスト第9課の単語調べをする。(0.5時間) 事後学習：テキスト p 48の練習問題を解く。(0.5時間)	
第4回：第9課 誘う 事前学習：DialogueとLectureを訳す。(0.5時間) 事後学習：授業で配布したプリントの練習問題を解く。(0.5時間)	
第5回：第10課 天候と時刻を言う 事前学習：テキスト第10課の単語調べをする。(0.5時間) 事後学習：テキスト p 52の練習問題を解く。(0.5時間)	
第6回：第10課 天候と時刻を言う 事前学習：DialogueとLectureを訳す。(0.5時間) 事後学習：授業で配布したプリントの練習問題を解く。(0.5時間)	
第7回：第11課 数量を表す 事前学習：テキスト第11課の単語調べをする。(0.5時間) 事後学習：テキスト p 58の練習問題を解いておくこと。(0.5時間)	
第8回：第11課数量を表す 事前学習：DialogueとLectureを訳す。(0.5時間) 事後学習：授業で配布したプリントの練習問題を解く。(0.5時間)	
第9回：第12課 比較する 事前学習：テキスト第12課の単語調べをする。(0.5時間) 事後学習：テキスト p 62の練習問題を解く。(0.5時間)	
第10回：第12課 比較する 事前学習：DialogueとLectureを訳す。(0.5時間) 事後学習：授業で配布したプリントの練習問題を解く。(0.5時間)	

- 第11回：第13課 過去のことを話す①
事前学習：テキスト第13課の単語調べをする。(0.5時間)
事後学習：テキスト p 66の練習問題を解く。仏検4級を目指して2を解く。(0.5時間)
- 第12回：第13課 過去のことを話す②
事前学習：DialogueとLectureを訳す。(0.5時間)
事後学習：授業で配布したプリントの練習問題を解く。(0.5時間)
- 第13回：第14課 仮定する①
事前学習：テキスト14課の単語調べをする。(0.5時間)
事後学習：p 72の練習問題を解く。(0.5時間)
- 第14回：第14課 仮定する②
事前学習：DialogueとLectureを訳す。(0.5時間)
事後学習：授業で配布したプリントの練習問題を解く。(0.5時間)
- 第15回：総復習
事前学習：テキスト第8課～第14課の内容を整理し、質問事項をまとめる。(0.5時間)
事後学習：授業の中で取り上げた最重要項目についてよく復習する。(0.5時間)
- 第16回：定期試験

授業実施方法(面接授業・遠隔授業)

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

定期試験70% 平常点30% (平常点は、授業への参加状況・受講態度、質問用紙等の提出状況等を総合して判断します。)

成績評価基準

- 1) フランス語の滑らかな発音ができるか。
- 2) 簡単な質問に対してフランス語で回答できるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

藤田裕二著『パリーボルドー』朝日出版社 2016
『ベーシッククラウン仏和和仏辞典』三省堂

その他(受講上の注意)

辞書は毎回持ってくること。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

ドイツ語 a (German a)			担当教員	橋本 武志	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
HS-2144	1 単位	1 年前期	演習	選択	
<科目区分> 人間学部学部共通科目 外国語科目					
求める学習成果(教育目標)					
大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実地的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input checked="" type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力		<input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力		<input type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 課題解決能力	

授 業 の 内 容	
ドイツ語の発音と単語、文の構造を学ぶ。	
授 業 の 到 達 目 標	
ドイツ語のアルファベットの発音、単語の読み方、規則的な動詞変化(現在形)、定冠詞・不定冠詞の格変化を習得し、簡単なドイツ語のあいさつや、ドイツ語の単文をある程度読み、書き、発音することができるようになることを目的とする。	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input checked="" type="checkbox"/> その他(ペアワーク)	
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法	
第1回: Lektion 1 ドイツ語という言葉の説明・アルファベット 事前学習: テキストのアルファベットのページを読み、CDを聞いて音読しておくこと(0.5時間) 事後学習: 宿題を完成させておくこと(0.5時間)	
第2回: Lektion 1 いろいろな単語を発音してみよう1 事前学習: テキストの単語の発音のページを読み、CDを聞いて音読しておくこと(0.5時間) 事後学習: 宿題を完成させておくこと(0.5時間)	
第3回: Lektion 1 いろいろな単語を発音してみよう2(ペアワーク10分) 事前学習: テキストのあいさつのページを読み、CDを聞いて音読しておくこと(0.5時間) 事後学習: 宿題を完成させておくこと(0.5時間)	
第4回: Lektion 2 動詞の人称変化1 事前学習: テキストの人称変化のページを読み、CDを聞いて音読しておくこと(0.5時間) 事後学習: 宿題を完成させておくこと(0.5時間)	
第5回: Lektion 2 動詞の人称変化2・文の作り方 事前学習: 動詞の不規則な人称変化のページを読み、CDを聞いて音読しておくこと(0.5時間) 事後学習: 宿題を完成させておくこと(0.5時間)	
第6回: 復習テスト1 事前学習: テキスト・プリントのこれまでのページを読み、復習しておくこと(0.5時間) 事後学習: 復習テストの間違った箇所を復習し、宿題を完成させておくこと(0.5時間)	
第7回: Lektion 3 名詞の性 事前学習: 名詞の性のページを読み、CDを聞いて音読しておくこと(0.5時間) 事後学習: 宿題を完成させておくこと(0.5時間)	
第8回: Lektion 3 定冠詞の格変化1 事前学習: 定冠詞のページを読み、CDを聞いて音読しておくこと(0.5時間) 事後学習: 宿題を完成させておくこと(0.5時間)	
第9回: Lektion 3 定冠詞の格変化2 事前学習: 定冠詞のページを読み、CDを聞いて音読しておくこと(0.5時間) 事後学習: 宿題を完成させておくこと(0.5時間)	
第10回: Lektion 3 不定冠詞の格変化1 事前学習: 不定冠詞のページを読み、CDを聞いて音読しておくこと(0.5時間) 事後学習: 宿題を完成させておくこと(0.5時間)	

- 第11回：Lektion 3 不定冠詞の格変化2
 事前学習：不定冠詞のページを読み、CDを聞いて音読しておくこと (0.5時間)
 事後学習：宿題を完成させておくこと (0.5時間)
- 第12回：復習テスト2
 事前学習：テキスト・プリントのこれまでのページを読み、復習しておくこと (0.5時間)
 事後学習：復習テストの間違った箇所を復習し、宿題を完成させておくこと (0.5時間)
- 第13回：定冠詞・不定冠詞の復習 (混合問題)
 事前学習：テキスト・プリントの定冠詞・不定冠詞の箇所を復習しておくこと (0.5時間)
 事後学習：宿題を完成させておくこと (0.5時間)
- 第14回：Lektion 8 形容詞の用法
 事前学習：形容詞のページを読み、CDを聞いて音読しておくこと (0.5時間) (0.5時間)
 事後学習：宿題を完成させておくこと (0.5時間)
- 第15回：これまでのまとめ
 事前学習：前期授業の復習を行い、わからないところは質問を考えておくこと (0.5時間)
 事後学習：質問への回答を用いて、定期試験に備え前期の総復習しておくこと (0.5時間)
- 第16回：定期試験

授業実施方法 (面接授業・遠隔授業)

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

定期試験 (70%)、平常点 (30%)
 (平常点は、授業への参加状況小テストへの取り組みなどを総合して判断します)

成績評価基準

- ・ドイツ語の発音の規則を理解し、知らない単語にも応用することができるか。
- ・動詞変化の基本的規則を理解し、自分で動詞を変化させることができるか。
- ・英語にはない動詞の「性および格」について理解し、冠詞変化規則を応用することができるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験 (レポート試験を含む) に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員 (経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

- (1) 西村祐子 ルドルフ・ペトリック 『新・行ってみたいドイツ』 郁文堂 2013年
 - (2) 在間 進 『新キャンパス独和辞典』 郁文堂 2011年
- 初学者には電子辞書は不向きなので、書籍版を購入すること。すでに書籍版の辞書を持っている人は、自分の持っている辞書でもよい。辞書の種類や使い方については初回の授業で説明します。

その他 (受講上の注意)

- ・語学の授業は、出席しないことには身につかない。できるかぎり出席すること。
- ・毎回練習問題を宿題として出すので、必ずやってきてから授業に臨むこと。毎回の授業は宿題の答え合わせから始める。間違った問題は必ず復習しておくこと。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

ドイツ語 b (German b)			担当教員	橋本 武志	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
HS-2145	1 単位	1 年後期	演習	選択	
<科目区分> 人間学部学部共通科目 外国語科目					
求める学習成果(教育目標)					
大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実地的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
■自他の理解能力		■コミュニケーション能力		□情報収集・探索能力	
□役割把握・認識能力		□計画実行能力		□社会・職業理解能力	
		□選択能力		□課題解決能力	

授 業 の 内 容	
ドイツ語aにつづいて、ドイツ語のやや高次な初級文法について学ぶ。	
授 業 の 到 達 目 標	
ドイツ語の定冠詞・不定冠詞類の格変化、前置詞、助動詞を習得し、英語とは異なるドイツ語独自の「ワク構造」について理解する。	
アクティブ・ラーニング	
□課題解決型学習 (PBL) □討議 (ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) □グループワーク (Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) □発表・プレゼンテーション (Teams、Zoom等) □実習、フィールドワーク □実験、実技 ■その他 (ペアワーク)	
授業の計画及び授業外の学習方法	
第1回：ドイツ語aの復習 事前学習：ドイツ語aで学んだ総復習をしておくこと (0.5時間) 事後学習：授業で用いた資料の間違い直しをしておくこと (0.5時間)	
第2回：Lektion 5 定冠詞類・不定冠詞類 1 (ペアワーク) 事前学習：テキストの定冠詞類のページを読み、CDを聞いておくこと (0.5時間) 事後学習：宿題を完成させておくこと (0.5時間)	
第3回：Lektion 5 定冠詞類・不定冠詞類 2 (ペアワーク) 事前学習：テキストの不定冠詞類のページを読み、CDを聞いておくこと (0.5時間) 事後学習：宿題を完成させておくこと (0.5時間)	
第4回：Lektion 4 名詞の複数形 事前学習：テキストの複数名詞のページを読み、CDを聞いておくこと (0.5時間) 事後学習：宿題を完成させておくこと (0.5時間)	
第5回：Lektion 3 人称代名詞 事前学習：テキストの人称代名詞のページを読み、CDを聞いておくこと (0.5時間) 事後学習：宿題を完成させておくこと (0.5時間)	
第6回：小テスト 1 事前学習：小テストにむけてこれまでの復習をしておくこと (0.5時間) 事後学習：小テスト 1 の間違い直しをし、宿題を完成させておくこと (0.5時間)	
第7回：Lektion 4 不規則動詞 事前学習：テキストの不規則動詞のページを読み、CDを聞いておくこと (0.5時間) 事後学習：宿題を完成させておくこと (0.5時間)	
第8回：Lektion 6 前置詞 1 事前学習：テキストの 3 格、4 格支配の前置詞のページを読み、CDを聞いておくこと (0.5時間) 事後学習：宿題を完成させておくこと (0.5時間)	
第9回：Lektion 6 前置詞 2 事前学習：テキストの 3・4 格支配の前置詞のページを読み、CDを聞いておくこと (0.5時間) 事後学習：宿題を完成させておくこと (0.5時間)	
第10回：Lektion 6 前置詞 3 事前学習：テキストの前置詞の縮約形のページを読み、CDを聞いておくこと (0.5時間) 事後学習：宿題を完成させておくこと (0.5時間)	

- 第11回：Lektion 7 話法の助動詞とワク構造
 事前学習：テキストの話法の助動詞のページを読み、CDを聞いておくこと (0.5時間)
 事後学習：宿題プリントを完成させておくこと (0.5時間)
- 第12回：小テスト 2
 事前学習：小テストにむけてこれまでの復習をしておくこと (0.5時間)
 事後学習：小テスト 1 の間違い直しをし、宿題を完成させておくこと (0.5時間)
- 第13回：Lektion10 動詞の 3 基本形と過去形
 事前学習：テキストの動詞の過去形のページを読み、CDを聞いておくこと (0.5時間)
 事後学習：返却された小テスト 2 の間違い直しをし、宿題を完成させておくこと (0.5時間)
- 第14回：Lektion11 現在完了形とワク構造 1
 事前学習：テキストの現在完了形のページを読み、CDを聞いておくこと (0.5時間)
 事後学習：宿題を完成させておくこと (0.5時間)
- 第15回：Lektion11 現在完了形とワク構造 2
 事前学習：テキストの現在完了形のページを読み、CDを聞いておくこと (0.5時間)
 事後学習：宿題を完成させておくこと (0.5時間)
- 第16回：定期試験

授業実施方法(面接授業・遠隔授業)

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

定期試験 (70%)、平常点 (30%)
 (平常点は、授業への参加状況、受講態度、小テストへの取り組みを総合して判断します)

成績評価基準

・冠詞類、動詞の不規則変化、前置詞、話法の助動詞について理解し、ある程度応用できるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

- (1) 西村祐子 ルドルフ・ペトリック 『新・行ってみたいドイツ』 郁文堂 2013年
 - (2) 在間 進 『新キャンパス独和辞典』 郁文堂 2011年
- 初学者には電子辞書は不向きなので、書籍版を購入すること。すでに書籍版の辞書を持っている人は、自分の持っている辞書でもよい。辞書の種類や使い方については初回の授業で説明します。

その他(受講上の注意)

- ・語学の授業は、出席しないことには身につかない。できるかぎり出席すること。また、私語が多い場合には、その回は欠席扱いにすることがある。
- ・毎回テキストやプリントの練習問題を宿題として出すので、必ずやってきてから授業に臨むこと。毎回の授業は宿題の答え合わせから始める。間違った問題は必ず復習しておくこと。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

中国語 a (Chinese a)			担当教員	ショウ ロ	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
HS-2146	1 単位	1 年前期	演習	選択	
<科目区分> 人間学部学部共通科目 外国語科目					
求める学習成果(教育目標)					
大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実地的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
10分・発音練習、60分・演習と解説、20分・まとめと質疑応答。中国語の学習を進めていく上で基礎知識を学習し、中国語の検定試験準4級のレベルをめざす。	
授 業 の 到 達 目 標	
1、中国語の発音に関して、表音ローマ字の読み方と綴り方を取得する。 2、中国語の簡略字を正しく読み取れる。 3、基礎単語300語程度を覚える。 4、簡単な日常あいさつ用語30語程度を聞き取れる、応答ができる。 5、簡単な基本文型20語程度を取得し、基本的な事項の確認や、自分の意思を伝えられる。 6、演習会話を通してコミュニケーション能力を高めることを目標とする。	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input checked="" type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授業の計画及び授業外の学習方法	
第1回：発音とピンイン1。一字一音、ピンイン、声調、母音。 事後学習：録音を聞きながら、発音を練習すること。課題1(1時間) 第2回：発音とピンイン2。子音、中国語の数字を言う、よく使う日常挨拶用語I。 事後学習：録音を聞きながら、発音を練習すること。課題2(1時間) 第3回：発音とピンイン3。声調の変化、軽声、声調の組合せ。スマートフォン、パソコンに簡体中文の入力を設定する。簡体中文で入力する。 事後学習：録音を聞きながら、発音を練習すること。練習問題を簡体中文で打って友達に送ってみましょう。課題3(1時間) 第4回：人称代名詞。判断動詞“是”。 事後学習：録音を聞きながら、繰り返し発音を練習すること。課題4(1時間) 第5回：疑問を表わす“吗”。中国語の基本的な語順。 事前学習：録音を聞きながら、繰り返し発音を練習すること。課題5。(1時間) 第6回：疑問詞疑問文。名前の尋ね方と答え方。 事前学習：録音を聞きながら、繰り返し発音を練習すること。課題6。(1時間) 第7回：動詞“有”。語気助詞“了”。 事前学習：練習問題を簡体中文で打つ練習。課題7。(1時間) 第8回：名詞述語文。数量詞の位置。 事後学習：練習問題を簡体中文で打つ練習。課題8。(1時間) 第9回：介詞“在～”。場所を表わす代名詞。 事後学習：練習問題を簡体中文で打つ練習。課題9。(1時間) 第10回：連動文。助動詞“想”。 事後学習：練習問題を簡体中文で打つ練習。課題10。(1時間) 第11回：語気助詞“吧”。時刻の言い方。時を表わす言葉。 事前学習：練習問題を簡体中文で打つ練習。課題11。(1時間) 第12回：助詞“的”。形容詞述語文。 事前学習：練習問題を簡体中文で打つ練習。課題12。(1時間)	

- 第13回：動態助詞“过”。動詞の重ね型。
事後学習：練習問題を簡体中文で打つ練習。課題13。(1時間)
- 第14回：二重目的語。禁止を表わす“別”と“不要”。
事前学習：練習問題を簡体中文で打つ練習。課題14。(1時間)
- 第15回：“的”構文。助動詞“能”。曜日の言い方。
事後学習：練習問題を簡体中文で打つ練習。課題15。(1時間)
- 第16回：定期試験

授業実施方法(面接授業・遠隔授業)

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

定期試験(50%) 課題練習の成績(30%) 平常点(20%)
(平常点は、授業への参加状況・受講態度、質問用紙の提出状況等を総合して判断します)

成績評価基準

- 1、表音のローマ字の読みと綴りをすることができるか。
- 2、常用簡略字が読み取れるか。
- 3、基礎単語300語程度が話せるか。
- 4、簡単日常あいさつ語を聞き、応答できるか。
- 5、簡単な言葉で事項の確認や自分の意思を伝えられるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他(遠隔授業実施の場合は仁大eラーニング)
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

徐 送迎 著 『活躍しよう! 中国語(初級)』 朝日出版社

その他(受講上の注意)

積極的に授業に参加すること。授業中に大声で発声すること。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

中国語 b (Chinese b)			担当教員	ショウ ロ	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
HS-2147	1 単位	1 年後期	演習	選択	
<科目区分> 人間学部学部共通科目 外国語科目					
求める学習成果(教育目標)					
大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実地的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
10分・発音練習、60分・演習と解説、20分・まとめと質疑応答。中国語を読むこと、話すことを重点において学習し、中国語の検定試験準4級合格をめざす。	
授 業 の 到 達 目 標	
1、中国語表音ローマ字による発音ができる。 2、基礎単語500語程度を使って、簡単な中国語の日本語訳と日本語の中国語訳ができる。 3、日常あいさつ用語50語程度を聞き取れる、応答ができる。 4、簡単な基本文型50語程度を利用し、基本的な事項の確認や、自分の意思を自然に伝えられる。 5、演習会話を通してコミュニケーション能力を高めることを目標とする。	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input checked="" type="checkbox"/> その他(ペアワーク)	
授業の計画及び授業外の学習方法	
第1回：中国語aの復習Ⅰ。年月日の言い方、中国の祭日の映像を見る。 事後学習：中国語aの復習プリントを配る、次週に提出すること。(1時間) 第2回：中国語aの復習Ⅱ。基本文型の復習。 事前学習：日本の四季の紹介文の翻訳。(1時間) 第3回：動量補語。指示代名詞。会話作り及び発表《日本の四季》。(ペアワーク) 事後学習：友達を紹介する文の作り、次週に提出すること。(1時間) 第4回：挿入語“听说～”。動態助詞“了”。会話作り及び発表《介绍朋友》。(ペアワーク) 事前学習：中国の有名な都市を調べること。(1時間) 第5回：動詞“喜欢”。助動詞“会”。会話作り及び発表《介绍中国的城市》。(ペアワーク) 事後学習：自分の趣味に関する文作り、次週に提出すること。(1時間) 第6回：反復疑問文。助動詞“可以”。年月日の言い方。会話作り及び発表《谈爱好》。(ペアワーク) 事前学習：挨拶用語のプリントを配る、次週に提出すること。(1時間) 第7回：道の尋ね方。時量補語。会話作り及び発表《寒暄交谈》。(ペアワーク) 事後学習：道を尋ねる文作り、次週に提出すること。(1時間) 第8回：動態助詞“着”。動詞“在”。方位詞。会話作り及び発表《向行人问路》。(ペアワーク) 事前学習：中国料理の単語を調べること。(1時間) 第9回：結果補語。介詞“离～”。会話作り及び発表《喜欢的菜》。(ペアワーク) 事前学習：料理を注文する文作り、次週に提出すること。(1時間) 第10回：選択疑問文“(是)A, 还是B”。料理を注文する動詞“要”と“来”。会話作り及び発表《在餐厅》。 (ペアワーク) 事後学習：乗り物の乗り方を宿題し、次週に提出すること。(1時間) 第11回：単純方向補語。主述述語文。会話作り及び発表《公共交通》。(ペアワーク) 事前学習：病院での会話文作り、次週に提出すること。(1時間) 第12回：“是～的”構文。介詞“给～”。よく用いる単純方向補語。会話作り及び発表《去医院》。(ペアワーク) 事後学習：日本の生活習慣を調べること。(1時間) 第13回：人民元と日本円。副詞“在”。会話作り及び発表《生活习惯》。(ペアワーク) 事前学習：お土産を買う文作り、次週に提出すること。(1時間)	

- 第14回：比較文“A比B～”。様態補語。会話作り及び発表《买土特产》。(ペアワーク)
事後学習：作文《私がしたい仕事》を題し50字をまとめ、次週に提出すること。(1時間)
- 第15回：総まとめ。①単語のリレー。②テーマ別の中国語表現のリレー。③中国語を聞いて、動作で答える。
(発表)
事後学習：定期試験の準備。(1時間)
- 第16回：定期試験

授業実施方法(面接授業・遠隔授業)

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

定期試験(50%) 課題練習の成績(30%) 平常点(20%)
(平常点は、授業への参加状況・受講態度、質問用紙の提出状況等を総合して判断します)

成績評価基準

- 1、表音のローマ字による発音ができるか。
- 2、簡単な中国語と日本語の訳ができるか。
- 3、簡単日常あいさつ語を聞き、応答できるか。
- 4、簡単な言葉で事項の確認や自分の意思を伝えられるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

徐 送迎 著 『活躍しよう！ 中国語(初級)』 朝日出版社

その他(受講上の注意)

積極的に授業に参加すること。授業中に大声で発声すること。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

ポルトガル語 a (Portuguese a)			担当教員	坂東 照啓	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
HS-2148	1 単位	1 年前期	演習	選択	
<科目区分> 人間学部学部共通科目 外国語科目					
求める学習成果(教育目標)					
大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実地的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input checked="" type="checkbox"/> 体系的な知識・技能 <input type="checkbox"/> 職業観と職業的倫理観 <input checked="" type="checkbox"/> 統合的な学習経験		<input type="checkbox"/> 論理的思考力と創造力 <input type="checkbox"/> 自己理解・自己管理能力 <input type="checkbox"/> キャリアプランニング能力		<input checked="" type="checkbox"/> 人間関係形成・社会形成能力 <input type="checkbox"/> 諸課題の理解と課題対応能力	

授 業 の 内 容	
ポルトガル語の基礎を習得していく。受講生が初めてポルトガル語に接することを前提に、文字、発音に慣れ親しみ、日常の事柄を表すポルトガル語を習得しつつ、ポルトガル語の基本的な文の仕組みが理解ができるように学習を進める。	
授 業 の 到 達 目 標	
1. ポルトガル語の聞き取り、発音(・音読)がおおよそでき、基礎語彙を習得し、簡単な日常表現や文章が理解できること。 2. ポルトガル語で自分自身のことや身の回りの(身近な)基本的なことをおおまかに表現できるようになること。 3. ポルトガル語の学習を通して、ブラジル文化の一端に触れ、異文化を客観的・相対的にとらえるきっかけをつかむこと。	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ダイベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法	
第1回：ポルトガル語の概要とポルトガル語が使用されている国・地域について 事後学習：テキスト該当箇所を読み、復習をすること(1時間) 第2回：文字と発音とあいさつ表現 事後学習：テキスト該当箇所を読み、復習をすること(1時間) 第3回：語の音節とアクセント(強勢)。日常基本表現と数詞(1-10) 事後学習：テキスト該当箇所を読み、単語の音読をすること(1時間) 第4回：名詞、冠詞、数詞(11-30) 事後学習：テキスト該当箇所を読み、復習をすること(1時間) 第5回：「私」、「あなた」などの代名詞を学び、「～は～です」といった意味を動詞serで表現する 事後学習：テキスト該当箇所を読み、復習をすること(1時間) 第6回：動詞serを使った文章。疑問文、否定文 事後学習：テキスト該当箇所を読み、復習をすること(1時間) 第7回：動詞serを使ったさまざまな表現 事後学習：テキスト該当箇所を読み、復習をすること(1時間) 第8回：形容詞と指示詞(1) 事後学習：テキスト該当箇所を読み、復習をすること(1時間) 第9回：形容詞と指示詞(2)、所有表現 事後学習：テキスト該当箇所を読み、復習をすること(1時間) 第10回：今学期前半のまとめと、動詞の現在時制・活用 事後学習：テキスト該当箇所を読み、復習をすること(1時間) 第11回：一般動詞の使い方と規則動詞の活用 事後学習：テキスト該当箇所を読み、復習をすること(1時間) 第12回：前置詞 事後学習：テキスト該当箇所を読み、復習をすること(1時間)	

- 第13回：動詞ir・ter・fazer（1）
事後学習：テキスト該当箇所を読み、復習をすること（1時間）
- 第14回：動詞ir・ter・fazer（2）、疑問詞
事後学習：テキスト該当箇所を読み、復習をすること（1時間）
- 第15回：今学期全体のまとめ
事後学習：テキスト該当箇所を読み、定期試験に備えた復習をすること（1時間）
- 第16回：定期試験

授業実施方法（面接授業・遠隔授業）

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

- ・定期試験（60%）
- ・平常点（40%）：平常点は、受講態度（積極的に学習し、応答・発言しているか）、質問用紙への回答状況等を総合して判定します。

成績評価基準

1. ポルトガル語の語句の聞き取り、発音（・音読）ができ、基礎語彙を習得して、簡単な日常表現や文章が理解できていること。
2. ポルトガル語で自分自身のことや身の回りの（身近な）ことについて簡単な文を作り、表現できること。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書

別途提示される教材テキストを入手してください。
辞書は授業で無料で使用できるオンライン辞書を紹介します。当面購入する必要はありません。

その他（受講上の注意）

ブラジルで使用されているポルトガル語を学びます。

本科目の連絡は、授業時に加え、eラーニングからも行われますので、必ずチェックしてください。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

ポルトガル語 b (Portuguese b)			担当教員	坂東 照啓	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
HS-2149	1 単位	1 年後期	演習	選択	
<科目区分> 人間学部学部共通科目 外国語科目					
求める学習成果(教育目標)					
大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実地的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
■自他の理解能力		■コミュニケーション能力		□情報収集・探索能力	
□役割把握・認識能力		□計画実行能力		□社会・職業理解能力	
		□選択能力		□課題解決能力	

授 業 の 内 容	
<p>前学期に引き続きポルトガル語の基礎を学び、基本語彙と基本文法に習熟しながら、ポルトガル語の輪郭をつかんでいく。</p> <p>日本語を母語とする受講生にとってのポルトガル語習得におけるポイントを意識しつつ、ポルトガル語の文章の理解に努め、母語との違いを認識してポルトガル語で自分の伝えたいと思うことを表現できるように学習を進める。</p>	
授 業 の 到 達 目 標	
<ol style="list-style-type: none"> ポルトガル語の基礎語彙、基本表現を習得し、文章についても複雑な構文でなければ理解できること。 ポルトガル語で日常の身近なことであれば、多少の間違い、ぎこちなさがあっても表現し、伝えられること。 ポルトガル語の学習を通して、ブラジル文化についての理解を深め、さらに日本におけるブラジル人との対話を一例とする異文化コミュニケーションについて考察できるようになること。 	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法	
<p>第1回：前学期において既習の事項を確認し、今学期学習する事柄の概略を提示する 事後学習：テキスト該当箇所を読み、復習をすること(1時間)</p> <p>第2回：動詞poder、querer、日付と曜日の表現、数詞(31-100)(1) 事後学習：テキスト該当箇所を読み、復習をすること(1時間)</p> <p>第3回：動詞poder、querer、日付と曜日の表現、数詞(31-100)(2) 事後学習：テキスト該当箇所を読み、復習をすること(1時間)</p> <p>第4回：動詞estarと現在進行形 事後学習：テキスト該当箇所を読み、復習をすること(1時間)</p> <p>第5回：直説法完全過去(1)、時間表現と数詞の復習 事後学習：テキスト該当箇所を読み、復習をすること(1時間)</p> <p>第6回：直説法完全過去(2)、人称代名詞 事後学習：テキスト該当箇所を読み、復習をすること(1時間)</p> <p>第7回：不定代名詞、不定形容詞。感嘆文 事後学習：テキスト該当箇所を読み、復習をすること(1時間)</p> <p>第8回：直説法不完全過去(1) 事後学習：テキスト該当箇所を読み、復習をすること(1時間)</p> <p>第9回：直説法不完全過去(2)、縮小辞と増大辞 事後学習：テキスト該当箇所を読み、復習をすること(1時間)</p> <p>第10回：今学期前半のまとめ。再帰動詞(1) 事後学習：テキスト該当箇所を読み、復習をすること(1時間)</p> <p>第11回：再帰動詞(2)。直説法現在完了。不規則動詞活用形 事後学習：テキスト該当箇所を読み、復習をすること(1時間)</p> <p>第12回：再帰動詞(3)。比較級と最上級(1) 事後学習：テキスト該当箇所を読み、復習をすること(1時間)</p> <p>第13回：比較級と最上級(2)。数字(101-1000000) 事後学習：テキスト該当箇所を読み、復習をすること(1時間)</p>	

第14回：既習項目の復習と文法事項の補足

事後学習：テキスト該当箇所を読み、復習をすること（1時間）

第15回：これまでのポルトガル語学習の総括と今後のポルトガル語学習について大枠を提示する

事後学習：テキスト該当箇所を読み、定期試験に備えた復習をすること（1時間）

第16回：定期試験

授業実施方法（面接授業・遠隔授業）

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

- ・定期試験（60%）
- ・平常点（40%）：平常点は、受講態度（積極的に学習し、応答・発言しているか）、質問用紙への回答状況等を総合して判断します。

成績評価基準

1. ポルトガル語の基礎語彙、文の仕組み、基本表現を習得しており、文章についても複雑な構文でなければ理解し、使用できること。
2. ポルトガル語で日常の身近なことであれば、多少の間違い、ごちなさがあっても表現し、伝えられること。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書

- ・前期と同じ教材テキストを継続使用します。
- ・辞書に関しては、前期に授業で紹介したオンライン辞書を今期も利用してください。授業時に再度紹介します。

その他（受講上の注意）

- ・ブラジルで使用されているポルトガル語を学びます。
- ・来年度のブラジル教育省「外国人のためのポルトガル語検定試験」(CELPE-Bras)の合格認定を目標とし学習を進めます。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

情報基礎 (Basic Information Systems)			担当教員	安彦 智史、禿 寿、佐藤 宏隆	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
HS-2150	2単位	1年前期	演習	必修	
<科目区分> 人間学部学部共通科目 情報科目					
求める学習成果(教育目標)					
大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実地的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
大学における学習や研究、一般社会における業務を進めるうえで必要となるパーソナルコンピュータの基本的知識及び操作法を身につける。	
授 業 の 到 達 目 標	
パーソナルコンピュータに関する基礎的な知識と学内情報環境の利用、インターネットやWWW・電子メールの利用について理解できる。 ワープロソフト・表計算ソフト・プレゼンテーションソフトの基本操作およびそれらを用いた文書作成ができる。 タッチタイピングにより別途定める速度での文字入力ができる。	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input checked="" type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法	
第1回：授業の目的・進め方についての説明、学内情報環境の説明、パソコンの基本操作、タッチタイピング(実技) 事前学習：情報ガイダンスで配布された資料等を確認しておく。(1時間) 事後学習：授業で行なった内容を再確認し、質問等があれば担当教員もしくは情報サポート室スタッフに問い合わせる。タイピング練習(1時間)	
第2回：WWWの利用、e-Learningシステム、電子メールの利用、情報倫理(実技) 事前学習：テキストおよび資料を参考に例題の確認を行う(1時間) 事後学習：様々な検索を試す。メールの送受信を試す。タイピング練習(2時間)	
第3回：ワープロ(1)文書の作成、編集、印刷(実技) 事前学習：テキストおよび資料を参考に例題の確認を行う(1時間) 事後学習：学習管理システム(LMS)上の課題を行う。タイピング練習(3時間)	
第4回：ワープロ(2)表の利用、段落の設定(実技) 事前学習：テキストおよび資料を参考に例題の確認を行う(1時間) 事後学習：学習管理システム(LMS)上の課題を行う。タイピング練習(3時間)	
第5回：ワープロ(3)画像や図形の利用(実技) 事前学習：テキストおよび資料を参考に例題の確認を行う(1時間) 事後学習：指定する練習用文書を作成しLMSに提出する。タイピング練習(3時間)	
第6回：ワープロ(4)見出しスタイル、ヘッダー・フッター、目次、Excel表の貼り付け(実技) 事前学習：テキストおよび資料を参考に例題の確認を行う(1時間) 事後学習：指定する練習用文書を作成しLMSに提出する。タイピング練習(3時間)	
第7回：表計算(1)データ入力と基本的な計算(実技) 事前学習：テキストおよび資料を参考に例題の確認を行う(1時間) 事後学習：指定する練習用文書を作成しLMSに提出する。タイピング練習(3時間)	
第8回：表計算(2)関数を使った計算、書式設定(実技) 事前学習：テキストおよび資料を参考に例題の確認を行う(1時間) 事後学習：指定する練習用文書を作成しLMSに提出する。タイピング練習(3時間)	
第9回：表計算(3)グラフの作成、データの可視化(実技) 事前学習：テキストおよび資料を参考に例題の確認を行う(1時間) 事後学習：指定する練習用文書を作成しLMSに提出する。タイピング練習(3時間)	

<p>第10回：表計算（4）データベース機能の利用（実技） 事前学習：テキストおよび資料を参考に例題の確認を行う（1時間） 事後学習：指定する練習用文書を作成しLMSに提出する。タイピング練習（3時間）</p> <p>第11回：プレゼンテーション（1）スライド資料の作成と編集（実技） 事前学習：テキストおよび資料を参考に例題の確認を行う（1時間） 事後学習：指定する練習用文書を作成しLMSに提出する。タイピング練習（3時間）</p> <p>第12回：プレゼンテーション（2）効果的な表現（実技） 事前学習：テキストおよび資料を参考に例題の確認を行う（1時間） 事後学習：指定する練習用文書を作成しLMSに提出する。タイピング練習（3時間）</p> <p>第13回：プレゼンテーション（3）スライドショーと配布資料の作成（実技） 事前学習：テキストおよび資料を参考に例題の確認を行う（1時間） 事後学習：指定する練習用文書を作成しLMSに提出する。タイピング練習（3時間）</p> <p>第14回：プレゼンテーション（4）専門分野に関するプレゼンテーション資料の作成（実技） 事前学習：発表テーマおよび関連する資料を用意する（2時間） 事後学習：プレゼン資料を作成しLMSに提出する。タイピング練習（5時間）</p> <p>第15回：模擬試験とまとめ（実技） 事前学習：期末試験に向け、これまでの学習内容を振り返る（2時間） 事後学習：模擬試験の自己採点と理解が不十分な部分の再復習（2時間）</p> <p>第16回：定期試験</p>
授業実施方法（面接授業・遠隔授業）
原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。
成績評価方法
定期試験（約50%） 提出課題（約50%）
なお、タイピング練習においては、別途指定する練習時間以上行い、指定する速度を達成する必要がある。未達成の場合はその程度に応じて減点する。
成績評価基準
ワープロ・表計算・プレゼンテーションソフトによる、各種練習課題を提出しているか。 タイピング練習を指定する時間以上行い、指定する速度以上を達成したか。 定期試験にて、指定された様式に従って文書作成が行えるか。
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック
<p>1) 授業時の課題に対するフィードバックについて ■授業時 ■仁大eラーニング □メール □その他</p> <p>2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて ■授業時 ■仁大eラーニング □メール □その他</p> <p>3) 小レポートに対するフィードバックについて □授業時 □仁大eラーニング □メール □その他</p> <p>4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて □定期試験時 □仁大eラーニング □メール □その他</p> <p>5) その他（タッチタイピングに対するフィードバックについて） ■授業時 □仁大eラーニング □メール □その他</p>
実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
テキスト、参考図書
『30時間アカデミック Office2021 Windows 11対応』 実教出版 2022年 教材として、オンラインタイピング練習ソフトを使用する。（詳細は授業時に説明する） 市販のWord、Excel、PowerPoint、Windowsに関連する書籍も参考にすること。
その他（受講上の注意）
この授業ではパソコンの操作が中心となるため、極力授業を欠席しないこと。もし欠席した場合には、授業の進度を確認し次週に備えること。また、課題提出を重視するので、課された課題は必ず提出すること。 また、学習内容に関連する検定・資格の取得をめざすことで、より一層の知識・技術を習得することが望ましい。
オフィスアワー
UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

データサイエンス基礎 (Basic Data Science)			担当教員	安彦 智史、禿 寿、佐藤 宏隆	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
HS-2151	2単位	1年後期	演習	選択	
<科目区分> 人間学部学部共通科目 情報科目					
求める学習成果(教育目標)					
大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実地的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
ICT (情報通信技術) の急速な進化により多種多様で膨大なデータが得られるようになってきている。これらを適切に処理・分析することで新たな知見を導き出すことが可能である。社会のAI (人工知能) やビッグデータの活用に関して理解するとともにデータサイエンスの基礎的な手法を身に付ける。	
授 業 の 到 達 目 標	
情報通信技術の進歩により社会で起きている変化について理解できる。 データサイエンスの必要性や社会での活用について理解できる。 基本的な統計手法を用いてデータを分析・活用できる。 データを適切に表現できる。	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習 (PBL) <input type="checkbox"/> 討議 (ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク (Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション (Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input checked="" type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法	
第1回：授業の目的・進め方についての説明、社会の移り変わり、情報通信技術の進歩 事後学習：授業内容にもとづいて、語句やその意味、自身の考えについてまとめる (2時間) 第2回：人工知能 (AI) ・ビッグデータ 事前学習：テキストや資料を参考に学習内容を予習する (1時間) 事後学習：授業内容にもとづいて、語句やその意味、自身の考えについてまとめる (2時間) 第3回：データ活用 (データサイエンスの必要性) 事前学習：テキストや資料を参考に学習内容を予習する (1時間) 事後学習：授業内容にもとづいて、語句やその意味、自身の考えについてまとめる (2時間) 第4回：データ活用 (データ収集、オープンデータ、情報の安全性) 事前学習：テキストや資料を参考に学習内容を予習する (1時間) 事後学習：授業内容にもとづいて、語句やその意味、自身の考えについてまとめる (2時間) 第5回：データ活用 (分析・考察・表現の基本) 事前学習：テキストや資料を参考に学習内容を予習する (1時間) 事後学習：授業内容にもとづいて、語句やその意味、自身の考えについてまとめる (2時間) 第6回：データ分析の活用事例 事前学習：テキストや資料を参考に学習内容を予習する (1時間) 事後学習：授業内容にもとづいて、語句やその意味、自身の考えについてまとめる (2時間) 第7回：データ分析に用いる表計算ソフトの基本 (実技) 事前学習：テキストや資料を参考に学習内容を予習する (1時間) 事後学習：演習課題を行い学習管理システム (LMS) に提出する (4時間) 第8回：代表値 (平均値、中央値、最頻値)、度数分布表、ヒストグラム (実技) 事前学習：テキストや資料を参考に学習内容を予習する (1時間) 事後学習：演習課題を行い学習管理システム (LMS) に提出する (4時間) 第9回：散布度 (レンジ、偏差平方和、分散、標準偏差) (実技) 事前学習：テキストや資料を参考に学習内容を予習する (1時間) 事後学習：演習課題を行い学習管理システム (LMS) に提出する (4時間)	

<p>第10回：基準値・偏差値（実技） 事前学習：テキストや資料を参考に学習内容を予習する（1時間） 事後学習：演習課題を行い学習管理システム（LMS）に提出する（4時間）</p> <p>第11回：確率（実技） 事前学習：テキストや資料を参考に学習内容を予習する（1時間） 事後学習：演習課題を行い学習管理システム（LMS）に提出する（4時間）</p> <p>第12回：散布図、相関係数（実技） 事前学習：テキストや資料を参考に学習内容を予習する（1時間） 事後学習：演習課題を行い学習管理システム（LMS）に提出する（4時間）</p> <p>第13回：回帰分析（実技） 事前学習：テキストや資料を参考に学習内容を予習する（1時間） 事後学習：演習課題を行い学習管理システム（LMS）に提出する（4時間）</p> <p>第14回：データ活用の実践とデータの表現（実技） 事前学習：テキストや資料を参考に学習内容を予習する（1時間） 事後学習：演習課題を行い学習管理システム（LMS）に提出する（3時間）</p> <p>第15回：まとめ、復習課題（実技） 事前学習：これまでの学習内容について振り返り自身の理解度を確認する（1時間） 事後学習：演習課題を行い学習管理システム（LMS）に提出する（3時間）</p> <p>第16回：定期試験</p>
授業実施方法（面接授業・遠隔授業）
原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。
成績評価方法
定期試験（約50%） 提出課題（約50%）
成績評価基準
データサイエンス・AI・ビッグデータについて理解しているか。 表計算ソフトを用いてデータ分析の演習課題を行い、正しい内容となっているか。 定期試験にて、与えられたデータにもとづいて適切に分析・評価・表現ができるか。
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック
<p>1) 授業時の課題に対するフィードバックについて <input type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/>授業時 <input checked="" type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>3) 小レポートに対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/>授業時 <input checked="" type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて <input type="checkbox"/>定期試験時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>5) その他 <input checked="" type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p>
実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
テキスト、参考図書
『はじめの第一歩 基礎からはじめる データサイエンス』 noa出版 2022年 その他教材として、学習管理システム上で資料提示を行う。市販のExcel、統計学に関連する書籍も参考にする こと。
その他（受講上の注意）
この授業ではパソコンの操作が中心となるため、極力授業を欠席しないこと。もし欠席した場合には、授業の進 度を確認し次週に備えること。また、課題提出を重視するので、課された課題は必ず提出すること。また学習し た内容に関連する幅広い知識を獲得したり、理解が不十分な点は質問して解決するよう心掛けるなど、授業に対 して主体的に取り組むこと。
オフィスアワー
UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

基礎演習(心理) (First-year Seminar)			担当教員	竹村 明子、森本 文人、山本 雅代、 渡辺 克徳、山岸 厚仁
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分
HS-2160	2単位	1年	演習	必修
<科目区分> 人間学部学部共通科目 修学基礎・キャリア形成科目				
求める学習成果(教育目標)				
大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実地的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。				
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)				
<input checked="" type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input checked="" type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input checked="" type="checkbox"/> 計画実行能力 <input checked="" type="checkbox"/> 選択能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題解決能力				

授 業 の 内 容	
大学生としての最初の1年は、4年間にわたる学修をスムーズに開始できるための重要な期間として位置づけられる。このため、まず学科の教育目標および教育課程を理解するとともに、主体的な学びを軸とする大学での修学や将来のための基盤づくりに重点を置き、授業を展開する。	
授 業 の 到 達 目 標	
<input checked="" type="checkbox"/> 本授業の内容や達成すべき目標について理解する。 <input checked="" type="checkbox"/> 学科の教育課程や教育制度、授業形態について説明を受け理解する。 <input checked="" type="checkbox"/> 履修に関する担当教員の助言・指導を受け、自己の学習計画・履修計画を作成できるようにする。 <input checked="" type="checkbox"/> 大学での学び方を知るための講座、専門分野の基礎的な事柄についての演習を通して、自主学習を中心とした学習スタイルを確立し、学習に対する積極的な態度を身につける。 <input checked="" type="checkbox"/> 附属図書館において図書館利用に関するセミナーを受講し、文献の検索方法等を理解し、学習や研究に必要な図書館利用法を身につける。	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授業の計画及び授業外の学習方法	
第1回：履修に関する担当教員の助言・指導を受け、自己の学習計画・履修計画を作成(グループワーク) 事前学習：学生便覧などを参考に、仁愛大学での授業や学生生活に関する疑問点などをまとめておくこと(2時間) 事後学習：授業時に配布された資料を見直す、または授業で取り上げられた事項を再考する等、理解したうえで次回の授業に臨むこと(2時間)	
第2回：専門分野の基礎学習(グループワーク) 事前学習：次回に学ぶべき内容について関連する書籍等を読み予備知識を得ておくこと(2時間) 事後学習：授業時に配布された資料を見直す、または授業で取り上げられた事項を再考する等、理解したうえで次回の授業に臨むこと(2時間)	
第3回：学生生活についての担当教員による個人面談を行い、学習状況などを確認 事前学習：大学の授業や学生生活に関して個人的に質問・相談したいことをまとめておくこと(2時間) 事後学習：担当教員から個別に指導された内容について振り返り今後の大学生活にどのように役立てるか考えること(2時間)	
第4回：学習や研究に必要な文献検索方法(附属図書館利用法) 事前学習：学生便覧などを参考に附属図書館に関する予備知識を得て、疑問点などをまとめておくこと(2時間) 事後学習：図書館見学时に配布された資料を見直し、学んだ内容についてまとめておくこと(2時間)	
第5回：専門分野の基礎学習(グループワーク) 事前学習：次回に学ぶべき内容について関連する書籍等を読み予備知識を得ておくこと(2時間) 事後学習：授業時に配布された資料を見直す、または授業で取り上げられた事項を再考する等、理解したうえで次回の授業に臨むこと(2時間)	
第6回：専門分野の基礎学習(グループワーク) 事前学習：次回に学ぶべき内容について関連する書籍等を読み予備知識を得ておくこと(2時間) 事後学習：授業時に配布された資料を見直す、または授業で取り上げられた事項を再考する等、理解したうえで次回の授業に臨むこと(2時間)	

- 第7回：専門分野の基礎学習（グループワーク）
 事前学習：次回に学ぶべき内容について関連する書籍等を読み予備知識を得ておくこと（2時間）
 事後学習：授業時に配布された資料を見直す、または授業で取り上げられた事項を再考する等、理解したうえで次回の授業に臨むこと（2時間）
- 第8回：専門分野の基礎学習（グループワーク）
 事前学習：次回に学ぶべき内容について関連する書籍等を読み予備知識を得ておくこと（2時間）
 事後学習：授業時に配布された資料を見直す、または授業で取り上げられた事項を再考する等、理解したうえで次回の授業に臨むこと（2時間）
- 第9回：専門分野の基礎学習（グループワーク）
 事前学習：次回に学ぶべき内容について関連する書籍等を読み予備知識を得ておくこと（2時間）
 事後学習：授業時に配布された資料を見直す、または授業で取り上げられた事項を再考する等、理解したうえで次回の授業に臨むこと（2時間）
- 第10回：専門分野の基礎学習（グループワーク）
 事前学習：次回に学ぶべき内容について関連する書籍等を読み予備知識を得ておくこと（2時間）
 事後学習：授業時に配布された資料を見直す、または授業で取り上げられた事項を再考する等、理解したうえで次回の授業に臨むこと（2時間）
- 第11回：学生生活についての担当教員による個人面談を行い、学習状況などを確認
 事前学習：大学の授業や学生生活に関して個人的に質問・相談したいことをまとめておくこと（2時間）
 事後学習：担当教員から個別に指導された内容について振り返り今後の大学生活にどのように役立てるか考えること（2時間）
- 第12回：地域学習
 事前学習：地域に関連する書籍や新聞等を読み予備知識を得ておくこと（2時間）
 事後学習：地域学習で配布された資料を見直し、学んだ内容についてまとめておくこと（2時間）
- 第13回：専門分野の基礎学習（グループワーク）
 事前学習：次回に学ぶべき内容について関連する書籍等を読み予備知識を得ておくこと（2時間）
 事後学習：授業時に配布された資料を見直す、または授業で取り上げられた事項を再考する等、理解したうえで次回の授業に臨むこと（2時間）
- 第14回：専門分野の基礎学習（グループワーク）
 事前学習：次回に学ぶべき内容について関連する書籍等を読み予備知識を得ておくこと（2時間）
 事後学習：授業時に配布された資料を見直す、または授業で取り上げられた事項を再考する等、理解したうえで次回の授業に臨むこと（2時間）
- 第15回：専門分野の基礎学習（グループワーク）
 事前学習：次回に学ぶべき内容について関連する書籍等を読み予備知識を得ておくこと（2時間）
 事後学習：授業時に配布された資料を見直す、または授業で取り上げられた事項を再考する等、理解したうえで次回の授業に臨むこと（2時間）
- 第16回：専門分野の基礎学習（グループワーク）

授業実施方法（面接授業・遠隔授業）

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

提出課題の内容（50%）および平常点（50%）
 （平常点は、授業への参加状況と態度、課題への取り組み姿勢などを総合して判断します。）

成績評価基準

基礎的なアカデミック・スキル（学習に対する積極的な態度・技術、レジュメの作成・報告、討論方法）が修得できているか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他（各グループ内で課される課題に対するフィードバックについて）
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)
テキスト、参考図書
テキストは使用しない
その他(受講上の注意)
■学生18名程度を1グループとして1名の担当教員を置く (この担当教員は、2年間の指導教員として、本授業終了後も引き続き指導や助言を行う) ■授業の実施は、原則としてグループ単位で行い、前期8回と後期8回の計16回実施を予定している
オフィスアワー
UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

基礎演習(コミュニケーション) (First-year Seminar)			担当教員	橋本 武志、加藤 優子、安彦 智史、 織田 暁子、升田 法継、小川 慶、 禿 寿	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
HS-2160	2単位	1年	演習	必修	
<科目区分> 人間学部学部共通科目 修学基礎・キャリア形成科目					
求める学習成果(教育目標)					
大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実地的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
■自他の理解能力 ■コミュニケーション能力 ■情報収集・探索能力 ■社会・職業理解能力 ■役割把握・認識能力 ■計画実行能力 ■選択能力 ■課題解決能力					

授 業 の 内 容					
大学生としての最初の1年は、4年間にわたる学修をスムーズに開始できるための重要な期間として位置づけられる。このため、まず学科の教育目標および教育課程を理解するとともに、主体的な学びを軸とする大学での修学や将来のための基盤づくりに重点を置き、授業を展開する。					
授 業 の 到 達 目 標					
■ 本授業の内容や達成すべき目標について理解する。 ■ 学科の教育課程や教育制度、授業形態について説明を受け理解する。 ■ 履修に関する担当教員の助言・指導を受け、自己の学習計画・履修計画を作成できるようにする。 ■ 大学での学び方を知るための講座、専門分野の基礎的な事柄についての演習を通して、自主学習を中心とした学習スタイルを確立し、学習に対する積極的な態度を身につける。 ■ 附属図書館において図書館利用に関するセミナーを受講し、文献の検索方法等を理解し、学習や研究に必要な図書館利用法を身につける。					
アクティブ・ラーニング					
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) ■ 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他					
授業の計画及び授業外の学習方法					
第1回：履修に関する担当教員の助言・指導を受け、自己の学習計画・履修計画を作成 事前学習：大学の履修システムについて理解し、自分の履修計画を立てること(2時間) 事後学習：教科書の「資料の探し方」について読み、理解を深めること(2時間) 第2回：専門分野の基礎学習(ノートの取り方、テキストの読み方) 事前学習：教科書「ノートの取り方、テキストの読み方」について読み、理解を深めること(2時間) 事後学習：学習した範囲の教科書をよく読み復習すること(2時間) 第3回：学生生活についての担当教員による個人面談を行い、学修状況などを確認 事前学習：入学時アンケートに記載したこと自己目標や現在の自身の状況について整理して考えること(2時間) 事後学習：面談結果を踏まえ、自身の今後の大学生活について計画を立てること(2時間) 第4回：学修や研究に必要な文献検索方法(附属図書館利用法) 事前学習：大学附属図書館に赴き、図書館の基本的な学び方について理解すること(2時間) 事後学習：学習した内容について整理し、図書館の使い方についての理解を深めること(2時間) 第5回：専門分野の基礎学習(レポートの書き方、資料の探し方) 事前学習：教科書「レポートの書き方、資料の探し方」について読み、理解を深めること(2時間) 事後学習：学習した範囲の教科書をよく読み復習すること(2時間) 第6回：専門分野の基礎学習(学科コースの学びと理解) 事前学習：学生便覧について読み、学科の特性や専門コースについて理解を深めること(2時間) 事後学習：自己目標や現在の自身の状況を踏まえ、自分の履修計画について見直しを行うこと(2時間) 第7回：専門分野の基礎学習(「大学の試験」およびディプロマサプリメント) 事前学習：教科書「大学の試験」について読み、理解を深めること 仁愛大学HPのコミュニケーション学科のページをよく読み、学科のポリシーや活動について理解を深めること(2時間) 事後学習：教科書の該当箇所、および学科ポリシーについて復習すること(2時間)					

- 第8回：専門分野の基礎学習（プレゼンテーション発表の仕方）
事前学習：プレゼンテーション発表の仕方について事前に教科書を読み理解を深めること（2時間）
事後学習：講義内容について自身で調べ、自分の発表スタイルを身に着けること（2時間）
- 第9回：専門分野の基礎学習（専門科目の学び方）
事前学習：前期に学んだことを振り返り、各専門科目と興味があるコースについて学ぶこと（2時間）
事後学習：各専門分野の講義に触れ、2年次以降の履修計画の素案を作成すること（2時間）
- 第10回：越前市で学ぶ（講演）
事前学習：地域への貢献活動やボランティア、伝統文化について学び、理解を深めること（2時間）
事後学習：実地での学びと座学での学びを通して、地域社会の活性化に向けて自身が行き届くことは何か考えること（2時間）
- 第11回：越前市で学ぶ（フィールドワーク）
事前学習：越前市の伝統文化について調査し、理解を深めること（2時間）
事後学習：伝統文化に触れ、その成り立ちや現在の利活用方法について理解を深めること（2時間）
- 第12回：学生生活についての担当教員による個人面談を行い、学修状況などを確認
事前学習：前後期の履修を踏まえ、来年度以降の専門コースを検討すること（2時間）
事後学習：面談を踏まえ、来年度以降の専門コースを検討すること（2時間）
- 第13回：発表会 プレゼンテーション
事前学習：プレゼンテーション発表の準備を行うこと（2時間）
事後学習：発表時に指摘された箇所を修正し、再提出を行うこと（2時間）
- 第14回：発表会 プレゼンテーション
事前学習：プレゼンテーション発表の準備を行うこと（2時間）
事後学習：発表時に指摘された箇所を修正し、再提出を行うこと（2時間）
- 第15回：総括
事前学習：後期課題を提出し、1年を通じた自己省察を行うこと（2時間）
事後学習：2年次における専門コースを選択し、来年度の目標を立てること（2時間）

予習として、次週に学ぶべき内容について関連する書籍等を読み予備知識を得ておくこと。
復習として、授業時に配布された資料を見直す、または授業で取り上げられた事項を再考する等、理解したうえで次週の授業に臨むこと。

授業実施方法（面接授業・遠隔授業）

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

レポートおよびプレゼンテーション（50%） 平常点（50%）
（平常点は、授業への参加状況、課題への取り組み姿勢などを総合して判断します。）

成績評価基準

基礎的なアカデミック・スキル（学習に対する積極的な態度・技術、レジュメの作成・報告、討論方法）が修得できているか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

- 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他（提出された課題についてのアドバイスをを行い、最終提出物を確認・採点する）
- 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書

世界思想社編集部編『大学生学びのハンドブック』6訂版 世界思想社 1320円

その他(受講上の注意)

- 学生10名程度を1グループとして1名の担当教員を置く。
(この担当教員は、2年間の指導教員として、本授業終了後も引き続き指導や助言を行う)
- 授業は、原則としてグループ単位で行う。
- 授業の実施は、前期7回、後期8回を予定している。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

日本語文章表現 (Japanese Sentence Expression)			担当教員	國久 繁雄	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
HS-2161	1 単位	1 年前期	演習	必修	
<科目区分> 人間学部学部共通科目 修学基礎・キャリア形成科目					
求める学習成果(教育目標)					
大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実地的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
■自他の理解能力 □役割把握・認識能力		■コミュニケーション能力 □計画実行能力		■情報収集・探索能力 □課題解決能力	
				■社会・職業理解能力	

授 業 の 内 容	
大学生として身につけておくべき文章構成、推敲の方法、引用と要約のルールなどを中心に、実際に文章(作文・小論文など)を書くことを実践しながら学ぶ。また、福井仁愛学園が共催している「風花随筆文学賞」への応募を想定した作品を執筆する。	
授 業 の 到 達 目 標	
<ul style="list-style-type: none"> ・与えられた課題に対して、自分の意見を組み立てた上で文章で表現し、相手に伝えることができる。 ・さまざまな形式の表現に触れ、自分の考えを伝えるための作法や修辞法を理解している。 	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input checked="" type="checkbox"/> その他(作文・小論文等の文章作成)	
授業の計画及び授業外の学習方法	
第1回：オリエンテーション、「さまざまな文章」[原稿用紙の用法] 事前学習：テキストの第1章と第2章を読み、質問事項をまとめておく。(0.5時間) 事後学習：授業で出された課題を行う。(0.5時間)	
第2回：「文章の構成」 事前学習：テキストの第3章を読み、質問事項をまとめておく。(0.5時間) 事後学習：授業で出された課題を行う。(0.5時間)	
第3回：「誤用文・推敲の方法」 事前学習：テキストの第4章を読み、質問事項をまとめておく。(0.5時間) 事後学習：授業で出された課題を行う。(0.5時間)	
第4回：「修辞法と慣用句」 事前学習：テキストの第5章を読み、質問事項をまとめておく。(0.5時間) 事後学習：授業で出された課題を行う。(0.5時間)	
第5回：「さまざまな熟語」 事前学習：テキストの第6章を読み、質問事項をまとめておく。(0.5時間) 事後学習：授業で出された課題を行う。(0.5時間)	
第6回：「引用と要約のルール」 事前学習：テキストの第10章を読み、ルールを予習しておく。(0.5時間) 事後学習：授業で出された課題を行う。(0.5時間)	
第7回：「400字・800字の小論文」 事前学習：テキストの第11章を読み、小論文の書き方を予習しておく。(0.5時間) 事後学習：授業で出された課題を行う。(0.5時間)	
第8回：「レポート・論文作成の手順」(1) 事前学習：テキストの第9章を読み、質問事項をまとめておく。(0.5時間) 事後学習：授業で出された課題を行う。(0.5時間)	
第9回：「レポート・論文作成の手順」(2) 事前学習：前時の学習内容をもとに論文の構成を設定しておく。(0.5時間) 事後学習：授業で出された課題を行う。(0.5時間)	

<p>第10回：「レポート・論文の作成」(課題) 事前学習：テキストの第12章を参考に、2000字論文の準備をしておく。(0.5時間) 事後学習：授業で出された課題を行う。(0.5時間)</p> <p>第11回：「敬語の種類」「日常生活と言葉づかい」 事前学習：テキストの第7章と第13章を読み、敬語の5種類を復習しておく。(0.5時間) 事後学習：授業で出された課題を行う。(0.5時間)</p> <p>第12回：冠婚葬祭・贈答のしきたり(補充) 事前学習：冠婚葬祭で用いるのし袋を用意しておく。(0.5時間) 事後学習：授業で出された課題を行う。(0.5時間)</p> <p>第13回：「ビジネス社会における敬語(1)(2)」 事前学習：テキストの第14章と第15章を読み、理解を深めておく。(0.5時間) 事後学習：授業で出された課題を行う。(0.5時間)</p> <p>第14回：随筆を分析する(補充) 事前学習：配付された随筆作品を読み、良い点をまとめておく。(0.5時間) 事後学習：期末レポートの題材・構成を考える。(0.5時間)</p> <p>第15回：随筆を書く(課題) 事前学習：構成をおさえながら随筆(原稿用紙5枚)の見通しを立てておく。(0.5時間) 事後学習：テキストやノートを読み返し講義の振り返りをする。(0.5時間)</p>
授業実施方法(面接授業・遠隔授業)
原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。
成績評価方法
提出(40%)、2000字論文(20%)、期末レポート(20%)、平常点(20%) 平常点は、授業への参加状況、受講態度、コメント用紙の提出状況などを総合して判断する。
成績評価基準
・与えられた課題に対し、自分の意見を組み立てたうえで文章で表現し、相手に伝えることができるか。 ・さまざまな形式の表現に触れ、自分の考えを伝えるための作法や修辞法を理解しているか。
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック
1) 授業時の課題に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/> 授業時 <input checked="" type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/> 授業時 <input checked="" type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 3) 小レポートに対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/> 授業時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて <input type="checkbox"/> 定期試験時 <input checked="" type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input checked="" type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 5) その他 <input type="checkbox"/> 授業時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他
実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)
テキスト、参考図書
西尾宣明編著『新版 日本語表現法-「書く」「話す」「伝える」ための技法-』・樹村房・2013年
その他(受講上の注意)
文章表現は、実際に書くことによるのみ上達する。授業中の課題に集中し、日常生活の中でもよりよい表現ができるように心がけること。
オフィスアワー
UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

フィールドワーク演習(ボランティア) (Fieldwork Practice - Volunteer)			担当教員	水田 敏郎、小川 慶	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
HS-2163	2単位	1年～4年	演習	選択	
<科目区分> 人間学部学部共通科目 修学基礎・キャリア形成科目					
求める学習成果(教育目標)					
大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実地的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
■自他の理解能力		■コミュニケーション能力		■情報収集・探索能力	
■役割把握・認識能力		■計画実行能力		□社会・職業理解能力	
		□選択能力		■課題解決能力	

授 業 の 内 容	
<p>本プログラムには、学内外でのボランティア活動体験、社会的イベント・コンペティションなどへの参画体験が含まれる。教室や研究室で学習や研究をするのではなく、実際に社会での直接的体験を通して、優れた社会人となるための自己認識、自己啓発の機会とすることを目的とする。担当教員や活動支援団体による説明会への参加をもとに受講の意思を明らかにし、プログラムへ参加する。</p> <p>なお、本科目は国連が定める「持続可能な開発目標(SDGs)」に向けて地域の社会的課題に取り組むSDGs関連科目である。</p>	
授 業 の 到 達 目 標	
<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれが今後学ぶ、または学んでいることの社会的意義を見いだすことができる。 ・学生間のもとより、地域社会で仕事や生活をしている社会人とのコミュニケーションが、円滑に行える。 	
アクティブ・ラーニング	
<p>■課題解決型学習(PBL) □討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) □グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) □発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) ■実習、フィールドワーク □実験、実技 □その他</p>	
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法	
<p>地域社会からのニーズを元にプログラムを立てるため、その解決すべき課題を元に授業計画を設定する。</p> <p>1. 事前ガイダンスの実施と計画の提示(2時間) 2. 現地にて研修(26時間以上) 3. 事後報告として、レポート・プレゼンテーション等の実施、課題に関連する情報の収集(2時間)</p> <p>・事前学習(30時間)…受け入れ担当者から指示された課題やタスクへの取り組み。レポート・プレゼンテーションの準備など。 ・事後学習(30時間)…研修記録の執筆、受け入れ担当者から指示された課題やタスクへの取り組みなど。</p>	
授 業 実 施 方 法 (面 接 授 業 ・ 遠 隔 授 業)	
<p>原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。</p>	
成 績 評 価 方 法	
<p>活動や取り組みの状況(50%)、レポートまたはプレゼンテーション(50%)</p>	
成 績 評 価 基 準	
<p>課題について、的確な視点を持ち、その解決に向けて自身の考察による提案ができるか。</p>	

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

使用しない。

その他(受講上の注意)

本科目の履修登録については、それぞれの担当教員がガイダンスなどを実施し、各プログラムの参加者をもって受講者とするため、通常の受講登録手続きを要しない。

※個人参加のボランティア活動体験、社会的イベント・コンペティションなどへの参画体験等も対象とする場合があるので、受講希望者は、事前に科目担当者へ問い合わせること。

※単位認定については、参加するボランティア活動体験、社会的イベント・コンペティションのプログラム終了後、担当教員より課される課題等を全て提出し、単位認定するにあたり適当であると認めた場合のみとする。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

フィールドワーク演習(国際交流) (Fieldwork Practice - International Exchange)			担当教員	M ハウカ	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
HS-2164	2単位	1年～4年	演習	選択	
<科目区分> 人間学部学部共通科目 修学基礎・キャリア形成科目					
求める学習成果(教育目標)					
大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実地的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
■自他の理解能力		■コミュニケーション能力		■情報収集・探索能力	
□役割把握・認識能力		■計画実行能力		□選択能力	
				■社会・職業理解能力	
				□課題解決能力	

授 業 の 内 容	
<p>原則としてアメリカ・カリフォルニア州立大学フラトン校(本学姉妹校)での集中講義(2週間)の形式で実施するが、英語教育センターで承認を受けた場合は個人留学による語学研修でも履修可能である。フラトン校での集中講義では、授業あるいはワークショップの参加・見学、キャンパス内外での視察、クラブ活動参加、観光等を通じて国際交流を体験し、以後の学修・研究のための動機付けを得ることを目指す。前期に事前授業10回・後期に事後授業5回を実施する。</p>	
授 業 の 到 達 目 標	
<ul style="list-style-type: none"> ・学外における自主的な活動や体験を通して、通常の講義や演習で得られない視点や考察点を体得する。 ・「仁愛大学海外短期研修プログラム(2週間)」への参画体験演習を通して、以後の学修・研究のための動機付けを得る。 ・異文化理解を深める。 	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input checked="" type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法	
<p>事前学習(30時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体説明会(目的、日程、研修内容、宿泊、準備物[パスポート、航空券、クレジットカードなど]) ・ビザの申請 ・ホストファミリーへの紹介文 ・研修地に関する事前学習 ・場面別英会話の学習 ・プレゼンテーションの準備・練習 ・ブレースメントテスト ・経験者の話・質疑応答 ・最終確認 <p><集中講義(夏期休暇中)></p> <p>留学(40時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語の授業(リスニング、スピーキング、リーディング、ライティング、文法、語彙など) ・日本語の指導 ・文化施設見学 ・ホストファミリーとの交流(ホームステイ) ・体験ツアー ・歴史、文化授業参加、ディスカッション ・他の大学生との交流 <p>事後学習(30時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修のふりかえり・レポート ・プレゼンテーション準備 ・体験報告会 	

授業実施方法(面接授業・遠隔授業)
原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。
成績評価方法
事前授業の取り組み(30%)、現地評価(50%)、事後授業の取り組み、およびレポート課題(20%)を総合評価する。
成績評価基準
学外における自主的な活動や体験をとおして、通常の講義や演習で得られない視点や考察点を体得できたか。学修・研究のための動機付けを得て、優れた社会人となるための自己認識を深めることができたか。
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック
1) 授業時の課題に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/> 授業時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/> 授業時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 3) 小レポートに対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/> 授業時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて <input type="checkbox"/> 定期試験時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 5) その他 <input type="checkbox"/> 授業時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他
実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)
テキスト、参考図書
特になし
その他(受講上の注意)
受講生が少ない場合、非開講とすることがある。本科目の履修登録については、担当教員等が行うガイダンスおよび本プログラム参加をもって履修登録とするため、通常履修登録手続きを要しない。 【フラトン校での集中講義以外の履修について】 履修要件：英語教育センターで(1)～(4)を行うこと (1) 留学相談(留学先・方法など決定) (2) 審査(本科目としての適切性) (3) 事前指導(提出書類準備・渡航準備) (4) 事後指導(必要な課題提出・発表・単位認定審査) 研修期間：夏期休暇期間または春期休暇期間 単位認定時期：夏期休暇期間の場合は当該年度後期、春期休暇期間の場合は翌年度前期 ※卒業年次生は、夏期休暇中の実施のみ
オフィスアワー
UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

心理学概論 I (Introduction to Psychology I)			担当教員	大森 慈子	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
PS-F-2101	2単位	1年前期	講義	必修	
<科目区分> 人間学部心理学科専門科目 基幹科目 心理学基礎					
求める学習成果(教育目標)					
心理学の研究方法及と基礎的な知識・技能・技術					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
■自他の理解能力		■コミュニケーション能力		□情報収集・探索能力	
□役割把握・認識能力		□計画実行能力		□選択能力	
				■社会・職業理解能力	
				□課題解決能力	

授 業 の 内 容	
心とは何か、心はどこにあるのか、という疑問からはじめ、人がどのように感じ、何を考え、どのように行動するのかを捉えることで、心の働きやシステムについて学ぶ。心理学の歴史を紹介し、心理学における主要なテーマといえる知覚や学習といった基礎的分野を理解する。	
授 業 の 到 達 目 標	
<input checked="" type="checkbox"/> 心の働きやシステムについて理解する <input checked="" type="checkbox"/> 心理学の歴史や主要な人物および研究成果に関する知識を得る <input checked="" type="checkbox"/> 心理学の基礎的分野における基本的な用語や内容の説明ができる	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法	
第1回：心理学とは 事前学習：授業前にテキストの1-1-1を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。(2時間)	
第2回：心理学の領域 事前学習：授業前にテキストの1-1-2, 1-3を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。(2時間)	
第3回：心理学の歴史 事前学習：授業前にテキストの1-2を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。(2時間)	
第4回：感覚と知覚(1) 事前学習：授業前にテキストの8-1から8-4までを読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。(2時間)	
第5回：感覚と知覚(2) 事前学習：授業前にテキストの8-5から8-9までを読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。(2時間)	
第6回：生得的行動 事前学習：授業前にテキストの3-1を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。(2時間)	
第7回：初期経験 事前学習：授業前にテキストの3-2から3-3までを読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。(2時間)	

- 第8回：学習（1）
 事前学習：授業前にテキストの4-1から4-2までを読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
 事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）
- 第9回：学習（2）
 事前学習：授業前にテキストの4-3から4-4までを読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
 事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）
- 第10回：学習（3）
 事前学習：授業前にテキストの5-1と5-3を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
 事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）
- 第11回：学習理論と行動療法
 事前学習：授業前にテキストの5-2を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
 事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）
- 第12回：パーソナリティ（1）
 事前学習：授業前にテキストの11-1を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
 事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）
- 第13回：パーソナリティ（2）
 事前学習：授業前にテキストの11-2を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
 事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）
- 第14回：パーソナリティ（3）
 事前学習：授業前にテキストの11-3から11-5までを読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
 事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）
- 第15回：まとめ
 事前学習：授業で学んだテキストの箇所とノートなどを見直し、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
 事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）
- 第16回：定期試験

授業実施方法（面接授業・遠隔授業）

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

定期試験（90%） 平常点（10%）
 （平常点は、授業への9回以上の出席と定期試験の受験に対し、参加状況などから加点します）

成績評価基準

- 心の働きやシステムについて理解しているか
- 心理学の歴史や主要な人物および研究成果を知っているか
- 心理学の基礎的分野における基本的な用語や内容の説明ができるか

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書

テキスト：『心理学の基礎』 今田寛・宮田洋・賀集寛共編 培風館
参考図書については適宜紹介する

その他(受講上の注意)

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

心理学概論Ⅱ (Introduction to Psychology Ⅱ)			担当教員	大森 慈子	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
PS-F-2102	2単位	1年後期	講義	必修	
<科目区分> 人間学部心理学科専門科目 基幹科目 心理学基礎					
求める学習成果(教育目標)					
心理学の研究方法及と基礎的な知識・技能・技術					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
■自他の理解能力		■コミュニケーション能力		□情報収集・探索能力	
□役割把握・認識能力		□計画実行能力		■社会・職業理解能力	
		□選択能力		□課題解決能力	

授 業 の 内 容	
心とは何か、心はどこにあるのか、という疑問に対し、人がどのように感じ、何を考え、どのように行動するのかを捉えることで、心の働きやシステムについて学ぶ。記憶や動機づけなど、心理学における主要なテーマに加え、ストレスや感情、さらに脳の働きを理解する。	
授 業 の 到 達 目 標	
<input checked="" type="checkbox"/> 心の働きやシステムについて理解を深める <input checked="" type="checkbox"/> 心理学の研究における主要な人物および成果に関する知識を高める <input checked="" type="checkbox"/> 心理学の基礎的または応用的分野における基本的な用語や内容の説明ができる	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法	
第1回：記憶と忘却(1) 事前学習：授業前にテキストの9-1と9-2を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。(2時間)	
第2回：記憶と忘却(2) 事前学習：授業前にテキストの9-3から9-5までを読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。(2時間)	
第3回：記憶と忘却(3) 事前学習：授業前にテキストの9-6から9-8までを読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。(2時間)	
第4回：動機づけ 事前学習：授業前にテキストの6を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。(2時間)	
第5回：欲求不満とストレス(1) 事前学習：授業前にテキストの7-1-1を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。(2時間)	
第6回：欲求不満とストレス(2) 事前学習：授業前にテキストの7-1-2と7-1-3を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。(2時間)	
第7回：欲求不満とストレス(3) 事前学習：授業前にテキストの7-2を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。(2時間)	

- 第8回：感情と情動（1）
事前学習：授業前にテキストの7-3-1を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）
- 第9回：感情と情動（2）
事前学習：授業前にテキストの7-3-2と7-3-3を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）
- 第10回：脳と心（1）
事前学習：授業前にテキストの2-1から2-4までを読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）
- 第11回：脳と心（2）
事前学習：授業前にテキストの2-5-4と2-5-5までを読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）
- 第12回：睡眠と覚醒（1）
事前学習：授業前にテキストの2-5-1を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）
- 第13回：睡眠と覚醒（2）
事前学習：授業前にテキストの2-5-2を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）
- 第14回：睡眠と覚醒（3）
事前学習：授業前にテキストの2-5-3を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）
- 第15回：まとめ
事前学習：授業で学んだテキストの箇所とノートなどを見直し、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）
- 第16回：定期試験

授業実施方法（面接授業・遠隔授業）

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

定期試験（90%） 平常点（10%）
（平常点は、授業への9回以上の出席と定期試験の受験に対し、参加状況などから加点します）

成績評価基準

- 心の働きやシステムについて深く理解しているか
- 心理学の研究における主要な人物および成果を詳しく知っているか
- 心理学の基礎的または応用的分野における基本的な用語や内容の説明ができるか

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書

テキスト：『心理学の基礎』 今田寛・宮田洋・賀集寛共編 培風館
参考図書については適宜紹介する

その他(受講上の注意)

-

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

心理学研究法 I (Psychological Research Methods I)			担当教員	杉島 一郎	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
PS-F-2103	2単位	1年前期	講義	必修	
<科目区分> 人間学部心理学科専門科目 基幹科目 心理学基礎					
求める学習成果(教育目標)					
心理学の研究方法と基礎的な知識・技能・技術					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input checked="" type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
様々な主観的で直観的な心理現象を、量的データとして客観的に分析する量的研究法の基礎的側面を概説する。主に実験的方法と観察法を主として講義を進める。また研究倫理についても解説する。	
授 業 の 到 達 目 標	
<ul style="list-style-type: none"> ・心理学における実証的研究法が理解できる。 ・行動 (behavior) を数量化する方法を身につける。 ・研究における倫理を身につける。 	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習 (PBL) <input checked="" type="checkbox"/> 討議 (ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク (Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション (Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授業の計画及び授業外の学習方法	
第1回：科学的心理学とは—科学と実証— 事前学習：授業前に「科学的であるための条件」について調べておくこと。(2時間) 事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。(2時間)	
第2回：心理学研究の歴史 事前学習：科学的心理学の歴史の流れを調べておくこと。(2時間) 事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。(2時間)	
第3回：実験的方法と観察的方法 事前学習：実験とはなにかについて考えておくこと。(2時間) 事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。(2時間)	
第4回：定性的研究から定量的研究へ 事前学習：定性的研究から定量的研究について調べておくこと。(2時間) 事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。(2時間)	
第5回：データの統計的記述 事前学習：心理学統計法Iで学んでいる記述統計について見直しておくこと。(2時間) 事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。(2時間)	
第6回：行動観察法 事前学習：行動観察法について調べておくこと。(2時間) 事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。(2時間)	
第7回：面接法 事前学習：面接法について調べておくこと。(2時間) 事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。(2時間)	

- 第8回：実験的手法と実験計画
事前学習：実験計画について調べておくこと。(2時間)
事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。(2時間)
- 第9回：動物実験の手法(動物実験の必要性についてディスカッション)
事前学習：授業中にディスカッションをするので、動物実験の必要性について調べておくこと。(2時間)
事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。(2時間)
- 第10回：認知心理学における研究法
事前学習：反応時間について調べておくこと。(2時間)
事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。(2時間)
- 第11回：生理心理学における研究法
事前学習：脳波について調べておくこと。(2時間)
事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。(2時間)
- 第12回：発達心理学における研究法
事前学習：ピアジェの行った実験について調べておくこと。(2時間)
事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。(2時間)
- 第13回：社会心理学における研究法
事前学習：集団力学について調べておくこと。(2時間)
事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。(2時間)
- 第14回：研究倫理—人権尊重とインフォームドコンセント—
事前学習：事前に配布する資料をよく読んでおくこと。(2時間)
事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。(2時間)
- 第15回：研究倫理—研究の不正の禁止—(研究不正の例についてディスカッション)
事前学習：事前に配布する資料をよく読んでおくこと。(2時間)
事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。(2時間)
- 第16回：定期試験

授業実施方法(面接授業・遠隔授業)

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

毎回行う課題(50%)と期末試験(50%)。

成績評価基準

- ・心理学における実証的研究法を説明することができるか。
- ・行動(behavior)を数量化する方法を身につけたか。
- ・研究における倫理を身につけたか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

テキストは使用せず、その都度資料等を配布する。
参考図書は適宜紹介する。

その他(受講上の注意)

出席は毎回行う課題(小レポート)をもとにとるので、必ず書いて提出すること。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

心理学研究法Ⅱ (Psychological Research Methods Ⅱ)			担当教員	杉島 一郎	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
PS-F-2104	2単位	1年後期	講義	必修	
<科目区分> 人間学部心理学科専門科目 基幹科目 心理学基礎					
求める学習成果(教育目標)					
心理学の研究方法と基礎的な知識・技能・技術					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input checked="" type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input checked="" type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
心理検査や質問紙などの調査的手法を中心とした心理学研究法を概観し、尺度構成や測定法、データの信頼性などの基本的知識を習得する。またデータを用いた実証的な思考方法についても講義をおこなう。	
授 業 の 到 達 目 標	
<ul style="list-style-type: none"> ・心理学調査における、主観的な心理現象を客観的に測定する方法を身につける。 ・質問紙法などの心理検査の成り立ちを理解する。 ・尺度構成について理解し活用できるようにする。 ・データの信頼性・妥当性について理解する。 ・心理検査や知能テストを測定の観点から理解する。 ・データを用いた実証的な思考方法を身につける。 	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input checked="" type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input checked="" type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法	
第1回：心理学における調査的手法 事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(4時間) 第2回：心理検査と測定法 事前学習：Y-G性格検査について調べておくこと。(2時間) 事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間) 第3回：尺度構成 事前学習：「尺度」について調べておくこと。(2時間) 事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間) 第4回：性格検査の成り立ち 事前学習：ビッグ・ファイブ理論について調べておくこと。(2時間) 事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間) 第5回：知能検査の成り立ち 事前学習：ビネーの行った知能検査作成について調べておくこと。(2時間) 事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間) 第6回：投影法検査の成り立ち(バウムテストの実技) 事前学習：バウムテストについて調べておくこと。(2時間) 事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間) 第7回：質問紙の作成法 事前学習：事前に配布する論文を熟読しておくこと。(2時間) 事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)	

- 第8回：データの信頼性と妥当性
事前学習：事前に配布する論文を熟読しておくこと。(2時間)
事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
- 第9回：質問紙の分析法
事前学習：事前に配布する論文を熟読しておくこと。(2時間)
事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
- 第10回：心理検査を用いた研究法
事前学習：事前に配布する論文を熟読しておくこと。(2時間)
事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
- 第11回：心理検査を用いた分析法
事前学習：事前に配布する論文を熟読しておくこと。(2時間)
事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
- 第12回：相関関係から因果関係へ
事前学習：事前に配布する論文を熟読しておくこと。(2時間)
事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
- 第13回：複雑な心理事象のモデリングー多変量解析ー
事前学習：SD法およびクラスター分析について調べておくこと。(2時間)
事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
- 第14回：調査法の実際と問題点
事前学習：事前に配布する論文を熟読しておくこと。(2時間)
事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
- 第15回：まとめと研究倫理(ディスカッションを含む)
事前学習：授業中にディスカッションを行うので、調査実施上の倫理的問題を考えておくこと。(2時間)
事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
- 第16回：定期試験

授業実施方法(面接授業・遠隔授業)

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

毎回授業時に提出するブリーフレポートや課題(50%)および期末テスト(50%)。

成績評価基準

- ・心理学調査における、主観的な心理現象を客観的に測定する方法を身につけたか。
- ・質問紙法などの心理検査の成り立ちを説明することができるか。
- ・尺度構成について理解し活用できるような知識を得たか。
- ・データの信頼性・妥当性について理解したか。
- ・心理検査や知能テストを測定の観点から説明することができるか。
- ・データを用いた実証的な思考方法を身につけたか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)
テキスト、参考図書
テキストは特に使用しない。適宜参考図書などを紹介する。
その他(受講上の注意)
出席は毎回行うブリーフレポートをもとにとるので、授業中に課された内容を必ず書いて提出すること。
オフィスアワー
UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

心理学統計法 I (Psychological Statistics I)			担当教員	山岸 厚仁	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
PS-F-2107	2単位	1年前期	演習	選択	
<科目区分> 人間学部心理学科専門科目 基幹科目 心理学基礎					
求める学習成果(教育目標)					
心理学の研究方法と基礎的な知識・技能・技術					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input checked="" type="checkbox"/> 計画実行能力 <input checked="" type="checkbox"/> 選択能力 <input type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
<p>心理学の実験や調査研究において必要となる統計的な基礎知識のうち、測定尺度に関する知識や、グラフや代表値などを用いてのデータの整理など、そのデータがどのようなデータであるかを明らかにするためのデータ解析の初歩である、記述統計の方法について学習します。</p> <p>実際のデータを用いた説明を行い、求めた値の意味を理解し、自分でもそれらが求められるように演習を行います。</p>	
授 業 の 到 達 目 標	
<input checked="" type="checkbox"/> 統計的なデータの整理・記述ができる。 <input checked="" type="checkbox"/> 尺度の概念を理解できる。 <input checked="" type="checkbox"/> 記述統計の概念を理解し計算を行える。	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法	
<p>第1回：概説(心理学における統計の意味) 1 事前学習：なし 事後学習：授業で扱った範囲について確認し、質問事項をまとめておく。(2時間)</p> <p>第2回：概説(心理学における統計の意味) 2 加算記号について 事前学習：前回の授業で呈示された、心理学における統計法の利用に基づいて、現実場面での適用例を考える(2時間)。 事後学習：授業で扱った範囲について確認し、質問事項をまとめておく。(2時間)</p> <p>第3回：統計学の基礎(変数の概念、色々な測定尺度) 1 事前学習：テキスト第1章を読み、理解し、分かりにくいところを事前に調べる。(2時間) 事後学習：授業で扱った範囲について確認し、質問事項をまとめておく。(2時間)</p> <p>第4回：統計学の基礎(変数の概念、色々な測定尺度) 2 事前学習：テキスト第1章を読み、理解し、分かりにくいところを事前に調べる。(2時間) 事後学習：授業で扱った範囲について、質問事項をまとめておく。また、ヘルプデスクを利用するなどして理解に努める。(2時間)</p> <p>第5回：データ整理の方法(度数分布とその図示法) 1 事前学習：テキスト第2章を読み、理解し、分かりにくいところを事前に調べる。(2時間) 事後学習：授業で扱った範囲について、質問事項をまとめておく。また、ヘルプデスクを利用するなどして理解に努める。(2時間)</p> <p>第6回：データ整理の方法(度数分布とその図示法) 2 事前学習：テキスト第2章を読み、理解し、分かりにくいところを事前に調べる。(2時間) 事後学習：授業で扱った範囲について、質問事項をまとめておく。また、ヘルプデスクを利用するなどして理解に努める。(2時間)</p> <p>第7回：代表値と散布度 1 事前学習：テキスト第3章を読み、理解し、分かりにくいところを事前に調べる。(2時間) 事後学習：授業で扱った範囲について、質問事項をまとめておく。また、ヘルプデスクを利用するなどして理解に努める。(2時間)</p>	

第8回：代表値と散布度2

事前学習：テキスト第4章を読み、理解し、分かりにくいところを事前に調べる。(2時間)

事後学習：授業で扱った範囲について、質問事項をまとめておく。また、ヘルプデスクを利用するなどして理解に努める。(2時間)

第9回：正規分布1

事前学習：テキスト第5章を読み、理解し、分かりにくいところを事前に調べる。(2時間)

事後学習：授業で扱った範囲について、質問事項をまとめておく。また、ヘルプデスクを利用するなどして理解に努める。(2時間)

第10回：正規分布2

事前学習：テキスト第5章を読み、理解し、分かりにくいところを事前に調べる。(2時間)

事後学習：授業で扱った範囲について、質問事項をまとめておく。また、ヘルプデスクを利用するなどして理解に努める。(2時間)

第11回：測定値の変換(得点の標準化)1

事前学習：テキスト第5章を読み、理解し、分かりにくいところを事前に調べる。(2時間)

事後学習：授業で扱った範囲について、質問事項をまとめておく。また、ヘルプデスクを利用するなどして理解に努める。(2時間)

第12回：測定値の変換(得点の標準化)2

事前学習：テキスト第5章を読み、理解し、分かりにくいところを事前に調べる。(2時間)

事後学習：授業で扱った範囲について、質問事項をまとめておく。また、ヘルプデスクを利用するなどして理解に努める。(2時間)

第13回：相関関係1

事前学習：テキスト第6章を読み、理解し、分かりにくいところを事前に調べる。(2時間)

事後学習：授業で扱った範囲について、質問事項をまとめておく。また、ヘルプデスクを利用するなどして理解に努める。復讐課題(オンデマンドで実施)に取り組む。(2時間)

第14回：相関関係2

事前学習：テキスト第6章を読み、理解し、分かりにくいところを事前に調べる。(2時間)

事後学習：授業で扱った範囲について、質問事項をまとめておく。また、ヘルプデスクを利用するなどして理解に努める。復讐課題(オンデマンドで実施)に取り組む。(2時間)

第15回：回帰

事前学習：テキスト第6章を読み、理解し、分かりにくいところを事前に調べる。(4時間)

事後学習：授業で扱った範囲について、質問事項をまとめておく。また、ヘルプデスクを利用するなどして理解に努める。復讐課題(オンデマンドで実施)に取り組む。(2時間)

第16回：定期試験

週2回開設される学科のヘルプデスク(6月より実施)を利用すれば、授業に関する疑問点などは先輩のSAに相談できます。予習・復習のために、積極的に活用してください。

授業実施方法(面接授業・遠隔授業)

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

定期試験(80%) 平常点(20%)

(平常点は、授業への参加状況・受講態度などを総合して判断します)

成績評価基準

- 統計的なデータの整理・記述ができるか。
- 尺度の概念を理解できるか。
- 記述統計の概念を理解し計算を行えるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
 - 授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
 - 授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
 - 授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて
 - 定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
 - 授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)
テキスト、参考図書
テキスト：『心理・教育のための統計法〈第3版〉』 山内光哉著 サイエンス社 参考図書：『よくわかる心理統計』 山田剛史・村井潤一郎著 ミネルヴァ書房
その他(受講上の注意)
1年次後期に開講される「心理学統計法Ⅱ」は、本授業で得られる基礎的知識が前提となります。
オフィスアワー
UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

心理学統計法Ⅱ (Psychological StatisticsⅡ)			担当教員	水田 敏郎、山岸 厚仁	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
PS-F-2108	2単位	1年後期	演習	選択	
<科目区分> 人間学部心理学科専門科目 基幹科目 心理学基礎					
求める学習成果(教育目標)					
心理学の研究方法と基礎的な知識・技能・技術					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input checked="" type="checkbox"/> 計画実行能力 <input checked="" type="checkbox"/> 選択能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
心理学統計法Ⅰ(記述統計)の内容をふまえて、さらに進んだ推測統計学の方法を解説し、演習します。具体的には、統計的仮説検定のうち、t検定、分散分析の考え方について詳しく説明し、実際に自分でもデータの分析や検定ができるようにPCを使用した演習も行います。	
授 業 の 到 達 目 標	
<input checked="" type="checkbox"/> 統計的仮説検定の基本的な考え方を理解する。 <input checked="" type="checkbox"/> 実際の仮説検定を行い、結果を理解する。	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input checked="" type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法	
第1回：母集団と標本①(標本抽出、標準誤差：越前市の年齢別人口動態調査結果データを基に母集団と標本について説明するとともに、実際に様々な統計量を算出する演習) 事前学習：テキスト第7章を読み、理解し、分かりにくいところを事前に調べる。(2時間) 事後学習：授業で扱った範囲について、ヘルプデスクを利用するなどし、練習問題(配布プリント・テキスト)に取り組む。(2時間)	
第2回：母集団と標本②(標本抽出、標準誤差) 事前学習：テキスト第7章を読み、理解し、分かりにくいところを事前に調べる。(2時間) 事後学習：授業で扱った範囲について、ヘルプデスクを利用するなどし、練習問題(配布プリント・テキスト)に取り組む。(2時間)	
第3回：統計的仮説検定の考え方① 事前学習：テキスト第8章を読み、理解し、分かりにくいところを事前に調べる。(2時間) 事後学習：授業で扱った範囲について、ヘルプデスクを利用するなどし、練習問題(配布プリント・テキスト)に取り組む。(2時間)	
第4回：統計的仮説検定の考え方② 事前学習：テキスト第8章を読み、理解し、分かりにくいところを事前に調べる。(2時間) 事後学習：授業で扱った範囲について、ヘルプデスクを利用するなどし、練習問題(配布プリント・テキスト)に取り組む。(2時間)	
第5回：2つの平均値の差の検定①(t検定) 事前学習：テキスト第9章を読み、理解し、分かりにくいところを事前に調べる。(2時間) 事後学習：授業で扱った範囲について、ヘルプデスクを利用するなどし、練習問題(配布プリント・テキスト)に取り組む。(2時間)	
第6回：2つの平均値の差の検定②(t検定) 事前学習：テキスト第9章を読み、理解し、分かりにくいところを事前に調べる。(2時間) 事後学習：授業で扱った範囲について、ヘルプデスクを利用するなどし、練習問題(配布プリント・テキスト)に取り組む。(2時間)	
第7回：2つの平均値の差の検定③(t検定) 事前学習：テキスト第9章を読み、理解し、分かりにくいところを事前に調べる。(2時間) 事後学習：授業で扱った範囲について、ヘルプデスクを利用するなどし、練習問題(配布プリント・テキスト)に取り組む。(2時間)	

- 第8回：分散分析①（1要因、2要因）
事前学習：テキスト第10章を読み、理解し、分かりにくいところを事前に調べる。（2時間）
事後学習：授業で扱った範囲について、ヘルプデスクを利用するなどし、練習問題（配布プリント・テキスト）に取り組む。（2時間）
- 第9回：分散分析②（1要因、2要因）
事前学習：テキスト第10章を読み、理解し、分かりにくいところを事前に調べる。（2時間）
事後学習：授業で扱った範囲について、ヘルプデスクを利用するなどし、練習問題（配布プリント・テキスト）に取り組む。（2時間）
- 第10回：分散分析③（1要因、2要因）
事前学習：テキスト第11章を読み、理解し、分かりにくいところを事前に調べる。（2時間）
事後学習：授業で扱った範囲について、ヘルプデスクを利用するなどし、練習問題（配布プリント・テキスト）に取り組む。（2時間）
- 第11回：分散分析④（1要因、2要因）
事前学習：テキスト第11章を読み、理解し、分かりにくいところを事前に調べる。（2時間）
事後学習：授業で扱った範囲について、ヘルプデスクを利用するなどし、練習問題（配布プリント・テキスト）に取り組む。（2時間）
- 第12回：分散分析⑤（1要因、2要因）
事前学習：テキスト第11章を読み、理解し、分かりにくいところを事前に調べる。（2時間）
事後学習：授業で扱った範囲について、ヘルプデスクを利用するなどし、練習問題（配布プリント・テキスト）に取り組む。（2時間）
- 第13回：SPSSを用いたデータ分析①（実技）
事前学習：これまでの授業で紹介された仮説検定の理論・方法（特にt検定）について、配布プリント・テキストを利用してまとめる。（2時間）
事後学習：授業で実習したSPSSを用いた検定の操作について復習し、ヘルプデスクを利用するなどし、練習問題（配布プリント・テキスト）に取り組む。（2時間）
- 第14回：SPSSを用いたデータ分析②（実技）
事前学習：これまでの授業で紹介された仮説検定の理論・方法（特に分散分析）について、配布プリント・テキストを利用してまとめる。（2時間）
事後学習：授業で実習したSPSSを用いた検定の操作について復習し、ヘルプデスクを利用するなどし、練習問題（配布プリント・テキスト）に取り組む。（2時間）
- 第15回：まとめ
事前学習：まとめの練習問題プリントの問題について解答する。（2時間）
事後学習：授業で扱った範囲について、ヘルプデスクを利用するなどし、練習問題（配布プリント・テキスト）に取り組む。（2時間）
- 第16回：定期試験

心理学統計法Ⅰの内容の理解が前提となるので、復習が必要です。週2回開設される学科のヘルプデスクを利用すれば、授業に関する疑問点などは先輩のSAに相談できます。予習・復習のために、積極的に活用してください。

授業実施方法（面接授業・遠隔授業）

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

定期試験（80％） 平常点（20％）
（平常点は、授業への参加状況・受講態度などを総合して判断します。）

成績評価基準

- 統計的仮説検定の基本的な考え方を説明することができるか。
- 実際の仮説検定を行い、結果を解釈することができるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)
テキスト、参考図書
テキスト：『心理・教育のための統計法〈第3版〉』 山内光哉著 サイエンス社 参考図書：『心理学のためのデータ解析テクニカルブック』 森敏昭・吉田寿夫編著 北大路出版 『統計学のはなし』 蓑谷千風彦著 東京図書 『SPSSにおける分散分析の手順』 遠藤健治著 北樹出版 『よくわかる心理統計』 山田剛史・村井潤一郎著 ミネルヴァ書房
その他(受講上の注意)
原則として「心理学統計法 I (心理統計 I)」の単位を履修していることが必要です。
オフィスアワー
UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

感情・人格心理学 (Psychology of Emotion and Personality)			担当教員	森 俊之	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
PS-G-2125	2単位	1年後期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部心理学科専門科目 基幹科目 心理学専門					
求める学習成果(教育目標)					
心理学の各領域における基礎的かつ一般的な知識					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input checked="" type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
感情および性格に関する諸理論や研究を概観し、感情や性格を理解するための枠組みについて学ぶ。その上で、自己や他者の感情や性格をどのように理解し、対人関係の問題にどのように対処したらよいかを考える。	
授 業 の 到 達 目 標	
<ul style="list-style-type: none"> 感情心理学や性格心理学に関する基本的用語を説明できる。 感情や性格に関する心理学研究について説明できる。 自分の感情や性格について心理学的に考察し評価できる。 	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法	
第1回：性格とは	事後学習：授業で指定されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べるとともに、授業で理解したことも含め自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。(4時間)
第2回：性格の類型論	事前学習：前回の授業の最後に予告されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べておく(2時間) 事後学習：事前学習で調べたキーワードを、授業で理解したことも含め、自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。(2時間)
第3回：性格の特性論	事前学習：前回の授業の最後に予告されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べておく(2時間) 事後学習：事前学習で調べたキーワードを、授業で理解したことも含め、自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。(2時間)
第4回：脳と性格	事前学習：前回の授業の最後に予告されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べておく(2時間) 事後学習：事前学習で調べたキーワードを、授業で理解したことも含め、自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。(2時間)
第5回：性格の遺伝	事前学習：前回の授業の最後に予告されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べておく(2時間) 事後学習：事前学習で調べたキーワードを、授業で理解したことも含め、自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。(2時間)
第6回：ライフサイクルと性格	事前学習：前回の授業の最後に予告されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べておく(2時間) 事後学習：事前学習で調べたキーワードを、授業で理解したことも含め、自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。(2時間)

- 第7回：家族関係・対人関係・文化と性格
 事前学習：前回の授業の最後に予告されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べておく（2時間）
 事後学習：事前学習で調べたキーワードを、授業で理解したことも含め、自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。（2時間）
- 第8回：健康と性格
 事前学習：前回の授業の最後に予告されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べておく（2時間）
 事後学習：事前学習で調べたキーワードを、授業で理解したことも含め、自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。（2時間）
- 第9回：性格の病気：人格障害
 事前学習：前回の授業の最後に予告されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べておく（2時間）
 事後学習：事前学習で調べたキーワードを、授業で理解したことも含め、自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。（2時間）
- 第10回：性格の測定
 事前学習：前回の授業の最後に予告されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べておく（2時間）
 事後学習：事前学習で調べたキーワードを、授業で理解したことも含め、自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。（2時間）
- 第11回：感情とは
 事前学習：前回の授業の最後に予告されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べておく（2時間）
 事後学習：事前学習で調べたキーワードを、授業で理解したことも含め、自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。（2時間）
- 第12回：感情の生理過程
 事前学習：前回の授業の最後に予告されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べておく（2時間）
 事後学習：事前学習で調べたキーワードを、授業で理解したことも含め、自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。（2時間）
- 第13回：感情の起源と発達
 事前学習：前回の授業の最後に予告されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べておく（2時間）
 事後学習：事前学習で調べたキーワードを、授業で理解したことも含め、自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。（2時間）
- 第14回：感情が認知や行動にもたらす影響
 事前学習：前回の授業の最後に予告されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べておく（2時間）
 事後学習：事前学習で調べたキーワードを、授業で理解したことも含め、自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。（2時間）
- 第15回：感情の障害
 事前学習：前回の授業の最後に予告されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べておく（2時間）
 事後学習：事前学習で調べたキーワードを、授業で理解したことも含め、自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。（2時間）
- 第16回：期末試験
- ※各回（初回を除く）とも、授業の前半に前回の事後学習の成果をグループで紹介しあう時間を設ける。（グループワーク）

授業実施方法（面接授業・遠隔授業）

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

学期末に実施する筆記試験（80%）と授業中に指示する課題・授業時の態度等（20%）をもとに評価する。

成績評価基準

- ・感情心理学や性格心理学に関する基本的用語を説明できるか。
- ・感情や性格に関する心理学研究について説明できるか。
- ・自分の感情や性格について心理学的に評価できるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

- ・ 経歴
(公認心理師, 臨床心理士)
- ・ 実務経験と授業内容との関連性
(公認心理師の教員が、感情および性格に関する諸理論や研究について講義し、自己や他者の理解と対人関係の問題への対処に関して解説する。)

テキスト、参考図書

教科書は指定しない。適宜、補助資料を配付する。
 参考書は授業中、随時、紹介する。

その他(受講上の注意)

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

精神分析学 (Psychoanalysis)			担当教員	西村 則昭	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
PS-G-2126	2単位	1年後期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部心理学科専門科目 基幹科目 心理学専門					
求める学習成果(教育目標)					
心理学の各領域における基礎的かつ一般的な知識					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
■自他の理解能力		■コミュニケーション能力		□情報収集・探索能力	
■役割把握・認識能力		□計画実行能力		□社会・職業理解能力	
		□選択能力		□課題解決能力	

授 業 の 内 容	
無意識を考えるフロイト以来の精神分析学を概説する。	
授 業 の 到 達 目 標	
<ul style="list-style-type: none"> ・人間の心には意識できない無意識の部分があることを理解し、無意識の産物である夢や空想や神話を分析することができる。 ・自分とタイプの異なる他者あるいは異性を理解し、尊重する精神をもつことができる。 ・心を病んだ人々を理解し、その心に寄り添うことができる。 	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input checked="" type="checkbox"/> その他(検査結果の分析)	
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法	
第1回：オリエンテーション 事前学習：フロイト、ユングについて、インターネット等で調べておくこと。(2時間) 事後学習：資料等の見直しや、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)	
第2回：フロイトの生涯 事前学習：「フロイト」と「精神分析」について、インターネット等で調べておくこと。(2時間) 事後学習：資料等の見直しや、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)	
第3回：ユングの生涯 事前学習：「ユング」と「分析心理学」について、インターネット等で調べていくこと。(2時間) 事後学習：資料等の見直しや、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)	
第4回：フロイトの夢分析 事前学習：フロイトの著作『夢の解釈』について、インターネット等で調べておくこと。(2時間) 事後学習：資料等の見直しや、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)	
第5回：フロイトの症例「ドーラ」(授業の終わりに小レポートを書いてもらう) 事前学習：「ヴィクトリア朝文化」と「フロイトの症例ドーラ」について、インターネット等で調べておくこと。(2時間) 事後学習：資料等の見直しや、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)	
第6回：エディプス・コンプレックス 事前学習：エディプス・コンプレックスについて、インターネット等で調べておくこと。(2時間) 事後学習：資料を見直して、自分の検査結果を分析し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)	
第7回：フロイトの症例「ハンス」 事前学習：「フロイトの症例ハンス」について、インターネット等で調べておくこと。(2時間) 事後学習：資料等の見直しや、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)	

第8回：母娘コンプレックス 事前学習：ギリシア神話の「デーメテルとコレ（ペルセポネ）の物語」について、インターネット等で調べておくこと。（2時間） 事後学習：資料等の見直しや、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第9回：摂食障害（授業の終わりに小レポートを書いてもらう） 事前学習：「摂食障害」について、インターネット等で調べておくこと。（2時間） 事後学習：資料等の見直しや、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第10回：ユング心理学1（グレートマザーと英雄） 事前学習：「グレートマザー」について、インターネット等で調べておくこと。（2時間） 事後学習：資料等の見直しや、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第11回：ユング心理学2（イニシエーション） 事前学習：「イニシエーション」について、インターネット等で調べておくこと。（2時間） 事後学習：資料等を見直し、自分の検査結果を分析し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第12回：ユング心理学3（影） 事前学習：ユングの「影」について、インターネット等で調べておくこと。（2時間） 事後学習：資料等の見直しや、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第13回：ユング心理学4（アニマ） 事前学習：ユングの「アニマ」について、インターネット等で調べておくこと。（2時間） 事後学習：資料等の見直しや、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第14回：ユング心理学5（アニムス）（授業の終わりに小レポートを書いてもらう） 事前学習：ユングの「アニムス」について、インターネット等で調べておくこと。（2時間） 事後学習：資料等の見直しや、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第15回：ユング心理学6（自己） 事前学習：ユングの「自己」と「個性化」について、インターネット等で調べておくこと。（2時間） 事後学習：資料等を見直し、自分の検査結果を分析し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
講義で説明したことを、自分のことを振り返つつ、自分のことに重ね合わせ、理解を深めるようにしてください。できれば夢を記録し、分析してみてください。

授業実施方法（面接授業・遠隔授業）

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

最終レポート（50%）、小レポート（30%）、平常点（20%）
（平常点は、授業への参加状況・受講態度、質問等を総合して判断します）

成績評価基準

- ・精神分析やユング心理学の用語、概念を正しく理解し、夢や空想や神話を分析することができるか。
- ・自分の心理傾向やタイプを理解し、他者の立場に立って、感じたり考えたりできるか。
- ・心の病理を理解し、共に生きる者として、心を病む人に寄り添う姿勢を持つことができているか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)**テキスト、参考図書**

特にテキストは使用しない。プリント資料を配布する。また参考文献は適宜、紹介する。

その他(受講上の注意)

質問はメールでも受け付けます(nisimura@jindai.ac.jp)。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

学習・言語心理学 (Psychology of Learning and Language)			担当教員	杉島 一郎	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
PS-G-2129	2単位	1年後期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部心理学科専門科目 基幹科目 心理学専門					
求める学習成果(教育目標)					
心理学の各領域における基礎的かつ一般的な知識					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input checked="" type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input checked="" type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input checked="" type="checkbox"/> 選択能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
<p>学習による行動変容の法則を学び、臨床や教育、産業、日常生活に応用することを目指す。</p> <p>学習とは経験により行動が変容する過程のことである。学校における勉強だけでなく、生活のあらゆる場面で私たちは学習し、自分の行動を変容させている。こうした行動変容は、環境に存在する刺激との関係で法則化することができる。これまで明らかにされているさまざまな学習の方法について学び、日常生活に見られる色々な行動や、臨床的に問題のある行動、社会問題について理解を深め、社会において心理学が果たすべき意味を考えていく。また、言語の習得における機序についても概説し、ヒトがコミュニケーションを取るために何を学習すべきかを考える。</p>	
授 業 の 到 達 目 標	
<ul style="list-style-type: none"> ・種々の学習理論をその時代背景や社会的・臨床的問題とともに理解することができる。 ・さまざまな行動について、学習理論による説明を試みることができる。 ・言語の習得における機序を理解する。 ・心理学が社会に対していかに貢献できるかを考えることができる。 	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習 (PBL) <input checked="" type="checkbox"/> 討議 (ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク (Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション (Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法	
<p>第1回：学習とは 事後学習：講義内容でわからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(4時間)</p> <p>第2回：こころの概念と学習 事前学習：授業前に前期に受講した授業のノートを見返し、心理学におけるこころの概念を確認しておくこと。(2時間) 事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)</p> <p>第3回：生得的行動と学習された行動 事前学習：刷り込みや反射など、生得的行動について調べておくこと。(2時間) 事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)</p> <p>第4回：ワトソンの行動主義と学習理論 事前学習：行動主義と学習理論について調べておくこと。(2時間) 事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)</p> <p>第5回：古典的条件づけの基本 事前学習：講義で冒頭に質問するので、パブロフの条件反射の例を考えておくこと。(2時間) 事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)</p> <p>第6回：オペラント条件づけの基本 事後学習：オペラント条件付けの日常的な例を探しておくこと。(4時間)</p>	

- 第7回：強化スケジュール
事前学習：講義で冒頭に質問するので、オペラント条件づけ強化スケジュールの例を考えておくこと。(2時間)
事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
- 第8回：行動変容と行動療法
事前学習：行動療法について調べておくこと。(2時間)
事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
- 第9回：回避(逃避)学習(回避学習が適応される例についてのディスカッション)
事前学習：回避学習について調べておくこと。(2時間)
事後学習：不登校や適応障害について調べ、回避学習との関係を考えておくこと(2時間)
- 第10回：Learned Helplessness(あきらめの学習)
事前学習：回避学習において回避不能な場合どのようなことが起こるか、考えておくこと。(2時間)
事後学習：うつについて調べ、Learned Helplessnessとの関係を考えておくこと(2時間)
- 第11回：現代社会の諸問題と学習理論(ディスカッション)
事前学習：現代社会における心理的問題を調べておくこと。(2時間)
事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
- 第12回：学習・行動研究と心理学における言語研究
事前学習：オペラント条件付けについて再度確認しておくこと。(2時間)
事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
- 第13回：言語領域の心理学と言語発達の研究
事前学習：心理言語学がどういうものかを調べておくこと。(2時間)
事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
- 第14回：語彙能力の獲得と文法能力の獲得
事前学習：チョムスキーの生成変形文法理論について調べておくこと。(2時間)
事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
- 第15回：語用論的能力の発達
事前学習：語用論について調べておくこと。(2時間)
事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
- 第16回：定期試験

授業実施方法(面接授業・遠隔授業)

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

毎回行うブリーフレポート(20%)、定期試験(80%)

成績評価基準

- ・種々の学習理論をその時代背景や社会的・臨床的問題とともに説明することができるか。
- ・さまざまな行動について、学習理論による説明することができるか。
- ・言語の習得における機序を説明することができるか。
- ・心理学が社会に対していかに貢献できるかを考えることができるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)
テキスト、参考図書
教科書は指定しない。適宜、補助資料を配付する。 参考書は授業中、随時、紹介する。
その他(受講上の注意)
授業には積極的に参加し、指示された内容や自分の意見をブリーフレポートに書きこむようにしてください。
オフィスアワー
UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

コミュニケーション概論 (Introduction to Communication)			担当教員	升田 法継	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-F-2101	2単位	1年前期	講義	必修	
<科目区分> 人間学部コミュニケーション学科専門科目 基幹科目 コミュニケーション学基礎A群					
求める学習成果(教育目標)					
コミュニケーションに関する知識、言語やその他のコミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる基礎力を身につけます。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input checked="" type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input checked="" type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
本講義は、コミュニケーションに関する基本的な考え方を学ぶとともに、実社会と繋がるコミュニケーションのあり方について理解を深めることを目的としています。	
授 業 の 到 達 目 標	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 主なコミュニケーション理論を理解する。 ・ コミュニケーションと他者理解および社会との繋がりについて、講義の内容を踏まえながら、自身の考えを述べる。 ・ 場や他者を考慮したコミュニケーションを日常生活で実践する。 	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習 (PBL) <input type="checkbox"/> 討議 (ディスカッション、ダイバート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク (Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション (Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授業の計画及び授業外の学習方法	
第1回：オリエンテーション	事前学習：シラバスを読み、興味・関心のあるテーマについて調べたり、質問事項をまとめておく。(2時間)
	事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第2回：コミュニケーションの学びについて	事前学習：コミュニケーションを学ぶ意義・意味について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2時間)
	事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第3回：家族とコミュニケーション	事前学習：家族とのコミュニケーションについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2時間)
	事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第4回：社会とコミュニケーション	事前学習：社会とのコミュニケーションについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2時間)
	事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第5回：対人コミュニケーション	事前学習：対人コミュニケーションについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2時間)
	事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第6回：非言語コミュニケーション	事前学習：非言語コミュニケーションについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2時間)
	事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)

第7回：分かりやすいとは 事前学習：分かりやすい表現について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第8回：発想(グループワーク) 事前学習：アイデア創出について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。
第9回：合意形成(グループワーク・発表) 事前学習：合意形成について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第10回：リーダーシップ 事前学習：リーダーシップについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第11回：セルフ・リーダーシップ 事前学習：自分とのコミュニケーションについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第12回：逸脱(いじめ) 事前学習：「いじめ」について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第13回：メディア・コミュニケーション 事前学習：メディア・コミュニケーションについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第14回：ビジネス・コミュニケーション 事前学習：ビジネス・コミュニケーションについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第15回：まとめ 事前学習：授業全体の振り返りおよび確認問題に取り組むので、これまでの授業内容を確認しておくこと。(2時間) 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)

授業実施方法(面接授業・遠隔授業)

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

課題に対する取り組み内容・提出物(70%)、平常点(30%)
※平常点：授業への参加状況および受講態度等から総合的に判断します。

成績評価基準

- ・主なコミュニケーション理論を理解しているか。
- ・コミュニケーションと他者理解および社会との繋がりについて、講義の内容を踏まえながら、自身の考えを述べられるか。
- ・場や他者を考慮したコミュニケーションを日常生活で実践できるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他(リアクションペーパーに対するフィードバックについて)
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

元情報通信会社管理職(社員数:26万人、主な担当業務:人事、社長・取締役秘書、マーケティング、新規ビジネス開発、システム コンサルタント等)

情報通信会社において、人事や社長・取締役スタッフ経験もある教員が、コミュニケーションに関する基本的な考え方と類型や実社会と繋がるコミュニケーションのあり方について解説する。

テキスト、参考図書

必要に応じて、授業中に提示します。

その他(受講上の注意)

「授業計画」は、学生の反応・理解度や事業の進捗に応じて、前後したり変更する場合があります。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

異文化理解 a (Cross-Cultural Understanding a)			担当教員	加藤 優子	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-F-2102	2単位	1年前期	講義	必修	
<科目区分> 人間学部コミュニケーション学科専門科目 基幹科目 コミュニケーション学基礎A群(理論)					
求める学習成果(教育目標)					
コミュニケーションに関する知識を修得し、異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる力を身につけます。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
■自他の理解能力		■コミュニケーション能力		■情報収集・探索能力	
■役割把握・認識能力		□計画実行能力		■社会・職業理解能力	
		□選択能力		■課題解決能力	

授 業 の 内 容					
異文化コミュニケーション学の入門として、異文化理解に関する基礎的な事柄を学ぶ。言語と文化の関係性を学び、様々な国の歴史・社会・文化と、言語の関係性についての基本的な内容を理解する。ロールプレイのようなグループ・トレーニングや海外出身者(学内教員を含む)との交流等による学習を通して、多様な文化的背景を持った人々との交流を体験し、文化の多様性及び異文化交流の意義を理解する。					
授 業 の 到 達 目 標					
社会や世界との関わりの中で、他者とのコミュニケーションを行う力を育成する観点から、外国語やその背景にある文化の多様性及び異文化コミュニケーションの現状と課題について学ぶ。言語と文化の関係性を学び、英語やその他の言語が使われている国や地域の歴史、社会、文化について基本的な内容を理解する。ロールプレイのようなグループ・トレーニングや、海外出身者(学内教員を含む)との交流等による学習を通して、多様な文化的背景を持った人々との交流を体験し、文化の多様性及び異文化交流の意義について体験的に理解する。本授業を通し、外国語教育に資する知見を身に付ける。					
アクティブ・ラーニング					
□課題解決型学習(PBL) □討議(ディスカッション、ダイバート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) □グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) □発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) □実習、フィールドワーク □実験、実技 ■その他(eラーニング上に設置した学習支援システムによるロールプレイなどのグループ・トレーニング)					
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法					
第1回：異文化コミュニケーションの世界(異文化を理解する意義の説明と海外出身者との交流をレポート課題とする) 事前学習：参考図書に目を通すこと。(2時間) 事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら、Teamsを利用して担当教員に質問すること。(2時間)					
第2回：異文化コミュニケーションとは(異文化コミュニケーション学における文化の定義) 事前学習：参考図書に目を通すこと。(2時間) 事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら、Teamsを利用して担当教員に質問すること。(2時間)					
第3回：言語と文化の関係性(特に英語圏の歴史・社会・文化と、言語との関係について) 事前学習：参考図書に目を通すこと。(2時間) 事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら、Teamsを利用して担当教員に質問すること。(2時間)					
第4回：「常識」に関するグループ・トレーニングと講義 事前学習：参考図書に目を通すこと。(2時間) 事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら、Teamsを利用して担当教員に質問すること。(2時間)					
第5回：コミュニケーションモデル(異文化コミュニケーション学におけるコミュニケーションモデル) 事前学習：参考図書に目を通すこと。(2時間) 事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら、Teamsを利用して担当教員に質問すること。(2時間)					
第6回：非言語的コミュニケーション(非言語的コミュニケーション行動の種類) 事前学習：参考図書に目を通すこと。(2時間) 事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら、Teamsを利用して担当教員に質問すること。(2時間)					

- 第7回：異文化コミュニケーションの特性（異文化コミュニケーションにおける文化衝突の心理的背景）
事前学習：参考図書に目を通すこと。（2時間）
事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら、Teamsを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
- 第8回：「価値観」に関するグループ・トレーニングと講義
事前学習：参考図書に目を通すこと。（2時間）
事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら、Teamsを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
- 第9回：コミュニケーションスタイルズ（言語や文化によって異なるコミュニケーションスタイルの基礎的理解）
事前学習：参考図書に目を通すこと。（2時間）
事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら、Teamsを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
- 第10回：ホフステードの文化次元について（五つの文化次元の理解）
事前学習：参考図書に目を通すこと。（2時間）
事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら、Teamsを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
- 第11回：翻訳と通訳・異文化コミュニケーションと教育について（文化的背景の理解の重要性と、異文化コミュニケーション学に関わる領域の教育学について）
事前学習：参考図書に目を通すこと。（2時間）
事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら、Teamsを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
- 第12回：「自文化中心主義」に関するグループ・トレーニングと講義
事前学習：参考図書に目を通すこと。（2時間）
事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら、Teamsを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
- 第13回：異文化コミュニケーション能力と改善について（異文化適応の過程）
事前学習：参考図書に目を通すこと。（2時間）
事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら、Teamsを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
- 第14回：海外出身者との交流について（レポート課題の提出と検討）
事前学習：参考図書に目を通すこと。（2時間）
事後学習：授業で課された内容について、レポートにまとめておくこと。わからないことがあったら、Teamsを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
- 第15回：よりよい理解を目指して（異文化適性を養うことの重要性と異文化接触時のメンタルヘルスについての理解）
事前学習：参考図書に目を通すこと。（2時間）
事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら、Teamsを利用して担当教員に質問すること。（2時間）

授業実施方法（面接授業・遠隔授業）

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

期末レポート（20%）、授業内小テスト（70%）、授業の積極的参加（10%）

成績評価基準

- ・異文化コミュニケーション学の基礎的な用語について説明することができるか。
- ・異文化コミュニケーションについて、学んだ知識に基づいて説明することができるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)
テキスト、参考図書
【テキスト】 加藤優子(2021)『やさしい異文化理解』三恵社
【その他・参考図書】 中学校学習指導要領(平成29年3月公示 文部科学省) 高等学校学習指導要領(平成30年3月公示 文部科学省)
その他(受講上の注意)
5分以上20分未満の遅刻3回で欠席1回とみなす。 20分以上の遅刻は欠席とみなす。
オフィスアワー
UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

人間関係論 (Human Relations)			担当教員	橋本 武志	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-F-2103	2単位	1年後期	講義	必修	
<科目区分> 人間学部コミュニケーション学科専門科目 基幹科目 コミュニケーション学基礎A群(理論)					
求める学習成果(教育目標)					
コミュニケーションに関する知識を修得し、異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる力を身につけます。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input checked="" type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input checked="" type="checkbox"/> 選択能力 <input type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
<p>「自分と他人と関わるとはどういうことか」について熟考することにより、具体的な企画や表現を実践する基礎となっていながらも、見過ごされがちなタイプの「自己理解・他者理解」について考察する。 身近な自他関係について、人間関係についての社会学、哲学関係のテキストを読みながら、人間関係の横軸(友人・家族・世間)と縦軸(倫理や規範)について講義する。</p>	
授 業 の 到 達 目 標	
<p>自分や他人との関わりをもつときに、特に意識していない要素(儀礼的無関心、距離の取り方、世間の圧力)などについて理解し、またそうした関わり全体を支配している、エートスや規範についても理解することを通じて、「自分」「他人」「関わり」という要素を掘り下げて考える。 この講義を通して、具体的な「企画や自己表現」の実践の土台となる自己や他者のより深い理解を目指す。</p>	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授業の計画及び授業外の学習方法	
<p>第1回：オリエンテーション～人間関係の横軸と縦軸 事前学習：辞書などを基に「人間関係」という言葉の由来を調べノートしておくこと(2時間) 事後学習：本日の講義内容を自分なりにまとめておくこと(2時間)</p> <p>第2回：人間の本性についての諸説～自己の多面性 事前学習：「人間」についてのさまざまな定義(例：理性的動物)調べノートしておくこと(2時間) 事後学習：本日の講義内容を自分なりにまとめておくこと(2時間)</p> <p>第3回：他人との距離感①～世間、世間体、人目 事前学習：「アーヴィング・ゴフマン」(人名)について調べノートしておくこと(2時間) 事後学習：本日の講義内容を自分なりにまとめておくこと(2時間)</p> <p>第4回：他人との距離感②～アクセサリや髪型が気になる理由 事前学習：「ゲオルグ・ジンメル」(人名)について調べノートしておくこと(2時間) 事後学習：本日の講義内容を自分なりにまとめておくこと(2時間)</p> <p>第5回：面目による行動方針 事前学習：ゴフマンの「面目行為」の語義について調べノートしておくこと(2時間) 事後学習：本日の講義内容を自分なりにまとめておくこと(2時間)</p> <p>第6回：他人への気遣いの制度化 事前学習：「シャドウ・ワーク」「感情労働」の語義について調べておくこと(2時間) 事後学習：本日の講義内容を自分なりにまとめておくこと(2時間)</p> <p>第7回：なぜ人のものが欲しくなるのか？ 事前学習：ジラルの「欲望の三角形」について調べておくこと(2時間) 事後学習：本日の講義内容を自分なりにまとめておくこと(2時間)</p> <p>第8回：他人にどこまで口出しできるのか。 事前学習：「相対主義」の語義について調べておくこと(2時間) 事後学習：本日の講義内容を自分なりにまとめておくこと(2時間)</p> <p>第9回：多数に基づくルール1 事前学習：物事の決定の際に、多数決が採用される理由について考えておくこと(2時間) 事後学習：本日の講義内容を自分なりにまとめておくこと(2時間)</p>	

<p>第10回：多数に基づくルール2 事前学習：功利主義の弱点について考えておくこと（2時間） 事後学習：本日の講義内容を自分なりにまとめておくこと（2時間）</p> <p>第11回：利己主義に基づくルール 事前学習：トマス・ホップズについて調べておくこと（2時間） 事後学習：本日の講義内容を自分なりにまとめておくこと（2時間）</p> <p>第12回：利己主義に基づくルール2 事前学習：社会契約論について調べておくこと（2時間） 事後学習：本日の講義内容を自分なりにまとめておくこと（2時間）</p> <p>第13回：他者の立場に立つことはなぜできるのか。 事前学習：「黄金律」「役割取得」について調べておくこと（2時間） 事後学習：本日の講義内容を自分なりにまとめておくこと（2時間）</p> <p>第14回：義務感はどこから生まれるか。 事前学習：「義務論」という語句について調べておくこと（2時間） 事後学習：本日の講義内容を自分なりにまとめておくこと（2時間）</p> <p>第15回：「居場所」について（グループワーク10分） 事前学習：「自分の居場所」はどこかについて考え、列挙しておくこと（2時間） 事後学習：本日の講義内容を自分なりにまとめておくこと（2時間）</p>
授業実施方法（面接授業・遠隔授業）
原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。
成績評価方法
平常点（50パーセント）、レポート（50パーセント） （平常点は、授業への参加状況、毎回の課題や小テスト提出状況を総合して判断する）
成績評価基準
<ul style="list-style-type: none"> ・「自己」「他人」「関わり」といった言葉を表層的にではなく、深く理解しているか。 ・日常特に意識していないが、人間関係を構成する基礎的な要素（儀礼的無関心、距離の取り方、世間の同調圧力、嫉妬、公平など）について理解しているか。
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック
<p>1) 授業時の課題に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>3) 小レポートに対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて <input type="checkbox"/>定期試験時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>5) その他 <input type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p>
実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
テキスト、参考図書
テキストは使用せず、資料を配布する。参考書については授業中に適宜示す。
その他（受講上の注意）
毎回授業内で小レポートを書いてもらう。私語は他の受講者の迷惑となるので厳禁。私語の目立つものはその場で注意するが、注意によっても改まらない場合、当日欠席扱いとするので注意されたい。
オフィスアワー
UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

地域研究概論 (Introduction to Area Studies)			担当教員	井上 寛	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-F-2104	2単位	1年後期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部コミュニケーション学科専門科目 基幹科目 コミュニケーション学基礎A群(理論)					
求める学習成果(教育目標)					
コミュニケーションに関する知識、言語やその他のコミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる基礎力を身につけます。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
本講義は、地域特有の課題と実情を概観し、他地域との比較をおこなう。そして、具体的事例の分析、考察を通して、人文・社会科学のさまざまな学問領域の考え方に触れる「アカデミック・ガイダンス」を行う。	
授 業 の 到 達 目 標	
この講義を通して、人文・社会科学的な知に触れ、地域研究の基礎的スキルを獲得する。そのうえで、自己の地域社会を対象化し、分析できる基礎的学力を修得する。	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input checked="" type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授業の計画及び授業外の学習方法	
第1回：オリエンテーション 事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。(2時間)	
第2回：地域とは何か 事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献を読んでおくこと。(2時間) 事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語などを図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。(2時間)	
第3回：地域社会の変動・変容 事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献を読んでおくこと。(2時間) 事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語や県史・市史などを図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。(2時間)	
第4回：近代化・グローバル化と地域 事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献を読んでおくこと。(2時間) 事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語などを図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。(2時間)	
第5回：都市と地方・地域間の不平等 事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献を読んでおくこと。(2時間) 事後学習：講義後ノートを見直して復習し、地域が抱える課題に関する書籍を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。(2時間)	
第6回：地域づくり・地域おこしの時代 事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献を読んでおくこと。(2時間) 事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。(2時間)	
第7回：地域の伝統文化 事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献を読んでおくこと。(2時間) 事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。(2時間)	
第8回：ツーリズムと地域① 事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献を読んでおくこと。(2時間) 事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。(2時間)	

- 第9回：ツーリズムと地域②
 事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献を読んでおくこと。(2時間)
 事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。(2時間)
- 第10回：フィールドワーク①(課題解決型学習(PBL))
 事前学習：前回のノートを見直し、かつフィールドワークに関する参考文献を読んでおくこと。(2時間)
 事後学習：講義後ノートを見直して復習し、フィールドワークで得られたデータの整理に務めること。(2時間)
- 第11回：フィールドワーク②(課題解決型学習(PBL))
 事前学習：前回のノートを見直し、フィールドワークの手順や手法等の改善点を見つけること。(2時間)
 事後学習：講義後ノートを見直して復習し、フィールドワークで得られたデータの整理に務めること。(2時間)
- 第12回：事例研究①地域の伝統的景観の「保存」(討議(ディスカッション、ディベート))
 事前学習：前回のノートを見直し、景観論に関する書籍や記事などを収集し、読んでおくこと。(2時間)
 事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。(2時間)
- 第13回：事例研究②地域におけるインバウンド観光のメリット・デメリット(討議(ディスカッション、ディベート))
 事前学習：前回のノートを見直し、インバウンド観光に関するデータを各自で探し、調べておくこと。(2時間)
 事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。(2時間)
- 第14回：事例研究③地域におけるユニバサルツーリズムの可能性(討議(ディスカッション、ディベート))
 事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献を読んでおくこと。(2時間)
 事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。(2時間)
- 第15回：まとめ(討議(ディスカッション、ディベート))
 事前学習：これまで全てのノートを見直し、講義全体の内容を網羅的に理解しておくこと。(2時間)
 事後学習：講義後ノートを見直して復習し、理解した点・不明な点・疑問点などを自分で洗い出し、覚えておくこと。(4時間)

授業実施方法(面接授業・遠隔授業)

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

レポート(50%) 平常点(50%)
 ・レポートは別途提示した条件(期限・様式・研究倫理)を守らない場合には評価の対象としません。
 ・平常点は授業への参加状況、受講態度、提出物などの内容等を総合して判断します。

成績評価基準

・人文・社会科学的な知に触れ、各学問領域の基礎的スキルを獲得できているか
 ・本講義を通じて地域社会に関する基礎的学力を修得した上で、事実に基づいて意見を述べ、かつ批判的に考察できるようになっているか

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他(「ディスカッション・ディベート」に対するフィードバックについて)
授業時 仁大eラーニング メール その他(担当教員の研究室にて対応)

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

特定のテキストは使用しません。必要に応じて授業時に資料を配布します。
また、参考図書については適宜授業内で紹介します。

その他(受講上の注意)

他の受講生に迷惑がかかる行為(私語・遅刻・無断退席等)は禁止します。
受講生の理解度や興味・関心にあわせて授業計画には変更を加える可能性があります。
授業の性格上、学外で活動することもありますので、交通費等がかかることがあります。

オフィスアワー

大学教育情報システム【授業に関するお知らせ】にて時間帯等を確認してください。

日本語概論 (Introduction to the Japanese Language)			担当教員	平岡 正実	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-F-2105	2単位	1年前期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部コミュニケーション学科専門科目 基幹科目 コミュニケーション学基礎A群 (理論)					
求める学習成果(教育目標)					
コミュニケーションに関する知識を修得し、異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる力を身につけます。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input checked="" type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
・日本語学の基礎として発音・語彙・表記法・文法などの分野について理解し、日本語の活用力を身に付ける。	
授 業 の 到 達 目 標	
・日本語学の基礎知識を用いて、日本語の音声・文法・語彙等の特色を説明できる。 ・世界の言語のなかで日本語をみたときに、留意すべき日本語の特徴を理解することができる。	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習 (PBL) <input checked="" type="checkbox"/> 討議 (ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク (Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション (Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法	
第1回：ガイダンス 事前学習：日本語の特色についてまとめる。(2時間) 事後学習：授業時の説明を踏まえて、日本語の特色を理解する。(2時間)	
第2回：日本語の表記・漢字 事前学習：漢字の歴史、変化、効果などをまとめる。(2時間) 事後学習：授業内容を復習し、その要点を理解する。(2時間)	
第3回：日本語の表記・平仮名、片仮名、ローマ字 事前学習：平仮名、片仮名、ローマ字の成立過程、特色、効果などをまとめる。(2時間) 事後学習：授業内容を復習し、その要点を理解する。(2時間)	
第4回：日本語の音韻：音節とモーラ 事前学習：日本語の音節、モーラなどについてまとめる。(2時間) 事後学習：授業内容を復習し、その要点を理解する。(2時間)	
第5回：日本語の表記・話し言葉、書き言葉 事前学習：日本語の話し言葉、書き言葉、公用文の表現などについてまとめる。(2時間) 事後学習：授業内容を復習し、その要点を理解する。(2時間)	
第6回：日本語の表現・比喩などの修辭法 事前学習：比喩などの修辭法について調べ、まとめる。(2時間) 事後学習：授業内容を復習し、その要点を理解する。(2時間)	
第7回：日本語の表現・オノマトペ 事前学習：オノマトペについて調べ、まとめる。(2時間) 事後学習：授業内容を復習し、その要点を理解する。(2時間)	
第8回：日本語によるコミュニケーションと敬語 事前学習：敬語について調べ、まとめる。(2時間) 事後学習：授業内容を復習し、その要点を理解する。(2時間)	
第9回：日本語によるコミュニケーション・話す聞く 事前学習：スピーチ、聞きとりメモなどについてまとめる。(2時間) 事後学習：授業内容を復習し、その要点を理解する。(2時間)	
第10回：日本語の語彙 事前学習：日本語の語彙について調べ、まとめる。(2時間) 事後学習：授業内容を復習し、その要点を理解する。(2時間)	

<p>第11回：日本語の表現・書くこと 事前学習：日本語で書く、表現する様々な様式についてまとめる。(2時間) 事後学習：授業内容を復習し、その要点を理解する。(2時間)</p> <p>第12回：日本語の言葉遊び 事前学習：日本語の特色と言言葉遊びの関係についてまとめる。(2時間) 事後学習：授業内容を復習し、その要点を理解する。(2時間)</p> <p>第13回：日本語の文法 事前学習：日本語の文法の特色についてまとめる。(2時間) 事後学習：授業内容を復習し、その要点を理解する。(2時間)</p> <p>第14回：日本語の変化・日本語は乱れているのか 事前学習：日本語の誤用について調べ、まとめる。(2時間) 事後学習：授業内容を復習し、その要点を理解する。(2時間)</p> <p>第15回：日本語の変化・新語、流行語、死語 事前学習：日本語の新語、流行語、使われなくなった言葉について調べ、まとめる。(2時間) 事後学習：授業内容を復習し、その要点を理解する。(2時間)</p>
授業実施方法(面接授業・遠隔授業)
原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。
成績評価方法
学期末レポート(50%)、授業内の課題(30%)、平常点(20%) (平常点は、授業への参加状況や受講態度等を総合して判断する。)
成績評価基準
・日本語学の基礎知識を用いて、日本語の音声・文法・語彙等の特色を説明できるか。 ・世界の言語のなかで日本語をみたときに、留意すべき日本語の特徴を理解することができるか。
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック
<p>1) 授業時の課題に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>3) 小レポートに対するフィードバックについて <input type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて <input type="checkbox"/>定期試験時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>5) その他 <input type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p>
実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)
テキスト、参考図書
テキストは使用しません。その都度、参考図書を指示します。
その他(受講上の注意)
事前学習したことをふまえて、日本語について問いを立て、グループワーク、討論などを通して解決していきます。
オフィスアワー
UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

共生社会論 (Studies of Inclusive Societies)			担当教員	織田 暁子	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-F-2106	2単位	1年後期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部コミュニケーション学科専門科目 基幹科目 コミュニケーション学基礎A群 (理論)					
求める学習成果(教育目標)					
コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、課題解決のための構想力と判断力を身につけます。 コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input checked="" type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input checked="" type="checkbox"/> 選択能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
<p>本講義では、現代社会でいかにして「共生社会」を築き上げるかを考える。マジョリティとして生きることは一種の「特権」であるという立場に立って、マイノリティや社会的劣位に置かれている人々をめぐる問題について学ぶ。とくに、ジェンダー論と社会階層論を中心に扱う。平等や差別、ダイバーシティ(多様性)に関する理論や、LGBT、ケア、教育格差、貧困といった具体的なテーマを通して、公正な社会とはどのような社会か、考えを深めていく。</p> <p>なお、本科目は国連が定める「持続可能な開発目標 (SDGs)」に向けて地域の社会的課題に取り組むSDGs関連科目です。</p>	
授 業 の 到 達 目 標	
<p>社会的強者であるマジョリティにとって、マイノリティの問題は「他人事」になりがちである。マイノリティが置かれている状況を知り、問題を正しく理解することをめざす。一方で、マイノリティの不利益だけではなく、マジョリティが有している特権にも目を向ける必要がある。これらを通じて、共生社会の理念や、その実現のためには何が必要か、考えを深めていく。</p>	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習 (PBL) <input type="checkbox"/> 討議 (ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク (Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション (Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授業の計画及び授業外の学習方法	
<p>第1回：オリエンテーション— 共生社会とは何か 事前学習：「共生社会」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと (2時間) 事後学習：授業のレジメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品を確認する (2時間)</p> <p>第2回：マジョリティと特権①「ふつう」とは何か・「みんな」とは誰か 事前学習：「ふつう」という言葉について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと (2時間) 事後学習：授業のレジメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品を確認する (2時間)</p> <p>第3回：マジョリティと特権②「特権集団」のもつ力 事前学習：「特権」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと (2時間) 事後学習：授業のレジメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品を確認する (2時間)</p> <p>第4回：合理的な選択とは何か— 囚人のジレンマ 事前学習：「合理的」ということについて、自分なりの考えや意見をまとめておくこと (2時間) 事後学習：授業のレジメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品を確認する (2時間)</p> <p>第5回：社会階層論①社会階層とは何か 事前学習：「自由か平等か」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと (2時間) 事後学習：授業のレジメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品を確認する (2時間)</p> <p>第6回：社会階層論②教育と労働 事前学習：「教育格差」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと (2時間) 事後学習：授業のレジメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品を確認する (2時間)</p> <p>第7回：ジェンダー論①ジェンダーとは何か 事前学習：「ジェンダー」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと (2時間) 事後学習：授業のレジメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品を確認する (2時間)</p>	

- 第8回：ジェンダー論②教育とジェンダー
事前学習：「ジェンダーと社会階層」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（2時間）
事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品を確認する（2時間）
- 第9回：社会階層とジェンダー①有償労働と無償労働
事前学習：「労働の権利」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（2時間）
事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品を確認する（2時間）
- 第10回：社会階層とジェンダー②現代の労働問題 / 中間レポートについて（予定）
事前学習：「非正規雇用」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（2時間）
事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品を確認する、中間レポートを執筆する（2時間）
- 第11回：家族をつくる権利①婚姻の権利
事前学習：「婚姻」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（2時間）
事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品を確認する、中間レポートを執筆する（2時間）
- 第12回：家族をつくる権利②SOGIEの基礎知識
事前学習：「性の多様性」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（2時間）
事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品を確認する、中間レポートを執筆する（2時間）
- 第13回：家族をつくる権利③子どもをつくる
事前学習：「子ども」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（2時間）
事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品を確認する（2時間）
- 第14回：家族をつくる権利④子どもを育てる
事前学習：「ケア労働と賃労働の両立」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（2時間）
事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品を確認する（2時間）
- 第15回：共生社会の実現に向けて—社会的公正活動の実践へ
事前学習：「社会的公正活動」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（2時間）
事後学習：授業のレジュメを見直し、期末レポートを執筆する（2時間）

授業実施方法（面接授業・遠隔授業）

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

期末レポート（40%） 中間レポート（20%） 平常点（40%）
（平常点は、授業への参加状況、受講態度等を総合的に判断します。）

成績評価基準

現代社会のマジョリティとマイノリティをめぐる状況について、正しく理解できたか。
共生社会の理念とその実践について理解を深めることができたか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書

テキストは指定しない。講義中に、参考文献および論文を明示する。

その他（受講上の注意）

真摯に学ぶ学生に対して、悪影響を与える学生には、単位を与えない。目に余る場合は、退室を命じる。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

デジタル・デザイン (Digital Design)			担当教員	吉村 正照	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-F-2109	2単位	1年前期	演習	選択	
<科目区分> 人間学部コミュニケーション学科専門科目 基幹科目 コミュニケーション学基礎B群 (スキル)					
求める学習成果(教育目標)					
コミュニケーションに関する知識、言語やその他のコミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる基礎力を身につけます。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input checked="" type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input checked="" type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
視覚的なコミュニケーションのための表現方法について、知識・技術の基礎を身に付ける。グラフィックデザインの基本ルールの理解と平行して、コンピュータのアプリケーションを用いたグラフィックデザインの技法を習得していく。	
授 業 の 到 達 目 標	
社会においてデザインが必要とされている理由を理解する。デザインの基本ルール(色、文字、レイアウト)について理解する。コンピュータを用いたグラフィックデザインの技法を習得する。デザインを駆使してコミュニケーションを生み出す能力を身に付ける。	
アクティブ・ラーニング	
<input checked="" type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授業の計画及び授業外の学習方法	
第1回：授業概要、制作ツールの紹介(実習) 事前学習(2時間)教科書の目次を読み、教科書中の図案を閲覧する 事後学習(2時間)練習用の制作環境を整える 第2回：制作ツール Figma の基本操作① 画面の操作、基本的な図形の作成・移動・変形・複製、色の設定(実習) 事前学習(2時間)配布資料を読んで制作ツールを使ってみる 事後学習(2時間)制作ツールの使い方を復習する 第3回：制作ツール Figma の基本操作② 文字の入力、設定(フォント、サイズ、太さ、文字間隔、行送り、揃え)、レイアウトグリッド(実習) 事前学習(2時間)配布資料を読んで制作ツールを使ってみる 事後学習(2時間)制作ツールの使い方を復習する 第4回：制作ツール Figma の基本操作③ 各種図形の作成、グループ化、ペンツール、重なり順の変更(実習) 事前学習(2時間)配布資料を読んで制作ツールを使ってみる 事後学習(2時間)制作ツールの使い方を復習する 第5回：文字と書体(実習) 事前学習(2時間)教科書の第1章を読む 事後学習(2時間)デザインの原則と制作ツールの使い方を復習する 第6回：文章のデザイン(実習) 事前学習(2時間)教科書の第2章を読む 事後学習(2時間)デザインの原則と制作ツールの使い方を復習する 第7回：図表のデザイン(実習) 事前学習(2時間)教科書の第3章3-1～7を読む 事後学習(2時間)デザインの原則と制作ツールの使い方を復習する 第8回：写真と画像(実習) 事前学習(2時間)教科書の第3章3-8～10を読む 事後学習(2時間)デザインの原則と制作ツールの使い方を復習する 第9回：レイアウトの基本(実習) 事前学習(2時間)教科書の第4章4-1～12を読む 事後学習(2時間)デザインの原則と制作ツールの使い方を復習する	

第10回：配色の基本(実習) 事前学習(2時間)教科書の第4章4-13~17を読む 事後学習(2時間)デザインの原則と制作ツールの使い方を復習する
第11回：制作ツール Adobe Illustrator の基本操作① 画面の操作、図形の編集、ペンツール、塗りと線、色の設定(実習) 事前学習(2時間)配布資料を読んで制作ツールを使ってみる 事後学習(2時間)制作ツールの使い方を復習する
第12回：制作ツール Adobe Illustrator の基本操作② 文字の設定、グループ化、画像の配置、マスク、レイヤー、アートボード(実習) 事前学習(2時間)配布資料を読んで制作ツールを使ってみる 事後学習(2時間)制作ツールの使い方を復習する
第13回：制作ツール Adobe Illustrator の基本操作③ 用紙サイズ、PDF形式で保存、印刷(実習) 事前学習(2時間)配布資料を読んで制作ツールを使ってみる 事後学習(2時間)制作ツールの使い方を復習する
第14回：最終課題① イベント告知のデザイン(課題解決型学習、グループワーク) 事前学習(2時間)最終課題について先行事例を調査する 事後学習(2時間)期日までに課題作品を完成し、eラーニングに提出する
第15回：最終課題② プレゼンテーション(課題解決型学習、グループワーク、発表) 事前学習(2時間)プレゼンテーションを準備する 事後学習(2時間)レビューの結果を踏まえて課題作品の完成度を高め、eラーニングに提出する

授業実施方法(面接授業・遠隔授業)

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

期末課題作品(40%) 授業毎の作品(30%) 授業毎の小テスト・レポート(30%)

成績評価基準

- ・制作ツールの扱い方を理解し、速く正確に作業ができたか。
- ・グラフィックデザインの基本を理解し活用できたか、
- ・目的や対象を想定し、観る人の側に立ったデザインができたか。
- ・デザインの意図を言語化して説明できたか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

- ・経歴
(WEBデザイナー)
- ・実務経験と授業内容との関連性
(WEBデザイナーとしての業務経験を有する教員が、グラフィックデザインの技法について演習を行う。)

テキスト、参考図書

テキスト：高橋佑磨，片山なつ「伝わるデザインの基本」技術評論社，2021年
参考図書：授業内で紹介する

その他(受講上の注意)

授業を欠席した場合は、eラーニングにて授業内容を確認し次回の授業までに課題を提出してください。
技術を習得するためには反復練習が欠かせません。短時間でも構わないので、1~2日に一度は制作ツールにふれるようにしましょう。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

情報社会基礎演習 (Basic Practice in Information and Society)			担当教員	安彦 智史	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-F-2110	2単位	1年後期	演習	必修	
<科目区分> 人間学部コミュニケーション学科専門科目 基幹科目 コミュニケーション学基礎B群 (スキル)					
求める学習成果(教育目標)					
コミュニケーションに関する知識、言語やその他のコミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる基礎力を身につけます。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input checked="" type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
本授業では、情報化社会の中で必要となる基礎知識の習得を目的とし、自学自習を中心とした反転学習を行う。本授業を通して、通信の仕組みやコンピュータの仕組み等のコンピュータサイエンスに関する基礎知識のほか、ITを業務やビジネスに活かすために必要な知識の習得を行う。	
授 業 の 到 達 目 標	
①企業や関連業務、経営戦略やビジネスインダストリに関する知識を習得する。 ②情報システムの開発や運用に関する基礎知識を習得する。 ③コンピュータシステムやネットワークに関する知識を習得する。	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習 (PBL) <input type="checkbox"/> 討議 (ディスカッション、ダイアログ、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク (Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション (Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (ITパスポート試験に関連するCBTを実施)	
授業の計画及び授業外の学習方法	
第1回：チュートリアル，授業の進め方，成績評価について 事前学習：シラバスを読み、ITパスポート資格について学習すること（2時間） 事後学習：テキストを購入し、次の実技試験範囲について学習すること（2時間） 第2回：反転学習—第1章：業務—（実技試験） 事前学習：教材を利用し、実技試験範囲について学習すること（2時間） 事後学習：教材を利用し、次の実技試験範囲について学習すること（2時間） 第3回：反転学習—第2章：法務—（実技試験） 事前学習：教材を利用し、実技試験範囲について学習すること（2時間） 事後学習：教材を利用し、次の実技試験範囲について学習すること（2時間） 第4回：理解テスト—業務と法律—（実技試験） 事前学習：教材を利用し、実技試験範囲について学習すること（2時間） 事後学習：教材を利用し、次の実技試験範囲について学習すること（2時間） 第5回：反転学習—第3章：コンピュータシステム—（実技試験） 事前学習：教材を利用し、実技試験範囲について学習すること（2時間） 事後学習：教材を利用し、次の実技試験範囲について学習すること（2時間） 第6回：反転学習—第4章：システム開発—（実技試験） 事前学習：教材を利用し、実技試験範囲について学習すること（2時間） 事後学習：教材を利用し、次の実技試験範囲について学習すること（2時間） 第7回：理解テスト—コンピュータシステムとシステム開発—（実技試験） 事前学習：教材を利用し、実技試験範囲について学習すること（2時間） 事後学習：教材を利用し、次の実技試験範囲について学習すること（2時間） 第8回：反転学習—第5章：ハードウェア—（実技試験） 事前学習：教材を利用し、実技試験範囲について学習すること（2時間） 事後学習：教材を利用し、次の実技試験範囲について学習すること（2時間） 第9回：反転学習—第6章：基礎理論—（実技試験） 事前学習：教材を利用し、実技試験範囲について学習すること（2時間） 事後学習：教材を利用し、次の実技試験範囲について学習すること（2時間）	

- 第10回：理解テスト — ハードウェアと基礎理論 — (実技試験)
 事前学習：教材を利用し、実技試験範囲について学習すること (2時間)
 事後学習：教材を利用し、次の実技試験範囲について学習すること (2時間)
- 第11回：反転学習 — 第7章：ソフトウェア — (実技試験)
 事前学習：教材を利用し、実技試験範囲について学習すること (2時間)
 事後学習：教材を利用し、次の実技試験範囲について学習すること (2時間)
- 第12回：反転学習 — 第8章：ネットワーク — (実技試験)
 事前学習：教材を利用し、実技試験範囲について学習すること (2時間)
 事後学習：教材を利用し、次の実技試験範囲について学習すること (2時間)
- 第13回：理解テスト — ソフトウェアとネットワーク — (実技試験)
 事前学習：教材を利用し、実技試験範囲について学習すること (2時間)
 事後学習：教材を利用し、次の実技試験範囲について学習すること (2時間)
- 第14回：反転学習 — 第9章：セキュリティ — (実技試験)
 事前学習：教材を利用し、実技試験範囲について学習すること (2時間)
 事後学習：教材を利用し、次の実技試験範囲について学習すること (2時間)
- 第15回：理解テスト — セキュリティ — (実技試験)
 事前学習：教材を利用し、実技試験範囲について学習すること (2時間)
 事後学習：教材を利用し、全範囲について学習すること (2時間)
- 第16回：期末試験

本授業は、国家資格であるITパスポートの獲得を目指した授業である。ITパスポートの教材は様々な出版社から出版され、試験の過去問題も公開されている。各自、自分に合った教材を選択し、自学自習を行うこと。また、推奨学習時間は復習2時間、予習2時間である。また、本授業で利用する教材は大学以外のインターネットアクセス環境からも学習可能である。

授業実施方法(面接授業・遠隔授業)

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

期末の試験(40%)、全5回の理解度テスト(50%)、大福帳の記入内容(10%)

成績評価基準

ITの基礎知識をえ、それを説明することができるか。
 特に、授業の到達目標にも挙げた以下の項目についての知識を身につけていることが評価基準となる。

- ①企業や関連業務、経営戦略やビジネスインダストリ
- ②情報システムの開発や運用に関する基礎知識
- ③コンピュータシステムやネットワークに関する知識

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他(反転学習に対するフィードバックについて)
授業時 仁大eラーニング メール その他(週に1度ヘルプデスクを設置し、自学自習を行いながら、わからない箇所を解決可能な環境を整える)

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

令和6年ITパスポート合格教本を利用する。
 また、ITパスポートドットコムというWebサイトを利用する。

その他(受講上の注意)

私語等、講義を妨害する学生には退出してもらおう。単位を与えない場合もある。受講生の理解度によって授業計画には変更を加える可能性がある。
毎回eラーニングで理解度テストを実施し、大福帳を記入し双方向で学習状況を把握しながら進める。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

コミュニケーションとホスピタリティ (Communication and Hospitality)			担当教員	種村 聡子	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-F-2111	2単位	1年前期	演習	選択	
<科目区分> 人間学部コミュニケーション学科専門科目 基幹科目 コミュニケーション学基礎B群					
求める学習成果(教育目標)					
コミュニケーションに関する知識、言語やその他のコミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる基礎力を身につけます。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
■自他の理解能力		■コミュニケーション能力		■情報収集・探索能力	
■役割把握・認識能力		□計画実行能力		□課題解決能力	
		□選択能力		■社会・職業理解能力	

授 業 の 内 容					
本コースでは、次の3つについて学び、実践します。(1)ホスピタリティとサービスの一般社会での使われ方、学術研究での捉え方の違いを明らかにし、定義づけます。(2)サービスを提供している顧客接点の従業員に必要なコミュニケーションスキルを身につけるべく実践します。(3)ホスピタリティの概念を取り入れている事業者が実施するマネジメントの事例を通して、観光サービス産業が提供する価値について考察します。授業では、講義形式で用語や理論の説明をしたうえで、具体的な事例を示します。その後グループに分かれて、事業者の調査分析をし、発表します。					
授 業 の 到 達 目 標					
(1)ホスピタリティ研究の理論的体系を知り、説明できる。 (2)ホスピタリティを発揮するために必要な知識を得て、コミュニケーション能力を養成する。 (3)事業活動の中で顧客満足を高めるために従業員とその組織が実施している行動や活動を事例から考察することができる。					
アクティブ・ラーニング					
□課題解決型学習(PBL) □討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) ■グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) ■発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) □実習、フィールドワーク □実験、実技 □その他					
授業の計画及び授業外の学習方法					
第1回:ホスピタリティとは 事前学習:ホスピタリティとサービスの意味を調べる。(2時間) 事後学修:ホスピタリティとサービスの定義を整理し、ノートにまとめる。(2時間)					
第2回:ホスピタリティとサービス 事前学習:ホスピタリティ産業とはどのような産業を指すのかを調べる。(2時間) 事後学修:ホスピタリティ産業で提供しているサービスの特性を整理し、ノートにまとめる。(2時間)					
第3回:事例研究①エアラインビジネス(ANAとJAL) 事前学習:指定のURLを検索し、情報を調べる。(2時間) 事後学修:エアラインビジネス(ANAとJAL)の提供するサービスは何かを整理し、ノートにまとめる。(2時間)					
第4回:従業員とコミュニケーション①従業員の行動とパーソナリティ 事前学習:他者とコミュニケーションを取る際に、自身が気を付けていることを考え、まとめる。(2時間) 事後学修:自身のパーソナリティについて振り返り、ノートにまとめる(2時間)					
第5回:従業員とコミュニケーション②コミュニケーションと非言語的行動 事前学習:自身が周囲と接する時の笑顔や態度を客観視し、ワークシートを作成する。(2時間) 事後学修:周りからのフィードバックを整理し、ノートにまとめる。(2時間)					
第6回:発表に向けての説明とグループワーク 事前学習:グループワークで調査する企業の下調べをする。(2時間) 事後学修:調査を実施し、分析する。(2時間)					
第7回:事例研究②エアラインビジネス(LCC) 事前学習:指定のURLを検索し、情報を調べる。(2時間) 事後学修:エアラインビジネス(LCC)の提供するサービスと従業員と顧客のコミュニケーションを整理し、ノートにまとめる。(2時間)					

- 第8回：顧客満足①顧客の選択行動
事前学習：自身が旅行に行く時の行動を振り返り、まとめる。(2時間)
事後学修：顧客の選択行動をノートにまとめる。(2時間)
- 第9回：顧客満足②サービス品質と顧客満足
事前学習：自身が満足したサービスについてまとめる。(2時間)
事後学修：サービスの評価指標について整理し、ノートにまとめる。(2時間)
- 第10回：従業員満足①従業員と動機づけ
事前学習：自身が動機づけられた経験をまとめる。(2時間)
事後学修：職務満足と2要因理論について整理し、ノートにまとめる。(2時間)
- 第11回：事例研究③宿泊ビジネス
事前学習：指定のURLを検索し、情報を調べる。(2時間)
事後学修：宿泊ビジネスの提供するサービスと顧客満足の要因を整理し、ノートにまとめる。(2時間)
- 第12回：従業員満足②感情労働
事前学習：アルバイトをする際の選択基準を考える。(2時間)
事後学修：感情労働について整理し、ノートにまとめる。(2時間)
- 第13回：発表準備(グループワーク)
事前学習：発表準備のためにスライドと原稿を作成する。発表練習をする。(2時間)
事後学修：作成したスライドの修正をする。(2時間)
- 第14回：課題発表
事前学習：他グループが発表する企業のサービスを調べる。配布資料(発表者に対してのコメントや質問の仕方)を読み理解する。(2時間)
事後学修：発表後のコメントを踏まえ、スライドを修正する。(2時間)
- 第15回：発表の振り返りとまとめ
事前学習：コース全体の復習をし、分からないところがないか確認する。(2時間)
事後学修：グループで力を合わせ、考えていたように発表できたか顧みる。反省点をあげ、対応策を話し合う。(2時間)

授業実施方法(面接授業・遠隔授業)

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

期末レポート(50%) 平常点(50%)
平常点は授業への参加状況、プレゼンテーション、受講態度を総合的に判断する。

成績評価基準

- (1) ホスピタリティ研究の理論的体系について、概要を簡潔に説明できるか。
- (2) ホスピタリティを発揮するために必要な知識やコミュニケーション方法を理解したうえで、行動化できるか。
- (3) 事業活動の中で顧客満足を高めるために従業員と組織が実施するマネジメントの事例を分析し、聞き手に分かりやすく、論理的に発表できるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

教科書は使用しません。プリントを配布します。

参考図書

著者名：山口一美

書名：『感動経験を創る！ホスピタリティマネジメント第3版』

発行所：創成社

発行年：2022年5月10日

ISBN: 978-4794426017

その他(受講上の注意)

上記の授業計画は予定である。授業の進行状況によって変更することもある。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

オーラル・コミュニケーション I a (Oral Communication I a)			担当教員	M ハウカ	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-F-2112	2単位	1年前期	演習	選択	
<科目区分> 人間学部コミュニケーション学科専門科目 基幹科目 コミュニケーション学基礎B群 (スキル)					
求める学習成果(教育目標)					
コミュニケーションに関する知識、言語やその他のコミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる基礎力を身につけます。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input checked="" type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
最初に、ペアや少人数グループに分かれ、各授業のQ&Aトピックを話し、それらの内容を書き出して相手に話し伝える。そして語彙、リスニング、発音練習、等の活動を行う。最後に、各ユニットの内容をまとめる。	
授 業 の 到 達 目 標	
基本的な英語で自分の考えを表現できるようにする。質問に答えるだけでなく、自分の答えの理由を説明できるようにする。他人の話を聞いて理解できるようにする。これにより、中学校・高校で英語を教える際の、特にリスニング・スピーキング能力の向上を目指す。	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習 (PBL) <input checked="" type="checkbox"/> 討議 (ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク (Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション (Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授業の計画及び授業外の学習方法	
第1回：コース概要 (グループワーク 討議) 事前学習：教科書の内容をよく理解し、次の単元についての質問リストを作成する。(2時間) 事後学習：授業で課されたコース概要について、教科書のオーディオに慣れる。(2時間)	
第2回：ユニット1 - 自己紹介 (連結音、読書、聴取、書く、話す) (グループワーク 討議) 事前学習：引き続き、授業前にテキストの第1ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：授業で課されたトピック (自己紹介) について、オーディオを聴き、教科書の朗読を読む。(2時間)	
第3回：ユニット1 - 自己紹介 (文型 SVO, SVC, SVOO, SVOC、書く、話す) (討議 発表) 事前学習：授業前にテキストの第1ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：授業で課されたトピック (自己紹介) について、オーディオを聴き、教科書の朗読を読む。(2時間)	
第4回：ユニット2 - 自宅 (文のストレス (発音)、読書、聴取、書く、話す) (グループワーク 討議) 事前学習：引き続き、授業前にテキストの第2ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：授業で課されたトピック (自宅) について、オーディオを聴き、教科書の朗読を読む。(2時間)	
第5回：ユニット2 - 自宅 (ねがいごと、書く、話す) (討議 発表) 事前学習：授業前にテキストの第2ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：授業で課されたトピック (自宅) について、オーディオを聴き、教科書の朗読を読む。(2時間)	
第6回：ユニット3 - 日常生活 (弱母音、読書、聴取、書く、話す) (グループワーク 討議) 事前学習：引き続き、授業前にテキストの第3ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：授業で課されたトピック (日常生活) について、オーディオを聴き、教科書の朗読を読む。(2時間)	
第7回：ユニット3 - 日常生活 (許可を求める、書く、話す) (討議 発表) 事前学習：引き続き、授業前にテキストの第3ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：授業で課されたトピック (日常生活) について、オーディオを聴き、教科書の朗読を読む。(2時間)	
第8回：復習 (第2回～7回の内容についての復習) (グループワーク 討議) 事前学習：授業前にテキストの第1～3ユニットを復習する。(2時間) 事後学習：テキストの第1～3ユニットを復習して、わからないところをノートに書くこと。(2時間)	

- 第9回：ユニット4 - 近隣（消える音の変化、読書、聴取、書く、話す）（グループワーク 討議）
事前学習：引き続き、授業前にテキストの第4ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
事後学習：授業で課されたトピック（近隣）について、オーディオを聴き、教科書の朗読を読む。（2時間）
- 第10回：ユニット4 - 近隣（質問の埋め込み、書く、話す）（討議 発表）
事前学習：授業前にテキストの第4ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
事後学習：授業で課されたトピック（近隣）について、オーディオを聴き、教科書の朗読を読む。（2時間）
- 第11回：ユニット5 - 働くこと（連結音と消える音の変化、読書、聴取、書く、話す）（グループワーク 討議）
事前学習：引き続き、授業前にテキストの第5ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
事後学習：授業で課されたトピック（働くこと）について、オーディオを聴き、教科書の朗読を読む。（2時間）
- 第12回：ユニット5 - 働くこと（丁寧な反対意見、書く、話す）（討議 発表）
事前学習：授業前にテキストの第5ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
事後学習：授業で課されたトピック（働くこと）について、オーディオを聴き、教科書の朗読を読む。（2時間）
- 第13回：ユニット6 - 自由な時間（混声、読書、聴取、書く、話す）（グループワーク 討議）
事前学習：引き続き、授業前にテキストの第6ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
事後学習：授業で課されたトピック（自由な時間）について、オーディオを聴き、教科書の朗読を読む。（2時間）
- 第14回：ユニット6 - 自由な時間（人を招く、書く、話す）（討議 発表）
事前学習：授業前にテキストの第6ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
事後学習：授業で課されたトピック（自由な時間）について、オーディオを聴き、教科書の朗読を読む。（2時間）
- 第15回：復習（第9回～14回の内容についての復習）
事前学習：授業前にテキストの第4～6ユニットを復習する。（2時間）
事後学習：テキストの第4～6ユニットを復習して、わからないところをノートに書くこと。（2時間）

定期試験

授業実施方法（面接授業・遠隔授業）

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

積極的な授業態度及び課題（45%）、定期試験（55%）

成績評価基準

基本的な英語で自分の考えを表現できるか。質問に答えるだけでなく、自分の答えの理由を説明できるか。他人の話の聞いて理解できるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

- 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書

テキスト
World Voices 3 - English as a Lingua Franca. (Third Printing)
Graham-Marr, Alastair.
ABAX ELT Publishers. 2023. ISBN: 978-1-78547-069-1.

参考図書

中学校学習指導要領（平成29年3月公示 文部科学省）
高等学校学習指導要領（平成30年3月公示 文部科学省）

その他(受講上の注意)

このコースでは、ペアワークやグループ演習に積極的に参加することが求められる。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

英文法 (English Grammar)			担当教員	加藤 優子	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-F-2113	2単位	1年後期	演習	選択	
<科目区分> 人間学部コミュニケーション学科専門科目 基幹科目 コミュニケーション学基礎B群 (スキル)					
求める学習成果(教育目標)					
言語スキルやその他のコミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、国際化・情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
高校までに学習した基礎的な英文法を学ぶ。	
授 業 の 到 達 目 標	
基礎的な英文法を学び、自分が苦手とする部分や既習だけでも忘れていた部分を補完する。英語の4技能に最低限必要とされる基礎的な英文法の知識を得る。	
アクティブ・ラーニング	
<input checked="" type="checkbox"/> 課題解決型学習 (PBL) <input type="checkbox"/> 討議 (ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク (Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション (Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授業の計画及び授業外の学習方法	
第1回：オリエンテーション、Units 1, 2 名詞・冠詞 事前学習：教科書の予習を行うこと。(2時間) 事後学習：教科書の予習・復習を行うこと。	
第2回：Units 3, 4 代名詞(1)(2) 事前学習：教科書の予習を行うこと。(2時間) 事後学習：教科書の予習・復習を行うこと。(2時間)	
第3回：Units 5~7 時制(1)(2)(3) 事前学習：教科書の予習を行うこと。(2時間) 事後学習：教科書の予習・復習を行うこと。(2時間)	
第4回：Units 1~7の復習 事前学習：教科書の予習を行うこと。(2時間) 事後学習：教科書の予習・復習を行うこと。(2時間)	
第5回：Units 8, 9 助動詞(1)(2) 事前学習：教科書の予習を行うこと。(2時間) 事後学習：教科書の予習・復習を行うこと。(2時間)	
第6回：Units 10, 11 態(1)(2) 事前学習：教科書の予習を行うこと。(2時間) 事後学習：教科書の予習・復習を行うこと。(2時間)	
第7回：Units 12, 13 不定詞(1)(2) 事前学習：教科書の予習を行うこと。(2時間) 事後学習：教科書の予習・復習を行うこと。(2時間)	
第8回：Units 8~13の復習 事前学習：教科書の予習を行うこと。(2時間) 事後学習：教科書の予習・復習を行うこと。(2時間)	
第9回：Units 14, 15 分詞(1)(2) 事前学習：教科書の予習を行うこと。(2時間) 事後学習：教科書の予習・復習を行うこと。(2時間)	
第10回：Units 16, 17 動名詞(1)(2) 事前学習：教科書の予習を行うこと。(2時間) 事後学習：教科書の予習・復習を行うこと。(2時間)	

<p>第11回：Unit 18 形容詞・副詞 事前学習：教科書の予習を行うこと。(2時間) 事後学習：教科書の予習・復習を行うこと。(2時間)</p> <p>第12回：Units 19, 20 比較(1)(2) 事前学習：教科書の予習を行うこと。(2時間) 事後学習：教科書の予習・復習を行うこと。(2時間)</p> <p>第13回：Units 21, 22 関係詞(1)(2) 事前学習：教科書の予習を行うこと。(2時間) 事後学習：教科書の予習・復習を行うこと。(2時間)</p> <p>第14回：Units 23, 24 仮定法(1)(2) 事前学習：教科書の予習を行うこと。(2時間) 事後学習：教科書の予習・復習を行うこと。(2時間)</p> <p>第15回：Units 14-24の復習 事前学習：教科書の予習を行うこと。(2時間) 事後学習：教科書の予習・復習を行うこと。(2時間)</p>
授業実施方法(面接授業・遠隔授業)
原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。
成績評価方法
授業期間中の小テスト(80%)、平常点(20%)
成績評価基準
自分が苦手とする部分や既習だけれども忘れていた部分の補完を含め、英語の4技能に最低限必要とされる基礎的な英文法の知識を得られたか。
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック
<p>1) 授業時の課題に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/>授業時 <input checked="" type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて <input type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>3) 小レポートに対するフィードバックについて <input type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて <input type="checkbox"/>定期試験時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>5) その他 <input type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p>
実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)
テキスト、参考図書
Kitayama, Nagaki et al. Mastering basic English Grammar 成美堂 2021
その他(受講上の注意)
<ul style="list-style-type: none"> ・本授業の目的は、「既習の英文法」の総まとめをすることである。そのため、学習項目は最も基礎的で初級者向けのものである。 ・初級者向けではあるが、初級から少なくとも中級までのレベルアップを目指すものであるため、多くの予習・復習が求められる。 ・本授業では、第1回から教科書学習に入る。そのため、第1回授業前までに教科書を購入し、予習をしておくこと。 ・辞書を必ず携帯すること。
オフィスアワー
UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

プレゼンテーション技法 (Presentation Skills)			担当教員	禿 寿	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-F-2114	2単位	1年後期	演習	選択	
<科目区分> 人間学部コミュニケーション学科専門科目 基幹科目 コミュニケーション学基礎B群 (スキル)					
求める学習成果(教育目標)					
コミュニケーションに関する知識、言語やその他のコミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる基礎力を身につけます。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
<p>本授業の目的は、プレゼンテーションに必要な不可欠な道具となっているMicrosoft PowerPointを利用したスライド作成および管理の方法を身につけることである。</p> <p>そのため、PowerPointの基本的かつ効率の良い使用法を学び、課題を通してスライドの作成方法やさまざまな観点から活用する方法を学ぶ。また、Microsoft Office Specialist試験の対策を行い、試験に合格できる知識を学ぶ。なお、本授業では、すべての授業会において実技を行う。</p>	
授 業 の 到 達 目 標	
<p>目標①プレゼンテーションの基本的な知識が身についている。</p> <p>目標②プレゼンテーションソフトPowerPointの基本的な知識が身についている。</p> <p>目標③目的に応じて、適切なデータ処理を選択できる。</p> <p>目標④ビジネスの場で用いるPowerPointの機能を理解している。</p> <p>目標⑤ビジネスの場で用いる実用的なスライドを順序立てて作成できる。</p> <p>目標⑥PowerPointの知識を実生活に活かすことができる。</p>	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習 (PBL) <input type="checkbox"/> 討議 (ディスカッション、ディベート) <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> 発表 (プレゼンテーション) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input checked="" type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授業の計画及び授業外の学習方法	
<p>第1回：オリエンテーション 事前学習：授業のシラバスを理解できるまで読んでおく。(2時間) 事後学習：講義の内容および配布された資料についての見直しや復習をし、分からないことがあったら、図書館で調べたり、担当教員に質問すること。(2時間)</p> <p>第2回：プレゼンテーションの表示やオプションの変更 事前学習：テキスト (p16 - 47) を読み、疑問点を確認しておくこと (2時間) 事後学習：講義の内容および配布された資料についての見直しや復習をし、分からないことがあったら、図書館で調べたり、担当教員に質問すること。(2時間)</p> <p>第3回：スライド、配布資料、ノートのマスターの変更 事前学習：テキスト (p47 - 74) を読み、疑問点を確認しておくこと (2時間) 事後学習：講義の内容および配布された資料についての見直しや復習をし、分からないことがあったら、図書館で調べたり、担当教員に質問すること。(2時間)</p> <p>第4回：共同作業用プレゼンテーションの準備 事前学習：テキスト (p74 - 94) を読み、疑問点を確認しておくこと (2時間) 事後学習：講義の内容および配布された資料についての見直しや復習をし、分からないことがあったら、図書館で調べたり、担当教員に質問すること。(2時間)</p> <p>第5回：スライドの管理 事前学習：テキスト (p96 - 122) を読み、疑問点を確認しておくこと (2時間) 事後学習：講義の内容および配布された資料についての見直しや復習をし、分からないことがあったら、図書館で調べたり、担当教員に質問すること。(2時間)</p> <p>第6回：テキスト、図の書式設定 事前学習：テキスト (p124 - 148) を読み、疑問点を確認しておくこと (2時間) 事後学習：講義の内容および配布された資料についての見直しや復習をし、分からないことがあったら、図書館で調べたり、担当教員に質問すること。(2時間)</p>	

第7回：グラフィック要素、図形の書式設定 事前学習：テキスト (p148 - 168) を読み、疑問点を確認しておくこと (2時間) 事後学習：講義の内容および配布された資料についての見直しや復習をし、分からないことがあったら、図書館で調べたり、担当教員に質問すること。(2時間)
第8回：表、グラフの書式設定 事前学習：テキスト (p170 - 201) を読み、疑問点を確認しておくこと (2時間) 事後学習：講義の内容および配布された資料についての見直しや復習をし、分からないことがあったら、図書館で調べたり、担当教員に質問すること。(2時間)
第9回：3Dモデル、メディアの設定 事前学習：テキスト (p202 - 218) を読み、疑問点を確認しておくこと (2時間) 事後学習：講義の内容および配布された資料についての見直しや復習をし、分からないことがあったら、図書館で調べたり、担当教員に質問すること。(2時間)
第10回：画面切り替えやアニメーションの適用 事前学習：テキスト (p220 - 242) を読み、疑問点を確認しておくこと (2時間) 事後学習：講義の内容および配布された資料についての見直しや復習をし、分からないことがあったら、図書館で調べたり、担当教員に質問すること。(2時間)
第11回：第一回模擬試験 事前学習：講義の内容および配布された資料についての見直しや復習をし、分からないことがあったら、図書館で調べたり、担当教員に質問すること。(2時間) 事後学習：再度模擬試験を行い、正答率を90%以上にする。(2時間)
第12回：第二回模擬試験 事前学習：講義の内容および配布された資料についての見直しや復習をし、分からないことがあったら、図書館で調べたり、担当教員に質問すること。(2時間) 事後学習：再度模擬試験を行い、正答率を90%以上にする。(2時間)
第13回：第三回模擬試験 事前学習：講義の内容および配布された資料についての見直しや復習をし、分からないことがあったら、図書館で調べたり、担当教員に質問すること。(2時間) 事後学習：再度模擬試験を行い、正答率を90%以上にする。(2時間)
第14回：第四回模擬試験 事前学習：講義の内容および配布された資料についての見直しや復習をし、分からないことがあったら、図書館で調べたり、担当教員に質問すること。(2時間) 事後学習：再度模擬試験を行い、正答率を90%以上にする。(2時間)
第15回：第五回模擬試験 事前学習：講義の内容および配布された資料についての見直しや復習をし、分からないことがあったら、図書館で調べたり、担当教員に質問すること。(2時間) 事後学習：再度模擬試験を行い、正答率を90%以上にする。(2時間)

授業実施方法(面接授業・遠隔授業)

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

課題等の提出物 (70%)、平常点 (30%)

成績評価基準

Power Point を操作することによって、プレゼンテーションのスライド(資料)を作成することができること。また、Power Pointに備わっている機能を理解できるようになること。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

テキスト：富士通エフ・オー・エム『MOS PowerPoint 365&2019 対策テキスト&問題集（よくわかるマスター）』FOM出版 2020年

その他（受講上の注意）

私語等、講義を妨害する学生には退出を指示した上、単位を与えない場合もあります。
受講生の理解度にあわせて授業計画には変更を加える可能性があります。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

プロジェクト・デザイン入門 (Introduction to Project Design)			担当教員	升田 法継	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-A-2117	2単位	1年後期	演習	選択	
<科目区分> 人間学部コミュニケーション学科専門科目 基幹科目 コミュニケーション学専門					
求める学習成果(教育目標)					
国際化・情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成し、課題解決のための構想力と判断力を身につけるための専門性を身につけます。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
■自他の理解能力		■コミュニケーション能力		■情報収集・探索能力	
■役割把握・認識能力		■計画実行能力		■社会・職業理解能力	
		■選択能力		■課題解決能力	

授 業 の 内 容	
環境変化のスピードが加速するとともに、予測も困難になってきている今日において、正解を導き出す力よりも、正解のない答えや最善策をメンバーとともに模索していく力が求められている。授業では、多面的・複眼的思考により仮説を設定・プランを策定し、試行錯誤しながら自分達の結論を導き出すための問題解決型のコミュニケーション能力の向上を狙いとする。	
授 業 の 到 達 目 標	
<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトの特徴や意義について説明することができる。 ・問題解決型プロジェクトの基本的な進め方について説明することができる。 ・助言やサポートを受けながら、メンバーとともに対策・施策を検討し他者に効果的に伝えることができる。 	
アクティブ・ラーニング	
<input checked="" type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授業の計画及び授業外の学習方法	
<p>第1回：プロジェクトの特徴 事前学習：プロジェクトの特徴について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)</p> <p>第2回：PDCA(グループワーク) 事前学習：評価・改善行動の重要性について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)</p> <p>第3回：ビジョンの設定(グループワーク) 事前学習：ビジョンの設定について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)</p> <p>第4回：現状把握Ⅰ(グループワーク) 事前学習：事前調査を行うため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)</p> <p>第5回：現状把握Ⅱ(グループワーク) 事前学習：現地調査を行うため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)</p> <p>第6回：現状把握Ⅱ(グループワーク) 事前学習：前回に続き現地調査を行うため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)</p>	

<p>第7回：問題点の設定・課題抽出 事前学習：問題点の設定と課題抽出を行うため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間） 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）</p> <p>第8回：対策の検討（グループワーク） 事前学習：対策の検討を行うため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間） 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）</p> <p>第9回：対策の評価・選定（グループワーク） 事前学習：検討した対策を評価し選定するため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間） 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）</p> <p>第10回：対策のイメージ検討（グループワーク） 事前学習：選定した対策の実施イメージについて検討するため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間） 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）</p> <p>第11回：企画書の整理 事前学習：これまでの検討資料を整理するため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間） 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）</p> <p>第12回：代表プレゼンの選定（発表・プレゼンテーション） 事前学習：代表プレゼンを選定するため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間） 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）</p> <p>第13回：代表プレゼンのレビュー（グループワーク） 事前学習：代表プレゼンのレビューを行うため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間） 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）</p> <p>第14回：プレゼンテーションⅠ（発表・プレゼンテーション） 事前学習：A・B・C・Dグループのプレゼンテーションを行うため、自分なりのレビューの視点をまとめておくこと。（2時間） 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）</p> <p>第15回：プレゼンテーションⅡ（発表・プレゼンテーション） 事前学習：E・F・G・Hグループのプレゼンテーションを行うため、自分なりのレビューの視点をまとめておくこと。（2時間） 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）</p>
--

授業実施方法（面接授業・遠隔授業）

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

課題に対する活動内容・提出物（60%）、平常点（40%）
 ※平常点：授業への参加状況、受講態度等から総合的に判断します。

成績評価基準

- ・プロジェクトの特徴や意義について説明することができるか。
- ・問題解決型プロジェクトの基本的な進め方について説明することができるか。
- ・助言やサポートを受けながら、メンバーとともに対策・施策を検討し他者に効果的に伝えることができるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他(リアクションペーパーに対するフィードバックについて)
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

元情報通信会社管理職(社員数:26万人、主な担当業務:人事、社長・取締役秘書、マーケティング、新規ビジネス開発、システム コンサルタント等)

情報通信会社において、新規ビジネス開発や大規模プロジェクト(県市町防災システム等)のプロジェクトリーダー経験もある教員が、プロジェクトの特徴や意義及び問題解決型プロジェクトの基本的な進め方について解説する。

テキスト、参考図書

必要に応じて、授業中に提示します。

その他(受講上の注意)

- ・グループワークを主体とした授業構成となっているので、メンバーに与える影響も考慮し欠席しないようにしてください。
- ・課題等のアウトプットについては、レビューや振り返りを通じてフィードバックします。
- ・「授業計画」は、進捗や学生の反応・理解度に応じて、変更する場合があります。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

異文化理解 b (Cross-Cultural Understanding b)			担当教員	加藤 優子	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-A-2122	2単位	1年後期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部コミュニケーション学科専門科目 基幹科目 コミュニケーション学専門					
求める学習成果(教育目標)					
国際化・情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成し、課題解決のための構想力と判断力を身につけるための専門性を身につけます。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
■自他の理解能力		■コミュニケーション能力		■情報収集・探索能力	
■役割把握・認識能力		□計画実行能力		■社会・職業理解能力	
		□選択能力		■課題解決能力	

授 業 の 内 容	
異文化コミュニケーション学の基礎的知識を踏まえ、異文化コミュニケーションと多文化共生に関連する重要な事柄について学ぶ。これにより、異なる文化的背景を持つ人々とのコミュニケーションについての多角的な理解を深める。	
授 業 の 到 達 目 標	
<ul style="list-style-type: none"> ・異文化コミュニケーションと多文化共生に関する用語について説明することができる。 ・異なる文化的背景を持つ人々とのコミュニケーション現象について、学んだ知識に基づき、論理的に分析し説明することができる。 	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input checked="" type="checkbox"/> その他(事前の調べ学習)	
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法	
第1回：イントロダクション 事前学習：テーマについて、図書館などで調べること。(2時間) 事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間) 第2回：多文化共生社会における異文化コミュニケーション研究の目的 事前学習：テーマについて、図書館などで調べること。(2時間) 事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間) 第3回：多文化共生社会の定義① 事前学習：テーマについて、図書館などで調べること。(2時間) 事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間) 第4回：多文化共生社会の定義② 事前学習：テーマについて、図書館などで調べること。(2時間) 事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間) 第5回：移民と非移民の歴史① 事前学習：テーマについて、図書館などで調べること。(2時間) 事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間) 第6回：移民と非移民の歴史② 事前学習：テーマについて、図書館などで調べること。(2時間) 事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間) 第7回：国籍法について① 事前学習：テーマについて、図書館などで調べること。(2時間) 事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)	

第8回：国籍法について②

事前学習：テーマについて、図書館などで調べること。（2時間）

事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）

第9回：文化相対主義について①

事前学習：テーマについて、図書館などで調べること。（2時間）

事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）

第10回：文化相対主義について②

事前学習：テーマについて、図書館などで調べること。（2時間）

事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）

第11回：多文化共生社会と価値観①

事前学習：テーマについて、図書館などで調べること。（2時間）

事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）

第12回：多文化共生社会と価値観②

事前学習：テーマについて、図書館などで調べること。（2時間）

事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）

第13回：国内の現状①日本語教育

事前学習：テーマについて、図書館などで調べること。（2時間）

事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）

第14回：国内の現状②医療

事前学習：テーマについて、図書館などで調べること。（2時間）

事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）

第15回：まとめ

事前学習：最終まとめとしてこれまでの授業内容を振り返っておくこと。（2時間）

事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）

授業実施方法（面接授業・遠隔授業）

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

期末レポート（20%）、授業内小テスト（70%）、平常点（10%）

平常点は、授業の受講態度、質問用紙の提出状況等を総合して判断する。

成績評価基準

- ・異文化コミュニケーションと多文化共生に関する用語について説明することができるか。
- ・異なる文化的背景を持つ人々とのコミュニケーション現象について、学んだ知識に基づき、論理的に分析し説明することができるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

1) 授業時の課題に対するフィードバックについて

授業時 仁大eラーニング メール その他

2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて

授業時 仁大eラーニング メール その他

3) 小レポートに対するフィードバックについて

授業時 仁大eラーニング メール その他

4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて

定期試験時 仁大eラーニング メール その他

5) その他

授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書
テキスト：特になし。 参考図書：参考文献は適宜授業内で告知する。
その他(受講上の注意)
本講義を受ける前に「異文化理解a」の単位を取得すること。 5分以上20分未満の遅刻3回で欠席1回とみなす。 20分以上の遅刻は欠席とみなす。
オフィスアワー
UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

社会学入門 (Introduction to Sociology)			担当教員	井上 寛	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-A-2123	2単位	1年後期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部コミュニケーション学科専門科目 基幹科目 コミュニケーション学専門					
求める学習成果(教育目標)					
コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input checked="" type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
この講義では、社会学の研究において社会調査とはどのようなものか、何のために行うのかを概説する。そのためにも、まず社会学の考え方とその学説史を確認したうえで、社会調査についてレクチャーを行う。次に、社会調査の目的、社会調査の歴史、社会調査の倫理について学び、さまざまな社会調査の種類とそれぞれの方法が持つ長所と問題点を理解する。なお、各回の講義は、社会調査の実践の背景にある社会科学の理論・知見に関するアカデミック・ガイダンスの要素を含む。	
授 業 の 到 達 目 標	
<ul style="list-style-type: none"> ・社会調査の目的について理解する。 ・対象に応じて、適切な手法を選択できるようになること。 	
アクティブ・ラーニング	
<input checked="" type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授業の計画及び授業外の学習方法	
第1回：講義概要 事後学習：授業に関連するテキストのページを読み、質問事項をまとめておくこと。(2時間) 第2回：社会学の考え方 事前学習：前回のノートを見直し、指定のテキスト「第1部」の部分を読んでおくこと。(2時間) 事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、テキストの該当箇所を精読すること。(2時間) 第3回：社会学の学説史 事前学習：前回のノートを見直し、指定のテキスト「第1部」の部分を読んでおくこと。(2時間) 事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、テキストの該当箇所を精読すること。(2時間) 第4回：社会調査の目的と歴史 事前学習：前回のノートを見直し、指定のテキスト「第1部」の部分を読んでおくこと。(2時間) 事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、テキストの該当箇所を精読すること。(2時間) 第5回：社会調査の倫理 事前学習：前回のノートを見直し、指定のテキスト「第1部」の部分を読んでおくこと。(2時間) 事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、テキストの該当箇所を精読すること。(2時間) 第6回：社会調査の種類と特性(1)質的調査 事前学習：前回のノートを見直し、指定のテキスト「第2部」の部分を読んでおくこと。(2時間) 事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、テキストの該当箇所を精読すること。(2時間) 第7回：社会調査の種類と特性(2)量的調査 事前学習：前回のノートを見直し、指定のテキスト「第2部」の部分を読んでおくこと。(2時間) 事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、テキストの該当箇所を精読すること。(2時間)	

- 第8回：質的調査の実践例——インタビュー、参与観察、アクション・リサーチ
事前学習：前回のノートを見直し、指定のテキスト「第Ⅲ部」の部分を読んでおくこと。（2時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、テキストの該当箇所を精読すること。（2時間）
- 第9回：質的調査の意義と限界
事前学習：前回のノートを見直し、指定のテキスト「第Ⅲ部」の部分を読んでおくこと。（2時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、テキストの該当箇所を精読すること。（2時間）
- 第10回：量的調査の実践例——アンケート、国勢調査、官庁統計、市場調査
事前学習：前回のノートを見直し、指定のテキスト「第Ⅱ部」の部分を読んでおくこと。（2時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、テキストの該当箇所を精読すること。（2時間）
- 第11回：量的調査の基礎——問題意識、仮説構成、調査票作成
事前学習：前回のノートを見直し、指定のテキスト「第Ⅱ部」の部分を読んでおくこと。（2時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、テキストの該当箇所を精読すること。（2時間）
- 第12回：量的調査の基礎——実査と分析、質問紙調査の意義と限界（課題解決型学習（PBL））
事前学習：前回のノートを見直し、指定のテキスト「第Ⅱ部」の部分を読んでおくこと。（2時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、テキストの該当箇所を精読すること。（2時間）
- 第13回：社会調査の変容（1）
事前学習：前回のノートを見直し、指定のテキスト「第Ⅲ部」の部分を読んでおくこと。（2時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、テキストの該当箇所を精読すること。（2時間）
- 第14回：社会調査の変容（2）
事前学習：前回のノートを見直し、指定のテキスト「第Ⅲ部」の部分を読んでおくこと。（2時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、テキストの該当箇所を精読すること。（4時間）
- 第15回：まとめ——社会を深く探求するために（課題解決型学習（PBL））
事前学習：全てのノートを見直し、全講義の要点をまとめておくこと（2時間）
事後学習：本講義の全てのノートを見直して復習し整理すること。また、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、テキストの該当箇所を精読すること。（2時間）
- 第16回：定期試験

授業実施方法（面接授業・遠隔授業）

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

定期試験（50%） 授業内レポート（30%） 平常点（20%）
※平常点は授業への参加状況・取り組み姿勢等を総合して判断します。

成績評価基準

- ・社会調査の目的について理解できているか。
- ・様々な統計資料を利用するなど、対象に応じて適切な調査手法を選択できるようになっているか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他（議論や討論に対するフィードバックについて）
授業時 仁大eラーニング メール その他（担当教員の研究室にて対応）

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書

<テキスト>

大谷信介・後藤範章・小松洋・木下栄二編著(2023)『最新・社会調査へのアプローチ ― 論理と方法』ミネルヴァ書房

<参考図書>

授業内で適宜紹介します。

その他(受講上の注意)

この授業は、一般社団法人社会調査協会が認定する、「社会調査士」資格に必要とされる、社会調査の基本的事項に関して学ぶ標準カリキュラムのA科目に対応するものである。

オフィスアワー

大学教育情報システム【授業に関するお知らせ】にて時間帯等を確認してください。

オーラル・コミュニケーション I b (Oral Communication I b)			担当教員	M ハウカ	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-A-2128	2単位	1年後期	演習	選択	
<科目区分> 人間学部コミュニケーション学科専門科目 基幹科目 コミュニケーション学専門					
求める学習成果(教育目標)					
言語スキルやその他のコミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、国際化・情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input checked="" type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
最初に、ペアや少人数グループに分かれ、各授業のQ&Aトピックを話し、それらの内容を書き出して相手に話し伝える。そして語彙、リスニング、発音練習、等の活動を行う。最後に、各ユニットの内容をまとめる。	
授 業 の 到 達 目 標	
基本的な英語で自分を表現できるようにする。質問に答えるだけでなく、自分の答えの理由を説明できるようにする。他人の話を聞いて理解できるようにする。これにより、中学校・高校で英語を教える際の、特にリスニング・スピーキング能力の向上を目指す。	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習 (PBL) <input checked="" type="checkbox"/> 討議 (ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク (Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション (Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授業の計画及び授業外の学習方法	
第1回：コース概要 (グループワーク 討議) 事前学習：事前学習：教科書の内容をよく理解し、次の単元についての質問リストを作成する。(2時間) 事後学習：授業で課されたコース概要について、教科書のオーディオに慣れる。(2時間)	
第2回：ユニット7 - 飲食 (有声音't、読書、聴取、書く、話す) (グループワーク 討議) 事前学習：引き続き、授業前にテキストの第7ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：授業で課されたトピック (飲食) について、オーディオを聴き、教科書の朗読を読む。(2時間)	
第3回：ユニット7 - 飲食 (受動態、書く、話す) (討議 発表) 事前学習：授業前にテキストの第7ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：授業で課されたトピック (飲食) について、オーディオを聴き、教科書の朗読を読む。(2時間)	
第4回：ユニット8 - 旅行 (短縮形：wanna、gonna、gotta、読書、聴取書く、話す) (グループワーク 討議) 事前学習：引き続き、授業前にテキストの第8ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：授業で課されたトピック (旅行) について、オーディオを聴き、教科書の朗読を読む。(2時間)	
第5回：ユニット8 - 旅行 (過去形、過去連続、書く、話す) (討議 発表) 事前学習：授業前にテキストの第8ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：授業で課されたトピック (旅行) について、オーディオを聴き、教科書の朗読を読む。(2時間)	
第6回：ユニット9 - 教育 (消える音の変化、読書、聴取、書く、話す) (グループワーク 討議) 事前学習：引き続き、授業前にテキストの第9ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：授業で課されたトピック (教育) について、オーディオを聴き、教科書の朗読を読む。(2時間)	
第7回：ユニット9 - 教育 (関係代名詞 which、that、書く、話す) (討議 発表) 事前学習：引き続き、授業前にテキストの第9ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：授業で課されたトピック (教育) について、オーディオを聴き、教科書の朗読を読む。(2時間)	
第8回：復習 (第2回～7回の内容についての復習) 事前学習：授業前にテキストの第7～9ユニットを復習する。(2時間) 事後学習：テキストの第7～9ユニットを復習して、わからないところをノートに書くこと。(2時間)	
第9回：ユニット10 - 健康 (弱形と文強調、読書、聴取、書く、話す) (グループワーク 討議) 事前学習：授業前にテキストの第10ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：授業で課されたトピック (健康) について、オーディオを聴き、教科書の朗読を読む。(2時間)	

<p>第10回：ユニット10 - 健康（法動詞、書く、話す）（討議 発表） 事前学習：引き続き、授業前にテキストの第10ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間） 事後学習：授業で課されたトピック（健康）について、オーディオを聴き、教科書の朗読を読む。（2時間）</p> <p>第11回：ユニット11 - 数字と値段（弱形、読書、聴取、書く、話す）（グループワーク 討議） 事前学習：授業前にテキストの第11ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間） 事後学習：授業で課されたトピック（数字と値段）について、オーディオを聴き、教科書の朗読を読む。（2時間）</p> <p>第12回： ユニット11 - 数字と値段（条件法、書く、話す）（討議 発表） 事前学習：引き続き、授業前にテキストの第11ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間） 事後学習：授業で課されたトピック（数字と値段）について、オーディオを聴き、教科書の朗読を読む。（2時間）</p> <p>第13回：ユニット12 - 人々（リンキング、カジュアル・リダクション、読書、聴取、書く、話す）（グループワーク 討議） 事前学習：授業前にテキストの第12ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間） 事後学習：授業で課されたトピック（人々）について、オーディオを聴き、教科書の朗読を読む。（2時間）</p> <p>第14回：ユニット12 - 人々（未来形、書く、話す）（討議 発表） 事前学習：引き続き、授業前にテキストの第12ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間） 事後学習：授業で課されたトピック（人々）について、オーディオを聴き、教科書の朗読を読む。（2時間）</p> <p>第15回：復習（第9回～14回の内容についての復習） 事前学習：授業前にテキストの第10～12ユニットを復習する。（2時間） 事後学習：テキストの第10～12ユニットを復習して、わからないところをノートに書くこと。（2時間）</p> <p>定期試験</p>
授業実施方法（面接授業・遠隔授業）
原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。
成績評価方法
積極的な授業態度及び課題（45%）、定期試験（55%）
成績評価基準
基本的な英語で自分を表現できるか。質問に答えるだけでなく、自分の答えの理由を説明できるか。他人の話を聞いて理解できるか。
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック
<p>1) 授業時の課題に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて <input type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>3) 小レポートに対するフィードバックについて <input type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/>定期試験時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>5) その他 <input type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p>
実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
テキスト、参考図書
<p>テキスト World Voices 3 - English as a Lingua Franca. (Third Printing) Graham-Marr, Alastair. ABAX ELT Publishers. 2023. ISBN: 978-1-78547-069-1.</p> <p>参考図書 中学校学習指導要領（平成29年3月公示 文部科学省） 高等学校学習指導要領（平成30年3月公示 文部科学省）</p>
その他（受講上の注意）
このコースでは、ペアワークやグループ演習に積極的に参加することが求められる。

オ フ ィ ス ア ワ ー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

人間と宗教 (Human Beings and Religion)			担当教員	門脇 健	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
HS-1211	2単位	2年後期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部学部共通科目 全学共通科目					
求める学習成果(教育目標)					
豊かな人間性と倫理観を身につけ、幅広い視野から物事をとらえ、的確な判断を下すことができる力を養います。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
■自他の理解能力		■コミュニケーション能力		■情報収集・探索能力	
■役割把握・認識能力		□計画実行能力		□社会・職業理解能力	
		□選択能力		■課題解決能力	

授 業 の 内 容	
宗教という人間独自の現象を、動物との比較、言語や法そして貨幣という人間独自の制度との比較を通して考察します。	
授 業 の 到 達 目 標	
宗教という人間独自の現象を考察することによって、何気ないふだんの日々の意義深さ、面白さに気づくことができる。	
アクティブ・ラーニング	
3～5回予定している小レポートに対して教員の方からフィードバックします(参加人数が多い場合は、毎回フィードバックというわけにはいかないとします)。	
授業の計画及び授業外の学習方法	
第1回：人間と動物(「顔」について)	事後学習：授業中に視聴したビデオの内容をまとめておくこと。(2時間)
第2回：人間と動物(想像力について)	事前学習：ノート・配布資料等から前回の講義内容を確認し、まとめておくこと。(2時間) 事後学習：人間と動物の違いを調べて、まとめておくこと。(2時間)
第3回：私の発生	事前学習：ノート・配布資料等から前回の講義内容を確認し、まとめておくこと。(2時間) 事後学習：グラフの読み方について調べて、まとめておくこと。(2時間)
第4回：言葉の習得	事前学習：ノート・配布資料等から前回の講義内容を確認し、まとめておくこと。(2時間) 事後学習：グラフの読み方について調べて、まとめておくこと。(2時間)
第5回：言葉と私	事前学習：ノート・配布資料等から前回の講義内容を確認し、まとめておくこと。(2時間) 事後学習：ラカンの論点について調べて、まとめておくこと。(2時間)
第6回：贈与と交換	事前学習：ノート・配布資料等から前回の講義内容を確認し、まとめておくこと。(2時間) 事後学習：授業中に視聴したビデオの内容をまとめておくこと。(2時間)
第7回：視点の転換	事前学習：ノート・配布資料等から前回の講義内容を確認し、まとめておくこと。(2時間) 事後学習：授業中に視聴したビデオの内容をまとめておくこと。(2時間)
第8回：時間の逆流	事前学習：ノート・配布資料等から前回の講義内容を確認し、まとめておくこと。(2時間) 事後学習：授業中に視聴したビデオの内容をまとめておくこと。(2時間)
第9回：四苦八苦	事前学習：ノート・配布資料等から前回の講義内容を確認し、まとめておくこと。(2時間) 事後学習：四苦八苦について調べて、まとめておくこと。(2時間)
第10回：仏教とキリスト教	事前学習：ノート・配布資料等から前回の講義内容を確認し、まとめておくこと。(2時間) 事後学習：両宗教の差異について調べて、まとめておくこと。(2時間)
第11回：神話を生きる	事前学習：ノート・配布資料等から前回の講義内容を確認し、まとめておくこと。(2時間) 事後学習：神話概念について調べて、まとめておくこと。(2時間)

- 第12回：対象喪失
事前学習：ノート・配布資料等から前回の講義内容を確認し、まとめておくこと。(2時間)
事後学習：自分における相性喪失について考察し、まとめておくこと。(2時間)
- 第13回：喪の作業
事前学習：ノート・配布資料等から前回の講義内容を確認し、まとめておくこと。(2時間)
事後学習：喪の作業の具体例について調べて、まとめておくこと。(2時間)
- 第14回：儀礼と宗教
事前学習：ノート・配布資料等から前回の講義内容を確認し、まとめておくこと。(2時間)
事後学習：日常のなかの宗教的儀礼について調べて、まとめておくこと。(2時間)
- 第15回：まとめ
事前学習：ノート・配布資料等から前回の講義内容を確認し、まとめておくこと。(2時間)
事後学習：ノート・配布資料等を基に講義内容について、まとめておくこと。(4時間)

授業実施方法(面接授業・遠隔授業)

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

学期中に3～5回小レポートを実施します。
レポート試験(50%) 小レポート(30%) 平常点(20%)
平常点は、授業への参加状況・受講態度、質問等を総合して判断します。

成績評価基準

自分の関心をクリアに表現できるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他(コメントを付けて返す)
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他(コメントを付けて返す。)
- 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

門脇健『哲学入門 死ぬのは僕らだ!』角川SSC新書(参考図書、デジタルテキスト)

その他(受講上の注意)

講義の中で言及した文学作品や映画などに可能な限り接すること。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

仏教の思想 (Views of Buddhism)			担当教員	市野 智行
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分
HS-1210	2単位	2年前期	講義	選択
<科目区分> 人間学部学部共通科目 全学共通科目				
求める学習成果(教育目標)				
豊かな人間性と倫理観を身につけ、幅広い視野から物事をとらえ、的確な判断を下すことができる力を養います。				
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)				
<input checked="" type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input type="checkbox"/> 課題解決能力				

授 業 の 内 容				
ブッダと親鸞の思想を学ぶことを通して、人間の課題を学び、自らの生き方を問い尋ねていく。ブッダと親鸞の生涯と教えについて基本的な知識を修得する。そのことを通して、「人間とは何か」「人として生きる(人生)とはどういうことか」を学び、自己理解と他者理解を深め、豊かな人間関係を築く上での人間力を養う。				
授 業 の 到 達 目 標				
ブッダと親鸞の生涯と思想について基本的な知識を修得し、説明することができる。 仏教思想における人間観を学び、「自分とは何か」を考察し、表現することができる。 仏教思想を通して、豊かな人間関係のあり方を学び、主体的に考える姿勢を身につける。				
アクティブ・ラーニング				
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート) <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> 発表(プレゼンテーション) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他				
授業の計画及び授業外の学習方法				
第1回：ガイダンス 釈尊と親鸞の生涯を学ぶ意味を確かめる 事前学習：参考文献等を読んでおくこと。(8時間) 第2回：インドから現代を学ぶ 第3回：釈尊の生涯と教え① 誕生と修行・正覚 第4回：いのちをいただく 第5回：釈尊の生涯と教え② 初転法輪と入滅 事後学習：学んだ箇所を復習すること(7時間) 事前学習：配付資料に目を通しておくこと。(8時間) 第6回：いのちとつながり 第7回：釈尊の生涯から何を学ぶことができるのか(小テストを含む) 第8回：テスト返しと現代問題 第9回：親鸞の生涯と教え① 誕生から出家 第10回：親鸞の生涯と教え② 法然との出遇いと法難 事後学習：学んだ箇所を復習すること。(7時間) 事前学習：配付資料に目を通しておくこと。(7時間) 第11回：親鸞の生涯と教え③ 関東教化 第12回：親鸞の生涯と教え④ 入滅 第13回：親鸞の生涯から何を学ぶことができるのか(小テストを含む) 第14回：現代問題について 第15回：テスト返しと総括 事後学習：学んだ箇所を復習すること。(7時間) 事前学習：配付資料に目を通しておくこと。(8時間) 事後学習：授業全体を通して何を学んだか、小テストの結果や配布資料等を振り返り確認すること。(8時間)				
授業実施方法(面接授業・遠隔授業)				
原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。				

成績評価方法
授業内小レポート・感想文、課題 (50%) 平常点 (50%) (平常点は、出席状況、受講態度等で総合的に判断します。)
成績評価基準
講義の理解度と、理解した内容を自らの課題として考察・表現できているかどうかを基準にする。
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック
1) 授業時の課題に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/> 授業時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/> 授業時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 3) 小レポートに対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/> 授業時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて <input type="checkbox"/> 定期試験時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 5) その他 <input type="checkbox"/> 授業時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他
実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)
テキスト、参考図書
テキスト：授業内にて配布 参考資料：親鸞 生涯と教え(東本願寺) ブツダと親鸞(東本願寺)
その他(受講上の注意)
私語、携帯電話等の使用は厳禁です。複数回注意を受けた場合は欠席扱いとします。
オフィスアワー
UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

哲学の世界観 (Philosophical Thinking)			担当教員	橋本 武志	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
HS-1222	2単位	2年後期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部学部共通科目 人間学関連科目					
求める学習成果(教育目標)					
豊かな人間性と倫理観を身につけ、幅広い視野から物事をとらえ、的確な判断を下すことができる力を養います。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
■自他の理解能力		□コミュニケーション能力		□情報収集・探索能力	
■役割把握・認識能力		□計画実行能力		□社会・職業理解能力	
		□選択能力		□課題解決能力	

授 業 の 内 容	
古代からの西洋の哲学・思想が生み出してきたさまざまなものの見方を紹介する。また、そうしたものの見方が現代に及ぼしている影響について講義する。	
授 業 の 到 達 目 標	
過去および現在の哲学独自の思考方法や批判的思考に慣れ親しむことを通じて、現代日本に生きる自分が歴史に制約された存在であることを認識すると同時に、大学生なら知っておくべき程度の、哲学・倫理学の基本的な概念を理解し、その用語を習得する。	
アクティブ・ラーニング	
□課題解決型学習(PBL) □討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) □グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) □発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) □実習、フィールドワーク □実験、実技 ■その他(ペアワーク)	
授業の計画及び授業外の学習方法	
第1回：オリエンテーションと「世界観」概念の説明 事前学習：参考図書などをもとに「哲学」「世界観」について調べノートしておくこと(2時間) 事後学習：講義の内容について、資料をもとに自分なりに纏めておくこと(2時間)	
第2回：神話的世界観ではなぜ不十分なのか？(ペアワーク10分) 事前学習：参考図書などをもとに日本や中国、ギリシャの「宇宙創成神話」について調べノートしておくこと(2時間) 事後学習：講義の内容について、資料をもとに自分なりに纏めておくこと(2時間)	
第3回：哲学的思考の発祥(プレソクラテス1) 事前学習：参考文献などをもとに「ピタゴラス」について調べてノートしておくこと(2時間) 事後学習：講義の内容について、資料をもとに自分なりに纏めておくこと(2時間)	
第4回：哲学的思考の展開(プレソクラテス2) 事前学習：参考文献などをもとに「ヘラクレイトス」「パルメニデス」について調べノートしておくこと(2時間) 事後学習：講義の内容について、資料をもとに自分なりに纏めておくこと(2時間)	
第5回：ソクラテス1 事前学習：参考文献などをもとに「ソクラテスの生涯」について調べノートしておくこと(2時間) 事後学習：資料をもとに自分なりに纏めておくこと(2時間)	
第6回：ソクラテス2 事前学習：参考文献などをもとに「無知の知」「魂の配慮」について調べノートしておくこと(2時間) 事後学習：講義の内容について、資料をもとに自分なりに纏めておくこと(2時間)	
第7回：プラトン1 事前学習：参考文献などをもとに「プラトンの生涯」について調べノートしておくこと(2時間) 事後学習：講義の内容について、資料をもとに自分なりに纏めておくこと(2時間)	
第8回：プラトン2 事前学習：参考文献などをもとに「洞窟の比喩」について調べノートしておくこと(2時間) 事後学習：講義の内容について、資料をもとに自分なりに纏めておくこと(2時間)	
第9回：アリストテレス1(可能態・現実態などの対概念) 事前学習：参考文献などをもとに「可能態・現実態」の語義について調べ、ノートしておくこと(2時間) 事後学習：講義の内容について、資料をもとに自分なりに纏めておくこと(2時間)	

第10回：アリストテレス2（目的論と実体概念） 事前学習：参考文献などをもとに「実体」について調べノートしておくこと（2時間） 事後学習：講義の内容について、資料をもとに自分なりに纏めておくこと（2時間）
第11回：映像によって古代の思想を知る 事前学習：エジプトのアレクサンドリアについて調べノートしておくこと（2時間） 事後学習：地動説の歴史について調べ、自分なりに纏めておくこと（2時間）
第12回：古代から中世の思想の流れ 事前学習：参考文献などをもとにパスカルの「人間は考える葦である」という言葉について調べ、ノートしておくこと（2時間） 事後学習：講義の内容について、資料をもとに自分なりに纏めておくこと（2時間）
第13回：デカルト1（デカルトの知識論） 事前学習：参考文献などをもとにデカルトの生涯について調べノートしておくこと（2時間） 事後学習：講義の内容について、資料をもとに自分なりに纏めておくこと（2時間）
第14回：デカルト2（デカルトの自我論・方法的懐疑） 事前学習：参考文献などをもとにデカルトの「我思う。ゆえに私はある」という言葉について調べノートしておくこと（2時間） 事後学習：講義の内容について、資料をもとに自分なりに纏めておくこと（2時間）
第15回：これまでのまとめ 事前学習：これまでの授業について質問を考えてくること（2時間） 事後学習：講義の内容について、資料をもとに自分なりに纏めておくこと（2時間）
第16回：定期試験

授業実施方法（面接授業・遠隔授業）

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

定期試験（80%）、平常点（20%）
（平常点は、授業への参加状況、受講態度、毎回の授業内小レポートの提出状況を総合して判断する）

成績評価基準

- ・哲学の基本的な用語や人名について、これを理解し、説明することができるか。
- ・授業で扱う西洋思想の流れを理解しているか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書

テキストはとくに使用せず、適宜プリントを配布する。
参考図書については2回目の授業で一覧を配布するが、安価かつ容易に入手できるものを以下に記載しておく。

- ・岩田靖夫『ヨーロッパ思想入門』（岩波ジュニア新書） 岩波書店 2003
- ・伊藤邦武『物語 哲学の歴史』（岩波新書） 岩波書店 2012
- ・熊野純彦『西洋哲学史 古代から中世へ』（岩波新書） 岩波書店 2006
- ・熊野純彦『西洋哲学史 近世から現代へ』（岩波新書） 岩波書店 2006

その他（受講上の注意）

- ・毎回の講義を受けた後でその部分の配布資料とノートを見直して復習をし、次の授業に臨んでください。また、第2回の授業で配布する参考文献一覧から該当書物を読むなどして、より理解を深めてください。
- ・毎回授業内で小レポートを書いてもらいます。私語は他の受講者の迷惑となるので厳禁。私語の目立つ者はその場で注意するが、注意によっても改まらない場合当日欠席扱いとするので注意されたい。

オ フ ィ ス ア ワ ー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

文学の世界 (The World of Literature)			担当教員	平岡 正実	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
HS-1225	2単位	2年後期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部学部共通科目 人間学関連科目					
求める学習成果(教育目標)					
豊かな人間性と倫理観を身につけ、幅広い視野から物事をとらえ、的確な判断を下すことができる力を養います。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
■自他の理解能力		□コミュニケーション能力		■情報収集・探索能力	
□役割把握・認識能力		□計画実行能力		□社会・職業理解能力	
		□選択能力		□課題解決能力	

授 業 の 内 容	
郷土に関係する作家や文学作品や昔話おとぎ話等を取り上げ読解する。読むことで得た知識をもとに簡単な文学作品を創作する。	
授 業 の 到 達 目 標	
古今の郷土に関係のある文学作品や作家の生き方に触れることで、それぞれの時代にふるさとに生きた人々の思想や願いに思いをはせるとともに、創作活動に必要な文章構成や表現の工夫などの基礎的な知識を身につけることができる。	
アクティブ・ラーニング	
□課題解決型学習 ■討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) ■グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) ■発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) ■実習、フィールドワーク □実験、実技 □その他	
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法	
第1回：授業概要の説明及び受講の心構え 事前学習：今までの自分の読書生活を振り返り、この講義で学びたいことややってみたいことなどについて、簡単なスピーチができるようにしておくこと。(2時間) 事後学習：「ビブリオバトル」のルールについて、図書やインターネット等で調べておくこと。(2時間)	
第2回：郷土(武生・今立)の文学概論(発表・ディスカッション) 事前学習：郷土に関連のある作家や文学作品の中で興味のあるものについて調べ、ノートにまとめておくこと(2時間) 事後学習：越前市東部(味真野地区・今立地区)の文化遺産について調べ、ノートにまとめ第3回授業で提出すること(2時間)	
第3回：郷土の文学①いわさきちひろと絵本(発表・ディスカッション) 事前学習：「いわさきちひろ」について、図書館やインターネットで調べ、代表的な作品を読んでおくこと。(2時間) 事後学習：安曇野と東京のちひろ館やちひろの絵の技法について調べ、ノートにまとめ第4回授業で提出すること。(2時間)	
第4回：郷土の文学②加古里子とかこさとし絵本館(発表・ディスカッション) 事前学習：「かこさとし」について図書館やインターネットで調べ、代表的な作品を読んでおくこと。(2時間) 事後学習：かこさとし公園やかこさとしの絵の技法について調べ、ノートにまとめ第5回授業で提出すること。(2時間)	
第5回：郷土の文学③橘曙覧と独楽吟(発表・グループワーク) 事前学習：「橘曙覧」について、図書館やインターネットで調べておくこと。(2時間) 事後学習：「平成独楽吟集」を読み、曙覧の句と比べて社会的背景や先人の物の見方・感じ方について感想をノートにまとめ第6回授業で提出すること。(2時間)	
第6回：郷土の文学④「山川登美子・水上勉・高見順」(発表・ディスカッション) 事前学習：「山川登美子・水上勉・高見順」のうち、興味のある文学者について調べ、ノートにまとめておくこと。(2時間) 事後学習：「山川登美子・水上勉・高見順」のうち、興味のある文学者の作品を読み、特徴や文学史上の位置づけについてノートにまとめ第7回授業で提出すること。(2時間)	

- 第7回：郷土の文学のまとめ「郷土の文学新聞」制作
事前学習：郷土の文学者のうち、興味のある文学者について資料を集め、「郷土の文学新聞」のレイアウトを作成しておくこと。(2時間)
事後学習：「郷土の文学新聞」を完成させ第8回授業で提出すること。(2時間)
- 第8回：神話・昔話の世界①小学校1年生の教科書教材(発表・ディスカッション)
事前学習：日本の神話や昔話(古事記・宇治拾遺物語・御伽草子等)について調べ、ノートにまとめておくこと。(2時間)事後学習：授業中に紹介された日本の説話集について、図書館で調べてまとめ第9回授業で提出すること。(2時間)
- 第9回：神話・昔話の世界②原典や絵本等を読む(発表・ディスカッション)
事前学習：西洋の昔話(グリム・アンデルセン・ペロー等)について調べ、ノートにまとめておくこと。(2時間)
事後学習：授業中に紹介された西洋の昔話・おとぎ話について、図書館で調べてまとめ第10回授業で提出すること。(2時間)
- 第10回：韻文(詩・短歌・俳句)の世界(発表・ディスカッション)
事前学習：俳句(文学史、季語)について調べ、ノートにまとめておくこと。(2時間)
事後学習：興味のある俳人、歌人、詩人の人物像や作品について調べ、ノートにまとめて第11回授業で提出すること。(2時間)
- 第11回：童話の創作法(発表・ディスカッション・グループワーク)
事前学習：芥川龍之介について調べ、ノートにまとめて第12回授業で提出すること。(2時間)
事後学習：芥川龍之介の作品(説話集)を一つ読み、400字程度にまとめて第12回授業で提出すること(2時間)
- 第12回：童話の創作①(発表・ディスカッション)
事前学習：日本の昔ばなしや西洋のおとぎ話をテーマにした絵本・児童向け作品集を読み、あらすじと感想をノートにまとめておくこと。(2時間)
事後学習：幼児教育における昔話やおとぎ話の意義について、意見をノートにまとめて第13回授業で提出すること。(2時間)
- 第13回：童話の創作②(発表・ディスカッション)
事前学習：童話コンクール入賞作品を分析し、魅力をまとめておくこと。(2時間)
事後指導：図書館やインターネット等で日本の代表的な説話集にどのようなものがあるか調べ、ノートにまとめて第14回授業で提出すること(2時間)
- 第14回：童話の創作③(発表・ディスカッション)
事前学習：説話集をリストアップし、比較分析すること。(2時間)
事後学習：授業の課題(日本の説話集から作品を選び、現代の社会状況に合わせて書き直す)を完成させ第15回授業で提出すること。(2時間)
- 第15回：創作童話の合評会(プレゼンテーション)
事前学習：自分が取り上げた作品について、ワークシートにまとめておくこと。(2時間)
事後学習：本授業を受講して印象に残ったことや更に調べてみたいことなどをノートにまとめて提出すること。(2時間)

授業実施方法(面接授業・遠隔授業)

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

学期末レポート(50%)、授業内の課題(30%)、平常点(20%)
(平常点は、授業への参加状況、受講態度等を総合して判断する)

成績評価基準

講義で学修した作家や作品について理解を深めたか。作品創作に必要な手順や方法など基礎的な知識を理解して、文章構成や表現に留意した作品が書けたか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)
テキスト、参考図書
テキストは、使用しません。参考図書は、その都度指示します。
その他(受講上の注意)
毎回、テーマに関する本を1冊以上読んでおく
オフィスアワー
UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

歴史と地域文化 (History and Local Culture)			担当教員	久保 智康	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
HS-1224	2単位	2年後期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部学部共通科目 人間学関連科目					
求める学習成果(教育目標)					
豊かな人間性と倫理観を身につけ、幅広い視野から物事をとらえ、的確な判断を下すことができる力を養います。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
■自他の理解能力		■コミュニケーション能力		■情報収集・探索能力	
□役割把握・認識能力		□計画実行能力		□社会・職業理解能力	
		■選択能力		□課題解決能力	

授 業 の 内 容	
地域の歴史・文化は、そこに住む人がかたち作っていくものである。と同時に、それは時代の経過とともにより豊かなものになり、次の世代へと受け継がれていくのが望ましい。すでに過去から蓄積された福井の地域文化を歴史の中にたずね、それを受け継ぎ発展させる具体的方策を考える。	
授 業 の 到 達 目 標	
<ul style="list-style-type: none"> ・他者だけでなく自己も地域の歴史・文化をかたち作る主体であることを理解できる。 ・そのために、地域の人々とのコミュニケーションが積極的に行える。 ・地域の歴史・文化に関する情報収集・探索能力を養成する。 	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法	
第1回：「地域」、「文化」とは何か 事前学習：中学で学んだ程度の日本歴史は復習しておくこと。テキストと福井新聞など地元紙に目を通して、授業に関係しそうな記事をチェックしておくこと。(2時間) 事後学習：各回に配布した資料、取り上げたテキスト頁を、講義内容・投影画像を振り返りながら熟読すること。授業で推奨したテキスト掲載の遺跡・寺社等にできるだけ足を運んで、現場確認すること。(2時間)	
第2回：地域の文化財を発見し学ぶ～『文化財からみる越前市の歴史文化図鑑』の読み方、使い方～ 事前学習：中学で学んだ程度の日本歴史は復習しておくこと。テキストと福井新聞など地元紙に目を通して、授業に関係しそうな記事をチェックしておくこと。(2時間) 事後学習：各回に配布した資料、取り上げたテキスト頁を、講義内容・投影画像を振り返りながら熟読すること。授業で推奨したテキスト掲載の遺跡・寺社等にできるだけ足を運んで、現場確認すること。(2時間)	
第3回：縄文・弥生土器からみる「地域」 事前学習：中学で学んだ程度の日本歴史は復習しておくこと。テキストと福井新聞など地元紙に目を通して、授業に関係しそうな記事をチェックしておくこと。(2時間) 事後学習：各回に配布した資料、取り上げたテキスト頁を、講義内容・投影画像を振り返りながら熟読すること。授業で推奨したテキスト掲載の遺跡・寺社等にできるだけ足を運んで、現場確認すること。(2時間)	
第4回：律令時代の土器が示す「中央」と「地方」 事前学習：中学で学んだ程度の日本歴史は復習しておくこと。テキストと福井新聞など地元紙に目を通して、授業に関係しそうな記事をチェックしておくこと。(2時間) 事後学習：各回に配布した資料、取り上げたテキスト頁を、講義内容・投影画像を振り返りながら熟読すること。授業で推奨したテキスト掲載の遺跡・寺社等にできるだけ足を運んで、現場確認すること。(2時間)	
第5回：古墳の分布が示す「地域」～「郡」という地域概念の萌芽～ 事前学習：中学で学んだ程度の日本歴史は復習しておくこと。テキストと福井新聞など地元紙に目を通して、授業に関係しそうな記事をチェックしておくこと。(2時間) 事後学習：各回に配布した資料、取り上げたテキスト頁を、講義内容・投影画像を振り返りながら熟読すること。授業で推奨したテキスト掲載の遺跡・寺社等にできるだけ足を運んで、現場確認すること。(2時間)	

第6回：土地と人の支配の歴史～徴税・納税の根拠～

事前学習：中学で学んだ程度の日本歴史は復習しておくこと。テキストと福井新聞など地元紙に目を通して、授業に関係しそうな記事をチェックしておくこと。（2時間）

事後学習：各回に配布した資料、取り上げたテキスト頁を、講義内容・投影画像を振り返りながら熟読すること。授業で推奨したテキスト掲載の遺跡・寺社等にできるだけ足を運んで、現場確認すること。（2時間）

第7回：条里制と東大寺領荘園の痕跡を見つける

事前学習：中学で学んだ程度の日本歴史は復習しておくこと。テキストと福井新聞など地元紙に目を通して、授業に関係しそうな記事をチェックしておくこと。（2時間）

事後学習：各回に配布した資料、取り上げたテキスト頁を、講義内容・投影画像を振り返りながら熟読すること。授業で推奨したテキスト掲載の遺跡・寺社等にできるだけ足を運んで、現場確認すること。（2時間）

第8回：近代、そして平成の市町村合併

事前学習：中学で学んだ程度の日本歴史は復習しておくこと。テキストと福井新聞など地元紙に目を通して、授業に関係しそうな記事をチェックしておくこと。（2時間）

事後学習：各回に配布した資料、取り上げたテキスト頁を、講義内容・投影画像を振り返りながら熟読すること。授業で推奨したテキスト掲載の遺跡・寺社等にできるだけ足を運んで、現場確認すること。（2時間）

第9回：琉球、沖縄と越前～本土と沖縄の歴史と宗教～

事前学習：中学で学んだ程度の日本歴史は復習しておくこと。テキストと福井新聞など地元紙に目を通して、授業に関係しそうな記事をチェックしておくこと。（2時間）

事後学習：各回に配布した資料、取り上げたテキスト頁を、講義内容・投影画像を振り返りながら熟読すること。授業で推奨したテキスト掲載の遺跡・寺社等にできるだけ足を運んで、現場確認すること。（2時間）

第10回：福井が「仏教王国」である理由

事前学習：中学で学んだ程度の日本歴史は復習しておくこと。テキストと福井新聞など地元紙に目を通して、授業に関係しそうな記事をチェックしておくこと。（2時間）

事後学習：各回に配布した資料、取り上げたテキスト頁を、講義内容・投影画像を振り返りながら熟読すること。授業で推奨したテキスト掲載の遺跡・寺社等にできるだけ足を運んで、現場確認すること。（2時間）

第11回：各宗派の特徴と古代・中世越前における展開

事前学習：中学で学んだ程度の日本歴史は復習しておくこと。テキストと福井新聞など地元紙に目を通して、授業に関係しそうな記事をチェックしておくこと。（2時間）

事後学習：各回に配布した資料、取り上げたテキスト頁を、講義内容・投影画像を振り返りながら熟読すること。授業で推奨したテキスト掲載の遺跡・寺社等にできるだけ足を運んで、現場確認すること。（2時間）

第12回：山寺と霊山

事前学習：中学で学んだ程度の日本歴史は復習しておくこと。テキストと福井新聞など地元紙に目を通して、授業に関係しそうな記事をチェックしておくこと。（2時間）

事後学習：各回に配布した資料、取り上げたテキスト頁を、講義内容・投影画像を振り返りながら熟読すること。授業で推奨したテキスト掲載の遺跡・寺社等にできるだけ足を運んで、現場確認すること。（2時間）

第13回：越前の神と仏

事前学習：中学で学んだ程度の日本歴史は復習しておくこと。テキストと福井新聞など地元紙に目を通して、授業に関係しそうな記事をチェックしておくこと。（2時間）

事後学習：各回に配布した資料、取り上げたテキスト頁を、講義内容・投影画像を振り返りながら熟読すること。授業で推奨したテキスト掲載の遺跡・寺社等にできるだけ足を運んで、現場確認すること。（2時間）

第14回：「念仏王国」、越前

事前学習：中学で学んだ程度の日本歴史は復習しておくこと。テキストと福井新聞など地元紙に目を通して、授業に関係しそうな記事をチェックしておくこと。（2時間）

事後学習：各回に配布した資料、取り上げたテキスト頁を、講義内容・投影画像を振り返りながら熟読すること。授業で推奨したテキスト掲載の遺跡・寺社等にできるだけ足を運んで、現場確認すること。（2時間）

第15回：地域に住むこと、離れること

事前学習：中学で学んだ程度の日本歴史は復習しておくこと。テキストと福井新聞など地元紙に目を通して、授業に関係しそうな記事をチェックしておくこと。（2時間）

事後学習：各回に配布した資料、取り上げたテキスト頁を、講義内容・投影画像を振り返りながら熟読すること。授業で推奨したテキスト掲載の遺跡・寺社等にできるだけ足を運んで、現場確認すること。（2時間）

第16回：定期試験

授業実施方法(面接授業・遠隔授業)
原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。
成績評価方法
定期試験(80%) 平常点(20%) (平常点は授業への参加状況、受講態度等で総合的に判断します。)
成績評価基準
地域の歴史・文化に関する過去・現在の事例に関して、自己の問題として認識し、具体的な関わり方を想定できるか。
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック
1) 授業時の課題に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/> 授業時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/> 授業時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 3) 小レポートに対するフィードバックについて <input type="checkbox"/> 授業時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて <input type="checkbox"/> 定期試験時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 5) その他 <input type="checkbox"/> 授業時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他
実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)
・経歴 (県立博物館・国立博物館学芸員) ・実務経験と授業内容との関連性 (県立博物館、次いで国立博物館で学芸員として歴史・文化財の調査・研究・展示に携わった経験を有する教員が、地元出身者が大半を占める学生に対して、福井を中心とする歴史と地域文化について解説し、それらを保存・継承が地域発展に資することを考えさせる。)
テキスト、参考図書
テキスト：『文化財からみる 越前市の歴史文化図鑑』(監修)橋本政宣・久保智康 越前市
その他(受講上の注意)
できる限り前列の席で受講すること。画像を使用するが、漫然と見ているだけでなく、要点を極力ノートすること。
オフィスアワー
UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

日本国憲法 (The Japanese Constitution)			担当教員	根田 恵多	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
HS-1221	2単位	2年後期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部学部共通科目 人間学関連科目					
求める学習成果(教育目標)					
日本国憲法の基本的な考え方についての正確な知識を身につけ、現実の憲法問題について、自分の意見を論理的・説得的に展開できるようになること。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input checked="" type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容					
憲法の歴史や判例・学説について、レジュメ・スライドを使って解説します。 受講生の人数によってはディスカッションを取り入れるなどしながら、みなさんが自分の言葉で意見を述べることを重視した授業を行います。					
授 業 の 到 達 目 標					
立憲主義の意味を理解し、憲法に関する基本的知識を修得する。 実生活において、権利意識を持って問題解決を図ることができる能力を身につける。 現実の憲法問題について、自分の意見を自分の言葉で表現できるようになる。					
アクティブ・ラーニング					
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習 (PBL) <input checked="" type="checkbox"/> 討議 (ディスカッション、ディベート) <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> 発表 (プレゼンテーション) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他					
授業の計画及び授業外の学習方法					
第1回：憲法って何だろう 事前学習：授業前に法と自身との関わりについて考えておくこと。(2時間) 事後学習：授業内容を振り返り、分からないことがあれば確認しておくこと。(2時間) 第2回：憲法の歴史と現在 事前学習：テキストの14章を読み、疑問点を整理しておこう。(2時間) 事後学習：授業内容を振り返り、立憲主義について理解を深める。(2時間) 第3回：「憲法の番人」としての裁判所 事前学習：テキストの1章・12章で全体像を確認しておこう。(2時間) 事後学習：授業内容を振り返り、テキストの該当箇所を見直しておくこと。(2時間) 第4回：こころの自由 事前学習：テキストの4章1節を読み、疑問点を整理しておこう。(2時間) 事後学習：授業内容を振り返り、テキストの該当箇所を見直しておくこと。(2時間) 第5回：信教の自由vs政教分離 事前学習：テキストの4章2節を読み、疑問点を整理しておこう。(2時間) 事後学習：身近な政教分離問題について調べてみよう。(2時間) 第6回：悪口も表現の自由？ 事前学習：テキストの5章を読み、疑問点を整理しておこう。(2時間) 事後学習：名誉毀損や侮辱をめぐる最近の事件・議論について調べてみよう(2時間) 第7回：教える自由？学ぶ自由？ 事前学習：教師の人権と生徒の人権にどのような違いがあるのか、考えてみよう(2時間) 事後学習：学校でどのような人権問題が起こっているのか、調べてみよう。(2時間) 第8回：働く権利、生きる権利 事前学習：テキストの8章を読み、疑問点を整理しておこう。(2時間) 事後学習：健康で文化的な最低限度の生活とは何か、考えてみよう(2時間) 第9回：平等・差別・排除 事前学習：テキストの3章を読み、疑問点を整理しておこう。(2時間) 事後学習：社会的排除の事例としてどのようなものが挙げられるか、調べてみよう。(2時間) 第10回：「新しい人権」・・・？ 事前学習：憲法に明文化されていない人権にはどのようなものがあるか、考えてみよう(2時間) 事後学習：授業時に取り上げたもの以外でどのような人権があり得るか、調べてみよう(2時間)					

<p>第11回：人権の主体——子どもの権利、外国人の権利 事前学習：外国人の権利と日本人の権利にどのような違いがあるのか、考えてみよう。（2時間） 事後学習：入管行政をめぐる問題について、調べてみよう。（2時間）</p> <p>第12回：捕まったらどうなる？ 事前学習：テキストの9章を読み、疑問点を整理しておこう。（2時間） 事後学習：授業内容を踏まえて、TVや新聞の事件報道についてチェックしてみよう。（2時間）</p> <p>第13回：統治の仕組みと民主主義 事前学習：民主主義とは何か、高校までの学習内容を復習しておこう。（2時間） 事後学習：自分の居住地・出身地の政治家について調べてみよう。（2時間）</p> <p>第14回：全世界の国民が平和に生きる 事前学習：テキストの11章を読み、疑問点を整理しておこう。（2時間） 事後学習：授業内容を踏まえて、憲法9条の意義や改正の是非について考えてみよう。（2時間）</p> <p>第15回：憲法の「改正」って何？ 事前学習：政党などが作成している憲法改正案を調べてみよう。（2時間） 事後学習：これまでの授業内容を踏まえて、現行の日本国憲法の条文を見直してみよう。（2時間）</p>
授業実施方法（面接授業・遠隔授業）
原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。
成績評価方法
毎回の授業時に課す小課題40% 期末レポート60%
成績評価基準
憲法問題の論点を正確に把握し、自分の意見を論理的・説得的に把握できているかを基準に採点します。
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック
1) 授業時の課題に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/> 授業時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/> 授業時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 3) 小レポートに対するフィードバックについて <input type="checkbox"/> 授業時 <input checked="" type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて <input type="checkbox"/> 定期試験時 <input checked="" type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 5) その他 <input type="checkbox"/> 授業時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他
実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
テキスト、参考図書
西原博史・斎藤一久編著『教職課程のための憲法入門〔第3版〕』（弘文堂、2024年）
その他（受講上の注意）
積極的に参加する意識をもって受講して下さい。
オフィスアワー
UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

人間と環境 B (心理) (Human Beings and the Environment B)			担当教員	南保 勝	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
HS-2230	2 単位	2 年前期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部学部共通科目 環境・健康科目					
求める学習成果(教育目標)					
大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実地的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
■各種統計データの理解能力 ■日本経済を取り巻く環境や現状での問題点を理解する能力 ■情報収集・探索能力 ■役割把握・認識能力 ■課題解決能力					

授 業 の 内 容	
本講義は、“経済学”という言葉にこだわらず、若者や超ビギナーのために開講する現代経済入門講座。 講義概要 ・様々な経済活動に対し客観的な理解力を深めるために各種の統計、経済データを紹介、見方、活かし方を習得する。 ・日本経済を取り巻く環境や現状での問題点を取り上げる。	
授 業 の 到 達 目 標	
日本経済の現状を把握、理解するための経済指標とは何か、把握する。 経済用語の理解力を高め、経済・社会環境の変化について、対応できる能力を養うことができる。	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習 (PBL) <input type="checkbox"/> 討議 (ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク (Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション (Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法	
進捗度合いによって、講義内容の変更もあり得る。 第1回：本講義の概要、平成時代は何を残したか 事前学習：失われた30年に繋がった平成時代の社会・経済変化を調べておくこと (2時間) 事後学習：平成時代がもたらした経済環境をまとめておくこと (2時間) 第2回：戦後日本の経済成長と将来展望 事前学習：失われた30年に繋がった平成時代の社会・経済変化を調べておくこと (2時間) 事後学習：平成時代がもたらした経済環境をまとめておくこと (2時間) 第3回：日本経済・社会の構造変化と産業・企業の対応 事前学習：戦後日本で起きた構造変化とは何かを調べておくこと (2時間) 事後学習：戦後日本で起きた構造変化をまとめておくこと (2時間) 第4回：経済・社会システムの変容と企業経営 事前学習：構造変化により起きた経済・社会システムの変容とは何か調べておくこと (2時間) 事後学習：経済・社会システムの変容により、日本の産業・企業はどのような対応が必要となったか、まとめておくこと (2時間) 第5回：GDP (Gross domestic product) と景気循環 事前学習：GDPとは何か、何か調べておくこと (2時間) 事後学習：GDPと景気循環の関係をまとめておくこと (2時間) 第6回：景気判断のメカニズム 事前学習：景気判断は、どのようになされるか、調べておくこと (2時間) 事後学習：景気判断のメカニズムをまとめておくこと (2時間) 第7回：需要面の動向 (消費活動と経済指標①) 事前学習：ケインズと古典派の学説を調べておくこと (2時間) 事後学習：ケインズと古典派の学説の違いをまとめておくこと (2時間) 第8回：需要面の動向 (消費活動と経済指標②) 事前学習：需要にまつわる経済指標を調べておくこと (2時間) 事後学習：需要にまつわる経済指標を整理、まとめておくこと (2時間)	

<p>第9回：供給面の動向（企業活動と経済指標①） 事前学習：供給にまつわる経済指標を調べておくこと（2時間） 事後学習：供給にまつわる経済指標を整理、まとめておくこと（2時間）</p> <p>第10回：供給面の動向（企業活動と経済指標②） 事前学習：供給にまつわる経済指標を調べておくこと（2時間） 事後学習：供給にまつわる経済指標を整理、まとめておくこと（2時間）</p> <p>第11回：コロナ禍における産業・企業の取り組み 事前学習：昨今のコロナ禍での産業・企業の影響を調べておくこと（2時間） 事後学習：withコロナ、afterコロナにおける企業行動の姿をまとめておくこと（2時間）</p> <p>第12回：近年におけるグローバル化の実態 事前学習：経済界における最近のグローバル化の実態をまとめておくこと（2時間） 事後学習：グローバル化の変容について、まとめておくこと（2時間）</p> <p>第13回：国内労働市場の現実 事前学習：国内労働市場の現状について、調べておくこと（2時間） 事後学習：国内労働市場はどのように変質すべきか、まとめておくこと（2時間）</p> <p>第14回：日本経済の今後を理解する 事前学習：日本経済の現状を調べておくこと（2時間） 事後学習：日本経済は今後どのような状況となるか、まとめておくこと（2時間）</p> <p>第15回：経済学を理解するために 事前学習：実体経済を理解するために必要となるスキルは何か、調べておくこと（2時間） 事後学習：実体経済を理解するために必要となるスキルについて、まとめておくこと（2時間）</p> <p>第16回：定期試験</p>
授業実施方法（面接授業・遠隔授業）
原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。
成績評価方法
定期試験（40%）、各回の課題と小テストおよび平常点（60%）
成績評価基準
日本経済の現状を把握しているか。 日本経済を理解するための経済指標とは何か、把握しているか。 経済・社会環境の変化について、実体経済を説明しながら議論できるか。
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック
<p>1) 授業時の課題に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>3) 小レポートに対するフィードバックについて <input type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて <input type="checkbox"/>定期試験時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>5) その他 <input type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p>
実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
テキスト、参考図書
必要に応じて、講義用資料を配付したり、参考図書等を指示します。
その他（受講上の注意）
講義後、感想、課題、質問を書いて返却します。遅刻の時間や回数に応じて欠席と見なすことがあります。
オフィスアワー
UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

人間と環境 B (コミュニケーション) (Human Beings and the Environment B)			担当教員	山崎 茂雄	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
HS-2230	2 単位	2 年前期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部学部共通科目 環境・健康科目					
求める学習成果(教育目標)					
大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実地的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input checked="" type="checkbox"/> 各種統計データの理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> 日本経済を取り巻く環境や現状での問題点を理科スカル能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input checked="" type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、持続可能な発展の視点から捉えた工芸と観光にフォーカスする。 ・キーワードは、工芸の世界性、工芸観光、創造知の集積である。 	
授 業 の 到 達 目 標	
<ul style="list-style-type: none"> ・手仕事世界を学術的に考察することにより、人間と環境との関係性を読み解く力量を養う。 ・労働という言葉に刻み込まれた苦痛という視点ではなく、働く喜び、仕事を通じて成長する人間のありようを、北陸の伝統工芸産業における職人たちの世界を垣間見ることを通じて、考える力を身につける。 	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習 (PBL) <input checked="" type="checkbox"/> 討議 (ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク (Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション (Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法	
<p>進捗度合いによって、講義内容の変更もあり得る。</p> <p>第1回：イントロダクション 事前学習：工芸が観光に持つ意味を調べておくこと (2時間) 事後学習：観光の価値は経済的価値だけなのかという問いかけに対する自身の考えをまとめておくこと (2時間)</p> <p>第2回：現代社会において工芸とは何か 事前学習：工芸の内容を調べておくこと (2時間) 事後学習：工芸と社会との関係性をまとめておくこと (2時間)</p> <p>第3回：人間生活と環境問題 (ディスカッション) 事前学習：地球規模での環境問題の実相を調べておくこと (2時間) 事後学習：時代の危機的状況のなかで生活者であるわれわれはどのように振る舞うべきかをまとめておくこと (2時間)</p> <p>第4回：生物多様性と文化多様性による観光 事前学習：生物多様性と文化多様性の意義を調べておくこと (2時間) 事後学習：エスニックツーリズム、エコツーリズムの具体例をまとめておくこと (2時間)</p> <p>第5回：先住民ツーリズムと工芸 (ディスカッション) 事前学習：ニュージーランドにおけるマオリについて調べておくこと (2時間) 事後学習：アドベンチャーツーリズム、先住民ツーリズムの現状と課題をまとめておくこと (2時間)</p> <p>第6回：女性と観光 (ディスカッション) 事前学習：沖縄の芭蕉布および福井県勝山の羽二重のそれぞれの歴史について調べておくこと (2時間) 事後学習：女性の労働と工芸ツーリズムに関する関係性をまとめておくこと (2時間)</p> <p>第7回：イギリスにおけるアーツアンドクラフツ運動 事前学習：ウィリアム・モリスとモリス商会について調べておくこと (2時間) 事後学習：イギリスの工芸と日本文化とのコラボレーションをまとめておくこと</p> <p>第8回：変貌する越前和紙の世界の現在 事前学習：福井県における伝統工芸産業を調べておくこと (2時間) 事後学習：地域社会と越前和紙の産地との新たな胎動についてまとめておくこと (2時間)</p> <p>第9回：越前和紙の世界性 事前学習：日本発の和紙に関する素材を調べておくこと (2時間) 事後学習：アメリカにおける和紙文化の展開をまとめておくこと (2時間)</p>	

<p>第10回：手仕事のまちと観光（ディスカッション） 事前学習：職人文化を観光に活かすには何が必要かを調べておくこと（2時間） 事後学習：和紙文化を支える観光とは何かをまとめておくこと（2時間）</p> <p>第11回：創造知の集積のかたち 事前学習：手しごとの現代化の意味を調べておくこと（2時間） 事後学習：ネットワーク理論に基づく工芸観光のあるべき姿をまとめておくこと（2時間）</p> <p>第12回：日本の工芸観光を歩く－東日本 事前学習：東日本の工芸観光地をまとめておくこと（2時間） 事後学習：東日本の工芸観光とアーツアンドクラフツ運動の関係性をまとめておくこと（2時間）</p> <p>第13回：日本の工芸観光地を歩く－西日本 事前学習：西日本の工芸観光地を調べておくこと（2時間） 事後学習：西日本の工芸観光地とアーツアンドクラフツ運動の関係性をまとめておくこと（2時間）</p> <p>第14回：文化資本論を理解する（ディスカッション） 事前学習：文化資本の意味を調べておくこと（2時間） 事後学習：文化資本論からアプローチした工芸観光の在り方をまとめておくこと（2時間）</p> <p>第15回：持続可能な社会を理解するために（ディスカッション） 事前学習：将来世代について調べておくこと（2時間） 事後学習：世代間公平と正義の観点から人間と自然との関係性をまとめておくこと（2時間）</p>
授業実施方法（面接授業・遠隔授業）
原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。
成績評価方法
小テストおよび平常点（40%）、期末レポート（60%）
成績評価基準
<ul style="list-style-type: none"> ・手仕事世界を学術的に考察することにより、人間と環境との関係性を読み解く力量が身についているか。 ・労働という言葉に刻み込まれた苦痛という視点ではなく、働く喜び、仕事を通じて成長する人間のありようを、北陸の伝統工芸産業における職人たちの世界を垣間見ることを通じて、考える力を身につけているか。
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック
<p>1) 授業時の課題に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input checked="" type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input checked="" type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>3) 小レポートに対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input checked="" type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて <input type="checkbox"/>定期試験時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>5) その他 <input type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p>
実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
テキスト、参考図書
<p>テキスト ・山崎茂雄ほか編『図説 神と紙の里の未来学』、晃洋書房、2019年</p> <p>参考図書 ・山崎茂雄編『世界の工芸と観光』、晃洋書房、2020年</p>
その他（受講上の注意）
・必須ではないが、アートや工芸に関心を持っていることが望ましい。
オフィスアワー
UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

ふくい総合学 (General Studies of Fukui)			担当教員	石川 昭義、杉島 一郎、升田 法継、 細田 耕平
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分
HS-2231	2単位	2年後期	講義	選択
<科目区分> 人間学部学部共通科目 環境・健康科目				
求める学習成果(教育目標)				
大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実地的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。				
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)				
<input type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input checked="" type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input type="checkbox"/> 課題解決能力				

授 業 の 内 容				
<p>本授業は、様々な分野・専門領域における「ふくい」についての現況の課題や行政施策等の理解促進を目的とする。特に「ふくい」の中の「越前市」に焦点をあて、市職員を招聘し、学生へ市計画等の事業の現状、将来構想、施策の特徴を講義し、「市を取り巻く状況」に始まり、「戦略的取組」「行政課題」や「今後の展望」などを取り上げる。後半は、本学各学科各領域からの視点で越前市や地域との関連性について取り上げ、大学の立地自治体の特徴、文化の理解を深めてもらえるような内容となっている。</p>				
授 業 の 到 達 目 標				
本学が立地する自治体である「越前市」の特徴や行政全般、さらには独自の文化等に対する理解が深まる。				
アクティブ・ラーニング				
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他				
授業の計画及び授業外の学習方法				
<p>第1回：「ふくい総合学」趣旨説明<総論>越前市を取り巻く状況 事前学習：授業前にシラバスを読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：授業の内容を振り返り、e-learningを通じてリフレクションを実施すること。(2時間)</p> <p>第2回：戦略的取組み<まちづくり編>コウノトリと里山の人たちとの共生、かこさとしさんと読書のまち宣言 事前学習：授業前に越前市に関する資料を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること。(2時間)</p> <p>第3回：戦略的取組み<福祉編>検診を受けよう 新しい健康づくり、子どもの笑顔が輝く環境づくり 事前学習：授業前に越前市に関する資料を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること。(2時間)</p> <p>第4回：戦略的取組み<文化編>国府が置かれた歴史あるまちづくり、たけふ菊人形のあゆみ 事前学習：授業前に越前市に関する資料を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること。(2時間)</p> <p>第5回：戦略的取組み<産業編>越前市の産業活性化(産業活性化プラン・工芸の里構想) 事前学習：授業前に越前市に関する資料を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること。(2時間)</p> <p>第6回：戦略的取組み<環境編>下水道事業で人と環境のネットワークづくり、もったいない!捨てないで資源回収しよう 事前学習：授業前に越前市に関する資料を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること。(2時間)</p> <p>第7回：行政課題(1)地域が支える災害に強いまちづくり、まちづくりと交通体系 事前学習：授業前に越前市に関する資料を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること。(2時間)</p> <p>第8回：行政課題(2)越前市の財政、越前市で暮らそう!～新生活を始めるなら中心市街地がおすすめ～ 事前学習：授業前に越前市に関する資料を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること。(2時間)</p> <p>第9回：行政課題(今後)オープンデータを利用したまち情報の発信、きくりんがちょっといいこと教えちゃりん!～越前市の嬉しい情報をお届けします～ 事前学習：授業前に越前市に関する資料を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること。(2時間)</p>				

第10回：行政課題（展望）市民協働プロセスの確立、市民交流・ネットワークづくり 事前学習：授業前に越前市に関する資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間） 事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること。（2時間）
第11回：心理学の視点から（心理学科教員） 事前学習：授業前に資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間） 事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること。（2時間）
第12回：コミュニケーション学の視点から（コミュニケーション学科教員） 事前学習：授業前に資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間） 事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること。（2時間）
第13回：健康栄養学の視点から（健康栄養学科教員） 事前学習：授業前に資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間） 事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること。（2時間）
第14回：子ども教育学の視点から（子ども教育学科教員） 事前学習：授業前に資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間） 事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること。（2時間）
第15回：まとめ（とりまとめ教員） 事前学習：授業前に14回までを振り返り、質問項目をまとめておくこと。（2時間） 事後学習：e-learningを通じて授業全体のリフレクションを実施すること。（2時間）

授業実施方法（面接授業・遠隔授業）

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

レポート（60％） 平常点（40％）
（平常点は、授業時のリアクションペーパー、受講態度等を総合して判断する。）

成績評価基準

「越前市の人とまち、その文化」というテーマで、「越前市の取組み」についての現況の課題や今後の施策内容等を理解できたか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書

毎回プリントを配布。

その他（受講上の注意）

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

英語Ⅱa (EnglishⅡa)			担当教員	M クズイフ、野本 尚美、フッド晴美	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
HS-2240	1単位	2年前期	演習	選択	
<科目区分> 人間学部学部共通科目 外国語科目					
求める学習成果(教育目標)					
大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実地的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
■自他の理解能力		■コミュニケーション能力		□情報収集・探索能力	
□役割把握・認識能力		□計画実行能力		□社会・職業理解能力	
		□選択能力		□課題解決能力	

授 業 の 内 容	
Following a 'Warm-up' activity to introduce the theme of the unit, students will be introduced to the relevant grammar and vocabulary through a series of listening and speaking exercises. Reading and writing exercises will follow to reinforce their knowledge of the material.	
授 業 の 到 達 目 標	
Expanding upon the material covered in English I a and I b, further attention will be given to developing the four core skills of language proficiency. Students will continue to develop the speaking skills necessary to express themselves in general areas of conversation, such as talking about their daily lives and exchanging personal information. Listening practice will focus on listening for key words and specific information. Reading exercises will focus on the important skills of skimming for general understanding as well as scanning for specific information. Writing activities will center on developing the student's ability to express his or her own thoughts and opinions in an easy-to-understand manner.	
アクティブ・ラーニング	
□課題解決型学習(PBL) ■討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) ■グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) ■発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) □実習、フィールドワーク □実験、実技 □その他	
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法	
第1回：Class Introduction (ディスカッション) 事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと(30分) 事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて調べること(30分)	
第2回：Unit 1 - Hobbies ① (ディスカッション) 事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと(30分) 事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて調べること(30分)	
第3回：Unit 1 - Hobbies ② (ディスカッション) 事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと(30分) 事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて調べること(30分)	
第4回：Unit 2 - Clothes and Colors ① (ディスカッション) 事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと(30分) 事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて調べること(30分)	
第5回：Unit 2 - Clothes and Colors ② (ディスカッション) 事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと(30分) 事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて調べること(30分)	
第6回：Unit 3 - An Active Life ① (ディスカッション) 事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと(30分) 事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて調べること(30分)	
第7回：Unit 3 - An Active Life ② (ディスカッション) 事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと(30分) 事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて調べること(30分)	

- 第8回：Review (ディスカッション)
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと (30分)
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて調べること (30分)
- 第9回：Unit 4 - Getting Around ① (ディスカッション)
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと (30分)
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて調べること (30分)
- 第10回：Unit 4 - Getting Around ② (ディスカッション)
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと (30分)
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて調べること (30分)
- 第11回：Unit 5 - Personality ① (ディスカッション)
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと (30分)
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて調べること (30分)
- 第12回：Unit 5 - Personality ② (ディスカッション)
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと (30分)
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて調べること (30分)
- 第13回：Unit 6 - Cooking ① (ディスカッション)
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと (30分)
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて調べること (30分)
- 第14回：Unit 6 - Cooking ② (ディスカッション)
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと (30分)
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて調べること (30分)
- 第15回：Review (ディスカッション)
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと (30分)
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて調べること (30分)
- 第16回：Examination (インタビューテスト、スピーチ)

Before each unit, students are to familiarize themselves with the class material by reviewing the 'Grammar Talk' pages for each unit and completing the exercises on those pages. Students must also complete homework assignments as instructed by their teacher, such as the written assignments suggested in the textbook as well as other relevant assignments.

授業実施方法 (面接授業・遠隔授業)

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

Outside-class Assignments - 20% *Talk to your instructor about what is required.
Proactive In-class Participation - 20%
Examination - 60%

成績評価基準

Students' abilities to participate in conversations and express opinions on a variety of subjects will be evaluated as well as their abilities to express opinions in written form and to comprehend reading passages.

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

Stempleski, Susan. Stretch 2. Oxford University Press. 2014. ISBN 978-0-19-460313-3
TEXT加藤 『TOEIC L&R TEST 出る単特急 金のフレーズ』 朝日新聞出版 2017年

その他(受講上の注意)

Students are encouraged to take the TOEIC during their studies at the university. Also, at least one class will be held in the E-Lounge (E-301) or CALL (E-303) during the semester to familiarize the students with the latest available English self-study materials.

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

英語Ⅱb (EnglishⅡb)		担当教員	Mクズイフ、野本 尚美、フッド晴美、 水谷 善長	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分
HS-2241	1単位	2年後期	演習	選択
<科目区分> 人間学部学部共通科目 外国語科目				
求める学習成果(教育目標)				
大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実地的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。				
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)				
<input checked="" type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input type="checkbox"/> 課題解決能力				

授 業 の 内 容	
<p>Following a 'Warm-up' activity to introduce the theme of the unit, students will be introduced to the relevant grammar and vocabulary through a series of listening and speaking exercises. Reading and writing exercises will follow to reinforce their knowledge of the material.</p>	
授 業 の 到 達 目 標	
<p>Expanding upon the material covered in English I a and I b, further attention will be given to developing the four core skills of language proficiency. Students will continue to develop the speaking skills necessary to express themselves in general areas of conversation, such as talking about their daily lives and exchanging personal information. Listening practice will focus on listening for keywords and specific information. Reading exercises will focus on the important skills of skimming for general understanding as well as scanning for specific information. Writing activities will center on developing the student's ability to express his or her own thoughts and opinions in an easy-to-understand manner.</p>	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習 (PBL) <input checked="" type="checkbox"/> 討議 (ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク (Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション (Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法	
<p>第1回：Class Introduction (ディスカッション) 事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと (30分) 事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)</p> <p>第2回：Unit 7 - Weather ① (ディスカッション) 事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと (30分) 事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)</p> <p>第3回：Unit 7 - Weather ② (ディスカッション) 事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと (30分) 事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)</p> <p>第4回：Unit 8 - Everyday Activities ① (ディスカッション) 事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと (30分) 事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)</p> <p>第5回：Unit 8 - Everyday Activities ② (ディスカッション) 事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと (30分) 事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)</p> <p>第6回：Unit 9 - Math, history, and art ① (ディスカッション) 事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと (30分) 事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)</p> <p>第7回：Unit 9 - Math, history, and art ② (ディスカッション) 事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと (30分) 事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)</p>	

- 第8回：Review (ディスカッション)
 事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと (30分)
 事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)
- 第9回：Unit 10 - A busy semester ① (ディスカッション)
 事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと (30分)
 事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)
- 第10回：Unit 10 - A busy semester ② (ディスカッション)
 事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと (30分)
 事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)
- 第11回：Unit 11 - Favors and requests ① (ディスカッション)
 事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと (30分)
 事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)
- 第12回：Unit 11 - Favors and requests ② (ディスカッション)
 事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと (30分)
 事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)
- 第13回：Unit 12 - Before you travel ① (ディスカッション)
 事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと (30分)
 事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)
- 第14回：Unit 12 - Before you travel ② (ディスカッション)
 事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと (30分)
 事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)
- 第15回：Review (ディスカッション)
 事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと (30分)
 事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)
- 第16回：Examination

Before each unit, students are to familiarize themselves with the class material by reviewing the 'Grammar Talk' pages for each unit and completing the exercises on those pages. Students must also complete homework assignments as instructed by their teacher, such as the written assignments suggested in the textbook as well as other relevant assignments.

授業実施方法 (面接授業・遠隔授業)

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

Outside-class Assignments - 20% *Talk to your instructor about what is required.
 Proactive In-class Participation - 20%
 Examination - 60%

成績評価基準

Students' abilities to participate in conversations and express opinions on a variety of subjects will be evaluated as well as their abilities to express opinions in written form and to comprehend reading passages.

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

Stempleski, Susan. Stretch 2. Oxford University Press. 2014. ISBN 978-0-19-460313-3
 TEXT加藤 『TOEIC L&R TEST 出る単特急 金のフレーズ』 朝日新聞出版 2017年

その他(受講上の注意)

Students are encouraged to take the TOEIC during their studies at the university.

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

海外語学研修 (Language Study Abroad)			担当教員	M ハウカ	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
HS-2242	4単位	2年～4年	演習	選択	
<科目区分> 人間学部学部共通科目 外国語科目					
求める学習成果(教育目標)					
大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実地的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input checked="" type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input checked="" type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input checked="" type="checkbox"/> 計画実行能力 <input checked="" type="checkbox"/> 選択能力 <input type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
<p>現地ではホームステイ・クラブ活動も行う。事前授業10回(後期)および事後授業5回(次年度前期)も合わせて受講し、以後の学修・研究のための動機付けを得ることを目指す。</p>	
授 業 の 到 達 目 標	
<p>集中的な英語研修と生活体験を通し、総合的な英語力(読む力・聞く力・話す力・書く力)を向上させることを目的とする。</p>	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授業の計画及び授業外の学習方法	
<p>事前学習(60時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体説明会(目的、日程、研修内容、宿泊、準備物[パスポート、航空券、クレジットカードなど]) ・ビザの申請 ・ホストファミリーへの紹介文 ・研修地に関する事前学習 ・場面別英会話の学習 ・プレゼンテーションの準備・練習 ・ブレスメントテスト ・経験者の話・質疑応答 ・最終確認 <p><集中講義(夏期休暇中)></p> <p>留学(80時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語の授業(リスニング、スピーキング、リーディング、ライティング、文法、語彙など) ・学外体験 ・文化施設見学 ・ホストファミリーとの交流(ホームステイ) ・体験ツアー ・歴史、文化授業参加、ディスカッション ・他の大学生との交流 <p>事後学習(60時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修のふりかえり・レポート ・プレゼンテーション準備 ・体験報告会 	
授業実施方法(面接授業・遠隔授業)	
<p>原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。</p>	

成績評価方法
事前授業への取り組み (30%)、現地評価 (50%)、事後授業の取り組み (20%) を総合評価する。
成績評価基準
学外における自主的な活動や体験をとおして、通常の講義や演習で得られない視点や考察点を体得できたか。 学修・研究のための動機付けを得て、優れた社会人となるための自己認識を深めることができたか。 ※現地校から発行される成績表も評価に含まれる。
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック
1) 授業時の課題に対するフィードバックについて <input type="checkbox"/> 授業時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/> 授業時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 3) 小レポートに対するフィードバックについて <input type="checkbox"/> 授業時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて <input type="checkbox"/> 定期試験時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 5) その他 <input type="checkbox"/> 授業時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他
実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)
テキスト、参考図書
現地校より指示がある。
その他(受講上の注意)
本科目の履修登録については、担当教員が行うガイダンスおよび本プログラム参加をもって履修登録とするため、通常の受講登録手続きを要しない。
オフィスアワー
UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

情報活用 a (Information Utilization a)			担当教員	竹村 順吾	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
HS-2152	2単位	2年前期	演習	選択	
<科目区分> 人間学部学部共通科目 情報科目					
求める学習成果(教育目標)					
大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実地的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
実習によってWordの機能と操作を理解し、大学生活やビジネス場面において有効に活用できる能力を獲得することを旨とする。	
授 業 の 到 達 目 標	
Wordの操作に習熟し、社会で求められる文書作成や情報活用の能力を獲得する。技能の取得基準としてはMicrosoft Office Specialist試験(MOS)に合格できるレベルを目標とする。	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input checked="" type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授業の計画及び授業外の学習方法	
テキストに従って実習を進めるほか、eラーニングにて資料を配付する。	
第1回：授業概説、MOS試験について、Wordの基礎知識 事前学習：Wordについて予習(2時間) 事後学習：パソコン環境を整える、課題提出(2時間)	
第2回：第1章 文書の管理 事前学習：第1章を読んで予習(2時間) 事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出(2時間)	
第3回：第2章 文字、段落、セクションの挿入と書式設定 事前学習：第2章を読んで予習(2時間) 事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出(2時間)	
第4回：第3章 表やリストの管理 事前学習：第3章を読んで予習(2時間) 事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出(2時間)	
第5回：第4章 参考資料の作成と管理 事前学習：第4章を読んで予習(2時間) 事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出(2時間)	
第6回：第5章 グラフィック要素の挿入と書式設定 事前学習：第5章を読んで予習(2時間) 事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出(2時間)	
第7回：第6章 文書の共同作業の管理 事前学習：第6章を読んで予習(2時間) 事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出(2時間)	
第8回：レポートの書き方(1) 事前学習：第1章～第6章の内容を復習(2時間) 事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出(2時間)	
第9回：模擬テスト1 事前学習：模擬テスト問題1を試行する(2時間) 事後学習：模擬テスト問題1を実行して復習、課題提出(2時間)	

第10回：模擬テスト2 事前学習：模擬テスト問題2を試行する（2時間） 事後学習：模擬テスト問題2を実行して復習、課題提出（2時間） 第11回：模擬テスト3 事前学習：模擬テスト問題3を試行する（2時間） 事後学習：模擬テスト問題3を実行して復習、課題提出（2時間） 第12回：模擬テスト4 事前学習：模擬テスト問題4を試行する（2時間） 事後学習：模擬テスト問題4を実行して復習、課題提出（2時間） 第13回：模擬テスト5 事前学習：模擬テスト問題5を試行する（2時間） 事後学習：模擬テスト問題5を実行して復習、課題提出（2時間） 第14回：実力判定テスト 事前学習：実力判定テスト問題を試行する（2時間） 事後学習：実力判定テスト問題を試行して復習、課題提出（2時間） 第15回：レポートの書き方（2） 事前学習：第8回の内容を復習、提出済のレポート課題を見直す（2時間） 事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出（2時間） 第16回：定期試験
授業実施方法（面接授業・遠隔授業）
原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。
成績評価方法
定期試験（60%） 課題（20%） 平常点（20%） （平常点は、授業への参加状況・受講態度等）
成績評価基準
実習と課題を充分に行い、MOSに合格できるレベルの技術を獲得できたかどうか。期末に学内で実施されるMOS試験を受験した場合、その結果を定期試験の代替とできる。
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック
1) 授業時の課題に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/> 授業時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/> 授業時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 3) 小レポートに対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/> 授業時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて <input type="checkbox"/> 定期試験時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 5) その他 <input type="checkbox"/> 授業時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他
実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
テキスト、参考図書
『MOS攻略問題集Word 365&2019』 日経BP 2020年
その他（受講上の注意）
テキスト必携必須
オフィスアワー
UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

情報活用 b (Information Utilization b)			担当教員	竹村 順吾	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
HS-2153	2 単位	2 年後期	演習	選択	
<科目区分> 人間学部学部共通科目 情報科目					
求める学習成果(教育目標)					
大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実地的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
実習によってExcelの機能と操作を理解し、大学生活やビジネス場面において有効に活用できる能力を獲得することを旨とする。	
授 業 の 到 達 目 標	
Excelの操作に習熟し、社会で求められる文書作成や情報活用の能力を獲得する。技能の取得基準としてはMicrosoft Office Specialist試験 (MOS) に合格できるレベルを目標とする。	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習 (PBL) <input type="checkbox"/> 討議 (ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク (Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション (Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input checked="" type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授業の計画及び授業外の学習方法	
テキストに従って実習を進めるほか、eラーニングにて資料を配付する。	
第1回：授業概説、MOS試験について、Excelの基礎知識 事前学習：Excelについて予習（2時間） 事後学習：パソコン環境を整える、課題提出（2時間） 第2回：第1章 ワークシートやブックの管理（1） 事前学習：第1章の前半を読んで予習（2時間） 事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出（2時間） 第3回：第1章 ワークシートやブックの管理（2） 事前学習：第1章の後半を読んで予習（2時間） 事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出（2時間） 第4回：第2章 セルやセル範囲のデータの管理 事前学習：第2章を読んで予習（2時間） 事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出（2時間） 第5回：第3章 テーブルとテーブルのデータ管理 事前学習：第3章を読んで予習（2時間） 事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出（2時間） 第6回：第4章 数式や関数を使用した演算の実行 事前学習：第4章を読んで予習（2時間） 事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出（2時間） 第7回：第5章 グラフの管理 事前学習：第5章を読んで予習（2時間） 事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出（2時間） 第8回：データサイエンス 事前学習：第1章～第5章を復習（2時間） 事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出（2時間） 第9回：模擬テスト1 事前学習：模擬テスト問題1を試行する（2時間） 事後学習：模擬テスト問題1を実行して復習、課題提出（2時間）	

第10回：模擬テスト2 事前学習：模擬テスト問題2を試行する（2時間） 事後学習：模擬テスト問題2を実行して復習、課題提出（2時間） 第11回：模擬テスト3 事前学習：模擬テスト問題3を試行する（2時間） 事後学習：模擬テスト問題3を実行して復習、課題提出（2時間） 第12回：模擬テスト4 事前学習：模擬テスト問題4を試行する（2時間） 事後学習：模擬テスト問題4を実行して復習、課題提出（2時間） 第13回：模擬テスト5 事前学習：模擬テスト問題5を試行する（2時間） 事後学習：模擬テスト問題5を実行して復習、課題提出（2時間） 第14回：実力判定テスト 事前学習：実力判定テスト問題を試行する（2時間） 事後学習：実力判定テスト問題を試行して復習、課題提出（2時間） 第15回：Excelを効率良く操作するテクニック 事前学習：前回までの配布資料の内容を復習（2時間） 事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出（2時間） 第16回：定期試験
授業実施方法（面接授業・遠隔授業）
原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。
成績評価方法
定期試験（60%） 提出課題（20%） 平常点（20%） （平常点は、授業への参加状況・受講態度等）
成績評価基準
実習と課題を充分に行い、MOSに合格できるレベルの技術を獲得できたかどうか。期末に学内で実施されるMOS試験に合格した場合、定期試験も合格と同等以上の扱いとする。
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック
1) 授業時の課題に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/> 授業時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/> 授業時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 3) 小レポートに対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/> 授業時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて <input type="checkbox"/> 定期試験時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 5) その他 <input type="checkbox"/> 授業時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他
実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
-
テキスト、参考図書
『MOS攻略問題集 Excel 365&2019』 日経BP 2020年
その他（受講上の注意）
テキスト必携必須
オフィスアワー
UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

情報処理演習 a (Information Processing Practicum a)			担当教員	竹村 順吾	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
HS-2250	2単位	2年前期	演習	選択	
<科目区分> 人間学部学部共通科目 情報科目					
求める学習成果(教育目標)					
大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実地的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input checked="" type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
情報技術の基礎とその社会における利用について学び、情報技術を有効に活用するための知識と態度を習得する。	
授 業 の 到 達 目 標	
<p>一般企業などにおける情報システムの利用者側としての必要な知識技能を主に習得し、業務の情報化を推進できる幅広い活用能力の獲得を目指す。</p> <p>本授業では、情報処理技術者試験の一つである「ITパスポート試験(iパス)」に合格できるレベルの知識と技能を獲得することを目標とする。</p> <p>参考 IT パスポート試験シラバス https://www.3jitec.ipa.go.jp/JitesCbt/html/about/range.html</p>	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授業の計画及び授業外の学習方法	
<p>第1回：概説、第1章 企業と法務(1) 事前学習：「試験の概要」「1-1-1」「1-1-2」を読み予習する(2時間) 事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出(2時間)</p> <p>第2回：第1章 企業と法務(2) 事前学習：「1-1-3」を読み予習する(2時間) 事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出(2時間)</p> <p>第3回：第1章 企業と法務(3) 事前学習：「1-2」を読み予習する(2時間) 事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出(2時間)</p> <p>第4回：第2章 経営戦略 事前学習：「2-1」～「2-3」を読み予習する(2時間) 事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出(2時間)</p> <p>第5回：第3章 システム戦略 事前学習：「3-1」～「3-2」を読み予習する(2時間) 事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出(2時間)</p> <p>第6回：第4章 開発技術 事前学習：「4-1」～「4-2」を読み予習する(2時間) 事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出(2時間)</p> <p>第7回：第5章 プロジェクトマネジメント、第6章 サービスマネジメント 事前学習：「5-1」～「6-2」を読み予習する(2時間) 事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出(2時間)</p> <p>第8回：第7章 基礎理論(1) 事前学習：「7-1」を読み予習する(2時間) 事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出(2時間)</p> <p>第9回：第7章 基礎理論(2) 事前学習：「7-2」を読み予習する(2時間) 事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出(2時間)</p>	

<p>第10回：第8章 コンピュータシステム 事前学習：「8-1」～「8-4」を読み予習する（2時間） 事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出（2時間）</p> <p>第11回：第9章 技術要素（1） 事前学習：「9-1」～「9-3」を読み予習する（2時間） 事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出（2時間）</p> <p>第12回：第9章 技術要素（2） 事前学習：「9-4」を読み予習する（2時間） 事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出（2時間）</p> <p>第13回：第9章 技術要素（3） 事前学習：「9-5-1」～「9-5-3-4」を読み予習する（2時間） 事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出（2時間）</p> <p>第14回：第9章 技術要素（4） 事前学習：「9-5-3-5」～「9-5-3-6」を読み予習する（2時間） 事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出（2時間）</p> <p>第15回：第10章 表計算、CBT試験対策 事前学習：「10-1」～「10-3」「CBT試験対策」を読み予習する（2時間） 事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出（2時間）</p> <p>第16回：定期試験</p>
授業実施方法（面接授業・遠隔授業）
原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。
成績評価方法
定期試験（80%） 演習課題（10%） 平常点（10%） （平常点は、授業への参加状況・受講態度等）
成績評価基準
ITパスポート試験に合格できるレベルの知識と技能を獲得できたか。
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック
<p>1) 授業時の課題に対するフィードバックについて <input type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて <input type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>3) 小レポートに対するフィードバックについて <input type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて <input type="checkbox"/>定期試験時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>5) その他 <input type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p>
実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
<p>・経歴 （インターネット関連企業勤務）</p> <p>・実務経験と授業内容との関連性 （IT関連企業でマーケティングや開発経験を有する教員が、社会におけるIT技術の役割を実例豊富に紹介し、企業で求められる実践的リテラシーとスキルを解説する。）</p>
テキスト、参考図書
<p>テキスト 『よくわかるマスター 令和6-7年度版ITパスポート試験 対策テキスト&過去問題集』 FOM出版 2024年 参考図書 『令和06年 イメージ&クレーバー方式でよくわかる かやのき先生のITパスポート教室』 技術評論社 2023年 『【令和6年度】いちばんやさしいITパスポート 絶対合格の教科書+出る順問題集』 SBクリエイティブ 2023年</p>
その他（受講上の注意）
テキスト必携必須
オフィスアワー
UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

情報処理演習 b (Information Processing Practicum b)			担当教員	竹村 順吾	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
HS-2251	2 単位	2 年後期	演習	選択	
<科目区分> 人間学部学部共通科目 情報科目					
求める学習成果(教育目標)					
大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実地的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input checked="" type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
情報技術の基礎とその社会における利用について学び、情報技術を有効に活用するための知識と態度を習得します。	
授 業 の 到 達 目 標	
<p>一般企業などにおける情報システムの利用者側としての必要な知識技能を主に習得し、業務の情報化を推進できる幅広い活用能力の獲得を目指す。</p> <p>本授業では、情報処理技術者試験の一つである「ITパスポート試験(iパス)」に合格できるレベルの知識と技能を獲得することを目標とする。</p> <p>参考 IT パスポート試験シラバス https://www.3jitec.ipa.go.jp/JitesCbt/html/about/range.html</p>	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法	
<p>テキストを順次進めるほか、前回課題の解説を行う。</p> <p>第1回：授業概説、第1章 ストラテジ系・企業と法務(1) 事前学習：Lesson01～7を読み、予習する(2時間)</p> <p>第2回：第1章 ストラテジ系・企業と法務(2) 事前学習：Lesson08～15を読み、予習する(2時間)</p> <p>第3回：第2章 ストラテジ系・経営戦略(1)、課題解説 事前学習：Lesson16～23を読み、予習する(2時間)</p> <p>第4回：第2章 ストラテジ系・経営戦略(2)、課題解説 事前学習：Lesson24～31を読み、予習する(2時間)</p> <p>第5回：第3章 ストラテジ系・システム戦略 事前学習：Lesson32～39を読み、予習する(2時間)</p> <p>第6回：第4章 マネジメント系・開発技術 事前学習：Lesson40～47を読み、予習する(2時間)</p> <p>第7回：第5章 マネジメント系・プロジェクトマネジメント 事前学習：Lesson48～55を読み、予習する(2時間)</p> <p>第8回：第6章 マネジメント系・サービスマネジメント 事前学習：Lesson56～62を読み、予習する(2時間)</p> <p>第9回：第7章 テクノロジ系・基礎理論 事前学習：Lesson63～69を読み、予習する(2時間)</p> <p>第10回：第8章 テクノロジ系・コンピュータシステム(1) 事前学習：Lesson70～76を読み、予習する(2時間)</p> <p>第11回：第8章 テクノロジ系・コンピュータシステム(2) 事前学習：Lesson77～83を読み、予習する(2時間)</p> <p>第12回：第9章 テクノロジ系・技術要素(1) 事前学習：Lesson84～91を読み、予習する(2時間)</p>	

<p>第13回：第9章 テクノロジ系・技術要素（2） 事前学習：Lesson92～100を読み、予習する（2時間）</p> <p>第14回：第9章 テクノロジ系・技術要素（3） 事前学習：Lesson101～107を読み、予習する（2時間）</p> <p>第15回：第9章 テクノロジ系・技術要素（4） 事前学習：Lesson108～116を読み、予習する（2時間）</p> <p>第16回：定期試験</p>
授業実施方法（面接授業・遠隔授業）
<p>原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。</p>
成績評価方法
<p>定期試験（70%） 演習課題（20%） 平常点（10%） （平常点は、授業への参加状況・受講態度等）</p>
成績評価基準
<p>ITパスポート試験に合格できるレベルの知識と技能を獲得できたか。</p>
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック
<p>1) 授業時の課題に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>3) 小レポートに対するフィードバックについて <input type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて <input type="checkbox"/>定期試験時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>5) その他 <input type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p>
実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
<p>・経歴 （インターネット関連企業勤務）</p> <p>・実務経験と授業内容との関連性 （IT関連企業でマーケティングや開発経験を有する教員が、社会におけるIT技術の役割を実例豊富に紹介し、企業で求められる実践的リテラシーとスキルを解説する。）</p>
テキスト、参考図書
<p>テキスト 『令和06-07年 ITパスポート 試験によくでる問題集』 技術評論社 2024年</p> <p>参考図書 『よくわかるマスター 令和6-7年度版ITパスポート試験 対策テキスト&過去問題集』 FOM出版 2024年</p>
その他（受講上の注意）
<p>テキスト必携必須（第1回目より必要） 前期の「情報処理演習a」を受講している者を前提としている。</p>
オフィスアワー
<p>UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。</p>

キャリア・デザインⅡ (Career Design Ⅱ)			担当教員	升田 法継	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
HS-2260	2単位	2年後期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部学部共通科目 修学基礎・キャリア形成科目					
求める学習成果(教育目標)					
大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実地的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
■自他の理解能力		■コミュニケーション能力		■情報収集・探索能力	
■役割把握・認識能力		□計画実行能力		□選択能力	
				■社会・職業理解能力	
				□課題解決能力	

授 業 の 内 容	
社会の中での役割を主体的に果たしながら、「自分らしい生き方」を実現するための力を育むことを目的とし、学生の自立および学生が自身の様々な可能性を発見・再確認できる機会の提供を通じて、今後の大学生活の目標を設定する。	
授 業 の 到 達 目 標	
<ul style="list-style-type: none"> ・「はたらく」ことの意味・意義について、十分に考えることができる。 ・「はたらく」ことと大学生活での「学び」を関連づけて考えることができる。 	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授業の計画及び授業外の学習方法	
第1回：キャリア・デザインとは 事前学習：初回の授業ではキャリア・デザインの意味・意義について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：授業で課されたライフストーリーについて、レポートにまとめておくこと。(2時間)	
第2回：ライフストーリーⅠ 事前学習：ゲストスピーカーのライフストーリーについて考えるため、自分なりに調べておくこと。(2時間) 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)	
第3回：ライフストーリーⅡ 事前学習：ゲストスピーカーのライフストーリーについて考えるため、自分なりに調べておくこと。(2時間) 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)	
第4回：ライフストーリーⅢ 事前学習：ゲストスピーカーのライフストーリーについて考えるため、自分なりに調べておくこと。(2時間) 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)	
第5回：ライフストーリーⅣ(グループワーク・発表) 事前学習：各自調査したライフストーリーについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)	
第6回：「はたらく」とは 事前学習：「はたらく」ことの意味・意義について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)	

第7回：職業理解Ⅰ

事前学習：金融業界について考えるため、自分なりに調べておくこと。(2時間)

事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)

※金融業界は予定です(変更する場合があります)。

第8回：職業理解Ⅱ

事前学習：マスコミ業界について考えるため、自分なりに調べておくこと。(2時間)

事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)

※マスコミ業界は予定です(変更する場合があります)。

第9回：職業理解Ⅲ

事前学習：流通・小売業界について考えるため、自分なりに調べておくこと。(2時間)

事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)

※流通・小売業界は予定です(変更する場合があります)。

第10回：ライフ・デザイン

事前学習：ライフ・デザインについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2時間)

事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)

第11回：豊かさについて考える

事前学習：豊かさについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2時間)

事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)

第12回：インターンシップ

事前学習：インターンシップの心がまえについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2時間)

事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)

第13回：就職活動Ⅰ

事前学習：就職活動の心がまえについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2時間)

事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)

第14回：就職活動Ⅱ

事前学習：就職活動の心がまえについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2時間)

事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)

第15回：まとめ

事前学習：「はたらく」ことと大学生活での「学び」について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2時間)

事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)

授業実施方法(面接授業・遠隔授業)

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

課題に対する活動内容・提出物・レポート(70%)、平常点(30%)

※平常点：授業への参加状況・受講態度等を総合して判断するもの

成績評価基準

- ・「はたらく」ことの意味・意義について、十分に考えることができるか。
- ・「はたらく」ことと大学生活での「学び」を関連づけて考えることができるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他(リアクションペーパーに対するフィードバックについて)
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

企業(業種:情報通信、社員数:約26万人)の管理職(主な担当業務:人事、社長・取締役秘書、マーケティング、新規ビジネス開発、システムコンサルタント等)経験のある教員が、社会の中での役割を主体的に果たしながら「自分らしい生き方」を実現するための力を育むことを目的とし、学生の自立および学生が自身の様々な可能性を発見・再確認できるような機会を提供する。

テキスト、参考図書

必用に応じて、授業中に提示します。

その他(受講上の注意)

「授業の計画」は、進捗や学生の反応・理解度に応じて、変更する場合があります。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

フィールドワーク演習(ボランティア) (Fieldwork Practice - Volunteer)			担当教員	水田 敏郎、小川 慶	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
HS-2163	2単位	1年～4年	演習	選択	
<科目区分> 人間学部学部共通科目 修学基礎・キャリア形成科目					
求める学習成果(教育目標)					
大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実地的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
■自他の理解能力		■コミュニケーション能力		■情報収集・探索能力	
■役割把握・認識能力		■計画実行能力		□社会・職業理解能力	
		□選択能力		■課題解決能力	

授 業 の 内 容	
<p>本プログラムには、学内外でのボランティア活動体験、社会的イベント・コンペティションなどへの参画体験が含まれる。教室や研究室で学習や研究をするのではなく、実際に社会での直接的体験を通して、優れた社会人となるための自己認識、自己啓発の機会とすることを目的とする。担当教員や活動支援団体による説明会への参加をもとに受講の意思を明らかにし、プログラムへ参加する。</p> <p>なお、本科目は国連が定める「持続可能な開発目標 (SDGs)」に向けて地域の社会的課題に取り組むSDGs関連科目である。</p>	
授 業 の 到 達 目 標	
<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれが今後学ぶ、または学んでいることの社会的意義を見いだすことができる。 ・学生間はもとより、地域社会で仕事や生活をしている社会人とのコミュニケーションが、円滑に行える。 	
アクティブ・ラーニング	
<p>■課題解決型学習 (PBL) □討議 (ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) □グループワーク (Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) □発表・プレゼンテーション (Teams、Zoom等) ■実習、フィールドワーク □実験、実技 □その他</p>	
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法	
<p>地域社会からのニーズを元にプログラムを立てるため、その解決すべき課題を元に授業計画を設定する。</p> <p>1. 事前ガイダンスの実施と計画の提示 (2時間) 2. 現地にて研修 (26時間以上) 3. 事後報告として、レポート・プレゼンテーション等の実施、課題に関連する情報の収集 (2時間)</p> <p>・事前学習 (30時間) …受け入れ担当者から指示された課題やタスクへの取り組み。レポート・プレゼンテーションの準備など。 ・事後学習 (30時間) …研修記録の執筆、受け入れ担当者から指示された課題やタスクへの取り組みなど。</p>	
授 業 実 施 方 法 (面 接 授 業 ・ 遠 隔 授 業)	
<p>原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。</p>	
成 績 評 価 方 法	
<p>活動や取り組みの状況 (50%)、レポートまたはプレゼンテーション (50%)</p>	
成 績 評 価 基 準	
<p>課題について、的確な視点を持ち、その解決に向けて自身の考察による提案ができるか。</p>	

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

使用しない。

その他(受講上の注意)

本科目の履修登録については、それぞれの担当教員がガイダンスなどを実施し、各プログラムの参加者をもって受講者とするため、通常の受講登録手続きを要しない。

※個人参加のボランティア活動体験、社会的イベント・コンペティションなどへの参画体験等も対象とする場合があるので、受講希望者は、事前に科目担当者へ問い合わせること。

※単位認定については、参加するボランティア活動体験、社会的イベント・コンペティションのプログラム終了後、担当教員より課される課題等を全て提出し、単位認定するにあたり適当であると認めた場合のみとする。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

フィールドワーク演習(国際交流) (Fieldwork Practice - International Exchange)			担当教員	M ハウカ	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
HS-2164	2単位	1年～4年	演習	選択	
<科目区分> 人間学部学部共通科目 修学基礎・キャリア形成科目					
求める学習成果(教育目標)					
大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実地的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
■自他の理解能力		■コミュニケーション能力		■情報収集・探索能力	
□役割把握・認識能力		■計画実行能力		□選択能力	
				■社会・職業理解能力	
				□課題解決能力	

授 業 の 内 容	
<p>原則としてアメリカ・カリフォルニア州立大学フラトン校(本学姉妹校)での集中講義(2週間)の形式で実施するが、英語教育センターで承認を受けた場合は個人留学による語学研修でも履修可能である。フラトン校での集中講義では、授業あるいはワークショップの参加・見学、キャンパス内外での視察、クラブ活動参加、観光等を通じて国際交流を体験し、以後の学修・研究のための動機付けを得ることを目指す。前期に事前授業10回・後期に事後授業5回を実施する。</p>	
授 業 の 到 達 目 標	
<ul style="list-style-type: none"> ・学外における自主的な活動や体験を通して、通常の講義や演習で得られない視点や考察点を体得する。 ・「仁愛大学海外短期研修プログラム(2週間)」への参画体験演習を通して、以後の学修・研究のための動機付けを得る。 ・異文化理解を深める。 	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input checked="" type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法	
<p>事前学習(30時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体説明会(目的、日程、研修内容、宿泊、準備物[パスポート、航空券、クレジットカードなど]) ・ビザの申請 ・ホストファミリーへの紹介文 ・研修地に関する事前学習 ・場面別英会話の学習 ・プレゼンテーションの準備・練習 ・ブレスメントテスト ・経験者の話・質疑応答 ・最終確認 <p><集中講義(夏期休暇中)></p> <p>留学(40時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語の授業(リスニング、スピーキング、リーディング、ライティング、文法、語彙など) ・日本語の指導 ・文化施設見学 ・ホストファミリーとの交流(ホームステイ) ・体験ツアー ・歴史、文化授業参加、ディスカッション ・他の大学生との交流 <p>事後学習(30時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修のふりかえり・レポート ・プレゼンテーション準備 ・体験報告会 	

授業実施方法(面接授業・遠隔授業)
原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。
成績評価方法
事前授業の取り組み(30%)、現地評価(50%)、事後授業の取り組み、およびレポート課題(20%)を総合評価する。
成績評価基準
学外における自主的な活動や体験をとおして、通常の講義や演習で得られない視点や考察点を体得できたか。学修・研究のための動機付けを得て、優れた社会人となるための自己認識を深めることができたか。
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック
1) 授業時の課題に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/> 授業時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/> 授業時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 3) 小レポートに対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/> 授業時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて <input type="checkbox"/> 定期試験時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 5) その他 <input type="checkbox"/> 授業時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他
実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)
テキスト、参考図書
特になし
その他(受講上の注意)
受講生が少ない場合、非開講とすることがある。本科目の履修登録については、担当教員等が行うガイダンスおよび本プログラム参加をもって履修登録とするため、通常履修登録手続きを要しない。 【フラトン校での集中講義以外の履修について】 履修要件：英語教育センターで(1)～(4)を行うこと (1) 留学相談(留学先・方法など決定) (2) 審査(本科目としての適切性) (3) 事前指導(提出書類準備・渡航準備) (4) 事後指導(必要な課題提出・発表・単位認定審査) 研修期間：夏期休暇期間または春期休暇期間 単位認定時期：夏期休暇期間の場合は当該年度後期、春期休暇期間の場合は翌年度前期 ※卒業年次生は、夏期休暇中の実施のみ
オフィスアワー
UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

心理学実験 (Psychological Experiments)			担当教員	山本 雅代、森本 文人、山岸 厚仁、 青井 利哉、田中 千晶
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分
PS-F-2205	2単位	2年前期	演習	選択
<科目区分> 人間学部心理学科専門科目 基幹科目 心理学基礎				
求める学習成果(教育目標)				
心理学の研究方法と基礎的な知識・技能・技術				
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)				
<input checked="" type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input checked="" type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input checked="" type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題解決能力				

授 業 の 内 容	
<p>心理学が科学であることを理解し、心理的問題をどのように研究していくのか、心理学研究の実験的実証的技法における基本的な方法について学ぶ。</p> <p>受講者はグループごとに、ミューラリヤー錯視、鏡映描写、認知的葛藤、反応時間、触2点閾の測定、系列位置効果などの様々な実験にあたる。(数名のグループに分かれ、順次全6課題の実験を体験する)。また、実験者と被験者の両方の役割を体験する。</p> <p>上記テーマについて先行研究などの情報収集を行い、各自で研究目的に従いデータを取り、収集したデータや情報の整理、分析、考察する方法を学ぶ。また、実験ごとにレポートを提出する。これにより卒業論文を書く上で重要な科学論文の形式を習得することを目指す。</p>	
授 業 の 到 達 目 標	
<p>1) 心理学における実験方法や実証方法を習得する。</p> <p>2) 実験結果についての整理、分析や考察ができるようになる。</p> <p>3) 科学論文の執筆ができるようになる。</p>	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習 (PBL) <input type="checkbox"/> 討議 (ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク (Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション (Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input checked="" type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法	
<p>第1回：オリエンテーション 事前学習：授業前にテキストで実験についての知識を学んでおくこと。(1時間) 事後学習：授業で扱う実験内容についてテキストや関連する本を読んでおく。(1時間)</p> <p>第2回：課題1 (ミューラリヤー；山本・森本・青井・山岸・田中) ① (実験) 事前学習：授業前にテキストで「ミューラリヤー」実験の手順について確認し、関連した実験について本を読んでおくこと。(1時間) 事後学習：データの確認、実験についてまとめる。(1時間)</p> <p>第3回：課題1 (ミューラリヤー；山本・森本・青井・山岸・田中) ② (実験) 事前学習：授業前にテキストで「ミューラリヤー」実験の手順について確認し、関連した実験について本を読んでおくこと。(1時間) 事後学習：データの確認、実験についてまとめる。(1時間)</p> <p>第4回：課題1 (ミューラリヤー；山本・森本・青井・山岸・田中) ③ (実験) 事前学習：授業前にテキストで「ミューラリヤー」実験の手順について確認し、関連した実験について本を読んでおくこと。(1時間) 事後学習：データの確認、実験についてまとめる。(1時間)</p> <p>第5回：課題1 (ミューラリヤー；山本・森本・青井・山岸・田中) ④ (実験) 事前学習：授業前にテキストで「ミューラリヤー」実験の手順について確認し、関連した実験について本を読んでおくこと。(1時間) 事後学習：データの確認、実験についてまとめる。(1時間)</p> <p>第6回：課題2 (全5課題：鏡映描写(山岸)・認知的葛藤(青井)・反応時間(森本)・触2点閾の測定(田中)・系列位置効果(山本)) ① (実験・グループワーク) 事前学習：テキストや関連する本を読み、実験の手順や概念について確認しておくこと。(1時間) 事後学習：データを確認、実験についてまとめる。(1時間)</p>	

- 第7回：課題2（全5課題：鏡映描写（山岸）・認知的葛藤（青井）・反応時間（森本）・触2点閾の測定（田中）・系列位置効果（山本））②（実験・グループワーク）
事前学習：テキストや関連する本を読み、実験の手順や概念について確認しておくこと。（1時間）
事後学習：データを確認、実験についてまとめる。（1時間）
- 第8回：課題3（全5課題：鏡映描写（山岸）・認知的葛藤（青井）・反応時間（森本）・触2点閾の測定（田中）・系列位置効果（山本））①（実験・グループワーク）
事前学習：テキストや関連する本を読み、実験の手順や概念について確認しておくこと。（1時間）
事後学習：データを確認、実験についてまとめる。（1時間）
- 第9回：課題3（全5課題：鏡映描写（山岸）・認知的葛藤（青井）・反応時間（森本）・触2点閾の測定（田中）・系列位置効果（山本））②（実験・グループワーク）
事前学習：テキストや関連する本を読み、実験の手順や概念について確認しておくこと。（1時間）
事後学習：データを確認、実験についてまとめる。（1時間）
- 第10回：課題4（全5課題：鏡映描写（山岸）・認知的葛藤（青井）・反応時間（森本）・触2点閾の測定（田中）・系列位置効果（山本））①（実験・グループワーク）
事前学習：テキストや関連する本を読み、実験の手順や概念について確認しておくこと。（1時間）
事後学習：データを確認、実験についてまとめる。（1時間）
- 第11回：課題4（全5課題：鏡映描写（山岸）・認知的葛藤（青井）・反応時間（森本）・触2点閾の測定（田中）・系列位置効果（山本））②（実験・グループワーク）
事前学習：テキストや関連する本を読み、実験の手順や概念について確認しておくこと。（1時間）
事後学習：データを確認、実験についてまとめる。（1時間）
- 第12回：課題5（全5課題：鏡映描写（山岸）・認知的葛藤（青井）・反応時間（森本）・触2点閾の測定（田中）・系列位置効果（山本））①（実験・グループワーク）
事前学習：テキストや関連する本を読み、実験の手順や概念について確認しておくこと。（1時間）
事後学習：データを確認、実験についてまとめる。（1時間）
- 第13回：課題5（全5課題：鏡映描写（山岸）・認知的葛藤（青井）・反応時間（森本）・触2点閾の測定（田中）・系列位置効果（山本））②（実験・グループワーク）
事前学習：テキストや関連する本を読み、実験の手順や概念について確認しておくこと。（1時間）
事後学習：データを確認、実験についてまとめる。（1時間）
- 第14回：課題6（全5課題：鏡映描写（山岸）・認知的葛藤（青井）・反応時間（森本）・触2点閾の測定（田中）・系列位置効果（山本））①（実験・グループワーク）
事前学習：テキストや関連する本を読み、実験の手順や概念について確認しておくこと。（1時間）
事後学習：データを確認、実験についてまとめる。（1時間）
- 第15回：課題6（全5課題：鏡映描写（山岸）・認知的葛藤（青井）・反応時間（森本）・触2点閾の測定（田中）・系列位置効果（山本））②（実験・グループワーク）
事前学習：テキストや関連する本を読み、実験の手順や概念について確認しておくこと。（1時間）
事後学習：データを確認、実験についてまとめる。（1時間）
- 実験レポートが訂正、返却された場合には必ず見直し、復習すること。

授業実施方法（面接授業・遠隔授業）

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

実験終了後に提出する実験レポート、実験、授業への参加態度等を総合的に判断し評価する。
【実験レポート 80% 各実験、授業への参加態度 20%】

成績評価基準

心理学における実験方法や実証方法を習得できているか。
実験結果についての整理、分析や考察ができているか。
科学論文の執筆ができているか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

- 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)
テキスト、参考図書
<p>(1)『心理学研究のためのレポート・論文の書き方マニュアル』 瀬谷安弘・天野成昭 ナカニシヤ出版 2020年 (2)『実験とテスト=心理学の基礎(実習編)』 心理学実験市道研究会 培風館 1985年 その他、授業時プリント配布</p>
その他(受講上の注意)
<p>第1回目の授業(オリエンテーション)は必ず出席すること。受講に際しての注意事項があります。 実験ごとに課題の提出、レポート提出があります。各教員の指示に従って提出して下さい。またレポートの提出期限は必ず守ること。再提出等の指示がありますので連絡事項には注意して下さい。連絡を直接メールで行うことがありますので、自分の携帯アドレスを変更した場合には必ず大学に登録したアドレスも変更して下さい。 実験や実験の分析について分からないことが有る場合、先生に質問することは勿論ですが、ヘルプデスクを利用して下さい。</p>
オフィスアワー
<p>UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。</p>

心理測定実習 (Practice of Psychological Measurement)			担当教員	大森 慈子、森本 文人、山岸 厚仁	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
PS-F-2206	2単位	2年後期	演習	選択	
<科目区分> 人間学部心理学科専門科目 基幹科目 心理学基礎					
求める学習成果(教育目標)					
心理学の研究方法及と基礎的な知識・技能・技術					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input checked="" type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input checked="" type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input checked="" type="checkbox"/> 計画実行能力 <input checked="" type="checkbox"/> 選択能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
心の測定における実験の意義を学習すると同時に、少人数グループで基本的な心理学実験をすることによって、心と行動を測定する際の様々な問題にふれる。また、レポートの作成を繰り返すことによって、測定結果を科学的事実として報告する方法を習得する。	
授 業 の 到 達 目 標	
<input checked="" type="checkbox"/> 心理学実験の基礎的技術を身につける <input checked="" type="checkbox"/> 測定データに対する分析方法や考察のしかたを理解する <input checked="" type="checkbox"/> 心理学における科学的論文の書き方を習得する	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習 (PBL) <input type="checkbox"/> 討議 (ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク (Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション (Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input checked="" type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法	
第1回：オリエンテーション 事前学習：「心理学実験」で学習したことを見直し、質問項目をまとめておくこと。(1時間) 事後学習：レポート作成マニュアルを熟読し、「心理学実験」で返却されたレポートを書き直す(1時間)	
第2回：課題1(心的回転、または、対人距離)① 事前学習：課題1に関する事項について予習をし、質問項目をまとめておくこと。(1時間) 事後学習：課題1レポートの「第1章 序論」を書く。(1時間)	
第3回：課題1(心的回転、または、対人距離)② 事前学習：課題1の方法を確認して実験の実施に備え、質問項目をまとめておくこと。(1時間) 事後学習：課題1レポートの「第2章 方法」を書く。(1時間)	
第4回：課題1(心的回転、または、対人距離)③ 事前学習：課題1の結果のデータを整理しておくこと。(1時間) 事後学習：課題1レポートの「第3章 結果」を書く。(1時間)	
第5回：課題1(心的回転、または、対人距離)④ 事前学習：課題1の結果から考察をし、まとめておくこと。(1時間) 事後学習：課題1レポートを仕上げる。(1時間)	
第6回：課題2(対人距離、または、心的回転)① 事前学習：課題2に関する事項について予習をし、質問項目をまとめておくこと。(1時間) 事後学習：課題2レポートの「第1章 序論」を書く。(1時間)	
第7回：課題2(対人距離、または、心的回転)② 事前学習：課題2の方法を確認して実験の実施に備え、質問項目をまとめておくこと。(1時間) 事後学習：課題2レポートの「第2章 方法」を書く。(1時間)	
第8回：課題2(対人距離、または、心的回転)③ 事前学習：課題2の結果のデータを整理しておくこと。(1時間) 事後学習：課題2レポートの「第3章 結果」を書く。(1時間)	
第9回：課題2(対人距離、または、心的回転)④ 事前学習：課題2の結果から考察をし、まとめておくこと。(1時間) 事後学習：課題2レポートを仕上げる。(1時間)	

- 第10回：課題3（虚偽検出・ラットの学習・ストレス反応・短期記憶の中から1つ選択）①
事前学習：課題3に関する事項について予習をし、質問項目をまとめておくこと。（1時間）
事後学習：課題3レポートの「第1章 序論」を書く。（1時間）
- 第11回：課題3（虚偽検出・ラットの学習・ストレス反応・短期記憶の中から1つ選択）②
事前学習：課題3の方法を確認して実験の実施に備え、質問項目をまとめておくこと。（1時間）
事後学習：課題3レポートの「第2章 方法」を書く。（1時間）
- 第12回：課題3（虚偽検出・ラットの学習・ストレス反応・短期記憶の中から1つ選択）③
事前学習：課題3の結果のデータを整理しておくこと。（1時間）
事後学習：課題3レポートの結果の図表を仕上げる。（1時間）
- 第13回：課題3（虚偽検出・ラットの学習・ストレス反応・短期記憶の中から1つ選択）④
事前学習：課題3の検定結果の解釈をし、質問項目をまとめておくこと。（1時間）
事後学習：課題3レポートの「第3章 結果」を書く。（1時間）
- 第14回：課題3（虚偽検出・ラットの学習・ストレス反応・短期記憶の中から1つ選択）⑤
事前学習：課題3の結果から考察をし、まとめておくこと。（1時間）
事後学習：課題3レポートの「第4章 考察」を書く。（1時間）
- 第15回：課題3（虚偽検出・ラットの学習・ストレス反応・短期記憶の中から1つ選択）⑥
事前学習：課題3の全体の流れを再確認し、レポートの書き方の見直しをしておく。（1時間）
事後学習：課題3レポートを仕上げる。（1時間）

＜第1回は全教員、第2～15回は4グループに分かれて、それぞれを大森・森本・山岸・伏田が担当＞
＜課題1～2は2つの課題を各4週行い、課題3は4つの中から学生が1課題を選択し6週間実施する＞
＜課題1～3は、すべて4～6人の班に分かれてグループワークとして行う実験＞

授業実施方法（面接授業・遠隔授業）

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

4課題に対するレポート（60%） 平常点（40%）
（平常点は、必要回数以上の授業への出席に対し、参加状況と態度、課題への取り組み姿勢などを総合して判断します）

成績評価基準

- 心理学実験の基礎的技術が身についているか
- 測定データに対する分析方法や考察のしかたを理解しているか
- 心理学における科学的論文の書き方を習得しているか

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書

＜参考図書＞
日本心理学会認定心理士資格認定委員会「実験・実習で学ぶ心理学の基礎」（金子書房）
心理学実験指導研究会編「実験とテスト－実習編－」（培風館）

その他（受講上の注意）

- 心理学統計法Ⅰ・Ⅱ、心理学実験の単位を修得していること
- 原則として、遅刻、欠席およびレポート提出の遅延は認めない

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

心理的アセスメント (Psychological Assessment)			担当教員	森 俊之	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
PS-F-2209	2単位	2年後期	演習	選択	
<科目区分> 人間学部心理学科専門科目 基幹科目 心理学基礎					
求める学習成果(教育目標)					
心理学の研究方法与基礎的な知識・技能・技術					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input checked="" type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力		<input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力		<input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題解決能力	

授 業 の 内 容	
心理的アセスメント(観察法、面接法、検査法)の基礎について、講義と演習を交えながら学ぶ。心理的アセスメントの目的や意義、倫理等について学んだ後、具体的な演習を交えながら、観察法、面接法、検査法について学ぶ。実習した内容については、実習結果をまとめるレポート提出が課せられ、レポートの書き方についても、学ぶ。	
授 業 の 到 達 目 標	
<ul style="list-style-type: none"> ・心理的アセスメントの目的や意義、倫理等について説明できる。 ・心理的アセスメントの主要な方法について、それぞれの方法の意義や特徴、限界等について説明できるとともに、基礎的なアセスメント方法の一部を実施できる。 ・心理的アセスメントの結果の記録や報告ができる。 ・自分自身の性格や話し方の特徴などを多角的に分析し、説明できる。 	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法	
第1回：心理的アセスメントの目的、意義、倫理 事後学習：「日常におけるアセスメント」というレポートをまとめる(4時間) 第2回：観察法の理解①(講義) 事後学習：授業で学んだ観察法のポイントをまとめる(4時間) 第3回：観察法の理解②(実習) 事後学習：授業中の作業の続きを行う(4時間) 第4回：観察法の理解③(実習) 事後学習：授業で体験した観察実習の結果をレポートにまとめる(4時間) 第5回：面接法の理解①(講義) 事後学習：授業で学んだ面接法のポイントをまとめる(4時間) 第6回：面接法の理解②(実習) 事後学習：授業中の作業の続きを行う(4時間) 第7回：面接法の理解③(実習) 事後学習：授業で体験した面接実習の結果をレポートにまとめる(4時間) 第8回：心理検査法(講義) 事後学習：心理検査の妥当性・信頼性についてレポートをまとめる(4時間) 第9回：知能検査の理解①(講義) 事後学習：授業で学んだ検査を表にまとめる(4時間) 第10回：知能検査の理解②(実習) 事後学習：授業で体験した知能検査の結果をレポートにまとめる(4時間) 第11回：質問紙人格検査の理解①(講義) 事後学習：授業で学んだ検査を表にまとめる(4時間) 第12回：質問紙人格検査の理解②(実習) 事後学習：授業で体験した心理検査の結果をレポートにまとめる(4時間) 第13回：投映法その他の心理検査の理解①(講義) 事後学習：授業で学んだ検査を表にまとめる(4時間)	

第14回：投映法その他の心理検査の理解②（実習）

事後学習：授業で体験した心理検査の結果をレポートにまとめる（4時間）

第15回：テストバッテリーと総合的理解（講義）

事後学習：授業で学んだテストバッテリーのポイントをまとめる（4時間）

第16回：期末試験

※各回（最終回を除く）とも授業の最初に、前回の授業後の事後学習の内容についての振り返りを行う。

授業実施方法（面接授業・遠隔授業）

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

授業後に課す課題をレポート（60%）として提出してもらうとともに、学期末に筆記試験（40%）を行い、両者により評価する。実習を伴うため、出席状況や受講態度が悪い場合は、厳しく減点する。

成績評価基準

- ・さまざまな心理検査の種類を理解し、それぞれの検査の効用と限界について説明できるか。
- ・課題として取り上げた心理検査について、実施手順や分析手順を理解し、一通り実施できるか。
- ・自分自身の性格について多角的に分析し、他者に説明できるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

- ・経歴
（公認心理師、臨床心理士）
- ・実務経験と授業内容との関連性
（公認心理師の教員が、心理的アセスメントの基礎について、その目的や意義、倫理などを解説する。）

テキスト、参考図書

<テキスト>とくに指定しない。
 <参考図書>津川律子・遠藤裕乃編「心理的アセスメント（公認心理師の基礎と実践14）」（遠見書房、2019年発行）。そのほか、適宜、授業内で紹介する。

その他（受講上の注意）

- ・実習を含むので、出席と熱心な受講態度を期待する。
- ・自分自身の性格等の自己開示が必要な場合がある。
- ・心理検査の学習者・実施者の倫理（授業時に説明）を守り、検査の知識を安易に使用しないこと。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

心理調査法 (Psychological Questionnaire Methods)			担当教員	竹村 明子	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
PS-F-2211	2単位	2年前期	演習	選択	
<科目区分> 人間学部心理学科専門科目 基幹科目 心理学基礎					
求める学習成果(教育目標)					
心理学の研究手法と基礎的な知識・技能・技術					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
心理学の研究手法である質問紙調査法について理解し、実際の質問紙調査を通じて、調査票の作成から統計解析ソフトでの分析方法、レポートの書き方までを修得する。	
授 業 の 到 達 目 標	
①質問紙調査法の基礎的知識を習得する ②コンピュータを利用して基本的な統計解析を行うことができる。 ③解析結果を基に、レポート(目的・方法・結果・考察)を作成できる。	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input checked="" type="checkbox"/> その他(実際に調査を実施する)	
授業の計画及び授業外の学習方法	
第1回：オリエンテーション序章(質問紙法とは) 事前学習：シラバスを読み、心理調査法の授業について理解し、質問項目をまとめておくこと(2時間) 事後学習：授業の内容を見直し、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること(2時間)	
第2回：質問紙作成の基礎1 事前学習：事前にe-ラーニング上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし、内容を読み質問項目をまとめておくこと(2時間) 事後学習：仁愛大学e-ラーニングによる復習課題を課す(2時間)	
第3回：質問紙作成の基礎2 事前学習：事前にe-ラーニング上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし、内容を読み質問項目をまとめておくこと(2時間) 事後学習：仁愛大学e-ラーニングによる復習課題を課す(2時間)	
第4回：質問紙法の実施方法 事前学習：事前にe-ラーニング上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし、内容を読み質問項目をまとめておくこと(2時間) 事後学習：仁愛大学e-ラーニングによる復習課題を課す(2時間)	
第5回：コーディングと入力 事前学習：事前にe-ラーニング上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし、内容を読み質問項目をまとめておくこと(2時間) 事後学習：仁愛大学e-ラーニングによる復習課題を課す(2時間)	
第6回：心理尺度の作成(信頼性・妥当性) 事前学習：事前にe-ラーニング上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし、内容を読み質問項目をまとめておくこと(2時間) 事後学習：仁愛大学e-ラーニングによる復習課題を課す(2時間)	
第7回：量的資料収集のための質問紙の作成 事前学習：事前にe-ラーニング上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし、内容を読み質問項目をまとめておくこと(2時間) 事後学習：仁愛大学e-ラーニングによる復習課題を課す(2時間)	

- 第8回：質的資料収集のための質問紙の作成
事前学習：事前にe-ラーニング上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし、内容を読み質問項目をまとめておくこと（2時間）
事後学習：仁愛大学e-ラーニングによる復習課題を課す（2時間）
- 第9回：心理尺度の作成（質問紙調査の実施）
事前学習：事前にe-ラーニング上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし、内容を読み質問項目をまとめておくこと（2時間）
事後学習：仁愛大学e-ラーニングによる復習課題を課す（2時間）
- 第10回：データの処理法：質的データの集計
事前学習：事前にe-ラーニング上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし、内容を読み質問項目をまとめておくこと（2時間）
事後学習：仁愛大学e-ラーニングによる復習課題を課す（2時間）
- 第11回：データの処理法：平均値の比較1
事前学習：事前にe-ラーニング上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし、内容を読み質問項目をまとめておくこと（2時間）
事後学習：仁愛大学e-ラーニングによる復習課題を課す（2時間）
- 第12回：データの処理法：平均値の比較2
事前学習：事前にe-ラーニング上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし、内容を読み質問項目をまとめておくこと（2時間）
事後学習：仁愛大学e-ラーニングによる復習課題を課す（2時間）
- 第13回：データの処理法：相関分析1
事前学習：事前にe-ラーニング上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし、内容を読み質問項目をまとめておくこと（2時間）
事後学習：仁愛大学e-ラーニングによる復習課題を課す（2時間）
- 第14回：データの処理法：相関分析2
事前学習：事前にe-ラーニング上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし、内容を読み質問項目をまとめておくこと（2時間）
事後学習：仁愛大学e-ラーニングによる復習課題を課す（2時間）
- 第15回：レポートの書き方
事前学習：事前にe-ラーニング上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし、内容を読み質問項目をまとめておくこと（2時間）
事後学習：仁愛大学e-ラーニングによる復習課題を課す（2時間）

本講義では実際に質問紙調査を行い、収集したデータを基に統計的分析やレポート（目的・方法・結果・考察）の書き方について学び、最終的にレポートの提出を求める。

授業実施方法（面接授業・遠隔授業）

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

成績は授業で課された課題の内容（50%）と、まとめの課題レポートの内容（50%）により、総合的に評価をします

成績評価基準

- ①質問紙調査法の基礎的知識を充分習得している。
- ②コンピュータを利用して基本的な統計解析を行うことができ、その解析方法が適切である。
- ③解析結果を基にレポート（目的・方法・結果・考察）を作成することができ、その内容が適切である。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他（授業内容に応じて提出を求める課題に対するフィードバックについて）
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)
テキスト、参考図書
<p>テキストは特に設けない</p> <p>参考図書：米川和雄・山崎貞政(著) 超初心者向けSPSS統計解析マニュアル 北大路書房 2010年</p> <p>参考図書：鎌原雅彦・宮下一博・大野木裕明・中澤潤(編著) 心理学マニュアル・質問紙法 北大路書房 2006年</p> <p>参考図書：小塩真司・西口利文(編)「質問紙調査の手順」ナカニシヤ出版 2014年</p>
その他(受講上の注意)
<p>授業時間以外にも、統計解析やレポート作成等の学習が必要になります。</p> <p>各自、自律的・積極的に学習することが求められます。</p>
オフィスアワー
<p>UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。</p>

臨床心理学概論 I (Introduction to Clinical Psychology I)			担当教員	稲木 康一郎	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
PS-G-2221	2単位	2年前期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部心理学科専門科目 基幹科目 心理学専門					
求める学習成果(教育目標)					
心理学の各領域における基礎的かつ一般的な知識					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input checked="" type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input checked="" type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
臨床心理学の概説。 臨床心理学のなりたちと、臨床心理学の代表的な理論について学ぶ。	
授 業 の 到 達 目 標	
臨床心理学のなりたちと代表的な理論について理解し、その概要を説明することができる。	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習 (PBL) <input type="checkbox"/> 討議 (ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク (Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション (Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (eラーニング、リアクションペーパー)	
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法	
第1回：オリエンテーション (リアクションペーパー) 事前学習：シラバスを熟読すること。(2時間) 事後学習：テキストを購入して、「巻頭言」「はじめに」を読むこと。(2時間)	
第2回：臨床心理学の歴史 (日本) 事前学習：テキスト第1章を読むこと。(2時間) 事後学習：eラーニングを閲覧すること。(2時間)	
第3回：臨床心理学の歴史 (世界) 事前学習：テキスト第2章を読むこと。(2時間) 事後学習：eラーニングを閲覧すること。(2時間)	
第4回：臨床心理学の定義 (グループワーク) 事前学習：テキスト第3章を読むこと。(2時間) 事後学習：What is Clinical Psychology? (テキストP.33) を翻訳すること。 また、復習テストの準備をすること。(2時間)	
第5回：臨床心理学の理論① (精神分析1) (復習テスト①) 事前学習：テキスト第4章を読むこと。(2時間) 事後学習：eラーニングを閲覧すること。(2時間)	
第6回：臨床心理学の理論② (精神分析2) (復習テスト①のフィードバック) 事前学習：テキスト第4章を読むこと。(2時間) 事後学習：eラーニングを閲覧すること。(2時間)	
第7回：臨床心理学の理論③ (分析心理学1) 事前学習：テキスト第5章を読むこと。(2時間) 事後学習：eラーニングを閲覧すること。(2時間)	
第8回：臨床心理学の理論④ (分析心理学2) 事前学習：テキスト第5章を読むこと。(2時間) 事後学習：eラーニングを閲覧すること。(2時間)	
第9回：臨床心理学の理論⑤ (行動論・認知論1) 事前学習：テキスト第6章を読むこと。(2時間) 事後学習：eラーニングを閲覧すること。(2時間)	

- 第10回：臨床心理学の理論⑥（行動論・認知論2）
事前学習：テキスト第6章を読むこと。また、復習テストの準備をすること。（2時間）
事後学習：eラーニングを閲覧すること。（2時間）
- 第11回：臨床心理学の理論⑦（人間性心理学1）（復習テスト②）
事前学習：テキスト第7章を読むこと。（2時間）
事後学習：eラーニングを閲覧すること。（2時間）
- 第12回：臨床心理学の理論⑧（人間性心理学2）（復習テスト②のフィードバック）
事前学習：テキスト第7章を読むこと。（2時間）
事後学習：eラーニングを閲覧すること。（2時間）
- 第13回：臨床心理学の理論⑨（コミュニティ・アプローチ）
事前学習：テキスト第12章を読むこと。（2時間）
事後学習：eラーニングを閲覧すること。（2時間）
- 第14回：臨床心理学の理論⑩（統合的アプローチ）
事前学習：テキスト第10章を読むこと。（2時間）
事後学習：eラーニングを閲覧すること。（2時間）
- 第15回：「臨床心理学」の各領域に関するまとめと定期試験対策
事前学習：eラーニングを活用して、職能団体のHPを閲覧すること。（2時間）
事後学習：eラーニングを活用して、職能団体のHPを閲覧すること。（2時間）
- 第16回：定期試験

授業実施方法（面接授業・遠隔授業）

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

定期試験（60%）、復習テスト（20%）、平常点（20%）
定期試験は指定持込用紙の持込を可とします。
復習テスト（授業時の課題に相当します）の内容は授業中に指示します。
平常点は受講態度（eラーニングの閲覧状況を含む）やリアクション・ペーパーの提出状況などで総合的に判断します。

成績評価基準

臨床心理学のなりたちと代表的な理論に関して、重要な用語や概念を理解し説明することができる。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

- ・経歴
（公認心理師、臨床心理士）
- ・実務経験と授業内容との関連性
（公認心理師の教員が、心理臨床現場において基礎となる臨床心理学のなりたちと代表的な理論について講義する。）

テキスト、参考図書

「臨床心理学概論 第2版」 野島一彦・岡村達也（編） 遠見書房 2,400円＋税 ISBN：978-4-86616-167-9

その他（受講上の注意）

eラーニングを活用します。
eラーニングに投稿があったとき、携帯電話に情報が転送されるように設定してください。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

臨床心理学概論Ⅱ (Introduction to Clinical Psychology Ⅱ)			担当教員	稲木 康一郎	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
PS-G-2222	2単位	2年後期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部心理学科専門科目 基幹科目 心理学専門					
求める学習成果(教育目標)					
心理学の各領域における基礎的かつ一般的な知識					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input checked="" type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input checked="" type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
各領域における心理療法(心理学的支援法)の心理学的臨床実践事例を学習する。 また、臨床実践における留意点を理解する。	
授 業 の 到 達 目 標	
代表的な心理療法の歴史、概念、意義、適応を概説できる。 地域支援の意義、良好な人間関係の築き方、プライバシーへの配慮、要支援者の関係者に対する支援、心の健康教育について概説できる。	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input checked="" type="checkbox"/> その他(eラーニング、リアクションペーパー)	
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法	
第1回：オリエンテーション・復習テスト①(リアクションペーパー) 事前学習：「臨床心理学Ⅰ(「臨床心理学概論Ⅰ)」の内容を復習すること。(2時間) 事後学習：同上。(2時間) 第2回：精神分析療法(代表的な心理療法の歴史、概念、意義、適応および限界) (eラーニング・復習テスト①のフィードバック) 事前学習：eラーニングを閲覧すること。(2時間) 事後学習：講義に取り上げたキーワードについて、要点をまとめること。(2時間) 第3回：行動療法(代表的な心理療法の歴史、概念、意義、適応および限界) 事前学習：eラーニングを閲覧すること。(2時間) 事後学習：講義に取り上げたキーワードについて、要点をまとめること。(2時間) 第4回：来談者中心療法(代表的な心理療法の歴史、概念、意義、適応および限界) 事前学習：eラーニングを閲覧すること。(2時間) 事後学習：講義に取り上げたキーワードについて、要点をまとめること。(2時間) 第5回：受理面接：ラポール・主訴・経過の聴き方(良好な人間関係を築くコミュニケーション) 援助構造・面接記録・守秘義務(プライバシーへの配慮) 事前学習：eラーニングを閲覧すること。(2時間) 事後学習：復習テスト②の準備をすること(2時間) 第6回：医療①：抑うつに対する認知行動療法・復習テスト② 事前学習：復習テスト②の準備をすること。(2時間) 事後学習：講義に取り上げたキーワードについて、要点をまとめること。(2時間) 第7回：医療②：抑うつに対する認知行動療法(プライバシーへの配慮と多職種連携) (復習テスト②のフィードバック) 事前学習：eラーニングを閲覧すること。(2時間) 事後学習：講義に取り上げたキーワードについて、要点をまとめること。(2時間) 第8回：産業①：バーンアウトに対する評価と介入 事前学習：eラーニングを閲覧すること。(2時間) 事後学習：講義に取り上げたキーワードについて、要点をまとめること。(2時間)	

<p>第9回：産業②：バーンアウトに対する評価と介入（論理情動行動療法にもとづく心の健康教育） 事前学習：日常生活において、バーンアウトの事例を探すこと。（2時間） 事後学習：日常生活において、不合理な信念の事例を探すこと。（2時間）</p> <p>第10回：教育①：スクールカウンセリングの実際（良好な人間関係を築くコミュニケーション）・復習テスト③ 事前学習：復習テスト③の準備をすること。（2時間） 事後学習：講義に取り上げたキーワードについて、要点をまとめること。（2時間）</p> <p>第11回：教育②：スクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカー（要支援者の関係者への支援） 事前学習：eラーニングを閲覧すること。（2時間） 事後学習：講義に取り上げたキーワードについて、要点をまとめること。（2時間）</p> <p>第12回：教育③：学生相談における心理アセスメント（心理アセスメント適用と倫理） 事前学習：eラーニングを閲覧すること。（2時間） 事後学習：講義に取り上げたキーワードについて、要点をまとめること。（2時間）</p> <p>第13回：福祉①：ぜんそく予防の応用行動分析（地域支援の意義） 事前学習：eラーニングを閲覧すること。（2時間） 事後学習：定期試験の準備を始めること。（2時間）</p> <p>第14回：福祉②：ぜんそく予防の応用行動分析（心の健康教育） 事前学習：定期試験の準備をすること。（2時間） 事後学習：定期試験の準備をすること。（2時間）</p> <p>第15回：「臨床心理学」の各領域の心理学的臨床実践に関するまとめと定期試験対策 事前学習：定期試験の準備をすること。（2時間） 事後学習：定期試験の準備をすること。（2時間）</p> <p>第16回：定期試験</p>
授業実施方法（面接授業・遠隔授業）
<p>原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。</p>
成績評価方法
<p>定期試験（60%）、復習テスト（30%）、平常点（10%） 定期試験は「指定持込用紙」の持込を可とします。 第1回目の冒頭に、「臨床心理学Ⅰ（臨床心理学概論Ⅰ）」の内容について復習テストを行います。 復習テスト（授業時の課題に相当します）の内容は授業中に指示します。 平常点は受講態度（eラーニングの閲覧状況を含む）、リアクションペーパーの提出状況などで総合的に評価します。</p>
成績評価基準
<p>講義で取り上げた心理支援について説明できる。 地域支援の意義、良好な人間関係の築き方、要支援者の関係者に対する支援、心の健康教育について理解できる。 また、プライバシーへの配慮と関係者との情報共有のかねあいについて意見を持つ。</p>
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック
<p>1) 授業時の課題に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて <input type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>3) 小レポートに対するフィードバックについて <input type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて <input type="checkbox"/>定期試験時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>5) その他 <input type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p>
実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
<p>・経歴 （公認心理師，臨床心理士）</p> <p>・実務経験と授業内容との関連性 （公認心理師の教員が、心理臨床現場において基礎となる臨床心理学のなりたちと代表的な理論について講義する。）</p>
テキスト、参考図書
<p>スライド資料や参考資料をeラーニングに掲載します。</p>

その他(受講上の注意)

- eラーニングを活用します。
- eラーニングに投稿があったとき、携帯電話に情報が転送されるように設定してください。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

健康・医療心理学 (Health and Medical Psychology)			担当教員	渡辺 克徳	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
PS-G-2223	2単位	2年前期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部心理学科専門科目 基幹科目 心理学専門					
求める学習成果(教育目標)					
健康・医療心理学の基礎的かつ一般的な知識を習得する。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input checked="" type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
公認心理師をはじめ心理職が保健医療領域で行う業務について理解し必要な知識を習得する。	
授 業 の 到 達 目 標	
健康・医療心理学の基本を説明することができる。 保健医療領域における心理職の専門性とその業務について説明することができる。 チーム医療の一員として心理職に期待されている事柄について説明することができる。 公認心理師が身につけておくべき事柄について説明することができる。	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法	
第1回：健康心理学 事前学習：授業前にテキストの各章を読み、質問項目をまとめておくこと(2時間) 事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)	
第2回：健康心理学におけるアセスメントと支援 事前学習：授業前にテキストの各章を読み、質問項目をまとめておくこと(2時間) 事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)	
第3回：ストレスマネジメント 事前学習：授業前にテキストの各章を読み、質問項目をまとめておくこと(2時間) 事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)	
第4回：各種の心理支援法 事前学習：授業前にテキストの各章を読み、質問項目をまとめておくこと(2時間) 事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間) 小レポート課題(健康心理学のまとめ)	
第5回：医療心理学 事前学習：授業前にテキストの各章を読み、質問項目をまとめておくこと(2時間) 事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)	
第6回：医療心理学におけるアセスメントと支援 事前学習：授業前にテキストの各章を読み、質問項目をまとめておくこと(2時間) 事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)	
第7回：精神科、児童精神科 事前学習：授業前にテキストの各章を読み、質問項目をまとめておくこと(2時間) 事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)	

- 第8回：院内型独立型心理室
 事前学習：授業前にテキストの各章を読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
 事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
- 第9回：心療内科
 事前学習：授業前にテキストの各章を読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
 事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
- 第10回：小児科
 事前学習：授業前にテキストの各章を読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
 事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
- 第11回：緩和医療
 事前学習：授業前にテキストの各章を読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
 事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
- 第12回：産業保健
 事前学習：授業前にテキストの各章を読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
 事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
- 第13回：地域保健活動の実際
 事前学習：授業前にテキストの各章を読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
 事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
- 第14回：災害心理学
 事前学習：授業前にテキストの各章を読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
 事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
- 第15回：多職種協働と医療連携
 事前学習：授業前にテキストの各章を読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
 事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
- 第16回：定期試験

授業実施方法（面接授業・遠隔授業）

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

小レポート+最終試験（85％）平常点（15％）
 （平常点は、授業への参加状況・理解度チェックQ and Aで評価します。）

成績評価基準

公認心理師が身につけておくべき健康心理学と医療心理学について説明することができるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

- 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他（Moodleの機能を用いていつでも疑問・質問に対応）
- 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

・経歴
 （公認心理師，臨床心理士）

・実務経験と授業内容との関連性
 （公認心理師の教員が、心理職が保健医療領域で行う業務と専門性について講義する。）

テキスト、参考図書

宮脇稔・大野 太郎・藤本 豊・松野 俊夫『健康・医療心理学』医歯薬出版株式会社, 2018
ISBN-13: 978-4263265772

その他(受講上の注意)

講義は公認心理師養成カリキュラムに対応しています。日本心理学会が公開している大学カリキュラム・標準シラバス等も参考に学習してください。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

発達心理学 I (Developmental Psychology I)			担当教員	竹村 明子	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
PS-G-2227	2単位	2年前期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部心理学科専門科目 基幹科目 心理学専門					
求める学習成果(教育目標)					
心理学の各領域における基礎的かつ一般的な知識					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input checked="" type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
1. 本講義では、人生の前半期(胎児期から児童期)の身体的変化および心理的变化について学ぶ。 2. 生涯発達に関する主要理論について学ぶ。 3. 発達心理学を科学的に研究する方法について学ぶ。	
授 業 の 到 達 目 標	
・人間の生涯を通して展開される発達について理解する視点を獲得する。 ・誕生から児童期までの各発達段階の特徴と心理的問題を説明することができる。 ・多様な生き方を理解し、互いに認め合う態度を養成する。	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法	
第1回：生涯発達心理の概要について 事前学習：シラバスを読み、発達心理学の授業について理解し、質問項目をまとめておくこと(2時間) 事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて、図書館で調べたり、担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと(2時間)	
第2回：発達の主要理論 事前学習：事前にE-Learning上に配信資料を提示しておく。各自プリントアウトし、内容を読み質問項目をまとめておくこと(2時間) 事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて、図書館で調べたり、担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと(2時間)	
第3回：発達心理学の研究方法(発達メカニズムを解明する方法と発達過程を記述する方法) 事前学習：事前にE-Learning上に配信資料を提示しておく。各自プリントアウトし、内容を読み質問項目をまとめておくこと(2時間) 事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて、図書館で調べたり、担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと(2時間)	
第4回：発達の規定要因(遺伝要因、環境要因、相互作用) 事前学習：事前にE-Learning上に配信資料を提示しておく。各自プリントアウトし、内容を読み質問項目をまとめておくこと(2時間) 事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて、図書館で調べたり、担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと(2時間)	
第5回：乳児期の発達①(身体と運動機能) 事前学習：事前にE-Learning上に配信資料を提示しておく。各自プリントアウトし、内容を読み質問項目をまとめておくこと(2時間) 事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて、図書館で調べたり、担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと(2時間)	
第6回：乳児期の発達②(知覚能力) 事前学習：事前にE-Learning上に配信資料を提示しておく。各自プリントアウトし、内容を読み質問項目をまとめておくこと(2時間) 事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて、図書館で調べたり、担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと(2時間)	

- 第7回：乳児期の発達③（愛着・親子の心の絆）
 事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし、内容を読み質問項目をまとめておくこと（2時間）
 事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて、図書館で調べたり、担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）
- 第8回：主な発達理論のまとめと中間試験
 事前学習：第1回目から7回目までに提示された重要ポイントについて勉強をし、中間試験に臨むこと（2時間）
 事後学習：中間試験問題を持ち帰り、自己採点をして間違った解答について復習をすること（2時間）
- 第9回：幼児期の発達①（言語とコミュニケーション）
 事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし、内容を読み質問項目をまとめておくこと（2時間）
 事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて、図書館で調べたり、担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）
- 第10回：幼児期の発達②（遊び）
 事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし、内容を読み質問項目をまとめておくこと（2時間）
 事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて、図書館で調べたり、担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）
- 第11回：児童期の発達①（認知）
 事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし、内容を読み質問項目をまとめておくこと（2時間）
 事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて、図書館で調べたり、担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）
- 第12回：児童期の発達②（記憶と思考）
 事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし、内容を読み質問項目をまとめておくこと（2時間）
 事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて、図書館で調べたり、担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）
- 第13回：児童期の発達③（自己・自我）
 事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし、内容を読み質問項目をまとめておくこと（2時間）
 事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて、図書館で調べたり、担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）
- 第14回：児童期の発達④（社会性）
 事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし、内容を読み質問項目をまとめておくこと（2時間）
 事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて、図書館で調べたり、担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）
- 第15回：発達に関連する問題
 事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし、内容を読み質問項目をまとめておくこと（2時間）
 事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて、図書館で調べたり、担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）
- 第16回：まとめと期末評価

授業の進み方は、内容により前後することがあります。必ず授業に出席し、授業内容と配布するプリントに基づき、復習として各自のノートに授業内容をまとめておくこと。

授業実施方法（面接授業・遠隔授業）

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

成績評価は、①授業毎に課される課題の内容（30%）、②中間試験またはレポートおよび期末試験またはレポート（70%）により総合的に評価をする。

成績評価基準

- ・人間の生涯を通して展開される発達について、生涯発達の視点から理解しているか。
- ・誕生から児童期における各発達の特徴と心理的問題を説明することができるか。
- ・これまでの自分自身や他者の生き方をみつめ直し、生涯発達心理学の視点から考察できるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

授業ごとに資料を配付する。
 テキストは特に設けない。参考文献については授業内で適宜紹介する。

その他(受講上の注意)

- ・毎回の講義の資料はE-learning上に掲載しておくので、ダウンロードやプリントアウトをして、資料を見ながら授業に参加できるよう準備をすること。
- ・毎回の講義でE-Learning上に掲載した小テストを課す。この小テストの受験と成績を出席の参考とする。必ずE-Learningにアクセスできるノートパソコン・タブレット・スマホを準備して講義に臨むこと。
- ・講義では、自分の意見をまとめ表現できるよう心がけてほしい。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

発達心理学Ⅱ (Developmental PsychologyⅡ)			担当教員	竹村 明子	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
PS-G-2228	2単位	2年後期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部心理学科専門科目 基幹科目 心理学専門					
求める学習成果(教育目標)					
心理学の各領域における基礎的かつ一般的な知識					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input checked="" type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
1. 本講義では、人生の後半期(青年期から高齢期)の身体的変化および心理的变化について学ぶ。 2. 身体的な加齢と、心理的变化との関係について学ぶ。 3. 社会的変化が個人の発達にどのように影響するのかについて学ぶ。	
授 業 の 到 達 目 標	
①生涯を通して展開される発達について理解し解説できる ②青年期から成人後期までの各発達段階の特徴と心理的問題を説明することができる。 ③多様な生き方について知識を習得し、心理的支援の方法について考えることができる。	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法	
第1回：青年期の発達① 青年期の心理の特徴 事前学習：事前に青年期の発達に関する書籍を読み、あらかじめ疑問点などをまとめて授業に臨むこと(2時間) 事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて、図書館で調べたり、担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと(2時間)	
第2回：青年期の発達② 自我アイデンティティの確立 事前学習：事前にE-Learning上に配信資料を提示しておく。各自プリントアウトし、内容を読み理解し、質問項目をまとめておくこと(2時間) 事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて、図書館で調べたり、担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと(2時間)	
第3回：青年期の発達③ 職業選択 事前学習：事前にE-Learning上に配信資料を提示しておく。各自プリントアウトし、内容を読み理解し、質問項目をまとめておくこと(2時間) 事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて、図書館で調べたり、担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと(2時間)	
第4回：青年期の発達④ セクシュアリティ 事前学習：事前にE-Learning上に配信資料を提示しておく。各自プリントアウトし、内容を読み理解し、質問項目をまとめておくこと(2時間) 事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて、図書館で調べたり、担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと(2時間)	
第5回：成人初期の発達① 恋愛 事前学習：事前にE-Learning上に配信資料を提示しておく。各自プリントアウトし、内容を読み理解し、質問項目をまとめておくこと(2時間) 事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて、図書館で調べたり、担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと(2時間)	
第6回：成人初期の発達② 結婚 事前学習：事前にE-Learning上に配信資料を提示しておく。各自プリントアウトし、内容を読み理解し、質問項目をまとめておくこと(2時間) 事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて、図書館で調べたり、担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと(2時間)	

- 第7回：成人初期の発達③ 子育て
 事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし、内容を読み理解し、質問項目をまとめておくこと（2時間）
 事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて、図書館で調べたり、担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）
- 第8回：青年期から成人初期の特徴のまとめと中間試験
 事前学習：第1回目から7回目までに提示された重要ポイントについて勉強をし、中間試験に臨むこと（2時間）
 事後学習：中間試験問題を持ち帰り、自己採点をして間違った解答について復習をすること（2時間）
- 第9回：成人中期の発達① 中年期の危機とライフサイクル
 事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし、内容を読み理解し、質問項目をまとめておくこと（2時間）
 事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて、図書館で調べたり、担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）
- 第10回：成人中期の発達② 超高齢社会
 事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし、内容を読み理解し、質問項目をまとめておくこと（2時間）
 事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて、図書館で調べたり、担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）
- 第11回：成人中期の発達③ 身体的機能の衰退と社会活動
 事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし、内容を読み理解し、質問項目をまとめておくこと（2時間）
 事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて、図書館で調べたり、担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）
- 第12回：成人中期の発達④ 認知機能と記憶の加齢変化
 事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし、内容を読み理解し、質問項目をまとめておくこと（2時間）
 事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて、図書館で調べたり、担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）
- 第13回：成人後期の発達① 認知症
 事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし、内容を読み理解し、質問項目をまとめておくこと（2時間）
 事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて、図書館で調べたり、担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）
- 第14回：成人後期の発達② 喪失と死
 事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし、内容を読み理解し、質問項目をまとめておくこと（2時間）
 事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて、図書館で調べたり、担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）
- 第15回：成人後期の発達③ サクセスフルエイジング
 事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし、内容を読み理解し、質問項目をまとめておくこと（2時間）
 事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて、図書館で調べたり、担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）
- 第16回：まとめと期末評価
 授業の進み方は、授業内容により前後することがあります。必ず授業に出席し、授業内容と配布するプリントに基づき、復習として各自のノートに授業内容をまとめておくこと。

授業実施方法(面接授業・遠隔授業)

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

成績評価には、①各回の講義で課される課題の内容(30%)、②中間および期末の試験(またはレポート)(70%)で総合的に評価をする。

成績評価基準

- ①生涯を通して展開される発達について、どの程度正しく理解し適切に解説できるのか
- ②青年期から成人後期までの各発達段階の特徴と心理的問題について、どの程度適切に説明することができるのか
- ③多様な生き方について、どの程度正しく知識を習得し、心理的支援の方法について考えることができるのか

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

授業ごとに資料を配付する。
 テキストは特に設けない。参考文献については授業内で適宜紹介する。

その他(受講上の注意)

- ・毎回の講義の資料はE-learning上に掲載しておくので、ダウンロードやプリントアウトをして、資料を見ながら授業に参加できるよう準備をすること。
- ・毎回の講義でE-Learning上に掲載した小テストを課す。この小テストの受験と成績を出席の参考とする。必ずE-Learningにアクセスできるノートパソコン・タブレット・スマホを準備して講義に臨むこと。
- ・講義では、自分の意見をまとめ表現できるよう心がけてほしい。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

知覚・認知心理学 (Psychology of Perception and Cognition)			担当教員	杉島 一郎	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
PS-G-2230	2単位	2年前期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部心理学科専門科目 基幹科目 心理学専門					
求める学習成果(教育目標)					
心理学の各領域における基礎的かつ一般的な知識					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input checked="" type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力		<input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力		<input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題解決能力	

授 業 の 内 容	
<p>知覚および記憶・言語・思考などの人間の認知に関するトピックについて学ぶ。認知心理学とは、環境との対応と環境に対する働きかけ、あるいは他者とのコミュニケーションといった、我々が生活していく上でその根幹となる機能について考えていく領域である。現象としてではなく、認知に関する理論や研究法について考察し、日常生活や社会における問題解決能力を身につけることを目指す。</p>	
授 業 の 到 達 目 標	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 知覚・認知に関する理論について理解できる。 ・ 知覚・認知に関する研究法について考察することができる。 ・ 他者とのコミュニケーションを円滑にする方法を考えることができる。 ・ 知覚・認知に関する知識をもとに、日常生活や社会における問題を考えることができる。 ・ 発達障害における知覚・認知の問題について理解できる。 	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習 (PBL) <input checked="" type="checkbox"/> 討議 (ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク (Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション (Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法	
<p>第1回：認知心理学とは 事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。(4時間)</p> <p>第2回：知覚 [1] 事前学習：錯視の例を調べておくこと。(2時間) 事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。(2時間)</p> <p>第3回：知覚 [2] 事前学習：奥行知覚について調べておくこと。(2時間) 事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。(2時間)</p> <p>第4回：知覚 [3] 事前学習：聴覚について調べておくこと。(2時間) 事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。(2時間)</p> <p>第5回：注意 事前学習：カクテルパーティー効果について調べておくこと。(2時間) 事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。(2時間)</p> <p>第6回：注意と発達障害 事前学習：発達障害について調べておくこと。(2時間) 事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。(2時間)</p> <p>第7回：記憶 [1] 記憶の基本過程 事前学習：記憶の2過程説について調べておくこと。(2時間) 事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。(2時間)</p>	

- 第8回：記憶〔2〕短期記憶とワーキングメモリー
 事前学習：「不思議な数字7±2」について調べておくこと。（2時間）
 事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（2時間）
- 第9回：記憶〔3〕長期記憶（意味記憶、エピソード記憶、手続記憶）
 事前学習：タルビングの記憶区分について調べておくこと。（2時間）
 事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（2時間）
- 第10回：知識と記憶
 事前学習：処理水準説について調べておくこと。（2時間）
 事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（2時間）
- 第11回：スキーマとメタ記憶
 事前学習：スキーマとメタ記憶について調べておくこと。（2時間）
 事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（2時間）
- 第12回：言語の理解
 事前学習：言語理解について調べておくこと。（2時間）
 事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（2時間）
- 第13回：記憶・言語と発達障害
 事前学習：言語発達の遅れを示す障害について調べておくこと。（2時間）
 事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（2時間）
- 第14回：概念と推理
 事前学習：概念獲得の研究を調べておくこと。（2時間）
 事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（2時間）
- 第15回：思考と問題解決
 事前学習：問題解決について調べておくこと。（2時間）
 事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（2時間）
- 第16回：期末試験

授業実施方法（面接授業・遠隔授業）

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

毎回提出する課題・小レポート（30%）、期末試験（70%）

成績評価基準

- ・知覚・認知に関する理論について説明することができるか。
- ・知覚・認知に関する研究法について考察することができるか。
- ・他者とのコミュニケーションを円滑にする方法を考えることができるか。
- ・知覚・認知に関する知識をもとに、日常生活や社会における問題を考えることができるか。
- ・発達障害における知覚・認知の問題について理解することができるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書

テキストは使用せず適宜プリントを配布する。

その他(受講上の注意)

授業には積極的に参加し、指示された課題・小レポートを提出ください。課題・小レポートの提出をもって出席とします。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

神経・生理心理学 (Neuro and Physiological Psychology)			担当教員	水田 敏郎	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
PS-G-2231	2単位	2年後期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部心理学科専門科目 基幹科目 心理学専門					
求める学習成果(教育目標)					
人の心や行動を科学的に分析する方法や支援する方法を習得する。 組織や集団における行動の原理を理解し、実社会における人間関係の心理について学ぶ。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input checked="" type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
人を含めた動物全般の心的活動には脳が大きくかかわっています。この授業では、様々な心理機能の基盤となる脳を中心とした生理学的メカニズムを理解するために、前半では脳や身体の基本構造と働きについて、後半では心的活動と関連の深い生理的活動について、そのアプローチ法とともに解説します。	
授 業 の 到 達 目 標	
脳の基本構造と働きについて理解する。生理心理学的アプローチの基本について理解する。	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習 (PBL) <input type="checkbox"/> 討議 (ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク (Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション (Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授業の計画及び授業外の学習方法	
第1回：オリエンテーション(授業の進め方と概要) 事前学習：「心理学概論」で学んだ生理学的心理学の内容について復習する。(2時間) 事後学習：次回分のプリントについて熟読し、質問をまとめておく。(2時間)	
第2回：脳の構造① 事前学習：第2回分のプリント(神経の分類)について穴あき部分を埋めておく。(2時間) 事後学習：第2回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく(2時間)	
第3回：脳の構造② 事前学習：第3回分のプリント(中枢神経系の構造)について穴あき部分を埋めておく。(2時間) 事後学習：第3回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく(2時間)	
第4回：脳の信号①：神経細胞のはたらき 事前学習：第4回分のプリント(神経細胞の機能)について穴あき部分を埋めておく。(2時間) 事後学習：第4回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく(2時間)	
第5回：脳の信号②：神経系のはたらき 事前学習：第5回分のプリント(神経細胞の機能と発達)について穴あき部分を埋めておく。(2時間) 事後学習：第4回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく(2時間)	
第6回：知覚のメカニズム(グループワーク) 事前学習：第6回分のプリント(知覚の生理学的基盤と障害)について穴あき部分を埋めておく。(2時間) 事後学習：第6回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく(2時間)	
第7回：記憶の脳内メカニズム(グループワーク) 事前学習：第7回分のプリント(記憶の生理学的基盤と障害)について穴あき部分を埋めておく。(2時間) 事後学習：第7回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく(2時間)	
第8回：学習の脳内メカニズム① 事前学習：第8回分のプリント(学習の種類とその生理学的基盤)について穴あき部分を埋めておく。(2時間) 事後学習：第8回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく(2時間)	
第9回：学習の脳内メカニズム② 事前学習：第9回分のプリント(学習の生理学的基盤とその障害)について穴あき部分を埋めておく。(2時間) 事後学習：第9回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく(2時間)	

- 第10回：情動がおこる仕組み①
 事前学習：第10回分のプリント（情動の生理学的基盤）について穴あき部分を埋めておく。（2時間）
 事後学習：第10回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく（2時間）
- 第11回：情動がおこる仕組み②
 事前学習：第11回分のプリント（情動の生理学的基盤とその障害）について穴あき部分を埋めておく。（2時間）
 事後学習：第11回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく（2時間）
- 第12回：睡眠・覚醒の神経メカニズム
 事前学習：第12回分のプリント（睡眠・覚醒の神経メカニズムとその障害）について穴あき部分を埋めておく。（2時間）
 事後学習：第12回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく（2時間）
- 第13回：生理心理学の応用①（グループワーク）
 事前学習：第13回分のプリント（意識・注意の生理心理学的メカニズムとその障害）について穴あき部分を埋めておく。（2時間）
 事後学習：第13回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく（2時間）
- 第14回：生理心理学の応用②
 事前学習：第14回分のプリント（臨床心理学との接点）について穴あき部分を埋めておく。（2時間）
 事後学習：第14回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく（2時間）
- 第15回：生理心理学に関するまとめ
 事前学習：各回分のプリント全体の整理と質問項目をまとめておく（2時間）
 事後学習：第15回で解説したの内容について、整理しておく（2時間）
- 第16回：定期試験

各回の講義を受講した後、当該部分の配布資料をよく読んで復習してください。また、予習にあたっても次の授業の内容部分をよく見て、疑問点などをもって授業に臨んでください。事後学習で整理された質問については、次の授業回でグループワークをして整理し、授業の初めに議論したいと思います。

授業実施方法（面接授業・遠隔授業）

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

定期試験（70%） 平常点（30%）
 （平常点は、授業への参加状況、質問用紙の提出状況などを総合して判断します。）

成績評価基準

脳の基本構造と働きについて説明することができるか。生理心理学的アプローチの基本について説明することができるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

- 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書

テキストは使用しない。資料の取得方法については、その都度指示します。
 参考図書：「生理心理学と精神生理学」Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ巻 堀忠雄・尾崎久記監修 北大路書房（2017）
 「生理心理学」 岡田隆 廣中直行・宮本孝史 サイエンス社（2005）

その他（受講上の注意）

身体と心の関係に対する基礎的な理解ができます。実験的な心理学研究に関心のある方には受講をすすめます。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

社会・集団・家族心理学 I (Social, Group and Family Psychology I)			担当教員	山本 雅代	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
PS-G-2235	2単位	2年前期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部心理学科専門科目 基幹科目 心理学専門					
求める学習成果(教育目標)					
心理学の各領域における基礎的かつ一般的な知識					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input checked="" type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力		<input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力		<input type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input type="checkbox"/> 選択能力	
				<input checked="" type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題解決能力	

授 業 の 内 容	
<p>人間の社会的行動について心理学の立場から解説する。 社会・集団・家族心理学 I では、社会の中の個人に注目し、自己意識、自己概念がどのように形成され、また個人が他者をどのように認知、理解し、自己の行動を表出させるのか、といった問題について解説する。 授業ではできるだけ実社会で起こっている現象をとりあげ社会心理的視点から理解していくことをめざす。</p>	
授 業 の 到 達 目 標	
<p>(1) 社会心理学における基本的な概念について理解する。 (2) 集団の中の個人の行動を理解する。 (3) 現実社会での個人の行動を理解し、研究と結び付けて考えることができる。</p>	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習 (PBL) <input checked="" type="checkbox"/> 討議 (ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク (Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション (Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (ICT (Google フォーム・Moodle等で課題、資料提示、インタラクティブに意見を収集))	
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法	
<p>第1回：社会心理学について (ICT・課題提出) 事前学習：授業前に社会心理学についての本を読んでおくこと (2時間) 事後学習：授業で課された課題について、レポートにまとめておくこと (2時間)</p> <p>第2回：自己について (1) (ICT・レポート) 事前学習：授業前に「自己・自己概念」についての本を読んでおくこと (2時間) 事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと (2時間)</p> <p>第3回：自己について (2) (ICT・課題提出) 事前学習：授業前に「自己・客体的自覚・没個性化」についての本を読んでおくこと (2時間) 事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと (2時間)</p> <p>第4回：社会的比較 (ICT・課題提出) 事前学習：授業前に「社会的比較」についての本を読んでおくこと (2時間) 事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと (2時間)</p> <p>第5回：自己呈示について (ICT・課題提出) 事前学習：授業前に「自己呈示」についての本を読んでおくこと (2時間) 事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと (2時間)</p> <p>第6回：動機づけについて (ICT・課題提出) 事前学習：授業前に「動機づけ」についての本を読んでおくこと (2時間) 事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと (2時間)</p> <p>第7回：社会的動機 (1) (ICT・課題提出) 事前学習：授業前に「社会的動機」の種類についてまとめること (2時間) 事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと (2時間)</p> <p>第8回：社会的動機 (2) (ICT・課題提出) 事前学習：授業前に「社会的動機」についての本を読んでおくこと (2時間) 事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと (2時間)</p> <p>第9回：欲求不満・情動 (ICT・課題提出) 事前学習：授業前に「欲求不満・情動」についての本を読んでおくこと (2時間) 事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと (2時間)</p>	

<p>第10回：対人認知 (ICT・課題提出) 事前学習：授業前に「対人認知」についての本を読んでおくこと (2時間) 事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと (2時間)</p> <p>第11回：対人魅力 (1) (ICT・討議・課題提出) 事前学習：授業前に「対人魅力」についての本を読んでおくこと (2時間) 事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと (2時間)</p> <p>第12回：対人魅力 (2) (ICT・課題提出) 事前学習：授業前に「対人魅力」についての本を読んでおくこと (2時間) 事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと (2時間)</p> <p>第13回：対人魅力 (3) (ICT・課題提出) 事前学習：授業前に「対人魅力」関連についての本を読んでおくこと (2時間) 事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと (2時間)</p> <p>第14回：対人魅力 (4) (ICT・課題提出) 事前学習：授業前に「対人魅力」関連についての本を読んでおくこと (2時間) 事後学習：各講義における手書きノートを作るなどすることが望ましい (2時間)</p> <p>第15回：まとめ確認テスト (ICT) 事前学習：各講義における手書きノートを作るなどすること (2時間) 事後学習：分からなかったポイントについてまとめておく (2時間)</p>
授業実施方法 (面接授業・遠隔授業)
<p>原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。</p>
成績評価方法
<p>課題・小テスト、課題レポート、授業への参加態度等を総合的に判断し評価する。 【確認テスト50% 課題・レポート・授業への参加態度50%】</p>
成績評価基準
<p>社会心理学の基本的概念について説明できるか。 集団の中の個人の行動を理解できているか。 現実社会での個人の行動を理解し、研究と結び付けて考えることができるか。</p>
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック
<p>1) 授業時の課題に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/>授業時 <input checked="" type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて <input type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>3) 小レポートに対するフィードバックについて <input type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて <input type="checkbox"/>定期試験時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>5) その他 <input type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p>
実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)
テキスト、参考図書
<p>適宜掲示・配布する。また、参考文献、関連文献を講義内で紹介する。</p>
その他(受講上の注意)
<p>最初にTeamsに登録すること。 毎回課題の提出を求める。提出には、ムードルやGoogleフォームなどを使用する(各講義において指定) かならず提出すること。 回収後の結果について講義内にて提示し、内容について考察することがある。講義内容と自らの行動について結び付け理解を深めること。 提出課題に遅延した場合、提出物は受け取るが、減点の対象となる。</p>
オフィスアワー
<p>UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。</p>

社会・集団・家族心理学Ⅱ (Social, Group and Family Psychology Ⅱ)			担当教員	山本 雅代	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
PS-G-2236	2単位	2年後期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部心理学科専門科目 基幹科目 心理学専門					
求める学習成果(教育目標)					
心理学の各領域における基礎的かつ一般的な知識					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
■自他の理解能力		■コミュニケーション能力		□情報収集・探索能力	
■役割把握・認識能力		□計画実行能力		□社会・職業理解能力	
		□選択能力		■課題解決能力	

授 業 の 内 容	
<p>人間の社会的行動について心理学の立場から解説する。 社会・集団・家族心理学Ⅱでは、社会の中の個人、集団の中の個人に注目して授業を行う。 現実社会で起こる様々な人間行動について過去の実験や研究を紹介しながら解説していく。 主なテーマは、社会的動機、集団や群衆行動、リーダーシップ、援助行動、攻撃行動、同調と服従などである。 また特別講義として、模擬社会ゲームに参加してもらうこととする。模擬社会ゲームは社会でおこる様々な現象や構造を理解するゲームであり、これに参加することにより大学生活ではあまり遭遇しない社会、集団の概念を理解し、心理的葛藤、集団間葛藤等を体験し、問題解決能力を向上させることができる。このような社会生活に近い体験学習を通じ人間の行動に対する理解をより深め、社会や社会の中の一部である自己を探求し、自己成長することを目指す。</p>	
授 業 の 到 達 目 標	
1) 社会心理学における基本的な概念について理解する。 2) 集団葛藤やコミュニケーションスキルについて理解する。 3) 日常生活における対人間、集団間の心理学的法則について理解する。	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input checked="" type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input checked="" type="checkbox"/> その他(シミュレーションゲーム:ICT(Googleフォーム・Moodleを使用し、課題を呈示、インタラクティブに意見を収集)	
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法	
第1回：状況の力とは(ICT・課題提出) 事前学習：授業前に「環境や状況と心理学」について関連する本を読んでおくこと(2時間) 事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと(2時間) 第2回：個人と集団(ICT・レポート) 事前学習：授業前に「集団とは何か」関連する本を読んでおくこと(2時間) 事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと(2時間) 第3回：集団の凝集性(ICT・課題提出) 事前学習：授業前に「凝集性」についての本を読んでおくこと(2時間) 事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと(2時間) 第4回：集団討議・集団意思決定(ICT・討議) 事前学習：授業前に「意思決定」についての本を読んでおくこと(2時間) 事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと(2時間) 第5回：リーダーシップ(ICT・討議・レポート) 事前学習：授業前に「リーダーシップ」についての本を読んでおくこと(2時間) 事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと(2時間) 第6回：同調と服従(1)(ICT・課題提出) 事前学習：授業前に「同調」についての本を読んでおくこと(2時間) 事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと(2時間) 第7回：同調と服従(2)(ICT・課題提出) 事前学習：授業前に「服従」についての本を読んでおくこと(2時間) 事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと(2時間)	

<p>第8回：囚人と看守実験 (ICT・課題提出) 事前学習：授業前に「役割取得」について関連する本を読んでおくこと (2時間) 事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと (2時間)</p> <p>第9回：情報伝搬 (ICT・討議) 事前学習：授業前に「うわさ」が原因で社会問題に発展した事例について調べておく (2時間) 事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと (2時間)</p> <p>第10回：衆人監視 (ICT・討議) 事前学習：授業前に「他者がそばに居る」ことにより生じる心理的作用を調べておく (2時間) 事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと (2時間)</p> <p>第11回：パニック (ICT・課題提出) 事前学習：授業前に「パニックとは何か」関連した本を読んでおくこと (2時間) 事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと (2時間)</p> <p>第12回：援助行動 (ICT・課題提出) 事前学習：授業前に「援助行動、災害、防災意識」関連ついでの本を読んでおくこと (2時間) 事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと (2時間)</p> <p>第13回：攻撃行動 (ICT・課題提出) 事前学習：授業前に「攻撃行動」についての本を読んでおくこと (2時間) 事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと (2時間)</p> <p>第14回：模擬社会ゲームについて (ゲーム・ICT・討議・レポート) 事前学習：講義中にゲームのルールブックを配布する。よく読み自主的に復習すること (2時間) 事後学習：模擬社会ゲームについてまとめておく (2時間)</p> <p>第15回：まとめと小テスト (ICT) 事前学習：各講義における手書きノートを作るなどすること (2時間) 事後学習：分からなかった部分についてまとめる (2時間)</p>
授業実施方法 (面接授業・遠隔授業)
原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。
成績評価方法
授業中に実施する課題・小テスト、課題レポート、授業への参加態度等を総合的に判断し評価する。 【小テスト50% 課題レポート40% 授業への参加態度10%】
成績評価基準
社会心理学における基本的概念について説明できるか。 集団葛藤やコミュニケーションスキルについて説明できるか。 日常生活における対人間、集団間の心理学的法則について理解できているか。
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック
1) 授業時の課題に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/> 授業時 <input checked="" type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて <input type="checkbox"/> 授業時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 3) 小レポートに対するフィードバックについて <input type="checkbox"/> 授業時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて <input type="checkbox"/> 定期試験時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 5) その他 <input type="checkbox"/> 授業時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他
実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)
テキスト、参考図書
適宜掲示・配布する。また、参考文献、関連文献を講義内で紹介する。

その他(受講上の注意)

最初にTeamsに登録すること。

基本的に講義形式で行う。より理解を深めるために必要に応じてVTR視聴、自己分析、グループディスカッション、ゲームを実施する。その際、レポート課題の提出を求めることがある。

講義中にeラーニングシステムやgoogleフォーム等で回答を求め、受講者の実際の行動について即座に共有することがある。

回収後、結果についてスクリーンに呈示し、ディスカッションすることにより、講義内容と実際の行動についてリンクを試みる。その際、スマートフォン又はPCが必要となる(ipadの使用も可)。

よって、携帯持参、又はPCにより課題を閲覧、送信できるようにしておくことが必要。

回答時以外でのスマートフォンの利用は認められない。

使用を発見した場合、退出を願う場合がある。

トイレは授業前に済ませ、意味のない入退出が無いようにする事。

授業に15分以上遅れた場合欠席になることがある。

SIMSOC(模擬社会ゲーム)を特別授業として行う(予定)。このゲームへの参加により、集団における心理的葛藤や協調、意思決定などを学ぶことができる。ゲームへの参加は任意ですが、参加表明された方は必ず出席すること。人数が多い場合は抽選となることがある。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

産業・組織心理学 I (Industrial and Organizational Psychology I)			担当教員	重森 雅嘉	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
PS-G-2233	2単位	2年前期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部心理学科専門科目 基幹科目 心理学専門					
求める学習成果(教育目標)					
教育、福祉、医療現場での心理臨床の理論と実践のしかたを習得する。 組織や集団における行動の原理を理解し、実社会における人間関係の心理について学ぶ。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input checked="" type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
社会や組織で必要とされる心理的スキルや知識を講義する。またコメントシートにより各自が当該事項について考え、グループディスカッション等により、それらを共有することにより深い理解をめざす。	
授 業 の 到 達 目 標	
社会や組織で必要とされる心理的なスキルや知識を理解し、簡潔に説明できる。またそれらについて自分の考えや疑問を示せる。積極的に社会や組織活動に取り組める。	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習 (PBL) <input checked="" type="checkbox"/> 討議 (ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク (Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション (Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授業の計画及び授業外の学習方法	
第1回：オリエンテーション、産業組織心理学の歴史 事前学習：産業組織心理学というものがどういうものか調べておく。(2時間) 事後学習：産業組織心理学の歴史に興味を持ったものについて調べる。(2時間) 第2回：グループディスカッション(社会で求められる人物像)、社会で求められる力 事前学習：社会で求められる能力について調べておく。(2時間) 事後学習：仁愛で学べる社会人基礎力について考察する。(2時間) 第3回：グループディスカッション(仁愛の理念)、組織が目指すもの(経営理念) 事前学習：企業がどういう目的で企業活動を行っているか調べておく。(2時間) 事後学習：自分が就職を希望する、または地元の気になる企業の経営理念を調べる。(2時間) 第4回：評価と公正感、グループワーク(ゼミのループリック作成) 事前学習：評価方法について調べておく。(2時間) 事後学習：人事評価について調べる。(2時間) 第5回：グループディスカッション(チームワークの利点欠点)、チームワークのダークサイド 事前学習：チームワークのマイナス面について調べておく。(2時間) 事後学習：チームワークのマイナス面に関して考察する。(2時間) 第6回：グループディスカッション(いいチームワークの要件)、いいチームワークの要件 事前学習：チームワークをうまくいかせる要因について調べておく。(2時間) 事後学習：チームワークをうまくいかせる要因について考察する。(2時間) 第7回：リーダーシップ、グループワーク(リーダー選び) 事前学習：リーダーシップについて調べておく。(2時間) 事後学習：自分ならどのようなリーダーを目指すかを考察する。(2時間) 第8回：グループワーク(なぜ働くか)、ワーク・モチベーション 事前学習：動機づけ理論を復習しておく。(2時間) 事後学習：好きなことを仕事にする利点と欠点を考察する。(2時間) 第9回：グループディスカッション(なぜ失敗するか)、ヒューマンエラー 事前学習：労働災害の実態について調べておく。(2時間) 事後学習：労働災害とヒューマンエラーの関係について考察する。(2時間) 第10回：グループディスカッション(ヒューマンエラー防止法)、ヒューマンエラー防止 事前学習：労働災害防止対策について調べておく。(2時間) 事後学習：労働災害防止対策の有効性を考察する。(2時間)	

<p>第11回：大事故の原因、グループディスカッション（大事故を防ぐためには） 事前学習：最近の大事故について調べておく。（2時間） 事後学習：大事故に共通する原因を考察する。（2時間）</p> <p>第12回：ルール違反、レポート課題説明 事前学習：自分がやったことのあるルール違反について考察しておく。（2時間） 事後学習：ルール違反と労働災害の関係を考察する。（2時間）</p> <p>第13回：グループディスカッション（大学生のストレス）、産業ストレスの現状 事前学習：産業場面について調べておく。（2時間） 事後学習：メンタルヘルスについて考察する。（2時間）</p> <p>第14回：グループディスカッション（産業ストレス防止）、産業ストレス防止 事前学習：職場の産業ストレス防止法について調べておく。（2時間） 事後学習：ストレスと労働災害の関係について考察する。（2時間）</p> <p>第15回：グループワーク（ピアレビューチェック） 事前学習：レポートの草稿を準備しておく。（2時間） 事後学習：グループワークの結果について考察する。（2時間）</p>
授業実施方法（面接授業・遠隔授業）
原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。
成績評価方法
レポート50% 小テスト毎回計30% 授業態度20%
成績評価基準
学習項目を簡潔に説明できるか、学習項目について自分の経験に結びつけて考えや疑問を示せるか、積極的に授業に取り組めるか
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック
<p>1) 授業時の課題に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/>授業時 <input checked="" type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/>授業時 <input checked="" type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>3) 小レポートに対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/>授業時 <input checked="" type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて <input type="checkbox"/>定期試験時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input checked="" type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>5) その他 <input type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p>
実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
テキスト、参考図書
<p>参考図書 外島裕（監修）・田中堅一郎（編）「産業・組織心理学エッセンシャルズ第4版」ナカニシヤ出版、ISBN: 4779513855 重森雅嘉「ヒューマンエラー防止の心理学」日科技連、ISBN:4817197285 大阪商業会議所（編）「メンタルヘルス・マネジメント検定試験公式テキストⅢ種セルフケアコース第5版」中央経済社、ISBN: 4502388319</p>
その他（受講上の注意）
レポートは手書きは不可です。状況により座席指定の可能性がります。
オフィスアワー
UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

産業・組織心理学Ⅱ (Industrial and Organizational Psychology Ⅱ)			担当教員	山本 雅代	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
PS-G-2234	2単位	2年後期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部心理学科専門科目 基幹科目 心理学専門					
求める学習成果(教育目標)					
心理学の各領域における基礎的かつ一般的な知識					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input checked="" type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
産業組織の中で働く人々の心理および行動について解説する。具体的には、ストレス、ワークモチベーション、勤労観等について解説する予定である。また、それぞれの課題においてディスカッションを行う。	
授 業 の 到 達 目 標	
産業組織の中で働く人々の心理、行動について理解できる。	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input checked="" type="checkbox"/> その他(ICT(Googleフォーム・Moodleを使用し、課題を呈示、インタラクティブに意見を収集))	
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法	
第1回：オリエンテーション(ICT・レポート) 事前学習：産業・組織心理学についての本を読んでおくこと(2時間) 事後学習：授業で分かったことをレポートにまとめておくこと(2時間)	
第2回：産業組織心理学のはじまり(1)(ICT・課題提出) 事前学習：授業前に「産業組織心理学の歴史」について関連する本を読んでおくこと(2時間) 事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと(2時間)	
第3回：産業組織心理学のはじまり(2)(ICT・課題提出) 事前学習：授業前に「産業組織心理学の歴史」について関連する本を読んでおくこと(2時間) 事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと(2時間)	
第4回：モチベーション(1)(ICT・課題提出) 事前学習：授業前に「モチベーションの基本」について関連する本を読んでおくこと(2時間) 事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと(2時間)	
第5回：モチベーション(2)(ICT・課題提出) 事前学習：授業前に「モチベーションの基本」について関連する本を読んでおくこと(2時間) 事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと(2時間)	
第6回：ワークモチベーション(1)(ICT・課題提出) 事前学習：授業前に「ワークモチベーション」について調べておくこと(2時間) 事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと(2時間)	
第7回：ワークモチベーション(2)(ICT・課題提出) 事前学習：授業前に「ワークモチベーション」について関連する本を読んでおくこと(2時間) 事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと(2時間)	
第8回：職場のダイナミクス(ICT・課題提出) 事前学習：授業前に「職場集団」について調べておくこと(2時間) 事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと(2時間)	
第9回：職場集団の発達と葛藤(ICT・課題提出) 事前学習：授業前に「職場集団の発達と葛藤」について自分なりの意見をまとめておくこと(2時間) 事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと(2時間)	
第10回：職場のコミュニケーション(ICT・課題提出) 事前学習：授業前に「職場のコミュニケーション」について関連する本を読み、自分なりの意見をまとめておくこと(2時間) 事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと(2時間)	

- 第11回：リーダーシップ (ICT・課題提出)
 事前学習：授業前に「リーダーシップ」について実際の事例をさがしておくこと (2時間)
 事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと (2時間)
- 第12回：組織とストレス (ICT・課題提出)
 事前学習：授業前に「組織とストレス」について自分なりの意見をまとめておくこと (2時間)
 事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと (2時間)
- 第13回：職場のメンタルヘルス (ICT・課題提出)
 事前学習：授業前に「職場のメンタルヘルス」について関連する本を読んでおくこと (2時間)
 事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと (2時間)
- 第14回：ストレスとコーピング (ICT・課題提出)
 事前学習：授業前に「コーピング」について関連する本を読んでおくこと (2時間)
 事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと (2時間)
- 第15回：作業管理・安全管理・確認小テスト (ICT)
 事前学習：授業前に「作業管理・安全管理」についての本を読んでおくこと (2時間)
 事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと (2時間)
- 各回に関連する心理学的事象について講義前・講義後において理解を深めるよう努力すること。
 その際、関連論文・参考文献等講義内にて指示する

授業実施方法 (面接授業・遠隔授業)

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

授業中に実施する小テスト、課題レポート、授業への参加態度等を総合的に判断し評価する。
 【小テスト50% 課題・レポート40% 授業への参加態度10%】

成績評価基準

産業組織の中で働く人々の心理および行動について、説明および考察することができるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

適宜掲示・配布する。また、参考文献、関連文献を講義内で紹介する。

その他(受講上の注意)

最初にTeamsに登録すること。
 基本的に講義形式で行う。より理解を深めるために必要に応じてVTR視聴、自己分析、グループディスカッション、ゲームを実施する。その際、レポート課題の提出を求められることがある。

講義中にeラーニングシステムやgoogleフォーム等で回答を求め、受講者の実際の行動について即座に共有することがある。

回収後、結果についてスクリーンに呈示し、ディスカッションすることにより、講義内容と実際の行動についてリンクを試みる。その際、スマートフォン又はPCが必要となる (ipadの使用も可)。

よって、携帯持参、又はPCにより課題を閲覧、送信できるようにしておくことが必要。

回答時以外でのスマートフォンの利用は認められない。

使用を発見した場合、退出を願う場合がある。

トイレは授業前に済ませ、意味のない入退出が無いようにする事。

授業に15分以上遅れた場合欠席になることがある。

オ フ ィ ス ア ワ ー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

心理学特別講義 (Special Lecture on Psychology)			担当教員	稲木康一郎、大森 慈子、杉島 一郎、 竹村 明子、西村 則昭、水田 敏郎、 三脇 康生、目黒 達哉、森 俊之、 森本 文人、山本 雅代、吉水ちひろ、 渡辺 克徳、山岸 厚仁	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
PS-G-2239	2単位	2年前期	講義	必修	
<科目区分> 人間学部心理学科専門科目 基幹科目 心理学専門					
求める学習成果(教育目標)					
心理学の研究方法や基礎的知識を習得する。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input checked="" type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
心理学科の全教員が1回の持ち回りで講義を行うオムニバス形式の授業である。各専任教員が専門とする心理学の諸分野を解説する。	
授 業 の 到 達 目 標	
心理学の諸分野について理解を深める。様々なトピックスに触れる中で、心理学に対する関心を高める。	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ダイベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法	
<p>オリエンテーション(学科ガイダンス時に実施する)</p> <p>第1回：各教員が専門とする内容①稲木 康一郎 事前学習：関心のある心理学分野について調べておく(2時間) 事後学習：授業の内容を復習し、自分の興味・関心をまとめる(2時間)</p> <p>第2回：各教員が専門とする内容②大森 慈子 事前学習：関心のある心理学分野について調べておく(2時間) 事後学習：授業の内容を復習し、自分の興味・関心をまとめる(2時間)</p> <p>第3回：各教員が専門とする内容③杉島 一郎 事前学習：関心のある心理学分野について調べておく(2時間) 事後学習：授業の内容を復習し、自分の興味・関心をまとめる(2時間)</p> <p>第4回：各教員が専門とする内容④竹村 明子 事前学習：関心のある心理学分野について調べておく(2時間) 事後学習：授業の内容を復習し、自分の興味・関心をまとめる(2時間)</p> <p>第5回：各教員が専門とする内容⑤西村 則昭 事前学習：関心のある心理学分野について調べておく(2時間) 事後学習：授業の内容を復習し、自分の興味・関心をまとめる(2時間)</p> <p>第6回：各教員が専門とする内容⑥水田 敏郎 事前学習：関心のある心理学分野について調べておく(2時間) 事後学習：授業の内容を復習し、自分の興味・関心をまとめる(2時間)</p> <p>第7回：各教員が専門とする内容⑦三脇 康生 事前学習：関心のある心理学分野について調べておく(2時間) 事後学習：授業の内容を復習し、自分の興味・関心をまとめる(2時間)</p> <p>第8回：各教員が専門とする内容⑧目黒 達哉 事前学習：関心のある心理学分野について調べておく(2時間) 事後学習：授業の内容を復習し、自分の興味・関心をまとめる(2時間)</p> <p>第9回：各教員が専門とする内容⑨森 俊之 事前学習：関心のある心理学分野について調べておく(2時間) 事後学習：授業の内容を復習し、自分の興味・関心をまとめる(2時間)</p>	

- 第10回：各教員が専門とする内容⑩森本 文人
事前学習：関心のある心理学分野について調べておく（2時間）
事後学習：授業の内容を復習し、自分の興味・関心をまとめる（2時間）
- 第11回：各教員が専門とする内容⑪山岸 厚仁
事前学習：関心のある心理学分野について調べておく（2時間）
事後学習：授業の内容を復習し、自分の興味・関心をまとめる（2時間）
- 第12回：各教員が専門とする内容⑫山本 雅代
事前学習：関心のある心理学分野について調べておく（2時間）
事後学習：授業の内容を復習し、自分の興味・関心をまとめる（2時間）
- 第13回：各教員が専門とする内容⑬吉水 ちひろ
事前学習：関心のある心理学分野について調べておく（2時間）
事後学習：授業の内容を復習し、自分の興味・関心をまとめる（2時間）
- 第14回：各教員が専門とする内容⑭渡辺 克徳
事前学習：関心のある心理学分野について調べておく（2時間）
事後学習：授業の内容を復習し、自分の興味・関心をまとめる（2時間）
- 第15回：振り返りとこれからの学びについて
事前学習：関心のある心理学分野について調べておく（2時間）
事後学習：授業の内容を復習し、自分の興味・関心をまとめる（2時間）

*担当教員全員が一回ずつ担当する授業になる。担当者の順はオリエンテーション時に伝える。
毎回担当教員が変わるため、疑問や予め知っておきたい事項があるときには、時間外（オフィスアワーなど）を活用して、担当教員に質問などをするようにして、予習・復習をする。

授業実施方法（面接授業・遠隔授業）

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

小レポート（50%） 平常点（50%）
（毎回、授業後に小レポートを課す。平常点は授業への参加状況・受講態度などを総合して判断する。）

成績評価基準

各授業において担当教員の説明する心理学的トピックについて理解を深めることができたか。また、あわせて関心や疑問をもつことができたか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他（各回の担当教員による方法）
- 4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書

使用しない

その他（受講上の注意）

- ①3年生から始まるゼミ（心理学特別演習Ⅰ・Ⅱ）の担当教員や4年生の卒業研究のテーマを決めるうえで、重要な授業となります。週ごとに担当教員が変わるので、毎回出席してください。
- ②スケジュールに変更がある場合は、学科ガイダンス（オリエンテーション）にて説明し、心理学科掲示板に掲示するので必ず事前に確認して臨んでください。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

心理学キャリア演習 I			担当教員	大森 慈子、水田 敏郎	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
PS-OPI-2284	4単位	2年通年	演習	選択	
<科目区分> 人間学部心理学科専門科目 基幹科目 心理学専門					
求める学習成果(教育目標)					
心や人間関係に基づく諸問題に対する、客観的で論理的な思考力・判断力・表現力 人間の心理と問題に対する高い関心、解決して社会に貢献する意欲、協働して対処する主体的な態度					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
■自他の理解能力 ■コミュニケーション能力 ■情報収集・探索能力 ■社会・職業理解能力 ■役割把握・認識能力 ■計画実行能力 ■選択能力 ■課題解決能力					

授 業 の 内 容	
心理学の学びに関連するパネルや動画などの製作・制作活動を通じて、キャリア形成に必要な情報収集力、分析力、表現力、コミュニケーション力を中心に強化する。	
授 業 の 到 達 目 標	
キャリア形成に必要な情報収集力、分析力、表現力、コミュニケーション力を身につける。	
アクティブ・ラーニング	
■課題解決型学習 (PBL) ■討議 (ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) ■グループワーク (Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) ■発表・プレゼンテーション (Teams、Zoom等) □実習、フィールドワーク □実験、実技 □その他	
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法	
第1 - 2回：オリエンテーションーキャリア形成とは (大森・水田) ・ポートフォリオ作成 事前学習：授業前に予定されている内容について調べ、質問項目等をまとめておくこと (各2時間) 事後学習：講義内容・資料等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(各2時間)	
【*第3回以降は2クラスで実施 (各クラスを大森と水田がそれぞれ担当)】 第3 - 4回：心理学パネル製作①ー企画：テーマ設定とディスカッション 事前学習：授業前に予定されている内容について調べ、質問項目等をまとめておくこと (各2時間) 事後学習：講義内容・資料等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(各2時間)	
第5 - 6回：心理学パネル製作②ーテーマに関連する情報収集 事前学習：授業前に予定されている内容について調べ、質問項目等をまとめておくこと (各2時間) 事後学習：講義内容・資料等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(各2時間)	
第7 - 8回：心理学パネル製作③ープレゼンテーションと評価 事前学習：授業前に予定されている内容について調べ、質問項目等をまとめておくこと (各2時間) 事後学習：講義内容・資料等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(各2時間)	
第9 - 10回：心理学パネル製作④ーパネル製作 事前学習：授業前に予定されている内容について調べ、質問項目等をまとめておくこと (各2時間) 事後学習：講義内容・資料等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(各2時間)	
第11 - 12回：心理学パネル製作⑤ーパネル製作 事前学習：授業前に予定されている内容について調べ、質問項目等をまとめておくこと (各2時間) 事後学習：講義内容・資料等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(各2時間)	
第13 - 14回：心理学パネル製作⑥ーパネル製作 事前学習：授業前に予定されている内容について調べ、質問項目等をまとめておくこと (各2時間) 事後学習：講義内容・資料等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(各2時間)	

第15-16回：心理学領域映像制作①ー企画：テーマ設定とディスカッション 事前学習：授業前に予定されている内容について調べ、質問項目等をまとめておくこと（各2時間） 事後学習：講義内容・資料等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（各2時間）
第17-18回：心理学領域映像制作②ーテーマに関連する情報収集 事前学習：授業前に予定されている内容について調べ、質問項目等をまとめておくこと（各2時間） 事後学習：講義内容・資料等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（各2時間）
第19-20回：心理学領域映像制作③ープレゼンテーションと評価 事前学習：授業前に予定されている内容について調べ、質問項目等をまとめておくこと（各2時間） 事後学習：講義内容・資料等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（各2時間）
第21-22回：心理学領域映像制作④ー取材準備とリハーサル 事前学習：授業前に予定されている内容について調べ、質問項目等をまとめておくこと（各2時間） 事後学習：講義内容・資料等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（各2時間）
第23-24回：心理学領域映像制作⑤ー映像制作 事前学習：授業前に予定されている内容について調べ、質問項目等をまとめておくこと（各2時間） 事後学習：講義内容・資料等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（各2時間）
第25-26回：心理学領域映像制作⑥ー映像制作 事前学習：授業前に予定されている内容について調べ、質問項目等をまとめておくこと（各2時間） 事後学習：講義内容・資料等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（各2時間）
第27-28回：心理学領域映像制作⑦ー映像制作 事前学習：授業前に予定されている内容について調べ、質問項目等をまとめておくこと（各2時間） 事後学習：講義内容・資料等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（各2時間）
第29-30回：心理学領域映像制作⑧ー映像制作 事前学習：授業前に予定されている内容について調べ、質問項目等をまとめておくこと（各2時間） 事後学習：講義内容・資料等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（各2時間）

授業実施方法（面接授業・遠隔授業）

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

製作・制作物（50%）、平常点（50%）
平常点は、授業への参加状況や受講態度などを総合して判断します。

成績評価基準

キャリア形成に必要な情報収集力、分析力、表現力、コミュニケーション力を身につけることができたか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書

テキストは使用しない。
参考図書は、適宜紹介する。

その他(受講上の注意)

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

情報社会論 (Information and Society)			担当教員	安彦 智史	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-F-2207	2単位	2年前期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部コミュニケーション学科専門科目 基幹科目 コミュニケーション学基礎A群(理論)					
求める学習成果(教育目標)					
コミュニケーションに関する知識、言語やその他のコミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる基礎力を身につけます。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input checked="" type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input checked="" type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容					
<p>情報サービスは、ビジネスの形態に大きく影響を与えます。たとえば、ブログやマイクロブログの登場により、個々人が情報を発信する社会が実現されました。その流れに伴い、個々人が発生した生の声を解析・操作する口コミマーケティングやモバイル端末と拡張現実の組み合わせによる広告モデルなど、最新のサービスに合わせたアプローチが数多く提案されています。本講義では、様々な情報サービスを題材として、「最新の技術やサービスを知る」、「知った技術やサービスがどのようにビジネスで活用されているかを把握する」、「モデル事例(社会における課題)を紹介し、その課題に対してどのような技術やサービスが適用できるかを考える」の3つの流れを繰り返し実施します。このことにより、社会に出た際に、最新の技術の知識を持っているだけでなく、その知識をどのように活かせばよいかを学ぶ力を身につけさせることを目的とします。</p>					
授 業 の 到 達 目 標					
<p>情報社会のなかで、自分なりに課題を析出し、明らかにしていくための技術や知識を習得できている。 最新の技術やサービスを知り、知った技術やサービスをどのようにビジネスで活用できるかを提案できる。</p>					
アクティブ・ラーニング					
<input checked="" type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他					
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法					
<p>第1回：オリエンテーション 情報とは何か 事前学習：自身が生活する中で利用されている情報技術について調査する(2時間) 事後学習：多角的視点(数学的、文化的)から情報について調査し、理解を深める(2時間)</p> <p>第2回：情報コミュニケーションツールの最新事例の紹介 事前学習：前回の配布資料を復習し、学びを深める(2時間) 事後学習：配布資料を復習し、その他の事例について調査する(2時間)</p> <p>第3回：ビックデータとは何か 事前学習：前回の配布資料を復習し、学びを深める(2時間) 事後学習：配布資料を復習し、その他の事例について調査する(2時間)</p> <p>第4回：グループワーク①(情報コミュニケーションツールのビジネスコミュニケーションへの活用：ツールの選定) 事前学習：与えられた課題をグループで役割分担し、課題を進める(2時間) 事後学習：与えられた課題をグループで役割分担し、課題を進める(2時間)</p> <p>第5回：グループワーク②(情報コミュニケーションツールのビジネスコミュニケーションへの活用：ツールが利用されているサービスの収集) 事前学習：与えられた課題をグループで役割分担し、課題を進める(2時間) 事後学習：与えられた課題をグループで役割分担し、課題を進める(2時間)</p> <p>第6回：グループワーク③(情報コミュニケーションツールのビジネスコミュニケーションへの活用：各サービスの強みと弱みのまとめ) 事前学習：与えられた課題をグループで役割分担し、課題を進める(2時間) 事後学習：与えられた課題をグループで役割分担し、課題を進める(2時間)</p> <p>第7回：グループワーク④(情報コミュニケーションツールのビジネスコミュニケーションへの活用：発表用資料の作成) 事前学習：与えられた課題をグループで役割分担し、課題を進める(2時間) 事後学習：与えられた課題をグループで役割分担し、課題を進める(2時間)</p>					

<p>第8回：発表（情報コミュニケーション） 事前学習：与えられた課題をグループで役割分担し、課題を進める（2時間） 事後学習：グループで内省し、課題点をまとめる（2時間）</p> <p>第9回：グループ分け、情報社会と就活 事前学習：与えられた課題をグループで役割分担し、課題を進める（2時間） 事後学習：与えられた課題をグループで役割分担し、課題を進める（2時間）</p> <p>第10回：グループワーク①（企業を採点しよう～企画・立案～） 事前学習：与えられた課題をグループで役割分担し、課題を進める（2時間） 事後学習：与えられた課題をグループで役割分担し、課題を進める（2時間）</p> <p>第11回：グループワーク②（企業を採点しよう～調査～） 事前学習：与えられた課題をグループで役割分担し、課題を進める（2時間） 事後学習：与えられた課題をグループで役割分担し、課題を進める（2時間）</p> <p>第12回：グループワーク③（企業を採点しよう～ヒアリング・分析～） 事前学習：与えられた課題をグループで役割分担し、課題を進める（2時間） 事後学習：与えられた課題をグループで役割分担し、課題を進める（2時間）</p> <p>第13回：グループワーク④（企業を採点しよう～プレゼンテーション作成～） 事前学習：与えられた課題をグループで役割分担し、課題を進める（2時間） 事後学習：与えられた課題をグループで役割分担し、課題を進める（2時間）</p> <p>第14回：発表（情報社会と就活） 事前学習：与えられた課題をグループで役割分担し、課題を進める（2時間） 事後学習：グループで内省し、課題点をまとめる（2時間）</p> <p>第15回：外部講演（情報化社会を生き抜くために） 事後学習：講演内容について自分なりに解釈し、就職活動に活かす方法を検討する（2時間）</p>
授業実施方法（面接授業・遠隔授業）
原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。
成績評価方法
授業中のグループワークでの発言と各グループの発表（1グループ15分程度×2）の内容および日々の発言内容等を加味して総合的に評価する。 発表（50%）、平常点（50%）（平常点はディスカッションの参加度や発言内容を加味して総合的に判断する）
成績評価基準
最新の技術やサービスがどのようにビジネスで活用されているかを調査する力や、新しいビジネスを考案する知識を習得できているか。 グループワーク活動に積極的に貢献し、コミュニケーション力や論理的思考力を習得できているか。
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック
<p>1) 授業時の課題に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>3) 小レポートに対するフィードバックについて <input type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて <input type="checkbox"/>定期試験時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>5) その他 <input type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p>
実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
テキスト、参考図書
必要に応じて、プリントの配布、参考文献・テキストの指示などを行う。
その他（受講上の注意）
日々の議論を議事録にまとめることで成績を評価する。 グループワーク主体であるため、授業の出席は必須事項である。
オフィスアワー
UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

言語コミュニケーション論 (Verbal Communication)			担当教員	矢橋 知枝	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-F-2208	2単位	2年前期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部コミュニケーション学科専門科目 基幹科目 コミュニケーション学基礎A群(理論)					
求める学習成果(教育目標)					
コミュニケーションに関する知識、言語やその他のコミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる基礎力を身につけます。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input checked="" type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input checked="" type="checkbox"/> 選択能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
コミュニケーションにおける言語の役割について学ぶ。	
授 業 の 到 達 目 標	
円滑な人間関係を維持する上で、必要となる言語的要素について知識を得る。	
アクティブ・ラーニング	
<input checked="" type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法	
第1回：オリエンテーション 事前学習：事前に言語を用いたコミュニケーションについて、質問項目をまとめておくこと(2時間) 事後学習：授業で課された課題や分からないについて調べること(2時間)	
第2回：ことばと文化(ディスカッション) 事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと(2時間) 事後学習：授業で課された課題や分からないについて調べること(2時間)	
第3回：方言(1)(ディスカッション) 事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと(2時間) 事後学習：授業で課された課題や分からないについて調べること(2時間)	
第4回：方言(2)(ディスカッション) 事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと(2時間) 事後学習：授業で課された課題や分からないについて調べること(2時間)	
第5回：方言(3)(ディスカッション) 事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと(2時間) 事後学習：授業で課された課題や分からないについて調べること(2時間)	
第6回：呼称(1)(ディスカッション) 事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと(2時間) 事後学習：授業で課された課題や分からないについて調べること(2時間)	
第7回：呼称(2)(ディスカッション) 事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと(2時間) 事後学習：授業で課された課題や分からないについて調べること(2時間)	
第8回：呼称(3)(ディスカッション) 事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと(2時間) 事後学習：授業で課された課題や分からないについて、図書館で調べること(2時間)	
第9回：対人関係の親密化(1)(ディスカッション) 事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと(2時間) 事後学習：授業で課された課題や分からないについて調べること(2時間)	
第10回：対人関係の親密化(2)(ディスカッション) 事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと(2時間) 事後学習：授業で課された課題や分からないについて調べること(2時間)	

第11回：対人関係の親密化（3）（ディスカッション）

事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（2時間）

事後学習：授業で課された課題や分からないについて調べる（2時間）

第12回：自己開示（1）（ディスカッション）

事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（2時間）

事後学習：授業で課された課題や分からないについて調べる（2時間）

第13回：自己開示（2）（ディスカッション）

事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（2時間）

事後学習：授業で課された課題や分からないについて調べる（2時間）

第14回：自己開示（3）（ディスカッション）

事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（2時間）

事後学習：授業で課された課題や分からないについて調べる（2時間）

第15回：まとめ（ディスカッション）

事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（2時間）

事後学習：授業で課された課題や分からないについて調べる（2時間）

第16回：定期試験

予習として、各回に関連する資料を読み、あらかじめ疑問点を考えておくこと。また復習としては授業時の板書やハンドアウトに基づいて、各自のノートに授業内容をまとめておくこと。

授業実施方法（面接授業・遠隔授業）

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

定期試験（50%） 授業内レポート（30%） 平常点（20%）
（平常点は、課題・質問用紙の提出状況等を総合して判断します。）

成績評価基準

コミュニケーションにおいて、言語が果たす役割を説明することができるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書

渡邊淳子『＜改定版＞大学生のための論文・レポートの論理的な書き方』研究社 2022
その他、適宜プリントを配布する。

その他（受講上の注意）

- ・遅刻3回で欠席1回とみなす。
- ・遅刻した時間・授業を抜けた時間も成績評価で考慮する。
- ・必ず国語辞書（電子辞書可）を持参すること。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

簿記演習 a (Book Keeping Practice a)			担当教員	小川 慶	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-F-2215	2単位	2年前期	演習	選択	
<科目区分> 人間学部コミュニケーション学科専門科目 基幹科目 コミュニケーション学基礎B群 (スキル)					
求める学習成果(教育目標)					
コミュニケーションに関する知識、言語やその他のコミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる基礎力を身につけます。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input checked="" type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input checked="" type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
本講義では、財務情報の形成基盤となる簿記原理の基礎知識を修得することを目的とし、これを取り扱うものとする。また、本講義では、毎回の講義にて演習を行うものとする。	
授 業 の 到 達 目 標	
講義で扱った内容を理解し、仕訳や計算ができるようになることを到達目標と設定する。	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習 (PBL) <input type="checkbox"/> 討議 (ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク (Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション (Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (演習)	
授業の計画及び授業外の学習方法	
第1回：ガイダンス (講義の目的や今後の流れ、評価方法等についての説明) 事前学習：講義前にシラバスを読み、質問項目をまとめておく。(2時間) 事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。(2時間)	
第2回：簿記と会計 事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。(2時間) 事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。(2時間)	
第3回：取引と仕訳 事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。(2時間) 事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。(2時間)	
第4回：貸借対照表・損益計算書 事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。(2時間) 事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。(2時間)	
第5回：総合演習① 事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。(2時間) 事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。(2時間)	
第6回：現金・当座預金 事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。(2時間) 事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。(2時間)	
第7回：商品売買と付帯取引 事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。(2時間) 事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。(2時間)	
第8回：売掛金と買掛金、その他の債権債務 事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。(2時間) 事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。(2時間)	

第9回：総合演習②

事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。(2時間)

事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。(2時間)

第10回：約束手形と決済

事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。(2時間)

事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。(2時間)

第11回：為替手形

事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。(2時間)

事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。(2時間)

第12回：株式会社の資本

事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。(2時間)

事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。(2時間)

第13回：税金

事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。(2時間)

事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。(2時間)

第14回：総合演習③

事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。(2時間)

事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。(2時間)

第15回：総括

事前学習：これまでの講義で取り扱った単元を、事前に復習しておく。(2時間)

事後学習：講義全体を振り返り、質問した箇所や苦手箇所を抽出し、復習しておく。(2時間)

授業実施方法(面接授業・遠隔授業)

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

毎回の講義(総合演習含む)で実施する演習問題の成績(70%)と学習態度(講義への取り組み姿勢や受講態度等)(30%)を総合して判断する。

成績評価基準

- ・講義に積極的に取り組んでいるかどうか。
- ・講義で取り扱った内容を理解し、修得できているかどうか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

吉田康久『簿記会計基礎論』中央経済社. 2020.

その他(受講上の注意)

本科目の履修は、後期開講科目である「簿記演習b」の受講要件である。また、本科目は、3年次開講科目の「会計学a(原価計算論)」「会計学b(管理会計論)」「企業と制度(財務会計論)」の布石となる基盤科目である。よって、簿記・会計や、広く経営学に関心のある学生は、必ず履修しておくこと。

オ フ ィ ス ア ワ ー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

コミュニケーション学特別講義 (Special Lecture on Communication)			担当教員	加藤 優子、橋本 武志、矢橋 知枝、 安彦 智史、井上 寛、織田 暁子、 寺田 憲弘、M ハウカ、升田 法継、 小川 慶、禿 寿、Mクズィフ	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-A-2216	2単位	2年通年	講義	必修	
<科目区分> 人間学部コミュニケーション学科専門科目 基幹科目 コミュニケーション学専門					
求める学習成果(教育目標)					
国際化・情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成し、課題解決のための構想力と判断力を身につけるための専門性を身につけます。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input checked="" type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
コミュニケーション学科の教員が持ち回りで講義を行うオムニバス形式の授業である。各専任教員が専門とするコミュニケーション学の諸分野を解説する。	
授 業 の 到 達 目 標	
コミュニケーション学の諸分野について理解を深める。様々なトピックスに触れる中で、コミュニケーション学に対する関心を高める。	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ダイベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法	
<p>オリエンテーション(学科ガイダンス時に実施する)</p> <p>第1回:各教員が専門とする内容①(担当教員:矢橋) 事前学習:関心のあるコミュニケーション学分野について調べておく(2時間) 事後学習:授業の内容を復習し、自分の興味・関心をまとめる(2時間)</p> <p>第2回:各教員が専門とする内容②(担当教員:小川) 事前学習:関心のあるコミュニケーション学分野について調べておく(2時間) 事後学習:授業の内容を復習し、自分の興味・関心をまとめる(2時間)</p> <p>第3回:各教員が専門とする内容③(担当教員:禿) 事前学習:関心のあるコミュニケーション学分野について調べておく(2時間) 事後学習:授業の内容を復習し、自分の興味・関心をまとめる(2時間)</p> <p>第4回:各教員が専門とする内容④(担当教員:織田) 事前学習:関心のあるコミュニケーション学分野について調べておく(2時間) 事後学習:授業の内容を復習し、自分の興味・関心をまとめる(2時間)</p> <p>第5回:各教員が専門とする内容⑤(担当教員:加藤) 事前学習:関心のあるコミュニケーション学分野について調べておく(2時間) 事後学習:授業の内容を復習し、自分の興味・関心をまとめる(2時間)</p> <p>第6回:ゼミに関する内容① 学生プレゼンテーション(担当教員:2年生マネージャー) 事前学習:関心のあるコミュニケーション学分野について調べておく(2時間) 事後学習:授業の内容を復習し、自分の興味・関心をまとめる(2時間)</p> <p>第7回:各教員が専門とする内容⑥(担当教員:2年生マネージャー)(外部講師予定) 事前学習:関心のあるコミュニケーション学分野について調べておく(2時間) 事後学習:授業の内容を復習し、自分の興味・関心をまとめる(2時間)</p> <p>第8回:各教員が専門とする内容⑦(担当教員:橋本) 事前学習:関心のあるコミュニケーション学分野について調べておく(2時間) 事後学習:授業の内容を復習し、自分の興味・関心をまとめる(2時間)</p> <p>第9回:各教員が専門とする内容⑧(担当教員:安彦) 事前学習:関心のあるコミュニケーション学分野について調べておく(2時間) 事後学習:授業の内容を復習し、自分の興味・関心をまとめる(2時間)</p>	

<p>第10回：各教員が専門とする内容⑨（担当教員：クズヅフ） 事前学習：関心のあるコミュニケーション学分野について調べておく（2時間） 事後学習：授業の内容を復習し、自分の興味・関心をまとめる（2時間）</p> <p>第11回：各教員が専門とする内容⑩（担当教員：ハウカ） 事前学習：関心のあるコミュニケーション学分野について調べておく（2時間） 事後学習：授業の内容を復習し、自分の興味・関心をまとめる（2時間）</p> <p>第12回：各教員が専門とする内容⑪（担当教員：升田） 事前学習：関心のあるコミュニケーション学分野について調べておく（2時間） 事後学習：授業の内容を復習し、自分の興味・関心をまとめる（2時間）</p> <p>第13回：各教員が専門とする内容⑫（担当教員：寺田） 事前学習：関心のあるコミュニケーション学分野について調べておく（2時間） 事後学習：授業の内容を復習し、自分の興味・関心をまとめる（2時間）</p> <p>第14回：ゼミに関する内容② 教員プレゼンテーション（担当教員：2年生マネージャー） 事前学習：関心のあるコミュニケーション学分野について調べておく（2時間） 事後学習：授業の内容を復習し、自分の興味・関心をまとめる（2時間）</p> <p>第15回：各教員が専門とする内容⑬（担当教員：2年生マネージャー）（外部講師予定） 事前学習：関心のあるコミュニケーション学分野について調べておく（2時間） 事後学習：授業の内容を復習し、自分の興味・関心をまとめる（2時間）</p>
授業実施方法（面接授業・遠隔授業）
原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。
成績評価方法
小レポート・課題（60％） 平常点（40％） （毎回、授業後に小レポートまたは課題を課す。平常点は授業への参加状況・受講態度などを総合して判断する。）
成績評価基準
各授業において担当教員の説明するコミュニケーション学的トピックについて理解を深めることができたか。また、あわせて関心や疑問をもつことができたか。
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック
<p>1) 授業時の課題に対するフィードバックについて <input type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて <input type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>3) 小レポートに対するフィードバックについて <input type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input checked="" type="checkbox"/>その他（各回の担当教員による方法）</p> <p>4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて <input type="checkbox"/>定期試験時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>5) その他 <input type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p>
実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
テキスト、参考図書
なし
その他（受講上の注意）
<p>①スケジュールに変更がある場合は、学科ガイダンス（オリエンテーション）にて説明し、eラーニングに掲示するので必ず事前に確認して臨んでください。</p> <p>②3年生から始まるゼミ（コミュニケーション学特別演習Ⅰ・Ⅱ）の担当教員や4年生の卒業研究のテーマを決めるうえでも、重要な授業となります。週ごとに担当教員が変わるので、毎回出席してください。</p>
オフィスアワー
UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

地域経済論 (Regional Economics)			担当教員	山崎 茂雄	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-A-2218	2単位	2年前期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部コミュニケーション学科専門科目 基幹科目 コミュニケーション学専門					
求める学習成果(教育目標)					
私たちに最も身近な福井地域の現在、過去、そして未来像を学習することで、社会人として必要なコミュニケーション力の向上を目指します。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
■自他の理解能力		■コミュニケーション能力		■情報収集・探索能力	
□役割把握・認識能力		□計画実行能力		■社会・職業理解能力	
		□選択能力		■課題解決能力	

授 業 の 内 容	
<p>地域経済を考えると、今や観光が重要な位置を占めるに至っていることはいうまでもない。2010年代の観光を振り返ると、インバウンドを中心に観光は活況を呈し、地域経済にも大きな影響を及ぼした。やがて、2019年末に発生した新型コロナウイルス感染症の流行が事態を大きく急変させ、感染症の影響で世界的に景気は大きく後退した。知られるように、感染症の影響は甚大で、移動が厳しく制限され、観光業は極めて大きな打撃を受けるに至る。</p> <p>このように、2010年代の観光は激しい浮き沈みを経験した。一方で、LCC、OTA、民泊、プラットフォーム、シェアリングエコノミー、ライドシェア、自動運転車両、ダイナミック・プライシング等のビジネス形態が次々に出現し、普及した。また、ビジットジャパンキャンペーン、宿泊税、GO TOキャンペーンなどの観光に関連する政策が導入・推進されたのも、2010年代からパンデミックに至る期間である。こうした新たなビジネス形態、新規政策の登場は地域経済をどのように変化させ、今後の地域経済の発展に何をもたらすのか。</p> <p>本講義においては、かかる観光に関連する現象をつかみ取り、主に経済学の観点から理論を考察すると同時に、実証に向けた統計作成やデータ分析の方法を説明し、科学的なエビデンスに基づいた地域政策の形成や地域経済の発展と未来を受講生とともに考えていく。</p>	
授 業 の 到 達 目 標	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域経済論としての観光経済に関わる基礎概念、理論、データの分析手法などを理解を深める。 ・具体的に特定の都市や地域にかかる観光データを本講義で学んだ理論にあてはめ、分析する能力を養う。 	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input checked="" type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ダイアログ、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法	
<p>授業は、以下の通り行う。進捗状況によって変更もありうる。</p> <p>第1回：地域経済論が取り出す観光経済の意義と本講義の概要 事前学習：地域経済論としての観光経済には具体的にいかなる事象が存在するのか、調べておくこと(2時間) 事後学習：本講義で触れた内容について、まとめておくこと(2時間)</p> <p>第2回：留意すべき観光の特異性 事前学習：テキスト序章「観光経済学を学ぶにあたって」を予め読んでおくこと(2時間) 事後学習：観光の定義など、講義で学んだ定義や基礎的概念を整理しておくこと(2時間)</p> <p>第3回：基礎理論 事前学習：テキスト第I部第1章「需要分析」を予め読んでおくこと(2時間) 事後学習：観光の需要曲線や予算制約などの意味を正確に理解することに努めること(2時間)</p> <p>第4回：観光の産業・経済構造(ディスカッション) 事前学習：テキスト第2章「供給分析」を予め読んでおくこと(2時間) 事後学習：供給曲線や生産性・費用などの意味を理解し、分析できるように努めること(2時間)</p> <p>第5回：価格決定の背景と効果(ディスカッション) 事前学習：テキスト第3章「価格理論」を予め読んでおくこと(2時間) 事後学習：利潤最大化による価格決定、市場の形態、市場の確定、余剰分析、価格差別などの理解に努めること(2時間)</p>	

- 第6回：空間を越える取引ルール（ディスカッション）
 事前学習：テキスト第4章「仲介業」を予め読んでおくこと（2時間）
 事後学習：観光における仲介機能やマルチサイド・プラットフォームの価格設定等に関する把握に努めること（2時間）
- 第7回：変わりゆく「ステイ」の姿（ディスカッション）
 事前学習：テキスト第5章「宿泊施設・観光施設」を予め読んでおくこと（2時間）
 事後学習：宿泊産業や観光産業の現状、宿泊産業や観光産業の課題などに対する理解を確かなものとする（2時間）
- 第8回：経済学的視点からみる基本的性質（ディスカッション）
 事前学習：テキスト第6章「観光と交通」を予め読んでおくこと（2時間）
 事後学習：観光の重要なインフラとしての交通の意義やこれからの交通のあるべき姿について洞察を深めること（2時間）
- 第9回：地域へのインパクト分析（ディスカッション）
 事前学習：テキスト第7章「観光と地域振興」を予め読んでおくこと（2時間）
 事後学習：持続可能な観光に向けた展開や費用便益分析などのインパクト分析手法について理解を深めること（2時間）
- 第10回：負担と受益の制度設計（ディスカッション）
 事前学習：テキスト第8章「観光振興における財源」を予め読んでおくこと（2時間）
 事後学習：課税の方法、課税の公平性や効率性における論点とその評価について理解を確かなものにする（2時間）
- 第11回：数字で把握する旅行者の人数と消費
 事前学習：テキスト第9章「観光統計」を予め読んでおくこと（2時間）
 事後学習：旅行市場の主要指標、統計の作成の方法などの知見を深めること（2時間）
- 第12回：旅行消費と観光供給の全体像の記録
 事前学習：テキスト第10章「旅行・観光サテライト勘定」を予め読んでおくこと（2時間）
 事後学習：TSA指標の国際比較・産業間比較などについて理解を得ること（2時間）
- 第13回：都道府県ごとの観光実態の捉え方（ディスカッション）
 事前学習：テキスト第11章「地域の観光統計」を予め読んでおくこと（2時間）
 事後学習：地域の観光統計の現状と課題について認識を深めること（2時間）
- 第14回：経済波及効果の分析（ディスカッション）
 事前学習：テキスト第12章「産業連関分析」を予め読んでおくこと（2時間）
 事後学習：産業連関表の計算方法や必要なデータの捉え方、分析手法について具体的な地域経済との関係性のなかで考察できるようになること（2時間）
- 第15回：新型コロナウイルス感染症流行からの分析（ディスカッション）
 事前学習：テキスト終章「パンデミックと観光」を予め読んでおくこと（2時間）
 事後学習：需要供給の変化とパンデミック流行後の政策、需要喚起策の影響などについて、その分析手法を学ぶとともに、展望について考えること（2時間）

授業実施方法（面接授業・遠隔授業）

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

平常点40%および期末レポート60%

- ・出席点に加え、10分程度の小テストを予定している。
- ・期末レポートについては、指定課題に対して字数制限を課したレポート提出を求める。

成績評価基準

- ・地域経済論としての観光経済に関わる基礎概念、理論、データの分析手法などを理解を深めることができるか。
- ・具体的に特定の都市や地域にかかる観光データを本講義で学んだ理論にあてはめ、分析する能力を養うことができるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他（担当教員の研究室にて）
- 5) その他（ディスカッション・ディベートに対するフィードバックについて）
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)
テキスト、参考図書
テキスト 『観光経済学－理論とデータで学ぶ』 山崎茂雄編 有斐閣 2022年
その他(受講上の注意)
・ミクロ経済学の基礎知識が必要となるが、その前提として高等学校数学Ⅰ・ⅡBの事前学習または履修済であることが望ましい。
オフィスアワー
UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

公共政策 (Public Policy)			担当教員	竹内 直人	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-A-2219	2単位	2年前期	講義	選択	
＜科目区分＞ 人間学部コミュニケーション学科専門科目 基幹科目 コミュニケーション学基礎A群					
求める学習成果(教育目標)					
コミュニケーションに関する知識を修得し、異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる力を身につけます。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input checked="" type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input checked="" type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
今年度は越前市の総合計画に着目して公共政策を学びます。越前市の幹部職員の話を書くこと(講演)を出発点とし、手掛かりとして、公共政策の基礎理論を分かりやすく解説します。そのうえで、講演を基にグループ単位で自治体の課題解決を目的とした具体的政策をつくることに取り組みます。	
授 業 の 到 達 目 標	
自治体は多様な課題を効果的に解決するために総合計画をつくり、それに基づいて具体的な政策を進めています。自治体の総合計画から課題とその解決方法を学び、自分たちでも政策をつくることを目標とします。授業の最後につくった政策を市長に聞いていただき具体的なアドバイスをいただきます。	
アクティブ・ラーニング	
<input checked="" type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input checked="" type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input checked="" type="checkbox"/> その他(政策提案レポート(企画書)作成)	
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法	
第1回：自治体のしくみと政策 オリエンテーション 事前学習：教科書第2章・4章の予習(2時間) 事後学習：復習(2時間)	
第2回：自治体の課題 人口減少・少子高齢化の影響 事前学習：具体的課題を身の回りから探す(2時間) 事後学習：復習(2時間)	
第3回：自治体の課題と政策 都市と地方の課題(様々な課題を知る) 事前学習：配布資料の予習(2時間) 事後学習：復習(2時間)	
第4回：越前市の課題と政策 越前市総合計画の解説 事前学習：配布資料の予習(2時間) 事後学習：復習(2時間)	
第5回：越前市職員講義 越前市の課題と総合計画 事前学習：配布資料の予習(2時間) 事後学習：復習(2時間)	
第6回：政策課題研究(グループ研究) データを集める、アイデアを出す(KJ法) 事前学習：配布資料の予習(2時間) 事後学習：配布資料の復習(2時間)	

- 第7回：政策課題研究（グループ研究）
 仮説とロジック・ツリー、システム思考
 事前学習：配布資料の予習（2時間）
 事後学習：配布資料の復習（2時間）
- 第8回：政策課題研究（グループ研究）
 個別政策をつくる（1）
 事前学習：課題研究（2時間）
 事後学習：復習（2時間）
- 第9回：政策課題研究（グループ研究）
 個別政策をつくる（2）
 事前学習：課題研究（2時間）
 事後学習：復習（2時間）
 ミニレポート提出日
- 第10回：プレゼンテーションの技法
 事前学習：課題研究（2時間）
 事後学習：復習（2時間）
- 第11回：グループ発表
 政策をプレゼンテーションする（1）
 事前学習：プレゼンテーション準備（2時間）
 事後学習：プレゼンテーション反省（2時間）
- 第12回：グループ発表
 政策をプレゼンテーションする（2）
 事前学習：プレゼンテーション準備（2時間）
 事後学習：プレゼンテーション反省（2時間）
- 第13回：政策の最終チェック
 事前学習：政策案を考える（2時間）
 事後学習：政策案を考える（2時間）
- 第14回：政策提案（プレゼンテーション）
 市長に政策を提案する
 事前学習：政策案を考える（2時間）
 事後学習：政策案を考える（2時間）
- 第15回：最終講評
 グループ相互の講評
 事前学習：成功テント反省点
 事後学習：今後の課題

授業実施方法（面接授業・遠隔授業）

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

プレゼンテーション（50%）、レポート（30%）、平常点（20%）

成績評価基準

- ・自治体の多様な課題について具体的なテーマを選びグループで議論し、課題と解決策（政策）をPPT15枚程度にまとめることができるか。
- ・課題の分析及び政策の必要性と狙いについて2000字程度のレポートにまとめることができるか。
- ・解決策について、20分程度のプレゼンテーションを行い、聞き手に内容を分かりやすく伝えることができるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他（次回の授業においてポイントの説明を行う。）
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他（添削と評価を行い返却する。）
- 4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他（プレゼンテーションを試験に替える）
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)
テキスト、参考図書
北山俊哉・稲継裕昭 テキストブック地方自治(第3版)
その他(受講上の注意)
指定された教科書の章を事前に読んでおくこと。 グループ学習が中心となるので、欠席しないこと。 日ごろから新聞やニュースの関心をもつこと。 政策づくりの前提となる簡単なレポートの提出を求めます。
オフィスアワー
UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

簿記演習 b (Book Keeping Practice b)			担当教員	小川 慶	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-A-2220	2単位	2年後期	演習	選択	
<科目区分> 人間学部コミュニケーション学科専門科目 基幹科目 コミュニケーション学専門					
求める学習成果(教育目標)					
国際化・情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成し、課題解決のための構想力と判断力を身につけるための専門性を身につけます。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input checked="" type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input checked="" type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
本講義では、簿記演習aの内容を踏まえた上で、財務情報の形成基盤となる簿記原理の基礎知識を修得することを目的とし、これを取り扱うものとする。また、本講義では、毎回の講義にて演習を行うものとする。	
授 業 の 到 達 目 標	
講義で扱った内容を理解し、仕訳や計算ができるようになることを到達目標と設定する。	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習 (PBL) <input type="checkbox"/> 討議 (ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク (Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション (Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (演習)	
授業の計画及び授業外の学習方法	
第1回：ガイダンス (講義の目的や今後の流れ、評価方法等についての説明) 事前学習：講義前にシラバスを読み、質問項目をまとめておく。(2時間) 事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。(2時間)	
第2回：貸倒引当金と残高設定 事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。(2時間) 事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。(2時間)	
第3回：有形固定資産 事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。(2時間) 事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。(2時間)	
第4回：減価償却 事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。(2時間) 事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。(2時間)	
第5回：総合演習① 事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。(2時間) 事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。(2時間)	
第6回：有価証券の取得と評価替え 事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。(2時間) 事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。(2時間)	
第7回：繰延べ 事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。(2時間) 事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。(2時間)	
第8回：見越し 事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。(2時間) 事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。(2時間)	

- 第9回：現金過不足・引出金・消耗品・貯蔵品
 事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。(2時間)
 事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。(2時間)
- 第10回：総合演習②
 事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。(2時間)
 事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。(2時間)
- 第11回：決算(試算表の作成)
 事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。(2時間)
 事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。(2時間)
- 第12回：決算(決算整理)
 事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。(2時間)
 事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。(2時間)
- 第13回：決算(精算表の作成)
 事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。(2時間)
 事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。(2時間)
- 第14回：総合演習③
 事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。(2時間)
 事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。(2時間)
- 第15回：総括
 事前学習：これまでの講義で取り扱った単元を、事前に復習しておく。(2時間)
 事後学習：講義全体を振り返り、質問した箇所や苦手箇所を抽出し、復習しておく。(2時間)

授業実施方法(面接授業・遠隔授業)

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

毎回の講義(総合演習含む)で実施する演習問題の成績(70%)と学習態度(講義への取り組み姿勢や受講態度等)(30%)を総合して判断する。

成績評価基準

- ・講義に積極的に取り組んでいるかどうか。
- ・講義で取り扱った内容を理解し、修得できているかどうか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

吉田康久『簿記会計基礎論』中央経済社. 2020.

その他(受講上の注意)

本科目は、前期開講科目の「簿記演習a」に連なる科目であるため、これを修得していることを前提に講義を進める。また、本科目は、3年次開講科目の「会計学a(原価計算論)」「会計学b(管理会計論)」「企業と制度(財務会計論)」の布石となる基盤科目である。よって、簿記・会計や、広く経営学に関心のある学生は、必ず履修しておくこと。

オ フ ィ ス ア ワ ー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

社会調査法 (Social Research Methods)			担当教員	織田 暁子	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-A-2224	2単位	2年前期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部コミュニケーション学科専門科目 基幹科目 コミュニケーション学専門					
求める学習成果(教育目標)					
コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input checked="" type="checkbox"/> 選択能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
<p>社会調査によって資料やデータを収集し、分析しうる形にまで整理していく具体的な方法を解説する。調査目的と調査方法、調査方法の決め方、調査企画と設計、仮説構成、全数調査と標本調査、無作為抽出、標本数と誤差、サンプリングの諸方法、質問文・調査票の作り方、調査の実施方法(調査票の配布・回収法、調査データの整理など)を学ぶ。</p>	
授 業 の 到 達 目 標	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 調査票調査の手順を理解する。 ・ 調査票調査におけるデータ収集法の違いについて理解する。 ・ 適切な質問と回答選択肢を作成するための方法を習得する。 ・ 無作為抽出の意義を理解する。 	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ダイバート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input checked="" type="checkbox"/> その他(模擬調査およびパソコンを用いた演習)	
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法	
<p>第1回：オリエンテーション 事前学習：テキストの第1章を読み、疑問点をまとめておく(2時間) 事後学習：授業内容およびテキストを復習する(2時間)</p> <p>第2回：調査方法の選択 事前学習：テキストの第2章を読み、疑問点をまとめておく(2時間) 事後学習：授業内容およびテキストを復習する(2時間)</p> <p>第3回：アンケート調査の進め方(1) リサーチクエスション、仮説を構成する 事前学習：テキストの第3章を読み、疑問点をまとめておく(2時間) 事後学習：授業内容およびテキストを復習する(2時間)</p> <p>第4回：アンケート調査の進め方(2) 調査の企画 事前学習：テキストの第4章(前半)を読み、疑問点をまとめておく(2時間) 事後学習：授業内容およびテキストを復習する(2時間)</p> <p>第5回：調査票作成の基礎(1) 仮説と質問項目 事前学習：テキストの第4章(後半)を読み、疑問点をまとめておく(2時間) 事後学習：授業内容およびテキストを復習する(2時間)</p> <p>第6回：調査票作成の基礎(2) ワーディング 事前学習：テキストの第6章(前半)を読み、疑問点をまとめておく(2時間) 事後学習：授業内容およびテキストを復習する(2時間)</p> <p>第7回：調査票作成の基礎(3) 質問文の形式と選択肢の構成 事前学習：テキストの第6章(後半)を読み、疑問点をまとめておく(2時間) 事後学習：授業内容およびテキストを復習する(2時間)</p> <p>第8回：サンプリング(1) ランダム・サンプリングがなぜ必要か 事前学習：テキストの第7章(前半)を読み、疑問点をまとめておく(2時間) 事後学習：授業内容およびテキストを復習する(2時間)</p>	

<p>第9回：サンプリング(2) サンプリングと調査票の配布から回収まで 事前学習：テキストの第7章(後半)を読み、疑問点をまとめておく(2時間) 事後学習：授業内容およびテキストを復習する(2時間)</p> <p>第10回：模擬調査 事前学習：テキストの第8章を読み、疑問点をまとめておく(2時間) 事後学習：授業内容およびテキストを復習する(2時間)</p> <p>第11回：調査データの作成(1) エディティング, コーディング 事前学習：テキストの第9章(前半)を読み、疑問点をまとめておく(2時間) 事後学習：授業内容およびテキストを復習する(2時間)</p> <p>第12回：調査データの作成(2) データ入力, データクリーニング 事前学習：テキストの9章(後半)を読み、疑問点をまとめておく(2時間) 事後学習：授業内容およびテキストを復習する(2時間)</p> <p>第13回：データ分析(1) 記述統計 事前学習：テキストの第10章を読み、疑問点をまとめておく(2時間) 事後学習：授業内容およびテキストを復習する(2時間)</p> <p>第14回：データ分析(2) クロス表分析 事前学習：テキストの第12章を読み、疑問点をまとめておく(2時間) 事後学習：授業内容およびテキストを復習する(2時間)</p> <p>第15回：報告書の作成 事前学習：テキストの13章を読み、疑問点をまとめておく(2時間) 事後学習：授業内容およびテキストを復習する(2時間)</p> <p>第16回：定期試験</p>
授業実施方法(面接授業・遠隔授業)
原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。
成績評価方法
・定期試験(40%) ・課題提出・受講態度(60%)
成績評価基準
・調査票調査の手順を理解できているか。 ・調査票調査におけるデータ収集法の違いについて理解できているか。 ・適切な質問と回答選択肢を作成するための方法を習得しているか。 ・無作為抽出の意義を理解できているか。
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック
<p>1) 授業時の課題に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/>授業時 <input checked="" type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて <input type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>3) 小レポートに対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて <input type="checkbox"/>定期試験時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>5) その他 <input type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p>
実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)
テキスト、参考図書
『入門・社会調査法』(第四版) 轟・杉野編 法律文化社 2021年
その他(受講上の注意)
この授業は、一般社団法人社会調査協会が認定する、社会調査士資格認定科目【B】〔調査設計と実施方法に関する科目〕に相当する。
オフィスアワー
UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

情報システム論 (Information Systems)			担当教員	安彦 智史	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-A-2225	2単位	2年前期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部コミュニケーション学科専門科目 基幹科目 コミュニケーション学専門					
求める学習成果(教育目標)					
国際化・情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成し、課題解決のための構想力と判断力を身につけるための専門性を身につけます。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input checked="" type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
<p>情報システムを支える基盤技術(データベース、ネットワーク、セキュリティ、認証など)の概念と原理を現実社会の例と照らし合わせて学ぶ。 講義の内容によっては座学だけでなく、ディスカッション等も取り入れる場合がある。</p>	
授 業 の 到 達 目 標	
<p>情報システムに関する知識を習得した上で、利用者、導入者、管理者、開発者等の様々な視点から情報システムを分析し、提案できる能力を身に着ける。</p>	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input checked="" type="checkbox"/> その他(スマホを用いた実習・課題)	
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法	
<p>第1回：チュートリアル 情報とは何か 事前学習：シラバスを読み、質問項目をまとめておくこと(2時間) 事後学習：第1回授業資料を読み、課題を提出すること(2時間)</p> <p>第2回：データの種類と拡張子について、コンピュータの特徴 事前学習：第1回授業資料を読み、質問項目をまとめておくこと(2時間) 事後学習：第2回授業資料を読み、課題を提出すること(2時間)</p> <p>第3回：高度情報化社会とコンピュータ 事前学習：第2回授業資料を読み、質問項目をまとめておくこと(2時間) 事後学習：第3回授業資料を読み、課題を提出すること(2時間)</p> <p>第4回：コンピュータの仕組みと5大機能 事前学習：第3回授業資料を読み、質問項目をまとめておくこと(2時間) 事後学習：第4回授業資料を読み、課題を提出すること(2時間)</p> <p>第5回：第1回から第4回のまとめ 事前学習：第1回から第4回までの授業資料を読み、質問項目をまとめておくこと(2時間) 事後学習：第1回から第4回までの授業資料を読み、復習を行うこと(2時間)</p> <p>第6回：情報の計算 事前学習：期末テストに向けて前回までの範囲をまとめること(2時間) 事後学習：第6回授業資料を読み、課題を提出すること(2時間)</p> <p>第7回：情報の表現 事前学習：第6回授業資料を読み、質問項目をまとめておくこと(2時間) 事後学習：第7回授業資料を読み、課題を提出すること(2時間)</p> <p>第8回：ネットワークをつなぐ 事前学習：第7回授業資料を読み、質問項目をまとめておくこと(2時間) 事後学習：第8回授業資料を読み、課題を提出すること(2時間)</p> <p>第9回：ネチケットとインターネットの落とし穴 事前学習：第8回授業資料を読み、質問項目をまとめておくこと(2時間) 事後学習：第9回授業資料を読み、課題を提出すること(2時間)</p>	

第10回：第6回目から第9回目計算問題まとめ 事前学習：第6回から第9回までの授業資料を読み、質問項目をまとめておくこと（2時間） 事後学習：第6回から第9回までの授業資料を読み、復習を行うこと（2時間）
第11回：福祉と情報、プログラミング思考 事前学習：期末テストに向けて前回までの範囲を復習すること（2時間） 事後学習：第11回授業資料を読み、課題を提出すること（2時間）
第12回：情報システムにおけるアルゴリズム 事前学習：第11回授業資料を読み、質問項目をまとめておくこと（2時間） 事後学習：第12回授業資料を読み、課題を提出すること（2時間）
第13回：フローチャートの記述（実習） 事前学習：第12回授業資料を読み、質問項目をまとめておくこと（2時間） 事後学習：第13回授業資料を読み、課題を提出すること（2時間）
第14回：AIおよびその実社会へのデータ活用について 事前学習：第13回授業資料を読み、質問項目をまとめておくこと（2時間） 事後学習：第14回授業資料を読み、課題を提出すること（2時間）
第15回：デザイン思考について 事前学習：第14回授業資料を読み、質問項目をまとめておくこと（2時間） 事後学習：第15回授業資料を読み、課題を提出すること（2時間）
第16回：定期試験 この授業では、非常に多くの関連する用語について、その意味などを理解する必要があるため、情報関連の用語事典なども参考にすること。

授業実施方法（面接授業・遠隔授業）

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

定期試験による結果を50%、小テスト・復習課題の結果を50%とする。

成績評価基準

情報システムの仕組みやネットワーク、コンピュータ、それらを制御する基盤技術について理解し、説明できているかを評価の基準とする。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書

授業は自作スライドを中心に行う。特定のテキストは指定しないが、参考図書については講義中に適宜紹介する。

その他（受講上の注意）

真摯に学ぶ学生に対して、悪影響を与える学生には、単位を与えない。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

観光社会論 (Tourism and Society)			担当教員	寺田 憲弘	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-A-2226	2単位	2年後期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部コミュニケーション学科専門科目 基幹科目 コミュニケーション学専門					
求める学習成果(教育目標)					
コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
<p>本講義では、「観光」という現象を理解するために必要な知識の枠組みを主に社会学・文化人類学の観点から学びます。また地域と観光の関係について、事例を通じて考えを深めます。</p> <p>なお、本科目は国連が定める「持続可能な開発目標(SDGs)」に向けて地域の社会的課題に取り組むSDGs関連科目です</p>	
授 業 の 到 達 目 標	
<ul style="list-style-type: none"> ・観光に関する理論、概念を踏まえ、観光現象を論じることができる ・自ら必要なデータを収集し、事実に基づいた議論ができるようになる ・コミュニケーション・ツールを活用し、グループワークを運営できる 	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法	
<p>第1回：オリエンテーション 観光の定義 事前学習：授業前にシラバスを読み、質問項目をまとめておくこと(2時間) 事後学習：e-learningを通しての小レポートの提出(2時間)</p> <p>第2回：観光の要素と構造——ホストとゲスト 事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと(2時間) 事後学習：e-learningを通しての小レポートの提出(2時間)</p> <p>第3回：通過儀礼と巡礼——コミュニティ 事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと(2時間) 事後学習：e-learningを通しての小レポートの提出(2時間)</p> <p>第4回：近代観光の誕生——労働と余暇 事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと(2時間) 事後学習：e-learningを通しての小レポートの提出(2時間)</p> <p>第5回：文化財制度と観光——ナショナリズムと科学 事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：e-learningを通しての小レポートの提出(2時間)</p> <p>第6回：産業化と観光——鉄道と創られた伝統 事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：e-learningを通しての小レポートの提出(2時間)</p> <p>第7回：帝国主義と観光——オリエンタリズム 事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)</p> <p>第8回：文化と観光——文化の商品化 事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)</p> <p>第9回：町おこしとしての観光(1)——観光政策の変遷 事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：e-learningを通しての小レポートの提出(2時間)</p>	

<p>第10回：町おこしとしての観光（2）——町並み観光と消費社会 事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、調査項目をまとめておくこと。（2時間） 事後学習：e-learningを通しての小レポートの提出（2時間）</p> <p>第11回：新たな観光（1）——グリーンツーリズム 事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間） 事後学習：e-learningを通しての小レポートの提出（2時間）</p> <p>第12回：新たな観光（2）——エコツーリズム 事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間） 事後学習：e-learningを通しての小レポートの提出（2時間）</p> <p>第13回：情報化社会と観光（1）聖地巡礼 事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間） 事後学習：e-learningを通しての小レポートの提出（2時間）</p> <p>第14回：情報化社会と観光（2）SNS 事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと（2時間） 事後学習：e-learningを通しての小レポートの提出（2時間）</p> <p>第15回：まとめ 事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと（2時間） 事後学習：e-learningを通しての小レポートの提出（2時間）</p>
授業実施方法（面接授業・遠隔授業）
原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。
成績評価方法
平常点（授業毎に e-learningを通して小レポートを課します）（50%）最終レポート（50%） 平常点は「出席点」ではないことに注意すること。
成績評価基準
<ul style="list-style-type: none"> ・観光に関する理論・概念などを正確に理解できたか ・観光現象における複数の立場を理解できたか ・各種統計や観察データをもとに観光現象を論じることができたか
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック
<p>1) 授業時の課題に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>3) 小レポートに対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input checked="" type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて <input type="checkbox"/>定期試験時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input checked="" type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>5) その他（ディスカッションなどに対するフィードバックについて） <input type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input checked="" type="checkbox"/>その他（担当教員の研究室（E104B）を訪れるか、オンラインコミュニケーションツール（Teams）を用いて）</p>
実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
テキスト、参考図書
<p>参考図書：田中滋・寺田憲弘編 『聖地・熊野と世界遺産——宗教・観光・国土開発の社会学——』（晃陽書房）</p> <p>参考図書：田中滋 編 『都市の憧れ、農村の戸惑い』（晃洋書房）</p>
その他（受講上の注意）
<ul style="list-style-type: none"> ・受講者の理解度により講義内容を変更することがあります ・固定メンバーによるグループワークがあるため、責任ある受講を求めます
オフィスアワー
UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

多文化共生論 (Studies of Multicultural Societies)			担当教員	加藤 優子	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-A-2227	2単位	2年前期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部コミュニケーション学科専門科目 基幹科目 コミュニケーション学専門					
求める学習成果(教育目標)					
国際化・情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成し、課題解決のための構想力と判断力を身につけるための専門性を身につけます。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
■自他の理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力		■コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力		■情報収集・探索能力 <input type="checkbox"/> 選択能力	
				■社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 課題解決能力	

授 業 の 内 容	
多文化共生という視点における各国の現状や政策に触れ、多文化化する社会のありようについて考える。講義では主に英国・米国・日本の事例を紹介する。	
授 業 の 到 達 目 標	
<ul style="list-style-type: none"> ・主に英国・米国・日本の現状について、多文化共生という視点から理解を深める。 ・日本の多文化共生社会のありようについて考える力を身につける。 ・上記の事柄に関し、調べ学習を通して理解を深める。 	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ダイバート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 ■その他(事前の調べ学習)	
授業の計画及び授業外の学習方法	
<p>第1回：オリエンテーション 事前学習：参考文献に目を通すこと。(2時間) 事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)</p> <p>第2回：英国の移民の歴史 事前学習：授業で扱うテーマについて、図書館で調べておくこと。(2時間) 事後学習：復習をすること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)</p> <p>第3回：英国の移民の特徴 事前学習：授業で扱うテーマについて、図書館で調べておくこと。(2時間) 事後学習：復習をすること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)</p> <p>第4回：英国の移民政策 事前学習：授業で扱うテーマについて、図書館で調べておくこと。(2時間) 事後学習：復習をすること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)</p> <p>第5回：英国の教育政策 事前学習：授業で扱うテーマについて、図書館で調べておくこと。(2時間) 事後学習：復習をすること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)</p> <p>第6回：価値観の教育 事前学習：授業で扱うテーマについて、図書館で調べておくこと。(2時間) 事後学習：復習をすること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)</p> <p>第7回：英国の多文化の現状 事前学習：授業で扱うテーマについて、図書館で調べておくこと。(2時間) 事後学習：復習をすること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)</p>	

第8回：移民との摩擦問題

事前学習：授業で扱うテーマについて、図書館で調べておくこと。（2時間）

事後学習：復習をすること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）

第9回：米国の移民の歴史

事前学習：授業で扱うテーマについて、図書館で調べておくこと。（2時間）

事後学習：復習をすること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）

第10回：米国の移民の特徴

事前学習：授業で扱うテーマについて、図書館で調べておくこと。（2時間）

事後学習：復習をすること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）

第11回：米国の“人種”問題

事前学習：授業で扱うテーマについて、図書館で調べておくこと。（2時間）

事後学習：復習をすること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）

第12回：差別の構造

事前学習：授業で扱うテーマについて、図書館で調べておくこと。（2時間）

事後学習：復習をすること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）

第13回：日本の移民の歴史と教育政策

事前学習：授業で扱うテーマについて、図書館で調べておくこと。（2時間）

事後学習：復習をすること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）

第14回：日本の多文化共生について考える

事前学習：授業で扱うテーマについて、図書館で調べておくこと。（2時間）

事後学習：復習をすること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）

第15回：まとめ

事前学習：授業で課された課題について、レポートをまとめておくこと。（2時間）

事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）

授業実施方法（面接授業・遠隔授業）

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

期末レポート（20%）、授業内小テスト（70%）、平常点（10%）

平常点は、授業の受講態度、質問用紙の提出状況等を総合して判断する。

成績評価基準

- ・主に英国・米国・日本の現状を、多文化共生という視点から理解を深めることができたか。
- ・日本の多文化共生社会のありようについて考える力が身についたか。
- ・上記の事柄に関し、調べ学習を通して理解を深めることができたか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

1) 授業時の課題に対するフィードバックについて

■授業時 仁大eラーニング メール その他

2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて

授業時 仁大eラーニング メール その他

3) 小レポートに対するフィードバックについて

授業時 仁大eラーニング メール その他

4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて

定期試験時 仁大eラーニング メール その他

5) その他

授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書

テキストは使用しない。

【参考図書】

佐久間孝正 (2011) 『移民大国イギリスの実験』 勁草書房
貴堂嘉之 (2018) 『移民国家アメリカの歴史』 岩波新書
永吉希久子 (2020) 『移民と日本社会』 中公新書

その他(受講上の注意)

本講義を受ける前に、「異文化理解a」「異文化理解b」の単位を取得すること。
5分以上20分未満の遅刻3回で欠席1回とみなす。
20分以上の遅刻は欠席とみなす。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

検定英語入門 (Basic Skills in English Proficiency Tests)			担当教員	矢橋 知枝	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-A-2229	2単位	2年後期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部コミュニケーション学科専門科目 基幹科目 コミュニケーション学専門					
求める学習成果(教育目標)					
国際化・情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成し、課題解決のための構想力と判断力を身につけるための専門性を身につけます。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input checked="" type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input checked="" type="checkbox"/> 計画実行能力 <input checked="" type="checkbox"/> 選択能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
英語検定試験(実用英語検定・観光英語検定等)の出題形式・解答技術への理解を深めると同時に、リスニングおよびリーディングを中心とした英語学習の基礎固めを行う。	
授 業 の 到 達 目 標	
実用英語検定2級レベルのリスニング力およびリーディング力を獲得する。	
アクティブ・ラーニング	
<input checked="" type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input checked="" type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授業の計画及び授業外の学習方法	
第1回：オリエンテーション 事前学習：事前にテキストを読み、自習用音声を用いて予習すること(2時間) 事後学習：テキスト等の見直しを行い、自習用音声を用いて復習すること(2時間)	
第2回：Lesson 1 リーディング【1】短文の語句空所補充問題 / リスニング【第1部】(会話文)(ディスカッション) 事前学習：事前にテキストを読み、自習用音声を用いて予習すること(2時間) 事後学習：テキスト等の見直しを行い、自習用音声を用いて復習すること(2時間)	
第3回：Lesson 1 リーディング【2】長文の語句空所補充問題 / リスニング【第2部】(物語文、説明文)(ディスカッション) 事前学習：事前にテキストを読み、自習用音声を用いて予習すること(2時間) 事後学習：テキスト等の見直しを行い、自習用音声を用いて復習すること(2時間)	
第4回：Lesson 2 リーディング【1】短文の語句空所補充問題 / リスニング【第1部】(会話文)(ディスカッション) 事前学習：事前にテキストを読み、自習用音声を用いて予習すること(2時間) 事後学習：テキスト等の見直しを行い、自習用音声を用いて復習すること(2時間)	
第5回：Lesson 2 リーディング【3A】長文の内容一致選択問題(Eメール) / リスニング【第2部】(物語文、説明文)(ディスカッション) 事前学習：事前にテキストを読み、自習用音声を用いて予習すること(2時間) 事後学習：テキスト等の見直しを行い、自習用音声を用いて復習すること(2時間)	
第6回：Lesson 3 リーディング【1】短文の語句空所補充問題 / リスニング【第1部】(会話文)(ディスカッション) 事前学習：事前にテキストを読み、自習用音声を用いて予習すること(2時間) 事後学習：テキスト等の見直しを行い、自習用音声を用いて復習すること(2時間)	
第7回：Lesson 3 リーディング【3B】長文の内容一致選択問題 / リスニング【第2部】(物語文、説明文)(ディスカッション) 事前学習：事前にテキストを読み、自習用音声を用いて予習すること(2時間) 事後学習：テキスト等の見直しを行い、自習用音声を用いて復習すること(2時間)	
第8回：Lesson 4 リーディング【1】短文の語句空所補充問題 / リスニング【第1部】(会話文)(ディスカッション) 事前学習：事前にテキストを読み、自習用音声を用いて予習すること(2時間) 事後学習：テキスト等の見直しを行い、自習用音声を用いて復習すること(2時間)	

- 第9回：Lesson 4 リーディング【3C】長文の内容一致選択問題 / リスニング【第2部】(物語文、説明文)
(ディスカッション)
事前学習：事前にテキストを読み、自習用音声を用いて予習すること(2時間)
事後学習：テキスト等の見直しを行い、自習用音声を用いて復習すること(2時間)
- 第10回：Lesson 5 リーディング【1】短文の語句空所補充問題 / リスニング【第1部】(会話文)(ディスカッション)
事前学習：事前にテキストを読み、自習用音声を用いて予習すること(2時間)
事後学習：テキスト等の見直しを行い、自習用音声を用いて復習すること(2時間)
- 第11回：Lesson 5 リーディング【2】長文の語句空所補充問題 / リスニング【第2部】(物語文、説明文)
(ディスカッション)
事前学習：事前にテキストを読み、自習用音声を用いて予習すること(2時間)
事後学習：テキスト等の見直しを行い、自習用音声を用いて復習すること(2時間)
- 第12回：Lesson 6 リーディング【1】短文の語句空所補充問題【3A】長文の内容一致選択問題(Eメール) /
リスニング【第1部】(会話文)【第2部】(物語文、説明文)(ディスカッション)
事前学習：事前にテキストを読み、自習用音声を用いて予習すること(2時間)
事後学習：テキスト等の見直しを行い、自習用音声を用いて復習すること(2時間)
- 第13回：Lesson 7 リーディング【1】短文の語句空所補充問題【3B】長文の内容一致選択問題 / リスニング
【第1部】(会話文)【第2部】(物語文、説明文)(ディスカッション)
事前学習：事前にテキストを読み、自習用音声を用いて予習すること(2時間)
事後学習：テキスト等の見直しを行い、自習用音声を用いて復習すること(2時間)
- 第14回：Lesson 8 リーディング【1】短文の語句空所補充問題【3C】長文の内容一致選択問題 / リスニング
【第1部】(会話文)【第2部】(物語文、説明文)(ディスカッション)
事前学習：事前にテキストを読み、自習用音声を用いて予習すること(2時間)
事後学習：テキスト等の見直しを行い、自習用音声を用いて復習すること(2時間)
- 第15回：まとめ
事前学習：事前にテキストを読み、自習用音声を用いて予習すること(2時間)
事後学習：テキスト等の見直しを行い、自習用音声を用いて復習すること(2時間)

- ・英語教育センター主催のTOEIC IPを受験する。
- ・実用英語検定もしくは観光英語検定を受験する。
- ・予習として、教科書の各回に関連する頁を読み、あらかじめ辞書で未知語を調べておく。また復習としては授業時の板書やハンドアウトに基づいて、各自のノートに授業内容をまとめておく。

授業実施方法(面接授業・遠隔授業)

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

授業課題(50%) 授業レポート(30%) 平常点(20%)
(平常点は、授業への参加状況・受講態度、提出物の提出状況等を総合して判断します。)

成績評価基準

実用英語検定2級レベルに関わる語彙・文法・解答技術を習得したか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

今村洋美 他 『英検2級マスターコース リニューアル問題対応』 2017年 金星堂
また、必要に応じて適宜ハンドアウトを配布する。

その他(受講上の注意)

- ・ 実用英語検定2級以上の合格者は受講せず、学務課で単位認定を受ける。
- ・ 遅刻3回で欠席1回とみなす。
- ・ 遅刻した時間・授業を抜けた時間も成績評価で考慮する。
- ・ 必ず英和辞書(電子辞書可)を持参する。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

プロジェクト・デザイン I (Project Design I)			担当教員	野尻 昌明	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-B-2241	2単位	2年通年	演習	選択	
<科目区分> 人間学部コミュニケーション学科専門科目 応用科目 ビジネスコース					
求める学習成果(教育目標)					
企画力・マネジメント力の向上を通して、組織・地域・社会の課題の解決に向けて主体的に取り組む力を育成します。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
■自他の理解能力		■コミュニケーション能力		■情報収集・探索能力	
■役割把握・認識能力		■計画実行能力		■社会・職業理解能力	
		■選択能力		■課題解決能力	

授 業 の 内 容	
2年生～4年生の3年間という長期的展望に立って、年度を重ねながら最終的に学年を超えたコラボレーションでプロジェクトを生み出し、実社会に貢献する授業に育てていく。プロジェクトはチーム単位で学内外の諸課題の解決に取り組み、学生自らが主体的にアイデアを出し、目標・計画を立て、実行し、評価し、改善・革新していく。	
授 業 の 到 達 目 標	
学生自ら授業・プロジェクトを生み出し、展開していけること。学生相互に学び合うだけでなく、異なるプロジェクトの間で学び合い、多様な学生・プロジェクトが触発しあいながら、次年度の授業・プロジェクトに向けた基盤・展望・意欲が形成できること。	
アクティブ・ラーニング	
■課題解決型学習(PBL) ■討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) ■グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) ■発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) □実習、フィールドワーク □実験、実技 ■その他(プロジェクトチームによるクリエイティブワーク)	
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法	
第1回：オリエンテーション、前年度実績のプレゼンテーション、プロジェクトデザインについての理解 事前学習：提案したい企画内容をまとめておく(2時間) 事後学習：チームメンバーと交流し、互いの得意な領域を確認しておく(2時間)	
第2回：企画内容、実施計画の検討、企画プロデュースの理解 事前学習：企画内容、実施計画についてのグループ討議ができるようにアイデアをまとめておく(2時間) 事後学習：企画の立案、修正を行う(2時間)	
第3回：既存の行政・組織・企業プロジェクトの課題を考察し実社会の実務を理解 企画書作成についてのブレインストーミング 事前学習：プレゼンテーションの事前準備をする(2時間) 事後学習：フィードバックの結果に沿って、実施計画書を加筆修正する(2時間)	
第4回：プロジェクトの実施準備(学内・企業)/スケジュール・品質管理、制作サポートについて理解 クリエイティブチーム編成(プロデューサー、ディレクター、プランナー、ライター、デザイナー、マーケッターなど) 事前学習：企画に必要な知識・技術を習得しておく(2時間) 事後学習：進捗を確認し、遅延がないように準備をすすめる(2時間)	
第5回：プロジェクトの選択(学内・企業)～制作①/スケジュール・品質管理、制作サポート(グループワーク) 事前学習：企画に必要な知識・技術を習得しておく(2時間) 事後学習：進捗を確認し、遅延がないように準備をすすめる(2時間)	
第6回：プロジェクトの制作②/記録(グループワーク) 事前学習：実施当日の計画を確認しておく(2時間) 事後学習：実施結果について、反省をまとめておく(2時間)	
第7回：プロジェクトの制作③評価、改善 事前学習：実施結果の評価および改善策について、グループ討議ができるようにアイデアをまとめておく(2時間) 事後学習：企画を改善する(2時間)	

- 第8回：プロジェクトの制作④
プロジェクトの改善・修正 2年基礎①内部レビュー（グループワーク）
事前学習：レビューのための事前準備をする（2時間）
事後学習：レビューの結果に沿って、実施計画書を加筆修正し、承認されるレベルに仕上げる（2時間）
- 第9回：プロジェクトの制作⑤
実施計画書のプロデュース、改善・修正 2年基礎②内部レビュー（グループワーク）
事前学習：レビューのための事前準備をする（2時間）
事後学習：レビューの結果に沿って、実施計画書を加筆修正し、承認されるレベルに仕上げる（2時間）
- 第10回：プロジェクトの実施準備①（グループワーク）
報告会準備・改善
事前学習：企画に必要な知識・技術を習得しておく（2時間）
事後学習：最終チェックをして完成度を高める（2時間）
- 第11回：プロジェクトの実施準備②（グループワーク）
報告会準備・改善
事前学習：実施当日の計画を確認しておく（2時間）
事後学習：実施結果について、反省をまとめておく（2時間）
- 第12回：全体報告会 基礎班（発表）
2年生より報告および質疑応答を行います。
事前学習：報告会の事前準備をする（2時間）
事後学習：報告会をふりかえり、次年度への継続準備をすすめる（2時間）
- 第13回：全体報告会 演習班 2年・3年・4年 合同授業（発表）
3年生からの報告および質疑応答を行います。
事前学習：報告会をまとめる（2時間）
事後学習：要点をチェックして次年度の参照資料として準備を行う（2時間）
- 第14回：全体報告会 研究班 2年・3年・4年 合同授業（発表）
4年生からの報告および質疑応答を行います。
事前学習：報告会をまとめる（2時間）
事後学習：要点をチェックして次年度の参照資料として準備を行う（2時間）
- 第15回：プロジェクトの報告授業 全体を通しての振り返りを行い、授業と学びを総括します。（発表）
事前学習：年間の学びをまとめる（2時間）
事後学習：フィードバックの結果に沿って、報告書やポスターを最終修正し、次年度の基礎班参照資料として掲示・保存をする（2時間）

授業実施方法（面接授業・遠隔授業）

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

課題に対する取組み内容・提出物（50%）、平常点（50%）
平常点は、授業への参加状況、受講態度等を総合して判断する。

成績評価基準

- ・プロジェクトを生み出し、展開できているか。
- ・プロジェクトチームに貢献できているか、また、プロジェクトチームとして成果がでているか。
- ・プロジェクトの進め方（基本）について説明することができるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書
特に使用しない。参考となる資料は必要に応じて配布する。
その他(受講上の注意)
一貫してチーム編成にて作業を進行する。価値観の違いを面白がり、触発しあい、生み出しあう姿勢を持つこと。授業の進捗に応じて柔軟に内容を変更していく。詳細説明は第1回に行うので、必ず出席すること。
オフィスアワー
UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

メディア・コミュニケーション論 (Study of Media Communication)			担当教員	升田 法継	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-BS-2250	2単位	2年前期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部コミュニケーション学科専門科目 応用科目 ビジネスコース					
求める学習成果(教育目標)					
企画力・マネジメント力の向上を通して、組織・地域・社会の課題の解決に向けて主体的に取り組む力を育成します。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
■自他の理解能力		■コミュニケーション能力		■情報収集・探索能力	
■役割把握・認識能力		□計画実行能力		□社会・職業理解能力	
		■選択能力		□課題解決能力	

授 業 の 内 容	
<p>情報社会と呼ばれる今日では、様々なメディアが私たちの生活に深く入り込み、日常のコミュニケーションを通じて社会のあり様を大きく変えている。授業では、情報が溢れかえる時代において、物事の本質を問う力、考える力、および表現する力の向上を狙いとする。</p>	
授 業 の 到 達 目 標	
<ul style="list-style-type: none"> ・メディア理論に関して、その要諦と社会的意味の位置づけを説明することができる。 ・メディアと社会の変容について分析することができる。また、自身の意見をもち考えを述べることができる。 	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法	
<p>第1回：メディア・コミュニケーションとは 事前学習：メディアの意味・役割について意見交換をするため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)</p> <p>第2回：メディア・リテラシーⅠ 事前学習：メディア・リテラシーについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)</p> <p>第3回：メディア・リテラシーⅡ 事前学習：前回に続きメディア・リテラシーについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)</p> <p>第4回：メディア・リテラシーⅢ 事前学習：前回に続きメディア・リテラシーについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)</p> <p>第5回：新聞と社会の変容 事前学習：新聞と社会の変容について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：授業で課されたマトリクスについて、レポートにまとめておくこと。(2時間)</p> <p>第6回：新聞Ⅰ(グループワーク) 事前学習：「新聞」について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：授業で課されたマトリクスについて、レポートにまとめておくこと。(2時間)</p> <p>第7回：新聞Ⅱ(グループワーク・発表) 事前学習：前回に続き「新聞」について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：授業で課されたマトリクスについて、レポートにまとめておくこと。(2時間)</p>	

第8回：紙のメディアⅠ（グループワーク） 事前学習：紙のメディアについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間） 事後学習：授業で課されたマトリクスについて、レポートにまとめておくこと。（2時間）
第9回：紙のメディアⅡ（グループワーク） 事前学習：前回に続き紙のメディアについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間） 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第10回：紙のメディアⅢ（発表） 事前学習：前回に続き紙のメディアについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間） 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第11回：聴覚メディア 事前学習：聴覚メディアと社会の変容について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間） 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第12回：視覚メディア 事前学習：視覚メディアと社会の変容について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間） 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第13回：ニューメディア 事前学習：ニューメディアと社会の変容について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間） 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第14回：地域メディア 事前学習：地域メディアによる情報発信について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間） 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第15回：まとめ 事前学習：授業全体の振り返りおよび確認問題に取り組むので、これまでの授業内容を確認しておくこと。（2時間） 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）

授業実施方法（面接授業・遠隔授業）

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

課題に対する活動内容・提出物・レポート（70%）、平常点（30%）
※平常点：授業への参加状況・受講態度等を総合して判断

成績評価基準

- ・メディア理論に関して、その要諦と社会的意味の位置づけを説明することができるか。
- ・メディアと社会の変容について分析することができるか。また、自身の意見をもち考えを述べることができるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他（リアクションペーパーに対するフィードバックについて）
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

元情報通信会社管理職(社員数:26万人、主な担当業務:人事、社長・取締役秘書、マーケティング、新規ビジネス開発、システム コンサルタント等)

情報通信会社において、システム コンサルタント経験もある教員が、メディア理論の要諦と社会的意味の位置づけ及びメディアと社会の変容について解説する。

テキスト、参考図書

必用に応じて、授業中に提示します。

その他(受講上の注意)

「授業の計画」は、進捗や学生の反応・理解度に応じて、変更する場合があります。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

ライティング技法 (Writing Strategies)			担当教員	野尻 昌明	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-B-2251	2単位	2年後期	演習	選択	
<科目区分> 人間学部コミュニケーション学科専門科目 応用科目 ビジネスコース					
求める学習成果(教育目標)					
企画力・マネジメント力の向上を通して、組織・地域・社会の課題の解決に向けて主体的に取り組む力を育成します。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
■自他の理解能力 □役割把握・認識能力		■コミュニケーション能力 □計画実行能力		■情報収集・探索能力 ■課題解決能力	
				■社会・職業理解能力 □選択能力	

授 業 の 内 容	
メディアにおけるコピーライティングの違いを検証。各メディア特性を確認しながらメディア(ライティング)を制作し効果を学ぶ。 コピーライティングを通じて、最終的に就職・仕事に直結する企画提案書(プレゼンテーション)を制作できる執筆能力を身につける。	
授 業 の 到 達 目 標	
プロポーザル方式に勝ち残る企画提案書のライティング能力を身につける。 地域社会、企業、組織に貢献する文章構成能力を身につける。	
アクティブ・ラーニング	
■課題解決型学習(PBL) ■討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) ■グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) ■発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) □実習、フィールドワーク □実験、実技 □その他	
授業の計画及び授業外の学習方法	
第1回：コミュニケーションとコピーライティング 事前学習：コミュニケーションツールとしてのコピー(広告用の言葉・フレーズ・惹句)について理解しておくこと。(2時間) 事後学習：授業中に示された各種コピーについてのメモをレポート化しておくこと。(2時間)	
第2回：コピーライティング概論(新聞・TV・ポスター・web・各種) 事前学習：授業前に各媒体から興味のあるクリエイティブ作品を選択、記録しておく。(2時間) 事後学習：授業後、媒体特性を理解し選択したクリエイティブ作品についての分析を行う。(2時間)	
第3回：コピーライティングの制作実践 事前学習：前回与えられた課題について、複数のキャッチコピーと説明を用意しておく。(2時間) 事後学習：授業中制作したコピーについて、再度ブラッシュアップする。(2時間)	
第4回：作品の評価・ミーティング 事前学習：選択したコピーについての十分な説明を準備しておく。(2時間) 事後学習：評価されたコピーについてさらにブラッシュアップを行う。(2時間)	
第5回：コンセプトの必要性(クライアント設定～制作～効果) 事前学習：予告されたクライアントについてのコンセプト(企業・地域・広報等)を準備しておく。(2時間) 事後学習：学習したブラッシュアップ法によって、コンセプトを再度確認する。(2時間)	
第6回：設定クライアント(製品)①におけるミーティング(グループワーク) 事前学習：設定クライアントについての予備知識を用意しておく。(2時間) 事後学習：設定クライアントに類似した表現方法を書籍、資料などで調査する。(2時間)	
第7回：制作実践(課題1/コンセプトライティング) 事前学習：設定クライアントがコピーを必要とする理由・目的を分析しておく。(2時間) 事後学習：設定したコンセプトが正しいかどうかを、クライアント確認とともに精査する。(2時間)	
第8回：制作実践(課題1/キャッチコピーライティング) 事前学習：前回与えられた課題について、複数のキャッチコピーと説明を用意しておく。(2時間) 事後学習：授業中制作したコピーについて、再度ブラッシュアップする。(2時間)	
第9回：制作実践(課題1/ボディコピーライティング) 事前学習：前回与えられた課題について、複数のボディコピーと説明を用意しておく。(2時間) 事後学習：授業中制作したコピーについて、再度ブラッシュアップする。(2時間)	

<p>第10回：制作実践（課題1/ライティング発表） 事前学習：選択したコピーについての十分な説明を準備しておく。（2時間） 事後学習：評価されたコピーについてさらにブラッシュアップを行う。（2時間）</p> <p>第11回：設定クライアント（製品）②におけるミーティング（グループワーク） 事前学習：設定クライアントについての予備知識を用意しておく。（2時間） 事後学習：設定クライアントに類似した表現方法を書籍、資料などで調査する。（2時間）</p> <p>第12回：制作実践（課題2/コンセプトライティング） 事前学習：設定クライアントがコピーを必要とする理由・目的を分析しておく。（2時間） 事後学習：設定クライアントに類似した表現方法を書籍、資料などで調査する。（2時間）</p> <p>第13回：制作実践（課題2/キャッチコピー&ボディライティング） 事前学習：与えられた課題について、複数のキャッチ&ボディコピーと説明を用意しておく。（2時間） 事後学習：授業中制作したコピーについて、再度ブラッシュアップする。（2時間）</p> <p>第14回：制作実践（課題1～2についての総合企画書） 事前学習：課題1～2についてのプロセスを考慮しながら、企画骨子をまとめておく。（2時間） 事後学習：指定された企画シートに沿って内容をまとめる。（2時間）</p> <p>第15回：課題1～2における企画プレゼンテーション制作準備（プレゼンテーション・発表） 事前学習：総括した企画を1枚のシートにまとめる。（2時間） 事後学習：担当教員とのディスカッション後、プレゼンテーションツールを作成しておく。（2時間）</p> <p>第16回：最終試験</p> <p>（※受講者数・状況により変更の場合あり）</p>
授業実施方法（面接授業・遠隔授業）
原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。
成績評価方法
課題に対する活動評価・提出物・定期試験（60%）平常点（40%） 平常点は、授業への参加状況、受講態度等を総合して判断する。
成績評価基準
メディアを利用しての実践的制作プロセス（ライティング・コンセプトメイキング・企画）のスケジュール把握とデジタルツールへの効果的・効率的な情報運用。 コミュニケーションメディアに関する企画力・制作能力を高めることができているか。 コミュニケーションの目的とする各種ベクトルを把握しながら、正しい表現能力を会得することができているか。
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック
1) 授業時の課題に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/> 授業時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/> 授業時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 3) 小レポートに対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/> 授業時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/> 定期試験時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 5) その他 <input type="checkbox"/> 授業時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他
実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
・経歴 （クリエイティブディレクター） ・実務経験と授業内容との関連性 （クリエイティブディレクターとしての業務経験を有する教員が、各メディアにおけるコピーライティングの技法について演習を行う。）
テキスト、参考図書
使用しない
その他（受講上の注意）
他者の学ぶ時間を奪ったり、学ぶ姿勢を阻害するような行動に対しては厳しく対処します。各自、講義を通じて問題意識を醸成してください。

オ フ ィ ス ア ワ ー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

メディア・デザイン I a (Media Design I a)			担当教員	吉村 正照	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-B-2252	2単位	2年後期	演習	選択	
<科目区分> 人間学部コミュニケーション学科専門科目 応用科目 ビジネスコース					
求める学習成果(教育目標)					
企画力・マネジメント力の向上を通して、組織・地域・社会の課題の解決に向けて主体的に取り組む力を育成します。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input checked="" type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input checked="" type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
映像表現を用いたコミュニケーション方法について、知識・技術の基礎を身に付ける。メディア(テレビ、ウェブ等)や目的(PV、CM等)に応じた映像表現の基本ルールの理解と平行して、コンピュータのアプリケーションを用いた映像表現の技法を習得していく。	
授 業 の 到 達 目 標	
現在において動画コンテンツが有効とされている理由を理解する。映像表現の基本ルール・手法について理解する。コンピュータを用いた映像表現の技法を習得する。映像表現を駆使してコミュニケーションを生み出す能力を身に付ける。	
アクティブ・ラーニング	
<input checked="" type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法	
第1回：授業概要、制作ツールの紹介(実習) 事前学習(2時間)教科書を読む 事後学習(2時間)制作者の視点で映像をみるようにする 第2回：映像の原理、時間操作、カットつなぎ、ストップモーションアニメーション(実習、グループワーク) 事前学習(2時間)教科書を読む 事後学習(2時間)学んだ技法を試す 第3回：撮影の基本：カメラの設定、構図、カメラワーク、撮影実習(実習、グループワーク)※雨天時は他の回と入れ替える 事前学習(2時間)教科書を読む 事後学習(2時間)学んだ技法を試す 第4回：制作ツール Adobe Premiere Pro の基本操作：画面の操作、素材の読み込み。カットをつなぐ(実習) 事前学習(2時間)教科書を読む 事後学習(2時間)学んだ技法を試す 第5回：カットつなぎにおける様々な技法(実習) 事前学習(2時間)教科書を読む 事後学習(2時間)学んだ技法を試す 第6回：テロップのデザイン(実習) 事前学習(2時間)教科書を読む 事後学習(2時間)学んだ技法を試す 第7回：音の効果と補正(実習) 事前学習(2時間)教科書を読む 事後学習(2時間)学んだ手法を試す 第8回：ナレーションの追加(実習) 事前学習(2時間)教科書を読む 事後学習(2時間)学んだ手法を試す 第9回：企画、絵コンテ(実習) 事前学習(2時間)教科書を読む 事後学習(2時間)学んだ技法を試す	

<p>第10回：練習課題① 企画、撮影（実習、グループワーク） 事前学習（2時間）企画を練り、絵コンテにまとめる 事後学習（2時間）撮影作業を完了する</p> <p>第11回：練習課題② 編集（実習） 事前学習（2時間）編集技法を復習する 事後学習（2時間）編集作業を完了する</p> <p>第12回：練習課題③ プレゼンテーション（グループワーク、発表） 事前学習（2時間）プレゼンテーションを準備をする 事後学習（2時間）グループでレビューを行い、作品の完成度を高める</p> <p>第13回：最終課題① 企画・撮影（課題解決型学習、フィールドワーク） 事前学習（2時間）企画を練り、絵コンテにまとめる 事後学習（2時間）撮影作業を完了する</p> <p>第14回：最終課題② 編集（課題解決型学習、実習） 事前学習（2時間）編集技法を復習する 事後学習（2時間）編集作業を完了し、eラーニングに提出する</p> <p>第15回：最終課題③ プレゼンテーション（課題解決型学習、発表） 事前学習（2時間）プレゼンテーションを準備をする 事後学習（2時間）作品の完成度を高め、eラーニングに提出する</p>
授業実施方法（面接授業・遠隔授業）
原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。
成績評価方法
期末課題作品（40%） 授業毎の作品（30%） 授業毎の小テスト・レポート（30%）
成績評価基準
<ul style="list-style-type: none"> ・制作ツールの扱い方を理解し、速く正確に作業ができたか。 ・映像表現の基本を理解し活用できたか、 ・目的や対象を想定し、観る人の側に立った映像表現ができたか。 ・映像表現の意図を言語化して説明できたか。
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック
<p>1) 授業時の課題に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/>授業時 <input checked="" type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/>授業時 <input checked="" type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>3) 小レポートに対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/>授業時 <input checked="" type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて <input type="checkbox"/>定期試験時 <input checked="" type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>5) その他 <input type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p>
実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
<ul style="list-style-type: none"> ・経歴 （WEBデザイナー） ・実務経験と授業内容との関連性 （WEBデザイナーとしての業務経験を有する教員が、映像表現の技法について演習を行う。）
テキスト、参考図書
<p>テキスト：Rec Plus「センスがUPする 動画編集の教科書」ビー・エヌ・エヌ、2023年 参考図書：授業内で紹介する</p>
その他（受講上の注意）
授業を欠席した場合は、eラーニングにて授業内容を確認し次回の授業までに課題を提出してください。技術を習得するためには反復練習が欠かせません。短時間でも構わないので、1～2日に一度は制作ツールにふれるようにしましょう。
オフィスアワー
UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

メディア・デザイン I b (Media Design I b)			担当教員	吉村 正照	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-B-2253	2単位	2年後期	演習	選択	
<科目区分> 人間学部コミュニケーション学科専門科目 応用科目 ビジネスコース					
求める学習成果(教育目標)					
企画力・マネジメント力の向上を通して、組織・地域・社会の課題の解決に向けて主体的に取り組む力を育成します。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input checked="" type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input checked="" type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
ウェブメディアにおけるコミュニケーション方法について、知識・技術の基礎を身に付ける。ウェブメディアの理解と共に、UIデザインの技法(情報設計、プロトタイプング)やHTML/CSSによるWebページ制作の技法を習得していく。	
授 業 の 到 達 目 標	
現在におけるウェブメディアの役割を理解する。ウェブサイトの構築手法および技法を習得する。ウェブを介してコミュニケーションを生み出す能力を身に付ける。	
アクティブ・ラーニング	
<input checked="" type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法	
第1回：授業概要、制作ツールの紹介(実習) 事前学習(2時間) 普段の生活でよく利用するウェブサイトを10個ピックアップする 事後学習(2時間) 練習用の制作環境を整える 第2回：情報設計、ワイヤーフレーム(実習) 事前学習(2時間) 配布資料を読む 事後学習(2時間) 学んだ技法を試す 第3回：UIパーツの作成(実習) 事前学習(2時間) 配布資料を読む 事後学習(2時間) 学んだ技法を試す 第4回：UIパーツのレイアウト(実習) 事前学習(2時間) 配布資料を読む 事後学習(2時間) 学んだ技法を試す 第5回：色スタイル・文字スタイルの管理、UIパーツの管理(実習) 事前学習(2時間) 配布資料を読む 事後学習(2時間) 学んだ技法を試す 第6回：レスポンシブデザイン(実習) 事前学習(2時間) 配布資料を読む 事後学習(2時間) 学んだ技法を試す 第7回：コードエディタやWebブラウザの基本操作、Webページで扱う画像の形式(実習) 事前学習(2時間) 配布資料を読む 事後学習(2時間) コードエディタの使い方を復習する 第8回：HTMLの書き方① 見出し、本文、リンク、メディアの埋め込み(実習) 事前学習(2時間) 配布資料を読む 事後学習(2時間) コードの書き方を復習する 第9回：HTMLの書き方② ヘッダー、フッター、ナビゲーション、セクション、リスト、表、フォーム(実習) 事前学習(2時間) 配布資料を読む 事後学習(2時間) コードの書き方を復習する 第10回：CSSの書き方① 文字、色(実習) 事前学習(2時間) 配布資料を読む 事後学習(2時間) コードの書き方を復習する	

- 第11回：CSSの書き方② ボックスモデル（実習）
事前学習（2時間）配布資料を読む
事後学習（2時間）コードの書き方を復習する
- 第12回：CSSの書き方③ レイアウト（実習）
事前学習（2時間）配布資料を読む
事後学習（2時間）コードの書き方を復習する
- 第13回：CSSの書き方④ メディアクエリ（実習）
事前学習（2時間）配布資料を読む
事後学習（2時間）コードの書き方を復習する
- 第14回：最終課題① Webページ制作（課題解決型学習、実習）
事前学習（2時間）最終課題について先行事例を調査する
事後学習（2時間）期日までに課題作品を完成し、eラーニングに提出する
- 第15回：最終課題② プレゼンテーション（課題解決型学習、発表）
事前学習（2時間）プレゼンテーションを準備をする
事後学習（2時間）作品の完成度を高め、eラーニングに提出する

授業実施方法（面接授業・遠隔授業）

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

期末課題作品（40%） 授業毎の作品（30%） 授業毎の小テスト・レポート（30%）

成績評価基準

- ・制作ツールの扱い方を理解し、速く正確に作業ができたか。
- ・UIデザインの基本を理解し活用できたか、
- ・目的や対象を想定し、観る人の側に立ったUIデザインができたか。
- ・UIデザインの意図を言語化して説明できたか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

- ・経歴
(WEBデザイナー)
- ・実務経験と授業内容との関連性
(WEBデザイナーとしての業務経験を有する教員が、WEBサイト制作の技法について演習を行う。)

テキスト、参考図書

テキスト：使用しない
参考図書：授業内で紹介する

その他（受講上の注意）

授業を欠席した場合は、eラーニングにて授業内容を確認し次回の授業までに課題を提出してください。技術を習得するためには反復練習が欠かせません。短時間でも構わないので、1～2日に一度は制作ツールにふれるようにしましょう。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

統計学 a (Statistics a)			担当教員	織田 暁子	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-S-2256	2 単位	2 年前期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部コミュニケーション学科専門科目 応用科目 社会・文化コース					
求める学習成果(教育目標)					
コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input checked="" type="checkbox"/> 選択能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
この講義では、量的なデータを読み、正しく理解するために必要な統計学の知識について、基礎から説明していく。単純集計、度数分布、代表値、クロス集計などの記述統計データの読み方や、グラフの読み方、また、それらの計算や作成のしかた、さまざまな質的データの読み方と基本的なまとめ方を学ぶことで、官庁統計や簡単な調査報告・フィールドワーク論文を読めるようにする。	
授 業 の 到 達 目 標	
<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて、官庁統計を探し、それを読みこなせるようになる。 ・基礎的な統計量について理解できるようになる。 ・データをグラフなどを用いて要約できるようになる。 	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input checked="" type="checkbox"/> その他(パソコンを用いた演習)	
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法	
第1回：オリエンテーション 事前学習：テキストの第1章を読み、疑問点などをまとめておく(2時間) 事後学習：授業内容を復習する(2時間) 第2回：統計データとはなにか 事前学習：テキストの第2章を読み、疑問点などをまとめておく(2時間) 事後学習：授業内容を復習する(2時間) 第3回：統計データの入手方法 官庁統計を利用する 事前学習：テキストの第3章を読み、疑問点などをまとめておく(2時間) 事後学習：授業内容を復習し、テキストの第3章の「課題」に取り組む(2時間) 第4回：統計データの読み方(1) 単純集計・度数分布 事前学習：テキストの第4章を読み、疑問点などをまとめておく(2時間) 事後学習：授業内容を復習し、テキストの第4章の「課題」に取り組む(2時間) 第5回：統計データの読み方(2) 基本統計量：代表値・分散・標準偏差 事前学習：テキストの第5章を読み、疑問点などをまとめておく(2時間) 事後学習：授業内容を復習し、テキストの第5章の「課題」に取り組む(2時間) 第6回：小テスト 事前学習：これまでの授業で学んだ内容について復習する(2時間) 事後学習：これまでの授業で学んだ内容について復習する(2時間) 第7回：統計データをグラフにする(1) 円グラフ、棒グラフ、折れ線グラフ 事前学習：テキストの第7章(前半)を読み、疑問点などをまとめておく(2時間) 事後学習：授業内容を復習し、テキストの第7章の「課題」に取り組む(2時間) 第8回：統計データをグラフにする(2) ヒストグラム、散布図 事前学習：テキストの第7章(後半)を読み、疑問点などをまとめておく(2時間) 事後学習：授業内容を復習し、テキストの第7章の「課題」に取り組む(2時間) 第9回：関連性を探る(1) 相関係数 事前学習：テキストの第8章を読み、疑問点などをまとめておく(2時間) 事後学習：授業内容を復習し、テキストの第8章の「課題」に取り組む(2時間)	

<p>第10回：関連性を探る（2） クロス集計表 事前学習：テキストの第11章を読み、疑問点などをまとめておく（2時間） 事後学習：授業内容を復習し、テキストの第11章の「課題」に取り組む（2時間）</p> <p>第11回：関連性を探る（3） クロス集計表 事前学習：テキストの第12章を読み、疑問点などをまとめておく（2時間） 事後学習：授業内容を復習し、テキストの第12章の「課題」に取り組む（2時間）</p> <p>第12回：小テスト 事前学習：これまでの授業で学んだパソコンの操作法について復習する（2時間） 事後学習：これまでの授業で学んだ内容について復習する（2時間）</p> <p>第13回：相関係数と因果関係 みかけの相関に騙されないために 事前学習：テキストの第10章を読み、疑問点などをまとめておく（2時間） 事後学習：授業内容を復習し、テキストの第10章の「課題」に取り組む（2時間）</p> <p>第14回：質的データのまとめ方 事前学習：テキストの第13章を読み、疑問点などをまとめておく（2時間） 事後学習：授業内容を復習し、テキストの第13章の「課題」に取り組む（2時間）</p> <p>第15回：まとめ 事前学習：テキストの第14章を読み、疑問点などをまとめておく（2時間） 事後学習：授業内容を復習し、テキストの第14章の「課題」に取り組む（2時間）</p> <p>第16回：定期試験</p>
授業実施方法（面接授業・遠隔授業）
原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。
成績評価方法
定期試験（50%） 平常点・小テスト・課題提出（50%） （平常点は授業への参加状況・受講態度を総合的に判断します）
成績評価基準
<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて、適切な官庁統計を探しているか。また、それを読みこなせているか。 ・基礎的な統計量について理解できているか。 ・データをグラフなどを用いて要約できるようになっているか。
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック
<p>1) 授業時の課題に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/>授業時 <input checked="" type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて <input type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>3) 小レポートに対するフィードバックについて <input type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて <input type="checkbox"/>定期試験時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>5) その他 <input type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p>
実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
テキスト、参考図書
『社会調査のための統計データ分析』 廣瀬毅士・寺島拓幸 オーム社 2010年
その他（受講上の注意）
この授業は、一般社団法人社会調査協会が認定する、社会調査士資格認定科目【C】〔基本的な資料とデータの分析に関する科目〕に相当する。
オフィスアワー
UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

統計学 b (Statistics b)			担当教員	禿	寿
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-S-2257	2単位	2年後期	演習	選択	
<科目区分> 人間学部コミュニケーション学科専門科目 応用科目 社会・文化コース					
求める学習成果(教育目標)					
現代社会・文化における諸問題に主体的に取り組み、社会調査や情報処理の技術を活用して共生社会・地方文化の構築に資する力を育成します。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input checked="" type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input checked="" type="checkbox"/> 計画実行能力 <input checked="" type="checkbox"/> 選択能力 <input type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
社会調査の統計的データをまとめたり分析したりするために必要な基礎的統計学を学ぶ。まず推測統計の論理として確率論の基礎、基本統計量、検定・推定理論とその応用、抽出法の理論を学び、その後変数間の関連を表す統計量として、クロス表の統計量、相関係数、回帰分析についての基礎を学ぶ。なお、本授業では、すべての授業会において実技を行う。	
授 業 の 到 達 目 標	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 統計的データをまとめることができる。 ・ 推測統計に必要な知識と方法を理解している。 ・ 変数間の関係性を表す統計量の知識と方法を持っている。 	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習 (PBL) <input type="checkbox"/> 討議 (ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク (Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション (Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (パソコンを用いた演習)	
授業の計画及び授業外の学習方法	
第1回：オリエンテーション 事前学習：テキスト第1章・第2章を読み、疑問点を確認しておくこと(2時間) 事後学習：社会調査のデータと変数に関するそれぞれの名称を確認しておくこと(2時間)	
第2回：記述統計と推測統計との違い 事前学習：テキスト第3章・第4章を読み、疑問点を確認しておくこと(2時間) 事後学習：記述統計と推測統計の違いについて確認する(2時間)	
第3回：部分から全体を推測する 社会を知るための諸条件 事前学習：テキスト第9章を読み、疑問点を確認しておくこと(2時間) 事後学習：推測統計が可能な条件について確認する(2時間)	
第4回：確率分布について(1) 二項分布・ポアソン分布 事前学習：二項分布・ポアソン分布とは何か、調べておくこと(2時間) 事後学習：授業で学んだ分布の具体例について確認しておくこと(2時間)	
第5回：確率分布について(2) 正規分布・t分布 事前学習：正規分布・t分布とは何か、調べておくこと(2時間) 事後学習：授業で学んだ分布の具体例について確認しておくこと(2時間)	
第6回：確率分布について(3) カイ2乗分布・F分布 事前学習：カイ2乗分布・F分布とは何か、調べておくこと(2時間) 事後学習：授業で学んだ分布の具体例について確認しておくこと(2時間)	
第7回：推定の論理(1) 中心極限定理 事前学習：テキスト第10章を読み、疑問点を確認しておくこと(2時間) 事後学習：授業の内容に関連する練習問題や統計ソフトを用いた分析に取り組む(2時間)	
第8回：推定の論理(2) 信頼区間 事前学習：テキスト第11章を読み、疑問点を確認しておくこと(2時間) 事後学習：授業の内容に関連する練習問題や統計ソフトを用いた分析に取り組む(2時間)	
第9回：推定の論理(3) 帰無仮説の考え方 事前学習：テキスト第11章を読み、疑問点を確認しておくこと(2時間) 事後学習：授業の内容に関連する練習問題や統計ソフトを用いた分析に取り組む(2時間)	

<p>第10回：検定の論理（1） t検定 事前学習：テキスト第13章を読み、疑問点を確認しておくこと（2時間） 事後学習：授業の内容に関連する練習問題や統計ソフトを用いた分析に取り組む（2時間）</p> <p>第11回：検定の論理（2） カイ二乗検定 事前学習：テキスト第12章を読み、疑問点を確認しておくこと（2時間） 事後学習：授業の内容に関連する練習問題や統計ソフトを用いた分析に取り組む（2時間）</p> <p>第12回：相関係数 事前学習：テキスト第5章を読み、疑問点を確認しておくこと（2時間） 事後学習：授業の内容に関連する練習問題や統計ソフトを用いた分析に取り組む（2時間）</p> <p>第13回：回帰分析 事前学習：テキスト第6章を読み、疑問点を確認しておくこと（2時間） 事後学習：授業の内容に関連する練習問題や統計ソフトを用いた分析に取り組む（2時間）</p> <p>第14回：回帰係数の検定 事前学習：テキスト第8章を読み、疑問点を確認しておくこと（2時間） 事後学習：授業の内容に関連する練習問題や統計ソフトを用いた分析に取り組む（2時間）</p> <p>第15回：まとめ 事前学習：これまでの授業内容を復習し、疑問点や不明点を確認しておくこと（2時間） 事後学習：授業の内容に関連する練習問題や統計ソフトを用いた分析に取り組む（2時間）</p> <p>第16回：定期試験</p>
授業実施方法（面接授業・遠隔授業）
原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。
成績評価方法
定期試験（50%）、授業中の小レポートと受講態度（50%）
成績評価基準
<ul style="list-style-type: none"> ・統計的データをまとめることができるか。 ・推測統計に必要な知識と方法を理解しているか。 ・変数間の関係性を表す統計量の知識と方法を持っているか。
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック
<p>1) 授業時の課題に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて <input type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>3) 小レポートに対するフィードバックについて <input type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて <input type="checkbox"/>定期試験時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>5) その他 <input type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p>
実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
テキスト、参考図書
<p>担当教員から適宜指示する。</p> <p>参考図書 神林博史「社会調査のための統計学 ―生きた実例で理解する―（現場の統計学）」2011年、技術評論社</p>
その他（受講上の注意）
<p>この授業は、一般社団法人社会調査協会が認定する、社会調査士資格認定科目【D】〔社会調査に必要な統計学に関する科目〕に相当する。 数学的知識を必要とするが、全員あまり数学的知識を持っていないものとして授業をすすめる。 なお、「統計学a（旧カリ：社会調査方法論）」で学ぶ記述統計学の知識を前提とする。</p>
オフィスアワー
UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

フィールドワーク技法 (Fieldwork Methods)			担当教員	井上 寛	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-S-2258	2単位	2年後期	演習	選択	
<科目区分> 人間学部コミュニケーション学科専門科目 応用科目 社会・文化コース					
求める学習成果(教育目標)					
現代社会・文化における諸問題に主体的に取り組み、社会調査や情報処理の技術を活用して共生社会・地方文化の構築に資する力を育成します。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input checked="" type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
この講義では、まず、さまざまな質的データの収集や分析方法について解説をおこなう。具体的には、聞き取り調査、参与観察法、会話分析の他、活字や映像などのメディア・テキスト(コンテンツ)に関する質的データの分析法について、実例を通して学ぶ。そのうえで、実習として、インタビュー調査の経験をしてもらう。	
授 業 の 到 達 目 標	
質的データの収集や分析方法を理解したうえで、実際にインタビュー調査を企画し、実施、報告をおこなうことができる。	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input checked="" type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授業の計画及び授業外の学習方法	
第1回：オリエンテーション 事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を購読すること(2時間)	
第2回：量的調査の可能性と限界 事前学習：前回のノートを見直し、参考文献①第1章を読んでおくこと(2時間) 事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を購読すること(2時間)	
第3回：質的データとは何か(討議(ディスカッション、ディベート)) 事前学習：前回のノートを見直し、参考文献②を読んでおくこと(2時間) 事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を購読すること(2時間)	
第4回：質的調査の手法(1)インタビュー調査 事前学習：前回のノートを見直し、参考文献①②のインタビュー調査に該当する部分を読んでおくこと(2時間) 事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を購読すること。また、インタビューの手法についても理解しておくこと(2時間)	
第5回：質的調査の手法(2)参与観察法 事前学習：前回のノートを見直し、参考文献①②の参与観察に該当する部分を読んでおくこと(2時間) 事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を購読すること。また、出来れば参与観察による研究論文をciniiなどで調べ、読んでおくことが望ましい(2時間)	
第6回：質的調査の手法(3)会話分析(討議(ディスカッション、ディベート)) 事前学習：前回のノートを見直し、上述の参考文献・論文等を読んでおくこと(2時間) 事後学習：講義後ノートを見直して復習し、会話分析に関する参考書籍(授業内に指示)を図書館等で調べ、精読すること(2時間)	
第7回：質的調査の手法(4)ドキュメント分析(活字メディア) 事前学習：前回のノートを見直し、上述の参考文献を読んでおくこと。(2時間) 事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を購読すること(2時間)	

- 第8回：質的調査の手法（5）ドキュメント分析（映像メディア）
 事前学習：前回のノートを見直し、参考文献①②を読んでおくこと（2時間）
 事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を購読すること（2時間）
- 第9回：インタビュー法の習得（1）インタビューの企画（フィールドワーク）
 事前学習：前回のノートを見直し、参考文献①②を読んでおくこと（2時間）
 事後学習：講義後ノートを見直して復習し、フィールドワークに関する書物を図書館等で調べ、精読すること。また、グループ内で実施するフィールドワークの方向性について議論し、検討すること（2時間）
- 第10回：インタビュー法の習得（2）対象者と質問内容の決定（討議（ディスカッション、ディベート））
 事前学習：前回のノートを見直し、参考文献①②を読んでおくこと（2時間）
 事後学習：講義後ノートを見直して復習し、調査の最終準備を行うこと（2時間）
- 第11回：インタビュー法の習得（3）インタビューの実施（グループワーク）
 事前学習：前回のノートを見直し、インタビュー法の手順などを覚えてくること（2時間）
 事後学習：インタビューで得られたデータを記録し、グループ内で共有できるようにすること（2時間）
- 第12回：調査データの分析（1）（討議（ディスカッション、ディベート）を実施）（グループワーク）
 事前学習：前回のノートを見直し、参考文献①②を読んでおくこと。（2時間）
 事後学習：講義後ノートを見直して復習し、グループ内でデータ内容やレポートテーマ等を批判的に検討すること（2時間）
- 第13回：調査データの分析（2）（課題解決型学習（PBL）を実施）
 事前学習：前回のデータ分析をもとに、講義内で必要な資料収集やデータの精査をすすめること（2時間）
 事後学習：講義後ノートを見直して復習し、グループ内で具体的な分析をおこなった上で、考察を行うこと（2時間）
- 第14回：質的調査の可能性と限界
 事前学習：これまでのノートや調査データを見直し、参考文献①②の該当箇所を読んでおくこと（2時間）
 事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を購読すること（2時間）
- 第15回：まとめ
 事前学習：前回のノートを見直し、これまで学んだ内容、調査で得られたデータなどを整理すること（2時間）
 事後学習：講義後ノートを見直して復習し、全ての講義内で講じられた内容を整理し、理解するように努めること（4時間）

授業実施方法（面接授業・遠隔授業）

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

レポート（50％） 平常点（50％）
 ・レポートは別途提示した条件（期限・様式・研究倫理）を守らない場合には評価の対象としません。
 ・平常点は授業への参加状況、受講態度、提出物などの内容等を総合して判断します。

成績評価基準

- ①質的データの収集や分析方法を理解しているか
- ②質的調査、特に実際にインタビュー調査を企画し、実施、報告をおこなうことが出来ているか

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他（オンラインコミュニケーションツール（Teams）などを利用）
- 5) その他（講義内での討論・議論などに対するフィードバックについて）
授業時 仁大eラーニング メール その他（担当教員の研究室にて対応）

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書**<テキスト>**

特定のテキストは使用しません。必要に応じて授業時に資料を配布します。

<参考図書>

大谷信介・後藤範章・小松洋・木下栄二編著(2023)『最新・社会調査へのアプローチ.論理と方法』ミネルヴァ書房
※旧版の『新・社会調査へのアプローチ-論理と方法』を所持している場合はそちらでも可

その他(受講上の注意)

他の受講生に迷惑がかかる行為(私語・遅刻・無断退席等)は禁止します。

受講生の理解度や興味・関心にあわせて授業計画には変更を加える可能性があります。

オフィスアワー

大学教育情報システム【授業に関するお知らせ】にて時間帯等を確認してください。

社会と文化 (Society and Culture)			担当教員	織田 暁子	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-S-2262	2単位	2年後期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部コミュニケーション学科専門科目 応用科目 社会・文化コース					
求める学習成果(教育目標)					
コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input checked="" type="checkbox"/> 選択能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
この講義は、主に現代日本における社会と文化に関する論文を読み、社会と文化について論じるために必要な社会学に関する基礎的な理解を目指す。毎回の講義をとおして、論文を読み、社会学の基礎知識や、社会調査データをを用いた論文の構造を理解し、社会学・社会調査の基礎体力を習得することを目的とする。なお、読む論文の順序は入れ替わることがある。	
授 業 の 到 達 目 標	
社会調査のスキルや知識を身に付け、社会学の概念を理解したうえで、現代社会を分析する視角として用いることができるようになる。	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input checked="" type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授業の計画及び授業外の学習方法	
第1回：オリエンテーション 事前学習：授業前にシラバスを読み、質問項目をまとめておく。(2時間) 事後学習：課題文献を読む。(2時間) 第2回：論文講読方法の指導、担当者決定 事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめておく。(2時間) 事後学習：授業で配布されたレジユメを振り返り、授業内容を復習する(2時間) 第3回：【講義】社会・文化を学ぶための基礎知識 事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめておく。(2時間) 事後学習：授業で配布されたレジユメを振り返り、授業内容を復習する(2時間) 第4回：論文報告(1)(2) 事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめる。発表担当者は準備をする(2時間) 事後学習：授業で配布されたレジユメを振り返り、授業内容を復習する(2時間) 第5回：論文報告(3)(4) 事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめる。発表担当者は準備をする(2時間) 事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施する。また授業内容を復習する(2時間) 第6回：論文報告(5)(6) 事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめる。発表担当者は準備をする(2時間) 事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施する。また授業内容を復習する(2時間) 第7回：論文報告(7)(8) 事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめる。発表担当者は準備をする(2時間) 事後学習：授業で配布されたレジユメを振り返り、授業内容を復習する(2時間) 第8回：論文報告(9)(10) 事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめる。発表担当者は準備をする(2時間) 事後学習：授業で配布されたレジユメを振り返り、授業内容を復習する(2時間) 第9回：論文報告(11)(12) 事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめておく。(2時間) 事後学習：授業で配布されたレジユメを振り返り、授業内容を復習する(2時間)	

<p>第10回：論文報告 (13) (14) 事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめる。発表担当者は準備をする (2時間) 事後学習：授業で配布されたレジюмеを振り返り、授業内容を復習する (2時間)</p> <p>第11回：論文報告 (15) (16) 事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめる。発表担当者は準備をする (2時間) 事後学習：授業で配布されたレジюмеを振り返り、授業内容を復習する (2時間)</p> <p>第12回：論文報告 (17) (18) 事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめる。発表担当者は準備をする (2時間) 事後学習：授業で配布されたレジюмеを振り返り、授業内容を復習する (2時間)</p> <p>第13回：論文報告 (19) (20) 事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめる。発表担当者は準備をする (2時間) 事後学習：授業で配布されたレジюмеを振り返り、授業内容を復習する (2時間)</p> <p>第14回：【講義】 社会・文化を学ぶための知識とスキル 事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめる。発表担当者は準備をする (2時間) 事後学習：授業で配布されたレジюмеを振り返り、授業内容を復習する (2時間)</p> <p>第15回：まとめ 事前学習：授業前に14回までを振り返り、質問項目をまとめておく。(2時間) 事後学習：授業で配布されたレジюмеを振り返り、授業内容を復習する (2時間)</p>
授業実施方法 (面接授業・遠隔授業)
原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。
成績評価方法
レジюмеの作成 (30%)、プレゼンテーション (50%)、ディスカッションへの参加 (20%)
成績評価基準
社会調査のスキルや知識を身に付けているか。 知識や社会学の概念を理解し、現代社会の分析ができるようになったか。
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック
1) 授業時の課題に対するフィードバックについて <input type="checkbox"/> 授業時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/> 授業時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 3) 小レポートに対するフィードバックについて <input type="checkbox"/> 授業時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて <input type="checkbox"/> 定期試験時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 5) その他 <input type="checkbox"/> 授業時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他
実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)
テキスト、参考図書
必要な場合は講義内で指示します。
その他(受講上の注意)
講義で使用する論文は、保管場所を別途指示します。 必ず各自印刷の上で論文を読み、講義時に持参してください。 初回の授業でオリエンテーションを実施します。履修希望者は、必ず第1回目の授業に出席してください。
オフィスアワー
UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

社会と思想 (Society and Thought)			担当教員	橋本 武志	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-S-2263	2単位	2年後期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部コミュニケーション学科専門科目 応用科目 社会・文化コース					
求める学習成果(教育目標)					
現代社会・文化における諸問題に主体的に取り組み、社会調査や情報処理の技術を活用して共生社会・地方文化の構築に資する力を育成します。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input checked="" type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input checked="" type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
社会思想史のうち、社会や国家の成立・機能などについて、哲学や社会学の領域で提唱されてきた基本的な学説について講義する。	
授 業 の 到 達 目 標	
<ul style="list-style-type: none"> ・社会思想のおおよその流れについて理解している。 ・権利、自由、平等など社会思想のキーワードを、通り一遍ではなく自分の言葉で説明できる。 	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習 (PBL) <input type="checkbox"/> 討議 (ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク (Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション (Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (ペアワーク)	
授業の計画及び授業外の学習方法	
第1回：オリエンテーション 事前学習：「社会思想」という語について、参考図書などをもとに調べておくこと（2時間） 事後学習：講義の内容について、授業資料をもとに自分なりに纏めておくこと（2時間） 第2回：何が等しければ「平等」なのか？ 事前学習：「配分の正義」という語について、参考図書などをもとに調べておくこと（2時間） 事後学習：講義の内容について、授業資料をもとに自分なりに纏めておくこと（2時間） 第3回：生まれながらの権利はあるか？～自然権と自然法1 事前学習：「自然法」という語について、参考図書などをもとに調べておくこと（2時間） 事後学習：講義の内容について、授業資料をもとに自分なりに纏めておくこと（2時間） 第4回：生まれながらの権利はあるか？～自然権と自然法2 事前学習：「自然権」という語について、参考図書などをもとに調べておくこと（2時間） 事後学習：講義の内容について、授業資料をもとに自分なりに纏めておくこと（2時間） 第5回：私たちは自由なのか？1～哲学的「自由」 事前学習：「決定論」という語について、参考図書などをもとに調べておくこと（2時間） 事後学習：講義の内容について、授業資料をもとに自分なりに纏めておくこと（2時間） 第6回：私たちは自由なのか？2～社会的「自由」 事前学習：「自由」という語について、参考図書などをもとに調べておくこと（2時間） 事後学習：講義の内容について、授業資料をもとに自分なりに纏めておくこと（2時間） 第7回：社会はどのように成立したか1～社会契約論1 事前学習：「自然状態」という語について、参考図書などをもとに調べておくこと（2時間） 事後学習：講義の内容について、授業資料をもとに自分なりに纏めておくこと（2時間） 第8回：社会はどのように成立したか2～社会契約論2 事前学習：「一般意志」という語について、参考図書などをもとに調べておくこと（2時間） 事後学習：講義の内容について、授業資料をもとに自分なりに纏めておくこと（2時間） 第9回：社会はどのように成立したか3～社会実在論 事前学習：「集合意識」という語について、参考図書などをもとに調べておくこと（2時間） 事後学習：講義の内容について、授業資料をもとに自分なりに纏めておくこと（2時間） 第10回：近現代社会の問題1～宗教と労働 事前学習：「エートス」という語について、参考図書などをもとに調べておくこと（2時間） 事後学習：講義の内容について、授業資料をもとに自分なりに纏めておくこと（2時間）	

<p>第11回：近現代社会の問題2～一次元化とフラット化 事前学習：「フランクフルト学派」という語について、参考図書などをもとに調べておくこと（2時間） 事後学習：講義の内容について、授業資料をもとに自分なりに纏めておくこと（2時間）</p> <p>第12回：近現代社会の問題3～理性の道具化 事前学習：「啓蒙」という語について、参考図書などをもとに調べておくこと（2時間） 事後学習：講義の内容について、授業資料をもとに自分なりに纏めておくこと（2時間）</p> <p>第13回：近現代社会の問題4～管理と排除（ペアワーク） 事前学習：「生政治」という語について、参考図書などをもとに調べておくこと（2時間） 事後学習：講義の内容について、授業資料をもとに自分なりに纏めておくこと（2時間）</p> <p>第14回：近現代社会の問題5～民主主義の危機 事前学習：「公共圏」という語について、参考図書などをもとに調べておくこと（2時間） 事後学習：講義の内容について、授業資料をもとに自分なりに纏めておくこと（2時間）</p> <p>第15回：まとめ 事前学習：これまでの授業について、分からない部分の質問を考えておくこと（2時間） 事後学習：講義の内容について、授業資料をもとに自分なりに纏めておくこと（2時間）</p> <p>第16回：定期試験</p>
授業実施方法（面接授業・遠隔授業）
原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。
成績評価方法
定期試験70% 平常点30%（平常点は出席状況や受講態度などを総合して評価する）
成績評価基準
<ul style="list-style-type: none"> ・社会思想のおおよその流れについて理解しているか。 ・権利、自由、平等など社会思想のキーワードを、通り一遍ではなく自分の言葉で説明できるか。
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック
<p>1) 授業時の課題に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>3) 小レポートに対するフィードバックについて <input type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて <input type="checkbox"/>定期試験時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>5) その他 <input type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p>
実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
テキスト、参考図書
<p>テキストは特に使用しない。参考文献一覧は、eラーニングコースの2回目の授業回に掲載する。 ここでは以下の参考書のみ挙げておく。</p> <p>坂本達哉『社会思想の歴史』名古屋大学出版会 2014年 今村・川崎・三島編『岩波 社会思想事典』岩波書店 2008年 國分功一郎『近代政治哲学—自然・主権・行政』ちくま新書 2015年</p>
その他（受講上の注意）
オフィスアワー
UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

英語音声学 (English Phonetics)			担当教員	矢橋 知枝	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-I-2267	2単位	2年前期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部コミュニケーション学科専門科目 専門科目 国際英語コース					
求める学習成果(教育目標)					
異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる技能と言語スキルを身につけ、国際化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
英語の発音のメカニズムを理解し、英語音声の基礎的な知識を得る。テキスト附属の音声を繰り返し聴いて練習することで、音声器官の仕組みと個々の音の発音の仕方をリンクさせる。	
授 業 の 到 達 目 標	
英語の発音のメカニズムを理解し、英語音声の基礎的な知識を得るとともに、正しい発音でコミュニケーションをとることができ、また、聞き取りができることを目指す。中学校および高等学校での英語教育において必要な音声学的知見を身につける。	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習 (PBL) <input checked="" type="checkbox"/> 討議 (ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク (Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション (Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input checked="" type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授業の計画及び授業外の学習方法	
第1回：オリエンテーション (CALL演習室の機器操作および英語教育ソフトガイダンス) (実技) 事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと (2時間) 事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で付属CDを用いて復習をすること (2時間) 第2回：現代英語と音声学 (英語の方言・綴り字と発音・音素) (ディスカッション) 事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと (2時間) 事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で付属CDを用いて復習をすること (2時間) 第3回：子音 (1) 子音の特徴 (子音の分類基準・英語の子音) (実技) 事前学習：事前にテキストを読み、CALL演習室で付属CDを用いて予習をすること (2時間) 事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で付属CDを用いて復習をすること (2時間) 第4回：子音 (2) 閉鎖音・摩擦音① (気音・開放の省略・無声化) (実技) 事前学習：事前にテキストを読み、CALL演習室で付属CDを用いて予習をすること (2時間) 事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で付属CDを用いて復習をすること (2時間) 第5回：子音 (3) 摩擦音②・破擦音 (調音位置・無声化・母音との組み合わせ) (実技) 事前学習：事前にテキストを読み、CALL演習室で付属CDを用いて予習をすること (2時間) 事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で付属CDを用いて復習をすること (2時間) 第6回：子音 (4) 鼻音・側音・半母音 (日本語の「ン」・明るいLと暗いL・無声化) (実技) 事前学習：事前にテキストを読み、CALL演習室で付属CDを用いて予習をすること (2時間) 事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で付属CDを用いて復習をすること (2時間) 第7回：母音 (1) 母音の特徴 (母音の分類基準・基本母音) (実技) 事前学習：事前にテキストを読み、CALL演習室で付属CDを用いて予習をすること (2時間) 事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で付属CDを用いて復習をすること (2時間) 第8回：母音 (2) 短母音 (母音記号・抑止母音) (実技) 事前学習：事前にテキストを読み、CALL演習室で付属CDを用いて予習をすること (2時間) 事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で付属CDを用いて復習をすること (2時間) 第9回：母音 (3) 二重母音 (母音記号・開放母音) (実技) 事前学習：事前にテキストを読み、CALL演習室で付属CDを用いて予習をすること (2時間) 事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で付属CDを用いて復習をすること (2時間) 第10回：母音 (4) 弱母音 (日本語の弱母音・音色) (実技) 事前学習：事前にテキストを読み、CALL演習室で付属CDを用いて予習をすること (2時間) 事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で付属CDを用いて復習をすること (2時間)	

- 第11回：音の連続（音節・きこえ度・子音結合・単語間の連続・脱落・同化）（実技）
事前学習：事前にテキストを読み、CALL演習室で付属CDを用いて予習すること（2時間）
事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で付属CDを用いて復習すること（2時間）
- 第12回：アクセント（語・接辞・複合語・句・文）（実技）
事前学習：事前にテキストを読み、CALL演習室で付属CDを用いて予習すること（2時間）
事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で付属CDを用いて復習すること（2時間）
- 第13回：リズム（音節・アクセント・アクセントの移動）（実技）
事前学習：事前にテキストを読み、CALL演習室で付属CDを用いて予習すること（2時間）
事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で付属CDを用いて復習すること（2時間）
- 第14回：イントネーション（音調の構成・種類・用法・特殊なイントネーション）（実技）
事前学習：事前にテキストを読み、CALL演習室で付属CDを用いて予習すること（2時間）
事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で付属CDを用いて復習すること（2時間）
- 第15回：まとめ（実技）
事前学習：事前にテキストを読み、CALL演習室で付属CDを用いて予習すること（2時間）
事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で付属CDを用いて復習すること（2時間）
- 第16回：定期試験

予習・復習として、教科書付属のCDをよく聞き、何度も読む練習をし、モデルと同じような発音ができるよう、心がける。

授業実施方法（面接授業・遠隔授業）

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

定期試験（50%） 授業内レポート（30%） 平常点（20%）
（平常点は、授業への参加状況・受講態度、提出物の提出状況等を総合して判断します。）

成績評価基準

英語発音の仕組みを理解し、音声学の基礎的な知識を得られたか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
 授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
 授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
 授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
 定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
 授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書

【指定教科書】 竹林滋・清水あつ子・斎藤弘子 『改訂新版 初級英語音声学』 大修館 2013年
 【参考図書】 深沢俊昭 『改訂版 英語の発音パーフェクト学習事典』 アルク 2015年

その他（受講上の注意）

- ・この授業の履修希望者は、必ず第1回から出席する。なお、第1回を欠席した者で「公認欠席届」を提出できる場合のみ、第2回からの出席を認める。
- ・遅刻3回で欠席1回とみなす。
- ・必ず英和辞書（電子辞書可）を持参する。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

オーラル・コミュニケーションⅡa (Oral Communication Ⅱa)			担当教員	M ハウカ	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-I-2270	2単位	2年前期	演習	選択	
<科目区分> 人間学部コミュニケーション学科専門科目 専門科目 国際英語コース					
求める学習成果(教育目標)					
異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる能力と言語スキルを身につけ、国際化社会において文化の相互交流に資する力を育成します。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input checked="" type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input checked="" type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
最初に、テキストのトピック内の記事を読み、英文を読む訓練を行う。続いて語彙の確認や記事の背景を理解し、自分の意見やアイデアを整理する。各ユニットの最後に討論を行う。	
授 業 の 到 達 目 標	
自分の意見やアイデアを英語で話すだけでなく、他人の意見やアイデアを英語で聞いて理解し、さらに、その意見やアイデアに対して建設的な考えを英語で発言できることを目指す。また、物事を批評する力を身につけることを目指す。これにより、中学校・高校で英語を教える際の、特に読解・スピーキング能力の向上を目指す。	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習 (PBL) <input checked="" type="checkbox"/> 討議 (ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク (Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション (Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授業の計画及び授業外の学習方法	
第1回：ナウル島の問題（食べ物の選択はどんな影響を与えますか。聞く、読む）（グループワーク 討議） 事前学習：授業前にテキストの第2章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間） 事後学習：授業で課されたナウル島の問題について、ノートにまとめておくこと。（2時間） 第2回：ナウル島の問題（食べ物の選択はどんな影響を与えますか。書く、話す）（討議 発表） 事前学習：引き続き、授業前にテキストの第2章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間） 事後学習：授業で課されたナウル島の問題について、ノートにまとめておくこと。（2時間） 第3回：情熱（情熱とは何ですか。聞く、読む）（グループワーク 討議） 事前学習：授業前にテキストの第3章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間） 事後学習：授業で課された情熱について、ノートにまとめておくこと。（2時間） 第4回：情熱（情熱とは何ですか。書く、話す）（討議 発表） 事前学習：引き続き、授業前にテキストの第3章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間） 事後学習：授業で課された情熱について、ノートにまとめておくこと。（2時間） 第5回：良い教師の影響（良い教師はどんな影響を与えますか。聞く、読む）（グループワーク 討議） 事前学習：授業前にテキストの第4章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間） 事後学習：授業で課された良い教師の影響について、ノートにまとめておくこと。（2時間） 第6回：良い教師の影響（良い教師はどんな影響を与えますか。書く、話す）（討議 発表） 事前学習：引き続き、授業前にテキストの第4章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間） 事後学習：授業で課された良い教師の影響について、ノートにまとめておくこと。（2時間） 第7回：復習（第1回～6回の内容についての復習）（グループワーク 討議 発表） 事前学習：授業前にテキストの第2,3,4ユニットを復習する。（2時間） 事後学習：テキストの第2,3,4ユニットを復習して、わからないところをノートに書くこと。（2時間） 第8回：ユーモアと笑い（何が面白いですか。聞く、読む）（グループワーク 討議） 事前学習：授業前にテキストの第5章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間） 事後学習：授業で課されたユーモアと笑いについて、ノートにまとめておくこと。（2時間） 第9回：ユーモアと笑い（何が面白いですか。書く、話す）（討議 発表） 事前学習：引き続き、授業前にテキストの第5章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間） 事後学習：授業で課されたユーモアと笑いについて、ノートにまとめておくこと。（2時間） 第10回：デートの心得（デートのルールは何ですか。聞く、読む）（グループワーク 討議） 事前学習：授業前にテキストの第6章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間） 事後学習：授業で課されたデートの心得について、ノートにまとめておくこと。（2時間）	

<p>第11回：デートの心得（デートのルールは何ですか。書く、話す）（討議 発表） 事前学習：引き続き、授業前にテキストの第6章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間） 事後学習：授業で課されたデートの心得について、ノートにまとめておくこと。（2時間）</p> <p>第12回：栄養と運動（栄養と運動について。聞く、読む）（グループワーク 討議） 事前学習：授業前にテキストの第7章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間） 事後学習：授業で課された栄養と運動について、ノートにまとめておくこと。（2時間）</p> <p>第13回：栄養と運動（栄養と運動について。書く、話す）（討議 発表） 事前学習：引き続き、授業前にテキストの第7章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間） 事後学習：授業で課された栄養と運動について、ノートにまとめておくこと。（2時間）</p> <p>第14回：脳の異なる層（脳の異なる層について。聞く、読む）（グループワーク 討議） 事前学習：授業前にテキストの第8章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間） 事後学習：授業で課された脳の異なる層について、ノートにまとめておくこと。（2時間）</p> <p>第15回：脳の異なる層（脳の異なる層について。書く、話す）（討議 発表） 事前学習：引き続き、授業前にテキストの第8章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間） 事後学習：授業前にテキストの第5,6,7,8ユニットを復習する。（2時間）</p> <p>定期試験</p>
授業実施方法（面接授業・遠隔授業）
原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。
成績評価方法
積極的な授業態度及び課題（45%）、定期試験（55%）
成績評価基準
自分の意見やアイデアを英語で話すだけでなく、他人の意見やアイデアを英語で聞いて理解し、さらにその意見やアイデアに対して建設的な考えを英語で発言できるか。 物事を批評する力を身につけているか。
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック
<p>1) 授業時の課題に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて <input type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>3) 小レポートに対するフィードバックについて <input type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/>定期試験時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>5) その他 <input type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p>
実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
テキスト、参考図書
<p>テキスト Life Topics: Deeper Connections（総合英語ライフトピックス3） Takashi Shimaoka and Jonathan Berman 2016. NAN' UN-DO ISBN 978-4-523-17823-1 （島岡丘, ジョナサン・バーマン著 出版社：南雲堂 2016）</p> <p>参考図書 中学校学習指導要領（平成29年3月公示 文部科学省） 高等学校学習指導要領（平成30年3月公示 文部科学省）</p>
その他（受講上の注意）
Self-motivation and effort are very important for successful completion of this course.
オフィスアワー
UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

オーラル・コミュニケーションⅡb (Oral Communication Ⅱb)			担当教員	M ハウカ	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-I-2271	2単位	2年後期	演習	選択	
<科目区分> 人間学部コミュニケーション学科専門科目 専門科目 国際英語コース					
求める学習成果(教育目標)					
異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる能力と言語スキルを身につけ、国際化社会において文化の相互交流に資する力を育成します。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input checked="" type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input checked="" type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
最初にテキストのトピック内の記事を読み、英文を読む訓練を行う。続いて語彙の確認や記事の背景を理解し、自分の意見やアイデアを整理する。各ユニットの最後に討論を行う。	
授 業 の 到 達 目 標	
自分の意見やアイデアを英語で話すだけでなく、他人の意見やアイデアを英語で聞いて理解し、さらにその意見やアイデアに対して建設的な考えを英語で発言できることを目指す。また物事を批評する力を身につけることを目指す。	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習 (PBL) <input checked="" type="checkbox"/> 討議 (ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク (Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション (Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授業の計画及び授業外の学習方法	
第1回：テクノロジー中毒 (テクノロジーの弱点。聞く、読む) (グループワーク 討議) 事前学習：授業前にテキストの第9章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：授業で課されたテクノロジー中毒について、ノートにまとめておくこと。(2時間) 第2回：テクノロジー中毒 (テクノロジーの弱点。書く、話す) (討議 発表) 事前学習：引き続き、授業前にテキストの第9章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：授業で課されたテクノロジー中毒について、ノートにまとめておくこと。(2時間) 第3回：ミラーニューロン (ミラーニューロンとは何ですか。聞く、読む) (グループワーク 討議) 事前学習：授業前にテキストの第10章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：授業で課されたミラーニューロンについて、ノートにまとめておくこと。(2時間) 第4回：ミラーニューロン (ミラーニューロンとは何ですか。書く、話す) (討議 発表) 事前学習：引き続き、授業前にテキストの第10章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：授業で課されたミラーニューロンについて、ノートにまとめておくこと。(2時間) 第5回：幸福追求の科学 (人間はどうやって幸せになるの。聞く、読む) (グループワーク 討議) 事前学習：授業前にテキストの第11章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：授業で課された幸福追求の科学について、ノートにまとめておくこと。(2時間) 第6回：幸福追求の科学 (人間はどうやって幸せになるの。書く、話す) (討議 発表) 事前学習：引き続き、授業前にテキストの第11章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：授業で課された幸福追求の科学について、ノートにまとめておくこと。(2時間) 第7回：復習 (第1回～6回の内容についての復習) (グループワーク 討議 発表) 事前学習：授業前にテキストの第9,10,11ユニットを復習する。(2時間) 事後学習：テキストの第9,10,11ユニットを復習して、わからないところをノートに書くこと。(2時間) 第8回：糖分依存症 (糖分が多くなるとどのような影響が現れるのか。聞く、読む) (グループワーク 討議) 事前学習：授業前にテキストの第12章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：授業で課された糖分依存症について、ノートにまとめておくこと。(2時間) 第9回：糖分依存症 (糖分が多くなるとどのような影響が現れるのか。書く、話す) (討議 発表) 事前学習：引き続き、授業前にテキストの第12章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：授業で課された糖分依存症について、ノートにまとめておくこと。(2時間)	

<p>第10回：結婚の進化（結婚の進化について。聞く、読む）（グループワーク 討議） 事前学習：授業前にテキストの第13章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間） 事後学習：授業で課された結婚の進化について、ノートにまとめておくこと。（2時間）</p> <p>第11回：結婚の進化（結婚の進化について。書く、話す）（討議 発表） 事前学習：引き続き、授業前にテキストの第13章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間） 事後学習：授業で課された結婚の進化について、ノートにまとめておくこと。（2時間）</p> <p>第12回：アクティブリスニング（アクティブリスニングについて。聞く、読む）（グループワーク 討議） 事前学習：授業前にテキストの第14章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間） 事後学習：授業で課されたアクティブリスニングについて、ノートにまとめておくこと。（2時間）</p> <p>第13回：アクティブリスニング（アクティブリスニングについて。書く、話す）（討議 発表） 事前学習：引き続き、授業前にテキストの第14章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間） 事後学習：授業で課されたアクティブリスニングについて、ノートにまとめておくこと。（2時間）</p> <p>第14回：男性の脳、女性の脳（男性の脳、女性の脳について。聞く、読む）（グループワーク 討議） 事前学習：授業前にテキストの第15章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間） 事後学習：授業で課された男性の脳、女性の脳について、ノートにまとめておくこと。（2時間）</p> <p>第15回：男性の脳、女性の脳（男性の脳、女性の脳について。書く、話す）（討議 発表） 事前学習：引き続き、授業前にテキストの第15章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間） 事後学習：授業前にテキストの第12,13,14,15ユニットを復習する。（2時間）</p> <p>定期試験</p>
授業実施方法（面接授業・遠隔授業）
原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。
成績評価方法
積極的な授業態度及び課題（45%）、定期試験（55%）
成績評価基準
自分の意見やアイデアを英語で話すだけでなく、他人の意見やアイデアを英語で聞いて理解し、さらにその意見やアイデアに対して建設的な考えを英語で発言できるか。 物事を批評する力を身につけているか。
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック
<p>1) 授業時の課題に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて <input type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>3) 小レポートに対するフィードバックについて <input type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/>定期試験時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>5) その他 <input type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p>
実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
テキスト、参考図書
<p>テキスト Life Topics: Deeper Connections（総合英語ライフトピックス3） Takashi Shimaoka and Jonathan Berman 2016. NAN' UN-DO ISBN 978-4-523-17823-1 （島岡丘, ジョナサン・バーマン著 出版社：南雲堂 2016）</p> <p>参考図書 中学校学習指導要領（平成29年3月公示 文部科学省） 高等学校学習指導要領（平成30年3月公示 文部科学省）</p>
その他（受講上の注意）
Self-motivation and effort are very important for successful completion of this course.
オフィスアワー
UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

英文講読 a (English Reading a)			担当教員	紺渡 弘幸	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-I-2274	2単位	2年前期	演習	選択	
<科目区分> 人間学部コミュニケーション学科専門科目 専門科目 国際英語コース					
求める学習成果(教育目標)					
異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる技能と言語スキルを身につけ、国際化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
■自他の理解能力		■コミュニケーション能力		■情報収集・探索能力	
□役割把握・認識能力		□計画実行能力		■社会・職業理解能力	
		□選択能力		■課題解決能力	

授 業 の 内 容	
小説、エッセイ、評論文、英字新聞や雑誌の記事、マニュアルなど多様な素材を用いて、英米文学や日常生活に必要な情報から文化論、環境問題、社会問題、教育問題など幅広いトピックをとりあげながら、読解力を養成する。	
授 業 の 到 達 目 標	
多読に親しみ、望ましい読書習慣を身につける。多様なリーディング・ストラテジーを理解し読みの目的に応じて使用できる。詩やスピーチを読んで暗唱できる。効果的な語彙学習の方法を知り語彙力を高めることができる。テキストに明示的に書かれていない内容を推測しながら読むことができる。英文パラグラフの構成を理解し、トピック、メインアイデアを把握できる。必要な情報を読み取り、その内容について自分の意見を述べるができる。物事を国際社会や地域社会を広い視野からとらえる技能と言語スキルを身につけ、国際化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成する。中学校および高校で効果的なリーディングの指導ができる力を身につける。	
アクティブ・ラーニング	
□課題解決型学習 (PBL) ■討議 (ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) ■グループワーク (Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) ■発表・プレゼンテーション (Teams、Zoom等) □実習、フィールドワーク □実験、実技 □その他	
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法	
第1回：多読：目的と読み方、望ましい読書習慣 事前学習：事前にシラバスやテキストに目を通し、質問事項をまとめておく。(2時間) 事後学習：多読の目的と読み方、望ましい読書習慣を復習する。(2時間)	
第2回：多読：読書レポート、読書記録、本の選択 事前学習：事前にテキストを読み、課題をしておく。(2時間) 事後学習：多読用の本を選択し、定期的に読む。(2時間)	
第3回：プレビューイング 事前学習：事前にテキストを読み、課題をしておく。(2時間) 事後学習：多読用の本を定期的に読む。(2時間)	
第4回：スキヤニング 事前学習：事前にテキストを読み、課題をしておく。(2時間) 事後学習：スキヤニングの練習をする。(2時間)	
第5回：レシテーション：英詩、発表(ストーリーテリング) 事前学習：事前に詩人のプロフィールを読んでおく。(2時間) 事後学習：暗唱課題の英詩を読んで理解する。(2時間)	
第6回：スキミング 事前学習：事前にテキストを読み、課題をしておく。(2時間) 事後学習：スキヤニングの練習をする。(2時間)	
第7回：読みのストラテジー 事前学習：事前にテキストを読み、課題をしておく。(2時間) 事後学習：読みのストラテジーを整理する。(2時間)	
第8回：語彙学習：辞書の活用 事前学習：事前にテキストを読み、課題をしておく。(2時間) 事後学習：語彙学習：辞書の活用について復習し、課題をする。(2時間)	

- 第9回：語彙学習：品詞、語形成、文脈による語義の推測
事前学習：事前にテキストを読み、課題をしておく。(2時間)
事後学習：品詞、語形成、文脈による語義推測の練習問題をする。(2時間)
- 第10回：情報収集のための読みとディスカッション(グループワーク)：環境問題
事前学習：事前に環境問題に関する資料を読む。(2時間)
事後学習：環境問題に関して、自分の意見を英語でまとめる。(2時間)
- 第11回：推論、レシテーション：スピーチ
事前学習：事前に人物のプロフィールを読む。(2時間)
事後学習：スピーチのスキプトを読んで、理解する。(2時間)
- 第12回：パラグラフの理解：トピック、メインアイデア
事前学習：事前にテキストを読み、課題をしておく。(2時間)
事後学習：パラグラフのトピック・メインアイデアについて復習課題をする。(2時間)
- 第13回：パラグラフの理解：パラグラフの構成
事前学習：事前にテキストを読み、課題をしておく。(2時間)
事後学習：パラグラフの構成について復習課題をする。(2時間)
- 第14回：情報収集のための読みとディスカッション：社会問題
事前学習：事前に社会問題について調べておく。(2時間)
事後学習：社会問題の解決策を英語でまとめる。(2時間)
- 第15回：まとめ
事前学習：暗唱課題を復習する。(2時間)
事後学習：読みのストラテジー及びパラグラフの構成について復習課題をする。(2時間)

定期試験

授業実施方法(面接授業・遠隔授業)

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

定期試験(50%)、課題(25%)、授業への取り組み(25%)
※授業への取り組みは、授業への参加状況、受講態度等を総合して判断する。

成績評価基準

1. 多読(reading for pleasure)に親しむことができたか。
2. 多様なリーディング・ストラテジーを理解し、読みの目的に応じて使用できるか。
3. 詩やスピーチを読んで暗唱できるか。
4. 効果的な語彙学習の方法を知り、語彙力を高めることができるか。
5. 明示的に書かれていない内容を推測しながら読むことができるか。
6. 英文パラグラフの構成を理解し、トピック、メインアイデアを把握できるか。
7. 必要な情報を読み取り、その内容について自分の意見を述べるができるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

テキスト：CLIL 英語で学ぶSDGsの基礎 笹嶋茂他 三修社 2022
参考図書：英字新聞、インターネット・雑誌等の記事、NetAcademy

その他(受講上の注意)

なるべく多く英語を読むように心がけ、望ましい読書習慣を身につけてもらいたい。主体的な学習を期待する。

オ フ ィ ス ア ワ ー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

英文講読 b (English Reading b)			担当教員	紺渡 弘幸	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-I-2275	2単位	2年後期	演習	選択	
<科目区分> 人間学部コミュニケーション学科専門科目 専門科目 国際英語コース					
求める学習成果(教育目標)					
異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる技能と言語スキルを身につけ、国際化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
■自他の理解能力 □役割把握・認識能力		■コミュニケーション能力 □計画実行能力		■情報収集・探索能力 □選択能力	
				■社会・職業理解能力 ■課題解決能力	

授 業 の 内 容	
小説、エッセイ、評論文、英字新聞や雑誌の記事、マニュアルなど多様な素材を用いて、英米文学や日常生活に必要な情報から文化論、環境問題、社会問題、教育問題など幅広いトピックをとりあげながら、読解力を養成する。	
授 業 の 到 達 目 標	
多様なリーディング・ストラテジーを理解し、読みの目的に応じて使用できる。読んだ物語を英語で話すことができる。英文パラグラフの構成パターンを理解し、読む際に認識できる。新聞記事の見出しの規則や構成を理解し、必要な情報を読み取ることができる。読んだニュースを英語でレポートし、その内容に関して自分の意見を述べるができる。速読の方法を理解し、英文を速読できる。正確に深く精読して、読んだ内容について感想を述べるができる。物事を国際社会や地域社会を広い視野からとらえる技能と言語スキルを身につけ、国際化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成する。中学校および高校で効果的なリーディングの指導ができる力を身につける。	
アクティブ・ラーニング	
□課題解決型学習(PBL) ■討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) ■グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) ■発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) □実習、フィールドワーク □実験、実技 □その他	
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法	
第1回：リーディング・ストラテジー 事前学習：事前にシラバスやテキストに目を通し、質問事項をまとめておく。(2時間) 事後学習：リーディング・ストラテジーを整理し、復習する。(2時間)	
第2回：ストーリーテリング(発表) 事前学習：ストーリーテリング用のメモを作成し、リハーサルしておく。(2時間) 事後学習：多読用の本を選択し、規則的に読む。(2時間)	
第3回：英文構成パターン：列挙・連続(時系列)・比較のパターン 事前学習：事前にテキストを読み、課題をしておく。(2時間) 事後学習：列挙・連続(時系列)・比較のパターンの復習課題をする。 多読用の本を規則的に読む。(2時間)	
第4回：英文構成パターン：因果関係・問題解決のパターン 事前学習：事前にテキストを読み、課題をしておく。(2時間) 事後学習：因果関係・問題解決のパターンの復習課題をする。 多読用の本を規則的に読む。(2時間)	
第5回：英字新聞の読み方：記事の構成、見出しのルール、リード 事前学習：事前にテキストを読み、課題をしておく。(2時間) 事後学習：英字新聞の記事の構成、見出しのルール、リードについて復習する。 多読用の本を規則的に読む。(2時間)	
第6回：英字新聞の読み方：スキミング、レポート 事前学習：英字新聞の記事を読み、レポートの準備をする。(2時間) 事後学習：多読用の本を規則的に読む。(2時間)	
第7回：ニュース・レポートとディスカッション(グループワーク)：社会問題 事前学習：事前に社会問題に関する記事を読み、理解しておく。(2時間) 事後学習：社会問題についての意見をまとめる。 多読用の本を規則的に読む。(2時間)	

第8回：レシテーション：スピーチ

事前学習：事前に人物のプロフィールを読む。(2時間)

事後学習：スピーチの SCRIPT を読んで、理解する。(2時間)
多読用の本を規則的に読む。(2時間)

第9回：速読：目的と読み方

事前学習：事前にテキストを読み、課題をしておく。(2時間)

事後学習：速読の目的と読み方を復習する。
多読用の本を規則的に読む。(2時間)

第10回：速読：読むスピードの測定方法・記録

事前学習：事前にテキストを読み、課題をしておく。(2時間)

事後学習：速読の練習課題をし、読むスピードを記録する。
多読用の本を規則的に読む。(2時間)

第11回：ニュース・レポーティングとディスカッション：教育問題(発表)

事前学習：事前に教育問題に関する記事を読み、理解しておく。(2時間)

事後学習：教育問題についての意見をまとめる。
多読用の本を規則的に読む。(2時間)

第12回：精読の方法

事前学習：事前に精読用資料を読み、課題をしておく。(2時間)

事後学習：多読用の本を規則的に読む。(2時間)

第13回：精読：説明文

事前学習：事前に説明文を読み、課題をしておく。(2時間)

事後学習：多読用の本を規則的に読む。(2時間)

第14回：精読：小説

事前学習：事前に小説を読み、課題をしておく。(2時間)

事後学習：多読用の本を規則的に読む。(2時間)

第15回：まとめ

事前学習：事前にテキストを読み、課題をしておく。(2時間)

事後学習：読みの目的に応じた読み方を再確認する。(2時間)

定期試験

授業実施方法(面接授業・遠隔授業)

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

定期試験(50%)、課題(25%)、授業への取り組み(25%)

※授業への取り組みは、授業への参加状況、受講態度等を総合して判断する。

成績評価基準

1. 多様なリーディング・ストラテジーを理解し、読みの目的に応じて使用できるか。
2. 読んだ物語を英語で話すことができるか。
3. 英文パラグラフの構成パターンを理解し、読む際に認識できるか。
4. 新聞記事の見出しの規則や構成を理解し、必要な情報を読み取ることができるか。
5. 読んだニュースを英語でレポートし、その内容に関して自分の意見を述べることができるか。
6. 速読の方法を理解し、英文を速読できるか。
7. 正確に深く精読して、読んだ内容について感想を述べることができるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

テキスト：CLIL 英語で学ぶSDGsの基礎 笹嶋茂他 三修社 2022
参考図書：英字新聞、インターネット・雑誌等の記事、NetAcademy

その他(受講上の注意)

なるべく多く英語を読むように心がけ、望ましい読書習慣を身につけてもらいたい。主体的な学習を期待する。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

英語文章表現法 I (Essay Writing I)			担当教員	M ハウカ	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-I-2276	2単位	2年後期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部コミュニケーション学科専門科目 応用科目 国際英語コース					
求める学習成果(教育目標)					
異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる技能と言語スキルを身につけ、国際社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input checked="" type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
書くプロセスを重視したコミュニケーション・ライティングにより、メッセージを効果的にわかりやすく読み手に伝えるライティングの力を養成する。	
授 業 の 到 達 目 標	
英語でのライティング能力を高め、メッセージをグローバルに発信できるコミュニケーション能力を育成する。プロセス・ライティングの方法を理解し、英文を書く際に用いることができる。パラグラフの構成・展開の方法、多様なパラグラフの書き方、エッセイの構成、アウトラインの書き方や効果的なイントロダクション・コンクルージョンの書き方を理解し、文章の統一性やまとまりに留意して、英文を書くことができる。中学校および高校で効果的なライティングの指導ができる力を身につける。	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習 (PBL) <input checked="" type="checkbox"/> 討議 (ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク (Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション (Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授業の計画及び授業外の学習方法	
第1回：プロセス・ライティングの理解 事前学習：事前にシラバスやテキストに目を通し、質問事項をまとめておく。(2時間) 事後学習：授業で学習したプロセス・ライティングについての復習課題をする。(2時間)	
第2回：書く前の活動 事前学習：事前にテキストの第1章を読み、課題をしておく。(2時間) 事後学習：書く前の活動の内容、ブレインストーミングの方法について復習課題をする。(2時間)	
第3回：パラグラフの構成について① 事前学習：事前にテキストの第2章を読み、課題をしておく。(2時間) 事後学習：パラグラフの構成について復習課題をする。(2時間)	
第4回：パラグラフの構成について② 事前学習：事前にテキストの第2章を読み、課題をしておく。(2時間) 事後学習：パラグラフの構成について復習課題をする。(2時間)	
第5回：パラグラフの展開のしかた① 事前学習：事前にテキストの第3章を読み、課題をしておく。(2時間) 事後学習：パラグラフの展開のしかたについて復習課題をする。(2時間)	
第6回：パラグラフの展開のしかた② 事前学習：事前にテキストの第3章を読み、課題をしておく。(2時間) 事後学習：パラグラフの展開のしかたについて復習課題をする。(2時間)	
第7回：まとめ(第1回～6回の内容についての復習)、グループワーク(ピアエディティング) 事前学習：事前にテキストの第1章～第3章を読み、質問項目をまとめておく。(2時間) 事後学習：他者からのコメントを元に作文を書き直す。(2時間)	
第8回：記述・プロセスパラグラフの書き方① 事前学習：事前にテキストの第4章を読み、課題をしておくこと。(2時間) 事後学習：記述・プロセスパラグラフの書き方について復習課題をする。(2時間)	
第9回：記述・プロセスパラグラフの書き方② 事前学習：事前にテキストの第4章を読み、課題をしておくこと。(2時間) 事後学習：記述・プロセスパラグラフの書き方について復習課題をする。(2時間)	

- 第10回：意見パラグラフの書き方①
事前学習：事前にテキストの第5章を読み、課題をしておくこと。(2時間)
事後学習：意見パラグラフの書き方について復習課題をする。(2時間)
- 第11回：意見パラグラフの書き方②
事前学習：事前にテキストの第5章を読み、課題をしておくこと。(2時間)
事後学習：意見パラグラフの書き方について復習課題をする。(2時間)
- 第12回：比較・対比パラグラフの書き方①
事前学習：事前にテキストの第6章を読み、課題をしておくこと。(2時間)
事後学習：比較・対比パラグラフの書き方について復習課題をする。(2時間)
- 第13回：比較・対比パラグラフの書き方②
事前学習：事前にテキストの第6章を読み、課題をしておくこと。(2時間)
事後学習：比較・対比パラグラフの書き方について復習課題をする。(2時間)
- 第14回：問題・解決パラグラフの書き方①
事前学習：事前にテキストの第7章を読み、課題をしておくこと。(2時間)
事後学習：問題・解決パラグラフの書き方について復習課題をする。(2時間)
- 第15回：問題・解決パラグラフの書き方②
事前学習：事前にテキストの第7章を読み、課題をしておくこと。(2時間)
事後学習：問題・解決パラグラフの書き方について復習課題をする。(2時間)

定期試験

授業実施方法(面接授業・遠隔授業)

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

定期試験(50%)、課題(25%)、授業への取り組み(25%)
※授業への取り組みは、授業への参加状況、受講態度等を総合して判断する。

成績評価基準

1. Process writing の方法を理解し、英文を書く際に用いることができるか。
2. パラグラフの構成を理解し、それを踏まえて英文を書くことができるか。
3. パラグラフの展開の方法を理解し、それを活用して英文を書くことができるか。
4. 記述パラグラフの書き方を理解し、それをを用いて英文を書くことができるか。
5. 意見パラグラフの書き方を理解し、それをを用いて英文を書くことができるか。
6. 比較・対比パラグラフの書き方を理解し、それをを用いて英文を書くことができるか。
7. 問題・解決パラグラフの書き方を理解し、それをを用いて英文を書くことができるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

Writing Essays: From Paragraph to Essay Zemach, D. E. MACMILLAN LANGUAGE HOUSE 2013
他に随時プリントを使う。

その他(受講上の注意)

なるべく多く英文を書いて、書くことに対する抵抗が少なくなるよう努力してもらいたい。主体的な学習を期待する。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

英語Ⅲa (EnglishⅢa)			担当教員	M クズイフ	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
HS-2340	1 単位	3 年前期	演習	選択	
<科目区分> 人間学部学部共通科目 外国語科目					
求める学習成果(教育目標)					
大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実地的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input checked="" type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
A pre-reading warm-up activity will be held before reading the essay for each unit. Comprehension exercises, including pair-work, will follow the introduction of new vocabulary. After discussing the topic in groups, a short writing exercise will be given. Students will also be responsible for facilitating one lesson from the textbook and completing an original discussion assignment.	
授 業 の 到 達 目 標	
The goal of this course is to develop reading and discussion skills. Students will deepen their understanding of the world around them. Students will learn to engage in thoughtful and effective communication that is representative of an increasingly global world.	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習 (PBL) <input checked="" type="checkbox"/> 討議 (ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク (Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション (Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授業の計画及び授業外の学習方法	
第1回：Introductions (ディスカッション) 事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと (30分) 事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)	
第2回：Who Is J.K. Rowling? ① (ディスカッション) 事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと (30分) 事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)	
第3回：Who Is J.K. Rowling? ② (ディスカッション) 事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと (30分) 事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)	
第4回：What Are Some New Year's Customs? ① (ディスカッション) 事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと (30分) 事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)	
第5回：What Are Some New Year's Customs? ② (ディスカッション) 事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと (30分) 事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)	
第6回：Where Is Buckingham Palace? ① (ディスカッション) 事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと (30分) 事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)	
第7回：Where Is Buckingham Palace? ② (ディスカッション) 事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと (30分) 事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)	
第8回：Why Are Cows Special In India? ① (ディスカッション) 事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと (30分) 事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)	
第9回：Why Are Cows Special In India? ② (ディスカッション) 事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと (30分) 事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)	

- 第10回：Why Do People Give Gifts For Weddings? ① (ディスカッション)
 事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと (30分)
 事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)
- 第11回：Why Do People Give Gifts For Weddings? ② (ディスカッション)
 事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと (30分)
 事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)
- 第12回：What's Special About The Blowfish? ① (ディスカッション)
 事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと (30分)
 事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)
- 第13回：What's Special About The Blowfish? ② (ディスカッション)
 事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと (30分)
 事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)
- 第14回：Who Are The Sami? ① (ディスカッション)
 事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと (30分)
 事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)
- 第15回：Who Are The Sami? ② (ディスカッション)
 事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと (30分)
 事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)

Students are encouraged to consult the Internet for information on topics introduced in the textbook.

授業実施方法 (面接授業・遠隔授業)

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

Proactive In-class Participation - 20%
 Homework - 20%
 Lesson Facilitation - 20%
 Final Discussion - 40%

成績評価基準

Students are expected to and will be evaluated on their role during in-class discussions and on assigned material as well as their performance on the lesson facilitation and discussion assignments.

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

Broukal, Milada. What A World Reading 1: Amazing Stories from Around the Globe. Pearson Longman. ISBN 978-0-13-247267-8

その他(受講上の注意)

Active participation in class is essential for success in this course. English is encouraged as much as possible.

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

英語Ⅲb (EnglishⅢb)			担当教員	M クズイフ	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
HS-2341	1 単位	3 年後期	演習	選択	
<科目区分> 人間学部学部共通科目 外国語科目					
求める学習成果(教育目標)					
大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実地的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
■自他の理解能力		■コミュニケーション能力		□情報収集・探索能力	
□役割把握・認識能力		□計画実行能力		□社会・職業理解能力	
		□選択能力		□課題解決能力	

授 業 の 内 容	
<p>A pre-reading warm-up activity will be held before reading the essay for each unit. Comprehension exercises, including pair-work, will follow the introduction of new vocabulary. After discussing the topic in groups, a short writing exercise will be given.</p> <p>Students will also be responsible for facilitating one lesson from the textbook and completing an original discussion assignment.</p>	
授 業 の 到 達 目 標	
<p>The goal of this course is to develop reading and discussion skills. Students will deepen their understanding of the world around them. Students will learn to engage in thoughtful and effective communication that is representative of an increasingly global world.</p>	
アクティブ・ラーニング	
<p>□課題解決型学習(PBL) ■討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) □グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) □発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) □実習、フィールドワーク □実験、実技 □その他</p>	
授業の計画及び授業外の学習方法	
<p>第1回：Introductions (ディスカッション) 事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと(30分) 事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること(30分)</p> <p>第2回：Why Are Rain Forests Important? ① (ディスカッション) 事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと(30分) 事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること(30分)</p> <p>第3回：Why Are Rain Forests Important? ② (ディスカッション) 事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと(30分) 事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること(30分)</p> <p>第4回：What Is Tornado Alley? ① (ディスカッション) 事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと(30分) 事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること(30分)</p> <p>第5回：What Is Tornado Alley? ② (ディスカッション) 事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと(30分) 事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること(30分)</p> <p>第6回：Who Was Andrew Carnegie? ① (ディスカッション) 事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと(30分) 事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること(30分)</p> <p>第7回：Who Was Andrew Carnegie? ② (ディスカッション) 事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと(30分) 事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること(30分)</p> <p>第8回：Why Do People Decorate Their Bodies? ① (ディスカッション) 事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと(30分) 事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること(30分)</p> <p>第9回：Why Do People Decorate Their Bodies? ② (ディスカッション) 事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと(30分) 事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること(30分)</p>	

- 第10回：What Is Canada's Favorite Sport? ① (ディスカッション)
 事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと (30分)
 事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)
- 第11回：What Is Canada's Favorite Sport? ② (ディスカッション)
 事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと (30分)
 事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)
- 第12回：What's Special About New Zealand? ① (ディスカッション)
 事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと (30分)
 事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)
- 第13回：What's Special About New Zealand? ② (ディスカッション)
 事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと (30分)
 事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)
- 第14回：Who Were The Men Sailing Dragon Ships? ① (ディスカッション)
 事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと (30分)
 事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)
- 第15回：Who Were The Men Sailing Dragon Ships? ② (ディスカッション)
 事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと (30分)
 事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること (30分)

Students are encouraged to consult the Internet for information on topics introduced in the textbook.

授業実施方法 (面接授業・遠隔授業)

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

Proactive In-class Participation - 20%
 Homework - 20%
 Lesson Facilitation - 20%
 Final Discussion - 40%

成績評価基準

Students are expected to and will be evaluated on their role during in-class discussions and on assigned material as well as their performance on the lesson facilitation and discussion assignments.

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

Broukal, Milada. What A World Reading 1: Amazing Stories from Around the Globe. Pearson Longman. ISBN 978-0-13-247267-8

その他(受講上の注意)

Active participation in class is essential for success in this course. English is encouraged as much as possible.

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

海外語学研修 (Language Study Abroad)			担当教員	M ハウカ	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
HS-2342	4 単位	2 年～4 年	演習	選択	
<科目区分> 人間学部学部共通科目 外国語科目					
求める学習成果(教育目標)					
大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実地的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input checked="" type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力		<input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 計画実行能力		<input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input type="checkbox"/> 課題解決能力	
<input checked="" type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 選択能力					

授 業 の 内 容	
現地ではホームステイ・クラブ活動も行う。事前授業10回(後期)および事後授業5回(次年度前期)も合わせて受講し、以後の学修・研究のための動機付けを得ることを目指す。	
授 業 の 到 達 目 標	
集中的な英語研修と生活体験を通し、総合的な英語力(読む力・聞く力・話す力・書く力)を向上させることを目的とする。	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授業の計画及び授業外の学習方法	
事前学習(60時間) <ul style="list-style-type: none"> ・全体説明会(目的、日程、研修内容、宿泊、準備物[パスポート、航空券、クレジットカードなど]) ・ビザの申請 ・ホストファミリーへの紹介文 ・研修地に関する事前学習 ・場面別英会話の学習 ・プレゼンテーションの準備・練習 ・ブレースメントテスト ・経験者の話・質疑応答 ・最終確認 <集中講義(夏期休暇中)> 留学(80時間) <ul style="list-style-type: none"> ・英語の授業(リスニング、スピーキング、リーディング、ライティング、文法、語彙など) ・学外体験 ・文化施設見学 ・ホストファミリーとの交流(ホームステイ) ・体験ツアー ・歴史、文化授業参加、ディスカッション ・他の大学生との交流 事後学習(60時間) <ul style="list-style-type: none"> ・研修のふりかえり・レポート ・プレゼンテーション準備 ・体験報告会 	
授業実施方法(面接授業・遠隔授業)	
原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。	

成績評価方法
事前授業への取り組み (30%)、現地評価 (50%)、事後授業の取り組み (20%) を総合評価する。
成績評価基準
学外における自主的な活動や体験をとおして、通常の講義や演習で得られない視点や考察点を体得できたか。 学修・研究のための動機付けを得て、優れた社会人となるための自己認識を深めることができたか。 ※現地校から発行される成績表も評価に含まれる。
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック
1) 授業時の課題に対するフィードバックについて <input type="checkbox"/> 授業時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/> 授業時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 3) 小レポートに対するフィードバックについて <input type="checkbox"/> 授業時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて <input type="checkbox"/> 定期試験時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 5) その他 <input type="checkbox"/> 授業時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他
実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)
テキスト、参考図書
現地校より指示がある。
その他(受講上の注意)
本科目の履修登録については、担当教員が行うガイダンスおよび本プログラム参加をもって履修登録とするため、通常の受講登録手続きを要しない。
オフィスアワー
UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

フィールドワーク演習(インターンシップ) (Fieldwork Practice - Internship)			担当教員	升田 法継、森本 文人	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
HS-2360	2単位	3年通年	演習	選択	
<科目区分> 人間学部学部共通科目 修学基礎・フィールドワーク科目					
求める学習成果(教育目標)					
大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実地的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
■自他の理解能力		■コミュニケーション能力		■情報収集・探索能力	
■役割把握・認識能力		■計画実行能力		■社会・職業理解能力	
		■選択能力		■課題解決能力	

授 業 の 内 容	
本授業は、主として「ふくいインターンシップ」プログラム(3年生対象)に沿って、民間企業や各種団体、自治体等における就業体験(原則として5日間)を夏期休業中に行う。インターンシップ参加者(福井県外での参加者含む)は、事前の本学教員および主催者によるガイダンスや面接等を受講し、事後の報告会等に参加することを義務づけ、就業意識の高揚をねらう。※長期コース(原則10日間)や、複数の企業・団体等による就業体験に参加(例:2つの企業・団体等を選択し、10日間の就業体験に参加)することも可能です。	
授 業 の 到 達 目 標	
民間企業や各種団体・自治体等で就業体験(実習)を行い、以後の学習・研究のための動機付けを得ること、また社会人・職業人となるための自己認識、自己啓発につなげること。	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授業の計画及び授業外の学習方法	
■準備・事前研修期間 4月上旬:本学ガイダンスへの参加(学内実施) 4月上旬:インターンシップ志望動機書の提出(学内実施) 4月下旬:面接(学内実施) ※結果発表:5月上旬 4月下旬:合同ガイダンスへの参加(学外実施) 5月中旬:エントリーシートの提出(学内実施) 6月上旬:本学事前研修会への参加(学内実施) 6月下旬:就業体験先企業・団体の通知(学内実施) 7月中旬:合同事前研修会への参加(学外実施) ■就業体験期間 7月上旬~:就業体験先企業・団体と事前調整 8月上旬~9月下旬:就業体験 ■事後研修期間 10月下旬:合同事後研修会への参加(学外実施)(グループワークおよび発表) 事後学習:授業で課された「インターンシップで学んだこと」について、レポートにまとめておくこと。 11月下旬:レポートの提出(学内実施) ※テーマ:インターンシップで学んだこと ※授業外の基本的な学習(60時間)方法として、就業体験先企業・団体の組織概要や事業内容について調べたり、あらかじめ疑問点を考えておくなどし、問題意識をもって就業体験に参加してください(予習)。また、就業体験、研修の内容や気づいたことなどを整理・確認するなどし、次回プログラムに備えてください(復習)。	
授業実施方法(面接授業・遠隔授業)	
原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。	
成 績 評 価 方 法	
就業体験先企業・団体の評価(35%)、レポート(30%)、平常点(35%) 平常点は事前研修(ガイダンス・面接を含む)の参加状況、参加意欲(志望動機)等を総合して判断する。	

成績評価基準

インターンシップ先の研修において、期待される行動・態度がとれているか。
 就業体験をとおして、今後自己に必要な学習・研究について明確化することができているか。
 民間企業や各種団体等での就業体験によって、自己の就業意識を向上することができたか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

元情報通信会社管理職(社員数:26万人、主な担当業務:人事、社長・取締役秘書、マーケティング、新規ビジネス開発、システム コンサルタント等)

情報通信会社において、人事や社長・取締役スタッフ経験のある教員が、学生の就業体験にあたっての心構えや留意点についての解説や就業体験後の振り返り(反省・成果の確認)の場を提供するとともに、振り返りを踏まえた今後の課題について、学生生活を関連づけて考えることができるよう促す。

テキスト、参考図書

使用しない。

その他(受講上の注意)

本科目の履修登録については、それぞれの担当教員がガイダンスなどを実施し、各プログラムの参加者をもって受講者とするため、通常の受講登録手続きを要しない。

- ・受講希望者には、「志望動機書」の提出および面接を行い、就業意欲を認めたくえで実施する。
- ・授業計画は、協力団体などの都合により、前後したり変更する場合がある。
- ・第1回キャリアガイダンスにおいてスケジュールなどについて説明するので、必ず出席すること。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

フィールドワーク演習(ボランティア) (Fieldwork Practice - Volunteer)			担当教員	水田 敏郎、小川 慶	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
HS-2163	2単位	1年～4年	演習	選択	
<科目区分> 人間学部学部共通科目 修学基礎・キャリア形成科目					
求める学習成果(教育目標)					
大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実地的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
■自他の理解能力		■コミュニケーション能力		■情報収集・探索能力	
■役割把握・認識能力		■計画実行能力		□社会・職業理解能力	
		□選択能力		■課題解決能力	

授 業 の 内 容	
<p>本プログラムには、学内外でのボランティア活動体験、社会的イベント・コンペティションなどへの参画体験が含まれる。教室や研究室で学習や研究をするのではなく、実際に社会での直接的体験を通して、優れた社会人となるための自己認識、自己啓発の機会とすることを目的とする。担当教員や活動支援団体による説明会への参加をもとに受講の意思を明らかにし、プログラムへ参加する。</p> <p>なお、本科目は国連が定める「持続可能な開発目標 (SDGs)」に向けて地域の社会的課題に取り組むSDGs関連科目である。</p>	
授 業 の 到 達 目 標	
<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれが今後学ぶ、または学んでいることの社会的意義を見いだすことができる。 ・学生間のもとより、地域社会で仕事や生活をしている社会人とのコミュニケーションが、円滑に行える。 	
アクティブ・ラーニング	
<p>■課題解決型学習 (PBL) □討議 (ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) □グループワーク (Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) □発表・プレゼンテーション (Teams、Zoom等) ■実習、フィールドワーク □実験、実技 □その他</p>	
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法	
<p>地域社会からのニーズを元にプログラムを立てるため、その解決すべき課題を元に授業計画を設定する。</p> <p>1. 事前ガイダンスの実施と計画の提示 (2時間) 2. 現地にて研修 (26時間以上) 3. 事後報告として、レポート・プレゼンテーション等の実施、課題に関連する情報の収集 (2時間)</p> <p>・事前学習 (30時間) …受け入れ担当者から指示された課題やタスクへの取り組み。レポート・プレゼンテーションの準備など。 ・事後学習 (30時間) …研修記録の執筆、受け入れ担当者から指示された課題やタスクへの取り組みなど。</p>	
授 業 実 施 方 法 (面 接 授 業 ・ 遠 隔 授 業)	
<p>原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。</p>	
成 績 評 価 方 法	
<p>活動や取り組みの状況 (50%)、レポートまたはプレゼンテーション (50%)</p>	
成 績 評 価 基 準	
<p>課題について、的確な視点を持ち、その解決に向けて自身の考察による提案ができるか。</p>	

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

使用しない。

その他(受講上の注意)

本科目の履修登録については、それぞれの担当教員がガイダンスなどを実施し、各プログラムの参加者をもって受講者とするため、通常の受講登録手続きを要しない。

※個人参加のボランティア活動体験、社会的イベント・コンペティションなどへの参画体験等も対象とする場合があるので、受講希望者は、事前に科目担当者へ問い合わせること。

※単位認定については、参加するボランティア活動体験、社会的イベント・コンペティションのプログラム終了後、担当教員より課される課題等を全て提出し、単位認定するにあたり適当であると認めた場合のみとする。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

フィールドワーク演習(国際交流) (Fieldwork Practice - International Exchange)			担当教員	M ハウカ	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
HS-2164	2単位	1年～4年	演習	選択	
<科目区分> 人間学部学部共通科目 修学基礎・キャリア形成科目					
求める学習成果(教育目標)					
大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実地的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
■自他の理解能力		■コミュニケーション能力		■情報収集・探索能力	
□役割把握・認識能力		■計画実行能力		□選択能力	
				■社会・職業理解能力	
				□課題解決能力	

授 業 の 内 容	
<p>原則としてアメリカ・カリフォルニア州立大学フラトン校(本学姉妹校)での集中講義(2週間)の形式で実施するが、英語教育センターで承認を受けた場合は個人留学による語学研修でも履修可能である。フラトン校での集中講義では、授業あるいはワークショップの参加・見学、キャンパス内外での視察、クラブ活動参加、観光等を通じて国際交流を体験し、以後の学修・研究のための動機付けを得ることを目指す。前期に事前授業10回・後期に事後授業5回を実施する。</p>	
授 業 の 到 達 目 標	
<ul style="list-style-type: none"> ・学外における自主的な活動や体験を通して、通常の講義や演習で得られない視点や考察点を体得する。 ・「仁愛大学海外短期研修プログラム(2週間)」への参画体験演習を通して、以後の学修・研究のための動機付けを得る。 ・異文化理解を深める。 	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input checked="" type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法	
<p>事前学習(30時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体説明会(目的、日程、研修内容、宿泊、準備物[パスポート、航空券、クレジットカードなど]) ・ビザの申請 ・ホストファミリーへの紹介文 ・研修地に関する事前学習 ・場面別英会話の学習 ・プレゼンテーションの準備・練習 ・ブレスメントテスト ・経験者の話・質疑応答 ・最終確認 <p><集中講義(夏期休暇中)></p> <p>留学(40時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語の授業(リスニング、スピーキング、リーディング、ライティング、文法、語彙など) ・日本語の指導 ・文化施設見学 ・ホストファミリーとの交流(ホームステイ) ・体験ツアー ・歴史、文化授業参加、ディスカッション ・他の大学生との交流 <p>事後学習(30時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修のふりかえり・レポート ・プレゼンテーション準備 ・体験報告会 	

授業実施方法(面接授業・遠隔授業)
原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。
成績評価方法
事前授業の取り組み(30%)、現地評価(50%)、事後授業の取り組み、およびレポート課題(20%)を総合評価する。
成績評価基準
学外における自主的な活動や体験をとおして、通常の講義や演習で得られない視点や考察点を体得できたか。学修・研究のための動機付けを得て、優れた社会人となるための自己認識を深めることができたか。
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック
1) 授業時の課題に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/> 授業時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/> 授業時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 3) 小レポートに対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/> 授業時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて <input type="checkbox"/> 定期試験時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 5) その他 <input type="checkbox"/> 授業時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他
実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)
テキスト、参考図書
特になし
その他(受講上の注意)
受講生が少ない場合、非開講とすることがある。本科目の履修登録については、担当教員等が行うガイダンスおよび本プログラム参加をもって履修登録とするため、通常履修登録手続きを要しない。 【フラトン校での集中講義以外の履修について】 履修要件：英語教育センターで(1)～(4)を行うこと (1) 留学相談(留学先・方法など決定) (2) 審査(本科目としての適切性) (3) 事前指導(提出書類準備・渡航準備) (4) 事後指導(必要な課題提出・発表・単位認定審査) 研修期間：夏期休暇期間または春期休暇期間 単位認定時期：夏期休暇期間の場合は当該年度後期、春期休暇期間の場合は翌年度前期 ※卒業年次生は、夏期休暇中の実施のみ
オフィスアワー
UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

心理検査演習 (Training Course of Psychological Testing)			担当教員	吉水 ちひろ、青井 利哉、中尾 繁史	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
PS-F-2310	2単位	3年前期	演習	選択	
<科目区分> 人間学部心理学科専門科目 基幹科目 心理学基礎					
求める学習成果(教育目標)					
心理学の研究方法や基礎的知識を習得する。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
■自他の理解能力		■コミュニケーション能力		■情報収集・探索能力	
□役割把握・認識能力		□計画実行能力		□課題解決能力	
				■社会・職業理解能力	

授 業 の 内 容	
この授業では、心理検査の背景理論や実施方法について学習した後、実際に検査者と被検者の双方を体験する。これを通して、心理検査を正しく理解するだけでなく、その効用と限界の認識、さらに倫理性をわきまえた態度を身につけていく。また、一定の決められた実施法や解釈の仕方などを習得する中で、新たな自分への気づきや他者理解へと繋げることを目的とする。	
授 業 の 到 達 目 標	
<ul style="list-style-type: none"> ・心理検査の種類を理解し、各検査の効用と限界について説明できる。 ・心理検査の実施に際して、実施手順や分析手順を理解し施行できる。 ・心理検査を用いるときの倫理的配慮や注意事項について説明することができる。 ・自分自身の性格を多角的に分析し、他者に説明できる。 	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法	
この授業では、さまざまな心理検査について体験的学習を行うためにグループ別にて演習を行う。以下のように4週ごとに異なる検査について学ぶ。	
第1回：オリエンテーション 事前学習：心理的アセスメントを振り返り、基礎的な知識の復習をしておく。(2時間) 事後学習：テキストを参照し、質問項目をまとめておく。(2時間)	
第2回：アセスメントにおける心理検査法の役割・レポートの書き方についての説明 事前学習：授業のテーマについてテキストを見直し、自分なりの意見をまとめておく。(2時間) 事後学習：関連することを参考文献等で調べ、ポイントを整理しまとめておく。(2時間)	
第3回：質問紙法検査(STAI、MAS、CMI)・投映法検査(風景構成法、SCT)・知能検査(WAIS-IV)①実習 事前学習：テキストの該当する章や参考文献を読み、質問項目をまとめておく。(2時間) 事後学習：授業で課された課題について、レポートにまとめておく。(2時間)	
第4回：質問紙法検査(STAI、MAS、CMI)・投映法検査(風景構成法、SCT)・知能検査(WAIS-IV)②実習 事前学習：テキストの該当する章や参考文献を読み、質問項目をまとめておく。(2時間) 事後学習：授業で課された課題について、レポートにまとめておく。(2時間)	
第5回：質問紙法検査(STAI、MAS、CMI)・投映法検査(風景構成法、SCT)・知能検査(WAIS-IV)③実習 事前学習：テキストの該当する章や参考文献を読み、質問項目をまとめておく。(2時間) 事後学習：授業で課された課題について、レポートにまとめておく。(2時間)	
第6回：質問紙法検査(STAI、MAS、CMI)・投映法検査(風景構成法、SCT)・知能検査(WAIS-IV)④実習 事前学習：テキストの該当する章や参考文献を読み、質問項目をまとめておく。(2時間) 事後学習：授業で課された課題について、レポートにまとめておく。(2時間)	
第7回：質問紙法検査(STAI、MAS、CMI)・投映法検査(風景構成法、SCT)・知能検査(WAIS-IV)①実習 事前学習：テキストの該当する章や参考文献を読み、質問項目をまとめておく。(2時間) 事後学習：授業で課された課題について、レポートにまとめておく。(2時間)	
第8回：質問紙法検査(STAI、MAS、CMI)・投映法検査(風景構成法、SCT)・知能検査(WAIS-IV)②実習 事前学習：テキストの該当する章や参考文献を読み、質問項目をまとめておく。(2時間) 事後学習：授業で課された課題について、レポートにまとめておく。(2時間)	

- 第9回：質問紙法検査 (STAI、MAS、CMI) ・投映法検査 (風景構成法、SCT) ・知能検査 (WAIS-IV) ③実習
事前学習：テキストの該当する章や参考文献を読み、質問項目をまとめておく。(2時間)
事後学習：授業で課された課題について、レポートにまとめておく。(2時間)
- 第10回：質問紙法検査 (STAI、MAS、CMI) ・投映法検査 (風景構成法、SCT) ・知能検査 (WAIS-IV) ④実習
事前学習：テキストの該当する章や参考文献を読み、質問項目をまとめておく。(2時間)
事後学習：授業で課された課題について、レポートにまとめておく。(2時間)
- 第11回：質問紙法検査 (STAI、MAS、CMI) ・投映法検査 (風景構成法、SCT) ・知能検査 (WAIS-IV) ①実習
事前学習：テキストの該当する章や参考文献を読み、質問項目をまとめておく。(2時間)
事後学習：授業で課された課題について、レポートにまとめておく。(2時間)
- 第12回：質問紙法検査 (STAI、MAS、CMI) ・投映法検査 (風景構成法、SCT) ・知能検査 (WAIS-IV) ②実習
事前学習：テキストの該当する章や参考文献を読み、質問項目をまとめておく。(2時間)
事後学習：授業で課された課題について、レポートにまとめておく。(2時間)
- 第13回：質問紙法検査 (STAI、MAS、CMI) ・投映法検査 (風景構成法、SCT) ・知能検査 (WAIS-IV) ③実習
事前学習：テキストの該当する章や参考文献を読み、質問項目をまとめておく。(2時間)
事後学習：授業で課された課題について、レポートにまとめておく。(2時間)
- 第14回：質問紙法検査 (STAI、MAS、CMI) ・投映法検査 (風景構成法、SCT) ・知能検査 (WAIS-IV) ④実習
事前学習：テキストの該当する章や参考文献を読み、質問項目をまとめておく。(2時間)
事後学習：授業で課された課題について、レポートにまとめておく。(2時間)
- 第15回：演習の振り返りとまとめ
事前学習：これまでの演習を復習しておく。(2時間)
事後学習：授業の到達目標に達しているかを確認する。(2時間)

※各検査の担当者は [] に示す通りである。質問紙法検査 [青井]、投影法検査 [吉水]、知能検査 [中尾]
予習：テキストおよび参考文献を用いて各回で取り上げる心理検査について予習し、基本的な事柄について理解しておくこと。
復習：授業で体験した心理検査を通して、考えたことや感じたことをまとめておくこと。また、授業時間だけでは作業が終わらない場合は、残った作業を遂行して次回の授業に臨むこと。

授業実施方法 (面接授業・遠隔授業)

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

授業への参加状況や受講態度 (30%)、検査ごとに作成する課題レポート (60%)、演習全体を通した小レポート (10%) などから総合的に評価する。心理検査を用いた演習を行うため、出席状況や受講態度が悪い場合は、厳しく減点する。

成績評価基準

- ・心理検査の種類を理解し、各検査の効用と限界について説明できるか。
- ・心理検査の実施に際して、実施手順や分析手順を理解し施行できるか。
- ・心理検査を用いるときの倫理的配慮や注意事項について説明することができるか。
- ・自分自身の性格を多角的に分析し、他者に説明できるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) レポート試験(を含む)に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

- ・経歴
(公認心理師、臨床心理士)
- ・実務経験と授業内容との関連性
(公認心理師の教員の指導の下、心理検査法の背景理論や実施方法、効用と限界の認識について理解するために演習を行う。)

テキスト、参考図書

各検査毎に必要な資料を配布したり、参考図書を指示する。

その他(受講上の注意)

- ・実習を含むので、出席と熱心な受講態度を期待する。
- ・自分自身の性格等の自己開示が必要な場合がある。
- ・心理検査の学習者・実施者の倫理(授業時に説明)を守り、検査の知識を安易に使用しないこと。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

心理面接演習 (Training Course of Clinical Interviewing)			担当教員	稲木 康一郎、目黒 達哉	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
PS-F-2312	2単位	3年前期	演習	選択	
<科目区分> 人間学部心理学科専門科目 基幹科目 心理学基礎					
求める学習成果(教育目標)					
心理学の研究方法と基礎的な知識・技能・技術					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
■自他の理解能力		■コミュニケーション能力		■情報収集・探索能力	
■役割把握・認識能力		□計画実行能力		□社会・職業理解能力	
		□選択能力		□課題解決能力	

授 業 の 内 容	
心理学分野で用いられる面接法(個人アプローチ・グループアプローチ)について学ぶ。 具体的には、心理面接法に関する基礎知識についての講義を行い、演習によって学生が体験的に学習する。	
授 業 の 到 達 目 標	
①心理面接法(個人アプローチ・グループアプローチ)の基本的な理論や技法を理解する。 ②心理面接法を行う際に必要な倫理的態度を理解し、身につける。 ③積極的な演習への参加を通して、人の意見を聞き自分の意見を言える能力を身につける。	
アクティブ・ラーニング	
□課題解決型学習(PBL) ■討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) ■グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) □発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) □実習、フィールドワーク □実験、実技 ■その他(ロールプレイ)	
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法	
2つのグループ(A・B)が交替で2つの演習(個人アプローチ・グループアプローチ)を行う。 全体の授業計画は以下のとおり。 第1回 (全体授業)オリエンテーション・グループ分け【稲木・目黒】 第2回～第7回(グループ別)A:個人アプローチ【目黒】、B:グループアプローチ【稲木】 第8回 (全体授業)中間まとめと課題【目黒・稲木】 第9回～第14回(グループ別)A:グループアプローチ【稲木】、B:個人アプローチ【目黒】 第15回 (全体授業)演習全体のまとめと課題【稲木・目黒】 なお、演習の進行状況など、場合によっては、スケジュールが変更されることもあります。 以下に、Aグループの授業計画を示す。 第1回:全体授業 オリエンテーション・グループ分け 事前学習:シラバスを熟読すること。(2時間) 事後学習:講義の内容を各自で復習すること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、eラーニングを利用して担当教員に質問すること。(2時間) 第2回:講義 傾聴カウンセリングの理念とスキルについて 事前学習:自分自身について気づきを深め感受性を磨くこと。心理学のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。(2時間) 事後学習:「ふり返し用紙」(講義の内容をまとめる・一人でできる傾聴ワークの感想)を提出すること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、eラーニングを利用して担当教員に質問すること。(2時間) 第3回:演習 傾聴のスキル ― 受容・くり返し・明確化(ロールプレイ) 事前学習:自分自身について気づきを深め感受性を磨くこと。心理学のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。(2時間) 事後学習:演習の体験と課題について「ふり返し用紙」にまとめ、提出すること。(2時間) 第4回:演習 クライアントの語り(ロールプレイ) 事前学習:自分自身について気づきを深め感受性を磨くこと。心理学のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。(2時間) 事後学習:演習の体験と課題について「ふり返し用紙」にまとめ、提出すること。(2時間)	

- 第5回：演習 カウンセラーからの質問（ロールプレイ）
事前学習：自分自身について気づきを深め感受性を磨くこと。心理学のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。（2時間）
事後学習：演習の体験と課題について「ふり返り用紙」にまとめ、提出すること。（2時間）
- 第6回：演習 沈黙とリード・対話と沈黙（ロールプレイ）
事前学習：自分自身について気づきを深め感受性を磨くこと。心理学のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。（2時間）
事後学習：演習の体験と課題について「ふり返り用紙」にまとめ、提出すること。（2時間）
- 第7回：演習 対話分析・フリートーク（ロールプレイ）
事前学習：自分自身について気づきを深め感受性を磨くこと。心理学のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。（2時間）
事後学習：演習の体験と課題について「ふり返り用紙」にまとめ、提出すること。（2時間）
- 第8回：全体授業 中間まとめと課題
事前学習：課題の準備をすること。（2時間）
事後学習：課題の復習をすること。（2時間）
- 第9回：講義 グループアプローチと多様なエクササイズについて
事前学習：新聞やTV、インターネット上の報道にふれ、社会の動きに関心を深めること。心理学のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。（2時間）
事後学習：講義の内容を各自で復習すること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、eラーニングを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
- 第10回：演習 アイスブレイキング（グループワーク）
事前学習：新聞やTV、インターネット上の報道にふれ、社会の動きに関心を深めること。心理学のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。（2時間）
事後学習：演習の体験について、受講生どうして話し合うこと。（2時間）
- 第11回：演習 心理劇（グループワーク）
事前学習：新聞やTV、インターネット上の報道にふれ、社会の動きに関心を深めること。心理学のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。（2時間）
事後学習：演習の体験について、受講生どうして話し合うこと。（2時間）
- 第12回：演習 KJ法（グループワーク）
事前学習：新聞やTV、インターネット上の報道にふれ、社会の動きに関心を深めること。心理学のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。（2時間）
事後学習：演習の体験について、受講生どうして話し合うこと。（2時間）
- 第13回：演習 ワールドカフェ（討議・ディスカッション）
事前学習：新聞やTV、インターネット上の報道にふれ、社会の動きに関心を深めること。心理学のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。（2時間）
事後学習：演習の体験について、受講生どうして話し合うこと。（2時間）
- 第14回：講義 SCによる心理教育
事前学習：新聞やTV、インターネット上の報道にふれ、社会の動きに関心を深めること。心理学のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。（2時間）
事後学習：課題の準備をすること。（2時間）
- 第15回：全体授業 演習全体のまとめと課題
事前学習：課題の準備をすること。（2時間）
事後学習：課題の復習をすること。（2時間）

授業実施方法（面接授業・遠隔授業）

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

授業への積極的な参加（40%）、および、課題（60%）で評価する。
授業への積極的な参加は、出席・態度・発言・ワークシートの内容などを総合的に評価する。
また、演習形式の授業であるため、授業への欠席や遅刻などは厳重に減点を行う。

成績評価基準

- ①心理面接法の基礎的かつ実践的な知識が身につけているか。
- ②心理面接法を行う際に必要な倫理的態度を理解し、身につけているか。
- ③演習に積極的に参加し、人の意見を聞き自分の意見を言える能力を身につけているか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

- ・経歴
(公認心理師, 臨床心理士)
- ・実務経験と授業内容との関連性
(公認心理師の教員が、心理面接法の基本的な理論や技法、必要な倫理的態度について解説する。)

テキスト、参考図書

テキストはオリエンテーション時に示す。

その他(受講上の注意)

2つのグループに分かれ、交替して、個人アプローチとグループアプローチの2つの演習を行う。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

司法・犯罪心理学 (Forensic and Criminal Psychology)			担当教員	廣井 亮一	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
PS-G-2324	2単位	3年前期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部心理学科専門科目 基幹科目 心理学専門					
求める学習成果(教育目標)					
心理学の各領域における基礎的かつ一般的な知識					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
■自他の理解能力		■コミュニケーション能力		■社会・職業理解能力	
□役割把握・認識能力		□計画実行能力		□課題解決能力	
		□情報収集・探索能力		□選択能力	

授 業 の 内 容	
<p>講義内容を3部で構成する。</p> <p>第1部では、少年犯罪の現状をもとに現代の少年犯罪の特徴を考察する。</p> <p>第2部では、少年非行の歴史の変遷をもとに、非行や犯罪につながる「攻撃性」の質的変質を説明したうえで、現代の社会問題になっている児童虐待と非行、現代型いじめについて講義する。</p> <p>第3部では、ストーカー犯罪についての解説を行いながら司法臨床の必要性を明示する。</p> <p>*以上について、ワークとディスカッションを行いながら講義をすすめる。</p>	
授 業 の 到 達 目 標	
<ul style="list-style-type: none"> ・非行少年や犯罪者を十分に理解して、彼らの更生の援助ができる。 ・人と人との関係性を修復することができる。 	
アクティブ・ラーニング	
<input checked="" type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法	
<p>第1回：講義の進め方、犯罪心理学への導入 事前学習：授業前にテキストの第6章を読んで、疑問点、各自の考えを整理しておくこと。(2時間) 事後学習：授業の復習を行うこと。授業で課された復習課題をやること。(2時間)</p> <p>第2回：現代の少年犯罪の特徴 事前学習：前回の授業内容でよく分からない点や質問をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：テキスト、配布資料で授業の復習を行うこと。授業で課された復習課題をやること。(2時間)</p> <p>第3回：少年犯罪の現状 事前学習：前回の授業内容でよく分からない点や質問をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：テキスト、配布資料で授業の復習を行うこと。授業で課された復習課題をやること。(2時間)</p> <p>第4回：非行少年とは 事前学習：前回の授業内容でよく分からない点や質問をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：テキスト、配布資料で授業の復習を行うこと。授業で課された復習課題をやること。(2時間)</p> <p>第5回：少年事件と家庭裁判所、犯罪者と地方裁判所 事前学習：前回の授業内容でよく分からない点や質問をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：テキスト、配布資料で授業の復習を行うこと。授業で課された復習課題をやること。(2時間)</p> <p>第6回：少年非行の歴史の変遷-その1 事前学習：前回の授業内容でよく分からない点や質問をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：テキスト、配布資料で授業の復習を行うこと。授業で課された復習課題をやること。(2時間)</p> <p>第7回：なぜ人を殺してはいけないのか 事前学習：前回の授業内容でよく分からない点や質問をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：テキスト、配布資料で授業の復習を行うこと。授業で課された復習課題をやること。(2時間)</p> <p>第8回：少年非行の歴史の変遷-その2 事前学習：前回の授業内容でよく分からない点や質問をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：テキスト、配布資料で授業の復習を行うこと。授業で課された復習課題をやること。(2時間)</p> <p>第9回：愛着障害と非行-広島少女遺体遺棄事件 事前学習：前回の授業内容でよく分からない点や質問をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：テキスト、配布資料で授業の復習を行うこと。授業で課された復習課題をやること。(2時間)</p>	

<p>第10回：現代型いじめ 事前学習：テキストの第6章を読んで、疑問点、各自の考えを整理しておくこと。(2時間) 事後学習：テキスト、配布資料で授業の復習を行うこと。授業で課された復習課題をやること。(2時間)</p> <p>第11回：現代の子どもの死生観 事前学習：前回の授業内容でよく分からない点や質問をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：テキスト、配布資料で授業の復習を行うこと。授業で課された復習課題をやること。(2時間)</p> <p>第12回：ストーカー犯罪の理解と対応－逗子ストーカー事件をもとに 事前学習：前回の授業内容でよく分からない点や質問をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：テキスト、配布資料で授業の復習を行うこと。授業で課された復習課題をやること。(2時間)</p> <p>第13回：ストーカー犯罪の検証－大阪府警の100ケースをもとに 事前学習：前回の授業内容でよく分からない点や質問をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：テキスト、配布資料で授業の復習を行うこと。授業で課された復習課題をやること。(2時間)</p> <p>第14回：非行・犯罪と攻撃性と依存性 事前学習：前回の授業内容でよく分からない点や質問をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：テキスト、配布資料、ノートで今まで総復習を行うこと。(2時間)</p> <p>第15回：まとめ 事前学習：テストに備えた学修をすること。(2時間) 事後学習：テキスト、配布資料、ノートで今まで総復習を行うこと。(2時間)</p> <p>第16回：定期試験</p>
授業実施方法(面接授業・遠隔授業)
原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。
成績評価方法
テスト(50%) 平常点(50%)：授業態度、出席等
成績評価基準
・非行少年や犯罪者を十分に理解しているか。 ・人と人との関係性を修復するために必要な知識を得たか。
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック
<p>1) 授業時の課題に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>3) 小レポートに対するフィードバックについて <input type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて <input type="checkbox"/>定期試験時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>5) その他 <input type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p>
実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)
テキスト、参考図書
テキスト：『悪さをしない子は悪人になります』 廣井亮一著 新潮社 2023年1月発行 (*テキストは予習・復習、講義とテストに使用するので、各自必ず準備すること)
その他(受講上の注意)
授業中のスマホ・携帯は禁止。パソコン使用については講義中に説明する。
オフィスアワー
UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

教育・学校心理学 (Educational and School Psychology)			担当教員	竹村 明子	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
PS-G-2332	2単位	3年前期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部心理学科専門科目 基幹科目 心理学専門					
求める学習成果(教育目標)					
心理学の各領域における基礎的かつ一般的な知識					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input checked="" type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input checked="" type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
<p>教育とは、子どもの発達と自己形成の支援を行うものである。このような「教育」について、心理学の視点から考える学問が教育心理学である。</p> <p>本講義では、児童・生徒の発達や学習、人間関係に関する特徴について学び、各子どもに適切な学習指導や生徒指導について考察する。また標準的発達とは異なる特徴を示す児童・生徒についても、知識や理解を深め、彼らへの支援法について考えていく。</p>	
授 業 の 到 達 目 標	
<p>①児童・生徒の発達や学習の特徴、障害について、基本的な知識を習得できる</p> <p>②教育心理学の理論や知見を基に学校教育について考えることができる</p> <p>③現在の教育上の問題について、考察することができる</p>	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習 (PBL) <input type="checkbox"/> 討議 (ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク (Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション (Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法	
<p>第1回：オリエンテーション：教育・学校心理学とは 事前学習：シラバスを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間） 事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて、図書館で調べたり、担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）</p> <p>第2回：教育の諸問題 事前学習：シラバスを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間） 事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて、図書館で調べたり、担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）</p> <p>第3回：発達と教育 事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし、内容を読み質問項目をまとめる（2時間） 事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて、図書館で調べたり、担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）</p> <p>第4回：動機づけ1（達成動機・学習性無力感） 事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし、内容を読み質問項目をまとめる（2時間） 事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて、図書館で調べたり、担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）</p> <p>第5回：動機づけ2（目標理論 原因帰属） 事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし、内容を読み質問項目をまとめる（2時間） 事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて、図書館で調べたり、担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）</p> <p>第6回：動機づけ3（内発的動機づけ） 事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし、内容を読み質問項目をまとめる（2時間） 事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて、図書館で調べたり、担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）</p>	

- 第7回：学習指導法
 事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし、内容を読み質問項目をまとめる（2時間）
 事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて、図書館で調べたり、担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）
- 第8回：中間試験（前半）・問題解決（後半）
 事前学習：第1回目から7回目までに提示された重要ポイントについて勉強をし、中間試験に臨むこと（2時間）
 事後学習：中間試験問題を持ち帰り、自己採点をして間違った解答について復習をすること（2時間）
- 第9回：教育評価
 事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし、内容を読み質問項目をまとめる（2時間）
 事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて、図書館で調べたり、担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）
- 第10回：知的能力と教育
 事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし、内容を読み質問項目をまとめる（2時間）
 事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて、図書館で調べたり、担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）
- 第11回：社会性の発達と教育
 事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし、内容を読み質問項目をまとめる（2時間）
 事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて、図書館で調べたり、担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）
- 第12回：学級集団の心理学
 事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし、内容を読み質問項目をまとめる（2時間）
 事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて、図書館で調べたり、担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）
- 第13回：発達の問題と特別支援教育
 事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし、内容を読み質問項目をまとめる（2時間）
 事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて、図書館で調べたり、担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）
- 第14回：不登校の理解
 事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし、内容を読み質問項目をまとめる（2時間）
 事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて、図書館で調べたり、担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）
- 第15回：いじめの理解
 事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし、内容を読み質問項目をまとめる（2時間）
 事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて、図書館で調べたり、担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）
- 第16回：まとめと期末評価

日頃から教育に関連する書籍・新聞を読み、興味を持って授業に臨むこと

授業実施方法（面接授業・遠隔授業）

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

成績評価は、①授業毎に課される課題の内容（30%）、②中間試験またはレポートおよび期末試験またはレポート（70%）で総合的に評価をする。

成績評価基準

- ①児童・生徒の発達や学習の特徴、障害について、基本的な知識をどの程度習得できているか
- ②教育心理学の理論や知見を基に学校教育について、どの程度適切に考えることができるか
- ③現在の教育上の問題について、どの程度論理的・具体的に考察することができるか

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

テキストは特に設けない。授業ごとに資料を配付する。

【参考資料】水野他(編著)教育・学校心理学-子どもの学びを支え、学校の課題に向き合う-。ミネルヴァ書房 ISBN 978-4-623-08607-8

その他(受講上の注意)

- ・毎回の講義の資料はE-learning上に掲載しておくので、ダウンロードやプリントアウトをして、資料を見ながら授業に参加できるよう準備をすること。
- ・毎回の講義でE-Learning上に掲載した小テストを課す。この小テストの受験と成績を出席の参考とする。必ずE-Learningにアクセスできるノートパソコン・タブレット・スマホを準備して講義に臨むこと。
- ・講義では、自分の意見をまとめ表現できるよう心がけてほしい。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

交通心理学 (Traffic Psychology)			担当教員	森本 文人	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
PS-G-2337	2単位	3年前期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部心理学科専門科目 基幹科目 心理学専門					
求める学習成果(教育目標)					
心理学の各領域における基礎的かつ一般的な知識					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input checked="" type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
<p>交通心理学の主な目標のひとつは、車社会における道路利用者の安全と事故の防止である。交通場面での安全確保と発生する事故の防止のためには、それらにつながる人的要因とそれ以外の要因について、心理学領域より明らかにされてきた事象を理解し、有効に活用することが求められる。</p> <p>本授業では、交通心理学の歴史を紹介し、得られた研究成果をもとに、上記の目標につながる知見を獲得する。また地域の抱える交通問題や現代の交通事情についての理解を深めていく。</p>	
授 業 の 到 達 目 標	
<input checked="" type="checkbox"/> 交通心理学の基礎的な概念と主要な研究成果について理解する。 <input checked="" type="checkbox"/> 事故防止などの社会的問題の解決に向けて交通心理学の果たす役割・手法について理解する。 <input checked="" type="checkbox"/> 福井の交通事情における地域特有の問題について説明できる。	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input checked="" type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法	
第1回：交通心理学概説1 事前学習：なし 事後学習：授業で紹介されたスライドおよび板書に基づいて、その内容を各自で整理する。(2時間) 第2回：交通心理学概説2 事前学習：前回の内容を復習し、質問項目をまとめておく。(2時間) 事後学習：授業で紹介されたスライドおよび板書に基づいて、その内容を各自で整理する。(2時間) 第3回：ドライバーの知覚・認知・応答特性 事前学習：前回の内容を復習し、質問項目をまとめておく。(2時間) 事後学習：授業で紹介されたスライドおよび板書に基づいて、その内容を各自で整理する。(2時間) 第4回：外界からの情報入力～運動出力 事前学習：前回の内容を復習し、質問項目をまとめておく。(2時間) 事後学習：授業で紹介されたスライドおよび板書に基づいて、その内容を各自で整理する。(2時間) 第5回：事故につながるリスクを好む行動傾向 事前学習：前回の内容を復習し、質問項目をまとめておく。(2時間) 事後学習：授業で紹介されたスライドおよび板書に基づいて、その内容を各自で整理する。(2時間) 第6回：運転支援システム 事前学習：前回の内容を復習し、質問項目をまとめておく。(2時間) 事後学習：授業で紹介されたスライドおよび板書に基づいて、その内容を各自で整理する。(2時間) 第7回：運転適性 事前学習：前回の内容を復習し、質問項目をまとめておく。(2時間) 事後学習：授業で紹介されたスライドおよび板書に基づいて、その内容を各自で整理する。(2時間) 第8回：運転に必要な「注意」1 事前学習：前回の内容を復習し、質問項目をまとめておく。(2時間) 事後学習：授業で紹介されたスライドおよび板書に基づいて、その内容を各自で整理する。(2時間) 第9回：運転に必要な「注意」2 事前学習：前回の内容を復習し、質問項目をまとめておく。(2時間) 事後学習：授業で紹介されたスライドおよび板書に基づいて、その内容を各自で整理する。(2時間)	

<p>第10回：運転に必要な「注意」3 事前学習：前回の内容を復習し，質問項目をまとめておく。（2時間） 事後学習：授業で紹介されたスライドおよび板書に基づいて，その内容を各自で整理する。（2時間）</p> <p>第11回：地域の交通心理学（福井の交通事情） 事前学習：前回の内容を復習し，質問項目をまとめておく。（2時間） 事後学習：授業で紹介されたスライドおよび板書に基づいて，その内容を各自で整理する。（2時間）</p> <p>第12回：高齢者と子どもの交通心理学 事前学習：前回の内容を復習し，質問項目をまとめておく。（2時間） 事後学習：授業で紹介されたスライドおよび板書に基づいて，その内容を各自で整理する。（2時間）</p> <p>第13回：あおり運転について考える1 事前学習：前回の内容を復習し，質問項目をまとめておく。（2時間） 事後学習：授業で紹介されたスライドおよび板書に基づいて，その内容を各自で整理する。（2時間）</p> <p>第14回：あおり運転について考える2 事前学習：前回の内容を復習し，質問項目をまとめておく。（2時間） 事後学習：授業で紹介されたスライドおよび板書に基づいて，その内容を各自で整理する。（2時間）</p> <p>第15回：まとめ 事前学習：前回の内容を復習し，質問項目をまとめておく。（2時間） 事後学習：授業で紹介されたスライドおよび板書に基づいて，その内容を各自で整理する。（4時間）</p> <p>第16回：定期試験</p>
授業実施方法（面接授業・遠隔授業）
<p>原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。</p>
成績評価方法
<p>定期試験（85%）平常点（15%） （平常点は、授業への参加状況・受講態度などを総合して判断します）</p>
成績評価基準
<p>■交通心理学の基礎的な概念と主要な研究成果について理解したか。 ■事故防止などの社会的問題の解決に向けて交通心理学の果たす役割・手法について理解したか。 ■福井の交通事情における地域特有の問題について説明できるか。</p>
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック
<p>1) 授業時の課題に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて <input type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>3) 小レポートに対するフィードバックについて <input type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて <input type="checkbox"/>定期試験時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>5) その他 <input type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p>
実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
テキスト、参考図書
<p>テキストは使用しない。</p>
その他（受講上の注意）
<p>心理学の応用領域を身近な問題と捉えて理解を深めて欲しい。</p>
オフィスアワー
<p>UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。</p>

スポーツ心理学 (Sport Psychology)			担当教員	野田 政弘	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
PS-G-2338	2単位	3年後期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部心理学科専門科目 基幹科目 心理学専門					
求める学習成果(教育目標)					
人の心や行動を科学的に分析する方法や支援する方法を習得する。 組織や集団における行動の原理を理解し、実社会における人間関係の心理について学ぶ。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input checked="" type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input checked="" type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容					
スポーツ心理学は応用科学としてスポーツ行動における心理学的事象を解明し、それらに対処できるようにすることを目的としたものである。スポーツ全般における心理学的な諸問題を取りあげ今日までの研究成果に基づいて学習する。					
授 業 の 到 達 目 標					
スポーツ心理学の各領域(運動心理学、競技スポーツ心理学、健康スポーツ心理学、アダプテッドスポーツ心理学)の内容について理解し説明できる。					
アクティブ・ラーニング					
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input checked="" type="checkbox"/> その他(授業の最後に今回の内容について意見を交換する)					
授業の計画及び授業外の学習方法					
第1回：運動制御における感覚・知覚・認知の役割(意見交換) 事前学習：テキストの第1章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：テキストの見直しや関連項目について図書館等で調べておくこと。(2時間)					
第2回：運動技能の学習理論と学習方法 事前学習：テキストの第2章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：テキストの見直しや関連項目について図書館等で調べておくこと。(2時間)					
第3回：運動の学習・指導に用いるフィードバック 事前学習：テキストの第3章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：テキストの見直しや関連項目について図書館等で調べておくこと。(2時間)					
第4回：運動の学習におけるダイナミカルシステムアプローチ 事前学習：テキストの第4章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：テキストの見直しや関連項目について図書館等で調べておくこと。(2時間)					
第5回：注意集中・プレッシャーと運動パフォーマンス 事前学習：テキストの第5章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：テキストの見直しや関連項目について図書館等で調べておくこと。(2時間)					
第6回：体育・スポーツにおける動機づけ 事前学習：テキストの第6章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：テキストの見直しや関連項目について図書館等で調べておくこと。(2時間)					
第7回：体育学習における児童・生徒の心理、教師の働きかけ 事前学習：テキストの第7章、第8章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：テキストの見直しや関連項目について図書館等で調べておくこと。(2時間)					
第8回：スポーツチームの社会心理 事前学習：テキストの第9章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：テキストの見直しや関連項目について図書館等で調べておくこと。(2時間)					
第9回：スポーツチームへのコーチング 事前学習：テキストの第10章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：テキストの見直しや関連項目について図書館等で調べておくこと。(2時間)					

- 第10回：スポーツ・運動とメンタルヘルス
 事前学習：テキストの第11章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
 事後学習：テキストの見直しや関連項目について図書館等で調べておくこと。(2時間)
- 第11回：スポーツと運動による行動変容
 事前学習：テキストの第12章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
 事後学習：テキストの見直しや関連項目について図書館等で調べておくこと。(2時間)
- 第12回：スポーツ・運動とパーソナリティ
 事前学習：テキストの第13章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
 事後学習：テキストの見直しや関連項目について図書館等で調べておくこと。(2時間)
- 第13回：スポーツ・運動による心理的な成長と発達、アダプテッド・スポーツの心理学
 事前学習：テキストの第14章、第15章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
 事後学習：テキストの見直しや関連項目について図書館等で調べておくこと。(2時間)
- 第14回：スポーツメンタルトレーニング、個人に対するスポーツメンタルトレーニング、集団スポーツに対する
 スポーツメンタルトレーニング
 事前学習：テキストの第15章、第16章、第17章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
 事後学習：テキストの見直しや関連項目について図書館等で調べておくこと。(2時間)
- 第15回：スポーツカウンセリング、アスリートの心理的問題と回復
 事前学習：テキストの第18章、第19章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
 事後学習：テキストの見直しや関連項目について図書館等で調べておくこと。(2時間)
- 第16回：定期試験

各回の講義の前にテキストを読んで概要を把握し、疑問点を整理しておく。
 講義の後は、ノートや配布資料を見直して復習しておく。

授業実施方法(面接授業・遠隔授業)

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

定期試験(70%)、レポート(30%)。

成績評価基準

スポーツ心理学の各領域(運動心理学、競技スポーツ心理学、健康スポーツ心理学、アダプテッドスポーツ心理学)の内容について理解し説明できる。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

國部雅大編著「これからの体育・スポーツ心理学」講談社 2023

その他(受講上の注意)

スポーツや運動に関するできごとや情報に積極的に関心を向けること。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

心理学キャリア演習Ⅱ			担当教員	森本 文人、山岸 厚仁	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
PS-OPI-2385	4単位	3年通年	演習	選択	
<科目区分> 人間学部心理学科専門科目 基幹科目 心理学専門					
求める学習成果(教育目標)					
心や人間関係に基づく諸問題に対する、客観的で論理的な思考力・判断力・表現力 人間の心理と問題に対する高い関心、解決して社会に貢献する意欲、協働して対処する主体的な態度					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
■自他の理解能力 ■コミュニケーション能力 ■情報収集・探索能力 ■社会・職業理解能力 ■役割把握・認識能力 ■計画実行能力 ■選択能力 ■課題解決能力					

授 業 の 内 容	
心理学関連の学びを取り入れた地域貢献活動を通じて、キャリア形成に必要な情報収集力、分析力、表現力、コミュニケーション力を中心に強化する。	
授 業 の 到 達 目 標	
キャリア形成に必要な情報収集力、分析力、表現力、コミュニケーション力を身につける。	
アクティブ・ラーニング	
■課題解決型学習 (PBL) ■討議 (ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) ■グループワーク (Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) ■発表・プレゼンテーション (Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授業の計画及び授業外の学習方法	
第1 - 2回：オリエンテーションーキャリア形成とは(森本・山岸) ・ポートフォリオ作成 事前学習：授業前に予定されている内容について調べ、質問項目等をまとめておくこと(各2時間) 事後学習：講義内容・資料等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(各2時間)	
【*第3回以降は2クラスで実施(各クラスを森本と山岸がそれぞれ担当)】	
第3 - 4回：福井県の魅力を知る・測る・広める①ー企画：ディスカッション 事前学習：授業前に予定されている内容について調べ、質問項目等をまとめておくこと(各2時間) 事後学習：講義内容・資料等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(各2時間)	
第5 - 6回：福井県の魅力を知る・測る・広める②ー情報収集 事前学習：授業前に予定されている内容について調べ、質問項目等をまとめておくこと(各2時間) 事後学習：講義内容・資料等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(各2時間)	
第7 - 8回：福井県の魅力を知る・測る・広める③ープレゼンテーションと評価 事前学習：授業前に予定されている内容について調べ、質問項目等をまとめておくこと(各2時間) 事後学習：講義内容・資料等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(各2時間)	
第9 - 10回：福井県の魅力を知る・測る・広める④ー資料作成・配布・PR活動 事前学習：授業前に予定されている内容について調べ、質問項目等をまとめておくこと(各2時間) 事後学習：講義内容・資料等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(各2時間)	
第11 - 12回：福井県の魅力を知る・測る・広める⑤ー資料作成・配布・PR活動 事前学習：授業前に予定されている内容について調べ、質問項目等をまとめておくこと(各2時間) 事後学習：講義内容・資料等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(各2時間)	
第13 - 14回：福井県の魅力を知る・測る・広める⑥ー資料作成・配布・PR活動 事前学習：授業前に予定されている内容について調べ、質問項目等をまとめておくこと(各2時間) 事後学習：講義内容・資料等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(各2時間)	

第15-16回：福井県の魅力を知る・測る・広める⑦-資料作成・配布・PR活動 事前学習：授業前に予定されている内容について調べ、質問項目等をまとめておくこと（各2時間） 事後学習：講義内容・資料等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（各2時間）
第17-18回：放課後等デイサービスPR冊子の作製①-企画：ディスカッション 事前学習：授業前に予定されている内容について調べ、質問項目等をまとめておくこと（各2時間） 事後学習：講義内容・資料等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（各2時間）
第19-20回：放課後等デイサービスPR冊子の作製②-テーマに関連する情報収集 事前学習：授業前に予定されている内容について調べ、質問項目等をまとめておくこと（各2時間） 事後学習：講義内容・資料等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（各2時間）
第21-22回：放課後等デイサービスPR冊子の作製③-取材準備 事前学習：授業前に予定されている内容について調べ、質問項目等をまとめておくこと（各2時間） 事後学習：講義内容・資料等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（各2時間）
第23-24回：放課後等デイサービスPR冊子の作製④-取材実施 事前学習：授業前に予定されている内容について調べ、質問項目等をまとめておくこと（各2時間） 事後学習：講義内容・資料等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（各2時間）
第25-26回：放課後等デイサービスPR冊子の作製⑤-冊子制作 事前学習：授業前に予定されている内容について調べ、質問項目等をまとめておくこと（各2時間） 事後学習：講義内容・資料等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（各2時間）
第27-28回：放課後等デイサービスPR冊子の作製⑥-冊子制作 事前学習：授業前に予定されている内容について調べ、質問項目等をまとめておくこと（各2時間） 事後学習：講義内容・資料等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（各2時間）
第29-30回：放課後等デイサービスPR冊子の作製⑦-冊子制作 事前学習：授業前に予定されている内容について調べ、質問項目等をまとめておくこと（各2時間） 事後学習：講義内容・資料等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（各2時間）

授業実施方法（面接授業・遠隔授業）

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

製作・制作物（50%）、平常点（50%）
平常点は、授業への参加状況や受講態度などを総合して判断します。

成績評価基準

キャリア形成に必要な情報収集力、分析力、表現力、コミュニケーション力を身につけることができたか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書

テキストは使用しない。
参考図書は、適宜紹介する。

その他(受講上の注意)

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

臨床心理学演習 (Training Course of Clinical Psychology)			担当教員	渡辺 克徳、目黒 達哉	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
PS-API-2355	2単位	3年後期	演習	選択	
<科目区分> 人間学部心理学科専門科目 応用科目 臨床系					
求める学習成果(教育目標)					
教育、福祉、医療現場での心理臨床の理論と実践のしかたを習得する。 人の心や行動を科学的に分析する方法や支援する方法を習得する。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input checked="" type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input checked="" type="checkbox"/> 選択能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
2クラスに分かれ前後半6回ごとに、いずれかの教員の指導のもと、ペアまたは少人数のグループで、いろいろな対話や表現を体験する。これらの体験を通して、自己理解・他者理解を促すとともに、傾聴などカウンセリング等の対人援助の基本的態度を身に付ける。	
授 業 の 到 達 目 標	
カウンセリングにおける話の聴き方の基本を理解する。 自分自身のコミュニケーションの特徴について理解する。 ものの捉え方や考え方、コミュニケーションの仕方などの多様性について考える。 他者と円滑にコミュニケーションできる。	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習 (PBL) <input type="checkbox"/> 討議 (ディスカッション、ダイアログ、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク (Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション (Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授業の計画及び授業外の学習方法	
第1回：オリエンテーション 【担当：渡辺、目黒】 事前学習：自分自身について気づきを深め感受性を磨くために、該当する心理学領域のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。(2時間) 事後学習：講義の内容を各自で復習すること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)	
第2回：自他理解のためのグループ体験① 【担当：渡辺】 グループワーク・発表を行う。 事前学習：自分自身について気づきを深め感受性を磨くために、該当する心理学領域のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。(2時間) 事後学習：講義の内容を各自で復習すること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)	
第3回：自他理解のためのグループ体験② 【担当：渡辺】 グループワーク・発表を行う。 事前学習：自分自身について気づきを深め感受性を磨くために、該当する心理学領域のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。(2時間) 事後学習：講義の内容を各自で復習すること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)	
第4回：自他理解のためのグループ体験③ 【担当：渡辺】 グループワーク・発表を行う。 事前学習：自分自身について気づきを深め感受性を磨くために、該当する心理学領域のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。(2時間) 事後学習：講義の内容を各自で復習すること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)	
第5回：自他理解のためのグループ体験④ 【担当：渡辺】 グループワーク・発表を行う。 事前学習：自分自身について気づきを深め感受性を磨くために、該当する心理学領域のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。(2時間) 事後学習：講義の内容を各自で復習すること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)	

- 第6回：自他理解のためのグループ体験⑤【担当：渡辺】グループワーク・発表を行う。
事前学習：自分自身について気づきを深め感受性を磨くために、該当する心理学領域のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。(2時間)
事後学習：講義の内容を各自で復習すること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
- 第7回：自他理解のためのグループ体験⑥【担当：渡辺】グループワーク・発表を行う。
事前学習：自分自身について気づきを深め感受性を磨くために、該当する心理学領域のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。(2時間)
事後学習：講義の内容を各自で復習すること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
- 第8回：集団の意思決定のためのグループ体験(全体)【担当：渡辺・目黒】グループワーク・発表を行う。
事前学習：自分自身について気づきを深め感受性を磨くために、該当する心理学領域のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。(2時間)
事後学習：講義の内容を各自で復習すること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
- 第9回：箱庭療法① 講義 箱庭療法とイメージ【担当：目黒】
事前学習：箱庭療法について積極的に関心をもち、関連する図書を読んでみる。(2時間)
事後学習：講義の内容を各自で復習すること。わからないところがあったら、図書館で調べるか、オフィスアワーを利用して担当教員に質問する。(2時間)
- 第10回：箱庭療法② 演習 グループによる箱庭作り【担当：目黒】グループワーク・発表を行う。
事前学習：自分自身について気づきを深め感受性を磨くこと。(2時間)
事後学習：演習で体験した内容や感じたこと、考えたことをノートにまとめる。(2時間)
- 第11回：箱庭療法③ 演習 箱庭を作る・見守る・解釈する【担当：目黒】グループワーク・発表を行う。
事前学習：どのような箱庭を作りたいのか、各自でイメージしてくる。(2時間)
事後学習：演習で体験した内容や感じたこと、考えたことをノートにまとめる。(2時間)
- 第12回：箱庭療法④ 演習 夢と箱庭【担当：目黒】グループワーク・発表を行う。
事前学習：自分が見た夢について思い出し、ストーリーをまとめてくる。(2時間)
事後学習：演習で体験した内容や感じたこと、考えたことをノートにまとめる。(2時間)
- 第13回：絵画療法① 講義・演習 バウムテストによる自己分析【担当：目黒】
事前学習：バウムテストについて関連する文献、図書を読んでみる。(2時間)
事後学習：講義内容を各自で復習し、また、自己分析の結果から学んだこと、感じたことをまとめてみる。(2時間)
- 第14回 絵画療法② 演習 バウムテストを指標とした摂食障害の事例研究【担当：目黒】グループワーク・発表を行う。
事前学習：摂食障害について文献、図書を読んでみる。(2時間)
事後学習：事例研究から学んだこと、感じたことをまとめてみる。(2時間)
- 第15回：まとめと振り返り(全体)【担当：渡辺・目黒】グループワーク・発表を行う。
事前学習：これまでに体験した言語的アプローチ、表現芸術アプローチについて振り返ってみる。(2時間)
事後学習：演習で体験した内容や感じたこと、考えたことをノートにまとめる。(2時間)
- ※第1回の際にクラス分けを行う。第2回～第8回(前半)と第9回～第15回(後半)でそれぞれに異なる担当教員のもとで演習を行う。渡辺(言語的アプローチ)、目黒(表現芸術アプローチ)

授業実施方法(面接授業・遠隔授業)

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

授業中に課す課題(60%)と授業への参加態度(40%)で評価する。
授業への参加態度については、演習活動への積極性や授業中の発言の内容などから総合的に評価する。
体験型学習ですので出席を重視し、欠席は厳しく減点する。

成績評価基準

カウンセリングにおける話の聴き方の基本について説明できるか。また、それを模擬的に実践できるか。
自分自身の考え方やコミュニケーションなどの特徴について説明できるか。
考え方やコミュニケーションの仕方の多様性について考えられるか。
他者と円滑にコミュニケーションが行えるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

・経歴

(公認心理師, 臨床心理士)

・実務経験と授業内容との関連性

(公認心理師の教員が、教育、福祉、医療現場での心理臨床の理論と実践のしかたを習得するために演習を行う。)

テキスト、参考図書

授業時に資料を配付する。

そのほか、参考書については、授業時に随時、紹介する。

その他(受講上の注意)

授業の中で状況に応じて、自分の感じたことや考えたことについて他者に話してもらうことがある。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

心理学的支援法 (Methods of Psychological Support)			担当教員	西村 則昭	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
PS-APO-2351	2単位	3年前期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部心理学科専門科目 応用科目 臨床系					
求める学習成果(教育目標)					
教育、福祉、医療現場での心理臨床の理論と実践のしかたを習得する。 組織や集団における行動の原理を理解し、実社会における人間関係の心理について学ぶ。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input checked="" type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input checked="" type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
無意識に着目する、フロイト以来の深層心理学的(力動的)心理療法を中心に学習する。	
授 業 の 到 達 目 標	
<ul style="list-style-type: none"> ・無意識について実感をもって理解し、人間存在をより深く理解することができる。 ・自己の無意識を見つめ、自分の将来像や人生設計を構築することができる。 ・無意識の問題が心の病理と本質的な繋がりのあることを理解し、心を病んだ人の気持ちを理解し、寄り添うことができる。 	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授業の計画及び授業外の学習方法	
<p>第1回：オリエンテーション 事前学習：テキストの著者である山中康裕と、力動的的心理療法について調べておくこと。(2時間) 事後学習：テキスト等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)</p> <p>第2回：攻撃性退行から道づくりへ1 事前学習：テキストのpp.3-9を読んでおくこと。(2時間) 事後学習：テキスト等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)</p> <p>第3回：攻撃性退行から道づくりへ2 事前学習：テキストのpp.9-13を読んでおくこと。(2時間) 事後学習：テキスト等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)</p> <p>第4回：攻撃性退行から道づくりへ3(授業の終わりに小レポートを書いてもらう) 事前学習：テキストのpp.13-25を読んでおくこと。(2時間) 事後学習：テキスト等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)</p> <p>第5回：緘黙の入口と出口1 事前学習：テキストのpp.26-32を読んでおくこと。(2時間) 事後学習：テキスト等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)</p> <p>第6回：緘黙の入口と出口2 事前学習：テキストのpp.32-48を読んでおくこと。(2時間) 事後学習：テキスト等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)</p> <p>第7回：反対の国からの帰還1 事前学習：テキストのpp.49-67を読んでおくこと。(2時間) 事後学習：テキスト等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)</p>	

- 第8回：反対の国からの帰還2
 事前学習：テキストのpp.67-78を読んでおくこと。(2時間)
 事後学習：テキスト等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
- 第9回：反対の国からの帰還3(授業の終わりに小レポートを書いてもらう)
 事前学習：テキストのpp.78-106を読んでおくこと。(2時間)
 事後学習：テキスト等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
- 第10回：死者たちへの鎮魂歌
 事前学習：テキストのpp.107-114を読んでおくこと。(2時間)
 事後学習：テキスト等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
- 第11回：赤鬼・青鬼の夢
 事前学習：テキストのpp.115-125を読んでおくこと。(2時間)
 事後学習：テキスト等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
- 第12回：『あんたお母さんじゃない』
 事前学習：テキストのpp.126-137を読んでおくこと。(2時間)
 事後学習：テキスト等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
- 第13回：写真を媒体にした精神療法1
 事前学習：テキストのpp.138-152を読んでおくこと。(2時間)
 事後学習：テキスト等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
- 第14回：写真を媒体にした精神療法2(授業の終わりに小レポートを書いてもらう)
 事前学習：テキストのpp.152-173を読んでおくこと。(2時間)
 事後学習：テキスト等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
- 第15回：文通の中で自己を発見
 事前学習：テキストのpp.174-205を読んでおくこと。(2時間)
 事後学習：テキスト等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)

授業実施方法(面接授業・遠隔授業)

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

最終レポート(50%) 小レポート(30%) 平常点(20%)
 (平常点は、授業への参加状況・受講態度、質問等を総合して判断します)

成績評価基準

- ・力動的心理療法の考え方を正しく理解し、他の心理療法(特に「科学的」な心理療法)との違いを説明できるか。
- ・無意識という概念を正しく理解し、それを組み込んだ人生観や世界観を持つことができるか。
- ・心を病んだ人のことを適切に理解し、その心に寄り添う姿勢を持つことができるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

テキスト：山中康裕・『少年期の心』・中公新書・1978年
参考図書：西村則昭・『アニメと思春期のころ』・創元社・2004年

その他(受講上の注意)

質問はメールでも受け付けます (nisimura@jindai.ac.jp)。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

精神疾患とその治療 I (Psychiatric Disorders and Treatments I)			担当教員	三脇 康生	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
PS-APO-2353	2単位	3年前期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部心理学科専門科目 基幹科目 心理学専門					
求める学習成果(教育目標)					
教育、福祉、医療現場での心理臨床の理論と実践のしかたを習得する。 人の心や行動を科学的に分析する方法や支援する方法を習得する。 組織や集団における行動の原理を理解し、実社会における人間関係の心理について学ぶ。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
■自他の理解能力		■コミュニケーション能力		■情報収集・探索能力	
□役割把握・認識能力		□計画実行能力		■社会・職業理解能力	
		□選択能力		■課題解決能力	

授 業 の 内 容	
精神医学は日本が近代化される中で構築された。そこには日本の近代化の遅れが投影されている。その歴史を学び改善をする方向性について、外国のシステムを参考にしながら考える。具体的な病気についても、重い病気を中心に学ぶが、それが軽症化してきている現代社会の特徴についても考える。	
この際に、特にこの講義では詳しく説明するが、病から健康体まで連続性が存在するという現代精神医学の構えを堅持しながら講義する。講師を含めだれでも調子が良くないときの停滞感を病の類似の状態として言及される可能性があるがこれは現代精神医学の構えによるものである。このことに耐えられない者は合理的配慮を事務を求めるなど行うこと。患者を差別しないようにするには自らの病に気づき、それを悪化させないことが必須である。	
授 業 の 到 達 目 標	
歴史をふまえて日本の精神医療がどのように成立したか説明でき、他国と比較でき、これからの姿を各自で考えられること。さらに疾患の基礎知識を獲得すること。	
アクティブ・ラーニング	
□課題解決型学習 (PBL) ■討議 (ディスカッション、ダイバート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) □グループワーク (Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) □発表・プレゼンテーション (Teams、Zoom等) □実習、フィールドワーク □実験、実技 □その他	
授業の計画及び授業外の学習方法	
第1回：精神病院の様子を紹介 事前学習：精神病院に関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、歴史に関する本を図書館で探すとよい。(2時間) 事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。(2時間)	
第2回：近代精神医学の歴史 日本1 事前学習：精神医学に関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、歴史に関する本を図書館で探すとよい。(2時間) 事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。(2時間)	
第3回：近代精神医学の歴史 日本2 日本の状況に関して討議を行う 事前学習：精神医学に関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、歴史に関する本を図書館で探すとよい。(2時間) 事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。(2時間)	
第4回：近代精神医学の歴史 ヨーロッパ1 事前学習：精神医学に関係する新聞記事、ネット情報を集める。テキスト9-69ページを熟読する。本を読みたい人は、歴史に関する本を図書館で探すとよい。(2時間) 事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。(2時間)	

- 第5回：近代精神医学の歴史 ヨーロッパ2
 事前学習：精神医学に関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、歴史に関する本を図書館で探すとよい。(2時間)
 事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。(2時間)
- 第6回：精神障害と人権 弁護士をゲストして予定、ゲストの都合で開催回は移動し得る
 事前学習：人権に関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、人権に関する本を図書館で探すとよい。(2時間)
 事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。(2時間)
- 第7回：統合失調症1
 事前学習：統合失調症に関係する新聞記事、ネット情報を集める。統合失調症の歴史に関する本を図書館で探すとよい。(2時間)
 事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。(2時間)
- 第8回：統合失調症2
 事前学習：統合失調症に関係する新聞記事、ネット情報を集める。統合失調症の歴史に関する本を図書館で探すとよい。(2時間)
 事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。(2時間)
- 第9回：地域と病院の協力のしかた1 教科書を読み込む
 事前学習：地域に関係する新聞記事、ネット情報を集める。テキスト171-185ページを熟読する。地域精神医療の歴史に関する本を図書館で探すとよい。(2時間)
 事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。(2時間)
- 第10回：地域と病院の協力のしかた2 教科書を読み込む
 事前学習：精神医療に関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、地域精神医療の歴史に関する本を図書館で探すとよい。(2時間)
 事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。(2時間)
- 第11回：気分障害1
 事前学習：気分障害に関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、気分障害の歴史に関する本を図書館で探すとよい。(2時間)
 事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。(2時間)
- 第12回：気分障害2
 事前学習：気分障害に関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、気分障害の歴史に関する本を図書館で探すとよい。(2時間)
 事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。(2時間)
- 第13回：気分障害3
 事前学習：気分障害に関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、気分障害の歴史に関する本を図書館で探すとよい。(2時間)
 事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。(2時間)
- 第14回 パニック障害1
 事前学習：パニック障害に関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、パニック障害の歴史に関する本を図書館で探すとよい。(2時間)
 事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。(2時間)
- 第15回 パニック障害2
 事前学習：パニック障害に関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、パニック障害の歴史に関する本を図書館で探すとよい。(2時間)
 事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。(2時間)
- 第16回 定期試験

授業実施方法(面接授業・遠隔授業)

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法
<p>期末テスト70%平常点30%で評価する。 テストにはかならず自分で購入した教科書を持ち込むこと。教科書を持ち込んで書く記述問題を出題するためである。教科書を読み込む講義もするので、その際に、どこをテストのときに読みながら記述するかも詳しく説明する。この科目は、教科書持ち込み受験であるので気を付けること。</p>
成績評価基準
<p>日本の精神医療がどのように成立したかレポートを書かせ確認する。疾患の基礎知識についてテストを行い確認する。</p>
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック
<p>1) 授業時の課題に対するフィードバックについて <input type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて <input type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>3) 小レポートに対するフィードバックについて <input type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/>定期試験時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他(解答を配る)</p> <p>5) その他 <input type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p>
実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)
テキスト、参考図書
<p>テキスト・三協康生 編 臨床の時間―素の時間と臨床、ナカニシヤ出版、2021</p>
その他(受講上の注意)
<p>学則上欠席は三分の一の欠席が認められているが、この講義では文系理系の多様な分野を扱うので3回までがついていくためには限度であろう。公式の用事がある場合は欠席に数えない。証明書を提出すること。まずこれをクリアしたらテストを受けられる。 私語は一切禁じる。二度注意されたら自ら教室を去ること。</p>
オフィスアワー
<p>UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。</p>

精神疾患とその治療Ⅱ (Psychiatric Disorders and Treatments Ⅱ)			担当教員	三脇 康生	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
PS-APO-2354	2単位	3年後期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部心理学科専門科目 基幹科目 心理学専門					
求める学習成果(教育目標)					
教育、福祉、医療現場での心理臨床の理論と実践のしかたを習得する。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
■自他の理解能力		■コミュニケーション能力		■情報収集・探索能力	
□役割把握・認識能力		□計画実行能力		■社会・職業理解能力	
		□選択能力		■課題解決能力	

授 業 の 内 容	
<p>精神疾患とその治療Ⅰは原因がわからない重病について学んだが、精神疾患とその治療Ⅱではその原因が現代社会で問題になっている病について学ぶ。災害や職場や学校での暴力から生じる病について学ぶ。この際に、特にこの講義では詳しく説明するが、病から健康体まで連続性が存在するという現代精神医学の構えを堅持しながら講義する。講師を含めだれでも調子が良くないときの停滞感を病の類似の状態として言及される可能性があるがこれは現代精神医学の構えによるものである。このことに耐えられない者は合理的配慮を事務に求めるなど行うこと。患者を差別しないようにするには自らの病に気づき、それを悪化させないことが必須である。</p>	
授 業 の 到 達 目 標	
<p>現代はハラスメント社会とも呼ばれる状況にある。この外的なトラウマと精神分析的な精神的なトラウマの関係はフロイトですら明確には出来なかった。この二つのトラウマについて考え、各自の意見をこの問題に持てるようになり、ハラスメント社会を生き抜く方法を考える、</p>	
アクティブ・ラーニング	
<p>□課題解決型学習(PBL) ■討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) □グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) □発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) □実習、フィールドワーク □実験、実技 □その他</p>	
授業の計画及び授業外の学習方法	
<p>第1回：PTSDとは何か1 事前学習：PTSDに関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、PTSDに関する本を図書館で探すとよい。(2時間) 事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。(2時間)</p>	
<p>第2回：PTSDとは何か2 事前学習：PTSDに関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、PTSDに関する本を図書館で探すとよい。(2時間) 事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。(2時間)</p>	
<p>第3回：PTSDとは何か3 事前学習：PTSDに関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、PTSDに関する本を図書館で探すとよい。(2時間) 事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。(2時間)</p>	
<p>第4回：PTSDとは何か4 事前学習：PTSDに関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、PTSDに関する本を図書館で探すとよい。(2時間) 事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。(2時間)</p>	
<p>第5回：PTSDとは何か5 ここまでの内容で討議を行う 事前学習：PTSDに関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、PTSDに関する本を図書館で探すとよい。(2時間) 事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。(2時間)</p>	

- 第6回：解離
事前学習：解離に関する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、解離に関する本を図書館で探すとよい。(2時間)
事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。(2時間)
- 第7回：解離
事前学習：解離に関する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、解離に関する本を図書館で探すとよい。(2時間)
事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。(2時間)
- 第8回：解離と多重人格
事前学習：解離に関する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、解離に関する本を図書館で探すとよい。(2時間)
事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。(2時間)
- 第9回：人格障害
事前学習：人格障害に関する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、人格障害に関する本を図書館で探すとよい。(2時間)
事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。(2時間)
- 第10回：社会的ひきこもり(摂食障害の説明も含む)1
事前学習：社会的ひきこもりに関する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、ひきこもりに関する本を図書館で探すとよい。(2時間)
事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。(2時間)
- 第11回：社会的ひきこもり2
事前学習：社会的ひきこもりに関する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、ひきこもりに関する本を図書館で探すとよい。(2時間)
事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。(2時間)
- 第12回：社会的ひきこもり3
事前学習：社会的ひきこもりに関する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、ひきこもりに関する本を図書館で探すとよい。(2時間)
事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。(2時間)
- 第13回：東日本大震災特講
事前学習：東日本大震災に関する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、東日本大震災に関する本を図書館で探すとよい。(2時間)
事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。(2時間)
- 第14回：性同一性障害
事前学習：性同一性障害に関する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、性同一性障害に関する本を図書館で探すとよい。(2時間)
事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。(2時間)
- 第15回：現代社会において、それぞれ個人でできることは何だろうか？
事前学習：PTSDやハラスメントに関する本を図書館で読むこと。自分がバイトさきなどで経験したことを分析して考察することも出来る。(2時間)
事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。(2時間)
- 第16回 定期試験

授業実施方法(面接授業・遠隔授業)

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

平常点30パーセント 期末テスト70パーセント
(平常点は、授業への参加状況・受講態度などを総合して判断します。)

成績評価基準

ハラスメント社会を深く理解し、それを切り抜ける方法を身につけたか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他(解答を配る)
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

テキスト：子安 増生、村井 俊哉、野間 俊一「公認心理師のための精神医学 精神疾患とその治療」金芳堂 2020年

参考図書 就労と教育システムに関して：大野正和『自己愛化する仕事』1労働調査会 2011年(レポートを書くとき必ず必要)

参 考 書 PTSDへのアートセラピーに関して：三脇康生他 『アート×セラピー潮流』 フィルムアート社 2002年

その他(受講上の注意)

私語は厳禁とする。二度注意を受けたら自から教室を去ること。東日本大震災の講義は実施時期がゲスト講師の都合により変わり得るので注意すること。

オ フ ィ ス ア ワ ー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

深層心理学 (Depth Psychology)			担当教員	西村 則昭	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
PS-APO-2352	2単位	3年前期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部心理学科専門科目 応用科目 臨床系					
求める学習成果(教育目標)					
教育、福祉、医療現場での心理臨床の理論と実践のしかたを習得する。 組織や集団における行動の原理を理解し、実社会における人間関係の心理について学ぶ。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input checked="" type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
「本当の自分」とは何か、深層心理学の立場から考える。	
授 業 の 到 達 目 標	
<ul style="list-style-type: none"> ・「本当の自分」とか「本当の幸福」が何か、自ら論理的(心理学的=哲学的)に考え、イメージとしても思い描くことができる。 ・本来的自己と非本来的自己、性別など、アイデンティティの問題について自ら考えたことに基づいて、自分の将来像や人生設計を構築することができる。 ・アイデンティティの問題が心の病理と本質的な繋がりのあることを理解し、心を病んだ人の気持ちを理解し、寄り添うことができる。 	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授業の計画及び授業外の学習方法	
第1回：オリエンテーション 事前学習：フロイト、ユング、ラカンのことをインターネット等で調べ、自分の心理傾向に関していろいろと振り返っておくこと。(2時間) 事後学習：資料等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)	
第2回：同一化 事前学習：ラカンの症例エメについて、インターネット等で調べておくこと。(2時間) 事後学習：資料等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)	
第3回：ラカンの鏡像段階1 事前学習：ラカンの「鏡像段階」という考え方について、インターネット等で調べておくこと。(2時間) 事後学習：資料等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)	
第4回：ラカンの鏡像段階2(授業の終わりに小レポートを書いてもらう) 事前学習：ラカンの「双数的関係」と「寸断された身体」について、インターネット等で調べておくこと。(2時間) 事後学習：資料等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)	
第5回：自我と主体1 事前学習：ラカンの「自我」と「主体」の区別について、インターネット等で調べておくこと。(2時間) 事後学習：資料等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)	
第6回：自我と主体2 事前学習：「自我心理学」と「防衛メカニズム」について、インターネット等で調べておくこと。(2時間) 事後学習：資料等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)	

- 第7回：ラカンの現実界
 事前学習：ラカンの「現実界」という考え方について、インターネット等で調べておくこと。(2時間)
 事後学習：資料等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
- 第8回：無気味なもの(授業の終わりに小レポートを書いてもらう)
 事前学習：フロイトの論文「無気味なもの」について、インターネット等で調べておくこと。(2時間)
 事後学習：資料等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
- 第9回：写真論
 事前学習：写真家のアッジェおよびアーバスについて、インターネット等で調べておくこと。(2時間)
 事後学習：資料等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
- 第10回：ファッション論
 事前学習：デザイナーのシャネルおよび川久保玲について、インターネット等で調べておくこと。(2時間)
 事後学習：資料等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
- 第11回：ラカンの象徴界1
 事前学習：ラカンの「象徴界」について、インターネット等で調べておくこと。(2時間)
 事後学習：資料等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
- 第12回：ラカンの象徴界2
 事前学習：ラカンの「父の名」という概念について、インターネット等で調べておくこと。(2時間)
 事後学習：資料等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
- 第13回：ラカンの象徴界3
 事前学習：ラカンの「対象a」という概念について、インターネット等で調べておくこと。(2時間)
 事後学習：資料等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
- 第14回：性別(授業の終わりに小レポートを書いてもらう)
 事前学習：「性同一性障害」について、インターネット等で調べておくこと。(2時間)
 事後学習：資料等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
- 第15回：禅に学ぶマインドフルネス
 事前学習：臨済禅師と白隠禅師、そしてマインドフルネスについて、インターネット等で調べておくこと。(2時間)
 事後学習：資料等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
- 講義で説明したことを、自分の日常的な思考や観察される現象と重ね合わせ、理解を深めるようにしてください。

授業実施方法(面接授業・遠隔授業)

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

最終レポート(50%)、小レポート(30%)、平常点(20%)
 (平常点は、授業への参加状況・受講態度、質問等を総合して判断します)

成績評価基準

- ・ 深層心理学の考え方を自ら思索し直しつつ、「本当の自分」や「本当の幸福」を思索できるか。
- ・ その上で、自分の将来像や人生設計を構築し、その意義を論理的(心理学的=哲学的)に説明することができるか。
- ・ 心を病む人におけるアイデンティティの問題が何かを理解し、その心に寄り添う姿勢を持つことができるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)
テキスト、参考図書
テキストは使用しない。プリント資料を配布する。また参考文献は、適宜紹介する。
その他(受講上の注意)
質問はメールでも受け付けます(nisimura@jindai.ac.jp)。
オフィスアワー
UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

生理心理学実習 (Training Course of Physiological Psychology)			担当教員	水田 敏郎、大森 慈子	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
PS-BPI-2363	2単位	3年前期	演習	選択	
<科目区分> 人間学部心理学科専門科目 応用科目 行動・支援系					
求める学習成果(教育目標)					
人の心や行動を科学的に分析する方法や支援する方法を習得する。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
■自他の理解能力		■コミュニケーション能力		■情報収集・探索能力	
■役割把握・認識能力		■計画実行能力		□社会・職業理解能力	
		■選択能力		■課題解決能力	

授 業 の 内 容	
<p>心理学、特に生理心理学的実験研究の全過程について実習を行う。実験に関連した文献研究、問題設定、実験計画の立案と実行、さらに分析と結果に対する考察すべてを行う。特定の心理機能に注目し、その働き、メカニズムや変化を反映する指標とその記録や分析の方法を実習を通じて学ぶ。本授業では、感情・コミュニケーション・言語・注意・認知・記憶などの心理機能を主題として扱う。実験上の独立変数は先行研究(文献)の講読を通じて学生自身が選択し、従属変数にはテーマに即した生理心理学的指標、各種行動指標、質問紙などによる認知尺度を用いる。これらの過程で、生理心理学実験で用いる機器・装置類の取り扱い方や、各種刺激づくりを学生自らが体験、習得する。また、実験内容をレポートにまとめ、最終発表会を行うことで論文作成とプレゼンテーションのスキルを培う。</p>	
授 業 の 到 達 目 標	
<p>■先行研究等を参考に自ら進んで課題を設定する。 ■実験に必要な事項を理解し、実験計画を立案することができる。 ■実験の実施にあたって、履修者同士が協力して実行することができる。 ■生理心理学的指標を中心に、様々な心理機能の評価に適した従属変数や尺度を用いることができる。 ■実験結果に対して理論的に考察をすることができる。</p>	
アクティブ・ラーニング	
<p>■課題解決型学習(PBL) ■討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) ■グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) ■発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) □実習、フィールドワーク ■実験、実技 □その他</p>	
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法	
<p>第1回：・オリエンテーション 事前学習：「心理学実験」や「心理測定実習」で学習したことを見直し、質問項目をまとめておく。(1時間) 事後学習：生理心理学実験と一般の心理学実験の共通点と相違点についてまとめておく。(1時間)</p> <p>第2回：・生理心理学実験の基礎とその技術①「ヒトの生理反応のメカニズムと心理的意義について」 事前学習：生体反応と行動の測定を熟読し、確認テスト(第3回の授業中に実施)の予習をする。(1時間) 事後学習：生体反応と行動の測定の解説部分を振り返り、ノートにまとめる。(1時間)</p> <p>第3回：・生理心理学実験の応用とその技術②「ヒトの生理反応の記録方法について」 事前学習：生体反応と行動の測定を熟読し、確認テスト(第3回の授業中に実施)の予習をする。(1時間) 事後学習：確認テストの内容、生体反応と行動の測定の解説部分を振り返り、ノートにまとめる。(1時間)</p> <p>第4回：・生理心理学実験に関する文献検索と講読(目的と実験計画の設定のためのグルーピング*1)(PBL、討議) A(感情・コミュニケーション・言語) B(注意・認知・記憶) *1：学生は4～5人のグループに分かれ、上記AまたはBの中からテーマを選び実験計画を立て、実験を実施する。 事前学習：文献を講読し、内容をまとめレジュメを作成する。質問をまとめておく。(1時間) 事後学習：文献を講読で出された質問や議論をまとめておく。実験の計画の草案を立てる。(1時間)</p> <p>第5回：・コンピュータによる実験刺激の作製①(PBL、グループワーク) ・実験計画の立案と発表①(発表) 事前学習：実験計画の立案、レジュメ作成。(1時間) 事後学習：実験計画の立案発表で出された質問をまとめる。コンピュータによる刺激づくりの復習。(1時間)</p>	

- 第6回：・コンピュータによる実験刺激の作製② (PBL、グループワーク)
 ・実験計画の立案と発表② (発表)
 ・レポートの書き方① (序論、目的の組み立てについて)
 事前学習：実験計画の立案、レジュメ作成。(1時間)
 事後学習：レポートの「第1章 序論」の作製。(1時間)
- 第7回：・予備実験① (実験、グループワーク)
 ・生理心理学的指標のデータ分析方法の説明と実施①
 ・レポートの書き方② (方法について)
 事前学習：生理心理学的指標のデータ分析方法を予習し質問をまとめておく。(1時間)
 事後学習：レポートの「第2章 方法」の作製。(1時間)
- 第8回：・予備実験② (実験、グループワーク)
 ・生理心理学的指標のデータ分析の実施②
 ・行動指標・認知系尺度の分析
 ・実験計画の立案、発表と決定③ (発表)
 事前学習：予備実験に必要な書類、器具、機器設定の準備。実験計画の立案、レジュメ作成。(1時間)
 事後学習：実験計画の最終修正。(1時間)
- 第9回：・本実験① (実験、グループワーク)
 生理心理学的指標、行動指標、認知系尺度 (質問紙) を全グループが記録・分析する。
 事前学習：本実験に必要な書類、器具、機器設定の準備。(1時間)
 事後学習：実験データの分析。(1時間)
- 第10回：・本実験② (実験、グループワーク)
 ・本実験のデータ分析①
 事前学習：本実験に必要な書類、器具、機器設定の準備。(1時間)
 事後学習：実験データの分析。(1時間)
- 第11回：・本実験③ (実験、グループワーク)
 ・本実験のデータ分析②
 事前学習：本実験に必要な書類、器具、機器設定の準備。(1時間)
 事後学習：実験データの分析。(1時間)
- 第12回：・本実験のデータ分析③ (実験・実技、グループワーク)
 ・結果の中間報告
 事前学習：中間報告に必要なレジュメ類の準備。(1時間)
 事後学習：実験データの分析。(1時間)
- 第13回：・研究発表会の準備
 ・抄録の書き方
 事前学習：抄録の書き方の予習と質問をまとめておく。(1時間)
 事後学習：研究発表会の準備。(1時間)
- 第14回：・研究発表会の予行演習 (発表、グループワーク)
 ・効果的なプレゼンテーションについて
 事前学習：研究発表会の予行演習に必要なレジュメ類の準備。(1時間)
 事後学習：研究発表会の予行演習で指摘された課題の修正。(1時間)
- 第15回：・研究発表会 (プレゼンテーション・ソフトを使用) (発表、グループワーク)
 事前学習：研究発表会に必要なレジュメ類の準備。(1時間)
 事後学習：レポート・抄録作成。(1時間)

全15回すべてを2名の教員が担当する。

第4回以降は上のA、Bのテーマ別のグループを教員1名づつがついて指導する。

授業実施方法 (面接授業・遠隔授業)

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

レポート (60%) 平常点 (40%)
 (平常点は、授業の参加状況・受講態度などを総合して判断します。)

成績評価基準

- 先行研究等を参考に自ら進んで課題を設定することができるか。
- 実験に必要な事項を理解し、実験計画を立案することができるか。
- 実験の実施にあたって、履修者同士が協力して実行することができるか。
- 生理心理学的指標を中心に、様々な心理機能の評価に適した従属変数や尺度を用いることができるか。
- 実験結果に対して理論的に考察をすることができるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

テキストは使用しないが、実験実習マニュアルを配布する。

参考図書：「生理心理学と精神生理学」Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ巻 堀忠雄・尾崎久記監修 北大路書房(2017)

認定心理士資格準拠 実験・実習で学ぶ心理学の基礎 日本心理学会認定心理士資格認定委員会編 金子書房(2015)

その他(受講上の注意)

原則として、心理学統計法Ⅰ・Ⅱ、心理学実験、心理測定実習の単位を修得していること。少人数グループでの活動が多くなります。個人の役割が明確になるので、責任感をもって課題に取り組んでください。実験は長時間におよぶこともあります。授業時間以外にもグループごとに協力してデータ整理などを行い、時間を有効に活用する必要があります。2年次の神経・生理心理学を履修し、人間の生理学的メカニズムについて学習しておくことが望ましい。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

行動解析実習 (Practice of Behavior Analysis)			担当教員	森本 文人、山岸 厚仁	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
PS-BPI-2364	2単位	3年後期	演習	選択	
<科目区分> 人間学部心理学科専門科目 応用科目 行動・支援系					
求める学習成果(教育目標)					
人の心や行動を科学的に分析する方法や支援する方法を習得する。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
■自他の理解能力		■コミュニケーション能力		■情報収集・探索能力	
■役割把握・認識能力		■計画実行能力		■社会・職業理解能力	
		■選択能力		■課題解決能力	

授 業 の 内 容	
心理学における実験的研究のなかで用いられる行動指標の記録方法と解析技術を、実験実習を通じて身につける。具体的には、人や動物(ラット)を対象にして行われる心理学実験を数週間にわたり実施する。その中で、行動観察・行動測定装置に関する基本的知識、取り扱い技術を学び、実際に記録したデータを解析し、結果に対する考察を行う。	
授 業 の 到 達 目 標	
<ul style="list-style-type: none"> ■自ら進んで課題が設定できる。 ■実験に必要な事項を理解し、計画を立案しそれに基づき実行することができる。 ■実験で用いる装置の基本的な知識をもち、適切に取り扱うことができる。 ■人や動物の様々な行動を客観的に分析できる。 ■関連文献を適切に講読し、実験結果に対して理論的な考察をすることができる。 	
アクティブ・ラーニング	
<ul style="list-style-type: none"> ■課題解決型学習(PBL) ■討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) ■グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) ■発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/>実習、フィールドワーク ■実験、実技 <input type="checkbox"/>その他 	
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法	
<p>第1回：オリエンテーション</p> <ol style="list-style-type: none"> ①心理学実験で用いられる行動指標について(授業全般、テーマ共通の概要) ②学生を方法論等に基づいて設けられた2つのテーマ(A：実験室での被験者を対象とした実験、B：動物(ラット)を対象とした実験)について、オリエンテーションを行う。 <p>第2回以降の内容と進め方は以下の通り。 履修学生は7週間ずつ2つのテーマに関する実験を実施し、レポートとしてまとめる。学生全員が2つの異なる対象と方法論に基づく心理学実験を完遂する。</p> <p>A：実験室での被験者を対象とした実験(担当：森本)</p> <ol style="list-style-type: none"> ①実験室実験で用いられる行動指標(文献講読)・・・2週(PBL、討議) ②実験室実験で用いられる行動指標の測定(PCを用いた反応時間およびエラーなどのパフォーマンス測定のためのプログラミングと記録、アイマークレコーダー、AV記録)・・・2週(PBL、実験、グループワーク) ③実際の実験を計画・実施・・・2週(PBL、グループワーク、実験、発表) ④③で行った実験データの行動解析と考察・・・1週(実技)(次週レポート提出) <p>B：ラットを対象とした実験(担当：山岸)</p> <ol style="list-style-type: none"> ①ラットなどの動物を対象とした実験で用いられる行動指標(文献講読)・・・2週(PBL、討議) ②ラットを対象とした実験で用いられる行動指標の測定(オープンフィールドや回転輪等を用いた活動量の記録、各種迷路等を用いた学習実験での反応計測)・・・2週(PBL、実験、グループワーク) ③実際の実験を計画・実施・・・2週(PBL、グループワーク、実験、発表) ④③で行った実験データの行動解析と考察・・・1週(実技)(次週レポート提出) 	

A、Bの事前・事後学習については、原則以下の通り共通とする。

- ①事前学習：「生理心理学実習」で学習したことを見直し、質問項目をまとめておく。(1時間×2)
事後学習：文献を講読し、内容をまとめ疑問点を明確にしておく。(1時間×2)
- ②事前学習：実験装置の準備、取り扱いについてあらかじめ予習しておく。(1時間×2)
事後学習：分析と実験結果の整理。(1時間×2)
- ③事前学習：実験計画の立案とレジュメ作成。(1時間×2)
事後学習：分析と実験結果の整理。(1時間×2)
- ④事前学習：実験結果のまとめ、発表準備、レジュメ作成。(1時間)
事後学習：レポート作成。(2時間)

実験心理学や生理心理学に関連する文献や卒業研究などを参考に、課題設定の方向性や具体的な実験方法について調べておくこと。

得られた実験データは、その都度、ノートにまとめたりパソコンなどに入力したりしておくこと。

授業実施方法(面接授業・遠隔授業)

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

実験レポート(60%)、平常点(40%)

(平常点は、授業への参加状況、受講態度等を総合して判断します。)

成績評価基準

- 自ら進んで課題が設定できるか。
- 実験に必要な事項を理解し、計画を立案しそれに基づき実行することができるか。
- 実験で用いる装置の基本的な知識をもち、適切に取り扱うことができるか。
- 人や動物の様々な行動を客観的に分析できるか。
- 関連文献を適切に講読し、実験結果に対して理論的な考察をすることができるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

テキストは使用しないが、実験実習マニュアルを配布する。

参考図書：「生理心理学と精神生理学」I、II、III巻 堀忠雄・尾崎久記監修 北大路書房(2017)

認定心理士資格準拠 実験・実習で学ぶ心理学の基礎 日本心理学会認定心理士資格認定委員会編 金子書房(2015)

その他(受講上の注意)

原則として、生理心理学実習の単位を修得していること。実験は長時間に及ぶこともあり、授業時間以外にもグループごとに協力してデータ整理などを行い、時間を有効に活用する必要がある。また、人や動物の生理学的メカニズムについて学習しておくことが望ましい。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

人体の構造と機能及び疾病 (Human Body Structure, Function and Diseases)			担当教員	岸 慎治	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
PS-BPO-2362	2単位	3年後期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部心理学科専門科目 応用科目 行動・支援系					
求める学習成果(教育目標)					
心身機能と身体構造及びさまざまな疾病や障害について概説できる。 心理に関する支援が必要な主な疾病について概説できる。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input checked="" type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容					
公認心理師に必要な正常な人体のしくみを、その構成単位である細胞レベルから組織、器官、器官系レベルまで、構造と機能との密接な関連のもとに、体系的に理解できるよう教授する。心理に関する支援が必要な主な疾病について疾患診断・治療の概要を理解し、各臓器、各器官別の疾病の成因、病態、診断、治療、予防等を体系的に理解できるように教授する。					
授 業 の 到 達 目 標					
心身機能と身体構造及びさまざまな疾病や障害について概説できる。 心理に関する支援が必要な主な疾病について概説できる。					
アクティブ・ラーニング					
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ダイバート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他					
授業の計画及び授業外の学習方法					
第1回：細胞、組織 事前学習：授業前にテキストの該当箇所を読み質問事項をまとめておく事(2時間) 事後学習：授業で配布された資料を再度確認し、わからない事があれば、図書館で調べたり、担当教員に質問する事。他の参考書も参照する事。(2時間)					
第2回：消化器系、呼吸器系、血液系の構造と機能 事前学習：授業前にテキストの該当箇所を読み質問事項をまとめておく事(2時間) 事後学習：授業で配布された資料を再度確認し、わからない事があれば、図書館で調べたり、担当教員に質問する事。他の参考書も参照する事。(2時間)					
第3回：循環器系、泌尿器系、生殖期系、の構造と機能 事前学習：授業前にテキストの該当箇所を読み質問事項をまとめておく事(2時間) 事後学習：授業で配布された資料を再度確認し、わからない事があれば、図書館で調べたり、担当教員に質問する事。他の参考書も参照する事。(2時間)					
第4回：運動器系、内分泌系の構造と機能 事前学習：授業前にテキストの該当箇所を読み質問事項をまとめておく事(2時間) 事後学習：授業で配布された資料を再度確認し、わからない事があれば、図書館で調べたり、担当教員に質問する事。他の参考書も参照する事。(2時間)					
第5回：神経系の構造と機能① 事前学習：授業前にテキストの該当箇所を読み質問事項をまとめておく事(2時間) 事後学習：授業で配布された資料を再度確認し、わからない事があれば、図書館で調べたり、担当教員に質問する事。他の参考書も参照する事。(2時間)					
第6回：神経系の構造と機能②、感覚器系の構造と機能 事前学習：授業前にテキストの該当箇所を読み質問事項をまとめておく事(2時間) 事後学習：授業で配布された資料を再度確認し、わからない事があれば、図書館で調べたり、担当教員に質問する事。他の参考書も参照する事。(2時間)					
第7回：小児の成長発達と疾患 事前学習：授業前にテキストの該当箇所を読み質問事項をまとめておく事(2時間) 事後学習：授業で配布された資料を再度確認し、わからない事があれば、図書館で調べたり、担当教員に質問する事。他の参考書も参照する事。(2時間)					

- 第8回：生活習慣病① 肥満、脂質異常症 循環器疾患
 事前学習：授業前にテキストの該当箇所を読み質問事項をまとめておく事（2時間）
 事後学習：授業で配布された資料を再度確認し、わからない事があれば、図書館で調べたり、担当教員に質問する事。他の参考書も参照する事。（2時間）
- 第9回：生活習慣病② 糖尿病
 事前学習：授業前にテキストの該当箇所を読み質問事項をまとめておく事（2時間）
 事後学習：授業で配布された資料を再度確認し、わからない事があれば、図書館で調べたり、担当教員に質問する事。他の参考書も参照する事。（2時間）
- 第10回：加齢と疾患、運動器疾患
 事前学習：授業前にテキストの該当箇所を読み質問事項をまとめておく事（2時間）
 事後学習：授業で配布された資料を再度確認し、わからない事があれば、図書館で調べたり、担当教員に質問する事。他の参考書も参照する事。（2時間）
- 第11回：神経疾患
 事前学習：授業前にテキストの該当箇所を読み質問事項をまとめておく事（2時間）
 事後学習：授業で配布された資料を再度確認し、わからない事があれば、図書館で調べたり、担当教員に質問する事。他の参考書も参照する事。（2時間）
- 第12回：難病、がん①
 事前学習：授業前にテキストの該当箇所を読み質問事項をまとめておく事（2時間）
 事後学習：授業で配布された資料を再度確認し、わからない事があれば、図書館で調べたり、担当教員に質問する事。他の参考書も参照する事。（2時間）
- 第13回：がん② 周産期医療
 事前学習：授業前にテキストの該当箇所を読み質問事項をまとめておく事（2時間）
 事後学習：授業で配布された資料を再度確認し、わからない事があれば、図書館で調べたり、担当教員に質問する事。他の参考書も参照する事。（2時間）
- 第14回：感染症
 事前学習：授業前にテキストの該当箇所を読み質問事項をまとめておく事（2時間）
 事後学習：授業で配布された資料を再度確認し、わからない事があれば、図書館で調べたり、担当教員に質問する事。他の参考書も参照する事。（2時間）
- 第15回：健康と健康増進の理解
 事前学習：授業前にテキストの該当箇所を読み質問事項をまとめておく事（2時間）
 事後学習：授業で配布された資料を再度確認し、わからない事があれば、図書館で調べたり、担当教員に質問する事。他の参考書も参照する事。（2時間）
- 第16回：定期試験

授業実施方法（面接授業・遠隔授業）

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

定期試験（80%） 平常点（20%） 割合は授業形態、試験形態により変わる事があります。
 （平常点は、授業への参加状況・受講態度・小テストの成績等を総合して判断します）

成績評価基準

心身機能と身体構造及びさまざまな疾病や障害、心理に関する支援が必要な主な疾病について概説できる。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書

テキスト

人体の構造と機能及び疾病 竹田克彦、岩田 敦、小林 靖 編 医歯薬出版

参考書

公認心理師の基礎と実践21 人体の構造と機能及び疾病 齊藤清二 清見書房

その他(受講上の注意)

講義中の私語は厳重に禁止し、減点対象とする。疑問点や不明点があればすぐに質問する事。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

比較心理学 (Comparative Psychology)			担当教員	山岸 厚仁	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
PS-BPO-2361	2単位	3年前期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部心理学科専門科目 応用科目 行動・支援系					
求める学習成果(教育目標)					
人の心や行動を科学的に分析する方法や支援する方法を習得する。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input checked="" type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input checked="" type="checkbox"/> 選択能力 <input type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
動物の行動や認知機能について比較分析した諸研究を紹介しながら、比較心理学がどのような学問であるかの理解を深める。	
授 業 の 到 達 目 標	
ヒトを含めた動物の行動およびその背後にある心的機序について科学的視点から評価・議論する能力を養う。様々な認知機能について、ヒトとヒト以外の動物におけるそれぞれの特徴を説明できるようになる。	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習 (PBL) <input type="checkbox"/> 討議 (ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク (Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション (Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (リアクションペーパー)	
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法	
※授業毎にリアクションペーパー・小テストへの回答を求めます 第1回：比較心理学とは／動物の分類と進化 (事後学習：動物の分類と進化についてノートにまとめる(2時間)) 第2回：比較心理学の歴史と研究法1 (事前学習：前回の復習・比較心理学の歴史と研究法について関連箇所を調べる(2時間)) (事後学習：心理学の歴史と研究法についてノートにまとめる(2時間)) 第3回：比較心理学の歴史と研究法2 (事前学習：前回の復習・比較心理学の歴史と研究法について関連箇所を調べる(2時間)) (事後学習：心理学の歴史と研究法についてノートにまとめる(2時間)) 第4回：動物の感覚1 (事前学習：前回の復習・動物の感覚について関連箇所を調べる(2時間)) (事後学習：動物の感覚の特徴についてノートにまとめる(2時間)) 第5回：動物の感覚2 (事前学習：前回の復習・動物の感覚について関連箇所を調べる(2時間)) (事後学習：動物の感覚の特徴についてノートにまとめる(2時間)) 第6回：動物の感覚3 (事前学習：前回の復習・動物の感覚について関連箇所を調べる(2時間)) (事後学習：動物の感覚の特徴についてノートにまとめる(2時間)) 第7回：動物の本能1 (事前学習：前回の復習・動物の本能について関連箇所を調べる(2時間)) (事後学習：動物の本能の特徴についてノートにまとめる(2時間)) 第8回：動物の本能2 (事前学習：前回の復習・動物の本能について関連箇所を調べる(2時間)) (事後学習：動物の本能の特徴についてノートにまとめる(2時間)) 第9回：動物の学習1 (事前学習：前回の復習・動物の学習に関連箇所を調べる(2時間)) (事後学習：動物の学習の特徴についてノートにまとめる(2時間)) 第10回：動物の学習2 (事前学習：前回の復習・動物の学習に関連箇所を調べる(2時間)) (事後学習：動物の学習の特徴についてノートにまとめる(2時間))	

- 第11回：動物の記憶
 (事前学習：動物の記憶について関連箇所を調べる(2時間))
 (事後学習：動物の記憶の特徴についてノートにまとめる(2時間))
- 第12回：動物のコミュニケーション
 (事前学習：前回の復習・動物のコミュニケーションについて関連箇所を調べる(2時間))
 (事後学習：動物のコミュニケーションの特徴についてノートにまとめる(2時間))
- 第13回：動物の思考1
 (事前学習：前回の復習・動物の思考について関連箇所を調べる(2時間))
 (事後学習：動物の思考の特徴についてノートにまとめる(2時間))
- 第14回：動物の思考2
 (事前学習：前回の復習・動物の思考について関連箇所を調べる(2時間))
 (事後学習：動物の思考の特徴についてノートにまとめる(2時間))
- 第15回：動物の社会性
 (事前学習：前回の復習・動物の社会性について関連箇所を調べる(2時間))
 (事後学習：動物の社会性についてノートにまとめる, これまでの講義内容の総復習(4時間))
- 第16回：定期試験

授業実施方法(面接授業・遠隔授業)

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

定期試験(65%)
 平常点(35%) ※授業の参加態度, 小テストの成績から総合的に判断します。

成績評価基準

ヒトを含めた動物の行動およびその背後にある心的機序について科学的視点から議論することができるか。
 様々な認知機能において, ヒトとヒト以外の動物におけるそれぞれの特徴を説明できるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他(定期試験結果は希望者にのみ口頭またはメールでフィードバックする)
- その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

参考図書：『動物心理学——心の射影と発見——』 中島定彦著 昭和堂

その他(受講上の注意)

履修者にスマートフォン等の各自の通信機器を用いてe-learningにアクセスしてもらい、授業中のリアクションペーパーへの回答や授業外課題を求める場合があります。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

障害者・障害児心理学 (Psychology for Adults & Children with Disabilities)			担当教員	水田 敏郎	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
PS-BPO-2366	2単位	3年後期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部心理学科専門科目 応用科目 行動・支援系					
求める学習成果(教育目標)					
教育、福祉、医療現場での心理臨床の理論と実践のしかたを習得する。 人の心や行動を科学的に分析する方法や支援する方法を習得する。 組織や集団における行動の原理を理解し、実社会における人間関係の心理について学ぶ。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input checked="" type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input checked="" type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
感覚障害や知的障害、肢体不自由など様々な障害の概念について解説する。また、特に最も発生率の高い知的障害について分類や障害メカニズムについて解説し、心理的な特徴とその支援の方法について述べる。	
授 業 の 到 達 目 標	
障害の概念、定義について理解することができる。様々な障害について特定の基準をもとに分類することができる。知的障害の心理的な諸特徴と支援の方法について理解することができる。	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習 (PBL) <input type="checkbox"/> 討議 (ディスカッション、ダイバート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク (Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション (Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授業の計画及び授業外の学習方法	
第1回：ガイダンス 事後学習：次回分のプリントについて熟読し、質問をまとめておく。(2時間) 第2回：障害の概要と定義 事前学習：第2回分のプリント(障害の概要と定義)について穴あき部分を埋めておく。(2時間) 事後学習：第2回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく(2時間) 第3回：知的障害のアセスメント① 事前学習：第3回分のプリント(知的障害のアセスメント①)について穴あき部分を埋めておく。(2時間) 事後学習：第3回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく(2時間) 第4回：知的障害のアセスメント②(グループワーク) 事前学習：第4回分のプリント(知的障害のアセスメント②)について穴あき部分を埋めておく。(2時間) 事後学習：第4回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく(2時間) 第5回：感覚の発達と障害 事前学習：第5回分のプリント(感覚の発達と障害)について穴あき部分を埋めておく。(2時間) 事後学習：第4回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく(2時間) 第6回：知覚の発達と障害① 事前学習：第6回分のプリント(知覚の発達と障害①)について穴あき部分を埋めておく。(2時間) 事後学習：第6回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく(2時間) 第7回：知覚の発達と障害②(グループワーク) 事前学習：第7回分のプリント(知覚の発達と障害②)について穴あき部分を埋めておく。(2時間) 事後学習：第7回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく(2時間) 第8回：学習の発達と障害 事前学習：第8回分のプリント(学習の発達と障害)について穴あき部分を埋めておく。(2時間) 事後学習：第8回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく(2時間) 第9回：言語の発達と障害① 事前学習：第9回分のプリント(言語の発達と障害①)について穴あき部分を埋めておく。(2時間) 事後学習：第9回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく(2時間) 第10回：言語の発達と障害②(グループワーク) 事前学習：第10回分のプリント(言語の発達と障害②)について穴あき部分を埋めておく。(2時間) 事後学習：第10回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく(2時間)	

<p>第11回：運動の発達と障害① 事前学習：第11回分のプリント（運動の発達と障害①）について穴あき部分を埋めておく。（2時間） 事後学習：第11回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく（2時間）</p> <p>第12回：運動の発達と障害②（グループワーク） 事前学習：第12回分のプリント（運動の発達と障害②）について穴あき部分を埋めておく。（2時間） 事後学習：第12回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく（2時間）</p> <p>第13回：知的障害以外の発達障害 事前学習：第13回分のプリント（知的障害以外の発達障害）について穴あき部分を埋めておく。（2時間） 事後学習：第13回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく（2時間）</p> <p>第14回：障害と支援（グループワーク） 事前学習：第14回分のプリント（障害と支援）について穴あき部分を埋めておく。（2時間） 事後学習：第14回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく（2時間）</p> <p>第15回：障害者心理学に関するまとめ 事前学習：各回分のプリント全体の整理と質問項目をまとめておく（3時間） 事後学習：第15回で解説したの内容について、整理しておく（3時間）</p> <p>第16回：定期試験</p> <p>各回の講義を受講した後、当該部分の配布資料をよく読んで復習してください。また、予習にあたっても次の授業の内容部分をよく見て、問題意識をもって授業に臨んでください。</p>
授業実施方法（面接授業・遠隔授業）
原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。
成績評価方法
定期試験（70％） 平常点（30％） （平常点は、授業への参加状況、質問用紙の提出状況などを総合して判断します。）
成績評価基準
障害の概念、定義について説明することができるか。様々な障害について特定の基準をもとに分類することができるか。知的障害の心理的な諸特徴と支援の方法について説明することができるか。
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック
<p>1) 授業時の課題に対するフィードバックについて <input type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>3) 小レポートに対するフィードバックについて <input type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて <input type="checkbox"/>定期試験時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>5) その他 <input type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p>
実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
テキスト、参考図書
講義資料は適宜配布する。
その他（受講上の注意）
障害に対する理解を得たり、疑問点を解決しようとするなど、目的意識をもって受講することを期待します。
オフィスアワー
UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

福祉心理学 (Psychology for Social Welfare)			担当教員	目黒 達哉	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
PS-BPO-2365	2単位	3年後期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部心理学科専門科目 応用科目 行動・支援系					
求める学習成果(教育目標)					
教育、福祉、医療現場での心理臨床の理論と実践のしかたを習得する。 人の心や行動を科学的に分析する方法や支援する方法を習得する。 組織や集団における行動の原理を理解し、実社会における人間関係の心理について学ぶ。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input checked="" type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input checked="" type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容					
福祉心理学は応用心理学の一端として発展してきた学問であり、主には高齢者や障害者、生活困窮者、養育的保護を必要とする児童等を対象とする。授業では、生きるうえで苦しい立場で置かれがちな人々に対する適切な心理支援とは何かを考えていく。また、福祉心理学は、すべての人々がより豊かに、幸福に生きることにつながるwell-being(よりよい生き方、あり方)の考えにつながる学問であることを明らかにする。					
授 業 の 到 達 目 標					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な福祉現場における心理支援のあり方と課題を理解する。 ・ 福祉現場における心理職の立場、他職種との連携について理解する。 ・ 福祉社会について自分なりの考え方や見方を持ち、福祉的な生き方についての関心を深める。 					
アクティブ・ラーニング					
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input checked="" type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input checked="" type="checkbox"/> 実験、実技 <input checked="" type="checkbox"/> その他(リアクションペーパー)					
授業の計画及び授業外の学習方法					
講義形式ですすめる。必要に応じて視聴覚教材を用いながら、福祉現場での心理支援の実際について学んでいく。					
<p>第1回：オリエンテーション 福祉 well-being という考え方 福祉現場での心理支援 ケアの思想 QOLとは？ 事前学習：シラバス全体に目を通し授業全体の流れとイメージを掴んでおくこと(2時間) 事後学習：授業で学んだ内容について、ノートにまとめておくこと(2時間)</p> <p>第2回：福祉心理学の基礎知識 少子高齢化社会を考える(ディスカッション) 事前学習：少子高齢化社会について、図書館やメディアなどで調べておくこと 少子高齢化社会についてディスカッションするので、自分の意見をまとめておくこと(2時間) 事後学習：授業で学んだ内容について、ノートにまとめておくこと(2時間)</p> <p>第3回：児童虐待への心理支援 事前学習：児童虐待の分類、児童相談所の役割について、図書館やメディアなどで調べておくこと(2時間) 事後学習：授業で学んだ内容について、ノートにまとめておくこと(2時間)</p> <p>第4回：貧困家庭、一人親家庭、養育不全の家庭環境への心理支援(ディスカッション) 事前学習：相対的貧困率や貧困家庭への支援について、図書館やメディアなどで調べておくこと 貧困問題についてディスカッションするので、自分の意見をまとめておくこと(2時間) 事後学習：授業で学んだ内容について、ノートにまとめておくこと(2時間)</p> <p>第5回：不登校・ひきこもりへの心理支援・就労支援 事前学習：不登校・ひきこもりの現状について、図書館やメディアなどで調べておくこと(2時間) 事後学習：授業で学んだ内容について、ノートにまとめておくこと(2時間)</p> <p>第6回：中高年のひきこもりへの心理支援と孤独死の問題 事前学習：厚生労働省のひきこもりガイドラインや孤独死について、図書館やメディアなどで調べておくこと(2時間) 事後学習：授業で学んだ内容について、ノートにまとめておくこと(2時間)</p>					

- 第7回：高齢者への心理支援① 老いの不安、うつ、喪失体験など
事前学習：発達心理学の復習をし、高齢期における心理的特徴について調べておくこと（2時間）
事後学習：授業で学んだ内容について、ノートにまとめておくこと（2時間）
- 第8回：高齢者への心理支援② 認知症の理解
事前学習：認知症について調べ、地域包括支援センターの役割と介護の問題を整理しておくこと（2時間）
事後学習：授業で学んだ内容について、ノートにまとめておくこと（2時間）
- 第9回：自殺予防の心理支援
事前学習：自殺者数の推移、自殺予防についての国の政策などを図書館やメディアなどで調べておくこと
死についてどのように考えているのか、自分の意見をまとめておくこと（2時間）
事後学習：授業で学んだ内容について、ノートにまとめておくこと（2時間）
- 第10回：疾病や障害をもつ人への心理支援
事前学習：障害とは何なのか、偏見と差別について、図書館やメディアなどで調べておくこと（2時間）
事後学習：授業で学んだ内容について、ノートにまとめておくこと（2時間）
- 第11回：発達障害の心理支援
事前学習：発達障害という概念、現代人の心の悩みや生きづらさについて自分なりの考えをもち、図書館やメディアなどで調べておくこと（2時間）
事後学習：授業で学んだ内容について、ノートにまとめておくこと（2時間）
- 第12回：介護する家族・療育者への心理支援
事前学習：介護する人の心理、バーンアウトや感情労働について、図書館やメディアなどで調べておくこと（2時間）
事後学習：授業で学んだ内容について、ノートにまとめておくこと（2時間）
- 第13回：福祉現場での心理職の役割と多職種との連携
事前学習：心理的援助とは何か、コミュニティ心理学について、図書館やメディアなどで調べておくこと（2時間）
事後学習：授業で学んだ内容について、ノートにまとめておくこと（2時間）
- 第14回：福祉職のグリーフケア
事前学習：スピリチュアルケア、グリーフケアについて、図書館やメディアなどで調べておくこと（2時間）
事後学習：授業で学んだ内容について、ノートにまとめておくこと（2時間）
- 第15回：心理学から「幸福」を考える（講義・ディスカッション）
事前学習：幸福とは何かについてディスカッションするので、自分なりの意見や考えをまとめておくこと（2時間）
事後学習：学んだ内容についてノートにまとめ、さらに関心のある内容について調べておくこと（2時間）

毎回、授業後に、「リアクションペーパー（小レポート）」を実施する。
日常生活の中で、福祉に関するニュースなどに関心を持つだけでなく、福祉の現場で心理職として働くことになったときのことを想像し、自分はどんなことができるかなどを考えながら授業に臨んでください。
最後に「まとめのレポート」を提出してもらいます。

授業実施方法（面接授業・遠隔授業）

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

まとめのレポート（40%）、平常点（15%）、小レポート（45%）
（授業への参加状況、受講への取り組みや態度などから総合的に判断します）

成績評価基準

- ・様々な福祉現場における心理支援のあり方と課題を理解できたか。
- ・福祉現場における心理職の位置、多職種との連携について理解し、説明できるか。
- ・福祉社会について、自分なりの考え方や見方をもつことができたか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)
テキスト、参考図書
テキストは使用しない。プリントを用意する。 <参考図書>中島健一 編 公認心理師の基礎と実践17 福祉心理学(遠見書房・2018年)
その他(受講上の注意)
授業の進行状況によって、授業計画に変更を加える可能性もある。
オフィスアワー
UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

社会心理学演習 (Training Course of Social Psychology)			担当教員	山本 雅代、竹村 明子	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
PS-CPI-2372	2単位	3年後期	演習	選択	
<科目区分> 人間学部心理学科専門科目 応用科目 産業・社会系					
求める学習成果(教育目標)					
教育、福祉、医療現場での心理臨床の理論と実践のしかたを習得する。 組織や集団における行動の原理を理解し、実社会における人間関係の心理について学ぶ。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input checked="" type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input checked="" type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input checked="" type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
社会心理学領域の問題を、どのように研究していくのかについて、実験実証的技法を用いて学ぶ。受講者は2グループに分かれ、順次、社会心理学的実験課題(対人魅力に関する実験)と社会心理学的調査課題(対人関係調査)に取り組む。課題ごとに先行研究の情報収集、実験・調査の実施(被験者・実験者双方を経験)、データ収集と分析、結果のまとめ、考察する方法について、実習を通して学ぶ。その中で、研究計画をたて、実行する力を身につける。また、ディスカッション・研究発表やレポート提出をおこなう。これにより社会心理学的な研究の方法や発表の仕方を学ぶ。	
授 業 の 到 達 目 標	
1) 社会心理学領域における考え方、実験・実証方法を習得する。 2) データの分析方法や結果のまとめ方を学び、考察、集団討議ができるようになる。 3) 目的に沿って研究計画をたて、実行する力を身につける。	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input checked="" type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input checked="" type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授業の計画及び授業外の学習方法	
現在の授業計画及び授業外の学習方法 この授業では、多様な社会心理学的研究を体験するために2つのグループ(A・B)に分かれ、7週ごとに社会心理学的実験課題【担当：山本】と社会心理学的調査課題【担当：竹村】について、実験者と被験者の双方を体験する。	
第1回：オリエンテーション 事前学習：授業前に社会心理学の関する知識を学んでおくこと。(2時間) 事後学習：実験する内容について関連する本を読んでおく。(2時間)	
Aグループ 第2回：社会心理学的実験課題①(対人魅力実験①) 事前学習：関連する本を読み、実験の手順や概念について確認しておくこと。(2時間) 事後学習：データを確認、実験についてまとめる。(2時間)	
第3回：社会心理学的実験課題②(分析・結果・考察) 事前学習：関連する本を読み、実験の手順、分析方法、概念について確認しておくこと。(2時間) 事後学習：授業内容を確認し、実験についてまとめる。(2時間)	
第4回：社会心理学的実験課題③(まとめとレポート作成) 事前学習：関連する本を読み、実験の手順、分析方法、概念、レポートの書き方について理解しておくこと。(2時間) 事後学習：授業内容を確認し、実験についてまとめる。(2時間)	
第5回：社会心理学的実験課題④(対人魅力実験②・計画・方法) 事前学習：関連する本を読み、実験の手順や概念について確認しておくこと。(2時間) 事後学習：概念、実験計画の内容・方法についてまとめる。(2時間)	
第6回：社会心理学的実験課題⑤(実験・ディスカッション) 事前学習：実験計画の内容・方法を確認、実験の手順や概念について理解しておくこと。(2時間) 事後学習：データや授業内容を確認、実験についてまとめる。(2時間)	

- 第7回：社会心理学的実験課題⑥（分析・結果の確認・発表）
 事前学習：関連する本を読み、実験の手順、分析方法、概念について確認しておくこと。（2時間）
 事後学習：授業内容を確認し、実験についてまとめる。（2時間）
- 第8回：社会心理学的実験課題⑦（まとめとレポート作成）
 事前学習：関連する本を読み、実験の手順、分析方法、概念、レポートの書き方について確認しておくこと。（2時間）
 事後学習：授業内容を確認し、実験についてまとめる。（2時間）
- 第9回：社会心理学的調査課題①（対人関係調査の説明）
 事前学習：事前にE-Learning上に資料を提示する。各自プリントアウトし、内容を読み質問をまとめておくこと（2時間）
 事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて、図書館で調べたり、担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）
- 第10回：社会心理学的調査課題②（データの収集と入力）
 事前学習：事前にE-Learning上に資料を提示する。各自プリントアウトし、内容を読み質問をまとめておくこと（2時間）
 事後学習：収集した資料に関して、コンピュータにデータ入力をおこなう（2時間）
- 第11回：社会心理学的調査課題③（分析方法1）
 事前学習：事前にE-Learning上に資料を提示する。各自プリントアウトし、内容を読み質問をまとめておくこと（2時間）
 事後学習：授業内で課された課題について復習をする（2時間）
- 第12回：社会心理学的調査課題④（分析方法2）
 事前学習：事前にE-Learning上に資料を提示する。各自プリントアウトし、内容を読み質問をまとめておくこと（2時間）
 事後学習：授業内で課された課題についてE-Learningに提出をする（2時間）
- 第13回：社会心理学的調査課題⑤（方法・結果の書き方）
 事前学習：事前にE-Learning上に資料を提示する。各自プリントアウトし、内容を読み質問をまとめておくこと（2時間）
 事後学習：授業内で課された課題について復習をする（2時間）
- 第14回：社会心理学的調査課題⑥（目的・考察の書き方）
 事前学習：事前にE-Learning上に資料を提示する。各自プリントアウトし、内容を読み質問をまとめておくこと（2時間）
 事後学習：授業内で課された課題について復習をする（2時間）
- 第15回：社会心理学的調査課題⑦（まとめとレポート作成）
 事前学習：事前にE-Learning上に資料を提示する。各自プリントアウトし、内容を読み質問をまとめておくこと（2時間）
 事後学習：授業内で課された課題についてE-Learningに提出をする（2時間）

Bグループ

- 第2回：社会心理学的調査課題①（対人関係調査の説明）
 事前学習：事前にE-Learning上に資料を提示する。各自プリントアウトし、内容を読み質問をまとめておくこと（2時間）
 事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて、図書館で調べたり、担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）
- 第3回：社会心理学的調査課題②（データの収集と入力）
 事前学習：事前にE-Learning上に資料を提示する。各自プリントアウトし、内容を読み質問をまとめておくこと（2時間）
 事後学習：収集した資料に関して、コンピュータにデータ入力をおこなう（2時間）
- 第4回：社会心理学的調査課題③（分析方法1）
 事前学習：事前にE-Learning上に資料を提示する。各自プリントアウトし、内容を読み質問をまとめておくこと（2時間）
 事後学習：授業内で課された課題について復習をする（2時間）
- 第5回：社会心理学的調査課題④（分析方法2）
 事前学習：事前にE-Learning上に資料を提示する。各自プリントアウトし、内容を読み質問をまとめておくこと（2時間）
 事後学習：授業内で課された課題についてE-Learningに提出をする（2時間）
- 第6回：社会心理学的調査課題⑤（方法・結果の書き方）
 事前学習：事前にE-Learning上に資料を提示する。各自プリントアウトし、内容を読み質問をまとめておくこと（2時間）
 事後学習：授業内で課された課題について復習をする（2時間）

- 第7回：社会心理学的調査課題⑥（目的・考察の書き方）
事前学習：事前にE-Learning上に資料を提示する。各自プリントアウトし、内容を読み質問をまとめておくこと（2時間）
事後学習：授業内で課された課題について復習をする（2時間）
- 第8回：社会心理学的調査課題⑦（まとめとレポート作成）
事前学習：事前にE-Learning上に資料を提示する。各自プリントアウトし、内容を読み質問をまとめておくこと（2時間）
事後学習：授業内で課された課題についてE-Learningに提出をする（2時間）
- 第9回：社会心理学的実験課題①（対人魅力実験①）
事前学習：関連する本を読み、実験の手順や概念について確認しておくこと。（2時間）
事後学習：データを確認、実験についてまとめる。（2時間）
- 第10回：社会心理学的実験課題②（分析・結果・考察）
事前学習：関連する本を読み、実験の手順、分析方法、概念について確認しておくこと。（2時間）
事後学習：授業内容を確認し、実験についてまとめる。（2時間）
- 第11回：社会心理学的実験課題③（まとめとレポート作成）
事前学習：関連する本を読み、実験の手順、分析方法、概念、レポートの書き方について理解しておくこと。（2時間）
事後学習：授業内容を確認し、実験についてまとめる。（2時間）
- 第12回：社会心理学的実験課題④（対人魅力実験②・計画・方法）
事前学習：関連する本を読み、実験の手順や概念について確認しておくこと。（2時間）
事後学習：概念、実験計画の内容・方法についてまとめる。（2時間）
- 第13回：社会心理学的実験課題⑤（実験・ディスカッション）
事前学習：実験計画の内容・方法を確認、実験の手順や概念について理解しておくこと。（2時間）
事後学習：データや授業内容を確認、実験についてまとめる。（2時間）
- 第14回：社会心理学的実験課題⑥（分析・結果の確認・発表）
事前学習：関連する本を読み、実験の手順、分析方法、概念について確認しておくこと。（2時間）
事後学習：授業内容を確認し、実験についてまとめる。（2時間）
- 第15回：社会心理学的実験課題⑦（まとめとレポート作成）
事前学習：関連する本を読み、実験の手順、分析方法、概念、レポートの書き方について確認しておくこと。（2時間）
事後学習：授業内容を確認し、実験についてまとめる。（2時間）

授業実施方法（面接授業・遠隔授業）

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

各2つのレポート課題や授業への参加態度等を総合的に判断し評価する。
【レポート課題 60% 実験・授業への参加態度 40%】

成績評価基準

社会心理学における実験方法や実証方法が習得できているか。結果についての整理、分析や考察ができ、論理的に議論できているか。科学論文の執筆ができているか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書

樋口耕一・中村康則・周 景龍 (2022) KH Coder Official Book II 動かして学ぶ！はじめてのテキストマイニングフリー・ソフトウェアを用いた自由記述の計量テキスト分析－. ¥2200+税
その他、適宜掲示・配布する。また、参考文献、関連文献を講義内で紹介する。

その他(受講上の注意)

第1回目の授業(オリエンテーション)では、受講に際しての注意を行うので、必ず出席すること。課題レポートに関して、各教員の指示に従い、期限を守り提出すること。再提出等の指示があった場合には、指示に従い期限までに再提出すること。連絡事項は基本的に掲示で行うが、場合によりメールで連絡することがある。自分の携帯アドレスを変更した場合には、必ず大学に登録したアドレスも変更すること。出席できない場合は、あらかじめ連絡すること。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

多変量解析演習 (Multivariate Statistical Analysis)			担当教員	杉島 一郎	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
PS-CPI-2373	2単位	3年前期	演習	選択	
<科目区分> 人間学部心理学科専門科目 応用科目 産業・社会系					
求める学習成果(教育目標)					
人の心や行動を科学的に分析する方法や支援する方法を習得する。 組織や集団における行動の原理を理解し、実社会における人間関係の心理について学ぶ。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
心理学のデータを用いて、多変量解析(因子分析, 重回帰分析など)の基本的な考え方を理解した上で、実際の心理調査データを用いて分析手法を学ぶ。また、各自がテーマを決定し調査票を作成し、得られたデータを統計解析ソフトで分析し、その結果に対する解釈や考察の方法を学ぶ。	
授 業 の 到 達 目 標	
調査票を作成し、統計解析ソフトを利用して多変量解析(因子分析, 重回帰分析)を行える知識を修得することを目標とする。	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input checked="" type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授業の計画及び授業外の学習方法	
第1回：多変量解析とは？ 事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。(4時間)	
第2回：多変量解析を用いた心理学研究論文の講読1 事前学習：事前に配布する論文を熟読しておくこと。(2時間) 事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。(2時間)	
第3回：多変量解析を用いた心理学研究論文の講読2 事前学習：事前に配布する論文を熟読しておくこと。(2時間) 事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。(2時間)	
第4回：因子分析1 事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。また、SPSSの使用法について調べておくこと。(4時間)	
第5回：因子分析2(実習を含む) 事後学習：実際に授業で取ったデータについてエクセルで処理を行い課題として提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。(4時間)	
第6回：因子分析3(実習を含む) 事後学習：実際に授業で取ったデータについてエクセルで処理を行い課題として提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。(4時間)	
第7回：因子分析4(実習を含む) 事後学習：実際に授業で取ったデータについてエクセルで処理を行い課題として提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。(4時間)	

第8回：因子分析5 事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（4時間）
第9回：重回帰分析1 事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。また、SPSSの使用法について調べておくこと。（4時間）
第10回：重回帰分析2 事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。また、SPSSの使用法について調べておくこと。（4時間）
第11回：重回帰分析3（実習を含む） 事後学習：実際に授業で取ったデータについてエクセルで処理を行い課題として提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（4時間）
第12回：重回帰分析4（実習を含む） 事後学習：実際に授業で取ったデータについてエクセルで処理を行い課題として提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（4時間）
第13回：調査のレポート作成1 事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。また、SPSSの使用法について調べておくこと。（4時間）
第14回：調査のレポート作成2（実習を含む） 事後学習：実際に授業で取ったデータについてエクセルで処理を行い課題として提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（4時間）
第15回：講義のまとめ 事前学習：これまでの授業でわからなかったことなどを考えておき、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（2時間） 事後学習：実際に授業で取ったデータについてエクセルで処理を行い課題として提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（2時間）

授業実施方法（面接授業・遠隔授業）

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

期末レポート（50%）、毎回提出する課題（50%）

成績評価基準

多変量解析（因子分析・重回帰分析など）について理解し、説明ができるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書

<テキスト>山際勇一郎・服部環（2016）. 文系のためのSPSSデータ解析 ナカニシヤ出版

その他(受講上の注意)

受講には、2年次の「心理調査法」の単位を取得していることが望ましいです。授業時間以外にも、解析、レポート作成等の学習が必要になります。真に、多変量解析をマスターしたい学生のみ受講してください。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

消費者心理学 (Consumer Psychology)			担当教員	山本 雅代	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
PS-CPO-2371	2単位	3年前期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部心理学科専門科目 応用科目 産業・社会系					
求める学習成果(教育目標)					
人の心や行動を科学的に分析する方法や支援する方法を習得する。 組織や集団における行動の原理を理解し、実社会における人間関係の心理について学ぶ。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input checked="" type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input checked="" type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input checked="" type="checkbox"/> 選択能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
<p>私たちは毎日何気なく消費行動を行っている。一方で企業は、どのようなモノやサービス、状況であれば消費行動が行われるのか研究し、戦略を練る。消費者マインドがどのような法則に従って変動するのか、企業はそれをどのように捉えようとしているのか、社会心理学や行動経済学等の視点を取り入れながら解説する。講義では消費者行動の基礎的な知識を習得するとともに、国内外における企業のマーケティング戦略をとりあげながら応用について学んでいくこととする。</p>	
授 業 の 到 達 目 標	
1) 消費者心理学における基本的な概念を理解する。 2) 消費行動や意思決定について理解する。 3) 消費者リスクについて理解する。 4) 実社会における企業戦略について理解する。	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習 (PBL) <input type="checkbox"/> 討議 (ディスカッション、ダイバート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク (Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション (Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (ICT (Googleフォームを使用し、課題を呈示、インタラクティブに意見を収集。Moodleでの資料提示))	
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法	
第1回：消費者心理について (ICT・課題提出) 事前学習：授業前に消費行動について課題を提出してもらいます。消費行動について本を読んでおくこと (2時間) 事後学習：授業で課された課題について、レポートにまとめておくこと (2時間) 第2回：消費行動について (1) (ICT・レポート課題提出) 事前学習：授業ではこれまでの消費行動の背景を学びます。「消費行動と心理学」に関連する本を読んでおくこと (2時間) 事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと (2時間) 第3回：消費行動について (2) (ICT・課題提出) 事前学習：授業では、「消費社会」について学びます。「消費社会」とは何か考えておくこと (2時間) 事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと (2時間) 第4回：消費行動について (3) (ICT・課題提出) 事前学習：授業前に「消費行動と購買行動」についての本を読んでおくこと (2時間) 事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと (2時間) 第5回：消費行動と知覚 (1) (ICT・課題提出) 事前学習：授業前に「知覚」に関連する本を読んでおくこと (2時間) 事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと (2時間) 第6回：消費行動と知覚 (2) (ICT・課題提出) 事前学習：授業前に「選択的注意」についての本を読んでおくこと (2時間) 事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと (2時間) 第7回：広告情報の知覚とマーケティング戦略 (1) (ICT・課題提出) 事前学習：授業前に「広告」についてどのようなものが心に残っているかまとめておくこと (2時間) 事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと (2時間)	

<p>第8回：広告情報の知覚とマーケティング戦略（2）（ICT・課題提出） 事前学習：授業前に「ブランドランキング」について調べておくこと（2時間） 事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）</p> <p>第9回：消費者行動と意志決定（1）（ICT・課題提出） 事前学習：授業前に「意思決定」について調べておくこと（2時間） 事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）</p> <p>第10回：消費者行動と意思決定（2）（ICT・課題提出） 事前学習：授業前に「購買意思決定」についての本を読んでおくこと（2時間） 事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）</p> <p>第11回：消費者行動と意思決定（3）（ICT・課題提出） 事前学習：授業前に「プロスペクト理論」に関連する本を読んでおくこと（2時間） 事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）</p> <p>第12回：消費者の態度（ICT・課題提出） 事前学習：授業前に「説得と態度変容」についての本を読んでおくこと（2時間） 事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）</p> <p>第13回：消費行動と企業戦略（ICT・課題提出） 事前学習：授業前に「消費行動と企業戦略」についての本を読んでおくこと（2時間） 事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）</p> <p>第14回：口コミと消費行動（ICT・課題提出） 事前学習：授業前に「口コミと消費行動」についての本を読んでおくこと（2時間） 事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）</p> <p>第15回：まとめと確認テスト（ICT） 事前学習：各講義における手書きノートを作るなどすること（2時間） 事後学習：分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）</p>
授業実施方法（面接授業・遠隔授業）
原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。
成績評価方法
課題・レポート、確認テスト・授業への参加態度等を総合的に判断し評価する。 【確認テスト50% 課題・レポート・授業への参加態度50%】
成績評価基準
消費者行動についての基本的概念が理解できたか。 消費者リスクについて説明できたか。 実社会における企業戦略を分析できたか。
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック
<p>1) 授業時の課題に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/>授業時 <input checked="" type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて <input type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>3) 小レポートに対するフィードバックについて <input type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて <input type="checkbox"/>定期試験時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>5) その他 <input type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p>
実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
テキスト、参考図書
適宜掲示・配布する。また、参考文献、関連文献を講義内で紹介する。
その他（受講上の注意）
最初にTeamsに登録すること。 毎回課題の提出を求める。提出には、ムードルやGoogleフォームなどを使用する（各講義において指定）かならず提出すること。 回収後の結果について講義内にて提示し、内容について考察することがある。講義内容と自らの行動について結び付け理解を深めること。 提出課題に遅延した場合、提出物は受け取るが、減点の対象となる。

オ フ ィ ス ア ワ ー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

産業カウンセリング (Industrial Counseling)			担当教員	黒田 優希	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
PS-CPO-2375	2単位	3年後期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部心理学科専門科目 応用科目 産業・社会系					
求める学習成果(教育目標)					
教育、福祉、医療現場での心理臨床の理論と実践のしかたを習得する。 組織や集団における行動の原理を理解し、実社会における人間関係の心理について学ぶ。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input checked="" type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input checked="" type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容					
産業カウンセリングの実際や職場のメンタルヘルス対策について学習する。					
授 業 の 到 達 目 標					
産業現場における問題や、メンタルヘルス対策について、自分の考えを持つ。 自身のストレスに気づき、対処する技能について知る。					
アクティブ・ラーニング					
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習 (PBL) <input checked="" type="checkbox"/> 討議 (ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク (Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション (Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他					
授業の計画及び授業外の学習方法					
第1回：オリエンテーション、産業現場の問題 -働くことは『 』より大切か- 事前学習：現在の日本の職場環境についてニュースなどで調べておく。(2時間) 事後学習：講義で扱った内容について情報収集を行う。新聞記事を読む。(2時間) 第2回：産業をとりまく環境の変化 -文明の利器は人を幸せにするか- 事前学習：産業の歴史について調べておく。(2時間) 事後学習：講義で扱った内容について情報収集を行う。(2時間) 第3回：働く人の心の病 -うつ病は誰の責任か- 事前学習：うつ病について知識を得ておく。(2時間) 事後学習：様々なタイプのうつ病について調べる。講義の中で紹介した文献を調べる(2時間) 第4回：うつ病からの回復、休職と復職 -もしうつ病になったらどうなる- 事前学習：活用できる資源、制度について調べておく。(2時間) 事後学習：講義で扱った内容について情報収集を行う。(2時間) 第5回：自殺の問題と対策 -自殺は個人の自由意思によるか- 事前学習：自殺者数の推移や自殺対策、国による考えの違いについて調べる。(2時間) 事後学習：自殺対策について復習をする。講義の中で紹介した文献を調べる。(2時間) 第6回：多様な精神疾患の紹介、ここまでの論点のまとめ 事前学習：うつ病以外の精神疾患について調べておく。ここまでの資料を読み直す。(2時間) 事後学習：中間レポートの課題について、情報を収集する。(2時間) 第7回：ストレスの理論 -労働者のストレス- 事前学習：ストレスのモデルについて調べておく。(2時間) 事後学習：自身にとってのストレスヤーやストレス反応について検討をする。(2時間) 第8回：ストレスと健康 -ストレスチェックの導入- 事前学習：ストレスによる健康被害やストレスチェック制度について調べる。(2時間) 事後学習：ストレスチェックに関連した情報を振り返る。働き方改革について調べる。(2時間) 第9回：ストレスマネジメントとコーピング -セルフケアの重要性- 事前学習：ストレスコーピングについて情報収集を行う。(2時間) 事後学習：自身がすでに行っている対処法について振り返る。(2時間) 第10回：セルフケア① -リラックスして働いてみる- (実習) 事前学習：リラクゼーションの方法について調べておく。自分なりのリラックス法を振り返る。(2時間) 事後学習：講義の中で実習したリラックス法を試してみる。(2時間)					

<p>第11回：セルフケア② -物事の受け止め方を変えてみる- (実習・ディスカッション) 事前学習：認知行動療法について文献で調べておく。(2時間) 事後学習：講義で使用したワークシートを用いてみる。(2時間)</p> <p>第12回：セルフケア③ -自己主張をしてみる- (実習) 事前学習：アサーティブなコミュニケーションについて調べておく。自分のスタイルを考える。(2時間) 事後学習：アサーティブなコミュニケーションについて、講義の内容をもとに考える。(2時間)</p> <p>第13回：対人関係療法の紹介とセルフケアのまとめ - 事前学習：自分自身のストレスやライフイベントを把握し整理しておく。(2時間) 事後学習：ストレスとコーピングのワークシートを作成する。(2時間)</p> <p>第14回：事例をもとに考える(ディスカッション) 事前学習：事例を多角的に理解するため、ここまで学習したことについて振り返る。(4時間)</p> <p>第15回：産業カウンセリングに関するまとめ -働くことは『 』より大切か- 事前学習：期末レポートの課題について、わからないところを質問する。(2時間) 事後学習：期末レポートを作成する。(2時間)</p>
授業実施方法(面接授業・遠隔授業)
原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。
成績評価方法
中間レポート(30%) + 期末レポート(30%) + 平常点(40%) (平常点は授業の参加状況、受講態度、質問カードの提出内容などで総合的に判断します。)
成績評価基準
産業領域におけるメンタルヘルスについて、問題点と対策が説明できるか。 講義で取り扱う問題について、自分の考えを持つことができるか。 ストレスへの対応について説明ができるか。
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック
1) 授業時の課題に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/> 授業時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/> 授業時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 3) 小レポートに対するフィードバックについて <input type="checkbox"/> 授業時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて <input type="checkbox"/> 定期試験時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 5) その他 <input type="checkbox"/> 授業時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他
実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)
テキスト、参考図書
参考図書については講義の中で紹介する。
その他(受講上の注意)
授業の進行状況によって、授業計画に変更を加える可能性もある。
オフィスアワー
UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

関係行政論 (Legal and Administrative Systems)			担当教員	白崎 俊一郎、川崎 幸宏	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
PS-CPO-2374	2単位	3年後期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部心理学科専門科目 応用科目 産業・社会系					
求める学習成果(教育目標)					
保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働の各分野の公認心理師にかかわる法規や制度について学ぶ。関係機関における公認心理師の役割および、関係機関と公認心理師の連携等について学ぶ。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input checked="" type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働分野で心理職が活動する際に、どのような法律や制度がかかわっており、どのような役割が求められているかについて講義する。報道事例など身近な題材を通して理解を深める。	
授 業 の 到 達 目 標	
保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働分野で心理職が活動する際に、どのような法律や制度がかかわっており、どのような役割が求められているかについて理解し、概説できる。社会における心理職の役割への関心と自覚を持つ。	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input checked="" type="checkbox"/> その他(必要に応じてディスカッション)	
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法	
第1回：保健医療分野における法規や制度について 事前学習：保健医療分野の法規や制度について調べる(2時間) 事後学習：授業で取り上げた事項で特に関心を持ったことについて深堀して調べる(2時間) 第2回：保健医療分野における社会的課題と法制度の実際 事前学習：保健医療分野における社会的課題について調べる(2時間) 事後学習：授業で取り上げた事項で特に関心を持ったことについて深堀して調べる(2時間) 第3回：前2回の授業の補足および保健医療分野関係するトピックス(新聞記事などから考える) 事前学習：保健医療分野に関係する新聞記事などについて調べる(2時間) 事後学習：保健医療分野のなかで特に関心を持った事項についてレポート作成・提出(2時間) 第4回：刑事事件・矯正・更生保護における法制度の実際 事前学習：刑事事件の捜査、裁判、刑の執行について調べておく(2時間) 事後学習：授業で取り上げた事項で特に関心を持ったことについて深堀して調べる(2時間) 第5回：少年事件における法制度の実際 事前学習：少年事件の取り扱いの流れについて調べておく(2時間) 事後学習：授業で取り上げた事項で特に関心を持ったことについて深堀して調べる(2時間) 第6回：家庭裁判所、被害者・加害者支援の法制度の実際 事前学習：家庭裁判所がとりあつかう家事事件について調べる(2時間) 事後学習：司法・犯罪分野のなかで特に関心を持った事項についてレポート作成・提出(2時間) 第7回：学校・教育分野に関する法律と制度の概要 事前学習：学校や教育に関する法律にどのようなものがあるかを調べる。(2時間) 事後学習：授業で取り上げた事項で特に関心を持ったことについて深堀して調べる(2時間) 第8回：スクールカウンセリング・教育相談における法的対応の実際 事前学習：過去に出会ったスクールカウンセラーからのかかわり内容や印象についてまとめる(2時間) 事後学習：授業で取り上げた事項で特に関心を持ったことについて深堀して調べる(2時間) 第9回：いじめ・不登校・特別支援教育等における法的対応の実際 事前学習：いじめ、ひきこもり、発達障がいに関する新聞記事等の収集(2時間) 事後学習：教育分野のなかで特に関心を持った事項についてレポート作成・提出(2時間)	

- 第10回：児童福祉・児童虐待について
事前学習：児童福祉・児童虐待について調べる（2時間）
事後学習：授業で取り上げた事項で特に関心を持ったことについて深掘して調べる（2時間）
- 第11回：障害福祉・高齢者福祉について
事前学習：障害福祉・高齢者福祉について調べる（2時間）
事後学習：授業で取り上げた事項で特に関心を持ったことについて深掘して調べる（2時間）
- 第12回：前2回の授業の補足および福祉分野関係するトピックス（新聞記事などから考える）
事前学習：福祉分野に関係する新聞記事などについて調べる（2時間）
事後学習：福祉分野のなかで特に関心を持った事項についてレポート作成・提出（2時間）
- 第13回：産業・労働分野の法令について
事前学習：産業・労働分野の法令について調べる（2時間）
事後学習：授業で取り上げた事項で特に関心を持ったことについて深掘して調べる（2時間）
- 第14回：労働者の心の健康に関する法令や指針について
事前学習：労働者の心の健康に関する法令や指針について調べる（2時間）
事後学習：授業で取り上げた事項で特に関心を持ったことについて深掘して調べる（2時間）
- 第15回：前2回の授業の補足および産業・労働分野関係するトピックス（新聞記事などから考える）
事前学習：産業・労働分野に関係する新聞記事などについて調べる（2時間）
事後学習：産業・労働分野のなかで特に関心を持った事項についてレポート作成・提出（2時間）

授業実施方法（面接授業・遠隔授業）

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

レポート（60%）平常点（40%） 授業への参加状況 受講態度を総合的判断）

成績評価基準

学習項目を簡潔に説明できるか、学習項目について自分の考えや疑問を示せるか、積極的に授業に取り組めるか

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書

『元永拓郎』・『関係行政論（第2版） 公認心理師の基礎と実践 第23巻』・『遠見書房』・『2020年』

その他（受講上の注意）

携帯電話は使用禁止です。レポートの手書きは不可です。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

心理学特別演習 I (Special Psychology Seminar I)			担当教員	稲木康一郎、大森 慈子、杉島 一郎、 西村 則昭、水田 敏郎、森 俊之、 森本 文人、山本 雅代、渡辺 克徳、 山岸 厚仁	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
PS-OPI-2381	4 単位	3 年通年	演習	必修	
<科目区分> 人間学部心理学科専門科目 応用科目 特別演習・卒業研究					
求める学習成果(教育目標)					
教育、福祉、医療現場での心理臨床の理論と実践のしかたを習得する。 人の心や行動を科学的に分析する方法や支援する方法を習得する。 組織や集団における行動の原理を理解し、実社会における人間関係の心理について学ぶ。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
■自他の理解能力 ■コミュニケーション能力 ■情報収集・探索能力 ■社会・職業理解能力 ■役割把握・認識能力 ■計画実行能力 ■選択能力 ■課題解決能力					

授 業 の 内 容	
卒業研究の準備段階として、学生自ら研究課題を設定することを目標にして演習を行います。テーマの設定に必要な文献や図書を精読し、発表や議論などを行います。(配属先のゼミの担当教員によって演習内容は異なります。)	
授 業 の 到 達 目 標	
自らの研究課題を設定する。研究課題に関連する文献などを適切に講読できる。	
アクティブ・ラーニング	
■課題解決型学習 (PBL) ■討議 (ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) ■グループワーク (Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) ■発表・プレゼンテーション (Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク ■実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授業の計画及び授業外の学習方法	
第1回～30回：各担当教員の進め方に沿って行われる。 ゼミによっては、ディスカッションや発表が取り入れられたり、自分の研究課題を設定し、実験や調査などの計画を立て実行することがある。 (課題解決型学習) (討議) (グループワーク) (発表) (実験、実技) 第1回～30回の事前学習：担当教員の指示に従って準備を行う(2時間)。 第1回～30回の事後学習：担当教員の指示に従って学習を進める(2時間)。	
授業実施方法(面接授業・遠隔授業)	
原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。	
成績評価方法	
レポートや発表(50%) 平常点(50%) (レポートや発表の形式は担当教員により異なります。平常点は、授業への参加状況・受講態度などを総合して判断します。)	
成績評価基準	
自らの研究課題を設定することができるか。研究課題に関連する文献などを適切に講読できるか。	

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他(レポートや発表、平常点に対するフィードバックについて)
授業時 仁大eラーニング メール その他(各ゼミの担当教員の方法)

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

担当教員から指示されます。

その他(受講上の注意)

担当教員から指示されます。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

企業と制度 (Corporations and Systems)			担当教員	小川 慶	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-A-2321	2単位	3年前期	講義	選択	
＜科目区分＞ 人間学部コミュニケーション学科専門科目 基幹科目 コミュニケーション学専門					
求める学習成果(教育目標)					
コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input checked="" type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input checked="" type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
本講義では、企業を取り巻く会計制度や財務諸表(貸借対照表・損益計算書)を理解することを目的とし、会計法規や会計基準、財務諸表の諸概念、財務分析の手法などについて学習する。また、本講義では、毎回の講義にて演習を行うものとする。	
授 業 の 到 達 目 標	
講義で扱った内容を理解し、財務諸表を読み解けるようになることを到達目標と設定する。	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input checked="" type="checkbox"/> その他(演習)	
授業の計画及び授業外の学習方法	
第1回：ガイダンス(講義の目的や今後の流れ、評価方法等についての説明) 事前学習：講義前にシラバスを読み、質問項目をまとめておく。(2時間) 事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。(2時間)	
第2回：会社は誰のものか 事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。(2時間) 事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。(2時間)	
第3回：簿記と会計 事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。(2時間) 事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。(2時間)	
第4回：会計法規と会計基準 事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。(2時間) 事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。(2時間)	
第5回：総合演習① 事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。(2時間) 事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。(2時間)	
第6回：貸借対照表①(流動資産) 事前学習：これまでの講義で取り扱った単元を、事前に復習しておく。(2時間) 事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。(2時間)	
第7回：貸借対照表②(固定資産) 事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。(2時間) 事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。(2時間)	

- 第8回：貸借対照表③（負債・純資産）
 事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。（2時間）
 事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。（2時間）
- 第9回：損益計算書①（概説）
 事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。（2時間）
 事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。（2時間）
- 第10回：損益計算書②（利益区分）
 事前学習：これまでの講義で取り扱った単元を、事前に復習しておく。（2時間）
 事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。（2時間）
- 第11回：キャッシュフロー計算書
 事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。（2時間）
 事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。（2時間）
- 第12回：総合演習②
 事前学習：これまでの講義で取り扱った単元を、事前に復習しておく。（2時間）
 事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。（2時間）
- 第13回：財務分析①（概説）
 事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。（2時間）
 事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。（2時間）
- 第14回：財務分析②（実践）
 事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。（2時間）
 事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。（2時間）
- 第15回：総括
 事前学習：これまでの講義で取り扱った単元を、事前に復習しておく。（2時間）
 事後学習：講義全体を振り返り、質問した箇所や苦手箇所を抽出し、復習しておく。（2時間）

授業実施方法（面接授業・遠隔授業）

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

毎回の講義（総合演習含む）で実施する演習問題の成績（70%）と学習態度（講義への取り組み姿勢や受講態度等）（30%）を総合して判断する。

成績評価基準

- ・講義に積極的に取り組んでいるかどうか。
- ・講義で取り扱った内容を理解し、修得できているかどうか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書

佐藤誠二ほか（2019）『会計のしくみ 第2版』森山書店。

その他(受講上の注意)

本科目に併せて、前期開講科目の「会計学a」、後期開講科目の「会計学b」を履修することを勧める。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

プロジェクト・デザインⅡ (Project Design Ⅱ)			担当教員	禿 寿	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-B-2342	2単位	3年通年	演習	選択	
<科目区分> 人間学部コミュニケーション学科専門科目 応用科目 ビジネスコース					
求める学習成果(教育目標)					
コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、課題解決のための構想力と判断力を身につけます。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
■自他の理解能力		■コミュニケーション能力		■情報収集・探索能力	
■役割把握・認識能力		■計画実行能力		□社会・職業理解能力	
		■選択能力		■課題解決能力	

授 業 の 内 容	
<p>プロジェクト・デザイン (Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ) は、2年生～4年生の3年間という長期的展望に立って、年度を重ねながら最終的に学年を超えたコラボレーションでプロジェクトを生み出し、実現する授業に育てていくことを目指す科目である。</p> <p>本講義では、チーム・ビルディングという観点を基軸とするなかで、「協働」という一連のプロセスを経験することを目的とする。</p>	
授 業 の 到 達 目 標	
一連のプロセスを通して、「協働」の楽しさ、および難しさの経験的理解を得ることを到達目標とする。	
アクティブ・ラーニング	
<input checked="" type="checkbox"/> 課題解決型学習 (PBL) <input type="checkbox"/> 討議 (ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク (Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション (Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授業の計画及び授業外の学習方法	
<p>第1回：ガイダンス (講義の目的や今後の流れ、評価方法等についての説明) 事前学習：講義前にシラバスを読み、質問項目をまとめておく。(2時間) 事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておく。(2時間)</p> <p>第2回：チーム・オリエンテーション (グループワーク) 事前学習：講義前にシラバスを読み、質問項目をまとめておく。(2時間) 事後学習：チームメンバーと交流し、互いの得意な領域を確認しておく。(2時間)</p> <p>第3回：調査 (グループワーク) 事前学習：講義にスムーズに参加できるよう、前回の講義内容を復習しておく。(2時間) 事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておく。(2時間)</p> <p>第4回：分析 (グループワーク) 事前学習：講義にスムーズに参加できるよう、前回の講義内容を復習しておく。(2時間) 事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておく。(2時間)</p> <p>第5回：評価 (グループワーク) 事前学習：講義にスムーズに参加できるよう、前回の講義内容を復習しておく。(2時間) 事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておく。(2時間)</p> <p>第6回：中間報告 (グループワーク) 事前学習：講義にスムーズに参加できるよう、前回の講義内容を復習しておく。(2時間) 事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておく。(2時間)</p> <p>第7回：制作① (グループワーク) 事前学習：講義にスムーズに参加できるよう、前回の講義内容を復習しておく。(2時間) 事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておく。(2時間)</p>	

第8回：制作②（グループワーク） 事前学習：講義にスムーズに参加できるように、前回の講義内容を復習しておく。（2時間） 事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるように、質問内容をまとめておく。（2時間）
第9回：制作③（グループワーク） 事前学習：講義にスムーズに参加できるように、前回の講義内容を復習しておく。（2時間） 事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるように、質問内容をまとめておく。（2時間）
第10回：制作④（グループワーク） 事前学習：講義にスムーズに参加できるように、前回の講義内容を復習しておく。（2時間） 事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるように、質問内容をまとめておく。（2時間）
第11回：模擬報告（グループワーク） 事前学習：講義にスムーズに参加できるように、前回の講義内容を復習しておく。（2時間） 事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるように、質問内容をまとめておく。（2時間）
第12回：2～4年生合同授業① 事前学習：発表会の事前準備をする。（2時間） 事後学習：最終チェックをして完成度を高める。（2時間）
第13回：2～4年生合同授業②（発表） 事前学習：発表会の事前準備をする。（2時間） 事後学習：最終チェックをして完成度を高める。（2時間）
第14回：2～4年生合同授業③ 事前学習：発表会の事前準備をする。（2時間） 事後学習：最終チェックをして完成度を高める。（2時間）
第15回：総括 事前学習：これまでの講義内容の振り返りを行っておく。（2時間） 事後学習：フィードバックの結果に沿って発表内容を修正する。（2時間）

授業実施方法（面接授業・遠隔授業）

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

課題に対する取組み内容・提出物（70%）、平常点（30%）

成績評価基準

- ・プロジェクトを生み出し、展開できているか。
- ・プロジェクトチームに貢献できているか、また、プロジェクトチームとして成果がでているか。
- ・プロジェクトの進め方（基本）について説明することができるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書

特に使用しない。参考となる資料は必要に応じて配布する。

その他（受講上の注意）

一貫してチーム編成にて作業を進行する。価値観の違いを面白がり、触発しあい、生み出しあう姿勢を持つこと。授業の進捗に応じて柔軟に内容を変更していく。詳細説明は第1回に行うので、必ず出席すること。

オ フ ィ ス ア ワ ー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

会計学 a (Accounting a)			担当教員	小川 慶	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-B-2344	2 単位	3 年前期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部コミュニケーション学科専門科目 応用科目 ビジネスコース					
求める学習成果(教育目標)					
コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、課題解決のための構想力と判断力を身につけます。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input checked="" type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input checked="" type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
本講義では、原価の構成要素や測定・評価技法を修得することを目的とし、これを取り扱うものとする。また、本講義では、毎回の講義にて演習を行うものとする。	
授 業 の 到 達 目 標	
講義で扱った内容を理解し、原価計算ができるようになることを到達目標と設定する。	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習 (PBL) <input type="checkbox"/> 討議 (ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク (Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション (Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (演習)	
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法	
第 1 回：ガイダンス (講義の目的や今後の流れ、評価方法等についての説明) 事前学習：講義前にシラバスを読み、質問項目をまとめておく。(2 時間) 事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。(2 時間)	
第 2 回：材料費① (概説) 事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。(2 時間) 事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。(2 時間)	
第 3 回：材料費② (総平均法・先入先出法) 事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。(2 時間) 事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。(2 時間)	
第 4 回：労務費・経費 事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。(2 時間) 事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。(2 時間)	
第 5 回：製造間接費① (概説) 事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。(2 時間) 事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。(2 時間)	
第 6 回：製造間接費② (予算差異分析) 事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。(2 時間) 事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。(2 時間)	
第 7 回：部門別計算 事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。(2 時間) 事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。(2 時間)	
第 8 回：総合演習① 事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。(2 時間) 事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。(2 時間)	

第9回：月末仕掛品①（概説） 事前学習：これまでの講義で取り扱った単元を、事前に復習しておく。（2時間） 事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。（2時間）
第10回：月末仕掛品②（総平均法・先入先出法） 事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。（2時間） 事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。（2時間）
第11回：工程別総合原価計算 事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。（2時間） 事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。（2時間）
第12回：組別総合原価計算 事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。（2時間） 事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。（2時間）
第13回：等級別総合原価計算 事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。（2時間） 事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。（2時間）
第14回：総合演習② 事前学習：これまでの講義で取り扱った単元を、事前に復習しておく。（2時間） 事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。（2時間）
第15回：総括 事前学習：これまでの講義で取り扱った単元を、事前に復習しておく。（2時間） 事後学習：講義全体を振り返り、質問した箇所や苦手箇所を抽出し、復習しておく。（2時間）

授業実施方法（面接授業・遠隔授業）

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

毎回の講義（総合演習含む）で実施する演習問題の成績（70%）と学習態度（講義への取り組み姿勢や受講態度等）（30%）を総合して判断する。

成績評価基準

- ・講義に積極的に取り組んでいるかどうか。
- ・講義で取り扱った内容を理解し、修得できているかどうか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書

吉田康久『原価計算基礎論』中央経済社. 2012.

その他（受講上の注意）

本科目の履修は、後期開講科目である「会計学b（管理会計論）」の受講要件である。また、これに併せて、前期開講科目の「企業と制度（財務会計論）」を履修することを勧める。

オ フ ィ ス ア ワ ー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

会計学 b (Accounting b)			担当教員	小川 慶	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-B-2345	2 単位	3 年後期	演習	選択	
<科目区分> 人間学部コミュニケーション学科専門科目 応用科目 ビジネスコース					
求める学習成果(教育目標)					
コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、課題解決のための構想力と判断力を身につけます。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input checked="" type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input checked="" type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
本講義では、会計学aの内容を踏まえた上で、原価管理や損益分析、価格決定、投資意思決定といった管理会計技法を修得することを目的とし、これを取り扱うものとする。また、本講義では、毎回の講義にて演習を行うものとする。	
授 業 の 到 達 目 標	
講義で扱った内容を理解し、管理会計手法が利用できるようになることを到達目標と設定する。	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習 (PBL) <input type="checkbox"/> 討議 (ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク (Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション (Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (演習)	
授業の計画及び授業外の学習方法	
第1回：ガイダンス (講義の目的や今後の流れ、評価方法等についての説明)	事前学習：講義前にシラバスを読み、質問項目をまとめておく。(2時間) 事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。(2時間)
第2回：原価管理① (直接材料費差異分析)	事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。(2時間) 事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。(2時間)
第3回：原価管理② (直接労務費差異分析)	事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。(2時間) 事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。(2時間)
第4回：原価管理③ (製造間接費差異分析)	事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。(2時間) 事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。(2時間)
第5回：損益分析① (CVP基礎)	事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。(2時間) 事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。(2時間)
第6回：損益分析② (CVP応用)	事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。(2時間) 事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。(2時間)
第7回：価格決定	事前学習：これまでの講義で取り扱った単元を、事前に復習しておく。(2時間) 事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。(2時間)

第8回：総合演習①	事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。(2時間) 事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。(2時間)
第9回：利益管理①(資本コスト)	事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。(2時間) 事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。(2時間)
第10回：利益管理②(WACC)	事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。(2時間) 事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。(2時間)
第11回：投資意思決定①(DCF)	事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。(2時間) 事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。(2時間)
第12回：投資意思決定②(期待値と期待効用)	事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。(2時間) 事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。(2時間)
第13回：予算管理	事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。(2時間) 事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。(2時間)
第14回：総合演習②	事前学習：これまでの講義で取り扱った単元を、事前に復習しておく。(2時間) 事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。(2時間)
第15回：総括	事前学習：これまでの講義で取り扱った単元を、事前に復習しておく。(2時間) 事後学習：講義全体を振り返り、質問した箇所や苦手箇所を抽出し、復習しておく。(2時間)

授業実施方法(面接授業・遠隔授業)

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

毎回の講義(総合演習含む)で実施する演習問題の成績(70%)と学習態度(講義への取り組み姿勢や受講態度等)(30%)を総合して判断する。

成績評価基準

- ・講義に積極的に取り組んでいるかどうか。
- ・講義で取り扱った内容を理解し、修得できているかどうか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

吉田康久『管理会計基礎論』中央経済社.2016.

その他(受講上の注意)

本科目は、前期開講科目の「会計学a(原価計算論)」に連なる科目であるため、これを修得していることを前提に講義を進める。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

ビジネス能力論 (Study of Business Skills)			担当教員	野尻 昌明	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-B-2346	2単位	3年前期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部コミュニケーション学科専門科目 応用科目 ビジネスコース					
求める学習成果(教育目標)					
企画力・マネジメント力の向上を通して、組織・地域・社会の課題の解決に向けて主体的に取り組む力を育成します。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input checked="" type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input checked="" type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input checked="" type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
<p>企業理念の重要度を理解する。そのうえで企業と社会、企業と生活者を結ぶビジネス・コミュニケーション（広報・広告・メディア・社内外）の在り方について仮想企業を想定し実践を通して学習します。 既存の行政・組織・企業プロジェクトの課題を考察・参加し、実際に組織の理念・イメージを売る。</p>	
授 業 の 到 達 目 標	
<p>IT、グローバル化、パーソナル化、少子高齢化によって急速に変化するビジネスを的確にとらえ、コミュニケーションビジネスの新たな価値創造を養うことを目的とします。 企業側の立場に立つことで、企業理念・存在価値を伝えるためのコミュニケーションスキルを学ぶ。</p>	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習（PBL） <input checked="" type="checkbox"/> 討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等） <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等） <input checked="" type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等） <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input checked="" type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他（チームによるクリエイティブワーク）	
授業の計画及び授業外の学習方法	
<p>第1部 「ひとり企業（Individual company）とはなにか!？」 実際の地域・企業プロジェクトを設定し、事業・人・組織を学ぶ。 地域・企業イメージを創るということ。</p> <p>第1回：企業イメージ①（イメージをつくるということ）。 事前学習：会社のため、自分のため、社会のため、はたらくとはどういうことかをまとめておく。（2時間） 事後学習：企業人を知ることで、自分ならなにを起こせるかをレポートする。（2時間）</p> <p>第2回：企業イメージ②（企業イメージをプロモーションするということ）。 事前学習：今までになかった商品・製品を考えておく。（2時間） 事後学習：発想を変えることで、開発できる製品を創造してみる。（2時間）</p> <p>第3回：企業イメージ③（技術イメージ/技術を社会に紹介するということ）。 事前学習：インダストリアル背景にある発想、発明を調査しておく。（2時間） 事後学習：商品・製品の存在理由を複数レポートする。（2時間）</p> <p>第4回：企業イメージ④（ブランドイメージ/ブランドは思いから生まれるということ）。 事前学習：使っている製品や、広告から得るブランドイメージを複数社準備しておく。（2時間） 事後学習：ブランドイメージとは何かを研究しておく。（2時間）</p> <p>第5回：企業イメージは「理念」によって生まれる。 事前学習：各企業の理念とイメージについて研究しておく。（2時間） 事後学習：企業の「理念」を考察してみる。（2時間）</p> <p>第2部 「既存の行政・組織・企業プロジェクトの課題を考察する」。 組織の理念・イメージを売る。</p> <p>第6回：既存行政・組織・企業の理念と、消費者。 事前学習：行政・組織・企業などの理念を考察しておく。（2時間） 事後学習：理念に従うとはどういうことなのかを自分に置き換え考える。（2時間）</p>	

- 第7回：想定した企業の行動指針とスローガン。
 ※既存の企業（プロジェクト）となる場合もある。
 事前学習：各企業におけるスローガンを複数選択し、その意味を探しておく。（2時間）
 事後学習：スローガン制作を学び、(株)COMに应用する。（2時間）
- 第8回：企業のイメージ戦略とコスト。
 事前学習：各企業におけるイメージ戦略を複数選択しておく。（2時間）
 事後学習：短期・中期・長期イメージ戦略を学び(株)COMへの応用を考える。（2時間）
- 第9回：企業のクリエイティブイメージ。
 事前学習：広報におけるクリエイティブを、自由に記録しておく。（2時間）
 事後学習：クリエイティブ制作を学び(株)COMへの応用を考える。（2時間）
- 第10回：企業の広告表現（ビジネスを言葉にすること）。
 事前学習：一貫した企業広告を選択しておく。（2時間）
 事後学習：広告のノウハウを学び、応用をまとめる。（2時間）

第3部：組織と理念。
 企業イメージをつくる。

- 第11回：「ひとり企業」とは。
 事前学習：自分ができるクリエイティブ（仕事）とは何かをまとめておく。（2時間）
 事後学習：ひとりで完結できることを探求し、成立させてみる。（2時間）
- 第12回：理念を踏まえて企業パンフレット/ポスター/CM等を企画する。
 企業理念・イメージを伝える。
 事前学習：企業パンフレット（webにも応用可）を複数選択しておく。（2時間）
 事後学習：企業内での自分の役割、得意分野を探求する。（2時間）
- 第13回：ひとりひとりの能力が理念に行き着くその時、組織のパワーとなる。
 事前学習：企業理念と、自分の能力の重なりを探しておく。（2時間）
 事後学習：理念と能力を反応させることで、どのような表現が可能かを考える。（2時間）
- 第14回：パーソナルページ（ひとり企業）の集合体が1冊となり「企業パンフレット（ポスター）」となる。
 事前学習：パンフレット内の自分ページのラフを完成させておく。（2時間）
 事後学習：自分ページのブラッシュアップを行い次回授業に備える。（2時間）
- 第15回：「企業パンフレット（ポスター）」のブラッシュアップ。
 「自分とは、企業とは」を、プレゼンテーションする。（グループワーク・プレゼンテーション）
 事前学習：自分ページの役割を発表する準備を行う。（2時間）
 事後学習：自分ページと他ページのバランスを考慮し、さらなる応用を考える。（2時間）
- 第16回：定期試験

※履修人数、社会状況等により内容・計画第1部～3部を変更する場合があります。

授業実施方法（面接授業・遠隔授業）

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

課題に対する活動評価・提出物・定期試験（60%）平常点（40%）。
 平常点は、授業への参加状況、受講態度等を総合して判断する。

成績評価基準

実践的で現場型の※少数人数教育を通じて、これからのビジネスを理解・創造できる人材育成を目指します。基本的な職業能力を源にしてなお「自立・独立型」の幅広い知識とともに成長することを期待します。組織の中にあっても幅広いコミュニケーション能力ですべての分野を網羅する思考を持つ企業人（ひとり企業）への可能性があるかを見極めます。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

- 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)
テキスト、参考図書
なし
その他(受講上の注意)
他者の学ぶ時間を奪ったり、学ぶ姿勢を阻害するような行動に対しては厳しく対処します。各自、講義を通じて問題意識を醸成してください。
オフィスアワー
UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

ビジネス・コミュニケーション研究 (Business・Communication)			担当教員	升田 法継	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-B-2347	2単位	3年前期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部コミュニケーション学科専門科目 応用科目 ビジネスコース					
求める学習成果(教育目標)					
企画力・マネジメント力の向上を通して、組織・地域・社会の課題の解決に向けて主体的に取り組む力を育成します。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
■自他の理解能力		■コミュニケーション能力		□情報収集・探索能力	
■役割把握・認識能力		□計画実行能力		□選択能力	
				■社会・職業理解能力	
				□課題解決能力	

授 業 の 内 容	
情報通信媒体を介したバーチャルコミュニケーションが著しく拡大している今日において、ますます対面のコミュニケーション能力の重要性が問われる時代となっている。授業では、実社会において自身の個性や資質をより活かせるようにするための実践的なコミュニケーション能力の向上を狙いとする。	
授 業 の 到 達 目 標	
<ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニケーション能力を高めるための視点や要件について説明することができる。 ・ 他者とのコミュニケーションが円滑に行える。 	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法	
<p>授業では、組織や職場における基本的なコミュニケーションパターンを学ぶとともに、コミュニケーション力を高めるためのアプローチ方法について考えていく。</p> <p>第1回：組織とは 事前学習：「組織」について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)</p> <p>第2回：組織内・部門間のコミュニケーションⅠ 事前学習：部門間のコミュニケーションについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)</p> <p>第3回：組織内・部門間のコミュニケーションⅡ 事前学習：前回に続き部門間のコミュニケーションについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)</p> <p>第4回：組織内・部門間のコミュニケーションⅢ 事前学習：前回に続き部門間のコミュニケーションについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)</p> <p>第5回：組織と現場力 事前学習：組織と現場力について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)</p> <p>第6回：上司と部下のコミュニケーションⅠ(グループワーク) 事前学習：上司と部下のコミュニケーションについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)</p>	

第7回：上司と部下のコミュニケーションⅠ（グループワーク・発表） 事前学習：前回に続き上司と部下のコミュニケーションの留意点について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間） 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第8回：会議のコミュニケーションⅠ 事前学習：会議の進め方における留意点について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間） 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第9回：会議のコミュニケーションⅡ（グループワーク） 事前学習：前回に続き会議の進め方における留意点について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間） 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第10回：文書のコミュニケーションⅠ（グループワーク） 事前学習：効果的な議事録・メールについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間） 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第11回：文書のコミュニケーションⅡ（グループワーク・発表） 事前学習：前回に続き効果的な議事録・メールについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間） 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第12回：就活のコミュニケーションⅠ（グループワーク） 事前学習：自己理解と自己表現について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間） 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第13回：就活のコミュニケーションⅡ 事前学習：前回に続き自己理解と自己表現について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間） 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第14回：就活のコミュニケーションⅢ 事前学習：「ES」作成及び「面接」の留意点について意見交換をするため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間） 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第15回：まとめ 事前学習：授業全体の振り返りおよび確認問題を実施するので、これまでの授業内容を確認しておくこと。（2時間） 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）

授業実施方法（面接授業・遠隔授業）

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

課題に対する活動内容・提出物・レポート（70%）、平常点（30%）
※平常点：授業への参加状況・受講態度等を総合して判断するもの

成績評価基準

- ・コミュニケーション能力を高めるための視点や要件について説明することができるか。
- ・他者とのコミュニケーションが円滑に行えるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他(リアクションペーパーに対するフィードバックについて)
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

元情報通信会社管理職(社員数:26万人、主な担当業務:人事、社長・取締役秘書、マーケティング、新規ビジネス開発、システム コンサルタント等)

情報通信会社において、人事や社長・取締役スタッフ経験もある教員が、組織内および組織対組織で展開されるコミュニケーションについて解説する。

テキスト、参考図書

必用に応じて、授業中に提示します。

その他(受講上の注意)

- ・「授業の計画」は、進捗や学生の反応・理解度に応じて、変更する場合があります。
- ・「組織と情報(前:企業と情報)」(3年前期)を履修していることが望ましい。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

組織と情報 (Information and Organization)			担当教員	升田 法継	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-BS-2348	2単位	3年後期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部コミュニケーション学科専門科目 応用科目 ビジネスコース					
求める学習成果(教育目標)					
企画力・マネジメント力の向上を通して、組織・地域・社会の課題の解決に向けて主体的に取り組む力を育成します。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input checked="" type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
授業では、企業と(企業にとって人・モノ・金に次ぐ第4の経営資源といわれる)情報の関わりについて考察し、情報化社会における企業活動の概況や課題について理解を深めることを狙いとする。	
授 業 の 到 達 目 標	
<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページや新聞から企業に関する情報を収集し、自身の考えを述べることができる。 ・ 情報社会における企業のしくみや課題について説明することができる。 	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input checked="" type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授業の計画及び授業外の学習方法	
第1回：企業と経済活動 事前学習：企業と経済活動との関係性について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)	
第2回：組織文化と企業理念Ⅰ 事前学習：組織文化と企業理念について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)	
第3回：組織文化と企業理念Ⅱ 事前学習：前回に続き組織文化と企業理念について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)	
第4回：組織文化と企業理念Ⅲ 事前学習：前回に続き組織文化と企業理念について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)	
第5回：企業形態とガバナンス 事前学習：企業形態とガバナンスについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)	
第6回：マーケティングⅠ 事前学習：マーケティングについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)	
第7回：マーケティングⅡ(グループワーク) 事前学習：前回に続きマーケティングについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)	

第8回：マーケティングⅢ（発表）
事前学習：前回続きマーケティングについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第9回：経営戦略（グループワーク）
事前学習：経営戦略について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第10回：事業戦略Ⅰ（グループワーク）
事前学習：事業戦略について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第11回：事業戦略Ⅱ（グループワーク）
事前学習：前回に続き事業戦略について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第12回：ビジネスモデル（グループワーク）
事前学習：ビジネスモデルについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第13回：企業と採用・人事情報Ⅰ（ディスカッション）
事前学習：企業と採用・人事について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第14回：企業と採用・人事情報Ⅱ
事前学習：前回に続き企業と採用・人事について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第15回：まとめ
事前学習：授業全体の振り返りおよび確認問題を実施するので、これまでの授業内容を確認しておくこと。（2時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）

授業実施方法（面接授業・遠隔授業）

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

課題に対する活動内容・提出物・レポート（70%）平常点（30%）
（平常点は、授業への参加状況・受講態度、提出物の提出状況等を総合して判断します。）

成績評価基準

- ・ホームページや新聞から企業に関する情報を収集し、自身の考えを述べることができるか。
- ・情報社会における企業のしくみや課題について説明することができるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他（リアクションペーパーに対するフィードバックについて）
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

元情報通信会社管理職(社員数:26万人、主な担当業務:人事、社長・取締役秘書、マーケティング、新規ビジネス開発、システム コンサルタント等)

情報通信会社において、人事、社長・取締役やマーケティング経験もある教員が、企業活動の概況、企業と情報の関わりや主な課題について解説する。

テキスト、参考図書

必要に応じて、授業中に提示します。

その他(受講上の注意)

「授業の計画」は、進捗や学生の反応・理解度に応じて、前後したり変更する場合があります。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

消費者と行動 (Consumer Behavior)			担当教員	禿 寿	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-BS-2349	2単位	3年後期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部コミュニケーション学科専門科目 応用科目 ビジネスコース					
求める学習成果(教育目標)					
企画力・マネジメント力の向上を通して、組織・地域・社会の課題の解決に向けて主体的に取り組む力を育成します。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input checked="" type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 実行能力 <input checked="" type="checkbox"/> 選択能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容
消費者と行動、家計と企業を経済学(ミクロ経済学)からとらえる講義です。この講義では、消費者や生産者はどのように行動し、どのように相互関係を構築しているのかを理論に基づいて学びます。市場での取引は望ましいのか、政府はどのような政策を実施すべきなのか、などです。経済学は、ビジネスマンとしての最低限の教養です。いまある経済の動きがどんな意味をもっているのか理解するためには、経済学的思向の枠組みを身につける必要があります。
授 業 の 到 達 目 標
<ul style="list-style-type: none"> ・ミクロ経済学で使われる理論を理解すること ・需要曲線供給曲線を理解すること ・ゲーム理論を理解すること
アクティブ・ラーニング
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他(パソコンを用いた演習)
授業の計画及び授業外の学習方法
第1回：オリエンテーション：経済学とは 事前学習：授業計画でそれぞれの回のテーマを確認し、それに関連することを調べておくこと(2時間) 事後学習：授業の内容および配布された資料についての見直しや、分からないことがあったら、図書館で調べたり、担当教員に質問すること(2時間)
第2回：ミクロ経済学の基本 -価格と需要の関係- 事前学習：授業計画でそれぞれの回のテーマを確認し、それに関連することを調べておくこと(2時間) 事後学習：授業の内容および配布された資料についての見直しや、分からないことがあったら、図書館で調べたり、担当教員に質問すること(2時間)
第3回：消費者はどう行動するのか -家計の消費や所得効果について- 事前学習：授業計画でそれぞれの回のテーマを確認し、それに関連することを調べておくこと(2時間) 事後学習：授業の内容および配布された資料についての見直しや、分からないことがあったら、図書館で調べたり、担当教員に質問すること(2時間)
第4回：企業はどう行動するのか -生産関数や費用曲線について- 事前学習：授業計画でそれぞれの回のテーマを確認し、それに関連することを調べておくこと(2時間) 事後学習：授業の内容および配布された資料についての見直しや、分からないことがあったら、図書館で調べたり、担当教員に質問すること(2時間)
第5回：市場の機能と価格メカニズム -完全競争や市場取引について- 事前学習：授業計画でそれぞれの回のテーマを確認し、それに関連することを調べておくこと(2時間) 事後学習：授業の内容および配布された資料についての見直しや、分からないことがあったら、図書館で調べたり、担当教員に質問すること(2時間)
第6回：所得分配の決まり方 事前学習：授業計画でそれぞれの回のテーマを確認し、それに関連することを調べておくこと(2時間) 事後学習：授業の内容および配布された資料についての見直しや、分からないことがあったら、図書館で調べたり、担当教員に質問すること(2時間)

第7回：独占と規制 事前学習：授業計画でそれぞれの回のテーマを確認し、それに関連することを調べておくこと（2時間） 事後学習：授業の内容および配布された資料についての見直しや、分からないことがあったら、図書館で調べたり、担当教員に質問すること（2時間）
第8回：寡占市場 事前学習：授業計画でそれぞれの回のテーマを確認し、それに関連することを調べておくこと（2時間） 事後学習：授業の内容および配布された資料についての見直しや、分からないことがあったら、図書館で調べたり、担当教員に質問すること（2時間）
第9回：外部性と市場の失敗 事前学習：授業計画でそれぞれの回のテーマを確認し、それに関連することを調べておくこと（2時間） 事後学習：授業の内容および配布された資料についての見直しや、分からないことがあったら、図書館で調べたり、担当教員に質問すること（2時間）
第10回：消費者及び企業行動と市場メカニズムについての復習 事前学習：授業計画でそれぞれの回のテーマを確認し、それに関連することを調べておくこと（2時間） 事後学習：授業の内容および配布された資料についての見直しや、分からないことがあったら、図書館で調べたり、担当教員に質問すること（2時間）
第11回：ゲーム理論（1） -ゲーム理論とはなにか- 事前学習：授業計画でそれぞれの回のテーマを確認し、それに関連することを調べておくこと（2時間） 事後学習：授業の内容および配布された資料についての見直しや、分からないことがあったら、図書館で調べたり、担当教員に質問すること（2時間）
第12回：ゲーム理論（2） -戦略型ゲームの基礎- 事前学習：授業計画でそれぞれの回のテーマを確認し、それに関連することを調べておくこと（2時間） 事後学習：授業の内容および配布された資料についての見直しや、分からないことがあったら、図書館で調べたり、担当教員に質問すること（2時間）
第13回：ゲーム理論（3） -ナッシュ均衡とは- 事前学習：授業計画でそれぞれの回のテーマを確認し、それに関連することを調べておくこと（2時間） 事後学習：授業の内容および配布された資料についての見直しや、分からないことがあったら、図書館で調べたり、担当教員に質問すること（2時間）
第14回：ゲーム理論（4） -展開型ゲーム- 事前学習：授業計画でそれぞれの回のテーマを確認し、それに関連することを調べておくこと（2時間） 事後学習：授業の内容および配布された資料についての見直しや、分からないことがあったら、図書館で調べたり、担当教員に質問すること（2時間）
第15回：まとめ 事前学習：授業計画でそれぞれの回のテーマを確認し、それに関連することを調べておくこと（2時間） 事後学習：授業の内容および配布された資料についての見直しや、分からないことがあったら、図書館で調べたり、担当教員に質問すること（2時間）
第16回：定期試験

授業実施方法（面接授業・遠隔授業）

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

課題等の提出物（70%）、平常点（30%）

成績評価基準

- ・ ミクロ経済学で使われる理論を理解しているか
- ・ 需要曲線供給曲線を理解しているか
- ・ ゲーム理論を理解しているか

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)
テキスト、参考図書
担当教員から適宜指示する。 参考図書 ポール・クルーグマン、ロビン・ウェルス「クルーグマン ミクロ経済学」 2017年、東洋経済新報社
その他(受講上の注意)
オフィスアワー
UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

メディア・デザインⅡ (Media Design Ⅱ)			担当教員	教務課	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-B-2354	2単位	3年前期	演習	選択	
<科目区分> 人間学部コミュニケーション学科専門科目 応用科目 ビジネスコース					
求める学習成果(教育目標)					
企画力・マネジメント力の向上を通して、組織・地域・社会の課題の解決に向けて主体的に取り組む力を育成します。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input checked="" type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力		<input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 計画実行能力		<input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input checked="" type="checkbox"/> 選択能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題解決能力	
<input type="checkbox"/> 社会・職業理解能力					

授 業 の 内 容	
メディアの中でもビジュアルアーツ・ビジュアルコミュニケーションに特化し、ビジュアルアートの基本的な物事の見方を学び実際に描き、視覚効果を実感し表現方法を得て、実習や実技を通して、伝達できたか、対話の本質を捉えているか、どんな影響があるかなどを検証し思考を広げていく。そしてビジュアルアーツ・ビジュアルコミュニケーションによって、どのようにどうやって理解や伝達、問題提起ができるようになるのかさらに実習や実技を繰り返し深めていく。	
授 業 の 到 達 目 標	
ビジュアルアーツ・ビジュアルコミュニケーションのスキルを身につけ、対話の本質を捉え軸がぶれず伝わる効果的表現を得られ、ビジュアルアーツ・ビジュアルコミュニケーションによる社会や世界への理解、伝達、問題提起を考えることができる。さらに独創的な伝達方法を提案できる。	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習 (PBL) <input type="checkbox"/> 討議 (ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク (Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション (Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input checked="" type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授業の計画及び授業外の学習方法	
第1回：オリエンテーション/イントロダクション わたしの紹介/自己紹介をビジュアル化する1 (実技) ……<課題1：「自己紹介シート1」提出> 事前学習：シラバスを確認し、今後の持参物を事前に準備を始める(2時間) 事後学習：課題1「自己紹介シート1」を更新する(2時間)	
第2回：自己紹介をビジュアル化する2 (実技) ……<課題2：「自己紹介シート2」とミニレポートを提出> 事前学習：課題1「自己紹介シート1」を仕上げ、「自己紹介シート2」の素材を準備する(2時間) 事後学習：講義2のミニレポートを作成する(2時間)	
第3回：自己紹介ををビジュアル化する3 (実技) ……<課題3：ミニレポートを提出> 事前学習：画材などの持参物を準備をする(2時間) 事後学習：課題3ミニレポートを作成する(2時間)	
第4回：ビジュアルスキルで伝えるための準備(実習) ……<課題4：ミニレポートを提出> 事前学習：画材などの持参物を準備をする(2時間) 事後学習：課題4ミニレポートを作成する(2時間)	
第5回：スケッチを楽しむ・デッサンを学ぶ1 画材や道具について(実技) ……<課題5：制作物「スケッチ」とミニレポートを提出> 事前学習：画材などの持参物を準備をする(2時間) 事後学習：課題5「スケッチ」を仕上げ、課題5：ミニレポートを作成する(2時間)	
第6回：スケッチを楽しむ・デッサンを学ぶ2 (実技) ……<課題6：制作物「スケッチ」とミニレポートを提出> 事前学習：画材などの持参物を準備をする(2時間) 事後学習：課題6「スケッチ」を仕上げ、講義6ミニレポートを作成する(2時間)	
第7回：色彩の魅力と効果を学ぶ(実習) ……<課題7：制作物「色彩の魅力と効果」とミニレポートを提出> 事前学習：画材などの持参物を準備をする(2時間) 事後学習：課題7「色彩の魅力と効果」を仕上げ、講義7ミニレポートを作成する(2時間)	

第8回：さまざまな図解1（実技）……………<課題8：アイデアスケッチを提出> 事前学習：素材を準備し観察し構想を練り、アイデアスケッチを進める（2時間） 事後学習：アイデアスケッチを進める（2時間）
第9回：さまざまな図解2（実技）……………<課題9：制作物「さまざまな図解」制作物を提出> 事前学習：アイデアスケッチを更新する（2時間） 事後学習：課題9：「さまざまな図解」を仕上げ、講義9ミニレポートを作成する（2時間）
第10回：「可笑しなお菓子」1（実習）……………<課題10：ミニレポートを提出> 事前学習：使用のお菓子を選択し決定し、基本情報をリサーチする（2時間） 事後学習：アイデアスケッチをはじめめる（2時間）
第11回：「可笑しなお菓子」2（実技）……………<課題11：アイデアスケッチ提出> 事前学習：使用する情報を精査し素材を準備する、必要があればリサーチを追加する（2時間） 事後学習：アイデアスケッチを進める（2時間）
第12回：「可笑しなお菓子」3（実技）……………<課題12：制作物を提出> 事前学習：アイデアスケッチを更新する（2時間） 事後学習：本制作を進める（2時間）
第13回：「可笑しなお菓子」4（実技）……………<課題13：制作物を提出> 事前学習：本制作を進める（2時間） 事後学習：本制作を進める（2時間）
第14回：「可笑しなお菓子」5（実技）……………<課題14：制作物を提出> 事前学習：本制作を進める（2時間） 事後学習：本制作を進める（2時間）
第15回：「可笑しなお菓子」6/最終プレゼンテーション（発表） ……………<課題15：制作物「可笑しなお菓子」最終提出> 事前学習：「可笑しなお菓子」を仕上げる（2時間） 事後学習：講義内容や制作物を全て見直し最終レポート「可笑しなお菓子」をのレポートを作成する（2時間）

授業実施方法（面接授業・遠隔授業）

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

課題毎の提出物による理解度と達成度70%、最終課題の提出物とプレゼンテーションによる理解度、リサーチ等の探索能力と達成度、完成度 30%

成績評価基準

課題の内容をよく理解し実習や実技で得られたことを積み重ね、以降の実習や実技に活かしているか。制作物においてビジュアルスキルをよく理解し対話の本質を捉え軸がぶれず伝える創意工夫をしているか。また、制作物だけでなくプレゼンテーションにおいても同様に創意工夫をしているか。ビジュアルスキルをより広く深く理解するために調査や取材やインタビューなどリサーチを欠かさないか。制作物の完成度を上げるためにそれまでの課題を振り返り知識や経験を投入できているか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書

講義内で適宜紹介し指定する。

その他（受講上の注意）

オ フ ィ ス ア ワ ー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

プログラミング (Programming)			担当教員	安彦 智史	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-BS-2355	2単位	3年前期	演習	選択	
<科目区分> 人間学部コミュニケーション学科専門科目 応用科目 ビジネスコース					
求める学習成果(教育目標)					
企画力・マネジメント力の向上を通して、組織・地域・社会の課題の解決に向けて主体的に取り組む力を育成します。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input checked="" type="checkbox"/> 計画実行能力 <input checked="" type="checkbox"/> 選択能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
<p>プログラミングの実習では、Scratchを用いてプログラミングについて学んでいきます。前半では、基礎的なScratchの操作方法について学びます。また、後半では、Scratchの拡張機能を使い、画像認識や音声認識などを利用したプログラムを作りながら、機械学習(AI)の基本を体験します。作りながら学ぶことで、実際の世の中で機械学習がどのように生かされているかを想像し、自分でも機械学習を使った仕組みを考えられる力を養うとともに、企業や地域社会における様々な問題を解決するために必要な論理的思考力を育みます。</p>	
授 業 の 到 達 目 標	
<ul style="list-style-type: none"> ・情報システムの仕組みやネットワーク、コンピュータ、それらを制御する基盤技術について理解できる ・自分の問題解決手段の一つとしてプログラミングを利活用することができる 	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input checked="" type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法	
<p>第1回：ガイダンス プログラミングの基本と種類、開発環境 事前学習：シラバスについてよく読み、プログラミングの概念について調査すること(2時間) 事後学習：プログラミングの基本と種類についての資料を熟読し、理解すること(2時間)</p> <p>第2回：Stage1. Scratchをはじめよう、Stage2. 自機を作ろう その1 キーボードで操縦 事前学習：WebでScratchについて調査し、触れてみること(2時間) 事後学習：授業内容について復習し、授業課題を応用したプログラミングを行うこと(2時間)</p> <p>第3回：Stage3. 自機を作ろう その2 ロケット噴射のアニメーション、Stage4. 敵キャラを作ろう その1 座標を使ったコード 事前学習：Scratchの仕組みについて理解し、コーディングに慣れること(2時間) 事後学習：授業内容について復習し、授業課題を応用したプログラミングを行うこと(2時間)</p> <p>第4回：Stage5. 敵キャラを作ろう その2 乱数と複製、Stage6. プロジェクトを共有しよう 事前学習：教科書を読み、該当のStageについて予習すること(2時間) 事後学習：授業内容について復習し、授業課題を応用したプログラミングを行うこと(2時間)</p> <p>第5回：Stage7. 弾丸を発射させよう、Stage8. 効果音とBGMを追加しよう 事前学習：教科書を読み、該当のStageについて予習すること(2時間) 事後学習：授業内容について復習し、授業課題を応用したプログラミングを行うこと(2時間)</p> <p>第6回：Stage9. 敵キャラの爆破アニメを追加しよう、Stage10. スコアと残機数を記録しよう 事前学習：教科書を読み、該当のStageについて予習すること(2時間) 事後学習：授業内容について復習し、授業課題を応用したプログラミングを行うこと(2時間)</p> <p>第7回：Stage11. ゲームの状態を設計しよう スタート画面とゲームオーバー画面の追加、Stage12. ハイスコアを記録しよう 事前学習：教科書を読み、該当のStageについて予習すること(2時間) 事後学習：授業内容について復習し、授業課題を応用したプログラミングを行うこと(2時間)</p> <p>第8回：Stage13. 敵キャラの動きを複雑にしよう 三角関数の利用、Stage14. 敵キャラの種類を増やそう 事前学習：教科書を読み、該当のStageについて予習すること(2時間) 事後学習：授業内容について復習し、授業課題を応用したプログラミングを行うこと(2時間)</p>	

- 第9回：Stage15. ボスキャラを作ろう
 事前学習：教科書を読み、該当のStageについて予習すること（2時間）
 事後学習：授業内容について復習し、授業課題を応用したプログラミングを行うこと（2時間）
- 第10回：Bonus Stage. micro:bitでゲームコントローラーを作ろう
 事前学習：教科書を読み、該当のStageについて予習すること（2時間）
 事後学習：授業内容について復習し、授業課題を応用したプログラミングを行うこと（2時間）
- 第11回：AIによる画像認識 じゃんけんゲームを作ろう 前半
 事前学習：AIと画像認識について、調査してくること（2時間）
 事後学習：授業内容について復習し、授業課題を応用したプログラミングを行うこと（2時間）
- 第12回：AIによる画像認識 じゃんけんゲームを作ろう 後半
 事前学習：前回の授業内容の復習を行うこと（2時間）
 事後学習：授業内容について復習し、授業課題を応用したプログラミングを行うこと（2時間）
- 第13回：AIによる音声認識 声を聞き分けるデジタルペットを作ろう 前半
 事前学習：前回の授業内容の復習を行うこと（2時間）
 事後学習：授業内容について復習し、授業課題を応用したプログラミングを行うこと（2時間）
- 第14回：AIによる音声認識 声を聞き分けるデジタルペットを作ろう 後半
 事前学習：前回の授業内容の復習を行うこと（2時間）
 事後学習：授業内容について復習し、授業課題を応用したプログラミングを行うこと（2時間）
- 第15回：応用課題 自由にプログラミングしてみよう
 事前学習：前回の授業内容の復習を行うこと（2時間）
 事後学習：授業課題を応用したプログラミングを行うこと（2時間）

プログラミングの書籍は出版社から様々なものが販売されている。
 講義のみで不明瞭な点があった場合は、自分にあった書籍で学習し、補完に取り組むこと

授業実施方法（面接授業・遠隔授業）

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

授業の評価方法
 演習課題・宿題（50%）、応用課題（50%）
 授業中に演習課題を提出できなかった場合、宿題とする
 十分な提出期間を設けているため、必ず提出すること
 定期試験は実施しない

成績評価基準

・情報システムの仕組みやネットワーク、コンピュータ、それらを制御する基盤技術について理解できている
 ・自分の問題解決手段の一つとしてプログラミングを利活用することができる
 以上の二つを評価の基準とする。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書

杉浦 学（著）、阿部 和広（監修）「Scratchではじめよう！プログラミング入門 Scratch 3.0版」日経BP社
 参考図書については講義中に適宜紹介する。

その他（受講上の注意）

真摯に学ぶ学生に対して、悪影響を与える学生には、単位を与えない。

オ フ ィ ス ア ワ ー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

データ解析法 (Quantitative Data Analysis)			担当教員	織田 暁子	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-S-2359	2単位	3年前期	演習	選択	
<科目区分> 人間学部コミュニケーション学科専門科目 応用科目 社会・文化コース					
求める学習成果(教育目標)					
コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input checked="" type="checkbox"/> 選択能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
社会学的データ分析で用いる基礎的な多変量解析法について、その基本的な考え方と主要な計量モデルを解説する。分散分析や単回帰分析そして重回帰分析を中心に、その考え方と実際の使い方を学ぶ。	
授 業 の 到 達 目 標	
<ul style="list-style-type: none"> ・データのタイプに応じて、適切な分析手法を選択できるようになる。 ・多変量解析の考え方を理解できるようになる。 ・多変量解析の基礎的な手法を、コンピュータソフトを用いて実践出来るようになる。 	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ダイバート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input checked="" type="checkbox"/> その他(パソコンを用いた演習)	
授業の計画及び授業外の学習方法	
第1回：オリエンテーション 事前学習：これまでの授業で使用したテキストで記述統計学・推測統計学について復習しておく(2時間) 事後学習：統計ソフトの使い方を確認しておく(2時間)	
第2回：復習(1)―尺度水準、記述統計量 事前学習：記述統計量の求め方について確認しておくこと(2時間) 事後学習：レジュメを見直し、授業で行った分析を復習する(2時間)	
第3回：復習(2)―検定の考え方 事前学習：検定とは何か、確認しておくこと(2時間) 事後学習：レジュメを見直し、授業で行った分析を復習する(2時間)	
第4回：多変量解析の考え方：変数をコントロールするとは、どういうことか？ 事前学習：変数のコントロールとは何か、確認しておくこと(2時間) 事後学習：レジュメを見直し、授業で行った分析を復習する(2時間)	
第5回：分散分析の理論と演習 事前学習：分散分析とはどのような分析か、確認しておくこと(2時間) 事後学習：レジュメを見直し、授業で行った分析を復習する(2時間)	
第6回：単回帰分析の理論と演習 事前学習：単回帰分析とはどのような分析か、確認しておくこと(2時間) 事後学習：レジュメを見直し、授業で行った分析を復習する(2時間)	
第7回：重回帰分析の理論と演習(1) 事前学習：重回帰分析とはどのような分析か、確認しておくこと(2時間) 事後学習：レジュメを見直し、授業で行った分析を復習する(2時間)	
第8回：重回帰分析の理論と演習(2)―独立変数が2つの場合 事前学習：独立変数が2つの場合の重回帰分析について、確認しておくこと(2時間) 事後学習：レジュメを見直し、授業で行った分析を復習する(2時間)	
第9回：重回帰分析の理論と演習(3)―独立変数が3つ以上の場合 事前学習：独立変数が3つの場合の重回帰分析について、確認しておくこと(2時間) 事後学習：レジュメを見直し、授業で行った分析を復習する(2時間)	

<p>第10回：カテゴリカル・データの間の連関を探る（1） 事前学習：カテゴリカル・データとは何か、確認しておくこと（2時間） 事後学習：レジюмеを見直し、授業で行った分析を復習する（2時間）</p> <p>第11回：カテゴリカル・データの間の連関を探る（2） 事前学習：カテゴリカル・データの連関について確認しておくこと（2時間） 事後学習：レジюмеを見直し、授業で行った分析を復習する（2時間）</p> <p>第12回：因子分析と主成分分析 事前学習：主成分分析とは何か、確認しておくこと（2時間） 事後学習：レジюмеを見直し、授業で行った分析を復習する（2時間）</p> <p>第13回：因子分析の理論と演習（1） 事前学習：因子分析とは何か、確認しておくこと（2時間） 事後学習：レジюмеを見直し、授業で行った分析を復習する（2時間）</p> <p>第14回：因子分析の理論と演習（2） 事前学習：因子分析と主成分分析の違いについて確認しておくこと（2時間） 事後学習：レジюмеを見直し、授業で行った分析を復習する（2時間）</p> <p>第15回：まとめ 事前学習：統計分析を用いたレポートを執筆する（2時間） 事後学習：レポートを修正する（2時間）</p> <p>第16回：定期試験</p>
授業実施方法（面接授業・遠隔授業）
原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。
成績評価方法
定期試験（30%） 平常点（70%） （平常点は提出物・小テスト・レポートを総合的に判断します）
成績評価基準
<ul style="list-style-type: none"> ・データのタイプに応じて、適切な分析手法を選択できているか。 ・多変量解析の考え方を理解できているか。 ・多変量解析の手法を、コンピューターソフトを用いて実践出来ているか。
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック
<p>1) 授業時の課題に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/>授業時 <input checked="" type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて <input type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>3) 小レポートに対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/>授業時 <input checked="" type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて <input type="checkbox"/>定期試験時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>5) その他 <input type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p>
実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
テキスト、参考図書
テキストは定めない。
その他（受講上の注意）
この授業は、一般社団法人社会調査協会が認定する、社会調査士資格認定科目【E】〔多変量解析の方法に関する科目〕に相当する。 「統計学a」（旧カリ：社会調査方法論）、「統計学b」（旧カリ：統計学）、SPSSの使い方の知識を前提として、授業をすすめる。
オフィスアワー
UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

社会調査演習 a (Practice in Social a)			担当教員	織田 暁子、江南 健志	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-S-2360	2単位	3年前期	演習	選択	
<科目区分> 人間学部コミュニケーション学科専門科目 応用科目 社会・文化コース					
求める学習成果(教育目標)					
コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input checked="" type="checkbox"/> 計画実行能力 <input checked="" type="checkbox"/> 選択能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
調査の企画から報告書の作成までにまたがる社会調査の全過程をひととおり実習を通じて体験的に学習する。調査の企画、仮説構成、調査項目の設定、質問文・調査票の作成、対象者・地域の選定、サンプリング、調査の実施(調査票の配布・回収)、エディティング、集計、分析、仮説検証、報告書の作成までを通して行っていく。	
授 業 の 到 達 目 標	
<ul style="list-style-type: none"> ・社会調査の企画と実施ができるようになる。 ・仮説を立て、それを適切な手順と方法で検証できるようになる。 ・統計ソフトを使いこなせるようになる。 	
アクティブ・ラーニング	
<input checked="" type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input checked="" type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授業の計画及び授業外の学習方法	
第1回：オリエンテーションとグループ決定 事前学習：量的調査法と質的調査法の違いについて確認しておくこと(2時間) 事後学習：自分が選択した調査法について復習しておくこと(2時間) 第2回：グループごとにテーマについての話し合い(1) 事前学習：調査テーマについて下調べをしておくこと(2時間) 事後学習：テーマに関連する文献を調査する(2時間) 第3回：グループごとにテーマについての話し合い(2) 事前学習：テーマに関連する文献を読んでおくこと(2時間) 事後学習：調査テーマを決定する(2時間) 第4回：テーマについてのグループ発表 事前学習：調査テーマについての発表資料を作成する(2時間) 事後学習：授業での指摘を受けて、資料を修正する(2時間) 第5回：テーマについての文献レビュー 事前学習：テーマに関連する文献を複数探す(2時間) 事後学習：文献レビューをまとめる(2時間) 第6回：仮説構成(1) 事前学習：テーマに関連する複数の仮説を立てる(2時間) 事後学習：仮説を修正する(2時間) 第7回：仮説構成(2) 事前学習：仮説に関連する文献を収集する(2時間) 事後学習：仮説に関連する文献をまとめる(2時間) 第8回：仮説の発表 事前学習：発表資料を作成する(2時間) 事後学習：発表資料を修正する(2時間) 第9回：質問作成(1) 事前学習：質問項目を検討する(2時間) 事後学習：質問項目を修正する(2時間) 第10回：質問作成(2) 事前学習：質問選択肢を検討する(2時間) 事後学習：質問選択肢を修正する(2時間)	

- 第11回：質問案発表
事前学習：発表資料を作成する（2時間）
事後学習：発表資料を修正する（2時間）
- 第12回：質問紙の作成（1）
事前学習：質問紙の内容を検討する（2時間）
事後学習：質問紙の内容を修正する（2時間）
- 第13回：質問紙の作成（2）
事前学習：質問紙のレイアウトを検討する（2時間）
事後学習：質問紙のレイアウトを修正する（2時間）
- 第14回：実査準備（1）
事前学習：調査対象について検討する（2時間）
事後学習：調査計画を修正する（2時間）
- 第15回：実査準備（2）
事前学習：調査場所・日時について検討する（2時間）
事後学習：質問紙を修正・調整し、印刷する（2時間）

授業実施方法（面接授業・遠隔授業）

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

平常点（100%）
（平常点はグループでの活動への積極性や発表の評価等を総合して判断します）

成績評価基準

- ・社会調査の企画と実施ができるようになっているか。
- ・仮説を立て、それを適切な手順と方法で検証できているか。
- ・統計ソフトを使いこなせているか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書

授業開始時に各教員から指示がある。

その他（受講上の注意）

この授業は、一般社団法人社会調査協会が認定する「社会調査士」資格に必要な標準カリキュラムのG科目に対応するものである。本年度後期に開講される「社会調査演習b」（旧カリ：情報・社会調査演習b）と連続して受講すること。社会調査演習aあるいはbのみの履修は認めない。
また、この授業は授業時間を使って調査を企画・実施する演習科目である。無断欠席は禁じる。事前連絡がある場合も欠席は3回までとする。

初回授業で、質的調査・量的調査のクラス分けを行う。履修希望者は、必ず第1回目の授業に出席すること。

- ・質的調査班の履修条件は下記のとおり。
①既に「社会学入門」「社会調査法」「フィールドワーク技法」（旧カリ：データ解析法a）を履修済であること。
- ・量的調査班の履修条件は下記のとおり。
①既に「社会学入門」「社会調査法」「統計学a」（旧カリ：社会調査方法論）を履修済であること。
②「データ解析法」（旧カリ：データ解析法b）を同時に受講すること、もしくは履修済であること。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

社会調査演習 b (Practice in Social b)			担当教員	織田 暁子、江南 健志	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-S-2361	2単位	3年後期	演習	選択	
<科目区分> 人間学部コミュニケーション学科専門科目 応用科目 社会・文化コース					
求める学習成果(教育目標)					
コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input checked="" type="checkbox"/> 計画実行能力 <input checked="" type="checkbox"/> 選択能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
調査の企画から報告書の作成までにまたがる社会調査の全過程をひととおり実習を通じて体験的に学習する。調査の企画、仮説構成、調査項目の設定、質問文・調査票の作成、対象者・地域の選定、サンプリング、調査の実施(調査票の配布・回収)、エディティング、集計、分析、仮説検証、報告書の作成までを通して行っていく。	
授 業 の 到 達 目 標	
<ul style="list-style-type: none"> ・社会調査の企画と実施ができるようになる。 ・仮説を立て、それを適切な手順と方法で検証できるようになる。 ・統計ソフトを使いこなせるようになる。 ・自分の主張を論理的に報告書にまとめられるようになる。 	
アクティブ・ラーニング	
<input checked="" type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授業の計画及び授業外の学習方法	
第1回：実査① 事前学習：実査のアポイントメントを調整する・実査を行う(2時間) 事後学習：実査のデータの管理・整理(2時間)	
第2回：実査② 事前学習：実査のアポイントメントを調整する・実査を行う(2時間) 事後学習：実査のデータの管理・整理(2時間)	
第3回：コーディング・データ整理① 事前学習：エディティング・コーディングガイドを作成する(2時間) 事後学習：コーディング作業を行う(2時間)	
第4回：コーディング・データ整理② 事前学習：入力マニュアルを作成する(2時間) 事後学習：データ入力作業を行う(2時間)	
第5回：コーディング・データ整理③ 事前学習：クリーニングガイドを作成する(2時間) 事後学習：クリーニング作業を行う(2時間)	
第6回：データ分析① 事前学習：データ分析の方針を立てる(2時間) 事後学習：データ分析の方針を修正する(2時間)	
第7回：データ分析② 事前学習：単純集計を確認する(2時間) 事後学習：データを概観し、エラーを確認する(2時間)	
第8回：データ分析③ 事前学習：分析モデルについて検討する(2時間) 事後学習：データ分析を行う(2時間)	
第9回：データ分析④ 事前学習：データ分析を行う(2時間) 事後学習：データ分析結果を修正する(2時間)	

<p>第10回：データ分析⑤ 事前学習：データ分析を行う（2時間） 事後学習：データ分析結果を修正する（2時間）</p> <p>第11回：報告書作成① 事前学習：報告書原稿を執筆する（2時間） 事後学習：報告書原稿を修正する（2時間）</p> <p>第12回：報告書作成② 事前学習：報告書原稿を執筆する（2時間） 事後学習：報告書原稿を修正する（2時間）</p> <p>第13回：報告書作成③ 事前学習：報告書原稿を執筆する（2時間） 事後学習：報告書原稿を修正する（2時間）</p> <p>第14回：報告書作成④ 事前学習：レイアウトを調整する（2時間） 事後学習：レイアウトを修正する（2時間）</p> <p>第15回：報告書作成⑤ 事前学習：校正作業を行う（2時間） 事後学習：データを修正する（2時間）</p>
授業実施方法（面接授業・遠隔授業）
原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。
成績評価方法
平常点（100%） （平常点はグループでの活動への積極性や発表や報告書の評価等を総合して判断します）
成績評価基準
<ul style="list-style-type: none"> ・社会調査の企画と実施ができるようになっているか。 ・仮説を立て、それを適切な手順と方法で検証できているか。 ・統計ソフトを使いこなしているか。 ・自分の主張を論理的に報告書にまとめられているか。
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック
<p>1) 授業時の課題に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/>授業時 <input checked="" type="checkbox"/>仁大eラーニング <input checked="" type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて <input type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>3) 小レポートに対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/>授業時 <input checked="" type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて <input type="checkbox"/>定期試験時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>5) その他 <input type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p>
実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
テキスト、参考図書
授業開始時に各教員から指示がある。
その他（受講上の注意）
<p>この授業は、一般社団法人社会調査協会が認定する、「社会調査士」資格に必要な標準カリキュラムのG科目に対応するものである。本年度前期に開講された「社会調査演習a」（旧カリ：情報・社会調査演習a）と継続して受講すること。社会調査演習bのみの履修は認めない。履修者の調査演習報告書の執筆をもって、単位認定を行う。また、この授業は授業時間を使って調査を企画・実施する演習科目である。無断欠席は禁じる。事前連絡がある場合も欠席は3回までとする。</p> <p>質的調査班・量的調査班とも、受講条件は下記のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同一年度・同一クラスの「社会調査演習a」の単位を取得していること。
オフィスアワー
UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

現代社会研究 (Studies of Contemporary Society)			担当教員	寺田 憲弘	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-S-2364	2単位	3年前期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部コミュニケーション学科専門科目 応用科目 情報社会コース					
求める学習成果(教育目標)					
コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input checked="" type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input checked="" type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
<p>観光を通して、現代社会のあり方について考える。</p> <p>授業では</p> <p>(1) 観光をどのようにとらえられるか。</p> <p>(2) いかにして現在の観光は成立したか。</p> <p>(3) 現代の地域社会はいかにして新たな観光に取り組んでいるか。</p> <p>以上の三点について様々な事例を取り上げながら考える。(1)については観光の定義、分類、そして観光現象を考えるための諸概念について。(2)については前近代、日本については江戸時代を中心とした様々な旅について、(3)についてはオルタナティブツーリズムに取り組むそれぞれの地域社会の取り組みについてそれぞれ考察する。</p>	
授 業 の 到 達 目 標	
<ul style="list-style-type: none"> ・観光に関する理論、概念を踏まえ、観光現象を論じることができる ・自ら必要なデータを収集し、事実に基づいた議論ができるようになる 	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input checked="" type="checkbox"/> その他(演習)	
授業の計画及び授業外の学習方法	
<p>第1回：観光の構造と近代——脱埋め込み 事前学習：授業前にシラバスを読み、質問項目をまとめておくこと(2時間) 事後学習：e-learningを通しての小レポートの提出(2時間)</p> <p>第2回：巡礼と観光(1)——聖地化(キリスト教) 事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと(2時間) 事後学習：e-learningを通しての小レポートの提出(2時間)</p> <p>第3回：巡礼と観光(2)——聖地化(仏教) 事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと(2時間) 事後学習：e-learningを通しての小レポートの提出(2時間)</p> <p>第4回：近代化と観光(1)——観光の誕生・ガイドブック 事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと(2時間) 事後学習：e-learningを通しての小レポートの提出(2時間)</p> <p>第5回：近代化と観光(2)——ナショナリズムと教育 事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：e-learningを通しての小レポートの提出(2時間)</p> <p>第6回：マスツーリズムの変容——消費社会 事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：e-learningを通しての小レポートの提出(2時間)</p> <p>第7回：メディアと観光——マスメディアの機能 事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：e-learningを通しての小レポートの提出(2時間)</p> <p>第8回：世界遺産と地域社会——熊野古道の誕生 事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)</p>	

<p>第9回：地域社会と観光（1）— 文化的景観と茅葺き民家 事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間） 事後学習：e-learningを通しての小レポートの提出（2時間）</p> <p>第10回：地域社会と観光（2）— 里山の生活 事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、調査項目をまとめておくこと。（2時間） 事後学習：e-learningを通しての小レポートの提出（2時間）</p> <p>第11回：地域社会と観光（3）— 文化の客体化 事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間） 事後学習：e-learningを通しての小レポートの提出（2時間）</p> <p>第12回：地域社会と観光（4）— 着地型観光 事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間） 事後学習：e-learningを通しての小レポートの提出（2時間）</p> <p>第13回：農業と観光— 棚田 事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間） 事後学習：e-learningを通しての小レポートの提出（2時間）</p> <p>第14回：漁業と観光— 伝統漁法 事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと（2時間） 事後学習：e-learningを通しての小レポートの提出（2時間）</p> <p>第15回：まとめ（演習） 事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと（2時間） 事後学習：e-learningを通しての小レポートの提出（2時間）</p>
授業実施方法（面接授業・遠隔授業）
原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。
成績評価方法
平常点（授業毎に e-learningを通して小レポートを課します）（40%）最終レポート（60%） 平常点は「出席点」ではないことに注意すること。
成績評価基準
・観光に関する理論、概念を踏まえ、観光現象を論じることができるようになったか ・自ら必要なデータを収集し、事実に基づいた議論ができるようになったか
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック
<p>1) 授業時の課題に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>3) 小レポートに対するフィードバックについて <input type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて <input type="checkbox"/>定期試験時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>5) その他 <input type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p>
実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
テキスト、参考図書
参考図書：田中滋・寺田憲弘編 『聖地・熊野と世界遺産— 宗教・観光・国土開発の社会学—』（晃陽書房） 参考図書：田中滋 編 『都市の憧れ、農村の戸惑い』（晃洋書房）
その他（受講上の注意）
受講者の理解度により講義内容を変更することがあります
オフィスアワー
UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

アプリケーション演習 (Training Course of Application)			担当教員	安彦 智史	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-S-2366	2単位	3年後期	演習	選択	
<科目区分> 人間学部コミュニケーション学科専門科目 応用科目 社会・文化コース					
求める学習成果(教育目標)					
現代社会・文化における諸問題に主体的に取り組み、社会調査や情報処理の技術を活用して共生社会・地方文化の構築に資する力を育成します。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input checked="" type="checkbox"/> 計画実行能力 <input checked="" type="checkbox"/> 選択能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容					
Pythonは今、世界中で最も人気のあるプログラミング言語の一つである。その汎用性の高さは、Webアプリケーションの開発から機械学習、さらにはデータベース管理まで、幅広い分野での応用が可能である。この講義ではプログラミング初心者を対象に、Pythonの基本とその周辺知識の習得を目指す。基礎的な文法の習得から始まり、徐々にデータベース操作の方法や機械学習、Webアプリケーション開発へと応用していく。					
授 業 の 到 達 目 標					
Pythonを用いてプログラムを記載することができる。 データベースの利用をすることができる。 プログラミングやデータベースを用いて簡単なアプリケーションを開発できる。					
アクティブ・ラーニング					
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input checked="" type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他					
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法					
第1回：ガイダンス プログラミングの基本と種類、開発環境 事前学習：前回の授業内容の復習を行うこと(2時間) 事後学習：授業内容について復習し、授業課題を応用したプログラミングを行うこと(2時間) 第2回：Pythonの基礎を学ぼう 変数とデータ型 事前学習：前回の授業内容の復習を行うこと(2時間) 事後学習：授業内容について復習し、授業課題を応用したプログラミングを行うこと(2時間) 第3回：Pythonの基礎を学ぼう コンテナ 事前学習：前回の授業内容の復習を行うこと(2時間) 事後学習：授業内容について復習し、授業課題を応用したプログラミングを行うこと(2時間) 第4回：Pythonの基礎を学ぼう 条件分岐 事前学習：前回の授業内容の復習を行うこと(2時間) 事後学習：授業内容について復習し、授業課題を応用したプログラミングを行うこと(2時間) 第5回：Pythonの基礎を学ぼう 繰り返し 事前学習：前回の授業内容の復習を行うこと(2時間) 事後学習：授業内容について復習し、授業課題を応用したプログラミングを行うこと(2時間) 第6回：Pythonで部品を組み上げよう 関数 事前学習：前回の授業内容の復習を行うこと(2時間) 事後学習：授業内容について復習し、授業課題を応用したプログラミングを行うこと(2時間) 第7回：Pythonで部品を組み上げよう オブジェクト 事前学習：前回の授業内容の復習を行うこと(2時間) 事後学習：授業内容について復習し、授業課題を応用したプログラミングを行うこと(2時間) 第8回：Pythonで部品を組み上げよう モジュール 事前学習：前回の授業内容の復習を行うこと(2時間) 事後学習：授業内容について復習し、授業課題を応用したプログラミングを行うこと(2時間) 第9回：Pythonで部品を組み上げよう まだまだ広がるPythonの世界 事前学習：前回の授業内容の復習を行うこと(2時間) 事後学習：授業内容について復習し、授業課題を応用したプログラミングを行うこと(2時間)					

- 第10回：データベースの作成と構築
 事前学習：前回の授業内容の復習を行うこと（2時間）
 事後学習：授業内容について復習し、授業課題を応用したプログラミングを行うこと（2時間）
- 第11回：データベースの利活用 SQL構文の理解
 事前学習：前回の授業内容の復習を行うこと（2時間）
 事後学習：授業内容について復習し、授業課題を応用したプログラミングを行うこと（2時間）
- 第12回：Pythonからデータベースへ接続
 事前学習：前回の授業内容の復習を行うこと（2時間）
 事後学習：授業内容について復習し、授業課題を応用したプログラミングを行うこと（2時間）
- 第13回：Pythonで画像処理ライブラリを利用
 事前学習：前回の授業内容の復習を行うこと（2時間）
 事後学習：授業内容について復習し、授業課題を応用したプログラミングを行うこと（2時間）
- 第14回：PythonでChatGPTを使う ChatGPTAPIの利用
 事前学習：前回の授業内容の復習を行うこと（2時間）
 事後学習：授業内容について復習し、授業課題を応用したプログラミングを行うこと（2時間）
- 第15回：応用課題 自由にプログラミングしてみよう
 事前学習：前回の授業内容の復習を行うこと（2時間）
 事後学習：授業課題を応用したプログラミングを行うこと（2時間）

プログラミングの書籍は出版社から様々なものが販売されている。
 講義のみで不明瞭な点があった場合は、自分にあった書籍で学習し、補完に取り組むこと

授業実施方法(面接授業・遠隔授業)

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

授業の評価方法
 演習課題・宿題(50%)、応用課題(50%)
 授業中に演習課題を提出できなかった場合、宿題とする
 十分な提出期間を設けているため、必ず提出すること
 定期試験は実施しない

成績評価基準

・プログラミングやデータベースを用いて簡単なアプリケーションを開発できる
 ・自分の問題解決手段の一つとしてプログラミングを利活用することができる
 以上の二つを評価の基準とする。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

国本 大悟(著), 須藤 秋良(著), 株式会社フレアリンク(監修)『スッキリわかるPython入門 第2版』インプレス(2023年)
 参考図書については講義中に適宜紹介する。

その他(受講上の注意)

真摯に学ぶ学生に対して、悪影響を与える学生には、単位を与えない。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

英語学研究 (Studies on English Linguistics)			担当教員	矢橋 知枝	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-I-2368	2単位	3年後期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部コミュニケーション学科専門科目 応用科目 国際英語コース					
求める学習成果(教育目標)					
異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる技能と言語スキルを身につけ、国際社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input checked="" type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input checked="" type="checkbox"/> 選択能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
英語学への理解を深め、国際共通語としての英語使用の多様性を学び、ネイティブ・スピーカーの英語から国際共通語としての英語へと「英語」に対する認識を新たにする。	
授 業 の 到 達 目 標	
英語の概要・背景を学び、確かな異文化理解力および英語力を育成する。中学校および高等学校での英語教育において必要な英語学的知見を身につける。	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習 (PBL) <input checked="" type="checkbox"/> 討議 (ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク (Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション (Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授業の計画及び授業外の学習方法	
第1回：オリエンテーション (ディスカッション) 事前学習：事前に言語を用いたコミュニケーションについて、質問項目をまとめておくこと (2時間) 事後学習：授業で課された課題や分からないについて調べること (2時間) 第2回：3種の英語 (母語英語・第二言語としての英語・外国語としての英語) (ディスカッション) 事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと (2時間) 事後学習：授業で課された課題や分からないについて調べること (2時間) 第3回：イギリス英語 (1) 歴史① (古英語・中英語) (ディスカッション) 事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと (2時間) 事後学習：授業で課された課題や分からないについて調べること (2時間) 第4回：イギリス英語 (2) 歴史② (近代英語) (ディスカッション) 事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと (2時間) 事後学習：授業で課された課題や分からないについて調べること (2時間) 第5回：イギリス英語 (3) 歴史③ (現代英語) (ディスカッション) 事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと (2時間) 事後学習：授業で課された課題や分からないについて調べること (2時間) 第6回：イギリス英語 (4) 発音・語彙・文法 (容認発音、地域方言・社会方言) (ディスカッション) 事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと (2時間) 事後学習：授業で課された課題や分からないについて調べること (2時間) 第7回：オーストラリア英語 (1) 歴史・発音・語彙・文法 (Captain Cook、ゴールド・ラッシュ、一般オーストラリア英語・教養人オーストラリア英語) (ディスカッション) 事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと (2時間) 事後学習：授業で課された課題や分からないについて調べること (2時間) 第8回：ニュージーランド英語 (1) 歴史・発音・語彙・文法 (Captain Cook、マオリ語) (ディスカッション) 事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと (2時間) 事後学習：授業で課された課題や分からないについて調べること (2時間) 第9回：アメリカ英語 (1) 歴史 (移民の英語・アメリカ英語の発展) (ディスカッション) 事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと (2時間) 事後学習：授業で課された課題や分からないについて調べること (2時間) 第10回：アメリカ英語 (2) 発音・語彙・文法 (使用地域、地域方言・社会方言) (ディスカッション) 事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと (2時間) 事後学習：授業で課された課題や分からないについて調べること (2時間)	

- 第11回：カナダ英語（1）歴史・発音・語彙・文法（移民の英語・英米戦争・フランス語の影響）（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（2時間）
事後学習：授業で課された課題や分からないについて調べること（2時間）
- 第12回：カナダ英語（1）歴史・発音・語彙・文法（移民の英語・英米戦争・フランス語の影響）（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（2時間）
事後学習：授業で課された課題や分からないについて調べること（2時間）
- 第13回：発音・語彙・文法から見る英語らしさ（1）歴史的観点（借用語・構文）（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（2時間）
事後学習：授業で課された課題や分からないについて調べること（2時間）
- 第14回：発音・語彙・文法から見る英語らしさ（2）認知的観点（比喩・文化）（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（2時間）
事後学習：授業で課された課題や分からないについて調べること（2時間）
- 第15回：まとめ（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（2時間）
事後学習：授業で課された課題や分からないについて調べること（2時間）
定期試験は実施しない。

予習として、あらかじめ疑問点等をまとめておいてください。講義を受けた後は、復習をしてください。

授業実施方法（面接授業・遠隔授業）

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

レポート試験（50％） 授業内レポート（30％） 平常点（20％）
（平常点は、授業の受講態度、質問用紙の提出状況等を総合して判断する。）

成績評価基準

英語学の基礎が理解できているのか。
英語コミュニケーションの観点より、英語の発話を分析することができるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書

テキスト
必要に応じて適宜ハンドアウトを配布する。

参考書・参考資料等

英語学を学ぼう：英語学の知見を英語学習に活かす（高橋勝忠著、開拓社 平成29年）英語の「なぜ？」に答えるはじめての英語史（堀田隆一著、研究社 平成28年）
ベーシック新しい英語学概論（平賀正子著、ひつじ書房 平成28年）

その他（受講上の注意）

- ・遅刻3回で欠席1回とみなす。
- ・遅刻した時間・授業を抜けた時間も成績評価で考慮する。
- ・必ず英和辞書（電子辞書可）を持参する。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

英語文学研究 (English Literature)			担当教員	原口 治	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-I-2369	2単位	3年後期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部コミュニケーション学科専門科目 応用科目 国際英語コース					
求める学習成果(教育目標)					
異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる能力と言語スキルを身につけ、国際化社会において文化の相互交流に資する力を育成します。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input checked="" type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力		<input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力		<input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input type="checkbox"/> 課題解決能力	
<input type="checkbox"/> 社会・職業理解能力					

授 業 の 内 容	
イギリス文学(=小説、詩、演劇、批評)の著名な諸作品の解説及び原典(抜粋)を精読し、作品の政治、文化的背景等の知識を深めることで、文学研究の基礎的能力を修得します。尚、最終的に個人発表と定期試験の基準達成が必須です。	
授 業 の 到 達 目 標	
文学研究により自他の個性の多様性を理解し、多様な集団・組織の中でのコミュニケーション能力の育成を目指します。また、課題や個人プレゼンテーション、及び定期試験の実施により、様々な情報の収集及び選択能力の養成を図ります。	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input checked="" type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授業の計画及び授業外の学習方法	
第1回: テキストP1~P343 本講義のガイダンス, 図書館における事前学習及び事後学習方法の各種指導 事前学習: テキスト該当部分を読み、疑問点等をまとめると同時に、課題を作成し、講義において提出する。(2時間) 事後学習: 返却された課題等で学習内容を復習し、プレゼンテーションや定期試験でその学修成果を示す。(2時間)	
第2回: テキストP217~P240 イギリス小説(I)・『プライドと偏見』, 『オリヴァー——・テュイスト』 事前学習: テキスト該当部分を読み、疑問点等をまとめると同時に、課題を作成し、講義において提出する。(2時間) 事後学習: 返却された課題等で学習内容を復習し、プレゼンテーションや定期試験でその学修成果を示す。(2時間)	
第3回: P270~P292 イギリス小説(II)・『嵐が丘』, 『ダロウェイ夫人』 事前学習: テキスト該当部分を読み、疑問点等をまとめると同時に、課題を作成し、講義において提出する。(2時間) 事後学習: 返却された課題等で学習内容を復習し、プレゼンテーションや定期試験でその学修成果を示す。(2時間)	
第4回: テキストP161~P188 イギリス小説(IV)・『ロビンソン・クルーソー』, 『ガリバー旅行記』 事前学習: テキスト該当部分を読み、疑問点等をまとめると同時に、課題を作成し、講義において提出する。(2時間) 事後学習: 返却された課題等で学習内容を復習し、プレゼンテーションや定期試験でその学修成果を示す。(2時間)	
第5回: テキストP196~P216 イギリス詩(I)・ワーズワス, キーツ(ロマン派詩人) 事前学習: テキスト該当部分を読み、疑問点等をまとめると同時に、課題を作成し、講義において提出する。(2時間) 事後学習: 返却された課題等で学習内容を復習し、プレゼンテーションや定期試験でその学修成果を示す。(2時間)	
第6回: テキストP140~P160 イギリス詩(II)・ブレイク, ロバート・バーンズ 事前学習: テキスト該当部分を読み、疑問点等をまとめると同時に、課題を作成し、講義において提出する。(2時間) 事後学習: 返却された課題等で学習内容を復習し、プレゼンテーションや定期試験でその学修成果を示す。(2時間)	

- 第7回：テキストP 2～P 29 イギリス詩(Ⅲ)・『ベオウルフ』、『カンタベリー物語』、『サーガーウエンと円卓の騎士』
 事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点等をまとめると同時に、課題を作成し、講義において提出する。(2時間)
 事後学習：返却された課題等で学習内容を復習し、プレゼンテーションや定期試験でその学修成果を示す。(2時間)
- 第8回：テキストP 293～P 308 イギリス演劇(Ⅰ)・『ピグマリオン』、『マイ・フェア・レディ』
 事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点等をまとめると同時に、課題を作成し、講義において提出する。(2時間)
 事後学習：返却された課題等で学習内容を復習し、プレゼンテーションや定期試験でその学修成果を示す。(2時間)
- 第9回：テキストP 60～P 73 イギリス演劇(Ⅱ)・演劇創世記
 事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点等をまとめると同時に、課題を作成し、講義において提出する。(2時間)
 事後学習：返却された課題等で学習内容を復習し、プレゼンテーションや定期試験でその学修成果を示す。(2時間)
- 第10回：テキストP 96～P 107 イギリス演劇(Ⅲ)・『ジェームス朝』
 事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点等をまとめると同時に、課題を作成し、講義において提出する。(2時間)
 事後学習：返却された課題等で学習内容を復習し、プレゼンテーションや定期試験でその学修成果を示す。(2時間)
- 第11回：テキストP 74～P 94, P 310～P 311 イギリス演劇(Ⅳ)・シェイクスピア(Ⅳ)
 事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点等をまとめると同時に、課題を作成し、講義において提出する。(2時間)
 事後学習：返却された課題等で学習内容を復習し、プレゼンテーションや定期試験でその学修成果を示す。(2時間)
- 第12回：テキストP 284～P 292 『ダウントン・アビー』
 事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点等をまとめると同時に、課題を作成し、講義において提出する。(2時間)
 事後学習：返却された課題等で学習内容を復習し、プレゼンテーションや定期試験でその学修成果を示す。(2時間)
- 第13回：テキスト発表会準備(個別指導)
 事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点等をまとめると同時に、課題を作成し、講義において提出する。(2時間)
 事後学習：返却された課題等で学習内容を復習し、プレゼンテーションや定期試験でその学修成果を示す。(2時間)
- 第14回：テキストP 1～P 343 発表会(個人プレゼンテーション及び討議)
 事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点等をまとめると同時に、課題を作成し、講義において提出する。(2時間)
 事後学習：返却された課題等で学習内容を復習し、プレゼンテーションや定期試験でその学修成果を示す。(2時間)
- 第15回：テキストP 1～P 343 発表会(個人プレゼンテーション及び討議)
 事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点等をまとめると同時に、課題を作成し、講義において提出する。(2時間)
 事後学習：返却された課題等で学習内容を復習し、プレゼンテーションや定期試験でその学修成果を示す。(2時間)
- 第16回：テキストP 1～P 343 定期試験

授業実施方法(面接授業・遠隔授業)

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

定期試験 60% 毎回の課題提出 10% 個人発表(講義に関する任意のテーマについてのプレゼンテーション) 30%

成績評価基準

イギリス文学の作品や文化研究を通して、自他の個性の多様性を理解し、発表等において自分の意見を公表できるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

秋篠 憲一(他) 『イギリス文学への招待』 朝日出版社 1999年

その他(受講上の注意)

講義(特に第1回)において、本講義受講上の注意や説明等を詳細に行ないます。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

英語コミュニケーション a (English Communication a)			担当教員	M ハウカ	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-I-2372	2単位	3年前期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部コミュニケーション学科専門科目 応用科目 国際英語コース					
求める学習成果(教育目標)					
異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる能力と言語スキルを身につけ、国際化社会において文化の相互交流に資する力を育成します。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
■自他の理解能力 □役割把握・認識能力		■コミュニケーション能力 □計画実行能力		■情報収集・探索能力 □課題解決能力	
				■社会・職業理解能力 □選択能力	

授 業 の 内 容	
世界の様々な出来事について述べている記事を読んで読む。さらに、記事の内容から自分の意見や考えを英語で書き、最後に他者と話し合う。	
授 業 の 到 達 目 標	
SDGsに関して色々なトピックスに関する十分な理解を深める。四つのスキルを使用して各ユニットの内容を身につけ、自分の意見や考えを伝える力を身につける。これにより、中学校・高校で英語を教える際の、特に読解・スピーキング能力の向上を目指す。	
アクティブ・ラーニング	
□課題解決型学習(PBL) ■討議(ディスカッション、ダイバート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) ■グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) ■発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) □実習、フィールドワーク □実験、実技 □その他	
授業の計画及び授業外の学習方法	
<p>第1回：グローバルな視点(SDGsの紹介 聞く、読む)(グループワーク 討議) 事前学習：授業前にテキストの第1章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：授業で課されたナウル島の問題について、ノートにまとめておくこと。(2時間)</p> <p>第2回：グローバルな視点(SDGsの紹介 書く、話す)(討議 発表) 事前学習：引き続き、授業前にテキストの第1章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：授業で課されたナウル島の問題について、ノートにまとめておくこと。(2時間)</p> <p>第3回：気候変動(SDG13：気候変動対策について。聞く、読む)(グループワーク 討議) 事前学習：授業前にテキストの第2章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：授業で課された情熱について、ノートにまとめておくこと。(2時間)</p> <p>第4回：気候変動(SDG13：気候変動対策について。書く、話す)(討議 発表) 事前学習：引き続き、授業前にテキストの第2章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：授業で課された情熱について、ノートにまとめておくこと。(2時間)</p> <p>第5回：水(SDG6：きれいな水と衛生について。聞く、読む)(グループワーク 討議) 事前学習：授業前にテキストの第3章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：授業で課された良い教師の影響について、ノートにまとめておくこと。(2時間)</p> <p>第6回：水(SDG6：きれいな水と衛生について。書く、話す)(討議 発表) 事前学習：引き続き、授業前にテキストの第3章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：授業で課された良い教師の影響について、ノートにまとめておくこと。(2時間)</p> <p>第7回：復習(第1回～6回の内容についての復習)(グループワーク 討議 発表) 事前学習：授業前にテキストの第1,2,3ユニットを復習する。(2時間) 事後学習：テキストの第1,2,3ユニットを復習して、わからないところをノートに書くこと。(2時間)</p> <p>第8回：クリーンエネルギー(SDG7：手頃でクリーンなエネルギー。聞く、読む)(グループワーク 討議) 事前学習：授業前にテキストの第4章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：授業で課されたユーモアと笑いについて、ノートにまとめておくこと。(2時間)</p> <p>第9回：クリーンエネルギー(SDG7：手頃でクリーンなエネルギー。書く、話す)(討議 発表) 事前学習：引き続き、授業前にテキストの第4章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：授業で課されたユーモアと笑いについて、ノートにまとめておくこと。(2時間)</p> <p>第10回：貧困(SDG1：貧困をなくす。聞く、読む)(グループワーク 討議) 事前学習：授業前にテキストの第5章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：授業で課されたデートの心得について、ノートにまとめておくこと。(2時間)</p>	

- 第11回：貧困 (SDG 1：貧困をなくす。書く、話す) (討議 発表)
事前学習：引き続き、授業前にテキストの第5章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
事後学習：授業で課されたデータの心得について、ノートにまとめておくこと。(2時間)
- 第12回：空腹 (SDG 2：空腹をなくす。聞く、読む) (グループワーク 討議)
事前学習：授業前にテキストの第6章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
事後学習：授業で課された栄養と運動について、ノートにまとめておくこと。(2時間)
- 第13回：空腹 (SDG 2：空腹をなくす。書く、話す) (討議 発表)
事前学習：引き続き、授業前にテキストの第6章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
事後学習：授業で課された栄養と運動について、ノートにまとめておくこと。(2時間)
- 第14回：子供 (SDG 4：質の高い教育。聞く、読む) (グループワーク 討議)
事前学習：授業前にテキストの第7章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
事後学習：授業で課された脳の異なる層について、ノートにまとめておくこと。(2時間)
- 第15回：子供 (SDG 4：質の高い教育。書く、話す) (討議 発表)
事前学習：引き続き、授業前にテキストの第7章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間)
事後学習：授業前にテキストの第4,5,6,7ユニットを復習する。(2時間)

定期試験

授業実施方法(面接授業・遠隔授業)

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

積極的な授業態度及び課題(45%)、定期試験(55%)

成績評価基準

色々なトピックスに関する十分な理解を深めているか。四つのスキルを使用して各ユニットの内容を身につけ、自分の意見や考えを伝える力を身につけているか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

テキスト

Living as Global Citizens: An Introduction to the Sustainable Development Goals (地球市民として生きる：英語で学ぶSDGs実践入門)

Kazuya Oseki and Kevin M. McManus 2020. NAN' UN-DO ISBN 978-4-523-17931-3

(小関一也, ケビン・マクマナス著 出版社：南雲堂 2020)

参考図書

中学校学習指導要領(平成29年3月公示 文部科学省)

高等学校学習指導要領(平成30年3月公示 文部科学省)

その他(受講上の注意)

Students must be fully prepared and proactively participate in each in-class activity.
This is not a lecture course. This course is taught exclusively in English.

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

英語コミュニケーションb (English Communication b)			担当教員	M ハウカ	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-I-2373	2単位	3年後期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部コミュニケーション学科専門科目 応用科目 国際英語コース					
求める学習成果(教育目標)					
異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる能力と言語スキルを身につけ、国際化社会において文化の相互交流に資する力を育成します。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
■自他の理解能力 □役割把握・認識能力		■コミュニケーション能力 □計画実行能力		■情報収集・探索能力 ■社会・職業理解能力 ■選択能力 □課題解決能力	

授 業 の 内 容	
世界の様々な出来事について述べている記事を読んで読む。さらに、記事の内容から自分の意見や考えを英語で書き、最後に他者と話し合う。	
授 業 の 到 達 目 標	
SDGsに関して色々なトピックスに関する十分な理解を深める。四つのスキルを使用して各ユニットの内容を身につけ、自分の意見や考えを伝える力を身につける。これにより、中学校・高校で英語を教える際の、特に読解・スピーキング能力の向上を目指す。	
アクティブ・ラーニング	
□課題解決型学習(PBL) ■討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) ■グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) ■発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) □実習、フィールドワーク □実験、実技 □その他	
授業の計画及び授業外の学習方法	
<p>第1回：性別(SDG5：男女平等。聞く、読む)(グループワーク 討議) 事前学習：授業前にテキストの第8章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：授業で課されたテクノロジー中毒について、ノートにまとめておくこと。(2時間)</p> <p>第2回：性別(SDG5：男女平等。書く、話す)(討議 発表) 事前学習：引き続き、授業前にテキストの第8章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：授業で課されたテクノロジー中毒について、ノートにまとめておくこと。(2時間)</p> <p>第3回：難民(SDG10：不平等の削減。聞く、読む)(グループワーク 討議) 事前学習：授業前にテキストの第9章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：授業で課されたミラーニューロンについて、ノートにまとめておくこと。(2時間)</p> <p>第4回：難民(SDG10：不平等の削減。書く、話す)(討議 発表) 事前学習：引き続き、授業前にテキストの第9章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：授業で課されたミラーニューロンについて、ノートにまとめておくこと。(2時間)</p> <p>第5回：虫(SDG15：陸上での生活。聞く、読む)(グループワーク 討議) 事前学習：授業前にテキストの第10章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：授業で課された幸福追求の科学について、ノートにまとめておくこと。(2時間)</p> <p>第6回：虫(SDG15：陸上での生活。書く、話す)(討議 発表) 事前学習：引き続き、授業前にテキストの第10章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：授業で課された幸福追求の科学について、ノートにまとめておくこと。(2時間)</p> <p>第7回：復習(第1回～6回の内容についての復習)(グループワーク 討議 発表) 事前学習：授業前にテキストの第8,9,10ユニットを復習する。(2時間) 事後学習：テキストの第8,9,10ユニットを復習して、わからないところをノートに書くこと。(2時間)</p> <p>第8回：肉食主義(SDG3：健康と幸福。聞く、読む)(グループワーク 討議) 事前学習：授業前にテキストの第11章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：授業で課された糖分依存症について、ノートにまとめておくこと。(2時間)</p> <p>第9回：肉食主義(SDG3：健康と幸福。書く、話す)(討議 発表) 事前学習：引き続き、授業前にテキストの第11章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：授業で課された糖分依存症について、ノートにまとめておくこと。(2時間)</p> <p>第10回：プラスチック汚染(SDG14：水面下での生活。聞く、読む)(グループワーク 討議) 事前学習：授業前にテキストの第12章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：授業で課された結婚の進化について、ノートにまとめておくこと。(2時間)</p>	

<p>第11回：プラスチック汚染 (SDG14：水面下での生活。書く、話す) (討議 発表) 事前学習：引き続き、授業前にテキストの第12章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：授業で課された結婚の進化について、ノートにまとめておくこと。(2時間)</p> <p>第12回：買い物する (SDG12：責任ある消費と生産。聞く、読む) (グループワーク 討議) 事前学習：授業前にテキストの第13章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：授業で課されたアクティブリスニングについて、ノートにまとめておくこと。(2時間)</p> <p>第13回：買い物する (SDG12：責任ある消費と生産。書く、話す) (討議 発表) 事前学習：引き続き、授業前にテキストの第13章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：授業で課されたアクティブリスニングについて、ノートにまとめておくこと。(2時間)</p> <p>第14回：パートナーシップ (SDG17：パートナーシップ。聞く、読む) (グループワーク 討議) 事前学習：授業前にテキストの第14章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：授業で課された男性の脳、女性の脳について、ノートにまとめておくこと。(2時間)</p> <p>第15回：パートナーシップ (SDG17：パートナーシップ。書く、話す) (討議 発表) 事前学習：引き続き、授業前にテキストの第14章を読み、質問項目をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：授業前にテキストの第11,12,13,14ユニットを復習する。(2時間)</p> <p>定期試験</p>
授業実施方法(面接授業・遠隔授業)
原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。
成績評価方法
積極的な授業態度及び課題(45%)、定期試験(55%)
成績評価基準
色々なトピックスに関する十分な理解を深めているか。四つのスキルを使用して各ユニットの内容を身につけ、自分の意見や考えを伝える力を身につけているか。
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック
<p>1) 授業時の課題に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて <input type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>3) 小レポートに対するフィードバックについて <input type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/>定期試験時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>5) その他 <input type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p>
実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)
テキスト、参考図書
<p>テキスト Living as Global Citizens: An Introduction to the Sustainable Development Goals (地球市民として生きる：英語で学ぶSDGs実践入門) Kazuya Oseki and Kevin M. McManus 2020. NAN' UN-DO ISBN 978-4-523-17931-3 (小関一也, ケビン・マクマナス著 出版社：南雲堂 2020)</p> <p>参考図書 中学校学習指導要領(平成29年3月公示 文部科学省) 高等学校学習指導要領(平成30年3月公示 文部科学省)</p>
その他(受講上の注意)
Much outside-class preparation is necessary in order to fully participate in this course. This course is taught exclusively in English.
オフィスアワー
UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

英語文章表現法Ⅱ (Essay Writing Ⅱ)			担当教員	紺渡 弘幸	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-I-2377	2単位	3年前期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部コミュニケーション学科専門科目 応用科目 国際英語コース					
求める学習成果(教育目標)					
実践的英語力：異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる能力と言語スキルを身につけ、国際社会において文化の相互交流に資する力を育成します。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input checked="" type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
書くプロセスを重視したコミュニケーション・ライティングにより、メッセージを効果的にわかりやすく読み手に伝えるライティングの力を養成する。	
授 業 の 到 達 目 標	
英語でのライティング能力を高め、メッセージをグローバルに発信できるコミュニケーション能力を育成する。プロセス・ライティングの方法を理解し、英文を書く際に用いることができる。パラグラフの構成・展開の方法、多様なパラグラフの書き方、エッセイの構成、アウトラインの書き方や効果的なイントロダクション・コンクルージョンの書き方を理解し、文章の統一性やまとまりに留意して、英文を書くことができる。中学校および高校で効果的なライティングの指導ができる力を身につける。	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習 (PBL) <input checked="" type="checkbox"/> 討議 (ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク (Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション (Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授業の計画及び授業外の学習方法	
第1回：プロセス・ライティング・書く前の活動の理解 事前学習：事前にシラバスやテキストに目を通し、質問事項をまとめておく。(2時間) 事後学習：授業で学習したプロセス・ライティング・書く前の活動についての復習課題をする。(2時間) 第2回：エッセイ・ライティング(1) 事前学習：事前に指定した課題について情報や関連語彙・表現を調べておく。(2時間) 事後学習：書いた作文について振り返りを行う。(2時間) 第3回：エッセイの構成について① 事前学習：事前にテキストの第8章を読み、課題をしておくこと。(2時間) 事後学習：エッセイの構成について復習課題をする。(2時間) 第4回：エッセイの構成について② 事前学習：事前にテキストの第8章を読み、課題をしておくこと。(2時間) 事後学習：エッセイの構成について復習課題をする。(2時間) 第5回：エッセイ・ライティング(2) 事前学習：事前に指定した課題について情報や関連語彙・表現を調べておく。(2時間) 事後学習：書いた作文について振り返りを行う。(2時間) 第6回：エッセイのアウトラインの書き方① 事前学習：事前にテキストの第9章を読み、課題をしておくこと。(2時間) 事後学習：エッセイのアウトラインの書き方について復習課題をする。(2時間) 第7回：エッセイのアウトラインの書き方② 事前学習：事前にテキストの第9章を読み、課題をしておくこと。(2時間) 事後学習：エッセイのアウトラインの書き方について復習課題をする。(2時間) 第8回：エッセイ・ライティング(3) 事前学習：事前に指定した課題について情報や関連語彙・表現を調べておく。(2時間) 事後学習：書いた作文について振り返りを行う。(2時間) 第9回：序論および結論の書き方① 事前学習：事前にテキストの第10章を読み、課題をしておくこと。(2時間) 事後学習：序論および結論の書き方について復習課題をする。(2時間)	

- 第10回：序論および結論の書き方②
事前学習：事前にテキストの第10章を読み、課題をしておくこと。(2時間)
事後学習：序論および結論の書き方について復習課題をする。(2時間)
- 第11回：エッセイ・ライティング(4)
事前学習：事前に指定した課題について情報や関連語彙・表現を調べておく。(2時間)
事後学習：書いた作文について振り返りを行う。(2時間)
- 第12回：統一性と首尾一貫性①
事前学習：事前にテキストの第11章を読み、課題をしておくこと。(2時間)
事後学習：統一性と首尾一貫性について復習課題をする。(2時間)
- 第13回：統一性と首尾一貫性②
事前学習：事前にテキストの第11章を読み、課題をしておくこと。(2時間)
事後学習：統一性と首尾一貫性について復習課題をする。(2時間)
- 第14回：エッセイ・ライティング(5)
事前学習：事前に指定した課題について情報や関連語彙・表現を調べておく。(2時間)
事後学習：書いた作文について振り返りを行う。(2時間)
- 第15回：まとめ(第11回～14回の内容についての復習)
事前学習：事前にテキストの第8章～第11章を復習し、質問項目をまとめておく。(2時間)
事後学習：課題作文を書く。(2時間)

定期試験

授業実施方法(面接授業・遠隔授業)

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

定期試験(50%)、課題(25%)、授業への取り組み(25%)
※授業への取り組みは、授業への参加状況、受講態度等を総合して判断する。

成績評価基準

1. プロセス・ライティングの方法を理解し、英文を書く際に用いることができるか。
2. エッセイの構成を理解し、それを活用して英文を書くことができるか。
3. アウトラインの書き方を理解し、それをを用いて英文を書くことができるか。
4. 効果的なイントロダクション・コンクルージョンの書き方を理解し、それを活用して英文を書くことができるか。
5. 統一性やまとまりのある英文を書くことができるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

Writing Essays: From Paragraph to Essay Zemach, D. E. MACMILLAN LANGUAGE HOUSE 2013
他に随時プリントを使う。

その他(受講上の注意)

なるべく多く英文を書いて、書くことに対する抵抗が少なくなるよう努力してもらいたい。主体的な学習を期待する。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

TOEIC英語 a (TOEIC English a)			担当教員	矢橋 知枝	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-I-2378	2単位	3年前期	演習	選択	
<科目区分> 人間学部コミュニケーション学科専門科目 応用科目 国際英語コース					
求める学習成果(教育目標)					
異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる能力と言語スキルを身につけ、国際化社会において文化の相互交流に資する力を育成します。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input checked="" type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input checked="" type="checkbox"/> 計画実行能力 <input checked="" type="checkbox"/> 選択能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
TOEICテストの各パートの出題形式を理解し、問題に取り組むためのテクニックを学ぶ。TOEIC600点レベルの語彙400語を確かなものとする。	
授 業 の 到 達 目 標	
リスニング力・リーディング力の向上を図り、TOEICテストのスコアアップを目指す。	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習 (PBL) <input checked="" type="checkbox"/> 討議 (ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク (Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション (Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授業の計画及び授業外の学習方法	
第1回：オリエンテーション 事前学習：事前にテキストを読み、付属CDもしくはダウンロード音声を用いて予習すること(2時間) 事後学習：テキスト等の見直しを行い、付属CDもしくはダウンロード音声を用いて復習をすること(2時間)	
第2回：Listening Part 1 写真描写問題(1) / Reading Part 5 短文穴埋め問題(1) (ディスカッション) 事前学習：事前にテキストを読み、付属CDもしくはダウンロード音声を用いて予習すること(2時間) 事後学習：テキスト等の見直しを行い、付属CDもしくはダウンロード音声を用いて復習をすること(2時間)	
第3回：Listening Part 1 写真描写問題(2) / Reading Part 5 短文穴埋め問題(2) (ディスカッション) 事前学習：事前にテキストを読み、付属CDもしくはダウンロード音声を用いて予習すること(2時間) 事後学習：テキスト等の見直しを行い、付属CDもしくはダウンロード音声を用いて復習をすること(2時間)	
第4回：Listening Part 1 写真描写問題(3) / Reading Part 5 短文穴埋め問題(3) (ディスカッション) 事前学習：事前にテキストを読み、付属CDもしくはダウンロード音声を用いて予習すること(2時間) 事後学習：テキスト等の見直しを行い、付属CDもしくはダウンロード音声を用いて復習をすること(2時間)	
第5回：Listening Part 2 応答問題(1) / Reading Part 6 長文穴埋め問題(1) (ディスカッション) 事前学習：事前にテキストを読み、付属CDもしくはダウンロード音声を用いて予習すること(2時間) 事後学習：テキスト等の見直しを行い、付属CDもしくはダウンロード音声を用いて復習をすること(2時間)	
第6回：Listening Part 2 応答問題(2) (実技) / Reading Part 6 長文穴埋め問題(1) (ディスカッション) 事前学習：事前にテキストを読み、付属CDもしくはダウンロード音声を用いて予習すること(2時間) 事後学習：テキスト等の見直しを行い、付属CDもしくはダウンロード音声を用いて復習をすること(2時間)	
第7回：Listening Part 2 応答問題(3) / Reading Part 6 長文穴埋め問題(2) (ディスカッション) 事前学習：事前にテキストを読み、付属CDもしくはダウンロード音声を用いて予習すること(2時間) 事後学習：テキスト等の見直しを行い、付属CDもしくはダウンロード音声を用いて復習をすること(2時間)	
第8回：Listening Part 3 会話問題(1) / Reading Part 7 1つの文書(1) (ディスカッション) 事前学習：事前にテキストを読み、付属CDもしくはダウンロード音声を用いて予習すること(2時間) 事後学習：テキスト等の見直しを行い、付属CDもしくはダウンロード音声を用いて復習をすること(2時間)	

- 第9回：Listening Part 3 会話問題（2）／Reading Part 7 1つの文書（2）（ディスカッション）
 事前学習：事前にテキストを読み、付属CDもしくはダウンロード音声を用いて予習すること（2時間）
 事後学習：テキスト等の見直しを行い、付属CDもしくはダウンロード音声を用いて復習をすること（2時間）
- 第10回：Listening Part 3 会話問題（3）／Reading Part 7 1つの文書（3）（ディスカッション）
 事前学習：事前にテキストを読み、付属CDもしくはダウンロード音声を用いて予習すること（2時間）
 事後学習：テキスト等の見直しを行い、付属CDもしくはダウンロード音声を用いて復習をすること（2時間）
- 第11回：Listening Part 4 説明文問題（1）／Reading Part 7 複数の文書（1）（ディスカッション）
 事前学習：事前にテキストを読み、付属CDもしくはダウンロード音声を用いて予習すること（2時間）
 事後学習：テキスト等の見直しを行い、付属CDもしくはダウンロード音声を用いて復習をすること（2時間）
- 第12回：Listening Part 4 説明文問題（2）／Reading Part 7 複数の文書（2）（ディスカッション）
 事前学習：事前にテキストを読み、付属CDもしくはダウンロード音声を用いて予習すること（2時間）
 事後学習：テキスト等の見直しを行い、付属CDもしくはダウンロード音声を用いて復習をすること（2時間）
- 第13回：Listening Part 4 説明文問題（3）／Reading Part 7 複数の文書（3）（ディスカッション）
 事前学習：事前にテキストを読み、付属CDもしくはダウンロード音声を用いて予習すること（2時間）
 事後学習：テキスト等の見直しを行い、付属CDもしくはダウンロード音声を用いて復習をすること（2時間）
- 第14回：Listening Part 4 説明文問題（4）／Reading Part 7 複数の文書（4）（ディスカッション）
 事前学習：事前にテキストを読み、付属CDもしくはダウンロード音声を用いて予習すること（2時間）
 事後学習：テキスト等の見直しを行い、付属CDもしくはダウンロード音声を用いて復習をすること（2時間）
- 第15回：まとめ
 事前学習：事前にテキストを読み、付属CDもしくはダウンロード音声を用いて予習すること（2時間）
 事後学習：テキスト等の見直しを行い、付属CDもしくはダウンロード音声を用いて復習をすること（2時間）

- ・英語教育センター主催のTOEIC IPを受験すること
- ・予習として、教科書の各回に関連する頁を読み、あらかじめ辞書で未知語を調べておく。また復習としては授業時の板書やハンドアウトに基づいて、各自のノートに授業内容をまとめておくこと。

授業実施方法（面接授業・遠隔授業）

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

課題（50％） 授業レポート（30％） 平常点（20％）
 （平常点は、授業への参加状況・受講態度等を総合して判断します。）

成績評価基準

TOEIC600点レベルに関わる語彙・文法・解答技術を習得したか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書

小石裕子 『はじめて受けるTOEIC (R) L&Rテスト 全パート完全攻略』 2018年 アルク
TEX加藤 『TOEIC L & R TEST 出る単特急 金のフレーズ』 2017年 朝日新聞出版
また、必要に応じて適宜ハンドアウトを配布する。

その他(受講上の注意)

- ・遅刻3回で欠席1回とみなす。
- ・遅刻した時間・授業を抜けた時間も成績評価で考慮する。
- ・必ず英和辞書(電子辞書可)を持参する。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

TOEIC英語 b (TOEIC English b)			担当教員	矢橋 知枝	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-I-2379	2単位	3年後期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部コミュニケーション学科専門科目 応用科目 国際英語コース					
求める学習成果(教育目標)					
異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる技能と言語スキルを身につけ、国際社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
■自他の理解能力		■コミュニケーション能力		■情報収集・探索能力	
■役割把握・認識能力		■計画実行能力		■社会・職業理解能力	
		■選択能力		■課題解決能力	

授 業 の 内 容	
TOEICテストの問題に取り組むためのテクニックを向上させる。TOEIC730点レベルの語彙300語を習得する。	
授 業 の 到 達 目 標	
リスニング力・リーディング力の向上を図り、TOEICテストのさらなるスコアアップを目指す。	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input checked="" type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法	
第1回：オリエンテーション 事前学習：事前にテキストを読み、付属CDもしくはダウンロード音声を用いて予習すること(2時間) 事後学習：テキスト等の見直しを行い、付属CDもしくはダウンロード音声を用いて復習をすること(2時間)	
第2回：Listening Part 2 応答問題(1) / Reading Part 5 短文穴埋め問題(1)(ディスカッション) 事前学習：事前にテキストを読み、付属CDもしくはダウンロード音声を用いて予習すること(2時間) 事後学習：テキスト等の見直しを行い、付属CDもしくはダウンロード音声を用いて復習をすること(2時間)	
第3回：Listening Part 3 会話問題(1) / Reading Part 6 長文穴埋め問題(1)(ディスカッション) 事前学習：事前にテキストを読み、付属CDもしくはダウンロード音声を用いて予習すること(2時間) 事後学習：テキスト等の見直しを行い、付属CDもしくはダウンロード音声を用いて復習をすること(2時間)	
第4回：Listening Part 4 説明文問題(1) / Reading Part 7 1つの文書(1)(ディスカッション) 事前学習：事前にテキストを読み、付属CDもしくはダウンロード音声を用いて予習すること(2時間) 事後学習：テキスト等の見直しを行い、付属CDもしくはダウンロード音声を用いて復習をすること(2時間)	
第5回：Listening Part 1 写真描写問題(1) / Reading Part 5 短文穴埋め問題(2)(ディスカッション) 事前学習：事前にテキストを読み、付属CDもしくはダウンロード音声を用いて予習すること(2時間) 事後学習：テキスト等の見直しを行い、付属CDもしくはダウンロード音声を用いて復習をすること(2時間)	
第6回：Listening Part 2 応答問題(2) / Reading Part 6 長文穴埋め問題(2)(ディスカッション) 事前学習：事前にテキストを読み、付属CDもしくはダウンロード音声を用いて予習すること(2時間) 事後学習：テキスト等の見直しを行い、付属CDもしくはダウンロード音声を用いて復習をすること(2時間)	
第7回：Listening Part 3 会話問題(2) / Reading Part 7 1つの文書(2)(ディスカッション) 事前学習：事前にテキストを読み、付属CDもしくはダウンロード音声を用いて予習すること(2時間) 事後学習：テキスト等の見直しを行い、付属CDもしくはダウンロード音声を用いて復習をすること(2時間)	
第8回：Listening Part 4 説明文問題(2) / Reading Part 5 短文穴埋め問題(3)(ディスカッション) 事前学習：事前にテキストを読み、付属CDもしくはダウンロード音声を用いて予習すること(2時間) 事後学習：テキスト等の見直しを行い、付属CDもしくはダウンロード音声を用いて復習をすること(2時間)	

- 第9回：Listening Part 1 写真描写問題（2）／Reading Part 6 長文穴埋め問題（3）（ディスカッション）
事前学習：事前にテキストを読み、付属CDもしくはダウンロード音声を用いて予習すること（2時間）
事後学習：テキスト等の見直しを行い、付属CDもしくはダウンロード音声を用いて復習をすること（2時間）
- 第10回：Listening Part 2 応答問題（3）／Reading Part 7 1つの文書（3）（ディスカッション）
事前学習：事前にテキストを読み、付属CDもしくはダウンロード音声を用いて予習すること（2時間）
事後学習：テキスト等の見直しを行い、付属CDもしくはダウンロード音声を用いて復習をすること（2時間）
- 第11回：Listening Part 3 会話問題（3）／Reading Part 5 短文穴埋め問題（4）（ディスカッション）
事前学習：事前にテキストを読み、付属CDもしくはダウンロード音声を用いて予習すること（2時間）
事後学習：テキスト等の見直しを行い、付属CDもしくはダウンロード音声を用いて復習をすること（2時間）
- 第12回：Listening Part 4 説明文問題（3）／Reading Part 6 長文穴埋め問題（4）（ディスカッション）
事前学習：事前にテキストを読み、CALL演習室で付属CDを用いて予習すること（2時間）
事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で付属CDを用いて復習をすること（2時間）
- 第13回：Listening Part 1 写真描写問題（3）／Reading Part 7 複数の文書（4）（ディスカッション）
事前学習：事前にテキストを読み、付属CDもしくはダウンロード音声を用いて予習すること（2時間）
事後学習：テキスト等の見直しを行い、付属CDもしくはダウンロード音声を用いて復習をすること（2時間）
- 第14回：Listening Part 2 応答問題（4）／Reading Part 5 短文穴埋め問題（5）（ディスカッション）
事前学習：事前にテキストを読み、付属CDもしくはダウンロード音声を用いて予習すること（2時間）
事後学習：テキスト等の見直しを行い、付属CDもしくはダウンロード音声を用いて復習をすること（2時間）
- 第15回：まとめ
事前学習：事前にテキストを読み、付属CDもしくはダウンロード音声を用いて予習すること（2時間）
事後学習：テキスト等の見直しを行い、付属CDもしくはダウンロード音声を用いて復習をすること（2時間）
- ・英語教育センター主催のTOEIC IPを受験すること
 - ・予習として、教科書の各回に関連する頁を読み、あらかじめ辞書で未知語を調べておく。また復習としては授業時の板書やハンドアウトに基づいて、各自のノートに授業内容をまとめておくこと。

授業実施方法（面接授業・遠隔授業）

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

授業課題（50％） 授業レポート（30％） 平常点（20％）
（平常点は、授業への参加状況・受講態度、提出物の提出状況等を総合して判断します。）

成績評価基準

TOEIC730点レベルに関わる語彙・文法・解答技術を習得したか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

-

テキスト、参考図書

小石裕子 『はじめて受けるTOEIC (R) L&Rテスト 全パート完全攻略』 2018年 アルク
 TEX加藤 『TOEIC L & R TEST 出る単特急 金のフレーズ』 2017年 朝日新聞出版
 また、必要に応じて適宜ハンドアウトを配布する。

その他(受講上の注意)

- ・履修条件として、下記①～③のいずれかであること(=どれか1つに該当すればOK)。
 - ①「TOEIC英語a単位取得済」
 - ②「TOEIC スコア600点以上」
 - ③「実用英語検定準1級合格」
- ・「検定英語入門」との同時履修はできない。
- ・遅刻3回で欠席1回とみなす。
- ・遅刻した時間・授業を抜けた時間も成績評価で考慮する。
- ・必ず英和辞書(電子辞書可)を持参する。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

国際ビジネス英語 I (International Business English I)			担当教員	加藤 優子	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-OBO-2371	2単位	3年前期	講義	選択	
＜科目区分＞ 人間学部コミュニケーション学科専門科目 応用科目 国際英語コース					
求める学習成果(教育目標)					
異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる技能と言語スキルを身につけ、国際社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
観光ビジネスで必要とされる英語表現とマナーについて学ぶ。また、福井県内を巡る観光プランを提案するプロジェクトワークを通して、学生主体の調べ学習を促進しつつ、英語で福井県の魅力を伝えるためのプレゼンテーション能力を身に付ける。	
授 業 の 到 達 目 標	
観光ビジネスで多用される英語表現を使うことができる。 ビジネス上のマナーを理解している。 福井県の魅力を英語でスムーズに伝えることができる。	
アクティブ・ラーニング	
<input checked="" type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input checked="" type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法	
第1回：Introduction / Business English (一部ディスカッション) Fukui Sightseeing Promotion Project ①分担決定 事前学習：シラバスとテキストのIntroductionとContentsに目を通し、質問事項をメモにまとめること。(2時間) 事後学修：自宅学習教材Units 1, 2を学習する。(2時間)	
第2回：Units 1 and 2: Transportation / At a Check-in Counter 事前学習：授業前にテキストのUnits 1, 2を音読し、わからない単語を調べておくこと。(2時間) 事後学修：自宅学習教材Units 3, 4を学習する。(2時間)	
第3回：Unit 3: Facilities and Services Fukui Sightseeing Promotion Project ②準備：対象者を決める 事前学習：授業前にテキストのUnit 3を音読し、わからない単語を調べておくこと。(2時間) 事後学修：自宅学習教材Units 5~7を学習する。(2時間)	
第4回：Unit 4: Giving Directions / 小テスト1 (自宅学習教材 Units 1~7) 事前学習：授業前にテキストのUnit 4を音読し、わからない単語を調べておくこと。(2時間) 事後学修：小テスト内容の復習をする。(2時間)	
第5回：Unit 5: Recommending a Trip Fukui Sightseeing Promotion Project ③準備：メインの項目を決める 事前学習：授業前にテキストのUnit 5を音読し、わからない単語を調べておくこと。(2時間) 事後学修：自宅学習教材Units 8, 9を学習する。(2時間)	
第6回：Unit 6: Dining in Japan 1 事前学習：授業前にテキストのUnit 6を音読し、わからない単語を調べておくこと。(2時間) 事後学修：自宅学習教材Units 10, 11を学習する。(2時間)	
第7回：Unit 7: Dining in Japan 2 Fukui Sightseeing Promotion Project ④準備：体験活動を決める 事前学習：授業前にテキストのUnit 7を音読し、わからない単語を調べておくこと。(2時間) 事後学修：自宅学習教材Units 12, 13を学習する。(2時間)	

- 第8回：Unit 8: Arranging a Tour
Fukui Sightseeing Promotion Project ⑤準備：ルートを決める
事前学習：授業前にテキストのUnit 8を音読し、わからない単語を調べておくこと。(2時間)
事後学修：自宅学習教材Units 14, 15を学習する。(2時間)
- 第9回：Unit 9: Staying at a Ryokan / 小テスト2 (自宅学習教材 Units 8~15)
事前学習：授業前にテキストのUnit 9を音読し、わからない単語を調べておくこと。(2時間)
事後学修：小テスト内容の復習をする。(2時間)
- 第10回：Unit 10: Culture Experience in Japan 1
事前学習：授業前にテキストのUnit 10を音読し、わからない単語を調べておくこと。(2時間)
事後学修：自宅学習教材Units 16, 17を学習する。(2時間)
- 第11回：Unit 11: Culture Experience in Japan 2
Fukui Sightseeing Promotion Project ⑥準備：宿泊先を決める
事前学習：授業前にテキストのUnit 11を音読し、わからない単語を調べておくこと。(2時間)
事後学修：自宅学習教材Units 18, 19を学習する。(2時間)
- 第12回：Unit 12: Japan Souvenirs
Fukui Sightseeing Promotion Project ⑦準備：費用を決める
事前学習：授業前にテキストのUnit 12を音読し、わからない単語を調べておくこと。(2時間)
事後学修：自宅学習教材Units 20~22を学習する。(2時間)
- 第13回：Unit 13: Dealing with Health Problems and Emergencies / 小テスト3 (自宅学習教材 Units 16~22)
事前学習：授業前にテキストのUnit 13を音読し、わからない単語を調べておくこと。(2時間)
事後学修：小テスト内容の復習をする。(2時間)
- 第14回：Unit 14: Dealing with Complaints and Accidents
Fukui Sightseeing Promotion Project ⑧準備：旅程を作る、PPT作成と発表分担を決める
事前学習：授業前にテキストのUnit 14を音読し、わからない単語を調べておくこと。(2時間)
事後学修：グループ内で発表内容をまとめる。(2時間)
- 第15回：Presentationとまとめ
事前学習：授業前にグループ内で発表内容を確認する。(2時間)
事後学修：発表内容を修正し、提出する。(2時間)

授業実施方法(面接授業・遠隔授業)

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

授業内小テスト(30%) 最終授業の発表内容(60%) 授業への積極的参加(10%)

成績評価基準

観光ビジネスで多用される英語表現を使うことができるか。
ビジネス上のマナーを理解しているか。
福井県の魅力を英語でスムーズに伝えることができるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

Uesugi M. et al. (2022) "Hospitality on the Scene" Kinseido
Furukawa, T. and Mergel, E. (2019) "English Sigitseeing" Nanun-do

その他(受講上の注意)

5分以上20分未満の遅刻3回で欠席1回とみなす。
20分以上の遅刻は欠席とみなす。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

コミュニケーション特別演習 I a (Special Seminar in Communication I a)			担当教員	加藤 優子、橋本 武志、矢橋 知枝、 安彦 智史、織田 暁子、寺田 憲弘、 M ハウカ、升田 法継、小川 慶、 禿 寿、Mクズィフ	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-G-2382	2 単位	3 年前期	演習	必修	
<科目区分> 人間学部コミュニケーション学科専門科目 応用科目 特別演習・卒業研究					
求める学習成果(教育目標)					
地域の文化創造・発展に向けて課題解決に主体的に取り組む力を身につけ、地域社会や産業界のリーダーとなる意欲を育成します。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
■自他の理解能力		■コミュニケーション能力		■情報収集・探索能力	
■役割把握・認識能力		■計画実行能力		■社会・職業理解能力	
		■選択能力		■課題解決能力	

授 業 の 内 容	
卒業研究の準備段階として、学生自らが問題意識を持ち、研究課題を設定できるようになることを目標とする。そのために、文献、論文、資料、データを精読し、ディスカッションや発表を行う。(配属先のゼミによって、演習内容は異なる。)	
研究課題によっては、企業や自治体等の外部団体と連携し、実際のデータ分析や課題解決に取り組んだり、地域連携活動を行ったりすることがある。また、国連が定める持続可能な開発目標 (SDGs) に関する活動に取り組むことがある。	
授 業 の 到 達 目 標	
自らの問題意識を明確にし、研究課題を設定する。研究課題に関連する文献などを適切に選択、講読できる。	
アクティブ・ラーニング	
■課題解決型学習 (PBL) ■討議 (ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) ■グループワーク (Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) ■発表・プレゼンテーション (Teams、Zoom等) ■実習、フィールドワーク ■実験、実技 □その他	
授業の計画及び授業外の学習方法	
演習のテーマについて基礎的知識を養うための研究・実践を行う。 概ね以下の通りだが、各担当教員の演習テーマや学生の問題意識に依拠した指導に従い、PBL、フィールドワーク、グループワーク、実験等のアクティブラーニングを適宜行う。 (例)	
第1回：オリエンテーション (各ゼミで取り扱うテーマに沿った先行研究の提示、ディスカッション) 事前学習：自らが取り組みたいテーマについて考え、まとめてくる。(2時間) 事後学習：輪読の対象となる先行文献を学ぶ。(2時間)	
第2回：輪読 (発表、ディスカッション) 事前学習：輪読対象となる章を熟読し、質問項目をまとめておく。発表担当者は発表内容の準備をする。(2時間) 事後学習：ディスカッションのテーマについて復習し、関連する文献を読み進め、自らの考えをまとめる。(2時間)	
第3回：輪読 (発表、ディスカッション) 事前学習：輪読対象となる章を熟読し、質問項目をまとめておく。発表担当者は発表内容の準備をする。(2時間) 事後学習：ディスカッションのテーマについて復習し、関連する文献を読み進め、自らの考えをまとめる。(2時間)	
第4回：輪読 (発表、ディスカッション) 事前学習：輪読対象となる章を熟読し、質問項目をまとめておく。発表担当者は発表内容の準備をする。(2時間) 事後学習：ディスカッションのテーマについて復習し、関連する文献を読み進め、自らの考えをまとめる。(2時間)	

- 第5回：輪読（発表、ディスカッション）
事前学習：輪読対象となる章を熟読し、質問項目をまとめておく。発表担当者は発表内容の準備をする。（2時間）
事後学習：ディスカッションのテーマについて復習し、関連する文献を読み進め、自らの考えをまとめる。（2時間）
- 第6回：輪読（発表、ディスカッション）
事前学習：輪読対象となる章を熟読し、質問項目をまとめておく。発表担当者は発表内容の準備をする。（2時間）
事後学習：ディスカッションのテーマについて復習し、関連する文献を読み進め、自らの考えをまとめる。（2時間）
- 第7回：第1～6回の先行研究を振り返り、自らの研究テーマを決める（ディスカッション）
事前学習：これまで輪読した先行研究を振り返り、研究テーマを決めてくる。（2時間）
事後学習：ディスカッションにて得られた知見をもとに、研究テーマに対する考えを深める。（2時間）
- 第8回：卒論・文献研究（発表、ディスカッション）
事前学習：自らの研究テーマの先行研究となる卒論、または文献を調べる。発表担当者は、発表内容の準備をする。（2時間）
事後学習：発表内容を振り返り、関連する文献を読み進め、自らの研究テーマへの考えを深める。（2時間）
- 第9回：卒論・文献研究（発表、ディスカッション）
事前学習：自らの研究テーマの先行研究となる卒論、または文献を調べる。発表担当者は、発表内容の準備をする。（2時間）
事後学習：発表内容を振り返り、関連する文献を読み進め、自らの研究テーマへの考えを深める。（2時間）
- 第10回：卒論・文献研究（発表、ディスカッション）
事前学習：自らの研究テーマの先行研究となる卒論、または文献を調べる。発表担当者は、発表内容の準備をする。（2時間）
事後学習：発表内容を振り返り、関連する文献を読み進め、自らの研究テーマへの考えを深める。（2時間）
- 第11回：卒論・文献研究（発表、ディスカッション）
事前学習：自らの研究テーマの先行研究となる卒論、または文献を調べる。発表担当者は、発表内容の準備をする。（2時間）
事後学習：発表内容を振り返り、関連する文献を読み進め、自らの研究テーマへの考えを深める。（2時間）
- 第12回：卒論・文献研究（発表、ディスカッション）
事前学習：自らの研究テーマの先行研究となる卒論、または文献を調べる。発表担当者は、発表内容の準備をする。（2時間）
事後学習：発表内容を振り返り、関連する文献を読み進め、自らの研究テーマへの考えを深める。（2時間）
- 第13回：卒論・文献研究（発表、ディスカッション）
事前学習：自らの研究テーマの先行研究となる卒論、または文献を調べる。発表担当者は、発表内容の準備をする。（2時間）
事後学習：発表内容を振り返り、関連する文献を読み進め、自らの研究テーマへの考えを深める。（2時間）
- 第14回：卒論・文献研究（発表、ディスカッション）
事前学習：自らの研究テーマの先行研究となる卒論、または文献を調べる。発表担当者は、発表内容の準備をする。（2時間）
事後学習：発表内容を振り返り、関連する文献を読み進め、自らの研究テーマへの考えを深める。（2時間）
- 第15回：まとめと今後の課題について（発表、ディスカッション）
事前学習：自らの研究テーマをより明確にし、発表できるようにする。（2時間）
事後学習：ディスカッションで指摘された課題も考慮し、自らの研究テーマをレポートにまとめる。（2時間）

授業実施方法（面接授業・遠隔授業）

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

平常点（100%）
平常点は演習への取り組み状況やその態度などから総合的に判断する。

成績評価基準

自らの問題意識を明確にできているか。研究課題に関連する文献などを適切に選択、講読ができるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

必要に応じて指示する。

その他(受講上の注意)

担当教員から指示がある。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

コミュニケーション特別演習 I b (Special Seminar in Communication I b)			担当教員	加藤 優子、橋本 武志、矢橋 知枝、 安彦 智史、織田 暁子、寺田 憲弘、 M ハウカ、升田 法継、小川 慶、 禿 寿、Mクズィフ	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-G-2383	2 単位	3 年後期	演習	必修	
<科目区分> 人間学部コミュニケーション学科専門科目 応用科目 特別演習・卒業研究					
求める学習成果(教育目標)					
地域の文化創造・発展に向けて課題解決に主体的に取り組む力を身につけ、地域社会や産業界のリーダーとなる意欲を育成します。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
■自他の理解能力		■コミュニケーション能力		■情報収集・探索能力	
■役割把握・認識能力		■計画実行能力		■社会・職業理解能力	
		■選択能力		■課題解決能力	

授 業 の 内 容	
卒業研究の準備段階として、学生自らが問題意識を持ち、研究課題を設定できるようになることを目標とする。そのために、文献、論文、資料、データを精読し、ディスカッションや発表を行う。(配属先のゼミによって、演習内容は異なる。)	
研究課題によっては、企業や自治体等の外部団体と連携し、実際のデータ分析や課題解決に取り組んだり、地域連携活動を行ったりすることがある。また、国連が定める持続可能な開発目標 (SDGs) に関する活動に取り組むことがある。	
授 業 の 到 達 目 標	
自らの問題意識を明確にし、研究課題を設定する。研究課題に関連する文献などを適切に選択、講読できる。論文の書き方、調査の仕方の基礎を身につける。	
アクティブ・ラーニング	
■課題解決型学習 (PBL) ■討議 (ディスカッション、ダイベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) ■グループワーク (Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) ■発表・プレゼンテーション (Teams、Zoom等) ■実習、フィールドワーク ■実験、実技 □その他	
授業の計画及び授業外の学習方法	
演習のテーマについて専門的知識を深めるための研究・実践を行う。概ね以下の通りだが、各担当教員の演習テーマや学生の問題意識に依拠した指導に従い、PBL、フィールドワーク、グループワーク、実験等のアクティブラーニングを適宜行う。	
(例)	
第1回：オリエンテーション 事前学習：卒業論文のテーマについてレポートをまとめる。(2時間) 事後学習：自らの卒業論文テーマについて文献調査等を通し考えを深める。(2時間)	
第2回：論文の書き方：学術論文を書く上での注意点(ディスカッション) 事前学習：論文の書き方に関する文献を読む。(2時間) 事後学習：授業で課されたテーマについてレポートをまとめる。(2時間)	
第3回：論文の書き方：背景(発表、ディスカッション) 事前学習：論文の書き方に関する文献を読む。(2時間) 事後学習：授業で課されたテーマについてレポートをまとめる。(2時間)	
第4回：論文の書き方：背景(発表、ディスカッション) 事前学習：論文の書き方に関する文献を読む。(2時間) 事後学習：授業で課されたテーマについてレポートをまとめる。(2時間)	
第5回：論文の書き方：背景(発表、ディスカッション) 事前学習：論文の書き方に関する文献を読む。(2時間) 事後学習：授業で課されたテーマについてレポートをまとめる。(2時間)	
第6回：論文の書き方：定義(発表、ディスカッション) 事前学習：論文の書き方に関する文献を読む。(2時間) 事後学習：授業で課されたテーマについてレポートをまとめる。(2時間)	

第7回：論文の書き方：定義（発表、ディスカッション） 事前学習：論文の書き方に関する文献を読む。（2時間） 事後学習：授業で課されたテーマについてレポートをまとめる。（2時間）
第8回：論文の書き方：定義（発表、ディスカッション） 事前学習：論文の書き方に関する文献を読む。（2時間） 事後学習：授業で課されたテーマについてレポートをまとめる。（2時間）
第9回：論文の書き方：定義（発表、ディスカッション） 事前学習：論文の書き方に関する文献を読む。（2時間） 事後学習：授業で課されたテーマについてレポートをまとめる。（2時間）
第10回：論文の書き方：調査方法（発表、ディスカッション） 事前学習：論文の書き方に関する文献を読む。（2時間） 事後学習：授業で課されたテーマについてレポートをまとめる。（2時間）
第11回：論文の書き方：調査方法（発表、ディスカッション） 事前学習：論文の書き方に関する文献を読む。（2時間） 事後学習：授業で課されたテーマについてレポートをまとめる。（2時間）
第12回：論文の書き方：調査方法（発表、ディスカッション） 事前学習：論文の書き方に関する文献を読む。（2時間） 事後学習：授業で課されたテーマについてレポートをまとめる。（2時間）
第13回：論文の書き方：結果の示し方（発表、ディスカッション） 事前学習：論文の書き方に関する文献を読む。（2時間） 事後学習：授業で課されたテーマについてレポートをまとめる。（2時間）
第14回：論文の書き方：結果の示し方（発表、ディスカッション） 事前学習：論文の書き方に関する文献を読む。（2時間） 事後学習：授業で課されたテーマについてレポートをまとめる。（2時間）
第15回：論文の書き方：まとめと参考文献（発表、ディスカッション） 事前学習：論文の書き方に関する文献を読む。（2時間） 事後学習：授業で課されたテーマについてレポートをまとめる。（2時間）

授業実施方法（面接授業・遠隔授業）

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

平常点（100%）

平常点は演習への取り組み状況やその態度などから総合的に判断する。

成績評価基準

卒業研究に取り組むことができるだけの専門的な知識をつけられているか。文献などの講読を通して、自らの問題意識を明確にし、研究課題を設定できるようになったか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書

必要に応じて指示する。

その他（受講上の注意）

問題意識の明確化、研究課題の設定のために必要な、本演習以外の授業を履修すること。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

海外語学研修 (Language Study Abroad)			担当教員	M ハウカ	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
HS-2242	4 単位	2 年～4 年	演習	選択	
<科目区分> 人間学部学部共通科目 外国語科目					
求める学習成果(教育目標)					
大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実地的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
■自他の理解能力 □役割把握・認識能力		■コミュニケーション能力 ■計画実行能力		■情報収集・探索能力 □課題解決能力	
		■選択能力		■社会・職業理解能力	

授 業 の 内 容	
現地ではホームステイ・クラブ活動も行う。事前授業10回(後期)および事後授業5回(次年度前期)も合わせて受講し、以後の学修・研究のための動機付けを得ることを目指す。	
授 業 の 到 達 目 標	
集中的な英語研修と生活体験を通し、総合的な英語力(読む力・聞く力・話す力・書く力)を向上させることを目的とする。	
アクティブ・ラーニング	
□課題解決型学習(PBL) □討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) □グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) □発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) ■実習、フィールドワーク □実験、実技 □その他	
授業の計画及び授業外の学習方法	
<p>事前学習(60時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体説明会(目的、日程、研修内容、宿泊、準備物[パスポート、航空券、クレジットカードなど]) ・ビザの申請 ・ホストファミリーへの紹介文 ・研修地に関する事前学習 ・場面別英会話の学習 ・プレゼンテーションの準備・練習 ・ブレースメントテスト ・経験者の話・質疑応答 ・最終確認 <p><集中講義(夏期休暇中)> 留学(80時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語の授業(リスニング、スピーキング、リーディング、ライティング、文法、語彙など) ・学外体験 ・文化施設見学 ・ホストファミリーとの交流(ホームステイ) ・体験ツアー ・歴史、文化授業参加、ディスカッション ・他の大学生との交流 <p>事後学習(60時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修のふりかえり・レポート ・プレゼンテーション準備 ・体験報告会 	
授業実施方法(面接授業・遠隔授業)	
原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。	

成績評価方法
事前授業への取り組み (30%)、現地評価 (50%)、事後授業の取り組み (20%) を総合評価する。
成績評価基準
学外における自主的な活動や体験をとおして、通常の講義や演習で得られない視点や考察点を体得できたか。 学修・研究のための動機付けを得て、優れた社会人となるための自己認識を深めることができたか。 ※現地校から発行される成績表も評価に含まれる。
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック
1) 授業時の課題に対するフィードバックについて <input type="checkbox"/> 授業時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/> 授業時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 3) 小レポートに対するフィードバックについて <input type="checkbox"/> 授業時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて <input type="checkbox"/> 定期試験時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 5) その他 <input type="checkbox"/> 授業時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他
実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)
テキスト、参考図書
現地校より指示がある。
その他(受講上の注意)
本科目の履修登録については、担当教員が行うガイダンスおよび本プログラム参加をもって履修登録とするため、通常の受講登録手続きを要しない。
オフィスアワー
UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

フィールドワーク演習(ボランティア) (Fieldwork Practice - Volunteer)			担当教員	水田 敏郎、小川 慶	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
HS-2163	2単位	1年～4年	演習	選択	
<科目区分> 人間学部学部共通科目 修学基礎・キャリア形成科目					
求める学習成果(教育目標)					
大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実地的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
■自他の理解能力		■コミュニケーション能力		■情報収集・探索能力	
■役割把握・認識能力		■計画実行能力		□社会・職業理解能力	
		□選択能力		■課題解決能力	

授 業 の 内 容	
<p>本プログラムには、学内外でのボランティア活動体験、社会的イベント・コンペティションなどへの参画体験が含まれる。教室や研究室で学習や研究をするのではなく、実際に社会での直接的体験を通して、優れた社会人となるための自己認識、自己啓発の機会とすることを目的とする。担当教員や活動支援団体による説明会への参加をもとに受講の意思を明らかにし、プログラムへ参加する。</p> <p>なお、本科目は国連が定める「持続可能な開発目標(SDGs)」に向けて地域の社会的課題に取り組むSDGs関連科目である。</p>	
授 業 の 到 達 目 標	
<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれが今後学ぶ、または学んでいることの社会的意義を見いだすことができる。 ・学生間はもとより、地域社会で仕事や生活をしている社会人とのコミュニケーションが、円滑に行える。 	
アクティブ・ラーニング	
<p>■課題解決型学習(PBL) □討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) □グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) □発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) ■実習、フィールドワーク □実験、実技 □その他</p>	
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法	
<p>地域社会からのニーズを元にプログラムを立てるため、その解決すべき課題を元に授業計画を設定する。</p> <p>1. 事前ガイダンスの実施と計画の提示(2時間) 2. 現地にて研修(26時間以上) 3. 事後報告として、レポート・プレゼンテーション等の実施、課題に関連する情報の収集(2時間)</p> <p>・事前学習(30時間)…受け入れ担当者から指示された課題やタスクへの取り組み。レポート・プレゼンテーションの準備など。 ・事後学習(30時間)…研修記録の執筆、受け入れ担当者から指示された課題やタスクへの取り組みなど。</p>	
授 業 実 施 方 法 (面 接 授 業 ・ 遠 隔 授 業)	
<p>原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。</p>	
成 績 評 価 方 法	
<p>活動や取り組みの状況(50%)、レポートまたはプレゼンテーション(50%)</p>	
成 績 評 価 基 準	
<p>課題について、的確な視点を持ち、その解決に向けて自身の考察による提案ができるか。</p>	

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

使用しない。

その他(受講上の注意)

本科目の履修登録については、それぞれの担当教員がガイダンスなどを実施し、各プログラムの参加者をもって受講者とするため、通常の受講登録手続きを要しない。

※個人参加のボランティア活動体験、社会的イベント・コンペティションなどへの参画体験等も対象とする場合があるので、受講希望者は、事前に科目担当者へ問い合わせること。

※単位認定については、参加するボランティア活動体験、社会的イベント・コンペティションのプログラム終了後、担当教員より課される課題等を全て提出し、単位認定するにあたり適当であると認めた場合のみとする。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

フィールドワーク演習(国際交流) (Fieldwork Practice - International Exchange)			担当教員	M ハウカ	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
HS-2164	2単位	1年～4年	演習	選択	
<科目区分> 人間学部学部共通科目 修学基礎・キャリア形成科目					
求める学習成果(教育目標)					
大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実地的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
■自他の理解能力		■コミュニケーション能力		■情報収集・探索能力	
□役割把握・認識能力		■計画実行能力		□選択能力	
				■社会・職業理解能力	
				□課題解決能力	

授 業 の 内 容	
<p>原則としてアメリカ・カリフォルニア州立大学フラトン校(本学姉妹校)での集中講義(2週間)の形式で実施するが、英語教育センターで承認を受けた場合は個人留学による語学研修でも履修可能である。フラトン校での集中講義では、授業あるいはワークショップの参加・見学、キャンパス内外での視察、クラブ活動参加、観光等を通じて国際交流を体験し、以後の学修・研究のための動機付けを得ることを目指す。前期に事前授業10回・後期に事後授業5回を実施する。</p>	
授 業 の 到 達 目 標	
<ul style="list-style-type: none"> ・学外における自主的な活動や体験を通して、通常の講義や演習で得られない視点や考察点を体得する。 ・「仁愛大学海外短期研修プログラム(2週間)」への参画体験演習を通して、以後の学修・研究のための動機付けを得る。 ・異文化理解を深める。 	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input checked="" type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法	
<p>事前学習(30時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体説明会(目的、日程、研修内容、宿泊、準備物[パスポート、航空券、クレジットカードなど]) ・ビザの申請 ・ホストファミリーへの紹介文 ・研修地に関する事前学習 ・場面別英会話の学習 ・プレゼンテーションの準備・練習 ・ブレースメントテスト ・経験者の話・質疑応答 ・最終確認 <p><集中講義(夏期休暇中)></p> <p>留学(40時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語の授業(リスニング、スピーキング、リーディング、ライティング、文法、語彙など) ・日本語の指導 ・文化施設見学 ・ホストファミリーとの交流(ホームステイ) ・体験ツアー ・歴史、文化授業参加、ディスカッション ・他の大学生との交流 <p>事後学習(30時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修のふりかえり・レポート ・プレゼンテーション準備 ・体験報告会 	

授業実施方法(面接授業・遠隔授業)
原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。
成績評価方法
事前授業の取り組み(30%)、現地評価(50%)、事後授業の取り組み、およびレポート課題(20%)を総合評価する。
成績評価基準
学外における自主的な活動や体験をとおして、通常の講義や演習で得られない視点や考察点を体得できたか。学修・研究のための動機付けを得て、優れた社会人となるための自己認識を深めることができたか。
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック
1) 授業時の課題に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/> 授業時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/> 授業時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 3) 小レポートに対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/> 授業時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて <input type="checkbox"/> 定期試験時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 5) その他 <input type="checkbox"/> 授業時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他
実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)
テキスト、参考図書
特になし
その他(受講上の注意)
受講生が少ない場合、非開講とすることがある。本科目の履修登録については、担当教員等が行うガイダンスおよび本プログラム参加をもって履修登録とするため、通常履修登録手続きを要しない。 【フラトン校での集中講義以外の履修について】 履修要件：英語教育センターで(1)～(4)を行うこと (1) 留学相談(留学先・方法など決定) (2) 審査(本科目としての適切性) (3) 事前指導(提出書類準備・渡航準備) (4) 事後指導(必要な課題提出・発表・単位認定審査) 研修期間：夏期休暇期間または春期休暇期間 単位認定時期：夏期休暇期間の場合は当該年度後期、春期休暇期間の場合は翌年度前期 ※卒業年次生は、夏期休暇中の実施のみ
オフィスアワー
UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

学校臨床心理学 (Clinical Psychology in Schools)			担当教員	廣澤 愛子	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
PS-APO-2456	2単位	4年前期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部心理学科専門科目 応用科目 臨床系					
求める学習成果(教育目標)					
教育、福祉、医療現場での心理臨床の理論と実践のしかたを習得する。 人の心や行動を科学的に分析する方法や支援する方法を習得する。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input checked="" type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
学校現場で生じている問題のうち、臨床心理学的支援が有効に働く課題について、その実態と支援の在り方を学ぶ。	
授 業 の 到 達 目 標	
学校現場における有効な臨床心理学的支援を、他者と議論し、情報を収集し、自ら主体的に考えることができる。	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習 (PBL) <input checked="" type="checkbox"/> 討議 (ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク (Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション (Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法	
第1回：臨床心理学とは—理論的背景— 事前学習：臨床心理学とは何かについて、インターネットを使って調べ、自分の言葉で説明する。(2時間) 事後学習：授業を踏まえて、臨床心理学とは何かについて、自分の新たな考えを追加し、事前学習の時点で考えていた説明を修正する。(2時間)	
第2回：臨床心理学とは—グループワークを通して— 事前学習：前回の授業後にまとめた「臨床心理学とは何か」について、他者に伝わる言葉でまとめ、配布資料を作る。(2時間) 事後学習：他者の意見を聴き、自分の「臨床心理学とは何か」の定義を加筆修正する。(2時間)。	
第3回：学校における臨床心理学的支援の実際その1—特別支援教育に係わる支援の在り方— 事前学習：実践事例を事前に読み、自分なりに理解したことをまとめておく(2時間) 事後学習：教員の授業を踏まえて、実践事例における支援方法について、自分なりの考えをまとめておく(2時間)	
第4回：特別支援教育に係わる支援についてのグループディスカッション 事前学習：グループディスカッションで配布する資料を作成する(2時間) 事後学習：グループディスカッションで出た他者の意見を踏まえ、グループ全体の意見をまとめた資料を作成する(2時間)	
第5回：グループごとのプレゼンテーション① 事前学習：プレゼンテーションの資料を作成する(2時間) 事後学習：他のグループのプレゼンテーションを踏まえて、自分の考えを再構成する(2時間)	
第6回：学校における臨床心理学的支援の実際その2—いじめに係わる支援の在り方— 事前学習：事前に支援事例を読み、理解を深める(2時間) 事後学習：いじめ事例への対応について、自分なりの考えをまとめる(2時間)	
第7回：いじめについてのグループディスカッション 事前学習：グループディスカッションに提示するための資料を作成する(2時間) 事後学習：他の人の発表も踏まえ、自分の考えを再構成する(2時間)	
第8回：グループごとのプレゼンテーション② 事前学習：プレゼンテーションの資料を作成する(2時間) 事後学習：他のグループのプレゼンテーションを踏まえて、自分たちのグループの考えを再構成する(2時間)	

第9回：学校における臨床心理学的支援の実際その3 — 不登校支援について — 事前学習：事前に資料を読み、理解を深める（2時間） 事後学習：授業を踏まえて、保護者支援の要諦について、自分の考えをまとめる。（2時間）
第10回：不登校支援についてのグループディスカッション 事前学習：グループディスカッションで配布する資料を作成する（2時間） 事後学習：他の人の意見を聴いて、自分の意見を再構成してまとめる（2時間）
第11回：グループごとのプレゼンテーション③ 事前学習：プレゼンテーションの資料を作成する（2時間） 事後学習：他のグループのプレゼンテーションを踏まえて、自分たちのグループの考えを再構成する（2時間）。
第12回：学校現場でも活用できる心理技法の紹介 — 体験実習を通して — 事前学習：事前に資料を読み、理解を深める（2時間） 事後学習：実習を踏まえて、技法の特性についてまとめる。（2時間）
第13回：心理技法の実際 — その使い方と有効性 — 事前学習：この技法を使った支援事例を検索し、まとめる。（2時間） 事後学習：技法についての授業を踏まえて、技法の応用方法についてまとめる（2時間）
第14回：心理技法についてのグループディスカッション 事前学習：これまでの授業の中で、最も印象に残ったトピックについて自分の考えをまとめる。（2時間） 事後学習：グループディスカッションを通して、学校における臨床心理学が果たす役割について自分の考えをまとめる。（2時間）
第15回：総括 事前学習：プレゼンテーションのための資料を作成する（2時間） 事後学習：他の人の発表も踏まえて、自分の資料を再構成して提出する（2時間）

授業実施方法（面接授業・遠隔授業）

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

小レポート（40%）+ディスカッション（30%）+プレゼンテーション（30%）

成績評価基準

他者と議論し、的確に情報を収集し、それらを踏まえて主体的に考え、課題解決に導くことができているか。さらに、その解決策を他者に分かりやすく提示することができるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書

テキストは使用せず、適宜、授業の中で紹介するか、講師がレジュメを配布する。

その他（受講上の注意）

※授業の積み重ねの中で、自分なりの考えや観点を生成していくことを心がけてください。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

社会福祉概論 (Survey of Social Welfare)			担当教員	下山 久之	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
PS-CPO-2476	2単位	4年前期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部心理学科専門科目 応用科目 産業・社会系					
求める学習成果(教育目標)					
教育、福祉、医療現場での心理臨床の理論と実践のしかたを習得する。 人の心や行動を科学的に分析する方法や支援する方法を習得する。 組織や集団における行動の原理を理解し、実社会における人間関係の心理について学ぶ。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input checked="" type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
社会保障および、社会福祉とは何かについて考える。現代社会において、福祉は、医療・教育とともに、私たちのよりよい生活に必要なものである。その福祉の理念やあゆみ、ソーシャルワークと政策の連関など仕組みと方法を解説し、基礎的な理解を深める。	
授 業 の 到 達 目 標	
ソーシャルワーク実践と福祉政策の関連性を理解することができる。 社会保障の基礎的な枠組みを理解することができる。 社会福祉の専門職と対象者観について理解を深める。	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授業の計画及び授業外の学習方法	
第1回：オリエンテーション 社会福祉の原理 その意味と展開、学習の仕方の説明－視点と枠組み－等 事前学習：社会福祉や地域の福祉の取組など身近な福祉の取り組みについて新聞記事やメディア、書籍を読んで自身の理解を深めておくこと。(2時間) 事後学習：講義で紹介した書籍等を通じて復習、福祉の枠組みについてまとめておく(2時間)	
第2回：社会福祉の歴史① 事前学習：現代社会の変化とそれに伴う社会的課題について考えておく(2時間) 事後学習：講義資料をもとに復習し、現代社会の中での社会的課題について考えをまとめておく(2時間)	
第3回：社会福祉の歴史② 事前学習：現代社会における社会福祉制度をまとめておく(2時間) 事後学習：社会福祉の拡大と限定についてまとめておく(2時間)	
第4回：社会福祉の思想・哲学・理論 事前学習：福祉は、どのような思想のもとに展開されてきたのかを予習しておく(2時間) 事後学習：福祉の思想と、市場の論理と倫理について参考文献等からまとめる(2時間)	
第5回：社会問題と社会構造 事前学習：さまざまな社会問題があるのかを予習する。(2時間) 事後学習：社会問題がどのように構成されているのかについてまとめる。(2時間)	
第6回：福祉政策の基本的な視点 事前学習：福祉政策にはどのようなものがあるのかについて予習する。(2時間) 事後学習：福祉政策をめぐる基本的な視点や視座、概念や理念等を理解しておく。(2時間)	
第7回：福祉政策におけるニーズと資源 事前学習：福祉政策の在り方に影響を及ぼすニーズと資源の考え方についての調べておく。(2時間) 事後学習：福祉政策の在り方に影響を及ぼすニーズと資源についてをまとめる。(2時間)	
第8回：福祉政策の構成要素と過程 事前学習：福祉政策を成り立たせる構成要素と過程について予習する。(2時間) 事後学習：福祉政策を成り立たせる構成要素と過程についてまとめる。(2時間)	
第9回：福祉政策の動向と課題 事前学習：近年の福祉政策の動向の1つである包括的支援について予習する。(2時間) 事後学習：包括的支援の具体例である「地域共生社会」の創造について理解を深める。(2時間)	

- 第10回：福祉政策と関連施策
事前学習：福祉政策の関連領域について予習しておく。(2時間)
事後学習：雇用政策、教育政策、住宅政策と福祉政策の関連性についてまとめておく(2時間)
- 第11回：福祉サービスの供給と利用の過程
事前学習：福祉サービスの供給と利用の仕組みと過程について理解を深めておく(2時間)
事後学習：さまざまな福祉供給部門と供給過程についてまとめておく。(2時間)
- 第12回：福祉政策の国際比較①
事前学習：各国の福祉政策を比較する際に用いられる福祉レジーム論について予習しておく。(2時間)
事後学習：福祉レジーム論に基づきドイツ・スウェーデン・アメリカ・イギリス・フランス等の特徴をまとめておく(2時間)
- 第13回：福祉政策の国際比較②
事前学習：福祉レジーム論に基づき東アジアの各国の福祉政策について調べておく。(2時間)
事後学習：韓国・中国等の東アジアの国々の特徴をまとめておく(2時間)
- 第14回：これからの社会福祉 出発点・到達点・展望
事前学習：日本の社会福祉の現状について予習しておく(2時間)
事後学習：日本社会の将来展望に即し、今後の社会福祉の展望をまとめる(2時間)
- 第15回：15回の授業の総まとめ
事前学習：これまでの授業の内容の全体像についてまとめておく。(2時間)
事後学習：社会福祉概論で取り扱った内容の全体を振り返り、誰もが安心して暮らせる社会について考える。(2時間)

授業実施方法(面接授業・遠隔授業)

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

レポート試験(60%) 小レポート(40%)

成績評価基準

社会福祉および社会保障の理念と政策・実践の連関を理解することができるか。
社会保障の基礎的な枠組みを理解することができるか。
社会福祉の専門職と対象者観について理解を深めるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他(レポート提出後)
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

テキスト『社会福祉の原理と政策』中央法規出版

その他(受講上の注意)

社会保障の理解を通じて、身近な福祉の取り組みを自身の生活に生かす。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

心理学特別演習Ⅱ (Special Psychology SeminarⅡ)			担当教員	稲木康一郎、大森 慈子、杉島 一郎、 竹村 明子、西村 則昭、水田 敏郎、 森 俊之、森本 文人、山本 雅代、 吉水ちひろ、渡辺 克徳、山岸 厚仁
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分
PS-OPI-2482	4単位	4年通年	演習	必修
<科目区分> 人間学部心理学科専門科目 応用科目 特別演習・卒業研究				
求める学習成果(教育目標)				
教育、福祉、医療現場での心理臨床の理論と実践のしかたを習得する。 人の心や行動を科学的に分析する方法や支援する方法を習得する。 組織や集団における行動の原理を理解し、実社会における人間関係の心理について学ぶ。				
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)				
<input checked="" type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input checked="" type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input checked="" type="checkbox"/> 計画実行能力 <input checked="" type="checkbox"/> 選択能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題解決能力				

授 業 の 内 容	
卒業研究の計画・実行段階として、心理学特別演習Ⅰで学生自らが設定した課題の解決にむけて、それらを遂行するために考えられる様々なアプローチ方法を立案します。さらに、それらの中から実行が妥当かつ可能なものを選択・吟味していきます。その際に、必要な文献や図書を精読し、発表や議論などを行います。(担当教員によって演習内容は異なります。)	
授 業 の 到 達 目 標	
自ら設けた研究課題に向けて、研究のアプローチ方法を吟味し選択する能力を身につける。研究を実施できる。研究課題に関連する文献などを適切に講読できる。	
アクティブ・ラーニング	
<input checked="" type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input checked="" type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ダイベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input checked="" type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授業の計画及び授業外の学習方法	
第1回～30回：各担当教員の進め方に沿って取り組んでいく。 特別演習Ⅰ同様、授業では、ディスカッションや発表が取り入れられる。 ゼミによっては、自分の研究課題を設定し、実験や調査などの計画を立て実行する。 (課題解決型学習)(討議)(グループワーク)(発表)(実験、実技) 各受講生の課題解決に向けて必要と思われる本演習以外の授業を履修し、または以前に受講した授業で関連のある内容について全般的に復習する。 第1回～30回の事前学習：担当教員の指示に従って準備を行う(2時間)。 第1回～30回の事後学習：担当教員の指示に従って学習を進める(2時間)。	
授業実施方法(面接授業・遠隔授業)	
原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。	
成 績 評 価 方 法	
レポートや発表(50%) 平常点(50%) (レポートや発表の形式は担当教員により異なります。平常点は、授業への参加状況・受講態度などを総合して判断します。)	
成 績 評 価 基 準	
自ら設けた研究課題に向けて、研究のアプローチ方法を立案し選択する能力を身につけることができたか。研究を実施できたか。研究課題に関連する文献などを適切に講読できたか。	

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他(レポートや発表、平常点に対するフィードバックについて)
授業時 仁大eラーニング メール その他(各ゼミの担当教員の方法)

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

担当教員から指示されます。

その他(受講上の注意)

担当教員から指示されます。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

卒業研究 (Graduation Research)			担当教員	稲木康一郎、大森 慈子、杉島 一郎、 竹村 明子、西村 則昭、水田 敏郎、 森 俊之、森本 文人、山本 雅代、 吉水ちひろ、渡辺 克徳、山岸 厚仁
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分
PS-OPI-2483	6単位	4年通年	演習	必修
<科目区分> 人間学部心理学科専門科目 応用科目 特別演習・卒業研究				
求める学習成果(教育目標)				
教育、福祉、医療現場での心理臨床の理論と実践のしかたを習得する。 人の心や行動を科学的に分析する方法や支援する方法を習得する。 組織や集団における行動の原理を理解し、実社会における人間関係の心理について学ぶ。				
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)				
■自他の理解能力 ■コミュニケーション能力 ■情報収集・探索能力 ■社会・職業理解能力 ■役割把握・認識能力 ■計画実行能力 ■選択能力 ■課題解決能力				

授 業 の 内 容	
心理学特別演習Ⅰ・Ⅱを通して学生自らが設定した研究テーマや計画をもとに、研究を進めて卒業論文に仕上げます。	
授 業 の 到 達 目 標	
心理学研究として適切な課題の設定を行う。妥当な研究の方法を選択する能力を身につける。結果の分析能力とそれらに対して考察する力を身につけ、レポート(論文)としてまとめ発表することができる。	
アクティブ・ラーニング	
■課題解決型学習(PBL) ■討議(ディスカッション、ダイベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) ■グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) ■発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク ■実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授業の計画及び授業外の学習方法	
担当教員の指導に従って取り組んでいきますが、おおむね以下のようなスケジュールになります。	
4～5月 課題・研究計画の立案と決定 6～8月 研究の実行 9～10月 結果の分析 11～12月 考察や論文のまとめ 1月下旬～2月上旬 卒業研究発表会 (課題解決型学習)(討議)(グループワーク)(発表)(実験、実技) ※卒業研究発表会に関しては全学生が同じスケジュールで行われますが、それまでのスケジュールは配属先のゼミにより異なることがあります。 担当の教員から適宜指示されます。	
授業実施方法(面接授業・遠隔授業)	
原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。	
成 績 評 価 方 法	
論文(50%) 平常点(40%) 発表(10%) (平常点は卒業研究と発表への参加・取り組み状況や、取り組む態度などを総合して判断します。)	
成 績 評 価 基 準	
心理学研究として適切な課題が設定されているか。妥当な研究の方法を選択する能力が身についているか。結果の分析能力とそれらに対して考察する力を身につけ、レポート(論文)としてまとめ発表することができるか。	

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他(論文、平常点、発表に対するフィードバックについて)
授業時 仁大eラーニング メール その他(各ゼミの担当教員の方法、および、卒業研究発表会)

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

担当教員から指示されます。

その他(受講上の注意)

心理学の様々な専門分野から自らがテーマや方法を決めて研究を進めます。4年間の集大成ともいえる研究となります。全力で取り組んでください。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

公認心理師の職責 (Professionalism of Licensed Psychologists)			担当教員	稲木康一郎、森 俊之、吉水ちひろ、 渡辺 克徳、目黒 達哉	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態		選択区分
PS-S-2491	2単位	4年前期	講義		選択
<科目区分> 人間学部心理学科専門科目 公認心理師に関する科目					
求める学習成果(教育目標)					
教育、福祉、医療現場での心理臨床の理論と実践のしかたを習得する。 人の心や行動を科学的に分析する方法や支援する方法を習得する。 組織や集団における行動の原理を理解し、実社会における人間関係の心理について学ぶ。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input checked="" type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容					
公認心理師に必要な、公認心理師の役割、公認心理師の法的義務及び倫理、要心理支援者の安全の確保、情報の適切な取扱い、自己課題発見・解決能力、生涯学習への準備、多職種連携及び地域連携についての知識を身につけます。また、保健医療、福祉、教育その他の分野における公認心理師の具体的な業務について理解します。					
授 業 の 到 達 目 標					
① 公認心理師の役割を理解し、法的義務や倫理、チーム支援、守秘義務のあり方等について知る。 ② 保健医療、福祉、教育その他の分野における公認心理師の具体的な業務について説明できる。 ③ 心理職としての自己課題とその課題解決能力を理解し、生涯学習に取り組む態度を身につける。					
アクティブ・ラーニング					
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート) <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> 発表(プレゼンテーション) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他					
授業の計画及び授業外の学習方法					
公認心理師の主要5分野の教員によるオムニバス授業です。集中講義形式で1日に3回の講義を合計5日間行います。各テーマの内容の多少によって、各教員内で順番や時間数を入れ替えることがあります。開講日は概ね毎月1回、時間割や掲示を参照してください。					
第1日【渡辺】保健医療分野ほか					
第1回：オリエンテーション 事前学習：シラバスを熟読すること(2時間)。 事後学習：講義の内容を各自で復習すること。(2時間)					
第2回：公認心理師の役割 事前学習：テキスト第1章を読み、疑問点をメモしておくこと(2時間)。 事後学習：講義の内容について受講生どうして話し合うこと(2時間)。					
第3回：保健医療分野における公認心理師の具体的な業務 事前学習：テキスト第5章を読み、疑問点をメモしておくこと(2時間)。 事後学習：小レポートを作成すること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問したりすること(2時間)。					
第2日【森】福祉分野ほか					
第4回：公認心理師の法的義務・倫理 事前学習：テキスト第2章を読み、疑問点をメモしておくこと(2時間)。 事後学習：講義の内容を各自で復習すること(2時間)。					
第5回：要心理支援者の安全の確保 事前学習：テキスト第3章を読み、疑問点をメモしておくこと(2時間)。 事後学習：講義の内容について受講生どうして話し合うこと(2時間)。					
第6回：福祉分野における公認心理師の具体的な業務 事前学習：テキスト第6章を読み、疑問点をメモしておくこと(2時間)。 事後学習：小レポートを作成すること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問したりすること(2時間)。					

- 第3日【目黒】教育分野ほか
 第7回：情報の適切な取り扱い
 事前学習：テキスト第4章を読み、疑問点をメモしておくこと（2時間）。
 事後学習：講義の内容を各自で復習すること（2時間）。
- 第8回：支援者としての自己課題発見・解決能力
 事前学習：テキスト第10章を読み、疑問点をメモしておくこと（2時間）。
 事後学習：講義の内容について受講生どうして話し合うこと（2時間）。
- 第9回：教育分野における公認心理師の具体的な業務
 事前学習：テキスト第7章を読み、疑問点をメモしておくこと（2時間）。
 事後学習：小レポートを作成すること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問したりすること（2時間）。
- 第4日【吉水】司法・犯罪分野ほか
 第10回：生涯学習への準備
 事前学習：テキスト第11章を読み、疑問点をメモしておくこと（2時間）。
 事後学習：講義の内容を各自で復習すること（2時間）。
- 第11回：多職種連携と地域連携
 事前学習：テキスト第12章を読み、疑問点をメモしておくこと（2時間）。
 事後学習：講義の内容について受講生どうして話し合うこと（2時間）。
- 第12回：司法・犯罪分野における公認心理師の具体的な業務
 事前学習：テキスト第8章を読み、疑問点をメモしておくこと（2時間）。
 事後学習：小レポートを作成すること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問したりすること（2時間）。
- 第5日【稲木】産業・労働分野ほか
 第13回：公認心理師の今後の展開
 事前学習：テキスト第13章を読み、疑問点をメモしておくこと（2時間）。
 事後学習：講義の内容を各自で復習すること（2時間）。
- 第14回：産業・労働分野における公認心理師の具体的な業務
 事前学習：テキスト第9章を読み、疑問点をメモしておくこと（2時間）。
 事後学習：講義の内容について受講生どうして話し合うこと（2時間）。
- 第15回：まとめ
 事前学習：これまでテキストを読んでメモした疑問点を整理しておくこと（2時間）。
 事後学習：小レポートを作成すること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問したりすること（2時間）。
- 第16回：定期試験

授業実施方法（面接授業・遠隔授業）

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

平常点（15%）、小レポート（テスト）（25%）、および、定期試験（60%）で評価する。
 平常点は出席・態度・発言・課題（ワークシート等）の提出状況などを総合的に評価する。
 また、小テスト（レポート）は各教員が1回ずつ行うので指示に従うこと。
 定期試験は資料の持込を不可とする。

成績評価基準

- ①公認心理師の役割が理解できているか。
- ②公認心理師の具体的な業務を説明できるか。
- ③生涯学習に取り組む態度が身についているか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)
テキスト、参考図書
野島一彦(編)『公認心理師の職責』遠見書房 2018年 2,200円 ISBN: 978-4-86616-051-1
その他(受講上の注意)
公認心理師資格に必要な特設科目です。 原則として、1日つき3回の集中講義を5セット行います。 国家試験対策として、大学院生が聴講する場合があります。
オフィスアワー
UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

心理演習 (Seminar in Psychology)			担当教員	渡辺 克徳、稲木 康一郎	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
PS-S-2492	2単位	4年前期	演習	選択	
<科目区分> 人間学部心理学科専門科目 公認心理師に関する科目					
求める学習成果(教育目標)					
公認心理師に必要な知識及び技能の基本的な水準を修得すること					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input checked="" type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input checked="" type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input checked="" type="checkbox"/> 計画実行能力 <input checked="" type="checkbox"/> 選択能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
(ア) 心理に関する支援を要する者等に関する以下の知識及び技能の修得 (1) コミュニケーション (2) 心理検査 (3) 心理面接 (4) 地域支援 等 (イ) 心理に関する支援を要する者等の理解とニーズの把握及び支援計画の作成 (ウ) 心理に関する支援を要する者の現実生活を視野に入れたチームアプローチ (エ) 多職種連携及び地域連携 (オ) 公認心理師としての職業倫理及び法的義務への理解	
授 業 の 到 達 目 標	
ロールプレイや事例検討を通じて、公認心理師に必要な知識及び技能の基本的な水準を修得することを目的とする。	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習 (PBL) <input checked="" type="checkbox"/> 討議 (ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク (Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション (Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (ロールプレイング)	
授業の計画及び授業外の学習方法	
第1回：【オ】 オリエンテーション (稲木・渡辺) シラバスの説明、演習の心構え、公認心理師の法的義務 事前学習：シラバスを熟読すること (2時間) 事後学習：公認心理師法について復習すること (2時間)	
第2回：【ア(1)】 コミュニケーション (傾聴・共感・質問・承認など) (渡辺・稲木) 対人援助現場で使える諸技法 (ロールプレイング・コミュニケーション技術の理解) 事前学習：参考資料を読んでおくこと (2時間) 事後学習：対人援助現場で使える諸技法について復習すること (2時間)	
第3回：【ア(1)】 コミュニケーション (傾聴・共感・質問・承認など) (渡辺・稲木) 心理面接のロールプレイング (逐語・DVDなどの教材を用いて)、グループディスカッション 事前学習：参考資料を読んでおくこと (2時間) 事後学習：逐語記録を作成すること (2時間)	
第4回：【ア(2)イ・保健医療】 心理検査 (精神疾患簡易構造化面接法M.I.N.I.) (渡辺・稲木) 支援を要する者の心理・対象者のニーズの把握・適切なフィードバックの方法・支援計画のたてかた、グループディスカッション 事前学習：参考資料を読んでおくこと (2時間) 事後学習：心理検査について復習すること (2時間)	
第5回：【イ・保健医療】 認知行動理論を用いたニーズの把握と支援計画の作成 (渡辺・稲木) うつ病・不安症/不安関連障害・摂食障害など、グループディスカッション 事前学習：参考資料を読んでおくこと (2時間) 事後学習：認知行動理論について復習すること (2時間)	
第6回：【ア(3)・教育】 心理面接 (SC事例の初回面接を検討) (稲木・渡辺) 事例検討を通して、要心理支援者とのラポールの形成を理解、グループディスカッション 事前学習：参考資料を読んでおくこと (2時間) 事後学習：心理面接について復習すること (2時間)	

- 第7回：【ア(3)イ・教育】心理面接(ＳＣ事例の2回目の面接を検討)(稲木・渡辺)
事例検討とロールプレイングを通して、要心理支援者のニーズ把握と支援計画の作成、グループディスカッション
事前学習：参考資料を読んでおくこと(2時間)
事後学習：心理面接について復習すること(2時間)
- 第8回：【ウ・教育】チームアプローチ(ＳＣ事例の支援者会議を検討)(稲木・渡辺)
事例検討と支援会議(ＳＣ, 担任, 養護教諭などが参加)のロールプレイング、グループディスカッション
事前学習：参考資料を読んでおくこと(2時間)
事後学習：チームアプローチについて復習すること(2時間)
- 第9回：【ウ・福祉】チームアプローチ(地域支援のチームアプローチの理解)(渡辺・稲木)
生物・心理・社会の視点でアセスメントを行う
認知行動的な視点からチームアプローチの心得を学ぶ、グループディスカッション
事前学習：参考資料を読んでおくこと(2時間)
事後学習：チームアプローチについて復習すること(2時間)
- 第10回：【エ・福祉】連携(地域支援のチームアプローチの理解)(渡辺・稲木)
多職種連携の心得・地域連携の心得, 事例・論文等での学習, リハ・カンファレンスなど、グループディスカッション
事前学習：参考資料を読んでおくこと(2時間)
事後学習：連携について復習すること(2時間)
- 第11回：【アイ・司法犯罪】嗜癖問題への理解と認知行動療法を用いた介入(渡辺・稲木)
事例・論文・ビデオ教材等での学習、グループディスカッション
事前学習：参考資料を読んでおくこと(2時間)
事後学習：認知行動療法について復習すること(2時間)
- 第12回：【アイ・司法犯罪】心理面接(集団アプローチ)(渡辺・稲木)
矯正教育, 集団療法(SST・グループワーク)の理解、グループディスカッション
事前学習：参考資料を読んでおくこと(2時間)
事後学習：心理面接(集団アプローチ)について復習すること(2時間)
- 第13回：【ア(4)・産業労働】事業場におけるメンタルヘルス活動(稲木・渡辺)
ストレスマネジメントの予防教育の研修計画と教材の作成、グループディスカッション
事前学習：参考資料を読んでおくこと(2時間)
事後学習：メンタルヘルス活動について復習すること(2時間)
- 第14回：【ア(4)・産業労働】事業場におけるメンタルヘルス活動(稲木・渡辺)
ストレスマネジメントの予防教育の実際をプレゼンテーション、グループディスカッション
事前学習：プレゼンテーションのリハーサルを行うこと(2時間)
事後学習：プレゼンテーションの振り返りについて受講者どうし話し合うこと(2時間)
- 第15回：【オ】職業倫理の理解とまとめ(稲木・渡辺)
倫理的ジレンマの模擬事例をもとに討論, 演習全体のシェアリングと講評
事前学習：参考資料を読んでおくこと(2時間)
事後学習：公認心理師の職業倫理について復習すること(2時間)

授業実施方法(面接授業・遠隔授業)

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

平常点(40%), ロールプレイング(30%), 支援計画(30%)
平常点は出席, 参加態度, 討論での発言を総合的に評価する。
ロールプレイングは逐語記録, 振り返りレポートなどの内容を評価する。
支援計画は支援計画, 研修計画(教材)などの内容を評価する。

成績評価基準

公認心理師に必要な基本的な知識を説明できる。
公認心理師に必要な基本的な技能を実行できる。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

スライド資料や参考資料をeラーニングに掲載します。
 以下、参考図書です。

『対人援助の現場で使える 聴く・伝える・共感する技術 便利帖(現場で使える便利帖)』大谷佳子著 翔泳社
 『対人援助の現場で使える 質問する技術 便利帖(現場で使える便利帖)』大谷佳子著 翔泳社
 『対人援助の現場で使える 承認する・勇気づける技術 便利帖(現場で使える便利帖)』大谷佳子著 翔泳社
 『M.I.N.I.—精神疾患簡易構造化面接法 日本語版5.0.0(2003)』David V.Sheehan(著) 星和書店
 『公認心理師養成のための保健・医療系実習ガイドブック』鈴木伸一(編集代表) 北大路書房

その他(受講上の注意)

- ・履修者数に応じて2クラスに分かれる場合がある。この場合1クラス15名以下とし各1名の担当教員を置く。
- ・授業の中で状況に応じて、自分の感じたことや考えたことについて他者に話してもらうことがある。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

心理実習 (Practical Training in Psychology)			担当教員	森 俊之、吉水 ちひろ	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
PS-S-2493	3単位	4年通年	実習	選択	
<科目区分> 人間学部心理学科専門科目 公認心理師に関する科目					
求める学習成果(教育目標)					
教育、福祉、医療現場での心理臨床の理論と実践のしかたを習得する。 人の心や行動を科学的に分析する方法や支援する方法を習得する。 組織や集団における行動の原理を理解し、実社会における人間関係の心理について学ぶ。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input checked="" type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input checked="" type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
心理に関する支援を行う9の施設の訪問学習およびその事前・事後学習を通して、心理に関する支援を行う施設の理解を深めるとともに、心理に関する支援を要する者へのチームアプローチ、多職種連携や地域連携、公認心理師としての職業倫理及び法的義務について考察する。	
授 業 の 到 達 目 標	
①心理に関する支援を行うさまざまな施設を理解するとともに、その施設における心理職の役割や具体的な業務について理解する。 ②公認心理師の職業倫理や法的義務、多職種連携や地域連携のあり方等について理解する。 ③心理職としての自己の能力や課題を理解し、生涯学習に取り組む態度を身に付ける。	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習 (PBL) <input checked="" type="checkbox"/> 討議 (ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク (Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション (Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法	
第1回：オリエンテーション 家庭での事前事後学習：昨年度までに学んできた授業（公認心理師科目）内容を復習しておく（1.5時間） 第2回：福祉領域の理解①（事前学習） 家庭での事前事後学習：提示された課題について各自で調べておく（1.5時間） 第3回：福祉領域の理解①（施設訪問） 家庭での事前事後学習：施設訪問での様子を記録としてまとめておく（1.5時間） 第4回：福祉領域の理解①（事後学習） 家庭での事前事後学習：事前学習・施設訪問・事後学習の内容を踏まえ、レポートをまとめる（1.5時間） 第5回：福祉領域の理解②（事前学習） 家庭での事前事後学習：提示された課題について各自で調べておく（1.5時間） 第6回：福祉領域の理解②（施設訪問） 家庭での事前事後学習：施設訪問での様子を記録としてまとめておく（1.5時間） 第7回：福祉領域の理解②（事後学習） 家庭での事前事後学習：事前学習・施設訪問・事後学習の内容を踏まえ、レポートをまとめる（1.5時間） 第8回：産業領域の理解①（事前学習） 家庭での事前事後学習：提示された課題について各自で調べておく（1.5時間） 第9回：産業領域の理解①（施設訪問） 家庭での事前事後学習：施設訪問での様子を記録としてまとめておく（1.5時間） 第10回：産業領域の理解①（事後学習） 家庭での事前事後学習：事前学習・施設訪問・事後学習の内容を踏まえ、レポートをまとめる（1.5時間） 第11回：産業領域の理解②（事前学習） 家庭での事前事後学習：提示された課題について各自で調べておく（1.5時間） 第12回：産業領域の理解②（施設訪問） 家庭での事前事後学習：施設訪問での様子を記録としてまとめておく（1.5時間） 第13回：産業領域の理解③（事後学習） 家庭での事前事後学習：事前学習・施設訪問・事後学習の内容を踏まえ、レポートをまとめる（1.5時間）	

- 第14回：医療領域の理解①（事前学習）
家庭での事前事後学習：提示された課題について各自で調べておく（1.5時間）
- 第15回：医療領域の理解①（施設訪問）
家庭での事前事後学習：施設訪問での様子を記録としてまとめておく（1.5時間）
- 第16回：医療領域の理解①（事後学習）
家庭での事前事後学習：事前学習・施設訪問・事後学習の内容を踏まえ、レポートをまとめる（1.5時間）
- 第17回：医療領域の理解②（事前学習）
家庭での事前事後学習：提示された課題について各自で調べておく（1.5時間）
- 第18回：医療領域の理解②（施設訪問）
家庭での事前事後学習：施設訪問での様子を記録としてまとめておく（1.5時間）
- 第19回：医療領域の理解②（事後学習）
家庭での事前事後学習：事前学習・施設訪問・事後学習の内容を踏まえ、レポートをまとめる（1.5時間）
- 第20回：教育領域の理解①（事前学習）
家庭での事前事後学習：提示された課題について各自で調べておく（1.5時間）
- 第21回：教育領域の理解①（施設訪問）
家庭での事前事後学習：施設訪問での様子を記録としてまとめておく（1.5時間）
- 第22回：教育領域の理解①（事後学習）
家庭での事前事後学習：事前学習・施設訪問・事後学習の内容を踏まえ、レポートをまとめる（1.5時間）
- 第23回：教育領域の理解②（事前学習）
家庭での事前事後学習：提示された課題について各自で調べておく（1.5時間）
- 第24回：教育領域の理解②（施設訪問）
家庭での事前事後学習：施設訪問での様子を記録としてまとめておく（1.5時間）
- 第25回：教育領域の理解②（事後学習）
家庭での事前事後学習：事前学習・施設訪問・事後学習の内容を踏まえ、レポートをまとめる（1.5時間）
- 第26回：司法領域の理解（事前学習）
家庭での事前事後学習：提示された課題について各自で調べておく（1.5時間）
- 第27回：司法領域の理解（施設訪問）
家庭での事前事後学習：施設訪問での様子を記録としてまとめておく（1.5時間）
- 第28回：司法領域の理解（事後学習）
家庭での事前事後学習：事前学習・施設訪問・事後学習の内容を踏まえ、レポートをまとめる（1.5時間）
- 第29回：他の領域の理解
家庭での事前事後学習：訪問した施設以外の支援施設について各自で調べ、討論に向けての意見を整理しておく（1.5時間）
- 第30回：まとめの討論
家庭での事前事後学習：1年間の実習を振り返り、まとめのレポートをまとめる（1.5時間）

※施設の都合等により、順番が変更になることがあります。

事前学習では、訪問予定施設の設置目的、業務内容、職員構成、心理職の役割、利用者の概要などについて確認し、施設訪問時に見学するべきポイント等をグループワーク等を取り入れながら討議・検討する。
施設訪問（実習・フィールドワーク）の際には、個々の施設の実情に応じて、施設見学、施設職員との事例検討、要心理支援者との関わりなどを体験する。
事後学習では、施設での体験を振り返り、多職種連携・地域連携等がどのように行われていたかグループワーク等を取り入れながら討議・検討する。

授業実施方法（面接授業・遠隔授業）

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

実習記録ノート（50%）、平常点（50%）
（平常点は、授業への参加状況、受講態度、授業時の討論内容等により総合的に評価する。）

成績評価基準

- ①心理に関する支援を行うさまざまな施設やその施設における心理職の役割や具体的な業務について説明できるか。
- ②公認心理師の職業倫理や法的義務、多職種連携や地域連携のあり方について説明できるか。
- ③生涯学習に取り組む態度が身についているか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

教科書は指定しない。適宜、補助資料を配付する。
 参考書は授業中、随時、紹介する。

その他(受講上の注意)

公認心理師資格に必要な特設科目です。
 授業料とは別に実習費が必要となります。
 学外の施設に訪問するため、対外的なマナー等にも留意してください。
 履修者数に応じて、1クラス15名以下となるようにクラスわけ(各1名の担当教員を配置)がなされる場合があります。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

情報メディア (Information Media)			担当教員	安彦 智史	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-S-2110	2単位	1年後期	講義	必修	
<科目区分> 人間学部コミュニケーション学科専門科目 基幹科目 コミュニケーション学基礎B群					
求める学習成果(教育目標)					
言語スキルやその他のコミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、国際化・情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input checked="" type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
本授業では、情報化社会の中で必要となる基礎知識の習得を目的とし、自学自習を中心とした反転学習を行う。本授業を通して、通信の仕組みやコンピュータの仕組み等のコンピュータサイエンスに関する基礎知識のほか、ITを業務やビジネスに活かすために必要な知識の習得を行う。	
授 業 の 到 達 目 標	
①企業や関連業務、経営戦略やビジネスインダストリに関する知識を習得する。 ②情報システムの開発や運用に関する基礎知識を習得する。 ③コンピュータシステムやネットワークに関する知識を習得する。	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習 (PBL) <input type="checkbox"/> 討議 (ディスカッション、ダイバート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク (Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション (Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (ITパスポート試験に関連するCBTを実施)	
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法	
第1回：チュートリアル，授業の進め方，成績評価について 事前学習：シラバスを読み、ITパスポート資格について学習すること（2時間） 事後学習：テキストを購入し、次の実技試験範囲について学習すること（2時間） 第2回：反転学習—第1章：業務—（実技試験） 事前学習：教材を利用し、実技試験範囲について学習すること（2時間） 事後学習：教材を利用し、次の実技試験範囲について学習すること（2時間） 第3回：反転学習—第2章：法務—（実技試験） 事前学習：教材を利用し、実技試験範囲について学習すること（2時間） 事後学習：教材を利用し、次の実技試験範囲について学習すること（2時間） 第4回：理解テスト—業務と法律—（実技試験） 事前学習：教材を利用し、実技試験範囲について学習すること（2時間） 事後学習：教材を利用し、次の実技試験範囲について学習すること（2時間） 第5回：反転学習—第3章：コンピュータシステム—（実技試験） 事前学習：教材を利用し、実技試験範囲について学習すること（2時間） 事後学習：教材を利用し、次の実技試験範囲について学習すること（2時間） 第6回：反転学習—第4章：システム開発—（実技試験） 事前学習：教材を利用し、実技試験範囲について学習すること（2時間） 事後学習：教材を利用し、次の実技試験範囲について学習すること（2時間） 第7回：理解テスト—コンピュータシステムとシステム開発—（実技試験） 事前学習：教材を利用し、実技試験範囲について学習すること（2時間） 事後学習：教材を利用し、次の実技試験範囲について学習すること（2時間） 第8回：反転学習—第5章：ハードウェア—（実技試験） 事前学習：教材を利用し、実技試験範囲について学習すること（2時間） 事後学習：教材を利用し、次の実技試験範囲について学習すること（2時間） 第9回：反転学習—第6章：基礎理論—（実技試験） 事前学習：教材を利用し、実技試験範囲について学習すること（2時間） 事後学習：教材を利用し、次の実技試験範囲について学習すること（2時間）	

- 第10回：理解テスト — ハードウェアと基礎理論 — (実技試験)
 事前学習：教材を利用し、実技試験範囲について学習すること (2時間)
 事後学習：教材を利用し、次の実技試験範囲について学習すること (2時間)
- 第11回：反転学習 — 第7章：ソフトウェア — (実技試験)
 事前学習：教材を利用し、実技試験範囲について学習すること (2時間)
 事後学習：教材を利用し、次の実技試験範囲について学習すること (2時間)
- 第12回：反転学習 — 第8章：ネットワーク — (実技試験)
 事前学習：教材を利用し、実技試験範囲について学習すること (2時間)
 事後学習：教材を利用し、次の実技試験範囲について学習すること (2時間)
- 第13回：理解テスト — ソフトウェアとネットワーク — (実技試験)
 事前学習：教材を利用し、実技試験範囲について学習すること (2時間)
 事後学習：教材を利用し、次の実技試験範囲について学習すること (2時間)
- 第14回：反転学習 — 第9章：セキュリティ — (実技試験)
 事前学習：教材を利用し、実技試験範囲について学習すること (2時間)
 事後学習：教材を利用し、次の実技試験範囲について学習すること (2時間)
- 第15回：理解テスト — セキュリティ — (実技試験)
 事前学習：教材を利用し、実技試験範囲について学習すること (2時間)
 事後学習：教材を利用し、全範囲について学習すること (2時間)
- 第16回：期末試験

本授業は、国家資格であるITパスポートの獲得を目指した授業である。ITパスポートの教材は様々な出版社から出版され、試験の過去問題も公開されている。各自、自分に合った教材を選択し、自学自習を行うこと。また、推奨学習時間は復習2時間、予習2時間である。また、本授業で利用する教材は大学以外のインターネットアクセス環境からも学習可能である。

授業実施方法(面接授業・遠隔授業)

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

期末の試験(40%)、全5回の理解度テスト(50%)、大福帳の記入内容(10%)

成績評価基準

ITの基礎知識をえ、それを説明することができるか。
 特に、授業の到達目標にも挙げた以下の項目についての知識を身につけていることが評価基準となる。

- ①企業や関連業務、経営戦略やビジネスインダストリ
- ②情報システムの開発や運用に関する基礎知識
- ③コンピュータシステムやネットワークに関する知識

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他(反転学習に対するフィードバックについて)
授業時 仁大eラーニング メール その他(週に1度ヘルプデスクを設置し、自学自習を行いながら、わからない箇所を解決可能な環境を整える)

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

令和6年ITパスポート合格教本を利用する。
 また、ITパスポートドットコムというWebサイトを利用する。

その他(受講上の注意)

私語等、講義を妨害する学生には退出してもらおう。単位を与えない場合もある。受講生の理解度によって授業計画には変更を加える可能性がある。
毎回eラーニングで理解度テストを実施し、大福帳を記入し双方向で学習状況を把握しながら進める。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

デザインマネジメント論 (Design Management)			担当教員	教務課	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-A00-2461	2単位	4年前期	演習	選択	
<科目区分> 人間学部コミュニケーション学科専門科目 応用科目 企画・マネジメントコース					
求める学習成果(教育目標)					
コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、課題解決のための構想力と判断力を身につけます。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
■自他の理解能力		■コミュニケーション能力		■情報収集・探索能力	
■役割把握・認識能力		■計画実行能力		■社会・職業理解能力	
		■選択能力		■課題解決能力	

授 業 の 内 容	
<p>これからの社会や世界に向けて、デザインを広義的に捉え社会や世界を観察し対話し問題提起できる方法や環境や機会とし、福井県内や国内外の個人や団体の様々な事業、プロジェクトを通して学ぶ。自身の課題や問題と認識し、講義だけでなくディスカッション(対話)やリサーチ(調査取材インタビュー)なども行い、実践してより知識を広げ思考を深めていく。</p>	
授 業 の 到 達 目 標	
<p>これまでのデザインに関する知識や経験を洗い出し自身を見直しデザインを広義的に捉える準備をし、この授業で得られた参考例やディスカッション(対話)で自ら課題や問題を提案することができ、さらにディスカッション(対話)やリサーチ(取材調査インタビュー)を試行錯誤しつつ繰り返すことで課題や問題をより理解し発展させることができる。そしてさらにその課題や問題のために思考し試行することを継続し展開していくことができる。</p>	
アクティブ・ラーニング	
<p><input type="checkbox"/>課題解決型学習(PBL) <input checked="" type="checkbox"/>討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/>グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/>発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/>実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/>実験、実技 <input type="checkbox"/>その他</p>	
授業の計画及び授業外の学習方法	
<p>第1回：オリエンテーション/イントロダクション(講義) ……………<課題1：ミニレポート「デザインとは?1」提出> 事前学習：シラバスを確認し、今後の内容について理解し準備する(2時間) 事後学習：課題1ミニレポート「デザインとは?1」を作成する(2時間)</p> <p>第2回：「広義的に捉えるデザイン」(講義/ディスカッション) ……………<課題2：レポート「デザインとは?2」提出> 事前学習：課題1ミニレポート「デザインとは?1」を更新する(2時間) 事後学習：課題2ミニレポート「デザインとは?2」を完成する(2時間)</p> <p>第3回：福井県内のデザインプロジェクト1(講義) ……………<課題3：ミニレポート「福井県内のデザインプロジェクト1」を提出> 事前学習：講義3の内容、福井県内のデザインプロジェクトを調べる(2時間) 事後学習：課題3ミニレポート「福井県内のデザインプロジェクト1」を作成する(2時間)</p> <p>第4回：福井県内のデザインプロジェクト2(講義) ……………<課題4：ミニレポート「福井県内のデザインプロジェクト2」を提出> 事前学習：講義4の内容、福井県内のデザインプロジェクトを調べる(2時間) 事後学習：課題4ミニレポート「福井県内のデザインプロジェクト1」を作成する(2時間)</p> <p>第5回：福井県内のデザインプロジェクト3(講義) ……………<課題5：ミニレポート「福井県内のデザインプロジェクト3」を提出> 事前学習：講義5の内容、福井県内のデザインプロジェクトを調べる(2時間) 事後学習：課題5ミニレポート「福井県内のデザインプロジェクト1」を作成する(2時間)</p> <p>第6回：福井県内のデザインプロジェクト4(講義/ディスカッション) ……………<課題6：レポート「福井県内のデザインプロジェクト4まとめ」を提出> 事前学習：これまでのミニレポート「福井県内のデザインプロジェクト」をまとめる(2時間) 事後学習：課題6レポート「福井県内のデザインプロジェクト4まとめ」を完成する(2時間)</p>	

第7回：国内のデザインプロジェクト1（講義） ……………＜課題7：ミニレポート「国内のデザインプロジェクト1」を提出＞ 事前学習：講義7の内容、国内のデザインプロジェクトを調べる（2時間） 事後学習：課題7ミニレポート「国内のデザインプロジェクト1」を作成する（2時間）
第8回：国内のデザインプロジェクト2（講義） ……………＜課題8：ミニレポート「国内のデザインプロジェクト2」を提出＞ 事前学習：講義7の内容、国内のデザインプロジェクトを調べる（2時間） 事後学習：課題8ミニレポート「国内のデザインプロジェクト2」を作成する（2時間）
第9回：国外のデザインプロジェクト（講義） ……………＜課題9：ミニレポート「国外のデザインプロジェクト」を提出＞ 事前学習：講義9の内容、国内のデザインプロジェクトを調べる（2時間） 事後学習：課題9ミニレポート「国外のデザインプロジェクト」を作成する（2時間）
第10回：プロジェクトの創出1（講義/グループワーク/ディスカッション） ……………＜課題10：ミニレポート「プロジェクトの創出1」を提出＞ 事前学習：これまでのミニレポート、レポート全てを振り返りまとめる（2時間） 事後学習：課題10ミニレポート「プロジェクトの創出1」を作成する（2時間）
第11回：プロジェクトの創出2（講義/グループワーク/ディスカッション） ……………＜課題11：ミニレポート「プロジェクトの創出2」を提出＞ 事前学習：これまでのミニレポート、レポート全てを振り返りまとめる（2時間） 事後学習：課題11ミニレポート「プロジェクトの創出2」を作成する（2時間）
第12回：プロジェクトの実践1（講義/グループワーク/ディスカッション/リサーチ） ……………＜課題12：ミニレポート「プロジェクトの実践1」を提出＞ 事前学習：課題11ミニレポート「プロジェクトの創出2」からリサーチをはじめめる（2時間） 事後学習：課題12ミニレポート「プロジェクトの実践1」を作成する（2時間）
第13回：プロジェクトの実践2（講義/グループワーク/ディスカッション/リサーチ） ……………＜課題13：ミニレポート「プロジェクトの実践2」を提出＞ 事前学習：課題12ミニレポート「プロジェクトの実践1」からリサーチをはじめめる（2時間） 事後学習：課題13ミニレポート「プロジェクトの実践2」を作成する（2時間）
第14回：プロジェクトの実践3（講義/グループワーク/ディスカッション/リサーチ） ……………＜課題14：ミニレポート「プロジェクトの実践3」を提出＞ 事前学習：課題13ミニレポート「プロジェクトの実践2」からリサーチをはじめめる（2時間） 事後学習：課題14ミニレポート「プロジェクトの実践3」を作成する（2時間）
第15回：最終プレゼンテーション（発表/ディスカッション） ……………＜課題15：最終レポート「デザインプロジェクト」最終提出＞ 事前学習：これまでのミニレポート「プロジェクトの創出」「プロジェクトの実践」をまとめる（2時間） 事後学習：これまでの講義、グループワーク、ディスカッション、リサーチを全て振り返り最終レポート「デザインプロジェクト」を作成し完成する（2時間）

授業実施方法（面接授業・遠隔授業）

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

課題毎のミニレポートやレポート、ディスカッションやグループワークでの内容、リサーチの過程や結果から理解度と達成度70%、最終レポートと発表（プレゼンテーション）から理解度と達成度 30%

成績評価基準

講義の内容をよく理解しレポートによって言語化し積み重ねていくことができている。ディスカッションやグループワークにおいて内容を理解し対話を重ね様々な方法を試行し自身の意見をまとめ発言できるか、また他者の意見を受け入れ内容を広げているか。リサーチにおいても様々な方法を試行し創意工夫をしているか。プレゼンテーションにおいても同様に創意工夫しこれからの問題提起ができているか。自らがより広く深く理解するためにリサーチや事前事後の学習、調査や取材やインタビューなどリサーチを欠かさないか。最終レポートの完成度を上げるためにこれまでのレポートやディスカッションやグループワークやリサーチを振り返り、自身の課題としてまとめられているか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

その他(受講上の注意)

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

プロジェクト・デザイン研究 (Research on Project Design)			担当教員	小川 慶	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-A00-2464	2単位	4年通年	演習	選択	
＜科目区分＞ 人間学部コミュニケーション学科専門科目 応用科目 企画・マネジメントコース					
求める学習成果(教育目標)					
コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、課題解決のための構想力と判断力を身につけます。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input checked="" type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input checked="" type="checkbox"/> 計画実行能力 <input checked="" type="checkbox"/> 選択能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
<p>プロジェクト・デザイン(基礎・演習・研究)は、2年生～4年生の3年間という長期的展望に立って、年度を重ねながら最終的に学年を超えたコラボレーションでプロジェクトを生み出し、実現する授業に育てていくことを目指す科目である。</p> <p>本講義では、チーム・ビルディングという観点を基軸とするなかで、「協働」という一連のプロセスを経験することを目的とする。</p>	
授 業 の 到 達 目 標	
一連のプロセスを通して、「協働」の楽しさ、および難しさの経験的理解を得ることを到達目標とする。	
アクティブ・ラーニング	
<input checked="" type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法	
<p>第1回：ガイダンス(講義の目的や今後の流れ、評価方法等についての説明) 事前学習：講義前にシラバスを読み、質問項目をまとめておく。(2時間) 事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておく。(2時間)</p> <p>第2回：チーム・オリエンテーション(グループワーク) 事前学習：講義前にシラバスを読み、質問項目をまとめておく。(2時間) 事後学習：チームメンバーと交流し、互いの得意な領域を確認しておく。(2時間)</p> <p>第3回：作業(グループワーク) 事前学習：講義にスムーズに参加できるよう、前回の講義内容を復習しておく。(2時間) 事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておく。(2時間)</p> <p>第4回：作業(グループワーク) 事前学習：講義にスムーズに参加できるよう、前回の講義内容を復習しておく。(2時間) 事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておく。(2時間)</p> <p>第5回：作業(グループワーク) 事前学習：講義にスムーズに参加できるよう、前回の講義内容を復習しておく。(2時間) 事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておく。(2時間)</p> <p>第6回：作業(グループワーク) 事前学習：講義にスムーズに参加できるよう、前回の講義内容を復習しておく。(2時間) 事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておく。(2時間)</p> <p>第7回：作業(グループワーク) 事前学習：講義にスムーズに参加できるよう、前回の講義内容を復習しておく。(2時間) 事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておく。(2時間)</p>	

- 第8回：作業（グループワーク）
事前学習：講義にスムーズに参加できるように、前回の講義内容を復習しておく。（2時間）
事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるように、質問内容をまとめておく。（2時間）
- 第9回：作業（グループワーク）
事前学習：講義にスムーズに参加できるように、前回の講義内容を復習しておく。（2時間）
事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるように、質問内容をまとめておく。（2時間）
- 第10回：作業（グループワーク）
事前学習：講義にスムーズに参加できるように、前回の講義内容を復習しておく。（2時間）
事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるように、質問内容をまとめておく。（2時間）
- 第11回：中間報告（グループワーク）
事前学習：講義にスムーズに参加できるように、前回の講義内容を復習しておく。（2時間）
事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるように、質問内容をまとめておく。（2時間）
- 第12回：2～4年生合同授業①（参加）
事前学習：発表会の事前準備をする。（2時間）
事後学習：最終チェックをして完成度を高める。（2時間）
- 第13回：2～4年生合同授業②（参加）
事前学習：発表会の事前準備をする。（2時間）
事後学習：最終チェックをして完成度を高める。（2時間）
- 第14回：2～4年生合同授業③（発表）
事前学習：発表会の事前準備をする。（2時間）
事後学習：最終チェックをして完成度を高める。（2時間）
- 第15回：総括
事前学習：これまでの講義内容の振り返りを行っておく。（2時間）
事後学習：フィードバックの結果に沿って発表内容を修正する。（2時間）

授業実施方法（面接授業・遠隔授業）

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

講義のなかで制作したポスター、PPTなどの成果物（50%）と学習態度（講義への取り組み姿勢や受講態度等）（50%）を総合して判断する。

成績評価基準

- ・講義に積極的に取り組んでいるかどうか。
- ・講義で取り扱った内容を理解し、修得できているかどうか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書

特に使用しない。参考となる資料は必要に応じて配布する。

その他（受講上の注意）

本講義の履修を希望する場合は、第1回のガイダンスおよび第2回のチーム・オリエンテーションには必ず出席すること。
 なお、本講義はアウトプットが中心となるため、履修者の進捗に応じて、柔軟に内容を変更していくものとする。

オ フ ィ ス ア ワ ー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

異文化コミュニケーション (Cross-Cultural Communication)			担当教員	加藤 義治	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-OBO-2473	2単位	4年前期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部コミュニケーション学科専門科目 応用科目 英語コミュニケーションコース					
求める学習成果(教育目標)					
異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる技能と言語スキルを身につけ、国際社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input checked="" type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
記事の分析と批判的思考に焦点を当て、異文化コミュニケーション構成を学習する。ペア・グループ学習等の様々な言語活動を通して、論理的な議論における流暢さと正確さを追及する。	
授 業 の 到 達 目 標	
グローバルな課題について、記事を読む。各ユニットの内容を身につけ、自分の意見や考えを伝える力を身につける。記事の内容からディスカッションをする。与えられた課題について、各学生が口頭発表をする。異文化コミュニケーションや批判的思考能力の向上を目指す。	
アクティブ・ラーニング	
<input checked="" type="checkbox"/> 課題解決型学習 (PBL) <input type="checkbox"/> 討議 (ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク (Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション (Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授業の計画及び授業外の学習方法	
第1回：オリエンテーション 事前学習：米国、フィリピン、インドネシア、マレーシア、ブルネイ、東チモールまたはモーリシャスについて現状について下調べをして、その際、興味ある国を一つ選び、選んだ理由を英文レポートに纏める。(2時間) 事後学習：関連の英単語を纏める。(2時間)	
第2回：米国の新型コロナウイルスの現状 事前学習：米国の新型コロナウイルスの現状を調べ、現状を英文に纏める。(2時間) 事後学習：関連の英単語を纏める。(2時間)	
第3回：米国の日系人社会 事前学習：米国の日系人社会に関する英文資料を読み、現状を英文に纏める。(2時間) 事後学習：関連の英単語を纏める。(2時間)	
第4回：フィリピンの貧困問題 事前学習：フィリピンの貧困問題の現状を調べ、現状を英文に纏める。(2時間) 事後学習：関連の英単語をまとめておくこと。(2時間)	
第5回：フィリピンと日本の関係 事前学習：フィリピン人看護婦や介護福祉士の日本への受け入れの現状を調べ、現状を英文に纏める。(2時間) 事後学習：関連の英単語を纏める。(2時間)	
第6回：インドネシアの多様性 事前学習：インドネシアの種族や文化・習慣を調べ、現状を英文に纏める。(2時間) 事後学習：関連の英単語を纏める。(2時間)	
第7回：インドネシアと日本の関係 事前学習：インドネシアと日本との関係の現状を調べ、現状を英文に纏める。(2時間) 事後学習：関連の英単語を纏める。(2時間)	
第8回：2～7の復習 事前学習：授業前に第2～7ユニットを復習する。課題について意見を英作文に纏める。(2時間) 事後学習：各ユニットの英単語を纏めておく。(2時間)	

第9回：マレーシアの東方政策

事前学習：マレーシアと日本との関係の現状を調べる。特に、Look East Policyについて、現状を英文にまとめる。(2時間)

事後学習：関連の英単語を纏める。(2時間)

第10回：ブルネイ・ダルサラム国

事前学習：ブルネイについて現状を調べる。特に、日本との関係について調べ英文に纏める。(2時間)

事後学習：関連の英単語を纏める。(2時間)

第11回：東チモール

事前学習：東ティモールについて現状を調べる。特に、東ティモールと日本との関係の現状を調べ、その結果を英文にまとめる。(2時間)

事後学習：関連の英単語を纏める。(2時間)

第12回：モーリシャス

事前学習：モーリシャス共和国について現状を調べる。特に、モーリシャスと日本との関係の現状を調べる。その結果を英文にまとめる。

事後学習：関連の英単語を纏める。(2時間)

第13回：小島嶼開発途上国 (SIDS: Small Island Developing States)

事前学習：小島嶼開発途上国について調べ、一つの国を選んで、その国の概要や課題を英文に纏める。(2時間)

事後学習：関連の英単語を纏める。(2時間)

第14回：持続可能な開発目標 (SDGs)

事前学習：SDGsに関する資料を読み、取り組みや成果について調べ、英文に纏める。(2時間)

事後学習：関連の英単語を纏める。(2時間)

第15回：属可能な開発目標 (SDGs) (発表)

事前学習：それまで学んできた国の中から一カ国を選び、その国のSDGsに対する取り組みについて調べ、英文に纏める。(2時間)

事後学習：関連の英単語を纏める。(2時間)

定期試験

授業実施方法(面接授業・遠隔授業)

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

授業での言語活動(25%)、課題(25%)、定期試験(50%)

成績評価基準

与えられた課題を調べ、英文に纏めることができたか。
自分の意見や考えを英文に纏める力を身につけることができたか。
与えられた課題について、各学生が口頭発表をすることができたか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

テキストは使用しない。

その他(受講上の注意)

オ フ ィ ス ア ワ ー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

現代文化研究 (Contemporary Cultural Studies)			担当教員	井上 寛	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-00C-2492	2単位	4年後期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部コミュニケーション学科専門科目 応用科目 情報社会コース					
求める学習成果(教育目標)					
コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
<input type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題解決能力					

授 業 の 内 容	
社会学の対象としての「文化現象」は、今日では様々なサブカルチャーを含めて多岐にわたります。そこで、多様な文化のあり方を概観するとともに、現代社会について考える社会学的な枠組み・視点の獲得を目指します。	
授 業 の 到 達 目 標	
現代社会に見られる文化事象に関心を持ち、自分自身の問題として自身の経験や自身をとりまく社会状況と関連付けて考察する習慣を身につけること。	
アクティブ・ラーニング	
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授業の計画及び授業外の学習方法	
第1回：オリエンテーション 事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。(2時間) 第2回：現代社会の文化変容①テーマパーク化する都市 事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献を読んでおくこと。(2時間) 事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。(2時間) 第3回：現代社会の文化変容②メディアのパーソナル化 事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献を読んでおくこと。(2時間) 事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。(2時間) 第4回：現代社会の文化変容③コンテンツ化 事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献を読んでおくこと。(2時間) 事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。(2時間) 第5回：現代社会の文化変容④サービス化するコミュニケーション 事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献を読んでおくこと。(2時間) 事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。(2時間) 第6回：都市の文化 事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献を読んでおくこと。(2時間) 事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。(2時間) 第7回：メディアと情報の文化 事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献を読んでおくこと。(2時間) 事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。(2時間) 第8回：コンテンツツーリズムと聖地巡礼 事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献を読んでおくこと。(2時間) 事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。(2時間)	

第9回：ツーリズムと文化

事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献を読んでおくこと。(2時間)

事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。(2時間)

第10回：食の文化

事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献を読んでおくこと。(2時間)

事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。(2時間)

第11回：地域という文化

事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献を読んでおくこと。(2時間)

事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。(2時間)

第12回：まつりの文化

事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献を読んでおくこと。(2時間)

事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。(2時間)

第13回：ライフコースの文化

事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献を読んでおくこと。(2時間)

事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。(2時間)

第14回：マイノリティーの文化

事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献を読んでおくこと。(2時間)

事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。(2時間)

第15回：まとめ

事前学習：全てのノートを見直し、全講義の要点をまとめ、討論できるできるようにまとめておくこと(2時間)

事後学習：本講義の全てのノートを見直して復習し整理すること。また、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、テキストの該当箇所を精読すること。(4時間)

授業実施方法(面接授業・遠隔授業)

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

レポート(50%) 平常点(50%)

- ・レポートは別途提示した条件(期限・様式・研究倫理)を守らない場合には評価の対象としません。
- ・平常点は授業への参加状況、受講態度、提出物などの内容等を総合して判断します。

成績評価基準

- ・現代社会に見られる文化事象に関心を持つことによって、自らでテーマを設定し、必要なデータを収集することが出来るか。
- ・自身の経験や自身をとりまく社会状況と関連付けて考察する事が出来るか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1) 授業時の課題に対するフィードバックについて

■授業時 仁大eラーニング メール その他

2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて

■授業時 仁大eラーニング メール その他

3) 小レポートに対するフィードバックについて

■授業時 仁大eラーニング メール その他

4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて

定期試験時 仁大eラーニング メール その他(必要があれば、担当教員の研究室(E104B)にて口頭で)

5) その他

授業時 仁大eラーニング メール その他(担当教員の研究室にて対応)

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

<テキスト>

特定のテキストは使用しません。必要に応じて授業時に資料を配布します。

<参考図書>

井上俊・長谷川正人編著(2010)『文化社会学入門』ミネルヴァ書房

遠藤秀樹著(2011)『現代文化論. 社会理論で読み解くポップカルチャー』ミネルヴァ書房

その他(受講上の注意)

他の受講生に迷惑がかかる行為(私語・遅刻・無断退席等)は禁止します。

受講生の理解度や興味・関心にあわせて授業計画には変更を加える可能性があります。

オフィスアワー

大学教育情報システム【授業に関するお知らせ】にて時間帯等を確認してください。

コミュニケーション特別演習Ⅱa (Special Seminar in Communication Ⅱa)			担当教員	加藤 優子、矢橋 知枝、安彦 智史、 江南 健志、織田 暁子、M ハウカ、 升田 法継、小川 慶、禿 寿	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-G-2495	2単位	4年前期	演習	必修	
<科目区分> 人間学部コミュニケーション学科専門科目 応用科目 特別演習・卒業研究					
求める学習成果(教育目標)					
各コースで身につけた能力を演習のなかでより深め、卒業研究につなげる。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
■自他の理解能力 ■コミュニケーション能力 ■情報収集・探索能力 ■社会・職業理解能力 ■役割把握・認識能力 ■計画実行能力 ■選択能力 ■課題解決能力					

授 業 の 内 容	
<p>卒業研究の完成に向けて、3年次のコミュニケーション特別演習Ⅱa,bで明確化した問題意識に基づき、研究テーマを確定する。次に、研究・調査・実践に必要なアプローチを探求し、テーマとの整合性や妥当性を探る。そのために、専門的な文献、論文、データなども含めた精読を行うとともに、ディスカッションや発表を行うことで、卒業研究の計画立案および策定を行う。</p> <p>研究課題によっては、企業や自治体等の外部団体と連携し、実際のデータ分析や課題解決に取り組んだり、地域連携活動を行ったりすることがある。また、国連が定める持続可能な開発目標(SDGs)に関する活動に取り組むことがある。</p>	
授 業 の 到 達 目 標	
<p>自らの問題意識に基づいて設定した研究課題を遂行するために必要な、適切なアプローチを吟味し、選択する能力を身につける。課題に関連する文献などを適切に精読できる。</p>	
アクティブ・ラーニング	
<p>■課題解決型学習(PBL) ■討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) ■グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) ■発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) ■実習、フィールドワーク ■実験、実技 <input type="checkbox"/>その他</p>	
授業の計画及び授業外の学習方法	
<p>研究テーマ、研究計画の策定および研究計画書の提出を行い、それぞれの研究テーマについて、適切な研究、調査、実践を進める。</p> <p>概ね以下の通りだが、各担当教員の演習テーマをおよび学生の課題設定に依拠した指導に従い、PBL、フィールドワーク、グループワーク、実験等のアクティブラーニングを適宜行う。</p> <p>(例)</p> <p>第1回：オリエンテーション 事前学習：卒業論文のテーマについてレポートをまとめる。(2時間) 事後学習：自らの卒業論文テーマについて文献調査等を通し考えを深める。(2時間)</p> <p>第2回：論文の全体構造を明らかにする：目的の設定(発表、ディスカッション) 事前学習：課題となった内容を考える。(2時間) 事後学習：修正を受けた点を再構想する。(2時間)</p> <p>第3回：論文の全体構造を明らかにする：研究対象の設定(発表、ディスカッション) 事前学習：課題となった内容を考える。(2時間) 事後学習：修正を受けた点を再構想する。(2時間)</p> <p>第4回：論文の全体構造を明らかにする：研究方法の設定(発表、ディスカッション) 事前学習：課題となった内容を考える。(2時間) 事後学習：修正を受けた点を再構想する。(2時間)</p> <p>第5回：論文の全体構造を明らかにする：研究計画書の作成(発表、ディスカッション) 事前学習：課題となった内容を考える。(2時間) 事後学習：修正を受けた点を再構想する。(2時間)</p>	

第6回：論文の全体構造を明らかにする：研究計画書の作成（発表、ディスカッション） 事前学習：課題となった内容を考える。（2時間） 事後学習：修正を受けた点を再構想する。（2時間）
第7回：論文の全体構造を明らかにする：目次部分の作成（発表、ディスカッション） 事前学習：課題となった内容を考える。（2時間） 事後学習：修正を受けた点を再構想する。（2時間）
第8回：論文の全体構造を明らかにする：目次部分の作成（発表、ディスカッション） 事前学習：課題となった内容を考える。（2時間） 事後学習：修正を受けた点を再構想する。（2時間）
第9回：文献調査を進める：先行研究の調査（発表、ディスカッション） 事前学習：課題となった内容を考える。（2時間） 事後学習：修正を受けた点を再構想する。（2時間）
第10回：文献調査を進める：先行研究の調査（発表、ディスカッション） 事前学習：課題となった内容を考える。（2時間） 事後学習：修正を受けた点を再構想する。（2時間）
第11回：文献調査を進める：先行研究の調査（発表、ディスカッション） 事前学習：課題となった内容を考える。（2時間） 事後学習：修正を受けた点を再構想する。（2時間）
第12回：文献調査を進める：先行研究の調査（発表、ディスカッション） 事前学習：課題となった内容を考える。（2時間） 事後学習：修正を受けた点を再構想する。（2時間）
第13回：文献調査を進める：仮説の設定（発表、ディスカッション） 事前学習：課題となった内容を考える。（2時間） 事後学習：修正を受けた点を再構想する。（2時間）
第14回：文献調査を進める：仮説の設定（発表、ディスカッション） 事前学習：課題となった内容を考える。（2時間） 事後学習：修正を受けた点を再構想する。（2時間）
第15回：まとめと課題（発表、ディスカッション） 事前学習：課題となった内容を考える。（2時間） 事後学習：修正を受けた点を再構想する。（2時間）

授業実施方法（面接授業・遠隔授業）

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

平常点（100%）
平常点は演習への取り組み状況やその態度などから総合的に判断する。

成績評価基準

企画・マネジメント、英語コミュニケーション、情報社会に関して、卒業研究で取り組むための適切な研究・実践課題設定を行えるようになっているか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他（調査内容・方法、ディスカッションに対するフィードバックについて）
授業時 仁大eラーニング メール その他（Microsoft Teamsを用いたオンライン対話）

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書

担当教員から適宜指示する。

その他(受講上の注意)

研究計画の遂行のために必要な本演習以外の授業を履修する。それとともに、今までに履修してきた授業の中で、研究課題と関連のある内容を再確認しておく。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

コミュニケーション特別演習Ⅱb (Special Seminar in Communication Ⅱb)			担当教員	加藤 優子、矢橋 知枝、安彦 智史、 江南 健志、織田 暁子、M ハウカ、 升田 法継、小川 慶、禿 寿	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-G-2496	2単位	4年後期	演習	必修	
<科目区分> 人間学部コミュニケーション学科専門科目 応用科目 特別演習・卒業研究					
求める学習成果(教育目標)					
各コースで身につけた能力を演習のなかでより深め、卒業研究につなげる。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
■自他の理解能力 ■コミュニケーション能力 ■情報収集・探索能力 ■社会・職業理解能力 ■役割把握・認識能力 ■計画実行能力 ■選択能力 ■課題解決能力					

授 業 の 内 容	
卒業研究の完成段階として、自らが設定した課題を適切に遂行できるよう、担当教員の指導のもと、研究を進める。卒業研究の課題を、論理的かつ説得的にまとめていき、卒業研究を完成させる。	
研究課題によっては、企業や自治体等の外部団体と連携し、実際のデータ分析や課題解決に取り組んだり、地域連携活動を行ったりすることがある。また、国連が定める持続可能な開発目標 (SDGs) に関する活動に取り組むことがある。	
授 業 の 到 達 目 標	
自らの研究課題を、適切なアプローチに基づき遂行し、卒業研究として論理的かつ説得的に完成できる。	
アクティブ・ラーニング	
■課題解決型学習 (PBL) ■討議 (ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) ■グループワーク (Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) ■発表・プレゼンテーション (Teams、Zoom等) ■実習、フィールドワーク ■実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授業の計画及び授業外の学習方法	
受講生自身のテーマについて調査を実施し、結果の分析考察を行い、論理的かつ説得的に伝えられるようにまとめる。	
概ね以下の通りだが、各担当教員の演習テーマをおよび学生の課題設定に依拠した指導に従い、PBL、ディスカッション、グループワーク、実験等のアクティブラーニングを適宜行う。	
(例)	
第1回：オリエンテーション 事前学習：自らの卒業論文テーマについて前期で行ったことをまとめる。(2時間) 事後学習：試験的調査の準備に取り組む。(2時間)	
第2回：試験的調査の開始(フィールドワーク) 事前学習：調査方法について吟味する。(2時間) 事後学習：修正を受けた点を再構想する。(2時間)	
第3回：試験的調査の修正(フィールドワーク) 事前学習：試験的調査結果に基づき、調査方法について改善する。(2時間) 事後学習：修正を受けた点を再構想する。(2時間)	
第4回：調査(フィールドワーク) 事前学習：調査を行う。(2時間) 事後学習：調査結果をまとめる。(2時間)	
第5回：調査(フィールドワーク) 事前学習：調査を行う。(2時間) 事後学習：調査結果をまとめる。(2時間)	
第6回：「方法論」の作成(発表) 事前学習：実施した調査方法について、「方法論」をまとめる。(2時間) 事後学習：指摘を受けた点を修正する。(2時間)	

<p>第7回：「分析」「考察」の作成（発表） 事前学習：調査結果に基づいた分析、考察部分をまとめる。（2時間） 事後学習：指摘を受けた点を修正する。（2時間）</p> <p>第8回：卒業論文全体の作成（発表） 事前学習：「はじめに」にあたる部分を作成する。（2時間） 事後学習：指摘を受けた点を修正する。（2時間）</p> <p>第9回：卒業論文全体の作成（発表） 事前学習：「おわりに」にあたる部分を作成する。（2時間） 事後学習：指摘を受けた点を修正する。（2時間）</p> <p>第10回：卒業論文全体の作成（発表） 事前学習：卒業論文の全文を完成させる。（2時間） 事後学習：指摘を受けた点を修正する。（2時間）</p> <p>第11回：卒業論文要旨作成（発表） 事前学習：卒業論文要旨を作成する。（2時間） 事後学習：指摘を受けた点を修正する。（2時間）</p> <p>第12回：卒業論文要旨作成（発表） 事前学習：卒業論文要旨を完成させる。（2時間） 事後学習：指摘を受けた点を修正する。（2時間）</p> <p>第13回：卒業研究発表準備（発表） 事前学習：卒業研究発表のためのPPTを作成する。（2時間） 事後学習：指摘を受けた点を修正する。（2時間）</p> <p>第14回：卒業研究発表準備（発表） 事前学習：卒業研究発表のためのPPTを作成する。（2時間） 事後学習：指摘を受けた点を修正する。（2時間）</p> <p>第15回：卒業研究発表準備（発表） 事前学習：卒業研究発表のためのPPTを完成させる。（2時間） 事後学習：指摘を受けた点を修正する。（2時間）</p>
授業実施方法（面接授業・遠隔授業）
原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。
成績評価方法
平常点（100%） 平常点は演習への取り組み状況やその態度などから総合的に判断する。
成績評価基準
企画・マネジメント、英語コミュニケーション、情報社会に関して、卒業研究で取り組むための分析や実践の結果を考察し、まとめられるようになっているか。
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック
<p>1) 授業時の課題に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>3) 小レポートに対するフィードバックについて <input type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて <input type="checkbox"/>定期試験時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>5) その他 <input type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p>
実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
テキスト、参考図書
担当教員から適宜指示する。
その他（受講上の注意）
担当教員から適宜指示する。
オフィスアワー
UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

卒業研究 (Graduation Research)			担当教員	加藤 優子、矢橋 知枝、安彦 智史、 江南 健志、織田 暁子、M ハウカ、 升田 法継、小川 慶、禿 寿	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-G-2497	6単位	4年通年	演習	必修	
<科目区分> 人間学部コミュニケーション学科専門科目 応用科目 特別演習・卒業研究					
求める学習成果(教育目標)					
各コースで身につけた能力を演習のなかでより深め、卒業研究としてまとめる。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
■自他の理解能力 ■コミュニケーション能力 ■情報収集・探索能力 ■社会・職業理解能力 ■役割把握・認識能力 ■計画実行能力 ■選択能力 ■課題解決能力					

授 業 の 内 容	
コミュニケーション学特別演習Ⅰ・Ⅱを通して、学生が自ら研究テーマや研究計画を設定する。それに基づき、探求を深め、これまでの研究や実践を論理的かつ説得的な形で、卒業研究としてまとめる。	
授 業 の 到 達 目 標	
企画・マネジメント、英語コミュニケーション、情報社会それぞれの領域において、適切な問題意識に基づいた課題設定を行えるようになる。設定した課題について分析・研究や実践を行うための方法を適切に選択できるようになる。分析や実践の結果を考察し、まとめることが出来るようになる。	
アクティブ・ラーニング	
■課題解決型学習(PBL) ■討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) ■グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) ■発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) ■実習、フィールドワーク ■実験、実技 <input type="checkbox"/> その他	
授業の計画及び授業外の学習方法	
概ね以下の通りだが、学生個人の研究の進捗に応じ、指導には、PBL、発表、ディスカッション、フィールドワーク、グループワーク、実験等のアクティブラーニングも適宜含まれる。学生はこれらの学びを通し、主体的に研究に取り組む。	
4～5月 研究・実践のテーマと研究計画の策定、研究計画書の提出	
5～8月 研究・実践の実行	
9～10月 研究・実践結果の分析・考察	
11～12月 卒業研究の仕上げ、提出	
1月上旬 卒業研究要旨の執筆、提出	
1～2月 卒業研究発表会(口頭試問の機能も兼ねる、卒業試験)	
※卒業研究発表会に関しては全学生が同じスケジュールで行われる、それまでのスケジュールは配属先のゼミにより異なることがある。担当の教員から適宜指示がある。	
授業実施方法(面接授業・遠隔授業)	
原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。	
成 績 評 価 方 法	
卒業研究成果物(60%) <input type="checkbox"/> 卒業研究発表会におけるプレゼンテーション(口頭試問)(20%) 平常点(20%) 平常点は、卒業研究への取り組み状況やその姿勢などを総合的に判断する。	

成績評価基準
企画・マネジメント、英語コミュニケーション、情報社会のそれぞれの領域において、適切な問題意識に基づく課題設定を行えているか。設定した課題について、分析・研究や実践を行うための方法が適切に選択されているか。分析や実践の結果を考察し、まとめることが出来ているか。
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック
1) 授業時の課題に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/> 授業時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/> 授業時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 3) 小レポートに対するフィードバックについて <input type="checkbox"/> 授業時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて <input type="checkbox"/> 定期試験時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 5) その他 <input type="checkbox"/> 授業時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他
実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)
テキスト、参考図書
担当教員から適宜、紹介、指示がある。
その他(受講上の注意)
卒業研究とは、4年間で習得した能力、およびこれまでの研究・実践を結集して、論理的かつ説得的にまとめるものである。主体的かつ積極的に取り組むことはもちろん、研究計画をしっかりと策定して研究を進展させていくことが肝要である。
オフィスアワー
UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

教職論 (Theory of Teacher Education)			担当教員	高野 秀晴	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-T-2202	2単位	2年前期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部 教職に関する科目					
求める学習成果(教育目標)					
新たな英語教育を担う中学校・高等学校の英語教員に求められるすぐれた知識と技能を身につけ、豊かな人間性を育みます。					

授 業 の 内 容					
教員とは、どのような役割を期待され、どのような環境で、どのような仕事をしているのか。本授業は、これらの問いに対して主に法的、歴史的見地から考察する。また、事例研究を通して様々な教師像を検討することにより、受講生各自が適性を判断し、よりよい教職像を展望する機会としたい。					
授 業 の 到 達 目 標					
<ul style="list-style-type: none"> ・現代の学校教育や教職の社会的意義を説明できる。 ・今日の教員に求められる役割や資質能力について説明したうえで、自己の教職像を展望することができる。 ・教員の職務内容の全体像や服務上・身分上の義務を説明できる。 ・学校が内外の専門家等と連携・分担して対応する必要性について説明できる。 					
アクティブ・ラーニング					
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ダイバート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他					
授業の計画及び授業外の学習方法					
第1回：オリエンテーション 事前学習：シラバスをよく読み、学修計画を立てる。(2時間) 事後学習：授業内容に関連する情報を検索し、学修計画をさらに固める。(2時間)					
第2回：教師はどのような仕事をしているのか 事前学習：授業内容に関連する情報を集めて整理する。(2時間) 事後学習：授業内容をノートにまとめる。(2時間)					
第3回：学校に関わる様々な職業について 事前学習：授業内容に関連する情報を集めて整理する。(2時間) 事後学習：授業内容をノートにまとめる。(2時間)					
第4回：チームとしての学校 事前学習：授業内容に関連する情報を集めて整理する。(2時間) 事後学習：授業内容をノートにまとめる。(2時間)					
第5回：よい教師とはどのような教師なのか(討議) 事前学習：授業内容に関連する情報を集めて整理する。(2時間) 事後学習：授業内容をノートにまとめる。(2時間)					
第6回：教師像の諸相—聖職者、労働者、専門家 事前学習：授業内容に関連する情報を集めて整理する。(2時間) 事後学習：授業内容をノートにまとめる。(2時間)					
第7回：どうすればよい教師になれるのか(討議) 事前学習：授業内容に関連する情報を集めて整理する。(2時間) 事後学習：授業内容をノートにまとめる。(2時間)					
第8回：教員養成制度について 事前学習：授業内容に関連する情報を集めて整理する。(2時間) 事後学習：授業内容をノートにまとめる。(2時間)					
第9回：教員養成の歴史 事前学習：授業内容に関連する情報を集めて整理する。(2時間) 事後学習：授業内容をノートにまとめる。(2時間)					
第10回：教員に求められる専門性とは何か 事前学習：授業内容に関連する情報を集めて整理する。(2時間) 事後学習：授業内容をノートにまとめる。(2時間)					

第11回：教員の身分について 事前学習：授業内容に関連する情報を集めて整理する。(2時間) 事後学習：授業内容をノートにまとめる。(2時間) 第12回：教員の任用について 事前学習：授業内容に関連する情報を集めて整理する。(2時間) 事後学習：授業内容をノートにまとめる。(2時間) 第13回：教員の服務について 事前学習：授業内容に関連する情報を集めて整理する。(2時間) 事後学習：授業内容をノートにまとめる。(2時間) 第14回：教員にとって研修のもつ意味 事前学習：授業内容に関連する情報を集めて整理する。(2時間) 事後学習：授業内容をノートにまとめる。(2時間) 第15回：まとめ 事前学習：授業内容に関連する情報を集めて整理する。(2時間) 事後学習：授業内容をノートにまとめる。(2時間) 第16回：定期試験
授業実施方法(面接授業・遠隔授業)
原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。
成績評価方法
定期試験(70%) 平常点(30%) (平常点は、授業への参加状況と、授業時の課題の内容をもとに評価する。)
成績評価基準
<ul style="list-style-type: none"> ・現代の学校教育や教職の社会的意義を説明できるか。 ・今日の教員に求められる役割や資質能力について説明できるか。 ・教員の職務内容の全体像や服務上・身分上の義務を説明できるか。 ・学校が内外の専門家等と連携・分担して対応する必要性について説明できるか。
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック
1) 授業時の課題に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/> 授業時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて <input type="checkbox"/> 授業時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 3) 小レポートに対するフィードバックについて <input type="checkbox"/> 授業時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて <input type="checkbox"/> 定期試験時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 5) その他 <input type="checkbox"/> 授業時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他
実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)
テキスト、参考図書
テキスト：授業時に適宜資料を配布する。 参考図書：磯田一雄編『日本の教育課題 9 教師と子どもとのかかわり』東京法令出版 1999年
その他(受講上の注意)
オフィスアワー
UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

教育原理 (Principles of Education)			担当教員	高野 秀晴	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-T-2101	2単位	1年後期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部 教職に関する科目					
求める学習成果(教育目標)					
新たな英語教育を担う中学校・高等学校の英語教員に求められるすぐれた知識と技能を身につけ、豊かな人間性を育みます。					

授 業 の 内 容					
私たちは、誰もが教育を受けた経験があるがゆえに、教育について考える際に、自らの経験のみに依拠してしまうことになりがちである。本授業では、教育に関する基本的概念を修得し、それをもとに、多様な教育の理念や教育の歴史、思想を概観することにより、自らの経験のみに依拠することなく教育について考察する力量の形成を目指す。					
授 業 の 到 達 目 標					
<ul style="list-style-type: none"> ・教育の基本的概念を用いて、教育を成り立たせる諸要因とそれら相互の関係を説明することができる。 ・教育の歴史に関する基礎的知識を踏まえて、過去から現代に至るまでの教育および学校の変遷を概説し、その変遷のなかで生まれた多様な教育の理念を説明することができる。 ・教育に関する様々な思想が、いかなる理念や歴史的背景のもとに生まれてきたかについて説明することができる。 					
アクティブ・ラーニング					
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習 (PBL) <input type="checkbox"/> 討議 (ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク (Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション (Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他					
授業の計画及び授業外の学習方法					
<p>第1回：オリエンテーション 事前学習：シラバスをよく読み、学修計画を立てる。(2時間) 事後学習：授業内容に関連する図書を検索し、読書計画を立てる。(2時間)</p> <p>第2回：教育の基本的概念(1) — 子どもの権利について 事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。(2時間) 事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。(2時間)</p> <p>第3回：教育の基本的概念(2) — 教育における愛と暴力 事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。(2時間) 事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。(2時間)</p> <p>第4回：教育の基本的概念(3) — 乳幼児期から老年期までの発達について 事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。(2時間) 事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。(2時間)</p> <p>第5回：日本教育史(1) — 家族や社会のなかの教育 事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。(2時間) 事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。(2時間)</p> <p>第6回：日本教育史(2) — 塾と学校の登場 事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。(2時間) 事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。(2時間)</p> <p>第7回：日本教育史(3) — 義務教育制度成立史 事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。(2時間) 事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。(2時間)</p> <p>第8回：西洋における教育の思想と歴史(1) — 古代ギリシア、ローマの教育 事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。(2時間) 事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。(2時間)</p> <p>第9回：西洋における教育の思想と歴史(2) — コメニウスと一斉教授について 事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。(2時間) 事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。(2時間)</p> <p>第10回：西洋における教育の思想と歴史(3) — ルソーにおける子どもの発見について 事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。(2時間) 事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。(2時間)</p>					

第11回：西洋における教育の思想と歴史（４）——自律を目指した思想家たち 事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（２時間） 事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（２時間）
第12回：西洋における教育の思想と歴史（５）——教育制度の思想的基礎 事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（２時間） 事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（２時間）
第13回：教育と福祉の関係——家庭、地域、学校の役割について 事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（２時間） 事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（２時間）
第14回：現代における教育の課題——生涯学習の観点から 事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（２時間） 事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（２時間）
第15回：まとめ 事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（２時間） 事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（２時間）
第16回：定期試験

授業実施方法（面接授業・遠隔授業）

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

定期試験（70%）
平常点（30%）
（平常点は、授業への参加状況、および授業時の課題の内容をもとに評価する。）

成績評価基準

- ・教育の基本的概念を用いて、教育を成り立たせる諸要因とそれら相互の関係を説明することができるか。
- ・教育の歴史に関する基礎的知識を踏まえて、過去から現代に至るまでの教育および学校の変遷を概説し、その変遷のなかで生まれた多様な教育の理念を説明することができるか。
- ・教育に関する様々な思想が、いかなる理念や歴史的背景をもとに生まれてきたかについて説明することができるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
 授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
 授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
 授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
 定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
 授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書

テキスト：プリントを配布する。
参考図書：高橋陽一『新しい教育通義』武蔵野美術大学出版局 2018年

その他（受講上の注意）

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

教育心理学 (Educational Psychology)			担当教員	乙部 貴幸	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-T-2203	2単位	2年後期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部 教職に関する科目					
求める学習成果(教育目標)					
新たな英語教育を担う中学校・高等学校の英語教員に求められる優れた知識と技能を身につけ、豊かな人間性を涵養する。					

授 業 の 内 容					
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程について、運動発達、言語発達、認知発達、社会性等の発達について各年齢段階の特徴を理解し、代表的な理論を学び、それらを踏まえた学習を支える具体的な指導に関する基礎的な考え方を理解する。					
授 業 の 到 達 目 標					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児、児童及び生徒の心身の発達と学習の過程及び特徴を理解する ・ 幼児、児童及び生徒の学習に関する基礎的知識を身に付け、発達を踏まえた学習を支える指導について基礎的な考え方を理解する。 					
アクティブ・ラーニング					
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input checked="" type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他					
授業の計画及び授業外の学習方法					
第1回：教育心理学の目的と課題および学修のポイント 事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。(4時間)					
第2回：新生児・乳児期の発達～生物的発達を中心に 事前学習：テキストの該当する箇所を読み、わからないところをまとめておく。(2時間) 事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。(2時間)					
第3回：幼児期の発達～自我の発達、ことばの発達 事前学習：テキストの該当する箇所を読み、わからないところをまとめておく。(2時間) 事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。(2時間)					
第4回：社会性の発達～エリクソン、コールバーグ等の発達理論 事前学習：テキストの該当する箇所を読み、わからないところをまとめておく。(2時間) 事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。(2時間)					
第5回：認知・思考の発達～ピアジェの発達理論(1) 事前学習：テキストの該当する箇所を読み、わからないところをまとめておく。(2時間) 事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。(2時間)					
第6回：認知・思考の発達～ピアジェの発達理論(2) 事前学習：テキストの該当する箇所を読み、わからないところをまとめておく。(2時間) 事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を整理する。わからないところがあったら、フォーラムやメールを利用して担当教員に質問すること。(2時間)					
第7回：児童期・青年期の発達～身体発達、運動発達、人格形成、集団づくり 事前学習：テキストの該当する箇所を読み、わからないところをまとめておく。(2時間) 事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。(2時間)					
第8回：発達の諸相～知能と創造性 事前学習：テキストの該当する箇所を読み、わからないところをまとめておく。(2時間) 事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。(2時間)					

第9回：学習の原理～ワトソン、スキナー、ソーンダイク等の学習理論 事前学習：テキストの該当する箇所を読み、わからないところをまとめておく。(2時間) 事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。(2時間)
第10回：学習理論の応用～行動療法、CAI、発見学習、アクティブラーニング 事前学習：テキストの該当する箇所を読み、わからないところをまとめておく。(2時間) 事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。(2時間)
第11回：記憶～記憶理論と学習法 事前学習：テキストの該当する箇所を読み、わからないところをまとめておく。(2時間) 事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。(2時間)
第12回：動機づけと原因帰属～内発的動機づけと外発的動機づけ、自己効力、原因帰属、動機づけの諸理論 事前学習：テキストの該当する箇所を読み、わからないところをまとめておく。(2時間) 事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。(2時間)
第13回：教授・学習過程～主体的な学習活動を支える指導法と協働学習(ディスカッションを含む) 事前学習：テキストの該当する箇所を読み、わからないところをまとめておく。(2時間) 事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。(2時間)
第14回：教育評価と測定、教育統計 事前学習：テキストの該当する箇所を読み、わからないところをまとめておく。(2時間) 事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。(2時間)
第15回：生徒理解と学級集団(ディスカッションを含む) 事前学習：テキストの該当する箇所を読み、わからないところをまとめておく。(2時間) 事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。(2時間)
第16回：定期試験

授業実施方法(面接授業・遠隔授業)

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

レポート課題(20%×2回)
定期試験(60%)

成績評価基準

- ・ 幼児、児童及び生徒の心身の発達と学習の過程及び特徴を理解しているか。
- ・ 幼児、児童及び生徒の学習に関する基礎的知識を身に付けているか。
- ・ 発達を踏まえた学習を支える指導について基礎的な考え方を理解しているか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

テキスト：『よくわかる学校教育心理学』 ミネルヴァ書房 2010年
参考図書：中学校教育課程実践講座 総則 ―平成29年改訂（天笠 茂（編著），ぎょうせい，2017）
教育心理学ハンドブック（日本教育心理学会編，有斐閣，2003年）
中学校学習指導要領解説（平成29年3月公示） 文部科学省
高等学校学習指導要領解説（平成30年3月公示） 文部科学省

その他（受講上の注意）

教職科目であるため、受け身的に受講するのではなく、常に自らが教壇に立った場合を想像して授業に臨むこと。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

教育経営論 (Educational Administration)			担当教員	小林 利幸	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-T-2308	2単位	3年前期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部 教職に関する科目					
求める学習成果(教育目標)					
新たな英語教育を担う中学校・高等学校の英語教員に求められるすぐれた知識と技能を身につけ、豊かな人間性を育みます。					

授 業 の 内 容					
日本国憲法・教育法規・学習指導要領に示される教育経営の理念を理解する。教育・学校・児童生徒を巡る諸課題を教育経営の観点から理解を深め、学校と地域の連携の意義と取り組み及び学校安全について自らの切実な課題として主体的に理解できるようにグループ討議を重視する。					
授 業 の 到 達 目 標					
中学校・高等学校教育・食の教育や教育行政機関の目的とその実現について教育経営の観点から理解し、社会の状況の変化と学校教育へ影響・課題・教育施策の動向の基礎的知識を身につけ、学校と地域との連携と協働の仕方を理解し、学校管理下での事件・事故・食の安全・災害の実情を踏まえて学校安全の目的と取り組みを理解することが出来る。					
アクティブ・ラーニング					
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他					
授業の計画及び授業外の学習方法					
第1回：教育経営論の理念と学習計画について 事前学習：教育経営論で身に付けたいことや考えたいことや教育に関する疑問点をノートにまとめてくること。(2時間) 事後学習：現在の自分の教育観を見つめ、まとめ、疑問点などをまとめておくこと。(2時間)					
第2回：我が国の幼・保教育及び小学校教育の変遷と課題について 事前学習：学習指導要領解説総則編P146～P157で我が国の教育の変遷を整理しておくこと。(2時間) 事後学習：教育とは何か、教育経営とは何か、教育の変遷を整理しておくこと。(2時間)					
第3回：子どもの生活の変化と子どもの問題及び解決策について 事前学習：子どもの問題で気になる問題とその理由及び解決策を考えてくること。(2時間) 事後学習：考えた子どもの問題の解決策と今後の取り組み計画をまとめておくこと。(2時間)					
第4回：我が国の教育課題と学習指導要領の改訂について 事前学習：新聞で取り上げられている教育課題に対し、自分の考えや疑問をノートに書いてくること。(2時間) 事後学習：教育課題を繰り返さずに解決するための施策を考え、共感的に共有し合うこと。(2時間)					
第5回：世界の教育の実態と教育改革の現状について 事前学習：世界各国の教育事情を集め、それぞれの課題と取り組みを紹介できるようにしておくこと。(2時間) 事後学習：特徴的な課題と対策をまとめ、今後の世界の教育の改革について考えを整理すること。(2時間)					
第6回：学校経営の理念と学校組織の在り方について 事前学習：特徴的な学校経営を行う学校の実践を調べて情報交換が出来るようにしておくこと。(2時間) 事後学習：大きな教育成果を挙げている学校の取り組みや先駆者の思想や実践をまとめておくこと。(2時間)					
第7回：憲法・教育法規・関連法規と学校教育について 事前学習：日本国憲法・教育基本法・学校教育法を熟読してくること。(2時間) 事後学習：特に日本国憲法と教育基本法を精神をまとめ、整理しておくこと。(2時間)					
第8回：教育行政の仕組みと課題について 事前学習：我が国の教育行政の仕組みと改善したい問題をまとめてくること。(2時間) 事後学習：教育行政と学校教育の課題と改善策をまとめておくこと。(2時間)					
第9回：学校経営と学校評価の基礎理論について 事前学習：向上・改善のための実践と評価の大切さについて具体例を挙げて考えてくること。(2時間) 事後学習：学校評価の具体例を整理し、学校経営の充実・改善の取り組みを整理しておくこと。(2時間)					

第10回：学級経営の仕組みと学級経営の課題について 事前学習：改善したい学級経営上の課題と解決策を考え、整理してこくこと。(2時間) 事後学習：様々な学級経営上の課題を整理し、対応改善策をまとめておくこと。(2時間)
第11回：教職員と学校外の関係機関との連携・協働について 事前学習：閉ざされた学校が開かれた学校へと移り変わった理由を考えてこくこと。(2時間) 事後学習：教職員の開かれた意識形成のためにどうしたらよいかについてまとめておくこと。(2時間)
第12回：学校と地域との連携・協働と教職員の使命について 事前学習：各地域の実践例に触れ、紹介できるようにしてこくこと。(2時間) 事後学習：主な実践を整理し、今後取り組んでいきたいプランをもてるようにこくこと。(2時間)
第13回：開かれた学校づくりの課題と解決について 事前学習：新聞記事で取り上げられる学校紹介記事を用意し、発表できるようにしてこくこと。(2時間) 事後学習：多様な取り組みを整理し、開かれた学校づくりの大切さに挑むことができるようにしてこくこと。(2時間)
第14回：学校で起こる事件、事故、災害の実情と学校安全の具体策について 事前学習：具体事案をもとに未然防止策と事前指導の在り方を考えてこくこと。(2時間) 事後学習：家庭・地域ぐるみで子どもの安全を守る対策を整理してこくこと。(2時間)
第15回：学校、地域の安全管理と安全指導の徹底について 事前学習：居住地域の防災体制や学校の安全管理と指導の現状について考えてこくこと。(2時間) 事後学習：地域の安全・防災の充実のために積極的に行動できるようにしてこくこと。(2時間)

授業実施方法(面接授業・遠隔授業)

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

学期末レポート50% 学習への意欲的な姿勢とノート30% グループ討議20%

成績評価基準

中学校・高等学校教育・食の教育や教育行政機関の目的とその実現について教育経営の観点から理解しているか。
社会の状況の変化と学校教育へ影響・課題・教育施策の動向の基礎的知識を身につけているか。
学校と地域との連携と協働の仕方を理解し、学校管理下での事件・事故・食の安全・災害の実情を踏まえて学校安全の目的と取り組みを理解しているか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

<テキスト>

中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 総則編(平成29年7月 文部科学省)

高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 総則編(平成30年7月 文部科学省)

<参考図書>

教育小六法(市川須美子・小野田正利・勝野正章・窪田真二・中嶋哲彦・成嶋隆著 岳陽書房 平成28年)

中学校学習指導要領解説 外国語編(平成29年7月 文部科学省)

高等学校学習指導要領解説 外国語編・英語編(平成30年3月公示 文部科学省)

その他(受講上の注意)

私語・無気力厳禁。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

特別支援教育論 (Theory of Special Educational Needs)			担当教員	水田 敏郎	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-T-2219	2単位	2年前期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部 教職に関する科目					
求める学習成果(教育目標)					
次世代の英語コミュニケーション能力育成に携わるすぐれた知識と技能を持つ人間性豊かな中学校・高等学校の英語教員を育成する。					

授 業 の 内 容					
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒の障害の特性及び心身の発達を理解し、教育課程や支援の方法を学ぶ。					
授 業 の 到 達 目 標					
通常の学級にも在籍している発達障害や軽度知的障害をはじめとする様々な障害等により特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒が授業において学習活動に参加している実感・達成感をもちながら学び、生きる力を身に付けていくことができるよう、幼児、児童及び生徒の学習上又は生活上の困難を理解し、個別の教育的ニーズに対して、他の教員や関係機関と連携しながら組織的に対応していくために必要な知識や支援方法を理解する。					
アクティブ・ラーニング					
<input checked="" type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input checked="" type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodieでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク(Moodieでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他					
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法					
第1回：授業オリエンテーション(全15回の授業計画と全体概要。学習の仕方と成績評価) 障害の概念とその変遷 事後学習：資料のキーワード(空欄)の穴埋め。 ：* ICFの評価方法について調べる(4時間)					
第2回：ICFによる事例の捉え方と障害者の処遇の歴史① 事前学習：ICFの活用事例について予習、前回の授業内容を復習・整理し質問項目をまとめる(2時間) 事後学習：資料のキーワード(空欄)の穴埋めと用語の意味調べ。障害者の処遇史中盤について調べる(2時間)					
第3回：障害者の処遇の歴史② 事前学習：障害者の処遇史(中盤)について予習、前回の授業内容を復習・整理し質問項目をまとめる(2時間) 事後学習：資料のキーワード(空欄)の穴埋めと用語の意味調べ。障害者の処遇史(後半)について調べる(2時間)					
第4回：障害者の処遇の歴史③ 事前学習：障害者の処遇史(後半)について予習、前回の授業内容を復習・整理し質問項目をまとめる(2時間) 事後学習：資料のキーワード(空欄)の穴埋めと用語の意味調べ。障害者の支援の理念について調べる(2時間)					
第5回：特別支援教育の現状①「障害者支援の理念」 事前学習：障害者支援の理念(後半)について予習、前回の授業内容を復習・整理し質問項目をまとめる(2時間) 事後学習：資料のキーワード(空欄)の穴埋めと用語の意味調べ。特別支援教育の法的枠組みについて調べる(2時間)					
第6回：特別支援教育の現状②「特別支援教育の法的枠組み①」 事前学習：特別支援教育の法的枠組みについて予習、前回の授業内容を復習・整理し質問項目をまとめる(2時間) 事後学習：資料のキーワード(空欄)の穴埋めと用語の意味調べ。特別支援教育の法的枠組みについて調べる。(2時間)					
第7回：特別支援教育の現状③「特別支援教育の法的枠組み②」(ディスカッション) 事前学習：特別支援教育の法的枠組みについて予習、前回の授業内容を復習・整理し質問項目をまとめる(2時間) 事後学習：資料のキーワード(空欄)の穴埋めと用語の意味調べ。特別支援教育の法的枠組みについて調べる(2時間)					

第8回：特別支援教育の現状④「特別支援教育の法的枠組み③」

事前学習：特別支援教育の法的枠組みについて予習、前回の授業内容を復習・整理し質問項目をまとめる（2時間）

事後学習：資料のキーワード（空欄）の穴埋めと用語の意味調べ。特別支援教育の法的枠組みについて調べる（2時間）

第9回：特別支援教育の現状⑤「個別の教育支援計画・指導計画」

事前学習：個別の教育支援計画・指導計画について予習、前回の授業内容を復習・整理し質問項目をまとめる（2時間）

事後学習：資料のキーワード（空欄）の穴埋めと用語の意味調べ。視覚障害について調べる（2時間）

第10回：特別支援教育の対象①「視覚障害の理解と支援」

事前学習：視覚障害について予習、前回の授業内容を復習・整理し質問項目をまとめる（2時間）

事後学習：資料のキーワード（空欄）の穴埋めと用語の意味調べ。聴覚障害について調べる（2時間）

第11回：特別支援教育の対象②「聴覚障害の理解と支援」（ディスカッション）

事前学習：聴覚障害について予習、前回の授業内容を復習・整理し質問項目をまとめる（2時間）

事後学習：資料のキーワード（空欄）の穴埋めと用語の意味調べ。知的障害について調べる（2時間）

第12回：特別支援教育の対象③「知的障害の理解と支援」

事前学習：知的障害について予習、前回の授業内容を復習・整理し質問項目をまとめる（2時間）

事後学習：資料のキーワード（空欄）の穴埋めと用語の意味調べ。肢体不自由について調べる（2時間）

第13回：特別支援教育の対象④「肢体不自由の理解と支援」

事前学習：肢体不自由について予習、前回の授業内容を復習・整理し質問項目をまとめる（2時間）

事後学習：資料のキーワード（空欄）の穴埋めと用語の意味調べ。重複障害について調べる（2時間）

第14回：特別支援教育の対象⑤「重複障害の理解と支援」

事前学習：重複障害について予習、前回の授業内容を復習・整理し質問項目をまとめる（2時間）

事後学習：資料のキーワード（空欄）の穴埋めと用語の意味調べ。肢体不自由について調べる（2時間）

第15回：特別支援教育の対象⑥と支援体制の構築「病弱児の理解と支援、連携の必要性」

事前学習：病弱児について予習、前回の授業内容を復習・整理し質問項目をまとめる（2時間）

事後学習：資料のキーワード（空欄）の穴埋めと用語の意味調べ。

*：特別支援教育を行う上で、教師や保育士に必要な資質は何か考えをまとめる（2時間）

上記のうち、*は小レポート。

各回の講義を受講した後、当該部分の配布資料をよく読んで復習してください。また、予習にあたっても次の授業の内容部分をよく見て、疑問点などをもって授業に臨んでください。

授業実施方法（面接授業・遠隔授業）

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

①出席状況と②課題評価（全2回の予定）の2つで行います。配分は以下の通りです。

①出席状況→40%（40点）、②課題評価→60%（60点＝30点×2回）

成績評価基準

■通常の学級にも在籍している発達障害や軽度知的障害をはじめとする様々な障害について理解できたか。

■特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒の学習上又は生活上の困難を理解できたか。

■個別の教育的ニーズに対して、他の教員や関係機関と連携しながら組織的に対応していくために必要な知識や支援方法を理解できたか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

1) 授業時の課題に対するフィードバックについて

■授業時 仁大eラーニング メール その他

2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて

■授業時 仁大eラーニング メール その他

3) 小レポートに対するフィードバックについて

■授業時 仁大eラーニング メール その他

4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて

定期試験時 仁大eラーニング メール その他

5) その他

授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書

参考図書：『知的障害の心理学—発達支援からの理解』小池敏英・北島善夫著 北大路書房(2001)
『特別支援教育の基礎・基本新訂版』独立行政法人国立特別支援教育総合研究所著 ジアース教育新社出版(2015)
『キーワードブック特別支援教育』(玉村公二彦・清水貞夫・黒田学・向井啓二編、クリエイツかもがわ出版、平成27年)
プリントを授業中に配布

その他(受講上の注意)

障害に対する理解を得たり、疑問点を解決しようとするなど、目的意識をもって受講することを期待します。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

教育課程論 (Theory of Education Curriculum)			担当教員	高野 秀晴	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-T-2205	2単位	2年後期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部 教職に関する科目					
求める学習成果(教育目標)					
新たな英語教育を担う中学校・高等学校の英語教員に求められるすぐれた知識と技能を身につけ、豊かな人間性を育みます。					

授 業 の 内 容					
教育課程とは、学習指導要領によって示される基準にもとづいて、各学校が編成する教育計画のことである。本授業では、学習指導要領(特に「前文」と「第1章」)を精読することを通じて、上記の到達目標を達成できるよう努める。また、過去の学習指導要領についても理解を深め、教育課程編成とそのマネジメントの意義を、歴史的観点からも考察できる力量を培う。					
授 業 の 到 達 目 標					
<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領を基準として各学校において編成される教育課程について、その意義や編成の方法を説明できる。 ・各学校の実情に合わせてカリキュラム・マネジメントを行うことの意義を説明できる。 					
アクティブ・ラーニング					
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他					
授業の計画及び授業外の学習方法					
第1回：オリエンテーション ― 教育課程とは何か 事前学習：シラバスをよく読んで、学修計画を立てる。(2時間) 事後学習：関連図書を検索したうえで、読書計画を立てる。(2時間)					
第2回：学習指導要領とは何か 事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。(2時間) 事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。(2時間)					
第3回：学習指導要領を読む(1) ― 「教育課程の役割」について 事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。(2時間) 事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。(2時間)					
第4回：学習指導要領を読む(2) ― 「教科等横断的な視点」について 事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。(2時間) 事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。(2時間)					
第5回：学習指導要領を読む(3) ― 「教育課程の編成」について 事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。(2時間) 事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。(2時間)					
第6回：学習指導要領を読む(4) ― 「教育課程の実施と学習評価」について 事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。(2時間) 事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。(2時間)					
第7回：学力とは何か 事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。(2時間) 事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。(2時間)					
第8回：評価は何のために行なうのか 事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。(2時間) 事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。(2時間)					
第9回：学習評価からカリキュラム・マネジメントへ 事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。(2時間) 事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。(2時間)					
第10回：学習指導要領の歴史的変遷(1) ― 1940年代後半 事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。(2時間) 事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。(2時間)					
第11回：学習指導要領の歴史的変遷(2) ― 1950～60年代 事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。(2時間) 事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。(2時間)					

- 第12回：学習指導要領の歴史的変遷（3）— 1970～80年代
 事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
 事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
- 第13回：学習指導要領の歴史的変遷（4）— 1990年代以降
 事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
 事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
- 第14回：いわゆる「ゆとり教育」とは何だったのか
 事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
 事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
- 第15回：まとめ
 事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
 事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
- 第16回：定期試験

授業実施方法（面接授業・遠隔授業）

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

定期試験（80%）
 平常点（20%）
 （平常点は、授業への参加状況と授業時の課題の提出状況により判断する）

成績評価基準

- ・学習指導要領を基準として各学校において編成される教育課程について、その意義や編成の方法を説明できるか。
- ・各学校の実情に合わせてカリキュラム・マネジメントを行うことの意義を説明できるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書

・テキスト
 小学校学習指導要領（平成29年3月公示 文部科学省）
 中学校学習指導要領（平成29年3月公示 文部科学省）
 高等学校学習指導要領（平成30年3月公示 文部科学省）

・参考図書
 授業時に指示する。

その他（受講上の注意）

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

英語科教育法 I (English Language Teaching Methodology I)			担当教員	フッド 晴美	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-T-2204	2単位	2年前期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部 教職に関する科目					
求める学習成果(教育目標)					
次世代の英語コミュニケーション能力育成に携わるすぐれた知識と技能を持つ人間性豊かな中学校・高等学校の英語教員を育成する。					

授 業 の 内 容					
英語教育の目的について考え、英語でディスカッションする。先行研究をもとに、第2言語習得理論および外国語教授法についての基本的な知識および理解を深める。学習者、特に第2言語学習者について先行研究などに基づいた理解を図る。					
授 業 の 到 達 目 標					
英語教育の目的について理解し、言語習得および外国語教授法について基本的な知識を得ることができる。学習者、特に第2言語学習者について、先行研究などに基づく基本的な理解ができる。					
アクティブ・ラーニング					
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input checked="" type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams等) <input type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Team等) <input checked="" type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他					
授業の計画及び授業外の学習方法					
<p>第1回：15回の全体計画と学修のポイント、成績評価と学習の仕方 事前学習：この講座を受講する目的・理由を発表できるようにしてくる。(2時間) 事後学習：英語教員になるために今後どのように自己研鑽をすすめるかレポートにする。(2時間)</p> <p>第2回：英語教育の目的①—英語学習の意義、教育の目的と英語教育(ディスカッション) 事前学習：自分が小学校、中学校、高校で英語を学習してきた意義と、個人的目的について発表できるようにしてくる。(2時間) 事後学習：英語学習の教育的意義、社会的意義をレポートにまとめる。(2時間)</p> <p>第3回：英語教育の目的②—学習指導要領(ディスカッション) 事前学習：自分が受けて来た小学校、中学校、高校の英語教育はどのような目的で行われてきたと思うか、そのように思う理由を含めて発表できるようにして来る。(2時間) 事後学習：自分が受けて来た英語教育が、学習指導要領に明記された目標を達成するためにどのようにされていたと考えるかレポートにまとめる。(2時間)</p> <p>第4回：第2言語習得理論①—コミュニケーション能力の構成要素(ディスカッション) 事前学習：自分が英語でコミュニケーションをとる時に必要と思われる能力を分析してくる。(2時間) 事後学習：コミュニケーション能力の構成要素の中で、自分の能力で更に努力を要する能力は何か、そしてそれはどのように習得できるかレポートにまとめる。(2時間)</p> <p>第5回：第2言語習得理論②—インプット・アウトプット・インタラクション(ディスカッション) 事前学習：自分はどのように英語コミュニケーション能力を伸ばしてきたか考えてくる。(2時間) 事後学習：自分の言語習得過程に、インプット・アウトプット・インタラクションがどのような重要性を持ってきたかレポートにまとめる。(2時間)</p> <p>第6回：第2言語習得理論③—UG, Behaviourism, Socio-cultural theoryなど(ディスカッション) 事前学習：自分はどのように日本語を使えるようになったか考えてくる。(2時間) 事後学習：授業で扱われた第2言語習得理論が、自分の英語習得過程にどのように当てはまるか或は当てはまらないかレポートにまとめる。(2時間)</p> <p>第7回：外国語教授法①(ディスカッション) 事前学習：中学校・高校で受けて来た英語の授業がどのように行われてきたか振り返り、先生がどのような方法で英語を教えようとしていたか考えてくる。(2時間) 事後学習：今回の授業で学習した外国語教授法の strong points, weak points についてレポートにまとめる。(2時間)</p> <p>第8回：外国語教授法②(ディスカッション) 事前学習：英語の授業を基本的に全て英語で教えると言うことに対する自分の意見をまとめてくる。(2時間) 事後学習：今回の授業で学習した外国語教授法の strong points, weak points についてレポートにまとめる。(2時間)</p>					

- 第9回：外国語教授法③（ディスカッション）
 事前学習：中学校・高校の英語の授業で経験したコミュニケーション活動について振り返り、良かったこと・良くなかったことなどをまとめる。（2時間）
 事後学習：自分が英語の授業をするとき、使いたい教授法をいくつか取り上げ、なぜそのような方法を使いたいかレポートにまとめる。（2時間）
- 第10回：学習者①— motivation & learning strategies（ディスカッション）
 事前学習：自分が英語を学習する際、どのようなことでモチベーションを上げることができるか、また、英語によるコミュニケーション力を伸ばすために自分はどのような方略をとっているか、まとめる。（2時間）
 事後学習：生徒のmotivation を高めるためにどのような方法があるか、また、なぜそのような方法が有効かレポートにまとめる。（2時間）
- 第11回：学習者②— learner differences（ディスカッション）
 事前学習：英語学習に年齢が関係するか、しないか、理由を含めて自分の考えをまとめる。（2時間）
 事後学習：学習者にはどのような違いがあり得るか、また、そのような違いに、英語教師としてどのように対応して行けば良いか、自分の考えをレポートにまとめる。（2時間）
- 第12回：言語要素の指導①— 音声の指導（ディスカッション、プレゼンテーション）
 事前学習：自分の発音の学習方法をまとめる。（2時間）
 事後学習：音声の指導において大切な点をレポートにまとめる。（2時間）
- 第13回：言語要素の指導②— 文字、語彙の指導（ディスカッション、プレゼンテーション）
 事前学習：自分の語彙（スペリングを含む）の学習方法をまとめる。（2時間）
 事後学習：文字、語彙の指導において大切な点をレポートにまとめる。（2時間）
- 第14回：言語要素の指導③— 文法の指導（ディスカッション、プレゼンテーション）
 事前学習：文法事項をひとつ選び、指導を想定した案を用意してくる。（2時間）
 事後学習：文法の指導において大切なことをレポートにまとめる。（2時間）
- 第15回：まとめ（ディスカッション）
 事前学習：これまでの授業を振り返り、理解が不足していると思われる項目をまとめる。（2時間）
 事後学習：事前学習で理解が不足していたとした項目について理解を深めたことをまとめる。（2時間）

定期試験

授業実施方法（面接授業・遠隔授業）

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

授業での活動および課題50%、定期試験50%

成績評価基準

- ・英語教育の目的について理解しているか。
- ・言語習得および外国語教授法について基本的な知識を得たか。
- ・積極的に議論に参加できたか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書

テキスト

『新・グローバル時代の英語教育』岡秀夫 編著 成美堂 2020年
『小学校学習指導要領』(平成29年3月公示 文部科学省)
『中学校学習指導要領』(平成29年3月公示 文部科学省)
『高等学校学習指導要領』(平成30年3月公示 文部科学省)

参考図書

『英語教育用語辞典 第3版』白畑知彦 他 大修館書店 2019年

その他(受講上の注意)

この授業はほとんど全て英語で行われる。ディスカッションへの積極的な参加を重視する。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

英語科教育法Ⅱ (English Language Teaching Methodology Ⅱ)			担当教員	フッド 晴美	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-T-2206	2単位	2年後期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部 教職に関する科目					
求める学習成果(教育目標)					
次世代の英語コミュニケーション能力育成に携わるすぐれた知識と技能を持つ人間性豊かな中学校・高等学校の英語教員を育成する。					

授 業 の 内 容					
実際の授業展開を想定し指導計画を立て、模擬授業および評価テスト作成をし、その内容について改善点などを英語で議論する。小学校の外国語活動・英語ならびに中学校、高校の英語の授業ビデオ視聴などを通し、小・中・高・大の英語教育の連携はどうあるべきかを英語で議論する。また、それぞれの校種の教科書の中で異文化理解がどのように扱われているかを調べ、英語教育の中で生徒の異文化理解をどう深めていくべきかを英語で議論する。					
授 業 の 到 達 目 標					
学習指導過程および評価について理解を深め、小学校の外国語活動・外国語科の学習指導要領や教材、並びに小・中・高・大の英語教育の連携、異文化理解教育について基本的な知識及び理解を得る。					
アクティブ・ラーニング					
<input checked="" type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input checked="" type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他					
授業の計画及び授業外の学習方法					
第1回：15回の全体計画と学修のポイント、成績評価と学習の仕方(ディスカッション) 事前学習：前期に学習したことを復習してくる。(2時間) 事後学習：後期の自分の目標をレポートにする。(2時間)					
第2回：4技能の活動①—聞くこと、話すこと(ディスカッション) 事前学習：listeningとspeakingの能力を自分がどのように身に付けて来たか発表できるようにまとめてくる。(2時間) 事後学習：listeningとspeakingの指導において大切なことをレポートにまとめる。(2時間)					
第3回：4技能の活動②—読むこと、書くこと(ディスカッション) 事前学習：readingとwritingの能力を自分がどのように身に付けて来たか発表できるようにまとめてくる。(2時間) 事後学習：readingとwritingの指導において大切なことをレポートにまとめる。(2時間)					
第4回：4技能の活動③—4技能の統合(ディスカッション、プレゼンテーション) 事前学習：現実の生活において、4技能をどのようにコミュニケーションに使っているか発表できるようにまとめてくる。(2時間) 事後学習：高校で使用されている教科書の中から1レッスンを選び、4技能を統合した指導過程を考える。(2時間)					
第5回：学習指導案の立て方①—目標設定、生徒理解、教材研究(ディスカッション) 事前学習：授業計画を立てる時に大切なことを考えてくる。(2時間) 事後学習：学習指導案を立てる時の目標設定、教材研究、生徒の理解度の把握において、大切なことをレポートにまとめる。(2時間)					
第6回：学習指導案の立て方②—授業の組み立て方(ディスカッション) 事前学習：中学校で使われている教科書の中から1レッスンを選び、学習指導案を書いて来る。(2時間) 事後学習：今回の授業を基に、学習指導案を書き直す。(2時間)					
第7回：学習指導案の立て方③—マイクロティーチング(課題解決型学習、ディスカッション、プレゼンテーション) 事前学習：前回の授業の事後学習で書き直した学習指導案を使ってマイクロティーチングをする準備をしてくる。(2時間) 事後学習：今回のマイクロティーチングの反省をレポートにまとめる。(2時間)					
第8回：教材①—教科書・辞書・教具(ディスカッション) 事前学習：中・高で使用した教材にはどんなものがあったか、どのような使い方をされていたかまとめてくる。(2時間) 事後学習：どのような辞書指導が望ましいか考えをレポートにまとめる。(2時間)					

- 第9回：教材②—ICTの活用、評価①—学習到達目標と評価（課題解決型学習、ディスカッション、プレゼンテーション）
 事前学習：インターネット利用してどんな語学学習ができるかリサーチしてくる。（2時間）
 事後学習：言語教育教材にどのようなものがあり、どのように利用できるかレポートにまとめる。（2時間）
- 第10回：評価②—言語テストの作成と実施（課題解決型学習、ディスカッション、プレゼンテーション）
 事前学習：前回の授業を基に、評価テストを作成してくる。（2時間）
 事後学習：学習到達目標と評価の関係、大切なことをレポートにまとめる。（2時間）
- 第11回：小学校英語①—歴史、発達段階、到達目標および評価、教材、授業（ディスカッション）
 事前学習：小学校英語の実態について調べてくる。（2時間）
 事後学習：小学校英語教材についてリサーチし、発表する準備をしてくる。（2時間）
- 第12回：小学校英語②、異文化理解教育—英語教育の中での異文化理解教育の意義と目的（ディスカッション）
 事前学習：自分が受けて来た英語の授業の中で、どのように異文化理解教育がなされていたかまとめてくる。（2時間）
 事後学習：英語教育の中での異文化理解教育の意義と目的をレポートにまとめる。（2時間）
- 第13回：小・中・高・大の連携、中学校授業参観（実習）
 事前学習：中学校で使用されている教科書を読み、生徒の英語学習が小・中・高・大とどのように発展するか考えてくる。（2時間）
 事後学習：中学校授業参観で学んだことをまとめる。（2時間）
- 第14回：教員養成と教員研修、中学校現場教員との対談（実習、ディスカッション）
 事前学習：日本社会が英語教員に求める資質・能力についてリサーチしてくる。（2時間）
 事後学習：自分が理想とする英語教員になるためにはどのような研鑽をしていかなければならないかレポートにまとめる。（2時間）
- 第15回：まとめ（ディスカッション）
 事前学習：これまでに学習したことを振り返り、理解が不足していることをまとめてくる。（2時間）
 事後学習：事前学習でまとめたことについて、わかったことをまとめる。（2時間）

定期試験

授業実施方法（面接授業・遠隔授業）

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

授業での活動および課題50%、定期試験50%

成績評価基準

- ・学習指導過程および評価について理解が深まったか。
- ・小学校の外国語活動・外国語科の学習指導要領や教材、並びに小・中・高・大の英語教育の連携、異文化理解教育について基本的な知識及び理解を得たか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書

テキスト

『新・グローバル時代の英語教育』岡秀夫 編著 成美堂 2020年
『小学校学習指導要領』(平成29年3月公示 文部科学省)
『中学校学習指導要領』(平成29年3月公示 文部科学省)
『高等学校学習指導要領』(平成30年3月公示 文部科学省)

参考図書

『英語教育用語辞典 第3版』白畑知彦 他 大修館書店 2019年

その他(受講上の注意)

この授業はほとんど全て英語で行われる。ディスカッションへの積極的な参加を重視する。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

英語科教育法Ⅲ (English Language Teaching Methodolog Ⅲ)			担当教員	紺渡 弘幸	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-T-2309	2単位	3年前期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部 教職に関する科目					
求める学習成果(教育目標)					
新たな英語教育を担う中学校・高等学校の英語教員に求められるすぐれた知識と技能を身につけ、豊かな人間性を育みます。					

授 業 の 内 容					
学習指導案の書き方、授業展開の方法、指導技術について理解を深めるとともに、具体的な指導事例の検討を通して効果的な指導法を学ぶ。さらに、個別に学習指導案を作成し、模擬授業を実施する機会を持つ。模擬授業の検討・評価を通して、実践的な指導力を身につける。					
授 業 の 到 達 目 標					
中学校及び高等学校の学習指導要領及び教科書に基づき、学習到達目標及び指導計画授業の組み立て、学習指導案の作成、基本的な指導法や授業評価について理解し、実際に授業を行うことができる力を身につける。					
アクティブ・ラーニング					
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input checked="" type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他					
授業の計画及び授業外の学習方法					
第1回：オリエンテーション、学習指導要領 事前学習：事前にシラバスやテキストに目を通し、質問事項をまとめておく。(2時間) 事後学習：新旧学習指導要領を比較し、変更点を確認する。(2時間)					
第2回：教科書、学習到達目標設定と指導計画 事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。 事前にテキストを読み、レポート資料を作成する。(2時間) 事後学習：実際に中・高で使用されている英語科教科書に目を通す。(2時間)					
第3回：授業の構成、学習指導案の作成 事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。 事前にテキストを読み、レポート資料を作成する。(2時間) 事後学習：授業の構成、学習指導案の作成について復習する。(2時間)					
第4回：中学校の授業例 事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。 事前にテキストを読み、レポート資料を作成する。(2時間) 事後学習：中学校の授業例を参考にして授業の組み立てを復習する。(2時間)					
第5回：高等学校の授業例 事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。 事前にテキストを読み、レポート資料を作成する。(2時間) 事後学習：高等学校の授業例を参考にして授業の組み立てを復習する。(2時間)					
第6回：授業の工夫(1)：Warm-up と Review (プレゼンテーション) 事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。 事前にテキストを読み、レポート資料を作成する。(2時間) 事後学習：授業におけるWarm-up及びReviewのしかたを復習する。(2時間)					
第7回：授業の工夫(2)：文法・文型の導入(プレゼンテーション) 事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。 事前にテキストを読み、レポート資料を作成する。(2時間) 事後学習：授業における文法・文型の導入のしかたを復習する。(2時間)					
第8回：授業の工夫(3)：コミュニケーション活動(プレゼンテーション) 事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。 事前にテキストを読み、レポート資料を作成する。(2時間) 事後学習：授業におけるコミュニケーション活動のしかたを復習する。(2時間)					

- 第9回：授業の工夫（4）：語彙の導入と指導（プレゼンテーション）
 事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
 事前にテキストを読み、レポーティング資料を作成する。（2時間）
 事後学習：授業における語彙の導入と指導のしかたを復習する。（2時間）
- 第10回：授業の工夫（5）：教科書本文の指導（プレゼンテーション）
 事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
 事前にテキストを読み、レポーティング資料を作成する。（2時間）
 事後学習：授業における教科書本文の指導のしかたを復習する。（2時間）
- 第11回：模擬授業（発表）・検討と評価（1）：Warm-up と Review（ディスカッション）
 事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
 学習指導案・教材を作成し、模擬授業の準備をする。（2時間）
 事後学習：授業におけるWarm-up及びReviewのしかたを復習する。（2時間）
- 第12回：模擬授業（発表）・検討と評価（2）：文法・文型の導入（ディスカッション）
 事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
 学習指導案・教材を作成し、模擬授業の準備をする。（2時間）
 事後学習：授業における文法・文型の導入のしかたを復習する。（2時間）
- 第13回：模擬授業（発表）・検討と評価（3）：コミュニケーション活動（ディスカッション）
 事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
 学習指導案・教材を作成し、模擬授業の準備をする。（2時間）
 事後学習：授業におけるコミュニケーション活動のしかたを復習する。（2時間）
- 第14回：模擬授業（発表）・検討と評価（4）：語彙の導入と指導（ディスカッション）
 事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
 学習指導案・教材を作成し、模擬授業の準備をする。（2時間）
 事後学習：授業における語彙の導入と指導のしかたを復習する。（2時間）
- 第15回：模擬授業（発表）・検討と評価（5）：教科書本文の指導（ディスカッション）
 事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
 学習指導案・教材を作成し、模擬授業の準備をする。（2時間）
 事後学習：授業における教科書本文の指導のしかたを復習する。（2時間）

定期試験

授業実施方法（面接授業・遠隔授業）

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

定期試験（50%）、課題・小テスト・模擬授業（35%）、授業への取り組み（15%）
 ※授業への取り組みは、授業への参加状況、受講態度等を総合して判断する。

成績評価基準

1. 学習指導要領や授業準備に必要な事柄について理解できているか。
2. 学習指導案の書き方を理解し、作成できるか。
3. 授業の組み立ての基本を理解できているか。
4. 基本的な指導法や指導技術を理解し、活用できるか。
5. 授業評価の観点を知り、客観的に授業を評価できるか。
6. ICTを効果的に指導に活用できるか。
7. 模擬授業を通して、実際に指導できるようになったか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書

テキスト

英語科教育実習ハンドブック 第4版(加藤茂夫、杉山敏、荒木美恵子著 大修館書店 令和2年)
英語教育用語事典 第3版(白畑知彦、富田祐一、村野井仁、若林茂則著 大修館書店 令和元年)

参考資料

小学校学習指導要領(平成29年3月公示 文部科学省)
中学校学習指導要領(平成29年3月公示 文部科学省)
高等学校学習指導要領(平成30年3月公示 文部科学省)

その他(受講上の注意)

主体的な学習を通して、教師に必要な指導力を身につけることを期待する。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

英語科教育法Ⅳ (English Language Teaching Methodology Ⅳ)			担当教員	紺渡 弘幸	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-T-2313	2単位	3年後期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部 教職に関する科目					
求める学習成果(教育目標)					
新たな英語教育を担う中学校・高等学校の英語教員に求められるすぐれた知識と技能を身につけ、豊かな人間性を育みます。					

授 業 の 内 容					
コミュニケーション能力を高める英語の授業を行うために必要な理論について理解を深めるとともに、そのための効果的な指導法を学ぶ。個別に学習指導案を作成し、模擬授業を実施する機会を持ち、その検討・評価を通して、実践的な指導力を身につける。					
授 業 の 到 達 目 標					
コミュニケーション能力の養成における課題を理解し、それを踏まえてコミュニケーション能力を養成する効果的な指導法についての知識やスキルを身につける。模擬授業を通して、指導法や指導技術を実際に活用できるようにする。					
アクティブ・ラーニング					
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input checked="" type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input checked="" type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他					
授業の計画及び授業外の学習方法					
第1回：日本の英語教育とめざすべき目標 事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。 事前にテキストを読み、レポート資料を作成する。(2時間) 事後学習：日本の英語教育とめざすべき目標について復習する。(2時間) 第2回：学習指導要領と「3つの資質・能力」及び「5つの領域」 事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。 事前にテキストを読み、レポート資料を作成する。(2時間) 事後学習：学習指導要領と「3つの資質・能力」及び「5つの領域」について復習する。(2時間) 第3回：コミュニケーション能力について 事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。 事前にテキストを読み、レポート資料を作成する。(2時間) 事後学習：コミュニケーション能力について復習する。(2時間) 第4回：コミュニケーション能力の養成のための指導に関する理論 事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。 事前にテキスト読み、レポート資料を作成する。(2時間) 事後学習：コミュニケーション能力の養成のための指導について復習する。(2時間) 第5回：コミュニケーション能力養成の問題点 事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。 事前にテキストを読み、レポート資料を作成する。(2時間) 事後学習：コミュニケーション能力養成の問題点について復習する。(2時間) 第6回：コミュニケーション能力養成のための効果的な指導法 事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。 事前にテキストを読み、レポート資料を作成する。(2時間) 事後学習：コミュニケーション能力養成のための効果的な指導法について復習する。(2時間) 第7回：コミュニケーション能力の養成と学習者要因 事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。 事前にテキストを読み、レポート資料を作成する。(2時間) 事後学習：コミュニケーション能力の養成と学習者要因について復習する。(2時間) 第8回：コミュニケーション能力の養成と評価 事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。 事前にテキストを読み、レポート資料を作成する。(2時間) 事後学習：コミュニケーション能力の養成と評価について復習する。(2時間)					

第9回：コミュニケーション能力の養成と小学校・中学校・高等学校間の連携

事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。

事前にテキストを読み、レポート資料を作成する。(2時間)

事後学習：コミュニケーション能力の養成と小学校・中学校・高等学校間の連携について復習する。(2時間)

第10回：指導技術・模擬授業(発表)・検討と評価(1) 導入・発問の工夫(ディスカッション)

事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。

学習指導案・教材を作成し、模擬授業の準備をする。(2時間)

事後学習：授業における導入・発問の工夫を復習する。(2時間)

第11回：指導技術・模擬授業(発表)・検討と評価(2) 教科書本文の扱い(ディスカッション)

事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。

学習指導案・教材を作成し、模擬授業の準備をする。(2時間)

事後学習：授業における教科書本文の扱い方を復習する。(2時間)

第12回：指導技術・模擬授業(発表)・検討と評価(3) コミュニケーション活動(ディスカッション)

事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。

学習指導案・教材を作成し、模擬授業の準備をする。(2時間)

事後学習：授業におけるコミュニケーション活動のしかたを復習する。(2時間)

第13回：指導技術・模擬授業(発表)・検討と評価(4) 言語形式・意味・機能(ディスカッション)

事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。

学習指導案・教材を作成し、模擬授業の準備をする。(2時間)

事後学習：授業における言語形式・意味・機能の対応づけを復習する。(2時間)

第14回：指導技術・模擬授業(発表)・検討と評価(5) スキルの統合(ディスカッション)

事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。

学習指導案・教材を作成し、模擬授業の準備をする。(2時間)

事後学習：授業におけるスキルの統合のしかたを復習する。(2時間)

第15回：まとめ

事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。

学習指導案・教材を作成し、模擬授業の準備をする。(2時間)

事後学習：授業における指導方法全般を復習する。(2時間)

定期試験

授業実施方法(面接授業・遠隔授業)

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

定期試験(50%)、課題・小テスト・模擬授業(35%)、授業への取り組み(15%)

※授業への取り組みは、授業への参加状況、受講態度等を総合して判断する。

成績評価基準

1. コミュニケーション能力とその養成における問題点について理解できているか。
2. コミュニケーション能力を養成する効果的な指導法について理解できているか。
3. 模擬授業を通して、指導法や指導技術を活用できるようになったか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

テキスト

意見・考え重視の視点からの英語授業改革（大下邦幸監修、東京書籍、平成26年）

英語教育用語事典 第3版（白畑知彦、富田祐一、村野井仁、若林茂則著 大修館書店 令和元年）

参考資料

小学校学習指導要領（平成29年3月公示 文部科学省）

中学校学習指導要領（平成29年3月公示 文部科学省）

高等学校学習指導要領（平成30年3月公示 文部科学省）

コミュニケーション・クラスのすすめ（大下邦幸編著 東京書籍 平成21年）

その他（受講上の注意）

主体的な学習を通して、教師に必要な指導力を身につけることを期待する。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

道徳教育の理論と方法 (Theory and Methods of Moral Education)			担当教員	高野 秀晴	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-T-2314	2単位	3年後期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部 教職に関する科目					
求める学習成果(教育目標)					
新たな英語教育を担う中学校・高等学校の英語教員に求められるすぐれた知識と技能を身につけ、豊かな人間性を育みます。					

授 業 の 内 容					
学校で道徳教育をいかに行うかが大きな課題となっている。本授業では、この古くて新しい課題について理解を深めたいと、学習指導要領に示される道徳教育の目標や内容について考察していく。これと並行して、グループごとに指導案を作成し、順次模擬授業を実施してもらう。これらの作業を通じて、道徳教育の指導法について検討していく。					
授 業 の 到 達 目 標					
<ul style="list-style-type: none"> ・道徳の意義や原理等を踏まえ、学校における道徳教育の目標や内容を説明できる。 ・道徳教育における指導計画の必要性を理解したうえで教材研究を行い、適切な指導法にもとづく授業計画を立てることができる。 					
アクティブ・ラーニング					
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input checked="" type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input checked="" type="checkbox"/> その他(模擬授業)					
授業の計画及び授業外の学習方法					
<p>第1回：オリエンテーション 事前学習：シラバスをよく読み、学修計画を立てる。(2時間) 事後学習：参考図書を検索し読書計画を立てるとともに、指導案の作成計画を立てる。(2時間)</p> <p>第2回：道徳教育の難しさ(1) — 道徳は知識なのか行為なのか 事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読むとともに、指導案の作成を進める。(2時間) 事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。(2時間)</p> <p>第3回：道徳教育の難しさ(2) — 宗教と道徳について 事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読むとともに、指導案の作成を進める。(2時間) 事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。(2時間)</p> <p>第4回：道徳教育の難しさ(3) — 評価のあり方について 事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読むとともに、指導案の作成を進める。(2時間) 事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。(2時間)</p> <p>第5回：道徳性発達理論についての考察 事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読むとともに、指導案の作成を進める。(2時間) 事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。(2時間)</p> <p>第6回：学習指導要領を読む — 第1章「総則」、第3章「特別の教科 道徳」 事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読むとともに、指導案の作成を進める。(2時間) 事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。(2時間)</p> <p>第7回：教材研究(1) — 『心のノート』と『私たちの道徳』を中心に(グループワーク) 事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読むとともに、指導案の作成を進める。(2時間) 事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。(2時間)</p> <p>第8回：教材研究(2) — 読み物教材の使い方(グループワーク) 事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読むとともに、指導案の作成を進める。(2時間) 事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。(2時間)</p> <p>第9回：日本における道徳教育の歴史 事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読むとともに、指導案の作成を進める。(2時間) 事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。(2時間)</p> <p>第10回：指導法の検討(1) — インカレクション(模擬授業、討議) 事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読むとともに、指導案を作成または修正する。(2時間) 事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。(2時間)</p>					

<p>第11回：指導法の検討（2）——ディベート（模擬授業、討議） 事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読むとともに、指導案を作成または修正する。（2時間） 事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）</p> <p>第12回：指導法の検討（3）——モラルジレンマ（模擬授業、討議） 事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読むとともに、指導案を作成または修正する。（2時間） 事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）</p> <p>第13回：指導法の検討（4）——ロールプレイ（模擬授業、討議） 事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読むとともに、指導案を作成または修正する。（2時間） 事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）</p> <p>第14回：指導法の検討（5）——構成的グループエンカウンター（模擬授業、討議） 事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読むとともに、指導案を作成または修正する。（2時間） 事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）</p> <p>第15回：まとめ 事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読むとともに、指導案を作成または修正する。（2時間） 事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）</p> <p>第16回：定期試験</p>
授業実施方法（面接授業・遠隔授業）
<p>原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。</p>
成績評価方法
<p>定期試験（50%） 指導案の内容（25%） 平常点（25%） （平常点は、授業への参加状況、授業時の課題の内容、模擬授業に対する講評の内容をもとに評価する。）</p>
成績評価基準
<ul style="list-style-type: none"> ・ 道徳の意義や原理等を踏まえ、学校における道徳教育の目標や内容を説明できるか。 ・ 道徳教育における指導計画の必要性を理解したうえで教材研究を行い、適切な指導法にもとづく授業計画を立てることができるか。
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック
<p>1) 授業時の課題に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/>授業時 <input checked="" type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて <input type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>3) 小レポートに対するフィードバックについて <input type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて <input type="checkbox"/>定期試験時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p> <p>5) その他 <input type="checkbox"/>授業時 <input type="checkbox"/>仁大eラーニング <input type="checkbox"/>メール <input type="checkbox"/>その他</p>
実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
テキスト、参考図書
<p>テキスト：「小学校学習指導要領」（平成29年3月告示 文部科学省）、「中学校学習指導要領」（平成29年3月告示 文部科学省） 参考図書：授業時に指示する。</p>
その他（受講上の注意）
オフィスアワー
<p>UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。</p>

特別活動及び総合的な学習の時間の指導法 (Teaching method of an extraordinary and overall learning time)			担当教員	山崎 智幸	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-T-2218	2単位	2年前期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部 教職に関する科目					
求める学習成果(教育目標)					
新たな英語教育を担う中学校・高等学校の英語教員に求められるすぐれた知識と技能を身につけ、豊かな人間性を育みます。					

授 業 の 内 容					
総合的な学習の時間の意義や、各学校において目標及び内容を定める際の考え方、指導計画作成の考え方を理解し、その実現のために必要な基礎的な能力を身に付けるとともに、総合的な学習の時間の指導と評価の考え方および実践上の留意点を理解する。また、特別活動の意義、目標及び内容と、特別活動の指導の在り方を理解する。					
授 業 の 到 達 目 標					
総合的な学習の時間は、探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力の育成を目指す。また、各教科等で育まれる見方・考え方を総合的に活用して、広範な事象を多様な角度から俯瞰して捉え、実社会・実生活の課題を探究する学びを実現するために、指導計画の作成および具体的な指導の仕方、並びに学習活動の評価に関する知識・技能を身に付ける。 特別活動は、学校における様々な構成の集団での活動を通して、課題の発見や解決を行い、よりよい集団や学校生活を目指して様々に行われる活動の総体であり、学校教育全体における特別活動の意義を理解し、「人間関係形成」・「社会参画」・「自己実現」の三つの視点や「チームとしての学校」の視点を持つとともに、学年の違いによる活動の変化、各教科等との往還的な関連、地域住民や他校の教職員と連携した組織的な対応等の特別活動の特質を踏まえた指導に必要な知識や素養を身に付ける。					
アクティブ・ラーニング					
□課題解決型学習 (PBL) ■討議 (ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) ■グループワーク (Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) ■発表・プレゼンテーション (Teams、Zoom等) □実習、フィールドワーク □実験、実技 □その他					
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法					
第1回：学習指導要領における特別活動と総合的な学習の時間の意義・目標 事前学習：学習指導要領における特別活動と総合的な学習の時間の意義・目標を読んで、要点をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：講義とテキストの関連項目をもとに特別活動と総合的な学習の時間の意義・目標について、リフレクションシートにまとめる。(2時間)					
第2回：教育課程における特別活動の位置づけや総合的な学習の時間の果たす役割 事前学習：小・中・高校の学習指導要領の総則の教育課程の編成に関する部分を読み、特別活動の位置づけや総合的な学習の時間の果たす役割等について、要点をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：講義をもとに特別活動の位置づけや総合的な学習の時間の果たす役割等について、リフレクションシートにまとめる。(2時間)					
第3回：特別活動の目標と各活動・学校行事の目標との関連(ワークショップ) 事前学習：小・中・高校の『解説 特別活動編』の特別活動の目標と各活動等の目標との関連する部分を読み、要点をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：講義とテキストの関連項目をもとに、特別活動の目標と各活動等の目標との関連についてリフレクションシートにまとめる。(2時間)					
第4回：学級活動の実践—グループワークによる人間関係づくり(グループワークと発表) 事前学習：小・中・高校の『解説 特別活動編』の学級・HR活動の部分を読み、要点をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：事例を通じたグループワークと発表をもとに学級活動の目標や内容等について、リフレクションシートにまとめる。(2時間)					
第5回：児童会・生徒会活動の特質—実践事例を通して考える(ワークショップとグループワーク、発表) 事前学習：小・中・高校の『解説 特別活動編』の児童会・生徒会活動の部分を読み、要点をまとめておくこと。また、各自の児童会・生徒会活動に関する体験を簡単に書いて準備すること。(2時間) 事後学習：事例を通じたグループワークと発表をもとに児童会・生徒会活動の目標と内容等について、リフレクションシートにまとめる。(2時間)					

- 第6回：クラブ活動、学校行事の体験を記録し交流する——その特質のリメイク（ワークショップとグループワーク、発表）
 事前学習：小・中・高校の『解説 特別活動編』のクラブ活動・学校行事の部分を読み、要点をまとめておくこと。また、各自のクラブ活動・学校行事に関する体験を簡単に書いて準備すること。（2時間）
 事後学習：事例を通したグループワークと発表をもとにクラブ活動・学校行事の目標と内容等について、リフレクションシートにまとめる。（2時間）
- 第7回：特別活動の全体計画と各活動・学校行事の年間指導計画と内容の取り扱い
 事前学習：小・中・高校の『解説 特別活動編』の指導計画の作成と内容の取扱いの部分を読み、要点をまとめておくこと。（2時間）
 事後学習：講義とテキストの関連項目をもとに、特別活動の全体計画と各活動・学校行事の年間指導計画と内容の取り扱いについてリフレクションシートにまとめる。（2時間）
- 第8回：総合的な学習の時間の年間指導計画の作成
 事前学習：小・中・高校の『解説 総合的な学習の時間編』の指導計画の作成の部分を読み、要点をまとめておくこと。（2時間）
 事後学習：講義とテキストの関連項目をもとに、総合的な学習の時間の指導計画についてリフレクションシートにまとめる。（2時間）
- 第9回：探究課題の解決を通して育成を目指す資質・能力
 事前学習：小・中・高校の『解説 総合的な学習の時間編』の学習指導の部分を読み、要点をまとめておくこと。（2時間）
 事後学習：講義とテキストの関連項目をもとに、探究課題の解決を通して育成を目指す資質・能力についてリフレクションシートにまとめる。（2時間）
- 第10回：総合的な学習の時間における「考えるための技法」の活用
 事前学習：小・中・高校の『解説 総合的な学習の時間編』の「考えるための技法」の部分を読み、要点をまとめておくこと。（2時間）
 事後学習：講義とテキストの関連項目をもとに、「考えるための技法」についてリフレクションシートにまとめる。（2時間）
- 第11回：現代的な諸課題に対応する横断的・総合的な課題（ワークショップとグループワーク、発表）
 事前学習：小・中・高校の『解説 総合的な学習の時間編』の各学校が定める内容の当該部分を読み、要点をまとめておくこと。また、各自の当該テーマに関する体験を簡単に書いて準備すること。（2時間）
 事後学習：事例を通したグループワークと発表をもとに、当該テーマについて考えたことをリフレクションシートにまとめる。（2時間）
- 第12回：地域や学校の特色に応じた課題（ワークショップとグループワーク、発表）
 事前学習：小・中・高校の『解説 総合的な学習の時間編』の各学校が定める内容の当該部分を読み、要点をまとめておくこと。また、各自の当該テーマに関する体験を簡単に書いて準備すること。（2時間）
 事後学習：事例を通したグループワークと発表をもとに、当該テーマについて考えたことをリフレクションシートにまとめる。（2時間）
- 第13回：児童・生徒の興味・関心に基づく課題（ワークショップとグループワーク、発表）
 事前学習：小・中・高校の『解説 総合的な学習の時間編』の各学校が定める内容の当該部分を読み、要点をまとめておくこと。また、各自の当該テーマに関する体験を簡単に書いて準備すること。（2時間）
 事後学習：事例を通したグループワークと発表をもとに、当該テーマについて考えたことをリフレクションシートにまとめる。（2時間）
- 第14回：特別活動と総合的な学習の時間の評価
 事前学習：小・中・高校の『解説 特別活動編』『解説 総合的な学習の時間編』の評価の部分を読み、要点をまとめておくこと。（2時間）
 事後学習：講義とテキストの関連項目をもとに、特別活動と総合的な学習の時間の評価についてリフレクションシートにまとめる。（2時間）
- 第15回：「特別活動」及び「総合的な学習の時間」で求められる教師の力量（討議）
 事前学習：これまでの学習から「特別活動」や「総合的な学習の時間」で求められる教師の力について、自分の考え整理し、要点をまとめておくこと。（2時間）
 事後学習：「特別活動」及び「総合的な学習の時間」で求められる教師の力量についてのディスカッションをもとに、改めてその教師の力についてリフレクションシートにまとめる。（2時間）

定期試験は実施しない。

授業実施方法（面接授業・遠隔授業）

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法
毎回のA4表裏1枚のリフレクション・レポート(30%)、特別活動及び総合的な学習の時間における体験レポート(20%×2回)、講義終了後の最終レポート(30%)で総合的に評価する。
成績評価基準
特別活動の意義や目標及び内容を理解しているか。 特別活動の指導の在り方を理解しているか。 総合的な学習の時間の意義や各学校において目標及び内容を定める際の考え方を理解しているか。 総合的な学習の時間の指導計画作成の考え方を理解し、その実現のために必要な基礎的な能力を身に付けているか。 総合的な学習の時間の指導と評価の考え方及び実践上の留意点を理解しているか。
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック
1) 授業時の課題に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/> 授業時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/> 授業時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 3) 小レポートに対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/> 授業時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて <input type="checkbox"/> 定期試験時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 5) その他 <input type="checkbox"/> 授業時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他
実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)
テキスト、参考図書
テキスト 小学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編(平成29年6月 文部科学省) 小学校学習指導要領解説 特別活動編(平成29年6月 文部科学省) 中学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編(平成29年7月 文部科学省) 中学校学習指導要領解説 特別活動編(平成29年7月 文部科学省) 高等学校学習指導要領解説 総合的な探究の時間編(平成30年7月 文部科学省) 高等学校学習指導要領解説 特別活動編(平成30年7月 文部科学省) 参考図書 総合的な学習の時間・総合的な探究の時間と特別活動の方法(中尾豊喜 2020年 東洋館出版社)
その他(受講上の注意)
総合的な学習の時間には、環境、国際化、福祉、人権、情報など、既存の教科や学問の枠組みでは解決が困難な問題に直面する現代的な問題を取り上げることも多いため、日頃から地球温暖化など現代的なテーマの話題に積極的に触れておくこと。また、いじめ等の社会的な教育問題についても新聞等で積極的に触れておくこと。
オフィスアワー
UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

教育の方法と技術 (ICT活用を含む) (Educational methods and techniques (including using information and communication technologies))			担当教員	籠谷 隆弘
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-T-2207	2単位	2年後期	講義	選択
<科目区分> 人間学部 教職に関する科目				
求める学習成果(教育目標)				
新たな英語教育を担う中学校・高等学校の英語教員に求められるすぐれた知識と技能を身につけ、豊かな人間性を育みます。				

授 業 の 内 容				
プリント資料やウェブ上の資料を参考に教育方法の理論について解説する。関連する事項について各自の考えをもとに、他の受講者と授業内やオンライン上での対話・議論を行う。オンラインフォーラムにおいては、授業テーマに関する自身の考えを述べながら、他者との議論を深める必要がある。また実際に情報機器を活用して教材を作成し、それが適切なものであるかを相互評価する。学習指導案を作成し、それにもとづく模擬授業を行った後、評価を行う。教材制作・模擬授業準備においては、市販のソフトウェア関連の書籍やウェブ上の資料を参考に、授業時間外にも作業を行う必要がある。				
授 業 の 到 達 目 標				
教育方法に関する基礎的な理論や授業を構成する要件(カリキュラム・児童・教員・教材等)を理解し、設計・実施・評価といった実践に向けての指導技術を身につける。 また、授業に際して情報機器をどのように活用すると効果的か、子どもの情報活用能力の育成にどのような教材を作成し活用すると良いかを考え、それらに関する基礎的な能力を身につける。				
アクティブ・ラーニング				
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input checked="" type="checkbox"/> 実験、実技 <input checked="" type="checkbox"/> その他(オンラインでのディスカッション・相互評価)				
授業の計画及び授業外の学習方法				
第1回：授業の目的・計画・評価方法の説明。学校・教育の現状と課題 事後学習：学習管理システム(LMS)のフォーラム上に自身の意見を記述する。(2時間) 第2回：学習指導要領、指導計画、カリキュラム、指導法、主体的・対話的で深い学び 事前学習：配布資料等の内容を確認する。(1時間) 事後学習：LMSのフォーラムにて他者の意見を読み、コメントする。(オンラインディスカッション) LMSのフォーラム上に自身のアイデアを記述する。(2時間) 第3回：授業を構成する要件(学級、児童及び生徒・教員、教材・教具・視聴覚メディア) 事前学習：配布資料等の内容を確認する。(1時間) 事後学習：動画教材を作成しLMSのワークショップに提出する。(5時間) 第4回：教育の情報化(情報教育、教科指導、校務)、情報モラル、教育情報セキュリティ 事前学習：配布資料等の内容を確認する。(1時間) 事後学習：LMSのワークショップに提出された動画教材を評価する。(オンラインでの相互評価) LMSのフォーラム上に自身の意見を記述する。(3時間) 第5回：デジタル教科書・デジタル教材の活用、特別支援におけるICTの活用と留意 事前学習：配布資料等の内容を確認する。(1時間) 事後学習：LMSのフォーラム上に自身の意見を記述する。(3時間) 第6回：Web サービスを利用したアンケートや小テスト問題の作成と教育データの分析・評価 事前学習：配布資料等の内容を確認する。(1時間) 事後学習：Webアンケートを作成しLMSのフォーラムに投稿する。(3時間) 第7回：ストーリー型インタラクティブ教材の設計(テーマ設定、展開) 事前学習：配布資料等の内容を確認する。(1時間) 事後学習：Webアンケートを回答する。ストーリー型教材のテーマを決め素材データを準備する。(3時間)				

- 第8回：ストーリー型インタラクティブ教材の制作（画像・写真・音・アニメーションの活用）（実技）
事前学習：配布資料等の内容を確認する。（1時間）
事後学習：Webアンケートを分析する。ストーリー型教材を完成させワークショップに提出する。（4時間）
- 第9回：社会的変化に対応する学びと資質・能力、プログラミング教育による論理的思考力の育成
事前学習：配布資料等の内容を確認する。（1時間）
事後学習：ストーリー型教材を評価する。ミニプログラムを作成する。（1時間）
- 第10回：プログラミングによる教材の設計と各教科等での活用
事前学習：配布資料等の内容を確認する。（1時間）
事後学習：教材プログラムを作成する。（3時間）
- 第11回：プログラミングによる教材の制作と相互評価（実技）
事前学習：配布資料等の内容を確認する。（1時間）
事後学習：教材プログラムを完成させる。（5時間）
- 第12回：教育メディア・ICTを活用した模擬授業の計画（グループワーク）
事前学習：配布資料等の内容を確認する。（1時間）
事後学習：グループで模擬授業の役割分担と指導案を決める。（1時間）
- 第13回：教育メディア・ICTを活用した模擬授業の実施（発表・グループワーク）
事前学習：模擬授業の準備を行なう。（2時間）
事後学習：模擬授業の評価を記録する。（2時間）
- 第14回：教育メディア・ICTを活用した模擬授業の評価と改善提案（発表・グループワーク）
事前学習：模擬授業の準備を行なう。（2時間）
事後学習：模擬授業の評価を記録する。（2時間）
- 第15回：模擬授業を踏まえた教育の方法と技術のまとめ、教育に関わるテクノロジーの展望・環境整備
事後学習：模擬授業の評価集計・分析を行なう。授業全体の振り返りを行いレポートとしてまとめる。（6時間）

定期試験は実施しない

授業実施方法（面接授業・遠隔授業）

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

課せられた課題・成果物を提出していることを重視して評価する。
受講態度（10%）、前半内容に関連する課題と制作物（30%）、後半内容に関する制作物（40%）、模擬授業内容と相互評価（20%）

成績評価基準

授業の設計・実施・評価等に関する知識を修得しているか。
教材や教育メディアの選択・構成・活用等に関する力量が身についているか。
模擬授業について周到に準備を行い、的確に実施できているか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書

テキスト

プリント資料および学習支援システムでのリソースにて提示する。

参考図書

参考図書：

- (1) 教育の方法・技術とICT (やさしく学ぶ教職課程 シリーズ) (古賀毅・高橋優 編著 学文社 2022年)
- (2) 教育方法論【改訂版】(教職課程シリーズ) (谷田貝公昭・成田国英・林邦雄著、一藝社出版 2015年)
- (3) 教育の方法と技術-第3版(教育学のポイント・シリーズ) (単行本) (柴田義松・山崎準二著 学文社 2019年)

参考資料：

中学校学習指導要領(平成29年3月公示 文部科学省)

高等学校学習指導要領(平成30年3月公示 文部科学省)

プリント資料および学習支援システムでのリソースを利用する。

オンラインフォーラムにおいて、授業テーマに関する自身の考えを述べ、他者との議論も深める必要がある。

教材制作・模擬授業準備においては、市販のソフトウェア関連の書籍やWWWの資料を参考に、授業時間外にも作業を行う必要がある。

その他(受講上の注意)

欠席した場合には、授業の進捗を確認し次週に備えること。模擬授業に関連して準備・練習を十分行うこと。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

生徒・進路指導論 (Educational Guidance and Consultation)			担当教員	黒田 祐二	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-T-2310	2単位	3年前期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部 教職に関する科目					
求める学習成果(教育目標)					
次世代の英語コミュニケーション能力育成に携わる、すぐれた知識と技能を持つ人間性豊かな中学校・高等学校の英語教員を育成する。					

授 業 の 内 容					
授業計画の前半は生徒指導、後半は進路指導(キャリア教育)について講義する。どちらにおいても、まず概要と原理について講義し、次に全体指導や個別指導の具体的な進め方について講義するという順序で進める。全体指導や個別指導に関する授業では、グループ・ディスカッションや討論も取り入れる。					
授 業 の 到 達 目 標					
生徒指導及び進路指導(キャリア教育)の考え方や方法を学ぶことを通して、指導を効果的に進めていくために必要な知識、技能、素養を身につける。また、校内外の関係者と連携しながら学校全体で組織的に生徒・進路指導を進めていくことの意義や重要性を理解し、その具体的な方法について知識を身につける。					
アクティブ・ラーニング					
口課題解決型学習(PBL) ■討議(ディスカッション、ディベート、Moodieでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) ■グループワーク(Moodieでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) ■発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) 口実習、フィールドワーク 口実験、実技 □その他					
授業の計画及び授業外の学習方法					
第1回：生徒指導の概要－教育課程における位置づけと生徒指導の意義、生徒指導が機能する場面や領域、生徒指導の体制とその運営、生徒指導に関わる主な法令 事前学習：テキスト等を参考にして生徒指導の定義や概要について予習しておくこと(2時間) 事後学習：テキスト及び授業の復習をしておくこと。不明点・疑問点を明確にし、あれば次回質問すること(2時間)					
第2回：生徒指導の意義と原理1－発達観と指導観 事前学習：テキスト等を参考にして発達観と指導観について予習しておくこと(2時間) 事後学習：テキスト及び授業の復習をしておくこと。不明点・疑問点を明確にし、あれば次回質問すること(2時間)					
第3回：生徒指導の意義と原理2－集団指導と個別指導の方法原理 事前学習：テキスト等を参考にして集団指導と個別指導について予習しておくこと(2時間) 事後学習：テキスト及び授業の復習をしておくこと。不明点・疑問点を明確にし、あれば次回質問すること(2時間)					
第4回：児童生徒の理解と指導－児童生徒の心理を踏まえた指導のあり方 事前学習：テキスト等を参考にして児童生徒の心理について予習しておくこと(2時間) 事後学習：テキスト及び授業の復習をしておくこと。不明点・疑問点を明確にし、あれば次回質問すること(2時間)					
第5回：全体指導の進め方1－自己肯定感や存在感を育てる生徒指導 事前学習：テキスト等を参考にして自己肯定感や存在感の育て方について予習しておくこと(2時間) 事後学習：テキスト及び授業の復習をしておくこと。不明点・疑問点を明確にし、あれば次回質問すること(2時間)					
第6回：全体指導の進め方2－自己指導能力を育てる生徒指導 事前学習：テキスト等を参考にして自己指導能力とその育て方について予習しておくこと(2時間) 事後学習：テキスト及び授業の復習をしておくこと。不明点・疑問点を明確にし、あれば次回質問すること(2時間)					
第7回：個別指導の進め方1－いじめの理解と対応(ディスカッションを含む) 事前学習：テキスト等を参考にしていじめの理解と対応について予習しておくこと(2時間) 事後学習：テキスト及び授業の復習をしておくこと。不明点・疑問点を明確にし、あれば次回質問すること(2時間)					
第8回：個別指導の進め方2－非行の理解と対応(ディスカッションを含む) 事前学習：テキスト等を参考にして非行の理解と対応について予習しておくこと(2時間) 事後学習：テキスト及び授業の復習をしておくこと。不明点・疑問点を明確にし、あれば次回質問すること(2時間)					

- 第9回：個別指導の進め方3－不登校の理解と対応（ディスカッションを含む）
 事前学習：テキスト等を参考にして不登校の理解と対応について予習しておくこと（2時間）
 事後学習：テキスト及び授業の復習をしておくこと。不明点・疑問点を明確にし、あれば次回質問すること（2時間）
- 第10回：個別指導の進め方4－今日的な問題行動と校内外の連携のあり方
 事前学習：テキスト等を参考にして校内外の連携について予習しておくこと（2時間）
 事後学習：テキスト及び授業の復習をしておくこと。不明点・疑問点を明確にし、あれば次回質問すること（2時間）
- 第11回：進路指導の概要－教育課程における位置づけ、進路指導とキャリア教育の関係、キャリア形成に関する今日的な課題とキャリア教育の重要性
 事前学習：テキスト等を参考にして進路指導の定義と概要を予習しておくこと（2時間）
 事後学習：テキスト及び授業の復習をしておくこと。不明点・疑問点を明確にし、あれば次回質問すること（2時間）
- 第12回：全体指導の進め方1－ガイダンスとしての指導、発達段階毎の進路指導・キャリア教育のあり方と進め方
 事前学習：テキスト等を参考にして発達段階毎のキャリア教育について予習しておくこと（2時間）
 事後学習：テキスト及び授業の復習をしておくこと。不明点・疑問点を明確にし、あれば次回質問すること（2時間）
- 第13回：全体指導の進め方2－キャリア教育の視点を取り入れたカリキュラムの編成と実施、キャリア教育と教科・特別活動・総合的な学習の時間との関係
 事前学習：テキスト等を参考にしてキャリア教育と他の教育活動との関係について予習しておくこと（2時間）
 事後学習：テキスト及び授業の復習をしておくこと。不明点・疑問点を明確にし、あれば次回質問すること（2時間）
- 第14回：個別指導の進め方1－自己理解・自己評価とキャリア形成の関係、ポートフォリオの作成と活用例
 事前学習：テキスト等を参考にしてキャリア教育の進め方について予習しておくこと（2時間）
 事後学習：テキスト及び授業の復習をしておくこと。不明点・疑問点を明確にし、あれば次回質問すること（2時間）
- 第15回：個別指導の進め方2－キャリア・カウンセリングの考え方と実践方法
 事前学習：テキスト等を参考にしてキャリア・カウンセリングについて予習しておくこと（2時間）
 事後学習：テキスト及び授業の復習をしておくこと。不明点・疑問点を明確にし、あれば次回質問すること（2時間）
- 第16回：定期試験

授業実施方法（面接授業・遠隔授業）

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

定期試験（100%）

成績評価基準

- 1 生徒・進路指導に関する基本的な知識と考え方を身につけたかどうか。
- 2 生徒・進路指導上の諸問題に実践的に対応するための視点やスキルを身につけたかどうか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書

テキスト：黒田祐二・清水貴裕・永作稔（編著）『実践につながる生徒指導・キャリア教育』北樹出版（令和6年）
 参考図書：文部科学省『生徒指導提要』（改訂版）※文部科学省のホームページからダウンロードできます。

その他(受講上の注意)

講義のみならずディスカッションも多く取り入れるため、これらに積極的に取り組めることが大切です。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

教育相談 (Educational Counseling)			担当教員	佐々木 雅代	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-K-2415	2単位	4年前期	講義	選択	
<科目区分> 人間学部 教職に関する科目					
求める学習成果(教育目標)					
次世代の英語コミュニケーション能力育成に携わるすぐれた知識と技能を持つ人間性豊かな中学校・高等学校の英語教員を育成する。					

授 業 の 内 容					
教育相談の意義と理論の理解が、実践技術を裏打ちするものとなるために、いじめ、不登校など各種架空事例を用いて、問題の所在や対応策の検討を行う。教育相談における様々な予防開発的支援技術の体験学習を行う。					
授 業 の 到 達 目 標					
学校における教育相談の意義と理論を理解する。教育相談を進める際に必要な基礎的知識(カウンセリングに関する基礎的事項を含む)を理解する。教育相談の具体的な進め方やそのポイント、組織的な取り組みや連携の必要性を理解する。					
アクティブ・ラーニング					
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input checked="" type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input checked="" type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他					
授業の計画及び授業外の学習方法					
<p>第1回：15回の全体計画と学習のポイント及び到達目標の説明。生徒指導と教育相談について。教育相談の視点から学校という場、資源について知る。(ディスカッション) 事後学習：チーム学校に関し、指示した課題について、調べレポートにまとめておくこと。(3時間)</p> <p>第2回：教育相談に生かす心理学的理解；教育相談とカウンセリング。見立て。事例で学ぶ、問題の背景、影響、資質のとらえ方。傾聴訓練を含むグループディスカッション。(ディスカッション) 事前学習：第1回に配布した資料を熟読しておくこと。(2時間) 事後学習：見立てについて、理解したことをレポートにまとめておくこと。(2時間)</p> <p>第3回：教育相談に生かす心理学的理解；教育相談の技法について。傾聴訓練。予防開発的援助について。グループディスカッション。(グループワーク) 事前学習：第2回に配布した事例について、自分なりの介入プランを立てること。(2時間) 事後学習：介入プランの立て方について、ポイントをレポートにまとめておくこと。(2時間)</p> <p>第4回：不登校、登園渋りについて。教育相談における対応。文科省の調査研究報告等にあたり、多角的視点によって理解の幅を広げる。(プレゼンテーション) 事前学習：文科省の調査研究報告等前回の授業で指示した資料を調べまとめ、レポートにすること。(3時間) 事後学習：学校現場でどのような対応が望ましいか、学んだことをまとめておくこと。(2時間)</p> <p>第5回：子供の貧困について。架空事例に触れ、学校生活での問題の現れ方、介入に際して配慮すべきこと、活用できる社会資源。(ディスカッション) 事前学習：日本の実態と、どのような対策がなされているか調べレポートにまとめておくこと。(2時間) 事後学習：子どもの貧困について、保育、幼児教育、学校現場でどのような対応が可能か、学んだことをまとめておくこと。(2時間)</p> <p>第6回：いじめ理解、いじめ対応の基礎知識。非行について教育相談の意味。(ディスカッション) 事前学習：いじめ防止対策推進法について調べ、レポートにまとめておくこと。(2時間) 事後学習：授業で検討したこと、学んだことについて、まとめておくこと。(2時間)</p> <p>第7回：発達障害の学校での現れ方。発達障害の流動性。支援のため的人格発達仮説。発達障害支援シートの活用。保護者支援。外部機関との連携。(ディスカッション) 事前学習：発達支援シートについて調べて、ディスカッションの資料になるように、まとめておくこと。(2時間) 事後学習：二次障害の予防と対応、連携についてまとめておくこと。(2時間)</p>					

- 第8回：予防開発的アプローチとしてのSSTの意味。SSTの使い方。SSTワークの体験。現場で使われているSSTの道具の体験。(グループワーク)
事前学習：第7回に配布した資料を熟読し、チェックリストを完成しておくこと。(2時間)
事後学習：授業で、自分で作った宿題の回答を試みること。(2時間)
- 第9回：予防開発的アプローチとしてのアサーティブトレーニングの意味。自尊感情、対等性、誠実であること、人権。自己理解、他者理解。(グループワーク)
事前学習：第8回に配布した資料を熟読し、質問をまとめておくこと。(2時間)
事後学習：自分にとってのアサーティブネスについて検討し、レポートにすること。(2時間)
- 第10回：性の問題。性に関する教育相談。学齢期の性被害について、対応を学ぶ。
事前学習：学習指導要領における性に関する指導について、文科省のホームページから調べ、発達段階に沿った指導について確認しておく。(2時間)
事後学習：授業で扱った事例について、自分の考えをまとめる。(2時間)
- 第11回：子どもの自殺・虐待について現状を知る。SOSの出し方教育について。
事前学習：SOSの出し方教育について調べてまとめておく。(2時間)
事後学習：授業で扱った事例について、自分の考えをまとめる。(2時間)
- 第12回：事件・事故・災害対応および心のケアについて。危機管理について。緊急事態における教育相談の役割。チームのあり方。
保護者支援。(ディスカッション)
事前学習：児童生徒を取り巻くリスクについて、想定し、対応策を考え、書き出しておくこと。(2時間)
事後学習：サイコロジカルファーストエイドについて要点をまとめておくこと。(2時間)
- 第13回：学齢期の精神科疾患の基礎知識。学校での現れ方。専門機関との連携。
事前学習：第12回に示した資料を熟読しておくこと。(2時間)
事後学習：支援のための連携機関について、図に整理すること。(2時間)
- 第14回：教員のメンタルヘルス。ストレスマネジメントについて。体験学習。教育相談での活かし方。(グループワーク)
事前学習：第13回に指示した、リラクゼーションの技法についてあらかじめ調べておくこと。(2時間)
事後学習：教育現場のストレスマネジメントの有効性について、レポートにまとめておくこと。(2時間)
- 第15回：ふりかえり。今まで学んだことの振り返り。改めて事例をもとに、見立て、介入プランの試作。
事前学習：授業全体を振り返り、疑問や質問をまとめておくこと。(2時間)
事後学習：参考図書について、指示した要点を確認しておくこと。(2時間)

授業実施方法(面接授業・遠隔授業)

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

小レポート(30%) 平常点(20%) 定期試験(50%)
(平常点は、授業への参加状況・受講態度、課題の提出状況等を総合して判断します。)

成績評価基準

いじめ、不登校、発達障害について、基礎知識をもち、学校・保育現場のチームの一員としてカウンセリングマインドを生かした支援ができる。支援プランを立てることが出来る。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

テキスト

森 慶輔・宮下敏恵 編著『教育相談テキストブック』金子書房

参考図書

西本絹子著『教師のための教育相談』萌文書林

藤田哲也監修『絶対役立つ教育相談』ミネルヴァ書房

河合隼雄著『こころの子育て-誕生から思春期までの48章』朝日新聞社

その他(受講上の注意)

都度資料を配布し、課題を課していきますので、本教科のためのファイル、ノートを用意してください。
予習復習については、授業時に資料や課題を指示します。また授業で行う体験学習に積極的に取り組んでください。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

事前・事後指導(中・高) (Guidance for Teaching Practice(Junior and senior high school))			担当教員	紺渡 弘幸	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-T-2311	1単位	3年～4年	実習	選択	
<科目区分> 人間学部 教職に関する科目					
求める学習成果(教育目標)					
次世代の英語コミュニケーション能力育成に携わるすぐれた知識と技能を持つ人間性豊かな中学校・高等学校の英語教員を育成する。					

授 業 の 内 容					
教育実習Ⅰ・教育実習Ⅱのための事前指導及び事後指導を行う。中学校・高等学校の生徒を指導する教師としての心構えを持つとともに、教育実習の目的・内容・方法及び留意事項を理解し、充実した実習が行えるよう準備する。実習終了後は評価・反省をし、課題を明確にする。					
授 業 の 到 達 目 標					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 教育実習の意義・目的を理解する。 2. 中学校・高等学校の教育現場の状況や教育環境を理解する。 3. 教育実習に臨むしっかりとした心構えを持つ。 4. 授業実習に必要な知識・指導法や技術を確認する。 5. 教育実習を振り返り、評価・反省して、自身の課題を明確にする。 					
アクティブ・ラーニング					
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input checked="" type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input checked="" type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他					
授業の計画及び授業外の学習方法					
3年次					
第1回：教職課程ガイダンス：全体指導、教育実習の予定、受講資格等の説明 事前学習：事前にシラバスや学生便覧に目を通し、質問事項をまとめておく。(0.5時間) 事後学習：授業で学習した内容を復習する。(0.5時間)					
第2回：教育実習特別講義：教育現場の状況や現場を取り巻く環境・生徒理解・教育実習の心構え等に関する講義、ディスカッション 事前学習：事前に講義のテーマについて調べ、質問事項をまとめておく。(0.5時間) 事後学習：講義で学習した内容について復習する。(0.5時間)					
第3回：学校見学(高等学校)：教育実習における注意事項、朝読書・朝礼参観 事前学習：事前に教育実習の手引きに目を通し、質問事項をまとめておく。(0.5時間) 事後学習：学校見学で学んだことを振り返る。(0.5時間)					
第4回：学校見学(高等学校)：授業参観、高等学校施設見学 事前学習：事前に教育実習の手引きに目を通し、質問事項をまとめておく。(0.5時間) 事後学習：学校見学で学んだことを振り返り、レポートを書く。(0.5時間)					
第5回：教育実習Ⅱ反省会：上級生が教育実習について発表、質疑応答・意見交換、(ディスカッション)、実習に向けてのアドバイス 事前学習：事前に教育実習の手引きに目を通し、質問事項をまとめておく。(0.5時間) 事後学習：教育実習についての発表から学んだことを整理し、教育実習に備える。(0.5時間)					
第6回：教育実習Ⅰの準備：「教育実習の手引き」、「教育実習ノート」に基づく実習直前の具体的な指導 事前学習：事前に教育実習の手引きに目を通し、質問事項をまとめておく。(0.5時間) 事後学習：授業で確認したことを振り返る。(0.5時間)					
第7回：教育実習Ⅰのための直前指導(高等学校)：高等学校の教育現場の状況や現場を取り巻く環境、生徒理解・指導の心構え等に関する講義 事前学習：教育実習の手引きに目を通し、質問事項をまとめておく。(0.5時間) 事後学習：直前指導で理解・確認したことを振り返る。(0.5時間)					
第8回：教育実習Ⅰのための直前指導(高等学校)：教科指導(授業実習)に関する講義 事前学習：教科指導の基本事項を復習し、質問事項をまとめておく。(0.5時間) 事後学習：直前指導で理解・確認したことを振り返る。(0.5時間)					
第9回：教育実習Ⅰのための事前指導：実習直前の模擬授業(発表)に基づく指導 事前学習：直前指導で学んだことを踏まえて模擬授業の準備をする。(0.5時間) 事後学習：模擬授業を振り返り、不十分な点を改善する。(0.5時間)					

- 第10回：研究授業についての指導：指導教員による研究授業についての指導助言
事前学習：研究授業の準備をする。(0.5時間)
事後学習：研究授業を振り返り、改善のポイントを整理しておく。(0.5時間)
- 第11回：教育実習Ⅰ反省会：実習生による実習報告・反省(発表)、意見交換(ディスカッション)、実習レポートの作成、自己点検
事前学習：教育実習Ⅰの反省をし、発表の準備をする。(0.5時間)
事後学習：実習レポートを作成する。(0.5時間)

4年次

- 第12回：教育実習Ⅱのための事前指導：教育実習Ⅱ、事前・事後指導の予定確認・指導等
事前学習：教育実習の手引きを読み返しておく。(0.5時間)
事後学習：授業で学習した内容を復習する。(0.5時間)
- 第13回：教育実習Ⅱのための事前指導：教育実習カードの作成、教育実習Ⅱへの心構え、教材研究等についての指導、特別講義に関する準備
事前学習：教育実習の手引きを読み返しておく。(0.5時間)
事後学習：授業で学習した内容を復習する。(0.5時間)
- 第14回：教育実習特別講義：教育現場の状況や現場を取り巻く環境・生徒理解・教育実習の心構え等に関する講義
事前学習：事前に講義のテーマについて調べ、質問事項をまとめておく。(0.5時間)
事後学習：講義で学習した内容について復習する。(0.5時間)
- 第15回：教育実習Ⅱのための事前指導：実習直前の模擬授業(発表)に基づく指導
事前学習：模擬授業の準備をする。(0.5時間)
事後学習：模擬授業を振り返り、不十分な点を改善する。(0.5時間)

備考・その他

教育実習Ⅱ反省会：実習生による実習についての発表、意見交換(ディスカッション)、実習レポートの作成、自己点検、教育実習履修のまとめ
実習後は、評価・反省をし、実習レポートをまとめ自分自身の課題を明確にする。

授業実施方法(面接授業・遠隔授業)

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

課題・模擬授業(50%)、平常点(50%)
(平常点は、授業への参加状況と受講態度から判断します。)

成績評価基準

1. 教育実習の意義・目的を説明できるか。
2. 中学校・高等学校の教育現場の状況や教育環境を理解について理解できているか。
3. しっかりと心構えを持って、教育実習に臨むことができたか。
4. 授業実習に必要な知識・指導法や技術を身につけていたか。
5. 教育実習を振り返り、評価・反省して、自身の課題を明確にできたか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

仁愛大学教職課程委員会編「仁愛大学教育実習の手引」、「仁愛大学教育実習ノート(令和5年度版)」

その他(受講上の注意)

充実した教育実習ができるように日頃から、教師としての知識や技能を自主的に身につけるよう努力することを期待する。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

教育実習 I (高校) (Teaching Practice I (high school))			担当教員	紺渡 弘幸	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-T-2312	2単位	3年前期	実習	選択	
<科目区分> 人間学部 教職に関する科目					
求める学習成果(教育目標)					
新たな英語教育を担う中学校・高等学校の英語教員に求められるすぐれた知識と技能を身につけ、豊かな人間性を育みます。					

授 業 の 内 容					
高等学校における 2 週間の教育実習 (観察実習・参加実習・授業実習)					
授 業 の 到 達 目 標					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 確かな心構えを持って実習に臨む。 2. 授業の教材研究がしっかりできる。 3. 指導態度が真剣で、意欲的である。 4. 生徒をよく理解しようと努める。 5. 教科外指導にも熱心に取り組む。 6. 実習ノートを欠かさず提出する。 7. 実習レポートはよくまとめられている。 8. 実習ノートは内容のある記録ができる。 					
アクティブ・ラーニング					
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習 (PBL) <input checked="" type="checkbox"/> 討議 (ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク (Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション (Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他					
授業の計画及び授業外の学習方法					
<p>事前指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職課程ガイダンス：全体指導、教育実習の予定、受講資格等の説明 ・教育実習特別講義：教育現場の状況や現場を取り巻く環境・生徒理解・教育実習の心構え等に関する講義、ディスカッション ・学校見学 (高等学校)：教育実習における注意事項、朝読書・朝礼参観 ・学校見学 (高等学校)：授業参観、高等学校施設見学 ・教育実習Ⅱ反省会：上級生が教育実習についての発表、質疑応答・意見交換、(ディスカッション)、実習に向けてのアドバイス ・「教育実習の手引き」、「教育実習ノート」に基づく実習直前の具体的な指導 ・実習Ⅰのための直前指導 (高等学校)：高等学校の教育現場の状況や現場を取り巻く環境、生徒理解・指導の心構え等に関する講義 ・実習Ⅰのための直前指導 (高等学校)：教科指導 (授業実習) に関する講義 ・実習直前の模擬授業 (発表) に基づく指導 <p>教育実習校 (高等学校) における実習</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション (実習校の概要や特色、指導方針等の確認、指導教員との打ち合わせ等) 2. 教育実習 (観察・参加・授業実習の諸活動。教材研究・学習指導案の作成、授業・生徒指導等の実習体験等) 3. 研究授業 (実習生が行う教育実習の総仕上げの授業実践) 4. 研究授業の反省会 (研究授業後の実習校教員からの指導、ディスカッション) 教育実習先の高等学校について、あらかじめ資料等を読んで理解を深めておく。 <p>日頃から教育実習に必要な知識・技能をしっかり身につけておく。</p> <p>事後指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究授業についての指導：指導教員による研究授業についての指導助言 ・教育実習Ⅰ反省会：実習生による実習報告・反省 (発表)、意見交換 (ディスカッション)、実習レポートの作成、自己点検 					

授業実施方法(面接授業・遠隔授業)

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

平常点100% (教育実習校からの評価、レポート、実習ノートなどを総合して評価する。)

成績評価基準

1. 指導に必要な基礎学力・知識が十分にあるか。
2. よく教材研究・工夫がなされていたか。
3. 指導態度は真剣で、意欲が感じられたか。
4. 生徒をよく理解しようと努めていたか。
5. 指導能力はあるか、指導態度は良かったか。
6. 教科外指導にも熱心に取り組んだか。
7. 勤務態度はまじめで、実習への熱意が感じられたか。
8. 事務・実務能力はあるか。
9. 実習ノートの提出はきちんとしていたか。
10. 実習レポートはよくまとめられていたか。
11. 実習ノートは内容のある記録ができていたか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他(実習に対するフィードバックについて)
授業時 仁大eラーニング メール その他(実習における評価および課題は「事前・事後指導」においてフィードバックする。)

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

仁愛大学教職課程委員会編「仁愛大学教育実習の手引」、「仁愛大学教育実習ノート(令和6年度版)」、指定教科書

その他(受講上の注意)

実習校での注意事項を遵守し、充実した実習になるよう努力することを期待する。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

教育実習Ⅱ(中学校) (Teaching PracticeⅡ(junior high school))			担当教員	紺渡 弘幸	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分	
CO-K-2416	2単位	4年(6月)	実習	選択	
<科目区分> 人間学部 教職に関する科目					
求める学習成果(教育目標)					
次世代の英語コミュニケーション能力育成に携わるすぐれた知識と技能を持つ人間性豊かな中学校・高等学校の英語教員を育成する。					
授 業 の 内 容					
中学校における2週間の教育実習(観察実習・参加実習・授業実習)					
授 業 の 到 達 目 標					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 確かな心構えを持って実習に臨む。 2. 授業の教材研究がしっかりできる。 3. 指導態度が真剣で、意欲的である。 4. 生徒をよく理解しようと努める。 5. 教科外指導にも熱心に取り組む。 6. 実習ノートを欠かさず提出する。 7. 実習レポートはよくまとめられている。 8. 実習ノートは内容のある記録ができる。 					
アクティブ・ラーニング					
<input type="checkbox"/> 課題解決型学習(PBL) <input checked="" type="checkbox"/> 討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他					
授業の計画及び授業外の学習方法					
<p>事前指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職課程ガイダンス：全体指導、教育実習の予定、受講資格等の説明 ・教育実習特別講義：教育現場の状況や現場を取り巻く環境・生徒理解・教育実習の心構え等に関する講義、ディスカッション ・学校見学(高等学校)：教育実習における注意事項、朝読書・朝礼参観 ・学校見学(高等学校)：授業参観、高等学校施設見学 ・「教育実習の手引き」、「教育実習ノート」に基づく実習直前の具体的な指導 ・実習Ⅱのための直前指導(高等学校)：高等学校の教育現場の状況や現場を取り巻く環境、生徒理解・指導の心構え等に関する講義 ・実習Ⅱのための直前指導(高等学校)：教科指導(授業実習)に関する講義 ・実習直前の模擬授業(発表)に基づく指導 <p>教育実習校(中学校)における実習</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション(実習校の概要や特色、指導方針等の確認、指導教員との打ち合わせ等) 2. 教育実習(観察・参加・授業実習の諸活動。教材研究・学習指導案の作成、授業・生徒指導等の実習体験等) 3. 研究授業(実習生が行う教育実習の総仕上げの授業実践) 4. 研究授業の反省会(研究授業後の実習校教員からの指導、ディスカッション) 教育実習先の中学校について、あらかじめ資料等を読んで理解を深めておく。 <p>日頃から教育実習に必要な知識・技能をしっかり身につけておく。</p> <p>事後指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究授業についての指導：指導教員による研究授業についての指導助言 ・教育実習Ⅱ反省会：実習生による実習報告・反省(発表)、意見交換(ディスカッション)、実習レポートの作成、自己点検 					
授業実施方法(面接授業・遠隔授業)					
原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。					

成績評価方法
平常点100% (教育実習校からの評価、レポート、実習ノートなどを総合して評価する。)
成績評価基準
1. 指導に必要な基礎学力・知識が十分にあるか。 2. よく教材研究・工夫がなされていたか。 3. 指導態度は真剣で、意欲が感じられたか。 4. 生徒をよく理解しようと努めていたか。 5. 指導能力はあるか、指導態度は良かったか。 6. 教科外指導にも熱心に取り組んだか。 7. 勤務態度はまじめで、実習への熱意が感じられたか。 8. 事務・実務能力はあるか。 9. 実習ノートの提出はきちんとしていたか。 10. 実習レポートはよくまとめられていたか。 11. 実習ノートは内容のある記録ができていたか。
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック
1) 授業時の課題に対するフィードバックについて <input type="checkbox"/> 授業時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/> 授業時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 3) 小レポートに対するフィードバックについて <input checked="" type="checkbox"/> 授業時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて <input type="checkbox"/> 定期試験時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 5) その他(実習に対するフィードバックについて) <input type="checkbox"/> 授業時 <input type="checkbox"/> 仁大eラーニング <input type="checkbox"/> メール <input checked="" type="checkbox"/> その他(実習における評価および課題は「事前・事後指導」においてフィードバックする。)
実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)
テキスト、参考図書
仁愛大学教職課程委員会編「仁愛大学教育実習の手引」、「仁愛大学教育実習ノート(令和6年度版)」、指定教科書
その他(受講上の注意)
実習校での注意事項を遵守し、充実した実習になるよう努力することを期待する。
オフィスアワー
UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。

教職実践演習(中・高) (Teaching Profession Practical Exercises (Junior and senior high school))		担当教員	紺渡 弘幸、小林 利幸、フッド 晴美	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-K-2417	2単位	4年後期	演習	選択
<科目区分> 人間学部 教職に関する科目				
求める学習成果(教育目標)				
次世代の英語コミュニケーション能力育成に携わるすぐれた知識と技能を持つ人間性豊かな中学校・高等学校の英語教員を育成する。				

授 業 の 内 容				
基礎的指導技術修得を確認・強化するとともに実践的指導力のさらなる育成のために、教職の意義・教員の職務と役割、生徒理解や学級経営、教科指導・生徒指導について理解し、英語指導の基本的指導技術 (ICT活用を含む) を身につける。また、英語指導に有用なマクロストラテジーを理解し、使用できるようにする。併せて、チーム・ティーチングの意義・目的・方法を理解し、実施することができるようにする。				
授 業 の 到 達 目 標				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 教職の意義・教員の職務と役割について理解する。 2. 生徒理解や学級経営について理解する。 3. 教科指導・生徒指導について理解する。 4. 英語指導の基本的指導技術 (ICT活用を含む) を身につける。 5. 英語指導に有用なマクロストラテジーを理解し、使用できる。 6. チーム・ティーチングの意義・目的を理解する。 7. チーム・ティーチングの方法を理解し、実施することができる。 				
アクティブ・ラーニング				
<input checked="" type="checkbox"/> 課題解決型学習 (PBL) <input checked="" type="checkbox"/> 討議 (ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク (Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 発表・プレゼンテーション (Teams、Zoom等) <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実験、実技 <input type="checkbox"/> その他				
授 業 の 計 画 及 び 授 業 外 の 学 習 方 法				
<p>小林利幸担当分 (5回)</p> <p>第1回：教職の意義、教職員の職務と役割、生徒に対する使命と責任の重さについて事例研究・ロールプレイング・グループ討論 (PBL・討議・グループワーク) 事前学修：実習を通して教職員の職務の尊さを実感した体験をできるだけ書き上げてくること。(2時間) 事後学修：教職員の職務の内容を整理し、要点を書き上げておくこと。(2時間)</p> <p>第2回：生徒理解と学級経営について事例研究・グループ討論 (PBL・討議・グループワーク) 事前学修：実習を通して気になった生徒指導と学級経営の問題点を書き上げてくること。(2時間) 事後学修：生徒指導と学級経営の要点をまとめ、自分が力を入れて取り組みたいことを書いておくこと。(2時間)</p> <p>第3回：教科や生徒指導の方法についての事例研究・グループ討論 (PBL・討議・グループワーク) 事前学修：教科指導や生徒指導で、どんな苦勞をしたか、結果についてまとめること。(2時間) 事後学修：教科指導や生徒指導で実習を通して学んだことをまとめること。(2時間)</p> <p>第4回：学校現場の調査研究とグループ討論 (PBL・討議・グループワーク) 事前学修：学校での先生方の勤務と苦勞についてまとめること。(2時間) 事後学修：特に学校現場の諸問題を整理し、解決策をまとめること。(2時間)</p> <p>第5回：社会性や対人関係能力についての確認とまとめ (PBL・討議・グループワーク) 事前学修：児童生徒の社会性・対人関係能力の問題について解決策を考えてくる。(2時間) 事後学修：社会性・対人関係能力の様々な問題の解決策をまとめること。(2時間)</p> <p>フッド晴美担当分 (5回)</p> <p>第6回：チーム・ティーチングー意義と目的 事前学習：自分が中学校・高校で受けたチーム・ティーチングで行われた英語の授業について、それらの授業がどのように自分の英語学習に効果的であったかをまとめること。(2時間) 事後学習：チーム・ティーチングの意義と目的を、第2言語習得研究の成果と日本の学校英語教育の目的に照らし合わせ、レポートにまとめること。(2時間)</p>				

- 第7回：チーム・ティーチングー現状と課題
 事前学習：自分が中学校・高校で受けたチーム・ティーチングで行われた英語の授業を振り返り、どのような点が問題であったかまとめておく。(2時間)
 事後学習：チーム・ティーチングの現状と課題を、授業のディスカッションおよび配布された資料に基づいてまとめ、どのようにその課題を解決すべきか自分の考えをまとめる。(2時間)
- 第8回：チーム・ティーチングー目標設定・指導計画・ALTとの話し合いの持ち方
 事前学習：チーム・ティーチングの授業での目標設定、ALTとの話し合いについて大切だと思うことをまとめておく。(2時間)
 事後学習：今回の授業でディスカッションしたことに基づき、教育実習で実施したチーム・ティーチングで改善すべき点をまとめ、どのように改善すべきか考えをまとめる。(2時間)
- 第9回：チーム・ティーチングー授業実践①
 事前学習：教育実習で実施した授業の内容を、チーム・ティーチングであることを想定して指導案を作り直し、模擬授業の準備をしてくる。(2時間)
 事後学習：今回の模擬授業の良かった点、改善すべき点についてまとめる。(2時間)
- 第10回：チーム・ティーチングー授業実践②・評価の仕方
 事前学習：前回の模擬授業の目標がどれくらい達成したかを評価する評価テストを考えてくる。(2時間)
 事後学習：チーム・ティーチングを効果的に実施するための要点を、5回の授業を通して得た知見に基づき、まとめる。(2時間)

紺渡弘幸担当分(5回)

- 第11回：基本的指導技術(Warm-up・Review)と効果的な指導のためのマクロストラテジー
 事前学習：事前に資料を読み、課題をしておく。(2時間)
 事後学習：基本的指導技術(Warm-up・Review)とマクロストラテジーについて復習する。(2時間)
- 第12回：基本的指導技術(文法・文型の導入)と望ましい言語活動
 事前学習：事前に資料を読み、課題をしておく。(2時間)
 事後学習：基本的指導技術(文法・文型の導入)と言語活動について復習する。(2時間)
- 第13回：基本的指導技術(言語活動)と授業改善のポイント
 事前学習：事前に資料を読み、課題をしておく。(2時間)
 事後学習：基本的指導技術(言語活動)と授業改善のポイントについて復習する。模擬授業の準備(学習指導案・教材の作成)をする。(2時間)
- 第14回：基本的指導技術(語彙の導入・指導)と効果的な動機づけ
 事前学習：事前に資料を読み、課題をしておく。(2時間)
 事後学習：基本的指導技術(語彙の導入・指導)と動機づけについて復習する。模擬授業の準備(学習指導案・教材の作成)をする。(2時間)
- 第15回：基本的指導技術(教科書本文の読解指導)と発問の工夫
 事前学習：事前に資料を読み、課題をしておく。(2時間)
 事後学習：基本的指導技術(教科書本文の読解指導)と発問の工夫について復習する。(2時間)

授業実施方法(面接授業・遠隔授業)

原則として「面接授業」を行います。ただし、災害等により面接授業が困難な場合は、急遽、遠隔授業になることがあります。遠隔授業に変更になった場合は、担当教員より指示があります。

成績評価方法

課題(30%)、平常点(70%)
 (平常点は授業への参加状況、グループ討論、模擬授業などの取り組みを総合的に判断します。)

成績評価基準

1. 教職の意義・教員の職務と役割について理解できているか。
2. 生徒理解や学級経営について理解できているか。
3. 教科指導・生徒指導について理解できているか。
4. 基本的指導技術を授業に活用できるか。
5. 英語指導に有用なマクロストラテジーや授業改善のポイント等を理解し、授業で使用できるか。
6. チーム・ティーチングの意義・目的を理解できているか。
7. チーム・ティーチングの方法を理解し、実施することができるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
授業時 仁大eラーニング メール その他
- 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて
定期試験時 仁大eラーニング メール その他
- 5) その他
授業時 仁大eラーニング メール その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

なし。

その他(受講上の注意)

自ら積極的に教員になる上で必要な知識・技能を再確認し、実際に活用できるようにするとともに、教師としての資質を向上させることができるよう努力を期待する。

オフィスアワー

UNIPAのトップページ【インフォメーション】欄にて確認できます。